



授業計画 2008

経済学部

授 業 計 画

『講義内容の見方』……………(2)
 参 考 ……………(4)

目次案内

経済学科・経済学科フレックスA・商学科・
 現代応用経済学科

I 全学共通科目

1 宗教教育科目……………(16)
 2 教養教育科目……………(17)
 3 外国語科目……………(20)
 4 保健体育科目……………(29)

II 専門教育科目……………(33)

III 他学部履修科目……………(42)

IV 「日本語」・「日本事情」科目……………(43)

V 随意科目……………(44)

経済学科フレックスB

I 全学共通科目

1 宗教教育科目……………(45)
 2 教養教育科目……………(46)
 3 外国語科目……………(48)
 4 保健体育科目……………(50)

II 専門教育科目……………(51)

III 他学部履修科目……………(57)

IV 随意科目……………(58)

全学 共 通 科 目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
	専門教育
	他学部 履修科目
	「日本語」 「日本事情」
全学 共 通 科 目	随意科目
	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
	専門教育
	他学部 履修科目
全学 共 通 科 目	随意科目

『授業計画』の見方

- 1、『授業計画』は、『学習ガイドブック』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『授業計画』は、経済学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。
(この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。)
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『授業計画』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部⑪番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『授業計画』を閲覧してください。
- 5、他学部履修科目を履修する場合は、教務部⑪番窓口で『他学部履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『授業計画』を閲覧してください。
- 6、教職課程・資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『授業時間表（課程各講座授業時間表）』を受け取ってください。

※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時（事前登録・履修届登録）にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『授業計画』の利用手順～

①『学習ガイドブック』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。

②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード*	備考	区分	教場名
月 1	仏教と人間	駒澤 太郎	111111	経1必		玉-111

↑
※履修コード

③『授業計画』の目次ページから、同様の履修コードを探し、ページを開く。

（『授業計画』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード*	ページ
仏教と人間	駒澤 太郎	111111	1

↑
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認して、授業内容を閲覧する。

（『授業計画』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>こまざわ たろう</small> 駒澤 太郎

～平成 18 年度以前入学生へ～

◎「経済学科フレックスA」・「商学科」に所属の学生

フレックスB時間帯（月～金 6・7 時限、土 3～7 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『授業計画』の経済学科フレックスBのページ（冊子の後半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

◎「経済学科フレックスB」に所属の学生

フレックスA時間帯（月～金 1～5 時限、土 1～4 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『授業計画』の経済学科フレックスAのページ（冊子の前半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

参 考

外 国 語 科 目

経済学科・経済学科フレックスA・商学科・現代応用経済学科

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L I

〈英語LLⅠの授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L II

〈英語LLⅡの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLⅠ程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L III

〈英語LLⅢの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が開き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならばほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

对外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学ばば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているため、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

ⅠA・ⅠB：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

ⅡA・ⅡB：一年のⅠA・ⅠBのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

経済学科・経済学科フレックスA・商学科・現代応用経済学科

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限（現代応用）		2時限（商）		3時限（経済）		4時限（経済）	
火 曜 日	※高橋	空手道	※田中	卓球	※光永	トレーニング	※館岡	ソフトボール
	光永	トレーニング	鈴木	室内球技	佐藤	ゴルフ	牧野	室内球技
	館岡	ゴルフ	館岡	ゴルフ	高橋	空手道	山口	卓球
	鈴木	室内球技	山口	ソフトボール	江口	テニス	佐藤	ゴルフ
	田中	卓球	秋田	トレーニング	牧野	室内球技	江口	テニス
			佐藤	ジョギング	秋田	サッカー	秋田	トレーニング
			江口	テニス				

※は、科目の担当

「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。科目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》前期：7月13日（日）～17日（木） 後期：1月5日（月）～9日（金）

《時間》10:00～12:00・13:00～15:30

（於：玉川校舎）

前期		後期	
※山口	室内球技	鈴木	卓球
秋田	卓球	高橋	ソフトボール
大石	太極拳	光永	トレーニング&太極拳
牧野	バドミントン	村松	室内球技

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習 I～IV」開講種目一覧

（於：本校体育館）

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日				
1時限									
2時限	渡	大 石	前期・基礎	田	前期・基礎	末	前期・応用	牧 野	前期・応用
			室内球技		ミニサッカー		フットサル		ダブルダッチ
	辺		後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・応用	後期・応用		
			室内球技	ミニサッカー	フットサル	ダブルダッチ	バスケットボール		
3時限	渡	大 石	前期・基礎	田	前期・基礎	村	前期・基礎	牧 野	前期・基礎
			室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球
	辺		後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・応用	後期・基礎		
			室内球技	簡化太極拳	フットサル	卓球	バスケットボール		
4時限	渡		前期・応用			末	前期・応用		
			室内球技				室内球技		
	辺		後期・応用				後期・応用		
			室内球技				室内球技		

外国語科目

経済学科フレックスB

英語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基礎表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

英語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

英語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

英語 II B

〈英語 II Bの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

英会話 I・II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度です。

英語 L L I・II

情報メディア機器 (1号館 3・4階のPC教場) を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL® で450点、TOEIC® 500点、英検 2 級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならばほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著

『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編

『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編

『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著

『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

経済学科フレックスB

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ミニサッカー					村 松	健康・スポーツ論*
	秋 田	バドミントン						
7 時 限	※秋田	バドミントン	三 幣	健康・スポーツ論*	※三幣	バドミントン		
	大 石	ミニサッカー			村 松	卓球		

※は、科目の主担当者

*時間表で教場を確認のこと。

I. 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	金沢 篤	203401	7
仏教と人間	程 正	203501	7
仏教と人間	池田 魯参	203601	7
仏教と人間	永井 政之	203701	8
仏教と人間	石井 修道	203801	8
仏教と人間	片山 一良	203901	9
仏教と人間	飯塚 大展	204001	9
仏教と人間	程 正	204011	9
仏教と人間	古山 健一	204021	10
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宜英	205701	10
仏教と人間〔再クラス〕	下室 覚道	205801	11
仏教と人間〔再クラス〕	大谷 哲夫	205901	11
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	11
自然と宗教	小川 順敬	206101	12
社会と宗教	矢野 秀武	206201	12
文化と宗教	佐藤 憲昭	206301	13
坐禅	佐藤 秀孝 池上 光洋	206401	13
坐禅	佐藤 秀孝 池上 光洋	206501	13

2. 教養教育科目

・平成18年度以前入学生で『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
科学史〔科学と技術〕	高橋 秀裕	210401	17
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	17
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	18
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	18
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	19
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	19
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	20
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	20
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	21
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	21
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	22
人文地理学〔風土と文化〕	坪井 塑太郎	211701	22
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎吾	211801	23
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	23
哲学〔近代の人間観と世界観〕	古田 知章	209001	24
哲学〔現代文明と人間〕	滝沢 正之	209401	24
文学〔日本文学「古典」〕	塩崎 真理子	206601	25
文学〔日本文学「古典」〕	蘭部 幹生	207501	25
文学〔日本文学「近代」〕	小林 治	207701	26
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	26
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701	27
倫理学〔価値観〕	久保 陽一	210801	27
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	28
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	28
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	29
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	211111	29
歴史学〔東アジア考古学〕	千葉 基次	207901	29
歴史学〔日本近世史〕	出口 宏幸	208201	30
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209601	30
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	31
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	31

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	215901	32
社会学〔社会生活を考える〕	呉 炳三	216301	32
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	216501	33
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	森 雅文	217001	33
文化人類学〔社会変化と価値感〕	内山 明子	217301	34
法学・憲法〔法と社会生活〕	和知 恵一	217601	35
法学・憲法〔法と社会生活〕	沼田 雅之	217701	36
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	37

政治学〔国際社会と日本〕	山崎 望	218901	37
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	矢野 浩一	219301	38
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	39
教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	39
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	40

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220301	41
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220601	41
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221101	42
自然環境論〔生命の集団と環境〕	坂巻 義章	221301	42
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・山縣 毅	222201	43
数学〔微積分学入門〕	小沢 誠	222401	44
数学〔線型代数学入門〕	小沢 誠	222501	45
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	46
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和代	222701	46
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222901	47
化学〔衣食住の化学〕	牧岡 良和	223101	47
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201	47
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223301	47
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	223401	48
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	223701	48
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	223901	48
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	224201	48
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	223501	48
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	224001	48
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	223601	49
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	223801	49
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	224101	49
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	224301	50
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	元木 光雄	224401	50
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	山本 博信	224601	51
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	長坂 浩史	224701	51
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224801	52
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224901	52
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	225001	53
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小沢 誠	225201	53
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225601	54
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225701	54
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225801	54
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225901	54
人類学〔人類の進化〕	篠田 謙一	226001	55
人類学〔人類の進化〕	篠田 謙一	226101	55
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博巳	226401	55
心理学〔心を科学する〕	堀内 正彦	227101	56
心理学〔心を科学する〕(夏季集中)	深堀 友寛	227301	56

(4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合I〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	57
総合I〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	57
総合II〔駒澤大学の歴史〕	熊本 史雄 ・大城 道則 ・小泉 雅弘 ・佐々木 真 ・杉山 清彦 ・廣瀬 良弘 ・皆川 義孝	228401	58
総合III〔人権と社会問題〕	ピアス、 D. M.	228701	59
総合III〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎	228801	59
総合III〔スペイン語圏の文化と社会〕	齋藤 明美	228901	60
総合IV〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	60
総合IV〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	61
総合V〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝哉	229301	61
総合VI〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	62
総合VI〔イスラム〕	吉田 京子	229701	62
総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	63
総合VII〔トラブルと法的解決〕	中濱 義章 ・井上 健一 ・北野 かほる ・佐藤 多美夫 ・中田 英幸 ・向田 正巳	229901	64
総合VII〔都市論〕	内海 麻利 ・饗庭 伸 ・早川 純貴 ・堀内 康史 ・村上 暁信	230001	65
総合VIII	休講	—	

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	川崎 笑佳	236501	69
英語IA	朝川 真紀	236601	69
英語IA	朝川 真紀	237901	69
英語IA	川崎 浩太郎	236701	69
英語IA	川崎 浩太郎	237501	69
英語IA	三輪 久恵	236801	70
英語IA	三輪 久恵	237001	70
英語IA	岩屋 玉江	237101	70
英語IA	岸本 茂和	237201	70
英語IA	三芳 康義	237211	70
英語IA	相馬 美明	237401	71
英語IA	水崎 野里子	237601	71
英語IA	真砂 久晃	237701	71
英語IA	丹治 弘昌	237801	71
英語IA	甲斐 捷子	237911	72
英語IA	セイジ、K.	237921	72
英語IA	松堂 啓子	237931	72
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	吉沢 栄治郎	240231	72
英語IB	大庭 直樹	243201	73
英語IB	尾形 重政	243301	73
英語IB	尾形 重政	244011	73
英語IB	伊良部 祥子	243401	73
英語IB	伊良部 祥子	243801	73
英語IB	濱口 真木	243701	73
英語IB	濱口 真木	243901	74
英語IB	杉村 初枝	244001	74
英語IB	杉村 初枝	244301	74
英語IB	杉村 初枝	244641	74
英語IB	石原 孝哉	244101	74
英語IB	石原 孝哉	244631	74
英語IB	山岸 二郎	244201	74
英語IB	山岸 二郎	244401	75
英語IB	萩原 輝	244501	75
英語IB	木元 喜久子	244601	75
英語IB	伊良部 祥子	244611	76
英語IB	落合 真裕	244621	76
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	落合 真裕	246921	77
英語IIA	井伊 順彦	250801	77
英語IIA	岡本 誠	250901	78
英語IIA	小泉 和弘	251001	78
英語IIA	小泉 和弘	251201	78
英語IIA	塚本 利男	251101	79
英語IIA	鈴木 美貴子	251301	79
英語IIA	足田 和人	251401	79

英語IIA	三幣 友行	251411	79
英語IIA	伊勢村 定雄	251501	80
英語IIA	松堂 啓子	251601	80
英語IIA	竹村 恵都子	251701	80
英語IIA	山口 晃	251801	81
英語IIA	西田 義和	251901	81
英語IIA	吉川 直澄	251911	81
英語IIA	芝田 興太郎	251951	82
英語IIA	今井 夏彦	251961	82
英語IIA	西田 義和	251971	82
英語IIA	濱口 真木	251981	83
英語IIB	渡部 孝治	256301	83
英語IIB	市川 仁	256401	83
英語IIB	塚本 利男	256501	83
英語IIB	高橋 佳江	256601	84
英語IIB	植村 恵子	256701	84
英語IIB	清水 雅夫	256801	84
英語IIB	井出 功一	256901	85
英語IIB	萩原 輝	256911	85
英語IIB	萩原 輝	257511	85
英語IIB	行廣 泰三	257101	86
英語IIB	佐藤 孝一	257201	86
英語IIB	小布施 圭佐三	257301	87
英語IIB	本間 俊一	257401	87
英語IIB	岩原 康夫	257501	88
英語IIB	古富 猛	257551	88
英語IIB	依田 里花	257561	88
英語IIB	狩野 晃一	257571	88
英語IIB	落合 真裕	257581	89
ドイツ語IA	河上 和史	266901	89
ドイツ語IB	松岡 晋	267801	90
ドイツ語IIA	松岡 晋	268101	90
ドイツ語IIA	飯塚 公夫	268111	91
ドイツ語IIA	藪下 紘一	268301	91
ドイツ語IIA	野島 利彰	268311	91
ドイツ語IIB	飯塚 公夫	268401	91
ドイツ語IIB	藪下 紘一	268501	92
ドイツ語IIB	森 公成	268511	92
フランス語IA	伊藤 なお	269901	92
フランス語IB	東 辰之介	270901	92
フランス語IIA	東 辰之介	271201	93
フランス語IIA	菅谷 暁	271211	93
フランス語IIA	小玉 齊夫	271301	93
フランス語IIA	沼倉 広子	271401	93
フランス語IIB	菅谷 暁	271501	94
フランス語IIB	畑中 千晶	271601	94
フランス語IIB	小玉 齊夫	271611	94
中国語IA	曹 泰和	274101	95
中国語IB	三田村 圭子	276501	95
中国語IA	宮本 厚子	274201	95
中国語IB	陳 洲拳	276601	95

中国語IA	岩崎 皇	274211	95
中国語IB	岩崎 皇	276611	95
中国語IIA	橋本 幸枝	277201	95
中国語IIA	岩崎 皇	277301	95
中国語IIA	児島 弘一郎	277401	95
中国語IIA	弘兼 加奈子	277501	95
中国語IIA	江林 英基	277511	95
中国語IIA	秋元 翼	277601	95
中国語IIA	佐藤 普美子	277701	95
中国語IIA	李 雲	277801	95
中国語IIA	岩崎 皇	277901	95
中国語IIB	橋本 幸枝	278001	96
中国語IIB	梅田 雅子	278101	96
中国語IIB	弘兼 加奈子	278111	96
中国語IIB	児島 弘一郎	278301	97
中国語IIB	秋元 翼	278401	97
中国語IIB	佐藤 普美子	278501	97
スペイン語IA	佐藤 麻里乃	280501	97
スペイン語IA	齋藤 明美	280511	98
スペイン語IB	上野 勝広	281701	98
スペイン語IB	真下 祐一	281711	99
スペイン語IIA	真下 祐一	282101	99
スペイン語IIA	上野 勝広	282111	99
スペイン語IIA	大岩 功	282301	100
スペイン語IIA	真下 祐一	282401	100
スペイン語IIA	上野 勝広	282411	100
スペイン語IIB	大岩 功	282501	101
スペイン語IIB	大岩 功	282601	101
スペイン語IIB	真下 祐一	282611	101
ロシア語IA	大須賀 史和	283601	102
ロシア語IB	木村 英明	284001	102
ロシア語IIA	木村 英明	284201	103
ロシア語IIA	杉山 秀子	284301	103
ロシア語IIB	木村 英明	284401	103
ロシア語IIB	佐野 朝子	284501	104

《再履修クラス》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	樋渡 俊光	291501	105
英語IA〔再クラス〕	松堂 啓子	291601	105
英語IA〔再クラス〕	岩井 洋美	291701	105
英語IA〔再クラス〕	樋渡 俊光	291801	106
英語IA〔再クラス〕	岩原 康夫	291901	106
英語IA〔再クラス〕	塙 美智子	292001	106
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	292301	107
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	292601	107
英語IA〔再クラス〕	岡本 誠	292701	107
英語IA〔再クラス〕	熊沢 和明	297002	108
英語IB〔再クラス〕	狩野 晃一	293201	108
英語IB〔再クラス〕	行廣 泰三	293401	108
英語IB〔再クラス〕	佐藤 江里子	293601	108
英語IB〔再クラス〕	落合 和昭	293901	109
英語IB〔再クラス〕	塚本利男	294001	110
英語IB〔再クラス〕	山岸 二郎	294101	110
英語IB〔再クラス〕	太田 由紀子	294201	110
英語IB〔再クラス〕	吉沢 栄治郎	294211	110
英語IIA〔再クラス〕	安齋 薫	294601	111
英語IIA〔再クラス〕	山口 晃	294801	111
英語IIA〔再クラス〕	三幣 友行	295001	111
英語IIA〔再クラス〕	芝田 興太郎	295101	112
英語IIA〔再クラス〕	前田 脩	295301	112
英語IIA〔再クラス〕	外池 一子	295401	112
英語IIA〔再クラス〕	古富 猛	295501	112
英語IIA〔再クラス〕	飯沼 好永	295601	113
英語IIB〔再クラス〕	高見 陽子	295801	113
英語IIB〔再クラス〕	大淵 利春	295901	113
英語IIB〔再クラス〕	安齋 薫	296201	114
英語IIB〔再クラス〕	落合 和昭	296301	115
英語IIB〔再クラス〕	矢島 直子	296501	116
英語IIB〔再クラス〕	相馬 美明	296601	116
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	296701	116
英語IIB〔再クラス〕	手島 敬子	296901	117
ドイツ語IA〔再クラス〕	本橋 右京	297101	117
ドイツ語IA〔再クラス〕	志真 斗美恵	297201	117
ドイツ語IA〔再クラス〕	岡本 時子	297401	118
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	298602	118
ドイツ語IB〔再クラス〕	飯塚 公夫	297501	118
ドイツ語IB〔再クラス〕	堀内 美江	297601	118
ドイツ語IB〔再クラス〕	本橋 右京	297801	119
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	297901	119
ドイツ語IIA〔再クラス〕	森 公成	298001	119
ドイツ語IIB〔再クラス〕	森 公成	298002	119
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	298101	119
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	298102	119
ドイツ語IIA〔再クラス〕	岡本 時子	298201	120
ドイツ語IIB〔再クラス〕	岡本 時子	298202	120

フランス語IA〔再クラス〕	芦原 眷	298801	120
フランス語IA〔再クラス〕	小玉 齊夫	298901	120
フランス語IA〔再クラス〕	菅原 猛	299001	120
フランス語IA〔再クラス〕	谷川 かおる	300202	121
フランス語IB〔再クラス〕	東 辰之介	299101	121
フランス語IB〔再クラス〕	今関 アン	299201	121
フランス語IB〔再クラス〕	伊藤 なお	299301	121
フランス語IB〔再クラス〕	谷川 かおる	299501	122
フランス語IIA〔再クラス〕	畑中 千晶	299601	122
フランス語IIB〔再クラス〕	畑中 千晶	299602	122
フランス語IIA〔再クラス〕	沼倉 広子	299701	122
フランス語IIB〔再クラス〕	沼倉 広子	299702	122
フランス語IIA〔再クラス〕	桑田 禮彰	299801	122
フランス語IIB〔再クラス〕	桑田 禮彰	299802	122
中国語IA〔再クラス〕	秋元 翼	300601	123
中国語IB〔再クラス〕	秋元 翼	300602	123
中国語IA〔再クラス〕	天野 節	301201	123
中国語IB〔再クラス〕	天野 節	301202	123
中国語IA〔再クラス〕	小川 隆	301301	123
中国語IB〔再クラス〕	小川 隆	301302	123
中国語IA〔再クラス〕	布施 直子	301401	123
中国語IB〔再クラス〕	布施 直子	301402	123
中国語IA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501	123
中国語IB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301502	123
中国語IA〔再クラス〕	蘭 明	302302	124
中国語IB〔再クラス〕	蘭 明	302303	124
中国語IIA〔再クラス〕	梅田 雅子	301601	124
中国語IIA〔再クラス〕	宮本 厚子	301801	124
中国語IIA〔再クラス〕	大久保 明男	301901	124
中国語IIB〔再クラス〕	李 雲	302001	125
中国語IIB〔再クラス〕	李 雲	302101	125
中国語IIB〔再クラス〕	蘭 明	302201	125
スペイン語IA〔再クラス〕	大岩 功	302601	125
スペイン語IB〔再クラス〕	大岩 功	302602	125
スペイン語IA〔再クラス〕	齋藤 明美	302701	126
スペイン語IB〔再クラス〕	齋藤 明美	302702	126
スペイン語IA〔再クラス〕	亀山 晃一	302801	126
スペイン語IB〔再クラス〕	亀山 晃一	302802	126
スペイン語IA〔再クラス〕	荻野 恵	303001	127
スペイン語IB〔再クラス〕	荻野 恵	303002	127
スペイン語IA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303402	127
スペイン語IB〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303403	127
スペイン語IIA〔再クラス〕	齋藤 明美	303101	127
スペイン語IIB〔再クラス〕	齋藤 明美	303102	127
スペイン語IIA〔再クラス〕	大岩 功	303201	128
スペイン語IIB〔再クラス〕	大岩 功	303202	128
スペイン語IIA〔再クラス〕	亀山 晃一	303301	128
スペイン語IIB〔再クラス〕	亀山 晃一	303302	128
ロシア語IA〔再クラス〕	廣田 英靖	303501	129
ロシア語IB〔再クラス〕	廣田 英靖	303502	129
ロシア語IA〔再クラス〕	佐野 朝子	303601	129

ロシア語IB〔再クラス〕	佐野 朝子	303602	129
ロシア語IA〔再クラス〕	木村 英明	303701	129
ロシア語IB〔再クラス〕	木村 英明	303702	129
ロシア語IA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303801	130
ロシア語IB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303802	130
ロシア語IIA〔再クラス〕	クロチコフ、 Y.	303901	130
ロシア語IIB〔再クラス〕	クロチコフ、 Y.	303902	130
ロシア語IIA〔再クラス〕	大須賀 史和	304001	130
ロシア語IIB〔再クラス〕	大須賀 史和	304002	130
ロシア語IIA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304101	130
ロシア語IIB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304102	130

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英文講読	林 明人	284901	131
英文講読	矢島 直子	285001	131
英文講読	石原 孝哉	285101	131
時事英語研究	高野 秀夫	285701	132
時事英語研究	林 明人	285801	132
時事英語研究	岸本 茂和	285811	133
時事英語研究	落合 和昭	285901	134
時事英語研究	矢島 直子	285911	135
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	136
マルチ・メディア	大庭 直樹	286601	137
マルチ・メディア	西村 祐子	286701	138
マルチ・メディア	大庭 直樹	286801	139
英会話I	ロビン、 G. F.	264201	139
英会話I	ロビン、 G. F.	264301	139
英会話I	ウェルズ、 J. K.	264401	140
英会話I	ウェルズ、 J. K.	264501	141
英会話I	ソルタ、 P. N. F.	264601	142
英会話I	ソルタ、 P. N. F.	264701	142
英会話I	レーン、 C. M.	264801	143
英会話I	レーン、 C. M.	264901	143
英会話I	ピアス、 D. M.	265001	144
英会話I	ピアス、 D. M.	265101	145
英会話I	レイン、 R. V.	265201	146
英会話I	ロンゴ、 T.	265301	147
英会話II	セイジ、 K.	287401	148
英会話II	ロンゴ、 T.	287501	149
英会話II	レイン、 R. V.	287601	150
英会話III	ウェルズ、 J. K.	287701	150
英会話III	ピアス、 D. M.	287801	151
英語 L LI	西村 祐子	265401	152
英語 L LI	西村 祐子	265701	152
英語 L LI	塙 美智子	265501	152
英語 L LI	塙 美智子	265601	152

英語L I	外池 一子	265801	153
英語L I	外池 一子	265901	153
英語L I	甲斐 捷子	266001	153
英語L I	久保 ひさ子	266101	154
英語L L II	セイジ、 K	288501	154
英語L L II	高橋 明子	288601	154
英語L L II	甲斐 捷子	288701	155
英語L L III	甲斐 捷子	289301	155
英語L L III	白鳥 義博	289401	155
英語L L III	久保 ひさ子	289501	155
名文で味わうドイツ語	野島 利彰	285201	156
現代を読むドイツ語	野島 利彰	286001	156
時事ドイツ語	野島 利彰	286002	156
ドイツ語スキルアップ	松岡 晋	286901	156
上級ドイツ語	松岡 晋	286902	156
ドイツ語コミュニケーションI	小林 ゲアリン デ	288001	157
ドイツ語コミュニケーションII	小林 ゲアリン デ	288801	157
ドイツ語IA (選)	松岡 晋	289601	157
ドイツ語IB (選)	井村 行子	290201	158
ドイツ語II (選)	井村 行子	290801	158
名文で味わうフランス語	東 辰之介	285301	158
現代を読むフランス語	桑田 禮彰	286101	158
時事フランス語	桑田 禮彰	286102	158
フランス語スキルアップ	小玉 齊夫	287001	159
上級フランス語	小玉 齊夫	287002	159
フランス語コミュニケーションI	ラリア・三倉、 M.	288101	159
フランス語コミュニケーションII	ラリア・三倉、 M.	288901	159
フランス語IA (選)	出口 雅敏	289701	160
フランス語IA (選)	東 辰之介	289711	160
フランス語IB (選)	菅原 猛	290301	160
フランス語II (選)	桑田 禮彰	290901	160
名文で味わう中国語	佐藤 普美子	285401	161
現代を読む中国語	塩旗 伸一郎	286201	161
時事中国語	塩旗 伸一郎	286202	161
中国語スキルアップ	児島 弘一郎	287101	161
上級中国語	児島 弘一郎	287102	161
中国語コミュニケーションI	陳 洲拳	288201	161
中国語コミュニケーションII	小川 隆	289001	162
中国語IA (選)	吉田 建一郎	289801	162
中国語IA (選)	岩崎 皇	289811	162
中国語IB (選)	蘭 明	290401	162
中国語II (選)	三田村 圭子	291001	163
名文で味わうスペイン語	齋藤 明美	285501	163
現代を読むスペイン語	齋藤 明美	286301	163
時事スペイン語	齋藤 明美	286302	163
スペイン語スキルアップ	上野 勝広	287201	164
上級スペイン語	上野 勝広	287202	164

スペイン語コミュニケーションI	モラーレス ム ニョス, S	288301	164
スペイン語コミュニケーションII	モラーレス ム ニョス, S	289101	164
スペイン語IA (選)	亀山 晃一	289901	165
スペイン語IB (選)	齋藤 明美	290501	165
スペイン語II (選)	佐藤 麻里乃	291101	166
名文で味わうロシア語	廣田 英靖	285601	166
現代を読むロシア語	木村 英明	286401	166
時事ロシア語	木村 英明	286402	166
ロシア語スキルアップ	クロチコフ、 Y.	287301	167
上級ロシア語	クロチコフ、 Y.	287302	167
ロシア語コミュニケーションI	安德 ニーナ	288401	167
ロシア語コミュニケーションII	安德 ニーナ	289201	167
ロシア語IA (選)	クロチコフ、 Y.	290001	168
ロシア語IB (選)	木村 英明	290601	168
ロシア語II (選)	クロチコフ、 Y.	291201	168
朝鮮語IA (選)	宋 美玲	290101	169
朝鮮語IB (選)	宋 美玲	290701	169
朝鮮語II (選)	宋 美玲	291211	169

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	館岡 儀秋	194801	173
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	194801	174
健康・スポーツ実習（ジョギング）	佐藤 政之	194801	175
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	山口 良博	194801	175
健康・スポーツ実習（トレーニング）	秋田 浩一	194801	176
健康・スポーツ実習（卓球）	田中 佳孝	194801	176
健康・スポーツ実習（室内球技）	鈴木 淳平	194801	177
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	194901	177
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	194901	178
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	194901	178
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	佐藤 政之	194901	179
健康・スポーツ実習（サッカー）	秋田 浩一	194901	179
健康・スポーツ実習（室内球技）	牧野 茂	194901	180
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	館岡 儀秋	195001	180
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	195001	181
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	佐藤 政之	195001	182
健康・スポーツ実習（卓球）	山口 良博	195001	182
健康・スポーツ実習（トレーニング）	秋田 浩一	195001	183
健康・スポーツ実習（室内球技）	牧野 茂	195001	184
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	館岡 儀秋	195011	184
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	195011	185
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	195011	186
健康・スポーツ実習（卓球）	田中 佳孝	195011	186
健康・スポーツ実習（室内球技）	鈴木 淳平	195011	187
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	195901	188
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196001	188
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196101	188
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196201	188
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠	196301	189
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）	高橋 俊介	196401	190
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（トレーニング&太極拳）	光永 吉輝	196401	191
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	山口 良博	196401	192
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	秋田 浩一	196401	193
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠	196401	194
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）	大石 武士	196401	195
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）	牧野 茂	196401	196
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	鈴木 淳平	196401	197
健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）	高橋 俊介	196402	190
健康・スポーツ実習（集中授業）（トレーニング&太極拳）	光永 吉輝	196402	191
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	山口 良博	196402	192
健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）	秋田 浩一	196402	193
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	村松 誠	196402	194
健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳）	大石 武士	196402	195
健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）	牧野 茂	196402	196
健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）	鈴木 淳平	196402	197
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196501	197
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196502	197

生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196503	197
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196504	197
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196601	198
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196602	198
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196603	198
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196604	198
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196701	198
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196702	198
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196703	198
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196704	198
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196801	199
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196802	199
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196803	199
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196804	199
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196901	199
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196902	199
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196903	199
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196904	199
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197001	200
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197002	200
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197003	200
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197004	200
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197101	200
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197102	200
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197103	200
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197104	200
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197201	201
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197202	201
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197203	201
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197204	201
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197301	201
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197302	201
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197303	201
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197304	201
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197401	202
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197402	202
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197403	202
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197404	202
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197501	202
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197502	202
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197503	202
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197504	202
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197601	203
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197602	203
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197603	203
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197604	203
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197701	203
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197702	203
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197703	203
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197704	203
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197801	204

生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197802	204
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197803	204
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (フットサル)	田中 佳孝	197804	204
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	197901	204
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	197902	204
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	197903	204
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	197904	204
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	198001	205
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	198002	205
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	198003	205
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (ダブルダッチ)	末次 美樹	198004	205
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198101	205
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198102	205
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198103	205
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (卓球)	村松 誠	198104	205
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198201	206
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198202	206
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198203	206
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (卓球)	村松 誠	198204	206
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198301	206
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198302	206
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198303	206
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198304	206
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198401	207
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198402	207
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198403	207
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198404	207
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198701	207
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198702	207
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198703	207
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198704	207
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198801	208
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198802	208
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198803	208
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198804	208
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198901	208
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198902	208
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198903	208
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198904	208
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199001	209
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199002	209
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199003	209
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199004	209
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ)	光永 吉輝 ・三幣 晴三 ・田中 佳孝 ・佐藤 政之 ・館岡 儀秋 ・村松 誠 ・鈴木 淳平 ・下谷内 勝利	199301	210

生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	光永 吉輝 ・三幣 晴三 ・田中 佳孝 ・佐藤 政之 ・館岡 儀秋 ・村松 誠 ・鈴木 淳平 ・下谷内 勝利	199302	210
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199401	211
生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199402	211
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎) (テニス)	江口 淳一	199501	212
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用) (テニス)	江口 淳一	199502	212
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) (ゴルフ)	三幣 晴三	199701	213
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用) (ゴルフ)	三幣 晴三	199702	213
健康・スポーツ論 1	鈴木 淳平	200201	213
健康・スポーツ論 1	田中 佳孝	200401	214
健康・スポーツ論 2	大石 武士	201201	214
健康・スポーツ論 2	三幣 晴三	201401	215
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201601	215
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201801	216
余暇学	秋田 浩一	202001	216
余暇学	三幣 晴三	202201	217

Ⅱ. 専門教育科目

- ・平成18年度以前入学生で、『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目は経済学科（19年度以降入学生）・経済学科フレックスA・商学科・現代応用経済学科の科目ですが、フレックスB時間帯に開講しています。フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経済学概説	瀬戸岡 紘	089201	221
経済学概説	松井 柳平	089301	221
経済学概説	福原 好喜	089401	222
経済学基礎	森田 成也	089511	222
経済学概説	森田 成也	089512	222
経済理論A・資本の原理	有井 行夫	089701	223
経済理論IA・資本の原理	有井 行夫	089702	223
経済理論A・資本の原理	大石 雄爾	089801	223
経済理論IA・資本の原理	大石 雄爾	089802	223
ミクロ経済学	畠中 貴	090101	224
経済理論II・ミクロ経済学	畠中 貴	090102	224
ミクロ経済学	松井 柳平	090201	225
経済理論II・ミクロ経済学	松井 柳平	090202	225
マクロ経済学	荒木 勝啓	090301	226
経済理論II・マクロ経済学	荒木 勝啓	090302	226
マクロ経済学	浅野 克巳	090401	227
経済理論II・マクロ経済学	浅野 克巳	090402	227
経済学史	福原 好喜	090501	228
経済史	安元 稔	090601	229
経済政策	飯田 泰之	090701	230
財政学	野村 容康	090801	230
金融論	代田 純	090901	231
社会政策	光岡 博美	091001	231
日本経済論	小林 正人	091101	232
国際経済論	徳永 俊明	091201	232
流通論基礎	姉齒 暁	091311	233
商学総論	姉齒 暁	091312	233
経営学基礎	百田 義治	091411	233
経営学総論	百田 義治	091412	233
会計学基礎	石川 純治	091511	234
会計学総論	石川 純治	091512	234
会計学総論	寺坪 修	091601	234
社会経済学 a	阿部 弘	097211	235
社会経済学 b	阿部 弘	097221	236
企業経済学 a	飯田 泰之	097231	236
企業経済学 b	飯田 泰之	097241	237
企業経営学 a	百田 義治	099991	237
企業経営学 b	百田 義治	099981	238
地域経済論 a	長山 宗広	097251	238
地域経済論 b	長山 宗広	097261	239
ゲーム理論 a	渡辺 泰典	097271	239

ゲーム理論 b	渡辺 泰典	097281	239
産業組織論 a	舘 健太郎	100631	240
産業組織論 b	舘 健太郎	100641	240
基礎ゼミ	勝田 佳裕	101211	241
基礎ゼミ	勝田 佳裕	101221	241
基礎ゼミ	小西 宏美	101231	241
基礎ゼミ	小西 宏美	101241	241
基礎ゼミ	佐藤 和子	101251	241
基礎ゼミ	佐藤 和子	101261	241
基礎ゼミ	松田 健	101271	242
基礎ゼミ	山下 裕介	101281	242
基礎ゼミ	山下 裕介	101291	242
基礎ゼミ	松本 典子	101311	242
情報入門I	羽田 美香	095411	243
情報入門I	羽田 美香	095421	244
情報入門I	山辺 茂之	095451	245
情報入門II	羽田 美香	095431	246
情報入門II	羽田 美香	095441	246
情報入門II	山辺 茂之	095461	247
簿記論	福島 隆	092101	247
簿記論	渡邊 智	092201	248
簿記論	北口 りえ	092301	248
企業論基礎	劉 永鶴	092411	249
ファイナンス基礎	須藤 時仁	092421	249
キャリア・デザイン	竹下 睿騏	099291	250
経済理論B・経済システムの原理	阿部 弘	090001	251
経済理論IB・経済システムの原理	阿部 弘	090002	251
経済数学	池田 宏	092501	251
応用ミクロ経済学	荒木 勝啓	092611	252
応用マクロ経済学	吉野 紀	092711	252
計量経済学	田中 正光	092801	253
統計原論	吉野 紀	092901	254
景気循環論	野村 信廣	093001	254
現代資本主義論	一井 昭	093101	255
市民と経済学 a	阿部 弘	093211	255
社会思想史 a	阿部 弘	093212	255
市民と経済学 b	阿部 弘	093221	256
社会思想史 b	阿部 弘	093222	256
日本経済史	渡邊 恵一	093301	256
西洋経済史	友松 憲彦	093401	257
農業政策	溝手 芳計	093501	258
工業政策	奥山 雅之	093601	259
経済地理	矢延 洋泰	093701	259
中小企業論	吉田 敬一	093811	260
中小企業政策論	吉田 敬一	093821	260
公共経済学 a	鈴木 伸枝	099111	261
公共経済学 b	鈴木 伸枝	099121	261
現代産業論 a	北嶋 守	100611	262
現代産業論 b	北嶋 守	100621	262
地方財政論	篠原 章	094101	263
国際金融論	田中 綾一	094201	263

人口論	森岡 仁	094301	264
教育経済論	谷敷 正光	094401	265
労働経済論	休講	094501	
福祉経済論	奥村 保規	093831	266
医療経済論	奥村 保規	093841	266
環境経済論	山口 由二	093901	267
アジア経済論	鄭 章淵	094601	268
中国経済論	小杉 修二	094701	269
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	270
E U統合論	工藤 芽衣	095001	270
現代西欧経済論	工藤 芽衣	095101	271
ロシア・東欧経済論	休講	095201	
貿易実務	休講	100311	
通関実務	休講	100321	
情報・経済ネットワーク論	中濱 光昭	095301	271
プログラミング論	濱本 和彦	095401	272
基礎情報処理I	相浦 宣徳	095901	273
基礎情報処理II	相浦 宣徳	096001	273
応用情報処理I	井川 俊実	096101	274
応用情報処理II	井川 俊実	096201	274
憲法	内田 真利子	098201	275
民法一部	竹中 智香	098301	275
民法二部	織田 晃子	098401	276
商法一部	荒木 正孝	098501	276
商法二部	中濱 義章	098601	277
経済法	若林 亜理紗	098701	277
労働法	藤本 茂	098801	278
行政法	小林 弘人	098901	278
国際法	橋本 清明	099001	279
税法I	休講	100451	
税法II	休講	100461	
経済外国書講読I a〔英語〕	鈴木 伸枝	099811	279
外国書講読I a〔英語〕	鈴木 伸枝	099812	279
経済外国書講読II a〔英語〕	鈴木 伸枝	099813	279
外国書講読II a〔英語〕	鈴木 伸枝	099814	279
経済外国書講読I b〔英語〕	鈴木 伸枝	099821	279
外国書講読I b〔英語〕	鈴木 伸枝	099822	279
経済外国書講読II b〔英語〕	鈴木 伸枝	099823	279
外国書講読II b〔英語〕	鈴木 伸枝	099824	279
経済外国書講読I a〔英語〕	長山 宗広	099831	280
外国書講読I a〔英語〕	長山 宗広	099832	280
経済外国書講読II a〔英語〕	長山 宗広	099833	280
外国書講読II a〔英語〕	長山 宗広	099834	280
経済外国書講読I b〔英語〕	長山 宗広	099841	280
外国書講読I b〔英語〕	長山 宗広	099842	280
経済外国書講読II b〔英語〕	長山 宗広	099843	280
外国書講読II b〔英語〕	長山 宗広	099844	280
経済外国書講読I a〔ドイツ語〕	有井 行夫	099931	280
外国書講読I a〔ドイツ語〕	有井 行夫	099932	280
経済外国書講読II a〔ドイツ語〕	有井 行夫	099933	280
外国書講読II a〔ドイツ語〕	有井 行夫	099934	280

経済外国書講読I b〔ドイツ語〕	有井 行夫	099941	280
外国書講読I b〔ドイツ語〕	有井 行夫	099942	280
経済外国書講読II b〔ドイツ語〕	有井 行夫	099943	280
外国書講読II b〔ドイツ語〕	有井 行夫	099944	280
経済外国書講読I a〔フランス語〕	清水 卓	100011	281
外国書講読I a〔フランス語〕	清水 卓	100012	281
経済外国書講読II a〔フランス語〕	清水 卓	100013	281
外国書講読II a〔フランス語〕	清水 卓	100014	281
経済外国書講読I b〔フランス語〕	清水 卓	100021	281
外国書講読I b〔フランス語〕	清水 卓	100022	281
経済外国書講読II b〔フランス語〕	清水 卓	100023	281
外国書講読II b〔フランス語〕	清水 卓	100024	281
経済外国書講読I a〔中国語〕	小杉 修二	100131	281
外国書講読I a〔中国語〕	小杉 修二	100132	281
経済外国書講読II a〔中国語〕	小杉 修二	100133	281
外国書講読II a〔中国語〕	小杉 修二	100134	281
経済外国書講読I b〔中国語〕	小杉 修二	100161	282
外国書講読I b〔中国語〕	小杉 修二	100162	282
経済外国書講読II b〔中国語〕	小杉 修二	100163	282
外国書講読II b〔中国語〕	小杉 修二	100164	282
経済外国書講読I a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100141	282
外国書講読I a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100142	282
経済外国書講読II a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100143	282
外国書講読II a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100144	282
経済外国書講読I b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100171	282
外国書講読I b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100172	282
経済外国書講読II b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100173	282
外国書講読II b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100174	282
経済外国書講読I a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100151	282
外国書講読I a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100152	282
経済外国書講読II a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100153	282
外国書講読II a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100154	282
経済外国書講読I b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100181	283
外国書講読I b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100182	283
経済外国書講読II b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100183	283
外国書講読II b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100184	283
現代経済事情I〔ロシアの現在〕	クロチコフ、Y.	100601	283
現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕	長瀬 理英	100701	283
現代経済事情III〔世界経済と中小企業〕	高田 好章	100801	284
現代経済事情IV〔今日の日本の医療現場〕	佐藤 公美子	100901	284
会計資格特別演習	休講	100511	／
情報資格特別演習I	休講	100411	／
情報資格特別演習II	休講	100421	／
教員試験特別演習	休講	100551	／
流通経済論	大吹 勝男	099211	285
商業政策	番場 博之	091701	286
マーケティング	曾我 信孝	091801	286
商品学	休講	096301	／
交通政策	休講	096402	／
交通論	休講	096401	／
商業史	幸野 保典	096501	287

消費経済論	姉齒 暁	096601	288
ロジスティックス	休講	099241	
企業管理論 a	岩波 文孝	091911	288
経営管理論 a	岩波 文孝	091912	288
企業管理論 b	岩波 文孝	091921	289
経営管理論 b	岩波 文孝	091922	289
経営管理論	岩波 文孝	091901	289
人的資源管理論 a	堀 龍二	092011	290
人的資源管理論 b	堀 龍二	092021	290
ビジネスの歴史 (日本)	宇田 理	096911	291
ビジネスの歴史 (欧米)	宇田 理	096921	291
労務管理論	堀 龍二	092001	292
企業戦略論 a	田淵 泰男	096711	292
経営戦略論 a	田淵 泰男	096712	292
企業戦略論 b	田淵 泰男	096721	293
経営戦略論 b	田淵 泰男	096722	293
グローバル・ビジネス論 a	日高 克平	095831	293
グローバル・ビジネス論 b	日高 克平	095841	294
企業統治論 a	水村 典弘	099181	294
企業統治論 b	水村 典弘	099191	295
現代企業論 a	松田 健	099331	295
現代企業論 b	松田 健	099341	296
経営学史	小阪 隆秀	096901	296
非営利組織論 a	松本 典子	097071	297
非営利組織論 b	松本 典子	097081	298
契約理論	村松 幹二	095311	298
経営情報システム論I	斎藤 隆	095701	299
経営情報システム論II	斎藤 隆	095801	299
財務会計論	寺坪 修	092401	300
会計監査論	森田 佳宏	097001	300
会計情報論	石川 純治	097301	301
企業倫理	桑山 三恵子	098161	301
企業社会責任論	桑山 三恵子	098171	301
管理会計論 a	石川 祐二	097111	302
管理会計論 b	石川 祐二	097121	302
原価計算論	鈴木 勝浩	097201	302
税務会計論	北口 りえ	097401	303
経営分析	渡邊 智	097501	303
※ 上級簿記	福島 隆	092311	516
コンピュータ会計I	鈴木 勝浩	095501	304
コンピュータ会計II	鈴木 勝浩	095601	304
貿易論	古沢 紘造	097601	305
銀行システム論	齊藤 正	097801	306
現代銀行事情	齊藤 正	097901	307
グローバル・ファイナンス	小西 宏美	098011	308
証券市場論	休講	098001	
保険論	休講	098101	
※ ビジネス英会話 a	井上 愛子	097141	518
※ ビジネス英会話 b	井上 愛子	097151	518
ビジネス・インターンシップ a	吉田 敬一 ・石川 祐二	099311	308

	・大石 雄爾		
ビジネス・インターンシップ b	吉田 敬一 ・石川 祐二	099321	309
ビジネス・インターンシップ b	阿部 弘	113171	309
ビジネス・インターンシップ b	石川 純治	113011	309
ビジネス・インターンシップ b	石川 祐二	113021	310
ビジネス・インターンシップ b	岩波 文孝	113031	310
ビジネス・インターンシップ b	大石 雄爾	113151	310
ビジネス・インターンシップ b	齊藤 正	113051	311
ビジネス・インターンシップ b	清水 卓	113061	311
ビジネス・インターンシップ b	代田 純	113071	311
ビジネス・インターンシップ b	瀬戸岡 紘	113081	312
ビジネス・インターンシップ b	徳永 俊明	113111	312
ビジネス・インターンシップ b	中濟 光昭	113161	313
ビジネス・インターンシップ b	百田 義治	113091	313
ビジネス・インターンシップ b	光岡 博美	113121	313
ビジネス・インターンシップ b	谷敷 正光	113131	314
ビジネス・インターンシップ b	吉田 敬一	113141	314
情報の経済学	館 健太郎	095321	315
法と経済学	村松 幹二	098181	315
制度の経済学	村松 幹二	098191	316
ファイナンス論 a	坂本 恒夫	096811	316
ファイナンス論 b	坂本 恒夫	096821	317
財務管理 a	坂本 恒夫	096812	317
財務管理 b	坂本 恒夫	096822	317
ネットワーク組織論 a	梅木 眞	095811	318
ネットワーク組織論 b	梅木 眞	095821	318
ボランティア経済 a	鈴木 岳	097011	319
ボランティア経済 b	鈴木 岳	097021	319
ベンチャー論	長山 宗広	097031	320
起業論	長山 宗広	097041	321
コミュニティ・ビジネス論	山口 浩平	097051	321
協同組合論	山口 浩平	097061	322
ビジネス事例研究	百田 義治	097161	322
トップ・マネジメント講座	百田 義治	097171	323
現代産業事情I	休講	101001	
現代産業事情II	休講	101101	
現代産業事情III	猿山 義弘	101201	323
演習I	浅野 克巳	101901	324
演習I	姉齒 暁	103901	324
演習I	阿部 弘	102001	325
演習I	荒木 勝啓	103501	325
演習I	有井 行夫	102401	325
演習I	飯田 泰之	104401	326
演習I	石川 純治	104601	326
演習I	石川 祐二	101801	327
演習I	岩波 文孝	102101	327
演習I	大石 雄爾	102201	328
演習I	大吹 勝男	101601	328
演習I	北口 りえ	104301	329
演習I	小杉 修二	104001	330

演習I	小西 宏美	101411	330
演習I	小林 正人	104901	331
演習I	齊藤 正	103301	331
演習I	清水 卓	102601	332
演習I	代田 純	101701	332
演習I	鈴木 伸枝	101501	332
演習I	瀬戸岡 紘	102801	333
演習I	曾我 信孝	103601	333
演習I	館 健太郎	101421	334
演習I	鄭 章淵	104801	334
演習I	徳永 俊明	103101	335
演習I	友松 憲彦	104701	335
演習I	中濟 光昭	102501	336
演習I	長山 宗広	101431	336
演習I	番場 博之	101481	337
演習I	百田 義治	103701	337
演習I	福原 好喜	104101	338
演習I	古沢 紘造	103801	338
演習I	堀 龍二	105101	339
演習I	松井 柳平	104201	339
演習I	松田 健	101441	340
演習I	松本 典子	101451	340
演習I	溝手 芳計	101301	341
演習I	光岡 博美	103001	341
演習I	村松 幹二	101461	341
演習I	森岡 仁	102701	342
演習I	森田 佳宏	101401	342
演習I	谷敷 正光	102301	343
演習I	安元 稔	104501	343
演習I	山縣 弘志	102901	344
演習I	吉田 敬一	103401	344
演習I	渡邊 恵一	105201	344
演習II	浅野 克巳	106001	345
演習II	姉齒 暁	108101	345
演習II	阿部 弘	106101	345
演習II	荒木 勝啓	107801	346
演習II	有井 行夫	106401	346
演習II	飯田 泰之	108301	346
演習II	石川 純治	109211	347
演習II	石川 祐二	105901	347
演習II	岩波 文孝	105801	348
演習II	大石 雄爾	106201	348
演習II	大吹 勝男	106501	349
演習II	北口 りえ	106701	349
演習II	小杉 修二	108201	350
演習II	小西 宏美	108501	350
演習II	小林 正人	108901	351
演習II	齊藤 正	107601	351
演習II	清水 卓	106601	351
演習II	代田 純	105701	352
演習II	鈴木 伸枝	105501	352

演習II	瀬戸岡 紘	107001	353
演習II	曾我 信孝	107901	353
演習II	館 健太郎	105311	354
演習II	鄭 章淵	108801	354
演習II	徳永 俊明	107401	355
演習II	友松 憲彦	108701	355
演習II	中濟 光昭	105601	355
演習II	長山 宗広	109201	356
演習II	番場 博之	105361	356
演習II	百田 義治	108001	357
演習II	福原 好喜	106801	357
演習II	古沢 紘造	107301	357
演習II	堀 龍二	109101	358
演習II	松井 柳平	109221	358
演習II	松田 健	105321	359
演習II	松本 典子	105331	359
演習II	溝手 芳計	105301	360
演習II	光岡 博美	107201	360
演習II	村松 幹二	105341	361
演習II	森岡 仁	106901	361
演習II	森田 佳宏	105401	361
演習II	谷敷 正光	106301	362
演習II	安元 稔	108401	362
演習II	山縣 弘志	107101	362
演習II	吉田 敬一	107701	363
演習II	吉野 紀	107501	363
演習II	渡邊 智	109001	363
演習II	渡邊 恵一	108601	364
演習III	浅野 克巳	109901	364
演習III	姉齒 暁	109411	364
演習III	阿部 弘	113201	364
演習III	荒木 勝啓	111701	365
演習III	有井 行夫	109291	365
演習III	飯田 泰之	109801	365
演習III	石川 純治	111601	365
演習III	石川 祐二	109701	366
演習III	岩波 文孝	110001	366
演習III	大石 雄爾	110101	367
演習III	大吹 勝男	110401	367
演習III	北口 りえ	109421	367
演習III	小杉 修二	112001	368
演習III	小西 宏美	109431	368
演習III	小林 正人	112901	369
演習III	齊藤 正	111501	369
演習III	清水 卓	110501	369
演習III	代田 純	109501	370
演習III	鈴木 伸枝	110601	370
演習III	瀬戸岡 紘	110901	370
演習III	曾我 信孝	111801	370
演習III	館 健太郎	109441	371
演習III	鄭 章淵	112801	371

演習III	徳永 俊明	111301	371
演習III	友松 憲彦	112601	372
演習III	中濟 光昭	112501	372
演習III	長山 宗広	109451	372
演習III	百田 義治	111901	373
演習III	福原 好喜	112201	373
演習III	古沢 紘造	111101	373
演習III	堀 龍二	113001	373
演習III	松井 柳平	113101	374
演習III	松田 健	109461	374
演習III	松本 典子	109471	374
演習III	溝手 芳計	109301	375
演習III	光岡 博美	111401	375
演習III	村松 幹二	109481	375
演習III	森岡 仁	110801	375
演習III	森田 佳宏	109401	376
演習III	谷敷 正光	110201	376
演習III	安元 稔	112301	376
演習III	山縣 弘志	111001	377
演習III	吉田 敬一	109601	377
演習III	吉野 紀	111201	377
演習III	渡邊 恵一	112401	377
演習III	渡邊 智	112701	378
会計プロフェッショナルクラスI (税理士) ・会計プロフェッショナルクラスII (税理士) ・会計プロフェッショナルクラスIII (税理士) ・会計プロフェッショナルクラスI (会計士) ・会計プロフェッショナルクラスII (会計士) ・会計プロフェッショナルクラスIII (会計士)	寺坪 修 ・石川 純治 ・石川 祐二 ・北口 りえ ・森田 佳宏	100211	378

Ⅲ. 他学部履修科目

・授業時間表「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
西洋思想史	河谷 淳	016701	381
日本民俗学	谷口 貢	017101	381
時事英語	杉山泰彦	027901	381
文化地理学	小田 匡保	033101	382
人口地理学	山内 昌和	035101	382
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	383
西洋文化史	西浦 麻美子	046911	383
日本史特講Ⅶ〔近代〕	熊本 史雄	048401	384
考古学特講Ⅲ	設楽 博己	052911	385
哲学史	山口 祐弘	053201	385
マス・コミュニケーション論	休講	059601	
産業・職業社会学	山田 信行	059701	386
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	386
国際政治学	小堀 訓男	126601	387
ヨーロッパ政治史	土井 美穂	126701	387
地方自治法	富井 幸雄	127501	388
比較政治学	三竹 直哉	128201	389
現代国家論	大塚 桂	133801	390
経営分析論	片桐 伸夫	141301	390
アメリカ経営学	宮城 徹	141201	391
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	392
医療経済学	奥村 保規	164701	392
メディア・コミュニケーション概論	西岡 洋子	427501	393
情報メディア産業論Ⅰ	福家 秀紀	432001	393
ネットワークコミュニケーション論	菅谷 実	432201	394
比較メディア制度論	西岡 洋子	432401	395
都市とメディア	高 媛	432501	395
グローバルアート政策論	川崎 賢一	432601	396
グローバル創造都市論	川崎 賢一	432701	397
情報保護と社会	苗村 憲司	434301	398
映像コンテンツ論	手塚 義治	435001	398
メディアと知識論	齋藤 信男	437101	399

Ⅳ. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語入門Ⅰa	歌代 礼子	230511	403
日本語入門Ⅰb	歌代 礼子	230521	403
日本語入門Ⅱa	歌代 礼子	230531	404
日本語入門Ⅱb	歌代 礼子	230541	404
日本語Ⅰa	佐野 典子	230611	404
日本語Ⅰb	佐野 典子	230621	405
日本語Ⅰa	多田羅 哲子	230631	405
日本語Ⅰb	多田羅 哲子	230641	405
日本語Ⅱa	佐野 典子	230711	405
日本語Ⅱb	佐野 典子	230811	405
日本語Ⅱa	多田羅 哲子	230721	406
日本語Ⅱb	多田羅 哲子	230821	406
日本語Ⅲa	多田羅 哲子	230911	406
日本語Ⅲb	多田羅 哲子	231011	406
日本語Ⅲa	湯村 礼子	230921	407
日本語Ⅲb	湯村 礼子	231021	407
日本語Ⅳa	歌代 礼子	231111	407
日本語Ⅳb	歌代 礼子	231211	408
日本語Ⅳa	湯村 礼子	231121	408
日本語Ⅳb	湯村 礼子	231221	408
日本語Ⅴa	石川 守	231311	409
日本語Ⅴb	石川 守	231411	409
日本語Ⅴa	多田羅 哲子	231321	409
日本語Ⅴb	多田羅 哲子	231421	409
日本語Ⅵa	石川 守	231511	410
日本語Ⅵb	石川 守	231611	410
日本語Ⅵa	多田羅 哲子	231521	410
日本語Ⅵb	多田羅 哲子	231621	410
日本事情Ⅰ〔地理〕	須山 聡	231701	411
日本事情Ⅱ〔自然〕	清水 善和	231801	411
日本事情Ⅲ〔歴史〕	井上 桂子	231901	411
日本事情Ⅳ〔思想〕	佐藤 美奈子	232001	412
日本事情Ⅴ〔社会〕	李 妍炎	232101	412
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹 直哉	232201	413
日本事情Ⅶ〔文学〕	坂口 博規	232301	413
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401	414
日本事情Ⅸ〔経済〕	渡邊 恵一	232501	414
日本事情Ⅹ〔経営〕	高井 徹雄	232601	415

V. 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	419
フランス語（海外演習）	—	—	419
中国語（海外演習）	—	—	419

I. 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード*	ページ
仏教と人間〔再クラス〕	池田 道浩	341601	427
仏教と人間〔再クラス〕	松本 史朗	341801	427
仏教と人間〔再クラス〕	四津谷 孝道	341901	428

2. 教養教育科目

・平成18年度以前入学生で『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	342401	431
文学〔日本文学「古典」〕	池田 大輔	342501	431
文学〔日本文学「近代」〕	中西 亮太	342601	432
文学〔日本文学「古典」〕	伊藤 達氏	342701	432
歴史学〔日本近代史〕	林 彰	342801	432
歴史学〔中国史概観〕	小林 惣八	342901	433
歴史学〔アジア史概観〕	山口 洋	343001	433
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之	343101	433
哲学〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	343201	434
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	343301	434
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	343401	434
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	343501	435
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	343601	435
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	343701	436

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	阿部 真大	344201	437
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	344301	437
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	344401	437
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	344501	438
法学・憲法〔法と権利〕	鶏徳 啓登	344601	438
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	344701	439
政治学〔政治システムと政治参加〕	真下 英二	344801	439
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	344901	440
経済学〔現代経済と人間〕	沼田 郷	345001	440
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	345101	441
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	345201	441

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	345301	442
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	345401	443
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	345501	443
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	345601	444
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口 隆	345701	444
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	谷本 玲大	345801	445
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口 隆	345901	446
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	谷本 玲大	346001	447
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346101	447
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346201	448

自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	346301	448
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	346401	448
情報数学〔情報と論理〕	小沢 誠	346501	449

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	狩野晃一	354601	453
英語IB〔再クラス〕	狩野晃一	354602	453
英語IA〔再クラス〕	近藤 真彫	354701	453
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彫	354702	453
英語IA〔再クラス〕	町田 成男	354901	454
英語IB〔再クラス〕	町田 成男	354902	454
英語IIA〔再クラス〕	川崎 浩太郎	355201	454
英語IIB〔再クラス〕	川崎 浩太郎	355202	454
英語IIA〔再クラス〕	岸本 茂和	355301	455
英語IIB〔再クラス〕	岸本 茂和	355302	455
英語IIA〔再クラス〕	笹倉 貞夫	355401	455
英語IIB〔再クラス〕	笹倉 貞夫	355402	455
英語IIA〔再クラス〕	本間 俊一	355501	455
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	355502	455
ドイツ語IA	清水 修	351401	456
ドイツ語IB	篠原 敏昭	351601	456
ドイツ語IIA	清水 修	351801	456
ドイツ語IIB	篠原 敏昭	351901	457
ドイツ語IA〔再クラス〕	南 はるつ	355601	457
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	355602	457
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	355701	457
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	355702	457
フランス語IA	高橋 明美	352001	457
フランス語IB	木下 雄介	352201	458
フランス語IIA	高橋 明美	352401	458
フランス語IIB	木下 雄介	352501	458
フランス語IA〔再クラス〕	長谷川 光明	355801	459
フランス語IB〔再クラス〕	長谷川 光明	355802	459
フランス語IIA〔再クラス〕	長谷川 光明	355901	459
フランス語IIB〔再クラス〕	長谷川 光明	355902	459
中国語IA	塩旗 伸一郎	352601	459
中国語IB	王 聡	352801	459
中国語IIA	秋元 翼	353001	460
中国語IIB	王 聡	353111	460
中国語IA〔再クラス〕	大久保 明男	356001	460
中国語IB〔再クラス〕	大久保 明男	356002	460
中国語IA〔再クラス〕	曹 泰和	356101	461
中国語IB〔再クラス〕	曹 泰和	356102	461
中国語IIA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356201	461
中国語IIB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356202	461
スペイン語IA	大岩 功	353401	461
スペイン語IB	中山 直次	353601	462
スペイン語IIA	大岩 功	353701	462
スペイン語IIB	中山 直次	353801	462
スペイン語IA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356401	463

スペイン語IB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356402	463
スペイン語IIA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356501	463
スペイン語IIB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356502	463
ロシア語IA	廣田 英靖	353901	463
ロシア語IB	廣田 英靖	354001	464
ロシア語IIA	廣田 英靖	354101	464
ロシア語IIB	廣田 英靖	354201	464
ロシア語IA〔再クラス〕	杉山 秀子	356601	465
ロシア語IB〔再クラス〕	杉山 秀子	356602	465
ロシア語IIA〔再クラス〕	杉山 秀子	356701	465
ロシア語IIB〔再クラス〕	杉山 秀子	356702	465

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英会話I	ロビン、G. F.	351201	466
英語LLI	川崎 浩太郎	351301	466
英会話II	ロビン、G. F.	354301	466
英語LLII	林 明人	354401	467

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ論	村松 誠	341201	471
健康・スポーツ論	三幣 晴三	341301	471
健康・スポーツ実習 (バドミントン) [再クラス]	秋田 浩一	340201	472
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー) [再クラス]	大石 武士	340201	472
健康・スポーツ実習 (バドミントン) [再クラス]	秋田 浩一	340301	473
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー) [再クラス]	大石 武士	340301	473
健康・スポーツ実習 (卓球) [再クラス]	村松 誠	340501	474
健康・スポーツ実習 (バドミントン) [再クラス]	三幣 晴三	340501	475
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎)	休講	—	
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用)	休講	—	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎)	休講	—	
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)	休講	—	
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン基礎) (ゴルフ)	光永 吉輝 ・佐藤 政之 ・下谷内 勝利 ・鈴木 淳平 ・館岡 儀秋 ・田中 佳孝 ・村松 誠 ・三幣 晴三	199301	210
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン応用) (ゴルフ)	光永 吉輝 ・佐藤 政之 ・下谷内 勝利 ・鈴木 淳平 ・館岡 儀秋 ・田中 佳孝 ・村松 誠 ・三幣 晴三	199302	210
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199401	211
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199402	211

Ⅱ. 専門教育科目

- ・平成18年度以前入学生で、『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスBの科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
基礎ゼミ	休講	—	/
経済学入門	休講	—	/
経済学概説	森田 成也	306611	479
キャリア・デザイン	休講	—	/
経済理論IA・資本の原理	阿部 弘	306701	480
経済理論IB・経済システムの原理	休講	306801	/
経済理論II・ミクロ経済学	休講	306901	/
経済理論II・マクロ経済学	浅野 克巳	307001	481
経済学史	福原 好喜	308301	482
経済数学	休講	312101	/
応用ミクロ経済学	荒木 勝啓	311411	483
応用マクロ経済学	吉野 紀	309511	483
計量経済学	休講	312301	/
統計原論	休講	307701	/
景気循環論	休講	309001	/
現代資本主義論	一井 昭	312501	484
社会思想史 a	休講	312611	/
社会思想史 b	休講	312621	/
経済史	安元 稔	307301	484
日本経済史	渡邊 恵一	308201	485
西洋経済史	休講	307401	/
経済政策	休講	307201	/
農業政策	休講	309101	/
工業政策	奥山 雅之	309201	485
経済地理	休講	308701	/
中小企業論	休講	311311	/
中小企業政策論	休講	311401	/
環境経済論	休講	312801	/
公共経済学 a	休講	313511	/
公共経済学 b	休講	313521	/
財政学	野村 容康	308501	486
地方財政論	篠原 章	312701	487
金融論	休講	308601	/
国際金融論	田中 綾一	311001	487
社会政策	休講	311801	/
人口論	休講	311701	/
教育経済論	谷敷 正光	310901	488
労働経済論	休講	310801	/
日本経済論	休講	309801	/
国際経済論	休講	308901	/
アジア経済論	鄭 章淵	310001	489
中国経済論	小杉 修二	309901	490

アメリカ経済論	休講	310201	
E U統合論	休講	310111	
現代西欧経済論	休講	310121	
ロシア・東欧経済論	休講	310301	
情報・経済ネットワーク論	休講	311901	
プログラミング論	濱本 和彦	312001	491
情報処理論	岩瀬 弘和	312401	491
※ 応用情報処理I	井川 俊実	096101	274
※ 応用情報処理II	井川 俊実	096201	274
商学総論	大吹 勝男	307501	492
企業経営学 a	名取 修一	307611	492
企業経営学 b	名取 修一	307621	493
※ 企業論基礎	劉 永鵬	092411	249
会計学総論	休講	307101	
簿記論	鈴木 勝浩	307901	493
※ ファイナンス基礎	須藤 時仁	092421	249
貿易実務	荒畑 治雄	314201	494
通関実務	荒畑 治雄	314301	495
憲法	内田 真利子	313401	495
民法一部	織田 晃子	307801	496
民法二部	中田 英幸	325002	496
商法一部	井上 健一	308801	497
商法二部	中濱 義章	324902	497
経済法	荒井 登志夫	325201	498
労働法	藤本 茂	325101	498
行政法	塩入 みほも	323602	499
国際法	王 志安	323401	500
社会保障法	脇野 幸太郎	325301	500
保険・海商法	井上 健一	326501	501
商法総則・商行為法	川口 幸美	325501	501
税法I	奥村 正郎	314001	502
税法II	奥村 正郎	314101	502
※ 経済外国書講読I a〔英語〕	鈴木 伸枝	099811	279
※ 経済外国書講読II a〔英語〕	鈴木 伸枝	099813	279
※ 経済外国書講読I b〔英語〕	鈴木 伸枝	099821	279
※ 経済外国書講読II b〔英語〕	鈴木 伸枝	099823	279
※ 経済外国書講読I a〔英語〕	長山 宗広	099831	280
※ 経済外国書講読II a〔英語〕	長山 宗広	099833	280
※ 経済外国書講読I b〔英語〕	長山 宗広	099841	280
※ 経済外国書講読II b〔英語〕	長山 宗広	099843	280
※ 経済外国書講読I a〔ドイツ語〕	有井 行夫	099931	280
※ 経済外国書講読II a〔ドイツ語〕	有井 行夫	099933	280
※ 経済外国書講読I b〔ドイツ語〕	有井 行夫	099941	280
※ 経済外国書講読II b〔ドイツ語〕	有井 行夫	099943	280
※ 経済外国書講読I a〔フランス語〕	清水 卓	100011	281
※ 経済外国書講読II a〔フランス語〕	清水 卓	100013	281
※ 経済外国書講読I b〔フランス語〕	清水 卓	100021	281
※ 経済外国書講読II b〔フランス語〕	清水 卓	100023	281
※ 経済外国書講読I a〔中国語〕	小杉 修二	100131	281
※ 経済外国書講読II a〔中国語〕	小杉 修二	100133	281
※ 経済外国書講読I b〔中国語〕	小杉 修二	100161	282

※ 経済外国書講読II b〔中国語〕	小杉 修二	100163	282
※ 経済外国書講読I a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100141	282
※ 経済外国書講読II a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100143	282
※ 経済外国書講読I b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100171	282
※ 経済外国書講読II b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100173	282
※ 経済外国書講読I a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100151	282
※ 経済外国書講読II a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100153	282
※ 経済外国書講読I b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100181	283
※ 経済外国書講読II b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100183	283
現代経済事情I〔ロシアの現在〕	クロチコフ、Y.	314401	503
現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕	長瀬 理英	314501	503
現代経済事情III〔世界経済と中小企業〕	高田 好章	314601	504
現代経済事情IV〔今日の日本の医療現場〕	佐藤 公美子	314701	504
現代産業事情I	休講	314801	
現代産業事情II	休講	314901	
会計資格特別演習	鈴木 勝浩	313701	505
情報資格特別演習I	永井 勇	313801	506
情報資格特別演習II	井川 俊実	313901	507
教員試験特別演習	谷敷 正光	313601	508
※ 流通経済論	大吹 勝男	099211	285
商業政策	番場 博之	309301	509
マーケティング	休講	311101	
商品学	休講	313301	
交通政策	金 兌奎	309702	510
交通論	金 兌奎	309701	510
商業史	休講	311601	
消費経済論	休講	313101	
※ ロジスティックス	休講	099241	
経営管理論 a	休講	330111	
経営管理論 b	休講	330121	
人的資源管理論 a	休講	312211	
人的資源管理論 b	休講	312221	
経営戦略論 a	田淵 泰男	330011	511
経営戦略論 b	田淵 泰男	330021	511
企業統治論 a	水村 典弘	314351	512
企業統治論 b	水村 典弘	314361	512
現代企業論 a	松田 健	314391	513
現代企業論 b	松田 健	314411	513
財務管理 a	休講	310611	
財務管理 b	休講	310621	
経営学史	休講	308401	
非営利組織論 a	松本 典子	314371	514
非営利組織論 b	松本 典子	314381	514
※ 経営情報システム論I	斎藤 隆	095701	299
※ 経営情報システム論II	斎藤 隆	095801	299
財務会計論	休講	308001	
会計監査論	森田 佳宏	310501	515
会計情報論	休講	309411	
管理会計論 a	休講	308111	
管理会計論 b	休講	308121	
原価計算論	休講	309401	

税務会計論	高木 克己	332301	515
経営分析	休講	312901	
上級簿記	福島 隆	092311	516
※ コンピュータ会計I	鈴木 勝浩	095501	304
※ コンピュータ会計II	鈴木 勝浩	095601	304
貿易論	休講	309601	
銀行システム論	休講	310421	
現代銀行事情	休講	310411	
証券市場論	広田 真人	310701	517
保険論	宮地 朋果	313201	517
※ ビジネス事例研究	百田 義治	097161	322
※ トップ・マネジメント講座	百田 義治	097171	323
ビジネス英会話 a	井上 愛子	097141	518
ビジネス英会話 b	井上 愛子	097151	518
※ ビジネス・インターンシップ a	吉田 敬一 ・石川 祐二 ・大石 雄爾	099311	308
※ ビジネス・インターンシップ b	吉田 敬一 ・石川 祐二	099321	309
※ ビジネス・インターンシップ b	岩波 文孝	113031	310
※ ビジネス・インターンシップ b	齊藤 正	113051	311
※ ビジネス・インターンシップ b	清水 卓	113061	311
※ ビジネス・インターンシップ b	代田 純	113071	311
※ ビジネス・インターンシップ b	瀬戸岡 紘	113081	312
※ ビジネス・インターンシップ b	百田 義治	113091	313
※ ビジネス・インターンシップ b	谷敷 正光	113131	314
※ ビジネス・インターンシップ b	休講	113041	
※ 現代産業事情III	猿山 義広	101201	323
グローバル・ファイナンス	小西 宏美	313911	519
※ 契約理論	村松 幹二	095311	298
※ 情報の経済学	館 健太郎	095321	315
※ 法と経済学	村松 幹二	098181	315
※ 制度の経済学	村松 幹二	098191	316
※ グローバル・ビジネス論 a	日高 克平	095831	293
※ グローバル・ビジネス論 b	日高 克平	095841	294
※ 企業倫理	桑山 三恵子	098161	301
※ 企業社会責任論	桑山 三恵子	098171	301
※ ビジネスの歴史 (日本)	宇田 理	096911	291
※ ビジネスの歴史 (欧米)	宇田 理	096921	291
※ ネットワーク組織論 a	梅木 眞	095811	318
※ ネットワーク組織論 b	梅木 眞	095821	318
※ 福祉経済論	奥村 保規	093831	266
※ 医療経済論	奥村 保規	093841	266
※ ボランティア経済 a	鈴木 岳	097011	319
※ ボランティア経済 b	鈴木 岳	097021	319
※ ベンチャー論	長山 宗広	097031	320
※ 起業論	長山 宗広	097041	321
※ コミュニティ・ビジネス論	山口 浩平	097051	321
※ 協同組合論	山口 浩平	097061	322
演習II	浅野 克己	316901	519
演習III	浅野 克己	316902	519

演習Ⅱ	姉齒 暁	317201	520
演習Ⅲ	姉齒 暁	317202	520
演習Ⅱ	阿部 弘	319001	520
演習Ⅲ	阿部 弘	319002	520
演習Ⅱ	石川 純治	318601	520
演習Ⅲ	石川 純治	318602	520
演習Ⅱ	石川 祐二	320301	521
演習Ⅲ	石川 祐二	320302	521
演習Ⅱ	岩波 文孝	320911	521
演習Ⅲ	岩波 文孝	320912	521
演習Ⅱ	大石 雄爾	320201	522
演習Ⅲ	大石 雄爾	320202	522
演習Ⅱ	大吹 勝男	320601	522
演習Ⅲ	大吹 勝男	320602	522
演習Ⅱ	小杉 修二	317001	523
演習Ⅲ	小杉 修二	317002	523
演習Ⅱ	小西 宏美	317601	523
演習Ⅲ	小西 宏美	317602	523
演習Ⅱ	小林 正人	320801	524
演習Ⅲ	小林 正人	320802	524
演習Ⅱ	齊藤 正	318201	524
演習Ⅲ	齊藤 正	318202	524
演習Ⅱ	清水 卓	318801	525
演習Ⅲ	清水 卓	318802	525
演習Ⅱ	代田 純	319801	525
演習Ⅲ	代田 純	319802	525
演習Ⅱ	鈴木 伸枝	317101	525
演習Ⅲ	鈴木 伸枝	317102	525
演習Ⅱ	瀬戸岡 紘	318701	526
演習Ⅲ	瀬戸岡 紘	318702	526
演習Ⅱ	曾我 信孝	318401	526
演習Ⅲ	曾我 信孝	318402	526
演習Ⅱ	舘 健太郎	317901	527
演習Ⅲ	舘 健太郎	317902	527
演習Ⅱ	鄭 章淵	320501	527
演習Ⅲ	鄭 章淵	320502	527
演習Ⅱ	友松 憲彦	319101	528
演習Ⅲ	友松 憲彦	319102	528
演習Ⅱ	長山 宗広	319301	528
演習Ⅲ	長山 宗広	319302	528
演習Ⅱ	番場 博之	321201	529
演習Ⅲ	番場 博之	321202	529
演習Ⅱ	百田 義治	317501	529
演習Ⅲ	百田 義治	320901	529
演習Ⅱ	福原 好喜	317701	530
演習Ⅲ	福原 好喜	317702	530
演習Ⅱ	堀 龍二	321241	530
演習Ⅲ	堀 龍二	321242	530
演習Ⅱ	松井 柳平	321211	531
演習Ⅲ	松井 柳平	321212	531
演習Ⅱ	松田 健	321261	531

演習III	松田 健	321262	531
演習II	松本 典子	319901	532
演習III	松本 典子	319902	532
演習II	溝手 芳計	320001	532
演習III	溝手 芳計	320002	532
演習II	谷敷 正光	318901	533
演習III	谷敷 正光	318902	533
演習II	安元 稔	321251	533
演習III	安元 稔	321252	533
演習II	山縣 弘志	319601	533
演習III	山縣 弘志	319602	533
演習II	渡邊 恵一	320921	534
演習III	渡邊 恵一	320922	534

Ⅲ. 他学部履修科目

・授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本法制史	茂野 隆晴	324001	537
西洋法制史	休講	324101	
法思想史	高橋 洋城	324201	538
国際関係論	三船 恵美	325401	539
地方自治法	富井 幸雄	326001	539
国際紛争解決法	王 志安	326201	540
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	540
国際会計論	山田 純平	334001	541

IV. 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード*	ページ
英語（海外演習）	—	—	545
フランス語（海外演習）	—	—	545
中国語（海外演習）	—	—	545

経 済 学 科

経済学科フレックスA

商 学 科

現代応用経済学科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

履修コード	203401
科目名	仏教と人間
担当者名	金沢 篤 <small>あつし</small>

講義のねらい ほぼ2,500年前に遥か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。人間にとっての大事な資源たる仏教にともかくも関心を持つことから始めたい。

講義の内容・授業スケジュール 仏教の成立と展開を歴史的なパースペクティブの下に捕えた後に、順次、仏教の諸相について概説する。

◎「仏教と人間」とは？(1～2) 講義科目の説明と位置づけ

◎仏教とは？(3～15) 日本人の生活と仏教 仏教の起源と展開 日本への仏教の伝播

◎仏教出現の意義と独自性(16～22) ヒンドゥー教と仏教：ダルマと業理論を中心に 釈尊の仏教と仏教のその後の変容

◎仏教と人間：むすび(23～) 今後の展望

履修上の留意点 仏教への関心を読書習慣を培う形で醸成すると共に、読み書き等の日本語力を高めてほしい。

成績評価の方法 成績評価は、夏・冬の年2回実施するレポート課題と年度末の定期試験によって行うが、出席状況に基づく平常点を考慮する場合もある。

教科書 渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円

参考書等 授業中に適宜紹介する。

履修コード	203501
科目名	仏教と人間
担当者名	程 正 <small>せい</small>

講義のねらい この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。

宗教について(5回)・世界の三大宗教(3～4回)・ブッダの生涯(2～3回)・ブッダの悟りと教え(2～3回)・インド仏教の展開(2～3回)・仏教東漸(インドから中国へ)(1回)・中国仏教の展開(3～4回)・中国禅宗の成立と展開(3～4回)・日本への仏教伝来とその展開(1～2回)・道元禅の成立と展開(1～2回)

履修上の留意点 講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法 夏休みの課題レポート(20点)、期末テスト(60点)、出席点(20点)の三つを総合的に評価する。

教科書 プリント配布。

参考書等 適宜に紹介する。

履修コード	203601
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 奮参 <small>いけだ ふうさん</small>

講義のねらい 各自の人生行路において指針となるべき一大事を、仏教思想とその人間像から学んで欲しい。

講義の内容・授業スケジュール 仏教に出会った人々がどのように生きたか、インド・中国・日本の三国の歴史的背景の中で仏教の人間像をどのように形成していったか、以下のスケジュールにそって明らかにしたい。

〔前期〕(1) 釈尊の生涯

(2) 釈尊と出会った人々

(3) 仏教思想の特色

(4) 仏教と出会った人々

〔後期〕(5) 中国に仏教を伝えた人々

(6) 中国仏教を展開させた人々

(7) 日本に仏教を伝えた人々

(8) 日本仏教を展開させた人々

履修上の留意点 仏教と人間のためにだけ使うノートを用意すること。しっかり聴いて疑問点があったら素直に質問すること。

成績評価の方法 平常の出席状況。課題レポートの提出。定期試験の成績を総合して評価する。

教科書 特に教科書を指定しない。

参考書等 テーマ毎に参考書・必読書等を講義の中で紹介するので、できるだけ多く読書するようにして欲しい。

履修コード	203701
科目名	仏教と人間
担当者名	永井 政之

講義のねらい 入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件—オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ—は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといってよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお、「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・授業スケジュール

(1~3) そもそも「宗教」とは何なのか。人間にとってどのような意味があるのかを考えます。(4~10) ブッダによって説かれた「仏教」とはどんな教えなのかを考えます。(11~30) ダルマによって中国に伝えられたという禅とはどんな風に人間を捉えるのかを紹介しつつ、道元の禅にまで論及したいと思います。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること(出席をとります)。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

成績評価の方法

授業には必ず出席すること。(出席をとります)。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

履修コード	203801
科目名	仏教と人間
担当者名	石井 修道

講義のねらい 「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにしていきたい。

特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 宗教と自己との関係。(2) 釈尊の伝記と教え(七回)。(3) 中国禅者の個性と特色(六回)。(4) 日中交流と仏教(三回)。(5) 道元の伝記と思想(五回)。(6) 坐禅。(7) 曹洞宗(二回)。

履修上の留意点

「仏道をならうとは、自己をならうなり」(道元)をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法

レポート(夏休み後に提出)20点と学期末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)693円

履修コード	203901
科目名	仏教と人間
担当者名	片山 一良

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
人間にとって宗教とは何かを考え、宗教としての仏教とは何かを考えたい。
前半は宗教一般について、1、宗教と呪術、2、神話と儀礼、3、民族宗教と世界宗教などについて、後半は仏教の基本的な考え方について、1、縁起と四諦、2、輪廻と涅槃、3、智慧と慈悲などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等
「人間学」として把握し、学ぶことが望まれる。
レポート（夏期）および年度末テストによる。
片山一良『ダンマパダをよむ』（上巻「仏伝」・下巻「仏法」）
NHK出版・平成十九年

その他
随時、資料プリントを配布する。

履修コード	204001
科目名	仏教と人間
担当者名	飯塚 大展

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
仏教について基本的な概念の理解に主眼を置く。
釈尊の生涯（1～5）、インドにおける仏教の展開（原始仏教、部派仏教、大乘仏教、6～10）、仏教の伝播（南伝仏教、北伝仏教、東アジア圏における仏教受容、11～15）、日本仏教史（主要な仏教各宗について概説したあと、古代仏教史、中世仏教史、近世仏教史、近代仏教史を順次講義、16～30）。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
本講義専用のノートを準備すること。
平常点（30点配分）と期末試験（70点）を以て評価する。
教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
参考書は随時紹介する。

履修コード	204011
科目名	仏教と人間
担当者名	程 正

講義のねらい
この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール
この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
宗教について（5回）・世界の三大宗教（3～4回）・ブッダの生涯（2～3回）・ブッダの悟りと教え（2～3回）・インド仏教の展開（2～3回）・仏教東漸（インドから中国へ）（1回）・中国仏教の展開（3～4回）・中国禅宗の成立と展開（3～4回）・日本への仏教伝来とその展開（1～2回）・道元禅の成立と展開（1～2回）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
夏休みの課題レポート（20点）、期末テスト（60点）、出席点（20点）の三つを総合的に評価する。
プリント配布。
適宜に紹介する。

履修コード	204021
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>ふるやま けんいち</small> 古山 健一

講義のねらい 仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、さまざまに変容・発展しつつ、アジアの広大な地域に伝播した。本講義では、特に初期の仏教に重点を置いてその思想を学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール まず、釈尊の生涯と重要な教説を要点的にとりあげ、次いで初期仏教における仏教徒の生活倫理について詳説する。さらに、仏教の現代社会における意義について、東南アジアの仏教諸国で社会活動に参画する僧侶（タイの開発僧など）の思想と行動をとりあげ、解説する。

履修上の留意点 特になし。

成績評価の方法 授業への出席回数と、夏休みの提出課題及び学年末の提出課題により評価する。

教科書 プリント随時配布する。

参考書等 中村元『原始仏教 その思想と生活』（日本放送出版協会）、913円、ISBN：4140011114；中村元・三枝充恵『バウッダ・佛教』（小学館）、3262円、ISBN4095580011；水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）、2100円、ISBN4393106040；西川潤編『アジアの内発的発展』（藤原書店）、2625円、ISBN894342286

その他 参考書等については初回の授業で追加指示する。

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>よしづ よしひで</small> 吉津 宜英

講義のねらい まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書 特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等 講義の中で随時参考図書を紹介いたします

その他 私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	しもむら かくどう 下室 寛道

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯と基本的な教え、仏教各地への伝播状況などについて理解し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって、釈尊の生涯とその教えを見ていく。次に釈尊亡き後の仏教の展開をたどり、各地域への仏教の伝播状況、その特色などについて学んでいく。特に伝播過程における日本曹洞宗の開祖である道元禅師については細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

仏教の基本的な知識を習得し、生きる指針にして欲しい。
授業の出席状況、年度末試験により評価する。

参考書等

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）
尚、プリントを随時配布する。
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）
奈良康明『ブッダ 知れば知るほど』（実業之日本社）など

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	おおたに てつお 大谷 哲夫

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心にして講義を進める。

履修上の留意点

日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。

成績評価の方法
教科書

出席状況とレポートを加味して評価する。
特になし。必要な資料は随時配布する。

参考書等

必要に応じて適宜指示する。

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで-
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観-
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘經典-
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立-
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代-

履修上の留意点

上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。
仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法
教科書

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
特になし。板書が中心となる。

参考書等
その他

授業において必要があれば適宜指示する。
試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	<small>おがわ としゆき</small> 小川 順敬

講義のねらい 人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようなとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年数回の「小試験」(出席点として処理します)および夏期レポート(前期試験に相当します)、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

**教科書
参考書等**

原則として教科書は用いません。
講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	<small>やの ひでたけ</small> 矢野 秀武

講義のねらい 宗教は、心の次元の事柄であり、深い精神性に関わり、また言い尽くしがたい個々人の思いや人生と密接なつながりをもっている。しかし、それらの信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに、宗教集団の形成や変容の過程、カルト問題、現代文化における儀礼・祭礼や精霊信仰などをとりあげ、宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識を学ぶ。後期は、戦争やテロリズムなどの社会的暴力、ナショナリズム、民主主義、法律、教育、福祉活動といったテーマと宗教の接点をとりあげ、宗教が私的な信仰心の側面だけではなく、社会一般の制度と関わる公的側面を持っている点について解説する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等

授業時に随時紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	佐藤 憲昭

講義のねらい 私たちは自分の好みに合わせて、例えば、服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会に伝承され、社会で期待されている色彩の服装を身につけるのがふつうである。色彩の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。しかも色彩の象徴的意味は、民族が異なると正反対の意味をもつなど、決して人類に普遍的なものではない。この講座では、内外の事例を紹介しながら、カラー・シンボリズムについて、その文化的背景に焦点を合せて考察し、「文化と宗教」の問題に接近してみたい。

講義の内容・授業スケジュール 次のテーマのもとに具体的に考察する。
 1. 人類学の視点と方法 (1～3)、2. 文化の概念 (4～6)、3. 文化の特質と機能 (7～9)、4. 文化と社会構造 (10～12)、5. 文化人類学・民俗学における色彩の研究小史 (13～15)、6. 通過儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題 (16～18)、7. 仏教儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題 (19～24)、8. 王権のカラー・シンボリズム (25～26)、9. 宗教的職能者のカラー・シンボリズム (27～29)、10. 総括 (30)。

履修上の留意点 ときどき出席をとるので、欠席をする場合 (または出席をした場合) には、欠席届 (形式は任意) を提出することが望ましい。

成績評価の方法 学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、出席点とレポート点 (4年生のみ該当) を加算して最終評価を行う。4年生のみの提出レポートは、次の通りである。【課題】教科書を読み、その感想文を作成する。【字数】2000字。【提出先と時期】12月までの授業時に随時受けつける。【その他】ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。なお、追試験は実施する。

教科書参考書等 佐々木宏幹『神と仏と日本人――宗教人類学の構想――』(吉川弘文館)
 授業中に適宜紹介する。

履修コード	206401・206501
科目名	坐禅
担当者名	佐藤 秀孝・池上 光洋

講義のねらい 駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらおうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょ。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール 半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点 実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明があるので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。事前登録科目ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

成績評価の方法 出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書参考書等 適宜、プリントにて配布します。

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	210401
科目名	科学史〔科学と技術〕
担当者名	たかはし しゅうゆう 高橋 秀裕

講義のねらい	今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望も含めて講義する。
履修上の留意点	いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード(兼出席票)を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。
成績評価の方法	出席・随時レポートによる平常点(40%)および定期試験(60%)の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 講義の際に適宜紹介する。 講義形式、随時プリント配布。

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	きたの よしえ 北野 良枝

講義のねらい	室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。
講義の内容・授業スケジュール	前期 室町から桃山時代の絵画 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識 (3)～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派 (11)～(12) 狩野正信・元信 (13)～(15) 狩野永徳と桃山画壇 後期 江戸時代の絵画 (16) 江戸時代の狩野派 (17)～(20) 琳派 (21)～(22) 浮世絵 (23) 南蘋派 (24) 文人画 (25)～(26) 秋田蘭画と司馬江漢 (27) 円山四条派 (28) 伊藤若冲と曾我蕭白 (29)～(30) 江戸から明治へ
履修上の留意点	授業中の私語は厳禁。
成績評価の方法	学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。
参考書等	画像を映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。 『原色日本の美術』(小学館) 『日本美術全集』(学習研究社) 『日本美術絵画全集』(集英社) 『日本美術全集』(講談社)

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 陽子

講義のねらい ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期 16世紀および17世紀のフランス美術
後期 18世紀のフランス美術

履修上の留意点 作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法 夏休みの課題リポートを提出し、学年末の試験を受けた学生を評価の対象とします。リポートや試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等 高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫
大野芳材『フランス近世の美術』財務省印刷局
その他、授業中に適宜紹介します。

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子

講義のねらい 音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール 前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア
後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

履修上の留意点 ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法 前期：試験またはレポート
後期：試験

教科書 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等 藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）
岡田暁生 『西洋音楽史』

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	池上 良正 <small>いけがみ よしまさ</small>

講義のねらい 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。

年度末に筆記試験を行なう。

特に指定しない。

『岩波講座・宗教』(全10巻)(岩波書店)。『エリアーズ著作集』(せりか書房)。脇本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫)。加藤隆『新約聖書の誕生』(講談社)。ラーンジュ『ユダヤ教とはなにか』(青土社)。板垣雄三『イスラーム誤認』(岩波書店)。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	田中 かの子 <small>たなか かのこ</small>

講義のねらい ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類(例:「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」)から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期(1～15)は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期(16～30)は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他**

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験(追試なし)。

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』(北樹出版)2007年、改版(第3刷発行)

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 ^{おがわ} 順敬 ^{としゆき}

講義のねらい	人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。
講義の内容・ 授業スケジュール	この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。 まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。
成績評価の方法	評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書 参考書等	原則として教科書は用いません。 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 ^{やの} 秀武 ^{ひでたけ}

講義のねらい	宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教学人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教学人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的な側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。
成績評価の方法	レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。
教科書 参考書等	なし 授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清 <small>すがはら としきよ</small>

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあつて人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教学人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教学人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教学人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

(隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)

履修上の留意点

講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。

成績評価の方法

試験 + α + β (詳細は、講義の時説明)

α = 座席点 (ABC で、積極的な授業参加を評価します)

β = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します)

教科書等

特には、指定しません。
『宗教学ハンドブック』(世界書院)

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

講義ノートを実際にプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。

その他

授業の方法一講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思います。調査 Field Work に関心のある方(社会・文化人類学、宗教学人類学)是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野 靖二 <small>ほしの せいじ</small>

講義のねらい

本講座では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

[01] はじめに。[02~06] 現代社会における宗教：今、どのような形で宗教が問題になっているのかについて検討します。[07~11] 宗教学の考え方について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[12~15] 世界の宗教：様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[16~21] 日本における宗教の歴史：現代までの日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[22~29] 私たちと宗教：現代日本における宗教、特に民俗宗教の位置付けについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[30] おわりに。

履修上の留意点
成績評価の方法

講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。

レポート(70点)とコメントカード(30点)によって評価します。また発言や質問など、積極的な授業参加は加点の対象とします。

教科書等

特に使用しません。

棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005

関一敏・大塚和夫編『宗教学人類学入門』弘文堂、2004

島蘭進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006

末本文美士『日本宗教史』岩波書店、2006

その他

詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎 <small>やまぐち たろう</small>

講義のねらい	本講義では、都市、とりわけ東京を通じて、地理的想像力を磨くことを目的とする。今年度は都市の文化社会地理について、前期は総論を、後期はいくつかの場所を事例として紹介していく予定である。地理的想像力という教室で学習したことを、日常生活の中で振り返ることができれば理想的である。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 1: イントロダクション 2: 東京の自然史 3-4: 東京の歴史社会地理 5: 横浜の歴史社会地理 6: 大阪の歴史社会地理 7: 東京の社会地図 8-10: 都市の観察法 11: 都市計画 12: 都市空間と権力 13: 都市空間とジェンダー (後期) 1-5: 東京の文化地理(渋谷, 秋葉原, 池袋, 大久保, 新宿, 代官山, 下北沢など) 6-9: 戦前の郊外の文化地理(東京圏, 阪神間) 10-12: 戦後の郊外の文化社会地理(ニュータウン, 団地再生, 世代論など) 13: 予備日 14: テスト
履修上の留意点 成績評価の方法	出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行う試験、小レポート等の課題とで総合的に評価する。
教科書 参考書等 その他	特定の教科書は用いない。プリントを配布する。 授業の中で紹介していく。 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろなところへ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	坪井 壱太郎 <small>ついでい 壱たろう</small>

講義のねらい	本講義では、「風土」や「文化」といった抽象的な概念を、受講者自身がより身近に実感できる都市や環境に関するテーマを中心に国内外の地域統計データ等を利用することにより、変化や分布を理解し、解釈する方法を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	事象把握のための理論的背景を踏まえ、それに基づくデータを用いた応用・作業と解釈を通した講義を行う。 (1) 各種統計データの取得方法、作図・作表の方法、主題地図の作成方法 (2) 都市の構造と風土と文化 (3) 住環境における風土と文化 (4) 水利用における風土と文化 (5) 空間情報社会における風土と文化
履修上の留意点	本講義では、受講生自らがデータの集計・作図等の作業を通して解釈し記述することで理解を深めることを目指すものであり、任意または指定のデータに関する簡易な分析を行うため、毎講義時に必ず電卓を持参すること。
成績評価の方法 教科書 参考書等	前期(2回)と後期(2回)の課題レポートで総合的に評価する。 特に指定しないが、講義内で適宜紹介をする 浮田典良編『ジオ・パル21ー地理学便利帖一』(海青社) 2625円 菊池俊夫・若林芳樹・山根 拓・島津俊之『人間環境の地理学』(開成出版) 1860円

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎吾

講義のねらい 本講義は、身近な社会問題を取りあげ、地域的な差異の存在と、その要因について議論し、人文地理学の基礎的知識および社会問題への関心を深めることを目的とする。今年度は、昨今話題となっている大都市と地方との「格差」を中心テーマとし、地理学的な視点から、都市の形成過程、人口の移動について概説する。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、まず既存の文献を紹介し、抽象的な概念である「空間」について、事例を紹介しながら概説する。つぎに、日常行動の発生について、通勤・通学行動を事例にその移動パターンや、それによって引き起こされる問題を取りあげる。
後期は、人生過程の中で生じる移動と、都市の形成・拡大について概観する。ここでは、大都市圏と地方での人口移動現象に着目し、なぜ大都市に人々が集まるのかをテーマとする予定である。詳細は初回授業時に説明する。

履修上の留意点 地理学の専門知識はかならずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。

成績評価の方法 学年末の試験によって評価する（追試験あり）。出欠は確認しないが、状況に応じて小レポートを課すこともある。

教科書参考書等 とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。
荒井良雄・川口太郎・井上 孝2002.『日本人の人口移動—ライフコースと地域性—』古今書院. 2,940円 ISBN：9784772260091

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一

講義のねらい 日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。
(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点 講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法 原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。

教科書参考書等 高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。
北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0
富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6
ノックス、P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0

その他 講義ではプリントを随時配布する。

履修コード	209001
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	古田 知章 <small>ふるた ともあき</small>

講義のねらい 現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義を行い、Iを前期、IIを後期に扱う）。

I. 近代の人間観・世界観の源流

1. 哲学における基礎的な問題の整理 一人間と世界について問うこと一
2. 古代ギリシアの思想 一哲学的探求の始まり一
3. キリスト教思想と中世の哲学 一思索の新たな展開一
4. 中世から近世への連続と変動 一様々なルネサンスについて一

II. 近世・近代の人間観・世界観

1. ルネサンスから近世の思想 一人間観・世界観の変革一
2. 科学の発展と世界観の変化との関係 一法則的世界の中での人間の位置一
3. 現代の存在論 一見えるものを支える見えない枠組み一

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

成績評価の方法
教科書
参考書等

『原典による哲学の歴史』（公論社）

講義の際にその都度紹介する。

履修コード	209401
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

講義のねらい 現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を（翻訳ではあるが）実際に読みつつ、その思想を紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール 我々が生きている現代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っている。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことを試みたい。

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心にに応じて扱う哲学者を選択する。とくに要望がない場合は、こちらで重要と思われる哲学者をピックアップする。適宜プリントで内容の補足を行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

ちなみに昨年度は、現代思想の概観を確認したのち、マルクス、ニーチェを前期に、キルケゴール、サルトル、ハイデガーを後期に扱った。

教科書を必ず入手しておくこと。

教科書
参考書等

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

授業中に適宜プリントを配布する予定。

講義中に適宜指示する。

履修コード	206601
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	塩崎 真理子 <small>しおざき まりこ</small>

講義のねらい 『大和物語』を、周辺文学と比較しながら読む。『大和物語』は和歌説話集の性質をもつため、話型や伝説が散見する。話型と伝説の二点をテーマとして『伊勢物語』や『今昔物語集』、『源氏物語』や他の文学作品と比較しながら講義を進めていく。また、本作品で見られた話型が現代の作品にどのように影響を与えているかも、あわせて考えてもらいたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) ガイダンス
 - 2) 『大和物語』とは
 - 3) 生田川伝説
 - 4) 蘆刈伝説
 - 5) 采女入水譚
 - 6) 立田山伝説
 - 7) 安積山伝説
 - 8) 姨捨山伝説
 - 9) 三輪山神婚説話
 - 10) 二人妻説話
 - 11) 『大和物語』と『源氏物語』

履修上の留意点 作品の基礎知識と内容を事前に理解しておくこと。授業時に小レポートを提出してもらうため、問題意識をもって授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法 出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。
教科書 授業時に、プリントを配布する。
参考書等 適宜、教場で指示する。

履修コード	207501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	鹽部 幹生 <small>しのべ みきお</small>

講義のねらい 日本の古典文学の中から、『世継物語』を講読する。『世継物語』は、全56話の短い説話集であるが、大和物語・枕草子・栄花物語・古本説話集などとの共通説話を多く含み、中古から中世をつなぐ古典文学の世界を考えるうえで有用な作品である。この作品の講読を通して、時代の価値観の変遷や文学作品のあり方を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 古典文学史。3 説話文学の変遷。4 『世継物語』の文学史的意義。5 『世継物語』の成立と成立圏。6～28 『世継物語』の講読。29 教場試験。30 まとめ。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験はテキスト・ノート・辞書・参考書等持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書 プリントを配布する。
参考書等 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	207701
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>
講義のねらい	優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げて、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。
講義の内容・授業スケジュール	対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。(1～3)安部公房の軌跡(4～6)安部・初期短編の特色について(7～9)『デンドロカカリヤ』分析(10～12)『飢えた皮膚』分析(13～15)『R62号の発明』分析(16～18)日本の共同体への帰属と脱出というテーマについて(19～21)『死んだ娘が歌った』分析(22～24)『鏡と呼子』分析(25～27)島尾敏雄の軌跡(28～30)上野英信の軌跡
履修上の留意点	具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりえず下記の記事と教科書で指定する作品は必読である。 安部公房『砂の女』 島尾敏雄『出孤島記』 上野英信『追われゆく坑夫たち』
成績評価の方法	定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。
教科書	安部公房『R62号の発明、鉛の卵』(新潮文庫)552円 安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』(新潮文庫)514円
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	古田 知章 <small>ふるた ともあき</small>
講義のねらい	われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。
講義の内容・授業スケジュール	教科書を利用し、以下の内容を取り上げる(各項目ごとに、2～4回の講義を行い、Iを前期、IIを後期で扱う予定)。 I. 人間観の形成の歴史とその伝統 1. 人間と倫理 一人間であるために— 2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相 3. 中世キリスト教思想における人間観 4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革— II. 新しい時代の人間観 1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》 2. 自己の内面性と他者の問題 3. 人格 一ロックを手がかりに— 4. 人間存在と自由
成績評価の方法	二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。
教科書	『原典による哲学の歴史』(公論社)
参考書等	講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理—講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法
教科書

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。
教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義のねらい

今日、例えば、自然環境保護をめぐって、生物に対して「固有の価値」を認めるか、人間にとって有益な「道具的価値」のみを認めるかが、議論されている。倫理思想では常に何が善で何が悪か、何が「価値」あるものかが問題とされている。そこで本講義では古今東西の倫理思想における価値観をとりあげ、その流れを捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教
- 2 近代哲学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）の価値観
- 3 現代の環境倫理学など

履修上の留意点

私語をつつしみ、よくノートを取る。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席の割合、中間と期末の試験、レポート
久保・河谷編「原典による哲学の歴史」（公論社）
授業中に紹介する。

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	滝沢 正之

講義のねらい	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学的な位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（戦争における倫理、企業活動の倫理など。） （＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書 参考書等	講義中に適宜指定する。 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。 その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	滝口 清栄

講義のねらい	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的の制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的の制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考へざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考へていく上でも大切な土台となるであろう。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐらるる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。 こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法	中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
教科書	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール 今年、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。
 (1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点 ノートをしっかり取る。

成績評価の方法 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

教科書等 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫) (岩波全書版でも可)
 和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫)
 湯浅泰雄『和辻哲郎—近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫)
 坂部恵『和辻哲郎—異文化共生の形』(岩波現代文庫)
 苅部直『光の領国 和辻哲郎』(創文社)

履修コード	211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>

講義のねらい 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点 課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法 レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。

教科書 教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	207901
科目名	歴史学〔東アジア考古学〕
担当者名	千葉 基次 <small>ちば もとつぐ</small>

講義のねらい 長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点 板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法 毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

参考書等 授業の中で紹介する。

履修コード	208201
科目名	歴史学〔日本近世史〕
担当者名	出口 宏幸 <small>でぐち ひろゆき</small>

講義のねらい 戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行することで、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点を基本に話を進めます。受講生にとって、この授業が、歴史と向き合う貴重な「時間」になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール (講義の内容)
全国的に成立した都市は、領主支配の拠点、また商業活動の舞台であり、村は生産の場でした。両空間の成立がもたらした、あらたな展開(身分・家格、社会的分業、文書社会化など)を通して、近代の直前に位置した近世社会について考えます。

(授業スケジュール)
(1~4) 戦国から近世へ、近世社会の概要〔幕府改革〕・〔流通網の形成〕・〔都市文化の隆盛〕(5~9) 領主支配〔検地、年貢・諸役、五人組〕、〔檀家制度、村請制度〕、都市、村落〔村役人〕、家格(10~14) 山村と漁村、商人の台頭、奉公人組織、商品生産の展開、貨幣制度(15~17) 村を支えた集団、村方騒動と一揆、村の荒廃、(18) 近世の終焉

成績評価の方法 試験80%、平常点20%
教科書 各回にプリント(資料含む)を配布します。

履修コード	209601
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>

講義のねらい 論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことがらである。

講義の内容・授業スケジュール (1) プロローグ・(2) 文論理における文の記号化・(3) 文論理の言語・(4~7) 文論理の意味論・(8~14) 文論理の統語論・(15) 中間試験・(16・17) 第一階量化論理の基本概念・(18・19) 第一階量化論理の言語など・(20・21) 多重量化・(22~29) 第一階量化論理の統語論・(30) 期末試験。

履修上の留意点 欠席・遅刻は一切認めない。
成績評価の方法 成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。
教科書 配布プリント
その他 本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	いごた まさる 伊古田 理

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはということか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29(30)文章作成の倫理
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など：期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等その他	そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつめてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	こじま ゆうこ 小島 優子

講義のねらい	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験(中間試験)と、一回の年度末レポート、および平常点(授業時に適宜与える課題)で評価する。定期試験とレポート、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。
教科書	野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等	そのつど指示する。

履修コード	215901
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	お びんさん 呉 炳三

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 社会学の基礎概念：
(1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3～4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本的行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本的集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：
(1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害、(9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト
以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法 出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書参考書等 開講時に説明する。
講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216301
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	お びんさん 呉 炳三

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 社会学の基礎概念：
(1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3～4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本的行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本的集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：
(1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害(9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト
以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法 出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書参考書等 開講時に説明する。
講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216501
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈

講義のねらい 統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方や諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール
 前期
 1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習Ⅰ
 9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習Ⅱ
 15まとめ・補足
 後期
 16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定
 22-24その他の推定・検定 25演習Ⅲ 26散布図と相関係数 27-28回帰分析
 29期末試験 30まとめ・補足

履修上の留意点 統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法 以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。
 ①演習Ⅰ～Ⅲ：45%（各15%）+期末試験55%
 ②期末試験：100%

教科書参考書等 テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。
 石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-8
 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8

その他 配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。

履修コード	217001
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	森 雅文

講義のねらい 文化人類学は、諸社会の比較を通して人類文化の多様性に焦点をあてながら、人のあり方を規定する一方で人間に創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、異文化の珍奇な風習を見聞することではなく、世界のさまざまな人間性をめぐる表現についての理解を探り、そのまなざしを私たちの身近な諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。

「諸民族とコスモロジー」をテーマとする本講義では、異なる社会の生き様を支える空間や時間の秩序に関わる観念体系とその実践に焦点をあてながら、文化人類学の基礎的な考え方や方法を学び、世界の様々な人々が生きるリアリティへの洞察力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール
 前期前半は文化概念の解説、後半は儀礼的実践とコスモロジーに関わる各論から人類学的な思考の把握を目指し、後期前半は病氣治療を焦点に人間観とコスモロジーへの応用的理解を、後半は変貌する民族文化とグローバリズムの問題とともに文化の現状を考察します。以下の内容を予定していますが、受講者の要望により変更する場合があります。詳細は各学期の初回に提示します。
 <前期> 文化概念の基礎（人類と文化・民族と人種、通時的視座と共時的視座）、文化と儀礼の理論（ライフサイクル、通過儀礼、贈与と交換、境界と穢れ）、世界認識と領域（コスモロジー、風景、聖地・巡礼、神話と儀礼）
 <後期> 人間の存在様式とコスモロジー（シャーマニズム、伝統医療・東洋医学、個人・身体・空間、近代医療）、民族文化の現在（シンクレティズム、エスニシティと国家、アイデンティティ・ポリティクス）、空間と時間の現在（文明の衝突、テクノロジーとコスモロジー）

履修上の留意点 初回講義時に履修上の注意事項を伝達するので必ず確認してください。受講者のコメントや意見を講義に還元したいので、積極的な参加を期待します。

成績評価の方法 学期末（前期・後期）の筆記試験の成績が基本です。授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容は平常点として最大10%まで加算します。

教科書参考書等 特定の教科書は指定しません。一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介いたします。

その他 授業は講述が中心ですが、ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	217301
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	<small>うちやま みさこ</small> 内山 明子

講義のねらい グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展する一方、排外的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々とどう関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。この学問は、異文化を抽象的に論じるようなものではなく、むしろ微細であいまいな日常生活のなにげないやりとりの中で自己および他者理解を深化させていく、そのプロセスを大切にしてきた学問といえる。本講義では、これからますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 文化人類学とは(2～6)学問の成立と基本的枠組み：「未開」と「文明」、文化相対主義、フィールドワーク(7～11)親族：出自理論と縁組理論、生殖医療と家族(12～15)交換と経済：贈与交換、近代世界システムの接合(16～20)コスモロジー：分類と秩序、通過儀礼とコムニタス(21～25)宗教：「未開宗教」、世界宗教と民族世界(26～30)グローバル化とマイノリティ：民族／人種／エスニシティ、多文化主義とナショナリズム

成績評価の方法

学期末の定期試験の時間内に行う筆記試験を中心に、夏休みの課題レポート、授業内に行う提出文などで評価します。

**教科書
参考書等**

指定しません。
参考文献は授業内で随時紹介します。

履修コード	217601
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	和知 恵一

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『取賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとする。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）

○六法（例として、『ポケット六法（平成20年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）

※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

●茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（芦書房）

●大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）

その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

履修コード	217701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	沼田 雅之 <small>ぬまた まさゆき</small>

講義のねらい

法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで、少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識（教養）、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語るできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語ることができないのです。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に講義形式で解説をおこないます。ガイダンス（1）、法学の基礎（2～3）、三菱樹脂事件（4～5）、日産自動車事件（6）、マクリーン事件（7）、北方ジャーナル事件（8～9）、宇奈月温泉事件（10）、契約の自由と規制（11～12）、駿々堂製パン事件（13）、消費者の保護（14～15）、不法行為（16～17）、会社法を取り巻く問題（18）、朝日訴訟（19～20）、高知放送事件（21）、萬世工業事件（22～23）、電気窃盗事件（24）、徳島県公安条例事件（25）、映画「12人の怒れる男」の上映（26）、東海大学安楽死事件（27）、代理母出産児出生届受理申立事件（28）、予備日（29～30）

履修上の留意点

・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

成績評価の方法

・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。
 ・試験成績（70％）＋平常点（30％）＝100点。
 ・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点～80点未満・・・B、60点～70点未満・・・C、60点未満・・・D。
 ・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。
 ・平常点は、出席点（50％）と課題点（50％）で構成されます。よって、出席をとります（毎回ではありません）。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書

教科書は指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。

参考書等

詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。
 ・森泉 章編著『法学（第4版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-18332-5）
 ・西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学（第4版）』（2005年有斐閣）2,200円（ISBN 4-641-18316-3）
 ・伊藤眞『法律学への誘い（第2版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-12510-4）

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。
 第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)
担当者名	池田 実

講義のねらい 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。

政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにしていれば、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念
 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党
 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政
 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)
 (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)
 (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)
 (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)
 (30) 憲法改正

成績評価の方法
教科書

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。
 野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院) 2,700円+税
 ISBN978-4-7823-0424-2

その他

授業日程：7/31、8/1、8/4～7 1時限～5時限

履修コード	218901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山崎 望

講義のねらい 本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

前期は国内政治と国際政治の相違点と類似点を扱います。具体的には国内政治では主権国家、政治体制、政治と経済、福祉、政治過程と政党といったテーマについて、国際政治では主権国家システムの成立、国民国家と植民地、世界大戦と冷戦、冷戦の終焉などについて扱います。

後期は国内政治と国際政治の垣根を越えるグローバル化がはらむ問題について扱います。アメリカの帝国化、イスラーム復興運動、「テロ」のグローバル化、福祉国家の再編と新自由主義の拡大、ネオ・ナショナリズム、市民社会と新しい民主主義、EUや南米の地域主義といったテーマを扱います。そして各々のテーマについて日本がグローバル化に関連していかなる変化にさらされているのか、格差社会化、治安・管理社会化、日本の近年のナショナリズムといった個別的なテーマについて論じる予定です。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。
 年度末の試験。
 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ
 ISBN 4-641-12168

参考書等
その他

講義中に適宜指摘します。
 講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。
 講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。

履修コード	219301
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	矢野 浩一 <small>やの こういち</small>

講義のねらい 「なぜカップラーメンは値上げしたのか?」「将来、皆さんは年金をもらえるのか?」「バイト代はなぜ安いのか?」「なぜ世界には貧しい国と豊かな国があるのか?」「なぜ食品偽装は相次ぐのか?」本講義の目的は、それらの疑問を需要と供給、インセンティブの原則、情報の非対称性など経済学の原理を用いて解き明かします。本講義終了後には、学生が自分で様々な現象を経済学的に考えることができることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では身近な出来事や経済問題を解説しながら、経済学の原理を勉強します。前期はミクロ経済学に関するテーマ(経済学的な考え方、貿易、需要と供給、完全市場と不完全市場、ファイナンス、政府の役割など)について講義します。後期はマクロ経済学に関するテーマ(GDP統計、経済成長、好況と不況など短期の景気変動、雇用と失業、物価の上昇と下降、政府の経済政策、日本の財政赤字問題など)について取り上げます。

履修上の留意点 積極的に講義に参加してください。また私語は禁じます。
成績評価の方法 前期:レポート(レポート課題は前期講義終了時まで指示します)
 後期:筆記テスト

教科書 スティグリッツ・ウォルシュ著『入門経済学 <第3版>』(東洋経済新報社)、3675円、ISBN4492313486

参考書等 適宜指定します。
その他 連絡先 koi.yano@gmail.com

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく長期不況から抜け出していますが、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域には戦闘の火だねが残っています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 社会科学を始めるにあたって
- 2～3 思考する楽しみ
- 4～5 社会科学とは何か
- 6～12 社会の歴史的発展と社会思想
- 13～14 社会科学の生誕：ホッブスとロック
- 15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト
- 18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
- 21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
- 25 現代社会の思想的諸潮流

履修上の留意点

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。選抜方法については教務部掲示板でお知らせします。1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書
参考書等

- 特に指定しない。
高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

履修コード	219501
科目名	教育学〔テス・エデュケーション〕
担当者名	やなぎはら すがこ 柳堀 素雅子

講義のねらい

「医療と倫理」の問題を中心に考えていく。近代医学の成立期からナチスの人体実験の時期を経過して、第二次世界大戦後のバイオエシックスの登場の時期と現代までの世界の状況と日本の状況を比較しながら分析していく。医学は何のためにあるのか、医学の使命とそれが墮落していく危険性はどこにあるのか、患者側の求めるものと生への無限の欲望などを探り出し、人類の現代と未来にとっての理想的な医学、医療のあり方はどのような方向へ向かうべきかを追求していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回～3回 医学と医師の倫理
- 4回～7回 近代医学の成立とナチスの人体実験に至るまで
- 8回～14回 第二次世界大戦後の医学の発展と医学倫理の破綻
- 15回～19回 バイオエシックスの誕生とその意味
- 20回～25回 現代の先端医療の個別の状況とバイオエシックスにおける各国の取り組み
- 26回～30回 バイオエシックスの将来的展望と日本の医療とバイオエシックスにおける問題点

履修上の留意点

講義の中だけで講義の内容についてじゅうぶんに理解することは不可能である。レポート課題も含めて、講義の内容について自分で調べて、理解の不十分な点を補うようにすることが必要である。講義の中で紹介した本は、講義の内容を理解するために必要となる本なので読みこなす努力をすること。

成績評価の方法

授業内に提出したレポート課題の内容を調べる。(テーマごとにレポート課題を要求する。提出されたレポートの内容には必ず点数をつけるので、講義内容を理解できていない場合には不可になる。)出席状況を調べる。前期4回以上、後期4回以上欠席した場合は不可にする。

教科書
参考書等

- 使用しない。
クリスチアン・プロス、ゲッツ・アリ編 林功三訳『人間の価値』（風行社）2136円＋税
ISBN 4-938662-12-4 COO22
星野一正『医療の倫理』（岩波書店）780円＋税 ISBN 4-00-430201-3

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 達也

講義のねらい 本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、生涯発達観の観点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール 主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・人の生涯と発達区分
- ・青年期とその発達課題
- ・アイデンティティとモラトリアム
- ・現代社会と青年期の延長
- ・青年期の心の問題とその要因
- ・大学生の学業と学生生活
- ・大学生の就職と将来設計
- ・大学生の人間関係と恋愛など。

履修上の留意点 履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法 成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書 使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。
参考書等 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。
その他 受講学生には「学ぶ意欲」をしっかりと持って、積極的に取り組むことを望みます。

履修コード	220301
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和

- 講義のねらい** 地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続と続いた進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって表現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化（4-6回）、3章：系統と分類（7,8回）、4章：行動と進化（9,10回）、5章：動物の人口論（11,12回）、6章：共生と競争（13,14回）、7章：人類の進化（15-17回）、8章：進化論（18,19回）、9章：生態系（20,21回）、10章：物質の循環（22-24回）、11章：植生遷移（25,26回）、12章：生物多様性（27,28回）、13章：人為と生物（29,30回）
- 成績評価の方法** 前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。
- 教科書** 講義内容を文章化した「web版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。
- 参考書等その他** 上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220601
科目名	地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕
担当者名	山縣 毅

- 講義のねらい** 地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の変遷を誕生した45億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** [地球の現在の姿]
 1. 地球の大きさ・形（1、2回）
 2. 地球の内部構造とプレームテクトニクス（3～5回）
 3. 大陸移動とプレートテクトニクス（6～8回）
 4. 火山活動とそのメカニズム（9、10回）
 5. 地震とそのメカニズム（11、12回）
 6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環（13～15回）
 [地球環境の変遷]
 1. 地球環境の変動要因（16、17回）
 2. 地球の形成過程（18、19回）
 3. 環境変化と生物進化（20～24回）
 4. 生物の大量絶滅（25、26回）
 5. 人類の誕生と進化（27～29回）
 [未来の地球の姿]
 1. 未来の地球環境の変遷（30回）
- 履修上の留意点** 講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。
- 成績評価の方法** 成績は、定期試験とレポートにて評価します。
- 教科書** 特になし。
- 参考書等その他** 講義中に紹介します。講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	221101
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	<small>やまがた たけし</small> 山縣 毅

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)
 2. 気候の決定要因 (3~7回)
 3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
- 〔人間活動による環境変化〕
1. 公害問題の変遷 (9回)
 2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)
 3. 大気汚染 (17回)
 4. 酸性雨 (18回)
 5. 光化学スモッグ (19回)
 6. オゾン層の破壊 (20回)
 7. 海洋汚染 (21, 22回)
 8. 廃棄物問題 (23, 24回)
 9. 資源とエネルギー (25~27回)

〔自然災害〕：

1. 気候変動 (28回)
2. 地震とその災害 (29回)
3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

**教科書等
参考書等
その他**

特になし。
講義中に紹介します。
講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	221301
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	<small>さかまき よしあき</small> 坂巻 義章

講義のねらい 地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界の構成 (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験
- 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験(前、後期の最終回を予定)で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

**教科書等
参考書等
その他**

指定しない
指定しない。必要な場合にプリントを配布する。
講義形式の授業とする。

履修コード	222201
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	清水 善和・篠原 正雄・山縣 毅

講義のねらい	本講義では自然科学部門の3人の教員（天文学、地質学、生物学）がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、それらを通じて総合的、統一的、現代的な自然観を養う。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション（1回）；第1講 宇宙の進化と地球の起源（篠原正雄）（1）宇宙の構造と起源（2-4回）、（2）宇宙の進化と物質の進化（5-7回）、（3）太陽系の起源と進化（8-10回）；第2講 地球の進化（山縣毅）（1）大陸と海洋の形成（11-13回）、（2）大陸の漂流（14-16回）、（3）変動する地球（17,18回）、（4）地球と生命の共進化（19,20回）；第3講 生命の起源と進化（清水善和）（1）生命の起源（21-24回）、（2）生物の進化と進化論（25,26回）、（3）人類の進化（27回）、（4）生物多様性（28,29回）、（5）地球環境問題（30回）
履修上の留意点	本科目は1年を通して総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。
成績評価の方法	各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。
教科書 参考書等	特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。 各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義のねらい 数学の基礎分野の一つである微分積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的な思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

第1章 1変数関数の微分積分

§1 1変数関数

- 1.1 1変数関数
- 1.2 今までに学んだ1変数関数
- 1.3 三角関数
- 1.4 逆三角関数
- 1.5 指数関数
- 1.6 対数関数

§2 1変数関数の微分

- 2.1 微分
- 2.2 微分公式
- 2.3 初等関数の導関数
- 2.4 n 次導関数
- 2.5 平均値の定理と不定形の極限
- 2.6 マクローリン展開
- 2.7 関数の増減とグラフの凹凸

§3 1変数関数の積分

- 3.1 不定積分
- 3.2 初等関数の不定積分
- 3.3 置換積分
- 3.4 部分積分
- 3.5 有理関数の積分
- 3.6 定積分
- 3.7 面積と回転体の体積

第2章 2変数関数の微分積分

§1 2変数関数

- 1.1 2変数関数
- 1.2 2変数関数の例

§2 2変数関数の微分

- 2.1 偏導関数
- 2.2 高次偏導関数
- 2.3 全微分と接平面
- 2.4 合成関数の微分
- 2.5 2変数関数の極値

§3 2変数関数の積分

- 3.1 累次積分
- 3.2 重積分
- 3.3 極座標への変数変換
- 3.4 立体の体積

履修上の留意点 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法 前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

石村園子著『やさしく学べる微分積分』共立出版
2,100円（税込）ISBN4-320-01633-5

参考書等

適宜紹介する。

その他の

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

履修コード	222501
科目名	数学〔線型代数学入門〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義のねらい 数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

第1章 行列と行列式

§1 行列

- 1.1 行列の定義
- 1.2 行列の演算
- 1.3 正方行列と逆行列

§2 連立1次方程式

- 2.1 連立1次方程式
- 2.2 行基本変形
- 2.3 行列の階数
- 2.4 連立1次方程式の解
- 2.5 逆行列の求め方

§3 行列式

- 3.1 行列式の定義
- 3.2 行列式の性質
- 3.3 逆行列の存在条件
- 3.4 クラメールの公式

第2章 線形空間

§1 空間ベクトル

- 1.1 ベクトル
- 1.2 内積

§2 線形空間

- 2.1 線形空間の定義
- 2.2 n 項列ベクトル空間
- 2.3 線形独立と線形従属
- 2.4 部分空間
- 2.5 基底と次元
- 2.6 線形写像

§3 内積空間

- 3.1 内積空間
- 3.2 正規直交基底
- 3.3 固有値と固有ベクトル
- 3.4 行列の対角化
- 3.5 2次曲線の標準形

履修上の留意点 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法 前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書 石村 園子著『やさしく学べる線形代数』（共立出版）
2,100円（税込）ISBN4-320-01660-2

参考書等 適宜紹介する。

その他 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

履修コード	222601
科目名	数学〔現代数学入門〕
担当者名	福田 賢一 <small>ふくだ けんいち</small>

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。特に、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。
講義の内容・授業スケジュール	前期：4回 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、 3回 論理設計・論理回路、 1回 情報。通信機器の理解と理解と数理 2回 まとめと演習 ～前期最終、線型代数とその応用。 後期：3回 線型計画法、 3回 確率現象と社会現象、保険の数理 2回 微積分とその応用、交通・運輸の数理基礎 2回 まとめと演習 ～最終。社会・経済現象の数理トピックス
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。
成績評価の方法	前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。
教科書	使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。
参考書等その他	内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。 必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。 教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分などを放置しないように努める事。可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

履修コード	222701
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。 1. ガイダンス（1回） 2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現（5回） 3. 集合と論理（7回） 4. 順列・組み合わせ（2回） 5. 確率・統計（13回） 6. 数学のトピックス（2回）
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野です、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。また、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等その他	野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円 コンピュータ応用の講義と連携して受講すると、さらに理解が深まると思います。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	222901
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1-8)「光は波である 1」(光線 影 鏡 屈折 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色)
(9-15)「光は波である 2」(波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色) (16-25)「光は電磁波である」(電気と磁気 電場と磁場 電磁波 さまざまな電磁波) (26-30)「現代物理学と光」(原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光は宇宙を駆け巡る)

履修上の留意点 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識は少ない。

成績評価の方法 期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、この点と成績とは一致しない。

教科書 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 理解を深めるためには毎回問題を考えてもらう。

履修コード	223101
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	まさおか よしかず 牧岡 良和

講義のねらい 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説していきます。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とします。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説します。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール 前期 (1) 化学の導入-物質・分子・原子 (2) 元素の周期律表 (3-6) 化学結合とその種類 (7-13) 有機化学の基礎-製品との関連を含めて
後期 (14・15) 高分子 (16・17) アミノ酸・タンパク質 (18-20) 糖-食品の原材料表示を読む (21・22) 界面活性剤-界面とは? 何を活性化? (23・24) 化学物質のリスクの知り方 (25・26) だまされないう化学

履修上の留意点 上記のようなスケジュールを基本としますが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックを取り上げるなど、柔軟に進めていきます。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進みますので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修して下さい。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止です。

成績評価の方法 出席点(55点満点)と筆記試験(45点満点)の合計で評価します。諸事情で講義を欠席する場合には、事前に連絡してください。

教科書 なし

参考書等 プリントを配布します。Wikipedia 等のインターネット上のコンテンツも参考にしながら講義を行います(Wikipedia 等の記述の誤りについても解説します)。

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は恒星を取り上げる。(1) イントロダクション (2~4) 観測: 望遠鏡 スペクトル (5~7) 太陽: 構造, エネルギー源 (6~15) 恒星: 年周視差と距離, 分類, 連星と星の質量, 変光星, 星の進化
後期は銀河をとりあげる。(16~17) 銀河系の発見 (18~23) 銀河系: 星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質 (24~26) 銀河: 銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造 (27~30) 宇宙: 宇宙膨張, 暗黒エネルギー, ビッグ・バン

成績評価の方法 中間試験および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 使用しない。

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

履修コード	223401・223701・223901・224201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義のねらい ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点 パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法 レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書 <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等 <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html> を参照して下さい。

その他 <http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

履修コード	223501・224001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 博信 <small>やまもと ひろのぶ</small>

講義のねらい 現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、学生の習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容・授業スケジュール パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成

履修上の留意点 本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含みます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法 以下の比率で総合的に評価します。
・課題 10%
・授業最終日に実施する確認試験 25%
・定期試験 35%
・質問書および出席状況 30%

教科書 『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890 (ISBN4 407301147)、『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7 / 8 / 9』¥800 (ISBN978440 7307733)

参考書等 『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680 (ISBN4894717 220)

その他 パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアカウントの取得が必須です。いっとうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	223601・224101
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法その他 評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

履修コード	223801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small>

講義のねらい DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。
コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。
その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。
Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点 1.ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2.Photoshop の基本操作 1、3.Photoshop の基本操作 2、4.ブラシツールによる描画、5.塗りつぶしとグラデーション、6.選択ツール、7.クイックマスク、8.画像の補正・修正、9.画像の合成、10.ロゴマーク、11.アニメーション、12.Web ページの作成、13.最終課題製作、14.最終課題製作
コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書参考書等その他 使用しない。適宜資料を配付する。
同上
計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	224301
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	<small>さわぐち なかし</small> 澤口 隆

講義のねらい	本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。 その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。 Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。 1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作
履修上の留意点	コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること（キーボード操作・ファイルの保存など）。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。
成績評価の方法	授業中に作成した課題と出席状況で評価する。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	同上。
その他	計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	224401
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>もとぎ みつお</small> 元木 光雄

講義のねらい	コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスや、インターネットを使う上で留意しなければならないことなどを実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。 また、Web ページを記述する HTML の基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。 講義スケジュール (1～3) コンピュータの基本構造と Windows の基本操作 (3回) (4～9) インターネットの原理と実際の利用 (6回) (10～15) 8/5,6論理的構造を持った文書の HTML による記述 (6回)
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題されたレポートを必ず提出するものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題するレポートによって行う予定である。
教科書	とくに指定するものはない。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する予定である。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：7月31日、8月1日、8月4日～6日の1～3限 予備日：8月7日の1～3限

履修コード	224601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	山本 ^{やまもと} 博信 ^{ひろのぶ}

講義のねらい	問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。なお、情報の作成および発信に焦点を合わせて授業を行います。
講義の内容・授業スケジュール	パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集(コーディングについて)・インターネットのしくみ・ホームページビルダーによる Web ページの作成。
履修上の留意点	本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。
成績評価の方法	・課題 30% ・授業最終日に実施する確認試験 40% ・出席状況 30%
教科書	XP対応 新基礎コンピュータ演習、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4407301147
参考書等	30時間でマスター ホームページ・ビルダー 実教出版 (¥800)ISBN978-4-407-30773-3 ITリテラシーへの招待、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN4894717220
その他	パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。必要に応じてプリントを配布します。 授業日程：7月31日,8月1日,8月4日～6日 1時限～3時限 予備日：8月7日(木)の1～3時限

履修コード	224701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	長坂 ^{ながさか} 浩史 ^{ひろし}

講義のねらい	Web ページ作成 (HTML、CSS入門) と、表計算ソフトを用いた基本的な統計処理 (統計量についての入門) の2つを中心に学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	最終提出課題の説明… (1) (Web ページ) Word、Excel の基本操作… (2、3) Excel を用いた簡単な統計処理 (さまざまな特性値について)… (4～6) HTML、CSS入門… (7～9) 自由課題 (Web ページ) 作成… (10～15)
履修上の留意点	初心者を対象にしていますが、Windows の基本操作や、テキストファイルの扱いについては軽く触れる程度です。
成績評価の方法	提出課題 (自由テーマによる Web ページ&指定された様式のファイル) を見て評価します。ただし、欠席が1日でもあると、課題を全部こなすのは困難になると思いますので、特別な事情がない限り5日間の全時限に出席すること。
参考書等	簡単な説明ファイルを配布します。
その他	授業日程：7/31、8/1、8/4～8/6 1時限～3時限 予備日：8/7 1時限～3時限

履修コード	224801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎
講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	(1～3) ガイダンス、PCの基本操作(4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー(7～15) HTML文書の作成 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法 その他	評価は授業時間中に出题する課題によって行う。 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：7/31、8/1、8/4～8/6 1時限～3時限 予備日：8/7 1時限～3時限

履修コード	224901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎
講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	(1～3) ガイダンス、PCの基本操作(4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー(7～15) HTML文書の作成 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法 その他	評価は授業時間中に出题する課題によって行う。 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：7/31、8/1、8/4～8/6 4時限～6時限 予備日：8/7 4時限～6時限

履修コード	225001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	谷本 玲大

講義のねらい 課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。

講義の内容・授業スケジュール 7/31 4限 ガイダンス、起動～終了 5限 情報検索 6限 電子メールとタイピング練習
8/1 日本語入力と Word 演習
8/4 Word 演習・画像処理
8/5～8/6 Excel 演習

履修上の留意点 ※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。
※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。
教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。
各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法 初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034
その他 授業日程:7月31日～8月1日、8月4日～8月6日(いずれも4～6時限)
予備日:8月7日の4～6時限

本学の建学の理念は行学一如である。曹洞禅に於いて、行とは只管打坐にある。学もそれと一つの如く、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。
履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧めらる。

履修コード	225201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	小沢 誠

講義のねらい ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点 パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法 レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書等 <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html> を参照して下さい。

その他 <http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。
授業日程:7月31日～8月3日、6日4～6時限(土、日は除く)
予備日:8月7日の4～6時限

履修コード	225601・225701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい 主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回)
2. 総合情報センターの利用方法 (2回)
(ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、Windows PCの基本操作)
3. タイプ練習&日本語入力 (3回)
4. 電子メール (Active ! mail の使い方、公用メールの書き方) (2回)
5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回)
6. WWW ウェブサイト作成 (6回)

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。

成績評価の方法 評価は授業時間中に課題する2〜3回程度の課題によって行う。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 参考書は必要に応じて紹介する。

その他 実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	225801・225901
科目名	コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい 主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス (1回)
2. KOMAnet の使い方、タイピングについて (2回)
3. 公用電子メールの書き方 (2回)
4. コンピュータの動作原理とプログラミングについて (3回)
5. Visual Basic によるプログラミング (7回)
6. Excel のマクロについて Visual Basic for Application (2回)
7. Excel VBA の実習 (13回)

履修上の留意点 プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作 (ファイル、ウィンドウ操作、電子メール、ウェブの利用など) はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法 評価は授業時間中に課題する3回程度の課題によって行う。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

- ・山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』(翔泳社) 1,900円 ISBN4-88135-718-2
- ・Michael Halvorson 著・(株)日本ユニテック訳『VisualBasic.NET 実践講座 Vol.1 基礎編』(日経BPソフトプレス) 2,480円 ISBN4-89100-257-3
- ・瀬戸遙著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』(翔泳社) 2,800円 ISBN4-7981-0773-5

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	226001・226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	篠田 謙一 <small>しのだ けんいち</small>

講義のねらい 人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点 出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法 毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書 中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等その他 特に指定しませんが講義の中で紹介します。

本講義では、単に講師の話を聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

履修コード	226401
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	加藤 博己 <small>かとう ひろき</small>

講義のねらい この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、約130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、
【記憶】1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【学習・思考】1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【パーソナリティ】1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定、3.パーソナリティ検査、4.知能
【動機づけ】1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス
【情動】1.感情の生起、2.感情の測定
後期：【発達】1.発達段階、2.発達要因、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【感覚・知覚・認知】1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（アフォーダンス、ストループ）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【社会】1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用（リーダーシップ論）
【臨床】1.査定、2.心理療法
【心理学論】1.心理学の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史。

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日（7月）に前期試験を、定期試験期間内に、定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫 2004年 『心理学 第2版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-7

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークの実施や、授業内容についての積極的なコメントが毎回求められる。

履修コード	227101
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	<small>ほりうち ともひこ</small> 堀内 正彦

講義のねらい	人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、それ以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることも含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。
講義の内容・授業スケジュール	心理学の様々な分野を概観できるように、下記の内容、スケジュールで講義を進行する予定である。 第1回 オリエンテーション 第2～3回 心理学の視点 第4～6回 発達 — 環境と遺伝— 第7～9回 学習 第10～11回 記憶 第12回 前期末試験 第13～15回 感覚・知覚 第16～18回 思考・言語 第19～21回 動機づけ・情動 第22～24回 個人差 第25～27回 社会行動 第28～30回 行動の基本様式
履修上の留意点	この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。
成績評価の方法	試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）による。
教科書その他	鹿取廣人・杉本敏夫（編）『心理学 第2版』（東京大学出版会） 私語については、厳格に対応します。授業の初回に行うオリエンテーションで詳細を説明しますので、必ず出席して下さい。

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕（夏季集中）
担当者名	<small>ふかほり ともなり</small> 深堀 友覚

講義のねらい	身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。 パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。
履修上の留意点	短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしかならない学生には、本講義の性質は不向きであろう。
成績評価の方法	講義最終日に行われる筆記試験と、出席率（3分の2以上）による総合評価。
教科書参考書等	特に指定しない。授業内にプリントを配布する。 重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年 中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年
その他	授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限（土、日は除く）

履修コード	228201
科目名	総合I〔仏教と社会〕
担当者名	<small>くまもと まいじん</small> 熊本 英人

講義のねらい 日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。
 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 はじめに
 2～5 仏教と戦争
 6～13 仏教と差別
 14～17 仏教と女性
 18～21 仏教と家族
 22～29 仏教と生命倫理
 30 おわりに

履修上の留意点 出席を重視する。
成績評価の方法 適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。
教科書 適宜プリントで配布する。
参考書等 末木文美土編『現代と仏教』(佼成出版社、2006年)2,625円
 その他、講義の中で随時紹介する。

履修コード	228301
科目名	総合I〔仏教と芸術〕
担当者名	<small>むらまつ てつゆみ</small> 村松 哲文

講義のねらい 本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界(1～2)
 インドの仏教美術(3～5)
 西域の仏教美術(6～8)
 初期の敦煌石窟(9～11)
 後期の敦煌石窟(12～15)

〔後期〕
 炳靈寺石窟(16～17)
 麦積山石窟(18～20)
 雲岡石窟(21～23)
 龍門石窟(24～27)
 朝鮮三国の仏教美術(28～30)

履修上の留意点 以上は予定で、講義の合間に特定の意匠(仏像の胸飾・宝冠・袈裟など)についても考察する。
成績評価の方法 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。
教科書 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。
参考書等 プリントを配布する。
 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228401
科目名	総合II〔駒澤大学の歴史〕
担当者名	熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘・皆川 義孝

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成19年（2007）に「開学125周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年（1882）を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年（1592）にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に416年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

また後期には、「世界の大学との比較」というテーマでも後述します。時代や地域によって、それぞれに求められた「教養のあり方」の差異も学び取って欲しいと思います。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに「駒澤スピリット」を感じ取り、受講生それぞれが“駒澤アイデンティティ”を形成してもらえるよう願っています。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 1. 授業計画とガイダンス

2. 道元と曹洞宗
3. 永平寺と総持寺
4. 吉祥寺施檀林の誕生
5. 学寮での厳しい修行
6. 学寮から学校へ
7. 明治政府の宗教・教育政策
8. 曹洞宗大学の発足
9. 日ヶ窪から駒沢へ
10. 大学令と「駒澤大学」の誕生
11. 「大正教養主義」と駒大生
12. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～
13. 戦時下の駒大①
14. 戦時下の駒大②
15. 「禅文化歴史博物館」の見学

後期： 16. ビデオ鑑賞 ～『シリーズ映像の世紀 第11集 Japan』～

17. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～
18. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～
19. 世界の大学との比較③ ～中国における科举制度～
20. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～
21. 占領政策と新制大学の設立
22. 文系総合大学への道とマンモス校化
23. 東京オリンピックと駒大
24. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～
25. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～
26. 駒大建築物話
27. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本
28. 学生生活今昔物語
29. 駒澤大学のいまとこれから
30. まとめ

これから4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末の期末試験（70％）と出席状況および授業への取り組み（30％）。
とくに指定しない。
適宜紹介する。

履修コード	228701
科目名	総合III〔人権と社会問題〕
担当者名	ピアス, D. M.

講義のねらい Essentially preparation for study abroad, this course provides an impression of what it is like to attend an academic course in a foreign country. Study is not of English but of something else in English. Concentration will be on topics such as human rights, war, feminism, etc. Topics in the history of sociological, economic and political thought may be used as lecture material. There will be intensive speaking practice every period on quotidian, controversial, and intellectual levels, with emphasis on learning how to communicate thought in spoken language.

講義の内容・授業スケジュール 【FIRST SEMESTER】
1.Abortion, 2.Currency Fluctuation, 3.Organic Solidarity, 4.Fetus, 5.Racism, 6.Market Prices, 7.Class Formation, 8.Say's Law, 9.Suicide, 10.Law of Accumulation, 11.Law of Population, 12.Self-Esteem, 13.War, 14.Law of Wages, 15.Marginal Value, 16.Consumer Anxiety

【SECOND SEMESTER】

1.Human Rights, 2.Effective Demand, 3.Business Cycle, 4.Overproduction, 5.Feminism, 6.Capital Formation, 7.Market Glut, 8.Status Consumption, 9.Economic Justice, 10.Wage and Profit Rates, 11.Population and Productivity, 12.Division of Labor, 13.Euthanasia, 14.The Wage Fund, 15.Unionization, 16.Myth of Success

成績評価の方法 The student may miss three classes per semester; the final grade will be one letter-grade less if absences are excessive.

Frequent unannounced small essay exams. Exams are not disciplinary, but didactic. All exam questions will be questions that have been treated in class.

教科書 Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class.

履修コード	228801
科目名	総合III〔欧米の教育と日本の教育〕
担当者名	岡崎 寿一郎

講義のねらい 日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約800校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・48校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

講義の内容・授業スケジュール （1）入試の背後にある日本の社会構造（2）西欧の教育（3）（4）中世の大学（5）中国の教育（科挙）（6）日本の教育史（7）（8）西欧の教育史（9）（10）（11）（12）アメリカの教育（13）（14）（15）フランスの教育（16）（17）ドイツの教育（18）（19）イギリスの教育（20）（21）（22）（23）日本の戦前・戦後教育（エリート教育の問題）

成績評価の方法 講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等 参考書・文献については適宜言及します。

履修コード	228901
科目名	総合III〔スペイン語圏の文化と社会〕
担当者名	齋藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>

講義のねらい 今世紀に入り世界各地でポードレス化、グローバル化が進んでいます。わが国でも異なる文化背景を持つ外国人が近年増加、相互理解に基づいた多文化共生社会の実現が叫ばれています。本講義ではスペイン語圏の文化と社会をテーマに、日本との相違点・共通点を考察させポードレス社会を生き抜くために必要な理解力と寛容な心を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) オリエンテーション：スペインと私(異文化との出会い) (1)
 - (2) スペインの生活(衣食住、コミュニケーション、冠婚葬祭、年中行事など) (2-6)
 - (3) スペインの社会1(風土、歴史、若者像、信仰、政治・経済、地方自治など) (7-12)
 - (4) スペインの社会2(ジェンダー、移民、ロマ民族(ジプシー)など) (13-15)
 - (5) スペインの文化(音楽、芸術・伝統芸能、スポーツ、映画など) (16-19)
 - (6) ラテンアメリカ諸国の生活・文化・社会 (20-24)
 - (7) 日本に住むスペイン語圏の人々、スペイン語圏に住む日本人 (25-27)
 - (8) 日本から見たスペイン語圏の文化・社会、スペイン語圏から見た日本の文化・社会 (28-30)
- スペイン語の知識は全く必要ありませんので、スペイン語受講生以外の学生の参加も大歓迎します。

履修上の留意点

成績評価の方法

出席状況、授業態度、前後期の定期試験(またはレポート)を総合的に評価します。

教科書

随時資料を配布します。

参考書等

野々山 真輝帆『スペインを知るための60章』明石書店など

その他

各テーマについての参考文献等は随時推薦します。

日ごろから国内、国外のインターネットや新聞などの情報媒体に親しみ、複眼的に物事を考える習慣をつけましょう。

履修コード	229001
科目名	総合IV〔現代アメリカ事情〕
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード(abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等)を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

- | | | | |
|----|------------------------|----|--------------------------|
| 1 | 世界史の中のアメリカ (1) | 16 | Brady bill (1) |
| 2 | 世界史の中のアメリカ (2) | 17 | Brady bill (2) |
| 3 | 世界史の中のアメリカ (3) | 18 | Brady bill (3) |
| 4 | 世界史の中のアメリカ (4) | 19 | official English law (1) |
| 5 | 世界史の中のアメリカ (5) | 20 | official English law (2) |
| 6 | 世界史の中のアメリカ (6) | 21 | official English law (3) |
| 7 | 世界史の中のアメリカ小テスト | 22 | euthanasia (1) |
| 8 | abortion (1) | 23 | euthanasia (2) |
| 9 | abortion (2) | 24 | euthanasia (3) |
| 10 | abortion (3) | 25 | hate crime (1) |
| 11 | affirmative action (1) | 26 | hate crime (2) |
| 12 | affirmative action (2) | 27 | hate crime (3) |
| 13 | affirmative action (3) | 28 | multiculturalism (1) |
| 14 | political correctness | 29 | multiculturalism (2) |
| 15 | 前期試験 | 30 | 後期試験 |

履修上の留意点

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験(40%) ②レポート(30%) ③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書

プリントを配布します。

履修コード	229101
科目名	総合Ⅳ〔新市民社会論〕
担当者名	にしむら 祐子

講義のねらい 前期は市民社会と人権、NGO、NPO、まちづくり、コミュニティ開発、などをキータームとして日米の比較により、授業を行う。後期は日本とインドを比較しつつインドの市民セクターと人権、NGOの役割などを学ぶ。JICAと協力して草の根国際援助プロジェクトの実際について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：
1. 市民社会、NGO、NPOとはなにか。アメリカと日本の比較
 2. アメリカにおける市民セクターの進展
 3. 日本の非営利セクターの歴史と現状
 4. コミュニティ開発とNPOの役割：シアトルのまちづくり
 5. シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 6. アメリカにおけるマイノリティとNPO
 7. 日本のNPOとまちづくり： 神戸市・横浜市、川崎市事例研究
 8. 被差別部落のまちづくり（1）
 9. 被差別部落のまちづくり（2）
 10. 被差別部落のまちづくり（3）
 11. 日本のマイノリティとNPO（1）
 12. 日本のマイノリティとNPO（2）
 13. 前期まとめと日本の市民セクターの現状、課題

後期：

1. インド社会の基礎知識
2. クラスとカースト
3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
4. インドの市民社会とNGO
5. インド地縁組織とコミュニティ開発
6. 被差別カーストとコミュニティ開発
7. 行政とNPO,NGO
8. 草の根自立支援と市民セクター：MSSRF研究
9. 日本の海外支援と市民参加：JICAの役割
10. プロジェクトマネジメント研究（1）
11. プロジェクトマネジメント研究（2）
12. グローバル化、人権と市民社会、自立支援と草の根組織
13. まとめと課題

履修上の留意点 インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。コンピュータ教場なので人数制限あり。

成績評価の方法 出席（25%）、毎回の小レポート内容（30%）、前期、後期それぞれのレポート（45%）。試験はない。

教科書等その他 『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。
教場で指定（インターネットサイトなど。）
外部講師を数回招聘する。

履修コード	229301
科目名	総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	いしはら 孝哉

講義のねらい イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。

講義の内容・授業スケジュール 日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

履修上の留意点 毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法 レポート、期末試験により評価します。

履修コード	229601
科目名	総合VI〔民族とは何か〕
担当者名	大野 祐二 <small>ひろの ゆうじ</small>

講義のねらい この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点 講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法 前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

履修コード	229701
科目名	総合VI〔イスラム〕
担当者名	吉田 京子 <small>よしか ぎょうこ</small>

講義のねらい 本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、ユダヤ教、キリスト教との関係性を確認しつつ概論的講義を行い、イスラームの知識を通じセム系一神教の世界観理解を促すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①セム系一神教
- ②預言者ムハンマド
- ③神のことば
- ④イスラームの世界観
- ④イスラームの実践
- ⑤イスラームの分派
- ⑥イスラーム神秘主義

これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

履修上の留意点 授業中の疑問点やコメントを毎回提出。

成績評価の方法 毎回提出のコメント用紙を出席確認に使用。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

履修コード	229801
科目名	総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	<small>はやかわ のりこ</small> 早川 紀代

講義のねらい

男性と女性、あるいは女性と男性との関係は、個人的にも、また社会的にも、この二〇年のあいだに大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時期である。どのように変り、これからどのように変わっていくのか、また変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間の在りかたを考える場にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？

私たちが当たり前と思っていること、たとえば女はやさしい、男はたくましいといった考えは本当なのか、どうかということにメスをいれたのが1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。このジェンダーという理論がどのようにして誕生したかをとりあげ、女性学と男性学と人間学の間接の関係を考える。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげる。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者の運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、どのようにしたら誰でも、働きかつ家族生活を楽しむ、人間としてバランスのとれた生活を送ることができるか考える。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識にすごしている家族は形も親子や夫婦の人間関係も家族ひとりひとりの生き方も大きく変化している。恋愛時代の男女、結婚後の夫と妻の関係はジェンダーが深く影響している。またいろいろな人間関係でつくられている家族のかたちもあらわれている。現代の日本社会では家族をめぐる現象は暗いことが多い。家族を共同生活ととらえて将来の家族のあり方を模索する。

b セクシュアリティ

この20年間の変化のなかでもっとも深くて大きなものが、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい人びとの間の暴力などをとりあげて、性にかんする固定観念から脱出する道を考える。

履修上の留意点
成績評価の方法

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁

前期試験にかわる夏休みの課題レポート 30%、後期試験 40%、講義内容やビデオ内容に関する意見、感想・出席 30%

教科書

使用しない。参考資料を配布する。

履修コード	229901
科目名	総合VII〔トラブルと法的解決〕
担当者名	中濱 義章・井上 健一・北野 かほる・佐藤 多美夫・中田 英幸・向田 正巳

講義のねらい	<p>日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。</p> <p>法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。</p> <p>担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。</p> <p>中濱 義章 消費生活と法 井上 健一 現代社会と商法 北野 かほる トラブルが法の問題になるとき 佐藤 多美夫 犯罪とは何か 中田 英幸 信託と法 向田 正巳 契約と不法行為</p>
履修上の留意点	<p>各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。</p> <p>私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。</p>
成績評価の方法	<p>各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。</p> <p>担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。</p> <p>追試験は、講義の形態上、行わない。</p> <p>特に指定しない。</p>
教科書 参考書等	<p>各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。</p> <p>六法は毎回忘れずに、持参すること。</p>

履修コード	230001
科目名	総合VII〔都市論〕
担当者名	内海 麻利・饗庭 伸・早川 純貴・堀内 康史・村上 暁信

講義のねらい

都市は多様な可能性と問題が集積する場である。過密化と空洞化、国際化、環境問題、犯罪、失業、市街地整備や開発紛争など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す社会の表象にはかならない。本講義では、都市の現状を政治学あるいは社会学や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回～6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利ほか 総合VII『都市論』ガイダンス（4月）

内海 麻利「都市計画制度とその動向」（4月・5月）

都市計画制度には、土地利用や道路、公園等の都市施設整備、市街地開発事業など、都市を形成するための様々なルールや仕組みがある。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川 純貴「まちづくりと住民参加」（5月・6月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

堀内 康史「都市とコミュニティ」（6月・7月）

都市を社会的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

村上 暁信「都市のランドスケープ」（9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

饗庭 伸「市街地整備とアーバンデザイン」（11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

履修上の留意点
成績評価の方法

3. 外国語科目

履修コード	236501
科目名	英語IA
担当者名	^{かわさき えみか} 川崎 笑佳

講義のねらい 入学時の英語能力を基盤として、文章による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール (1) プリント (2~7) Description (8~11) Narrative (12~14) Interaction (15~16) TOEIC, TOEFLなどを教材にした授業 (17~18) Interaction (19~22) Opinion (23~28) Business (29~30) TOEIC, TOEFLなどを教材にした授業

履修上の留意点 毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。(電子辞書も可。)

成績評価の方法 3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書 Alan Jackson 『Writing Plus!』(金星堂) ¥1,950

履修コード	236601・237901
科目名	英語IA
担当者名	^{あさかわ まき} 朝川 真紀

講義のねらい 文法・語法を再確認しながら、様々な種類の文を構築し、発信型のコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール 練習問題を解きながら基礎的な文法事項を確認し、前期は不定詞・動名詞・分詞・接続詞・時制・態・仮定法・動詞・助動詞、後期は形容詞・副詞・比較・名詞・冠詞・代名詞・関係詞・前置詞に即した英語表現を学んでいきます。またTOEIC形式のリスニング練習も行います。

履修上の留意点 毎回予習をして下さい。辞書を必ず持ってきて下さい。

成績評価の方法 出席状況(3分の2以上)、小テスト、平常点、前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書 小池直己著『5分間TOEIC(R)テスト・サプリメント文法・語法』南雲堂 ¥735
ISBN 978-4-523-17551-3
Shari J. Berman 著『ミステリーボックス：TOEIC(R)テスト基礎リスニング』成美堂 ¥900
ISBN 978-4-7919-4628-0

履修コード	236701・237501
科目名	英語IA
担当者名	^{かわさき こうたろう} 川崎 浩太郎

講義のねらい 入学時の英語力を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文などでなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、より効果的に自分の考えを表現できるようになることをめざします。

E-mail や日常会話などで使われる口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってまいります。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがって E-mail を書いてまいります。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション (2~ 15) Unit1 ~11 (15~ 30) Unit12 ~22

履修上の留意点 毎時間辞書を必ず持ってくること。

成績評価の方法 出席、発表50%、レポート50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 黒川裕一著『Subject:E-Mail ー大学生のEメール英作文』(南雲堂) 1,900円(税別)
ISBN4-523-17396-6

履修コード	236801・237001
科目名	英語IA
担当者名	三輪 久恵

講義のねらい シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものの見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

履修上の留意点 予習をしてることが重要です。辞書は中辞典程度のもの必携です。電子辞書はあまり感心しないですけれどね。

成績評価の方法 日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15～20分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あります。定期試験は行なわない予定です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書 Culture Riddles — America : Shaules 他著(南雲堂)1,400円+ tax.[前期]
The Spirit of New England : MIWA編著(旺社)1,500円+ tax.[後期]

履修コード	237101
科目名	英語IA
担当者名	岩屋 玉江

講義のねらい 基本的な英文法の知識を確認しながら、身近な話題に関して、内容的にまとまりのある文を書く能力の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点 予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法 出席および演習への参加状況・小テスト・期末試験の結果を総合しておこないます。

教科書 「Three-line Writing in English」成美堂 ¥1,800- ISBN 4-7919-1041-9 C-1082

履修コード	237201
科目名	英語IA
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics! —基本に帰る—ことをこのクラスの標語としたい。短い文章をよみながら、英語学習の Basics であるところの「5文型」を徹底してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) Orientation (2～7) Unit1～3 (8)《遊び時間》英語固有名詞について〈プリント配布〉(9～14) Unit4～6 (15) 中間試験 (16～21) Unit7～9 (22～23)《遊び時間》英語慣用句について〈プリント配布〉(24～29) Unit10～12 (30) 最終試験

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可とする。授業には英語辞書をかみならず携行のこと。電子辞書も可。

成績評価の方法 中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。

教科書 『今、アメリカを動かす人たち』(朝日出版社)1,700円

履修コード	237211
科目名	英語IA
担当者名	三芳 康義

講義のねらい TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は基本的な英文をじっくり読みながら、そこに出てくる文法や語法を確認する。その後、英作文を行う。後期はさらにペースを上げながら、英語の読みと共に、作文の運用能力の向上をはかる。詳細は、Making Friends at College(1-5), My Frantic Day(6-10), Time Is Not Money(11-18), Tokyo Disney Resort(19-24), Overseas Travel(25-30)です。

履修上の留意点 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書 市川泰弘他著「Get It Write」桐原書店 ISBN 4-342-54780-5

履修コード	237401
科目名	英語IA
担当者名	相馬 美明

講義の内容・授業スケジュール 入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策にも対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めてゆく。

- 前期 ・教科書 Lesson 1～6
 ・リスニング Exercise 1～11
 後期 ・教科書 Lesson 7～9、13・14
 ・リスニング Exercise 12～20
 ・プリント文法問題 P.1～8

成績評価の方法 出席については、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う定期試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。

教科書 ・ Hiroko Nishida 『American Communication Patterns』, William Gudykunst 金星堂
 ・ Mitsho Sugawara 『10-Minute Listening(Introductory)』 桐原書店

履修コード	237601
科目名	英語IA
担当者名	水崎 野里子

講義のねらい 日常的な話題を中心に、入学時の英語力を運用し、より高度な英語が書け、話せるようになることを目的とする。一授業ごとに、基礎的な英語表現を確認しつつ、より自由な英語作文能力を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 一授業にテキスト一課を予定としている。具体的には、英語でやさしいEメールの文章が書け、簡単な会話ができるようになって欲しい。

履修上の留意点 授業には出来るだけ積極的に参加して欲しい。成績評価には、平常点（出席）をも加味する。

成績評価の方法 前期後期の二度の試験に平常点を加え、総合評価する。

教科書 『はじめてのEメール英作文』(南雲堂) 1,700円, ISBN4-523-17504-7 C0082

参考書等 副教材を場合に応じて教場で指示する。

履修コード	237701
科目名	英語IA
担当者名	真砂 久晃

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1) 初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。(2)～(14) Unit 1 から順番に授業を行う。授業の進度は限定しない。(15) 前期試験 (16)～(29) 前期に引き続き、授業を行う。(30) 後期試験

履修上の留意点 出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法 成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2

前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20～30%) + テスト(70～80%)となる。

教科書 『Writing Update』(金星堂) 1,800円(税別), ISBN978-4-7647-3859-1 C1082

履修コード	237801
科目名	英語IA
担当者名	丹治 弘昌

講義のねらい 映画のシナリオと画面を読み比べながら、各場面での表現法を学習し、口語表現と書き言葉の違いなど、多角的なアプローチで英語を修得していく。

講義の内容・授業スケジュール 4月～6月 2本のDVD作品より、印象的な場面を取り出し、表現文法を学ぶ。

7月初め、表現のまとめおよび期末テスト

9月～11月 2本のDVD作品とその原作その他を比較鑑賞して、英語表現への理解を深める。

12月初め、期末テスト

履修上の留意点 遅刻は原則として認めない。証明書持参のこと。

成績評価の方法 日常の授業を重視する。テストは年2回、期末の授業の中でおこないます。

教科書 教場にて指定

履修コード	237911
科目名	英語IA
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい 日常生活場面と、留学後の生活に必要な英語を、基本から学びます。また様々な職業人へのインタビューを通して、英語の運用能力の向上を図るのがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール ビデオ映像による臨場感を楽しみながら、旅行編10章を前期で、留学編10章を後期で学び、終了します。小テストをもって各単元の終了とします。

履修上の留意点 小テストを必ず受けて下さい。小テストを積み重ねることで、前・後期試験をクリアできるようになっています。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、前期試験30%、後期試験30%とします。

教科書 Viva! SanFrancisco: Video Approach to Survival English マクミランランゲージハウス 2,000円

履修コード	237921
科目名	英語IA
担当者名	セイジ, K

講義のねらい A first year English course designed to help you increase your confidence in English!

講義の内容・授業スケジュール We will use a text book, but will also look at some DVDs, articles from the internet and sometimes other materials in class.

履修上の留意点 It is important to come to class and try your best to participate in class activities.

成績評価の方法 QUIZZES:
1. Review quizzes from in-class work
PERFORMANCES:
2. Interview
3. Role Play
4. Small drama
ATTENDANCE:
6. Attendance and attitude

教科書 Headway 2, 2nd Ed. Pre-Intermediate (yellow), ISBN. 0194366707

参考書等 Bring notepaper and some kind of electronic dictionary to class.

履修コード	237931
科目名	英語IA
担当者名	まつどう 啓子

講義のねらい 基礎的な文法を確認しながら、語彙・表現力を固め、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス 2手紙、ファックス 3電子メール、電話 4面会の申し入れ、ホテルの予約 5オフィスの移転通知、支店の開設案内 6レセプションへの招待 7アンケートの回答依頼、資料の送付依頼 8慶弔、会議の通知 9議事録 10物品の購入、社内研修の案内 11社内研修の報告 12日程の中間報告 13前期試験 14引き合い(1) 15引き合い(2) 16注文 17代金の回収 18クレームと調整 19履歴書 20応募の手紙 21推薦状 22面接 23面接の結果の通知、退職願 24後期試験

履修上の留意点 単位取得には三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法 試験の結果(8割)、課題等(2割)。

教科書 豊田暁、Essentials of Global Business English、南雲堂、¥2100、ISBN978 4 523 17605-3

履修コード	240231
科目名	英語IA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	よしざわ 栄治郎

講義のねらい ごくふつうの日本語を数多く英訳していく練習をしていきます。その際にはやはり辞典は必須ですから絶えず活用するようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール 英作文の技術の習得の為、第1回から第27回にかけて担当教員の板書にしたがって練習を行ないます。

履修上の留意点 辞典を必ず携帯してください。

成績評価の方法 ペーパーテスト、課題提出物、出席状況をみて、評価します。

教科書 使用しない。

履修コード	243201
科目名	英語IB
担当者名	おおば なつき 大庭 直樹

講義のねらい キリスト教関係の文献を英語で読む。キリスト教の成り立ち、その歴史、西欧文化との関係、などの文献を英文で多読する。一年間で、キリスト教の基本的な全貌を理解することが、このクラスの狙いである。

講義の内容・授業スケジュール 事前に配布された文献を必ず読んで授業に出席すること。読む量が多いので、学生ができるだけ発表する機会を多くするようにする。内容をレポートにまとめて提出してもらってもある。

成績評価の方法 レポートの提出、クラスでの発表、定期試験、そして出席を重視して、成績は総合的に判断する。

教科書 新約聖書物語、成美堂

履修コード	243301・244011
科目名	英語IB
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政

講義のねらい 入学時の英語力を基に、より高度な構文の理解を目指します。さらに speed reading の基礎力向上も目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1. イントロダクション 2. 学校の身分証明書名札 3. 修学旅行が職場訪問 4. バブの新年時間 5. サウジアラビアの女性ドライバー 6. 英雄的ハッカーか犯罪者か 7. 春期英語検定実問 8. 女性専用車は成功するだろう 9. 新しいタイプの男らしさ 10. カンボジアの牛が未来を予見 11. ホラー映画 12. 料理教室の鯨 13. マンUのサッカー・ファン 14. ホームレス 15. 中間試験 16. 両親が子供たちに教訓 17. 認知症をよせつけない 18. アイ世代 19. アジアでの子作り 20. つづり字競技会 21. サマータイムの時期 22. 子供に関する論争 23. 名前 24. 秋期英語検定実問 25. 5つのショート・ストーリー 26. 古い知人 27. イギリスの少数民族 28. 世界が今必要としているもの(1) 29. 世界が今人用としているもの(2) 30. 期末試験

履修上の留意点 予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。

成績評価の方法 授業出席率と、前期・後期の試験結果に積極的な授業参加を勘案して評価します。

教科書 『世界事情』南雲堂

履修コード	243401・243801
科目名	英語IB
担当者名	いらふ あきこ 伊良部 祥子

講義のねらい 英語文化圏の新聞や雑誌から選んだ記事を読み、英語読解力を養うとともに異文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 英文記事を読み、考え、要約する。また、記事の内容についての意見も求める。語彙や構文の練習問題も行う。

履修上の留意点 分からない単語は辞書で調べておくこと。語学の授業なので出席を重視する。

成績評価の方法 ①前期・後期試験 ②授業時の発表 ③課題の提出 ④出席状況で総合評価する。

教科書 『The Half-Edition of English through the News Media 2008』朝日出版社 ¥1,100
ISBN978-4-255-15454-1

履修コード	243701
科目名	英語IB
担当者名	はまぐら まさき 濱口 真木

講義のねらい 英語の基本的な文法、構文をチェックしつつ、テキストの内容を正確に読みとる力をつける。

講義の内容・授業スケジュール Takeshi Kitano, Tadahito Iguchi, Kaguya, (1-6)
Japanese Agriculture, Lactic Acid Bacterium, Millet (7-12)
Black Vinegar, MOS Burger, Kitakami:Enterprise Mecca (13-18)
Radio-Controlled Watch, Forest Recycling, Biometrics (19-24)
IC Tag, Internet Security, Discover Japan (25-30)

履修上の留意点 平常点重視。予習をしてくること。

成績評価の方法 出席、発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価とする。

教科書 『Sustainable Life and Economics』1995円(南雲堂) ISBN978-4-523-17573-5

履修コード	243901
科目名	英語IB
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 英語の基本的な文法、構文をチェックしつつ、テキストの内容を正確に読みとる力をつける。
 講義の内容・授業スケジュール Patissiers' Glamorous Image Growing, Laughing Muscle Exercise, Passion for Restoring Old Houses (1-6)
 Reality Bites, Chocolate Diet, Mystery of the Canadian Spy Coin (7-12)
 Unregistered Nursing Facilities, Making Objects Invisible, Roller Coaster Crash (13-18)
 Chinese Sports Market, Fixation with French Luxury Brands, Largest Payout Ever (19-24)
 Eating Fish during Pregnancy, A Tailor-made Experience, Last Chance at Revival (25-30)

履修上の留意点 平常点重視。予習をしておくこと。
 成績評価の方法 出席、発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価とする。
 教科書 『English in the Media 2008』(金星堂)1800円 ISBN978-4-7647-3868-3

履修コード	244001・244301・244641
科目名	英語IB
担当者名	杉村 初枝

講義のねらい 「正確な読解」を目標に、文法・構文・語意に留意した精読に重点を置いて授業を行います。身近なニュースを集めたテキストをつかって、難解な文章でも的確に読みこなす練習と、DVDを見ながら大意を把握する練習を行います。

講義の内容・授業スケジュール 授業は発表形式で、テキストの読解を中心に進めます。毎回内容確認の小テストを行います。発表者は、予めレポートを準備し授業終了時に提出するものとします(年間5回程度)。詳細については開講時にマニュアルを配布します。

履修上の留意点 予習をした上で授業に臨むことが前提ですが、分からない箇所を曖昧にせず、各自が徹底的に調べる習慣を心がけてください。中辞典以上の英和辞典を用意することを勧めます。

成績評価の方法 授業中の発表、レポート、小テスト、前後期試験の成績に基づき総合的に評価します。ただし全授業回数の3分の2以上の出席がない場合、成績評価はできません。(出席の確認は、毎回行う小テストの提出を以って行います。)評価の詳しい配分については、開講時にマニュアルを配布します。

教科書 未定

履修コード	244101・244631
科目名	英語IB
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい 英語の基礎的な読解力の向上を目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 平易な英語で多くの文章を読み、内容把握、要点理解といった読解力のアップを目指します。

成績評価の方法 前・後期末試験、レポート、出席などを総合的に評価します。
 教科書 教場にて指示します。

履修コード	244201
科目名	英語IB
担当者名	山岸 二郎

講義のねらい 英文構造の理解を深め、精読に努め、併せて大意の把握に心掛ける。
 講義の内容・授業スケジュール 20世紀末の世界各国の話題を扱う英文を講読して、Exercises A～Eに取り組む。2ページ1ユニット構成の各ユニットを一回の授業で学習する。20世紀末の世界を統計的な数字でながめてみると、興味深い現象が見えてくる。ここでの学習によって、私たちの国際社への理解は高まるであろう。

履修上の留意点 予習をしておくこと。
 成績評価の方法 平常の学習、小テスト、テスト等総合して評価する。
 教科書 The World Today:the Good, the Bad, the Ugly 『数が語る世界』(南雲堂)

履修コード	244401
科目名	英語IB
担当者名	山岸 二郎

講義のねらい 構文の理解と精読に努め、英文に習熟する。

講義の内容・授業スケジュール テキストは本文2ページ、Exercises 2ページ、Tea Break 1ページで One Chapter を構成している。各 Chapter を2回の授業で学習する。イギリスの歴史や文化を楽しみながら英語の総合力を高めたい。

履修上の留意点 予習を必ずやっておく。

成績評価の方法 平常の学習、小テスト、テスト等総合して評価する。3分の2以上の出席が必要である。

教科書 *Cultural Walks in Britain* 『イギリス文化散策』(成美堂)

履修コード	244501
科目名	英語IB
担当者名	萩原 輝

講義のねらい 入学時の英語力を土台にして、更に上の語学力を身に付ける。Reading は、精読のみならず、速読も行う。Listening は、ナチュラル・スピードで英文を把握出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール (前期)
 第1回 イントロダクション
 第2～4回 Kewpie
 第5～7回 Shimadzu
 第8～10回 Mitsuoka Motor
 第11～13回 Wacoal
 第14回 Yairi Guitar
 第15回 前期テスト

(後期)
 第1回 前期の復習
 第2～4回 KGS
 第5～7回 Casio Computer
 第8～10回 Sanwa Shurui
 第11～13回 kao
 第14回 Kyocera
 第15回 後期テスト

履修上の留意点 毎時間、英和・和英辞典を持参すること。

成績評価の方法 授業での態度、出席数、前・後期のテストの結果等を総合して評価する。

教科書 *Front-runners in the 21st Century*, 『挑戦する企業』(松柏社) ¥1900, ISBN4-88198-576-0

履修コード	244601
科目名	英語IB
担当者名	木元 喜久子

講義のねらい 現代の情報化時代に対応すべく、経済そのものから派生した話題・ビジネスや経営など幅広く現代的な話題を取り上げたエッセイを読みながら、英語の総合力の向上だけでなく、経済的な情報を学び、国際人としての素養を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 様々なエッセイの速読と精読を通して英文読解力の向上をめざす。内容把握・リスニング、文法、語いや作文の練習問題を通して英語の総合的・実践的な力を養成する。

履修上の留意点 十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法 成績は出席率(全授業の2/3)・授業中の発表や課題と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書 Thomas Koch、石井隆之他編著 『Global Transformation-Insight into Modern Economy and International Business』 (『グローバル時代ビジネス—現代経済の課題と展望』)(成美堂) ISBN978-4-7919-4622-8

履修コード	244611
科目名	英語IB
担当者名	伊良部 祥子

講義のねらい 経済に関する様々な英文記事を読み、語彙を増やし読解力を高める。
 講義の内容・ 英文記事を読み、考え、要約する。語彙や構文の練習問題も行う。Media(2,3)Food(4,5)Manufacturing(6,7)Environmental problems(8,9)Asian Economy(10,11)Investment(12,13)Local Administration(14,15) 等
 履修上の留意点 テキストを読んでおくこと。演習科目なので出席を重視する。また、授業時の発表を重視する。
 成績評価の方法 ①前期・後期試験 ②授業時の発表 ③課題の提出 ④出席状況で総合評価する。
 教科書 『Current Topics from The Nikkei Weekly』 CENGAGE Learning ¥1,800
 ISBN978-4-86312-059-4

履修コード	244621
科目名	英語IB
担当者名	落合 真裕

講義のねらい すでに習得した文法や語法の復習をしながら、基礎英語力の向上をはかると共に、短時間で的確に内容を把握できる力を養うことを目指します。また、適宜リスニングの練習も取り入れ時事的な事柄についても聞いて理解できることを目指します。
 講義の内容・ IBMや Starbucks など日本で知られている15のアメリカの有名企業を題材としたエッセイを読みます。始めはゆっくりと読み進めますが、段々と読む速度を上げ、レベル・アップしていきます。
 授業スケジュール
 前期（第1回～第15回）
 Chapter 1 The Dodgers
 Chapter 2 Pepsi-Cola
 Chapter 3 IBM
 Chapter 4 Oreo
 Chapter 5 Hyatt
 Chapter 6 Yahoo!
 Chapter 7 The Chicago Bulls
 後期（第1回～第15回）
 Chapter 8 Pizza Hut
 Chapter 9 Starbucks
 Chapter 10 Greyhound
 Chapter 11 Newsweek
 Chapter 12 Gap
 Chapter 13 Wal-Mart
 Chapter 14 Microsoft
 Chapter 15 USA Today
 （適宜リスニング教材を用いた聞き取りの練習も合わせて行います）
 履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。（電子辞書可）
 成績評価の方法 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基つき総合的に評価します。
 教科書 Big Names in American Business（南雲堂）1,600円+税 ISBN4-523-17479-2

履修コード	246921
科目名	英語IB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	^{おちあい まゆ} 落合 真裕

講義のねらい	入学時の英語力を基礎として英語運用能力の向上を目指していきます。リスニングの練習をしながら日常会話表現を習得すると共に、語彙を増やし、正しい文法知識を身につけていきます。
講義の内容・授業スケジュール	各課のダイアログを通して、基本文型を分析し文構造を理解すると共に、日常会話表現、関連語句、発音のポイントを学びながら英語の運用能力を身につけていきます。 前期（第1回～第15回） Lesson 1 挨拶 (Greetings) Lesson 2 紹介 (Introductions) Lesson 3 質問 (Asking Questions) Lesson 4 依頼 (Requests) Lesson 5 感謝 (Thanks) Lesson 6 約束 (Appointments) 後期（第1回～第15回） Lesson 7 詫び (Apologies) Lesson 8 提案 (Suggestions) Lesson 9 許可 (Permissions) Lesson 10 勧誘 (Invitations) Lesson 11 同意 (Agreement) Lesson 12 不同意 (Disagreement)
履修上の留意点	毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)
成績評価の方法	前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。
教科書	Focus on Communication(1) - Through Sentence Patterns - (朝日出版社) 1,400円 ISBN978-4-255-15442-8

履修コード	250801
科目名	英語IIA
担当者名	^{しい のぶひこ} 井伊 順彦

講義のねらい	見た目も楽しく、多様な問題を扱ったテキストを用いて、おもに英語を「聞く」力と「書く」力を伸ばす。「話す」機会も多少は設けたい。
講義の内容・授業スケジュール	毎回かなりの時間がテープを聞いて問題に答える（口答もしくは筆記で）ことに費やされる。ときおりビデオを観て、英米の社会状況について学びたい（英語の聞き取り練習にもなる）。
履修上の留意点	毎回おそらく全体の半数ほどの学生が指名され、なんらかのかたちで問題に答えることになる。積極的な姿勢が求められる。
成績評価の方法	数回の小テストの成績、質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。
教科書	ブレーン・スマイリーほか著『Listening and Self-Expression (自己表現のためのリスニング)』（南雲堂）
参考書等	おりにふれて教室で指示する。

履修コード	250901
科目名	英語IIA
担当者名	おかもと まこと 岡本 誠

外国語

講義のねらい	<p>現代的な明快な文に親しんでもらう。かつ、学生諸君の専攻分野の関係から時事的な、また社会的科学的な経済・経営方面のものを読んでいくことにする。この分野は時々刻々目まぐるしく変動するわけだが、なるべく時局的な問題をフォローしていく。読む材料は決して難解ではないので、この程度のものは読みこなせるようにしてほしい。その上で、内容について質問していくので、答えしてほしい。単なる読解には終わらせない。</p> <p>次のような話題を取り上げていくが、世界の経済の動きに常に密着していくので、適宜タイムリーなテーマも取り上げる予定である。</p> <p>1. 最近円高が話題になっている。つまり、それはドル安が話題になっているということである。 Making Sense of a Weak Dollar</p> <p>2. 原油高が問題になっている。 Petroleum: A Short History of Black Gold</p> <p>3. 2007年度ノーベル経済学賞受賞者。 2007 Nobel in Economics: Designing Better Markets</p> <p>4. サブプライムローンの問題点。 Helping Subprime Borrowers: Too Little? Too Much?</p> <p>5. 目覚ましい中国の経済、しかしそれは本物か。 World Bank Finds China's Economy 40 Percent Smaller Than Thought</p> <p>6. マクドナルドがスターバックスを狙う。 McDonald's Targets Starbucks</p> <p>7. そのマクドナルドが急成長した背景。 The Man Who Made McDonald's Popular Around the World</p> <p>8. 2008年の世界経済は鈍化するか。 World Economic Growth Expected to Slow in '08</p> <p>9. 東芝とソニーの戦い再び。 For High Definition TVs, Blu-ray Gets a Big Supporter</p>
履修上の留意点	必ず予習してくること。その前提でこちらは進めていく。辞書の携帯は必須。ケータイは必須に非ず。授業中は外へ出ない。被り物は取ってから教場へ入る。実力がつくように厳しくやるので、それがいやだったら最初から履修しないこと。
成績評価の方法	前期・後期の試験。出席・欠席・遅刻状況。授業への参加状況・発表状況。
教科書	特定のものは使用しない。担当者が用意する。
参考書等	教材をダウンロードしているURLを自分でも検索して、吟味してみることが望ましい。

履修コード	251001・251201
科目名	英語IIA
担当者名	こいずみ かずひろ 小泉 和弘

講義の内容・ 授業スケジュール	<p>(1) ガイダンス (2~3) イギリス (4~5) ドイツ (1) (6~7) ドイツ (2) (8~9) フランス (1) (10~11) フランス (2) (12~13) イタリア (14) まとめ (15) 試験 (16) ガイダンス (17~18) アメリカ (1) (19~20) アメリカ (2) (21~22) カナダ (23~24) ロシア (25~26) 中国 (27~28) 日本 (29) まとめ (30) 試験</p>
成績評価の方法	試験50%、授業への取り組み方及び態度・出席率50%
教科書	小泉和弘著, Major Countries In The World, (世界の主要国) 鳳書房、1,800円 ISBN4-902455-03-X C1082

履修コード	251101
科目名	英語IIA
担当者名	塚本 利男

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、社会問題や環境問題などについて自分の意見が書けるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフの書き方として、「列挙」、「原因と結果」、「比較」など（2～14）、さらに「定義」、「意見」、「類推」など（16～25）の展開方法を学び、最後に、パラグラフから発展してエッセイの書き方を学ぶ。（26～29）前・後期のテストを実施する。（15と30）授業の総仕上げとして毎回授業の最後に小論文を書き提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する小論文、前・後期の試験に基づく。

教科書 『大学生の英語ライティングーセンテンスからパラグラフへ』
山村三郎・兼頭満里子他（株）金星堂、1,950円＋税 ISBN978-4-7647-3835-5

履修コード	251301
科目名	英語IIA
担当者名	鈴木 美貴子

講義のねらい 色々な口語表現を学びながら英作文力をつける。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って学ぶ。随時こちらで用意したりスニング教材も使う。前・後期各一回レポートを提出して頂く。

履修上の留意点 毎回必ず辞書（英和・和英）持参。

成績評価の方法 前・後期試験、発表、提出物、出席状況により総合的に評価する。

教科書 『英作文のコア表現180』（音羽書房鶴見書店、1800円）
ISBN978-4-7553-0347-0 C1082

履修コード	251401
科目名	英語IIA
担当者名	足田 和入

講義のねらい 英語の文法と思考方法を学び、運用能力を高める。また可能な場合、コンピュータを使用し、実践的な英文作成を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 1 イントロ（1） 2 英語の思考法（2～12） 3 前期のまとめ（13～14） 4 前期試験（15）
5 英文の構成法（16～27） 6 後期のまとめ（28～29） 7 後期試験（30）

履修上の留意点 出席しているだけでは評価されない。積極的な授業態度が求められる。

成績評価の方法 出席態度及び毎回授業中に課する小レポート、2回の学期末試験、その他の課題を総合的に判断し成績評価を行う。

教科書 What's Up? 2008-9 Intermediate （桐原書店）

履修コード	251411
科目名	英語IIA
担当者名	三幣 友行

講義のねらい 英語IAで学んだことを基礎として、英語での意思伝達能力のさらなる向上を目指す

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って、英語の口語表現を学んでいく

履修上の留意点 予習を前提として授業をすすめる

成績評価の方法 前期試験、後期試験、小テスト、出席平常点を総合的に評価する

教科書 未定

その他 詳しいことは授業開始時に指示する

履修コード	251501
科目名	英語IIA
担当者名	伊勢村 定雄

講義のねらい 音読とダイアローグの暗唱により、英読の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 4月 ガイダンス
 〈本文音読・訳読→ダイアローグの音読・訳読→練習→ダイアローグのテスト〉のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。
 5月 オーラルテスト(1回)
 6月 オーラルテスト(2回)
 " (3回)
 7月 オーラルテスト(4回)
 9月 後期ガイダンス及び授業
 10月 オーラルテスト(5回)
 " (6回)
 11月 オーラルテスト(7回)
 " (8回)
 12月 オーラルテスト(9回)
 都合9回のオーラルテストを予定。
 予習は必ずして出席のこと！辞書持参。
 主にオーラルテスト(7割)の結果による+他授業参加態度(2割)+出席状況(1割)及びその態度=100点。

履修上の留意点 成績評価の方法 伊勢村定雄・David W. Chapmon『オーラルコミュニケーション英語演習』(北星堂書店) 1,900円

教科書 中型英語辞典なら何でも可。

参考書等 その他 上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

履修コード	251601
科目名	英語IIA
担当者名	松堂 啓子

講義のねらい リスニングのエクササイズを通して、語彙、表現力の強化をはかる。要旨を把握するための練習も併せて行う。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス、2 アメリカでリメイクされた日本映画、3 アメリカでリメイクされた日本映画、4 海外で翻訳される日本文学、5 海外で翻訳される日本文学、6 ヴァレンタイン・デー、日本と欧米での違い、7 ヴァレンタイン・デー、日本と欧米での違い、8 海外でも人気の日本産アニメ、9 海外でも人気の日本産アニメ、10 イギリスの国民的ヒーローとは？、11 イギリスの国民的ヒーローとは？、12 ポップス、クラシック、どっちが好き？、13 ポップス、クラシック、どっちが好き？、14 前期試験、15 モネとジャポニスム、16 モネとジャポニスム、17 アガサ・クリスティー失踪事件の真相、18 アガサ・クリスティー失踪事件の真相、19 写真撮影時のVサインは誰が始めた？、20 写真撮影時のVサインは誰が始めた？、21 1964年の英国の米国侵略って？、22 1964年の英国の米国侵略って？、23 「ロミオとジュリエット」は盗作？、24 後期試験

成績評価の方法 試験の結果(8割)平常点(2割)

教科書 Mikako Fujioka / Christopher Belton, *Listening Strategies for the TOEIC TEST*、(センゲージラーニング)、¥2,100

履修コード	251701
科目名	英語IIA
担当者名	竹村 恵都子

講義のねらい 主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に、テープを使用しながら演習形式で授業を進めます。
 前期予定—オリエンテーション+ Chapter 1 ~10 +テスト
 後期予定—テスト結果発表+ Chapter 11 ~20 +テスト

履修上の留意点 欠席・遅刻をせず、予習を含めて積極的に授業に取り組むこと。

成績評価の方法 前期・後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを考慮して総合的に評価します。

教科書 未定

履修コード	251801
科目名	英語IIA
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義のねらい 英 I A で身につけた英語の力を土台にして、発音、表現力を一層高める。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、プリントを配布する。それをテキストとして練習を行なう。ただしこのプリントは断片的なものではなく、年間を通しての授業であるまとまりが把握できるようになっているので、一年間でその全体を感じてもらおう。

履修上の留意点 英語の辞書は毎回もってくる。
教室での思考、発表を非常に重視するので欠席・遅刻のないように。欠席・遅刻は評価につながる。

成績評価の方法 授業で表現された思考・発表、出欠席・遅刻、レポートによって総合的に評価する。

教科書 プリント。

参考書等 授業の中で随時紹介する。

履修コード	251901
科目名	英語IIA
担当者名	西田 義和 <small>にしだ よしかず</small>

講義のねらい 英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。
第1回と2回は文の攻略法(文の構造、文の種類その他練習問題等)
第3回と4回は動詞の攻略法(動詞の活用、自動詞と他動詞その他練習問題等)
第5回と6回は時制の攻略法(現在時制、過去時制、未来時制その他練習問題等)
第7回と8回は仮定法の構文攻略法(仮程法過去、仮程法過去完了その他練習問題等)
第9回と10回は態の構文攻略法(能動態と受動態、受動態の時制その他練習問題等)
第11回と12回は不定詞の構文攻略法(各用法とその他練習問題等)
第13回と14回は動名詞の構文攻略法(動名詞の基本用法その他練習問題等)
第15回は前期テスト(前期最終回の授業)
第16回と17回は分詞、分詞構文の攻略法および練習問題等。
第18回と19回は助動詞の構文攻略法(助動詞の用法と練習問題等)
第20回と21回は名詞の構文攻略法(様々な名詞の用法と練習問題等)
第22回と23回は冠詞の構文攻略法(定冠詞、不定冠詞とその他練習問題等)
第24回と25回は代名詞の構文攻略法(様々な代名詞とその他練習問題等)
第26回と27回は形容詞の構文攻略法(様々な形容詞とその他練習問題等)
第28回と29回は副詞の構文攻略法(様々な副詞とその他練習問題等)
第30回前期 後期テスト、(後期最終回の授業)

履修上の留意点 予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法 出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書 現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

履修コード	251911
科目名	英語IIA
担当者名	吉川 直澄 <small>きよかわ なおずみ</small>

講義のねらい 映画のストーリーを楽しみながら、表現力育成を念頭に置いて、総合的な語学力と思考力を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 前期では量よりも性格さを目的として演習を行います。(1) ガイダンス (2~13) Unit1 から Unit12 までの演習 (14) 全体の復習と試験の説明 (15) 前期試験。後期では、プリントを使用し、徐々に量をこなすことへと移行しようと思います。(1) ガイダンス (2~13) プリントによる演習 (14) 試験の説明 (15) 後期試験。

履修上の留意点 語学は復習が大事です。日ごろから一定量の英語に接して、出会った単語や表現を意欲的に使ってみようという姿勢を持つようにしてください。

成績評価の方法 出席、授業参加、授業内提出課題、学期末試験を総合的に検討して評価します。

教科書 北山長貴・他『イン・アメリカ 三つの小さな願いごと』 2006年刊(英宝社) 1,995円

履修コード	251951
科目名	英語IIA
担当者名	芝田 興太郎 <small>しばた こうたろう</small>

講義のねらい 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら 基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく

講義の内容・授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表

履修上の留意点 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること

成績評価の方法 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価

教科書 Simply Grammar 南雲一範著 南雲堂 1890円

履修コード	251961
科目名	英語IIA
担当者名	今井 夏彦 <small>いまい なつひこ</small>

講義のねらい 留学・環境問題・マルチメディアなど様々なテーマを取り上げ、各々の場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を同時に養成します。

講義の内容・授業スケジュール 1回の授業で1章進むことを目標にします。

履修上の留意点 授業は予習をしてくること。

成績評価の方法 平常点を重視し、前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書 『日常会話英作文』成美堂 ¥1,600
ISBN 4-7919-5035-6

履修コード	251971
科目名	英語IIA
担当者名	西田 義和 <small>にしだ よしかず</small>

講義のねらい 英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

(1～2) 文の攻略法(文の構造、文の種類その他練習問題等)
(3～4) 動詞の攻略法(動詞の活用、自動詞と他動詞その他練習問題等)
(5～6) 時制の攻略法(現在時制、過去時制、未来時制その他練習問題等)
(7～8) 仮定法の構文攻略法(仮定法過去、仮定法過去完了その他練習問題等)
(9～10) 態の構文攻略法(能動態と受動態、受動態の時制その他練習問題等)
(11～12) 不定詞の構文攻略法(各用法とその他練習問題等)
(13～14) 動名詞の構文攻略法(動名詞の基本用法その他練習問題等)
(15) 前期テスト(前期最終回の授業)
(16～17) 分詞、分詞構文の攻略法および練習問題等
(18～19) 助動詞の構文攻略法(助動詞の用法と練習問題等)
(20～21) 名詞の構文攻略法(様々な名詞の用法と練習問題等)
(22～23) 冠詞の構文攻略法(定冠詞、不定冠詞とその他練習問題等)
(24～25) 代名詞の構文攻略法(様々な代名詞とその練習問題等)
(26～27) 形容詞の構文攻略法(様々な形容詞とその練習問題等)
(28～29) 副詞の構文攻略法(様々な副詞とその練習問題等)
(30) 前期 後期テスト、(後期最終回の授業)

履修上の留意点 予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法 出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書 現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

履修コード	251981
科目名	英語IIA
担当者名	<small>はまぐち まさき</small> 濱口 真木

講義のねらい 英語の文法、構文の知識を強化し、読解力や表現力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール Blessed Boomerang, Imagination, On Courage, On Courtesy(1-6)
Bravery, Confidence, Take a Chance (7-12)
Face and Fortune, On Being Right, On Peace of Mind (13-18)
On Facing Life, On Crises, The Art of Success, (19-24)
God's Open Door, My Magic Bookmark, One Thing at a Time (25-30)

履修上の留意点 平常点重視。予習をしていくこと。

成績評価の方法 出席、発表などの平常評価(50%)、前期、後期試験(50%)の総合評価とする。

教科書 『The Best of Words to Live by』(朝日出版社) 1100円 ISBN4-255-15102-4

履修コード	256301
科目名	英語IIB
担当者名	<small>わたなべ こうじ</small> 渡部 孝治

講義のねらい 英文の読解力を高めることを目的とする。スラッシュ・リーディング(直読読解・同時通訳方式)をマスターさせる。これによって英文を早く読み、理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に進めていく。前期は精読、後期は速読・多読を心がける。

履修上の留意点 前期・後期の試験の結果、3分の2以上の出席、授業の参加度合いを入れて総合的に評価します。

成績評価の方法 開講時に指示する。

教科書

履修コード	256401
科目名	英語IIB
担当者名	<small>いちかわ ひとし</small> 市川 仁

講義のねらい より多くの量の英文を読むようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 学生の皆さんの発表を中心にして授業を進めていきます。

履修上の留意点 必ず予習をして授業に出席してください。

成績評価の方法 授業中の発表と前期・後期の試験を総合して評価します。原則として全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。

教科書 石原孝哉他『英語で楽しむ秘録・イングランド史外伝』(南雲堂) 2.100円
ISBN978-4-523-17578-0

履修コード	256501
科目名	英語IIB
担当者名	<small>つかもと としお</small> 塚本 利男

講義のねらい 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 簡潔明瞭な本文を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点 プログ、スフィンクス、左利きは天才など(2~14)。メジャーリーグ、砂丘を歩こう、芸術は爆発だなどの内容の英文をよむ(16~29)。前期・後期のテストを実施する(15と30)。

成績評価の方法 授業の予習をすること。辞書を持っていくこと。

教科書 授業における発表・テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。
『速読の発展演習』
Casey Malarcher・森田彰・原田慎一(株)成美堂
1,700円+税 ISBN978-4-7919-4625-9

履修コード	256601
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>たかはし よしえ</small> 高橋 佳江

講義のねらい	文法を理解しながら、ある程度高度な内容の文を読解できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	①ガイダンス ②～④毎回1課ずつ進む ⑤試験 テキストを最初は細かく、だんだん速読できるようにする。
履修上の留意点	授業時の発言点をポイントとしていくため、出席しているだけでなく、発言することが必要になってくる。そのため予習を必ずしてこよう。
成績評価の方法	出席が授業回数の2/3以上で（遅刻3回で欠席1回とする）、発言点、前期、後期の試験（60点以上）の者を合格とする。
教科書	教科書は初回の授業時に指示する。

履修コード	256701
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>うえむら ひろこ</small> 植村 恵子

講義のねらい	新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。（そのためにも今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。）
講義の内容・授業スケジュール	使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事頻出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercises1の問題を解きながら読み、最後にExercises2でディクテーション（聞いて書き取る）を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。
履修上の留意点	授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。
成績評価の方法	出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト）及び前期・後期試験による。
教科書	藤井・内野『時事英語の総合演習—2008年度版—』（朝日出版社）1,500円 ISBN978-4-255-15455-8
参考書等	『リーダーズ英和辞典』（研究社） 『現代用語の基礎知識』（自由国民社）

履修コード	256801
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>しみず まさお</small> 清水 雅夫

講義のねらい	単語力、構文を把握する力を増強する。
講義の内容・授業スケジュール	環境問題に対処するためのテクノロジーや、それを応用したビジネスを扱った文章を読む。レベルは中の下ぐらいだが、やや専門的な語彙を含む（バイオ方面）。授業2回で1課進む。全20課から12課を選ぶ。
履修上の留意点	予習は、本文中の単語調べ、練習問題の指定箇所。復習は本文中の指定箇所など。
成績評価の方法	試験（授業内、4回）80%、出席20%、平常点（予習、授業態度など）±20%。
教科書	<i>Sustainable Life And Economics</i> 『サステナブルライフと経済』（南雲堂）1995円（税込）

履修コード	256901
科目名	英語II B
担当者名	井出 功一

講義のねらい テキストは世界各地の国民、民族、部族が何を、どのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた食文化論です。

講義の内容・授業スケジュール イギリスのお茶(2回)、中国のお茶(2回)、茶の湯(2回)、コーヒーの道(2回)、ナイフ・フォーク文化圏(2回)、手食の文化圏(2回)、中華料理(2回)、フランス料理(2回)、日本料理(2回)、アメリカ料理(2回)、パン食文化圏(2回)、根菜農耕文化(2回)、世界の麺類(2回)、牛乳の文化(2回)、香辛料(2回)

なお、最近の話題の食料、例えばアンデス山脈からやってきた「ヤーコン」(Yacon)、通称キャプテン・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ツルナ」、(New Zealand Spinach)、歴史の古い蜂蜜酒(Mead)、シベリヤ南部原産で16世紀にヨーロッパに導入された「ルバーブ」(Rhubarb)なども説明します。

成績評価の方法 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価
教科書 『A Global Tour of Dietary Culture』(世界の食文化)成美堂
その他 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。

履修コード	256911・257511
科目名	英語II B
担当者名	萩原 輝

講義のねらい I Bで養った英語力を土台として、より高度な英文を正確に読む力を養う。また、多量の英文を早く読むための訓練も時々行う。

講義の内容・授業スケジュール (前期)
第1回 インTRODakション
第2～4回 Ability And Achievement
第5～7回 Bores And Boredom
第8～10回 Chance And Fortune
第11～13回 Character And Personality
第14回 Drinking And Drunkenness
第15回 前期試験
(後期)
第1回 Experience
第2～4回 Government And Politicians
第5～7回 Happiness
第8～10回 Journalism, Journalists, The media
第11～13回 Love And Hate
第14回 Money
第15回 後期試験

履修上の留意点 毎時間、英和辞典を持参すること
成績評価の方法 授業での態度、出席数、レポート、前・後期の試験等の総合したもので評価する。
教科書 *Who Said That?* 九頭見一士編著 南雲堂 (¥1900) ISBN4-523-17292-7 C0082

履修コード	257101
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>ゆきひろ たいぞう</small> 行廣 泰三

講義のねらい 国際化・情報化時代に対応すべく経済から派生した話題やビジネス経営など幅広く現代的な話題を取り上げたテキストを使い、学生達に総合的な観点から英語力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 国より大きくなる会社 (Economies Larger than Countries)
3. 形を変えるお金 (Cash, Credit, Cards and Checks in the U.S.)
4. インターネットの功と罪 (The Internet and Surfing for Dollars)
5. 有機食品は本当に高いのか? (Organic Food VS Non-organic Food)
6. 戦後の金融秩序のための2大機関 (The World Bank, the International Monetary Fund)
7. 日本企業の底力 (The Japanese Automobile Industry)
8. 不況脱出に秘策はあるか? (Deficit Spending in the U.S.)
9. 日本のバブル経済 (Japan's Economic Bubble)
10. 次世代の油は水か? (The Next Oil-Water Privatization)
11. リサイクルは地球に優しいか? (The Economics of Recycling)
12. 地球温暖化を食い止める方法 (The Economics of Renewable Energy Resources)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

復習と予習をする習慣をつけて下さい。
出席点20%、小テスト40%、期末テスト40%
石井隆之他4名『Global Transformation - グローバル時代ビジネス - 2008年刊 ((株) 成美堂) 1800円 (税別)

履修コード	257201
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>さとう こういち</small> 佐藤 孝一

講義のねらい 授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできてください。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人の人に発表をしてもらいますが、事前に割り振ります。

成績評価の方法
教科書

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。
(1) M. ドライバー 著『It 's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet.』(World Communication) 1,700円
(2) TOEICテキストに関しては未定。授業で指示します。

履修コード	257301
科目名	英語II B
担当者名	小布施 圭佐三

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

パラグラフ・リーディング、リスニング、ライティング、及び英語の表現力を養成します。

- 1.◇ガイダンス（授業を展開する上での）
- 2-3 Corporations:Economies Larger than Countries
- 4-5 Banking:Cash, Credit Cards and Checks in the U.S.
- 6-7GATT, WTO and a 65,000-employee Mega-factory in Vietnam
8. ◇ Pretest
- 9-10Privatizing Government Functions
- 11.The Internet and Surfing for Dollars
- 12.Organic Food vs. Non-organic Food
- 13-14Foreign Companies Control American
15. ◇ Test
- 16-17The World Bank, the International Monetary Fund
- 18.The U.S. Health Care System
- 19.The Japanese Automobile Industry
- 20.Deficit Spending in the U.S.
- 21.The Economics of War
- 22.Japan's Economic Bubble
- 23.Cutting Health Costs through Alternative Medicine
24. ◇ Pretest
- 25.The Next Oil-Water Privatization
- 26.Banking-Money at a Discount
- 27.The Economics of Recycling
- 28.Overpopulation versus Underpopulation
- 29.The Economics of Renewable Energy Resources
30. ◇ Test

履修上の留意点
成績評価の方法

授業形態は演習形式で行います。予習をしてきてください。
出席点/授業の貢献度/レポート/小テスト/定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

教科書

石井隆之/山口修/松村優子/ T.Koch / L.Burrows : 『グローバル時代とビジネス』
(Global Transformation) (成美堂) 1,800円 ISBN978-4-7919-4622-8 C1082

履修コード	257401
科目名	英語II B
担当者名	本間 俊一

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の理解とその応用表現を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『TOEIC TEST: Step by Step』(南雲堂) 1,900円
ISBN4-523-17418-0 C0082

履修コード	257501
科目名	英語II B
担当者名	岩原 康夫 <small>いわはら やすお</small>

講義のねらい 社会学的な問題や科学の問題などを扱った教材を用い、英語特有の論理と表現に注意を払った読解力の養成を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール テキストの読解力を高め、英語と日本語の違いを認識し、内容の全体的な論理構成を探る。前期は“Money”から“The United Nations”まで、後期は“Pasteurization”から“Social Classes”までを読む。

履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。

成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。

教科書 Gerald and Vivienne Mosback, Practical Faster Reading (朝日出版) 1262円 ISBN4-255-15214-4

履修コード	257551
科目名	英語II B
担当者名	古富 猛 <small>ことみ たけし</small>

講義のねらい アメリカ社会の原点を考え、世界に影響力を有するアメリカ性について考える。

講義の内容・授業スケジュール 語学は常に基礎的理解力を必要とするので、まず、(1)～(4)で高校までの文法事項(今後の理解に不可欠なもの)を復習する。その後、日本人の苦手な会話力の足がかりとして、ストーリー性のあるものを読み、応用できるセンテンスを選び、パターンプラクティスをするのがベストと考えている。そのため(5)～(30)は各時間ごとに3人ぐらいの学生に予習発表をしてもらい、トレーニングのひとつとする。

履修上の留意点 語学は繰り返しなので、中、高校で習った事項の復習に努めること。

成績評価の方法 前・後期筆記試験を実施し、予習発表におけるトレーニングの程度によって、平常点をつけます。よってその両方の成績で評価を出します。

教科書 前期はプリント使用。
後期『日本人と欧米人』 マクミラン・ランゲージハウス社

履修コード	257561
科目名	英語II B
担当者名	依田 里花 <small>よだ りか</small>

講義のねらい この授業は、「聞く」「読む(精読と速読)」を中心に、音声と文字の両面から総合的な英語力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、課題がありますので、万全の準備をして出席して下さい。
毎回、1ユニットずつ進みます。

履修上の留意点 必ず、英和辞書を持参のこと(電子辞書も可)

成績評価の方法 授業内の姿勢を重視するとともに、定期試験(7月・12月)等の結果と合わせて、総合的に評価します。

教科書 Paul Mclean
Survival English (Book 1) 朝日出版社 1,400円
ISBN 4-255-15168-7 C1082

履修コード	257571
科目名	英語II B
担当者名	狩野 晃一 <small>かのう こういち</small>

講義のねらい IBを基礎として、より高度なリーディングを目指す。精読と速読の両面を鍛えたい。

講義の内容・授業スケジュール はじめに基礎固めをし、徐々に高度な文章に挑戦する。

履修上の留意点 必ず辞書を携帯すること。予習はもちろんであるが、復習に力を入れてほしい。

成績評価の方法 全授業の3分の2以上が成績評価の対象となる。年2回の試験と授業態度で判断する。試験は60点以上が合格基準。

教科書 未定。

履修コード	257581
科目名	英語II B
担当者名	落合 真裕

講義のねらい

英文読解に必要なスキルを習得しながら、様々なジャンルの英文を読む力を養っていきます。また、速読の練習も行うと同時に正確に構文を理解して読んでいく力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール

600語程度の英文を通して、英文を正確に読めるようになるためのスキルを身につけ、必要な知識・情報を掴み取る読解力を鍛えていきます。

前期(第1回～第15回)

- Unit 1 Have I Found Ms. Right? - Scanning
- Unit 2 How Good Is Your Memory? - Skimming for the Main Idea(1)
- Unit 3 The History of Time-Keeping - Predicting
- Unit 4 Endangered Species - Identifying Meaning from Context(1)
- Unit 5 Travel Manners - Identifying Main Ideas within Paragraphs(1)
- Unit 6 What Does a Million Dollars Buy?
- Identifying Cause and Effect
- Unit 7 Earth's Mysterious Places
- Identifying Main and Supporting Ideas(1)

後期(第1回～第15回)

- Unit 8 Is an Only Child a Lonely Child?
- Identifying Fact versus Opinion
- Unit 9 Homeschooling - a Better Way to Learn?
- Arguing For and Against a Topic
- Unit 10 The Segway - a New Look at Travel - Inferring
- Unit 11 What Constitutes Art? - Logical and Chronological Sequencing
- Unit 12 Avoiding Cultural Taboos - Skimming for the Main Idea(2)
- Unit 13 Robotic Surgeons - Identifying Meaning from Context(2)
- Unit 14 The Challenges of Space Travel
- Identifying Main and Supporting Ideas(2)
- Unit 15 Changing Roles: Stay-at-Home Dads
- Identifying Main Ideas within Paragraphs(2)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)
前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。
Advanced Skills for Reading (成美堂) 1,700円+税 ISBN4-7919-1034-6

履修コード	266901
科目名	ドイツ語IA
担当者名	河上 和史

講義の内容・授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずですが、知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法
教科書

授業と試験を総合して判断する。
「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

履修コード	267801
科目名	ドイツ語IB
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

講義のねらい 文法事項の説明はできるだけ簡略に行い、実際のドイツ語の文章により多く触れることによってドイツ語理解の基礎を築くことを、この授業の目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1~2) 文字と発音の原則の説明 (3~4) 第1課[あいさつI~II、人称代名詞・動詞の現在人称変化] (5~6) 第2課[紹介と人名、名詞の性と冠詞など] (7~9) 第3課[値段、数字、冠詞類の格変化] (10~12) 第4課[空腹・渇きなどの表現、複数名詞・前置詞] (13~14) 第5課[道を尋ねる、語法の助動詞、非人称主語] (15~17) 第6課[曜日・月・季節、接続詞・zu 不定詞・否定疑問文] (18~20) 第7課[チケット・オペラ・レストラン、過去時制と現在完了時制] (21~22) 第8課[旅行と時刻、分離動詞・非分離動詞] (23~25) 第9課[序数と日付、形容詞] (26~27) 第10課[薬局で、再帰動詞、受動態] (28~29) 第11課[ディスカッション、接続法] (30) 第12課[別れのあいさつ、手紙、関係代名詞、過去完了]

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 河合節子ほか『はじめてのドイツ—使えるドイツ語表現(三訂版)』、三修社、2200円
ISBN978-4-384-12255-8

参考書等 特に指定はいたしません。

履修コード	268101
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

講義のねらい これまでに学んだ初等文法の知識を駆使して、やや長めのドイツ語の文章を読む練習を行います。また、必要な限りで文法上の説明もいたします。

講義の内容・授業スケジュール (1~2) 第1課(「ドイツ人は家族の間でなんと呼び合うか?」、語順、形容詞) (3~4) 第2課(「マンションの掃除は当番制で!」、梓構造、慣用句) (5~7) 第3課(「ドイツ人は風呂が嫌い?」、接続法、前置詞) (8~10) 第4課(「開店法」、zu 不定詞、分詞構文) (11~13) 第5課(「シュワルツネッカー」、不定関係代名詞、冠飾句) (14~16) 第6課(「サッカー」、受動表現、関係副詞) (17~19) 第7課(「オクトーバーフェスト」、梓外配置、不定代名詞の名詞的用法) (20~23) 第8課(「大学授業料」、機能動詞) (24~26) 第9課(「ドイツ人の友達」、命令的表現) (27) 第10課(「ドイツの離婚」、語法の助動詞) (28) 第11課(「シュタイナー学校」、es の用法) (29~30) 第12課(「ドイツ留学」、相関的接続詞)

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 橋本政義ほか『グレードアップドイツ語—初級から中級へ[新訂版]』、郁文堂、2400円
ISBN 978-4-261-01225-5

参考書等 特になし。

その他の 教科書が予定より早く終わった場合には、他のドイツ語の文章をコピーで配布して講読いたします。

履修コード	268111
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	飯塚 公夫

- 講義のねらい** 一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。
- 講義の内容・授業スケジュール** おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習(コピー練習問題中心)②前期後半：練習問題と平行して、映画を見ながらテキストのその部分に相当する部分を抜粋して読んでいきます。③後期：映画を見ながらテキストのその部分に相当する部分を抜粋して読んでいきます。(映画は『チェックポイント・チャーリーの女』という2006年製作のTV映画です。テキストは Ines Veith:Die Frau vom Checkpoint Charlie。ドイツが東西に分かれていた時代に、東に残された娘たちに会おうとする母親の物語です。「Checkpoint Charlie」とは当時あった東西ベルリンの検問所の一つです。)
- 履修上の留意点** 辞書を毎回持ってくる(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
- 成績評価の方法** 前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)。
- 教科書** Ines Veith:Die Frau am Checkpoint Charlie(ISBN:3-426-77832-7)。こちらでプリントを用意しますが、自分で入手したければ洋書店で注文してください。

履修コード	268301
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	藪下 紘一

- 講義のねらい** 辞書を引いて中級ドイツ語文を読み、訳してもらい。毎回そのくり返し。出席簿の順にやってもらう。上級への橋わたし。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストにそって上記の事が1年間うまず、たゆまず続く。
- 履修上の留意点** 毎回2～3頁を読むので予習をすること。(指名して答えてもらう)
- 成績評価の方法** 7月及び12月に各50点満点の試験を実施する。それに平常点を加味して最終評価がなされる。
- 教科書** A. ラープ、T. 石井：ドイツ人の一生：朝日出版、1900円+税、4-255-25233-5

履修コード	268311
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	野島 利彰

- 講義のねらい** 1年次に学んだ文法的知識を使いながらより内容ある文章を学びます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期はやさしい読み物、後期にはやや論文的な文を読みます。
- 履修上の留意点** 辞書を引き、予習をし、「分からない」点をたくさん出しておくことが大事です。授業に出てそれを解決しなければ進歩はありません。
- 成績評価の方法** 七月と一月の試験の成績、および授業中、どれだけ訳を発表したかが評価の基準になります。
- 教科書** 未定
- その他** 1年次の文法教科書を授業に持参してください。

履修コード	268401
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	飯塚 公夫

- 講義のねらい** 一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら会話を聞く一方、そのせりふを読んで理解することで、せりふと文章がともに生きてくることを体験すること。
- 講義の内容・授業スケジュール** おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習(コピー練習問題中心)②前期後半：練習問題と平行してテキストの読解③後期：テキストの読解(テキストはアメリカ映画『サウンド・オブ・ミュージック』のもととなったドイツ映画『菩提樹』(原題「Die Trapp-Familie(トラップ・ファミリー)」(1956年作品)の会話部分。
- 履修上の留意点** 辞書を毎回持ってくる(完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
- 成績評価の方法** 前期後期各一回の筆記試験及び平常点(=発表点)
- 教科書** プリントを用意します。

履修コード	268501
科目名	ドイツ語II B
担当者名	<small>やぶした こういち</small> 藪下 紘一

講義のねらい 辞書を引いて中級ドイツ語文を読み、訳してもらおう。一年間そのくりかえし。出席簿の順番に従ってやってもらおう。上級への橋わたし。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって上記の事がくりかえされる。一年間。

履修上の留意点 毎回2～3ページを読むので予習が欠かせない。

成績評価の方法 7月及び12月の各50点満点の試験を行い、それに平常点を加味して最終評価がなされる。

教科書 A. ラープ、T. 石井：こんにちは！ドイツです：朝日出版：1900+税、4-255-25190-8

履修コード	268511
科目名	ドイツ語II B
担当者名	<small>もり こうせい</small> 森 公成

講義のねらい ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・授業スケジュール 用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点 最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます）、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験（年2回）、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書 テキストはこちらで用意します。

履修コード	269901
科目名	フランス語IA
担当者名	<small>いとう なお</small> 伊藤 なお

講義のねらい 一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール 1)～3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4)～15) 文法の基礎（名詞の性と数/冠詞/形容詞/動詞の現在形/近接未来・近接過去/命令形/疑問代名詞など） 16)～29) 文法の発展（比較級/目的語人称代名詞/動詞の過去形・未来形/関係代名詞など） 30) 復習と今後のフランス語学習について（中級に向けて）

履修上の留意点 ※毎回、発音練習・聴き取り練習問題・文法練習問題に取り組みます。授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる課題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書 富田正二他著『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法ー』（朝日出版社 2100円+税）

履修コード	270901
科目名	フランス語I B
担当者名	<small>あづま たつゆき</small> 東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(3) 発音の基礎 (4)～(15) 基本的表現（挨拶/自己紹介/好きなものを言う/尋ねる/時間、天候を言うなど） (16)～(29) 発展的表現（一日を語る/頼む、命令する/未来のことを語る/過去のことを語るなど） (30) 復習と今後のフランス語学習について（中級への橋渡し）

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二他著『新・東京一ぱり、初飛行』（駿河台出版社）2,200円+税 ISBN978-4-411-01097-1

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	271201
科目名	フランス語IIA
担当者名	あづま たつの子 東 辰之介

講義のねらい	短い対話文や説明的文章の読解等によって、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(10) 初級文法の復習と未習事項の説明(複合過去、半過去、単純未来、条件法、接続法など) (11)～(20) 対話文の読解(自己紹介、意見を言う、昨日したことを話す、予定、理由、意見を尋ねるなど) (21)～(30) 説明的文章の読解(パリ、カフェ、学生生活、プロヴァンス、政治など)
履修上の留意点	授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
成績評価の方法	学期末試験の結果と平常点によって評価します。
教科書	澤田直之他著『アミカルマン』(駿河台出版社) 2,500円+税 ISBN978-4-411-01093-3

履修コード	271211
科目名	フランス語IIA
担当者名	すがや さとる 宮谷 暁

講義のねらい	フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験によります。
教科書	ボームルー著『セレクション・時事フランス語III』(朝日出版社) 1,890円

履修コード	271301
科目名	フランス語IIA
担当者名	こだま なりゆ 小玉 齊夫

講義のねらい	フランスの、経済、歴史、地理、教育、文化等、さまざまな分野での基礎的な知識を読み取っていく授業です。より深くフランスを知るためのきっかけとなれば、と思っています。
講義の内容・授業スケジュール	30回あると想定される授業時間内で、教科書では10課にまとめられたフランスの現況を、1課あたり2-3回かけて読み進んでいきます。練習問題は宿題として提出してもらいます。(1-3) 地理と人口、(4-6) 歴史その1、(7-9) 歴史その2、(10-12) 政治制度、(13-15) 教育制度、(16-18) 経済、(19-21) 美術および文学、(22-24) 社会、(25-27) 生活様式、(28-30) フランスの位置
履修上の留意点	予習・復習を必ずしてから、出席すること。授業には初級文法の教科書ならびに辞書(仏和)を持ってくること。「分からないこと」は授業中に「分かったこと」に変えるよう努めること。
成績評価の方法	ふだんの授業への参加の度合い、それと、前期ならびに後期の試験で判定します。
教科書	トザン著『現代フランスの基礎知識』(改訂版) (白水社、1900円) ISBN978-4-560-01175-3 C3085

履修コード	271401
科目名	フランス語IIA
担当者名	ぬまくら ひろこ 沼倉 広子

講義のねらい	日常生活で使われる身近な表現を通して基礎的な文法を復習する。文章も読めるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	前期(1)基本動詞・複合過去(2)代名動詞(3)中性代名詞(4)単純未来(5)半過去(6)関係代名詞(7)文章読解 後期(8)話法(9)接続詞(10)条件法(11)接続法(12)現在分詞と過去分詞(13)単純過去(14)文章読解
履修上の留意点	毎回練習問題を提出させる。
成績評価の方法	前後期とも定期試験を行うが、平常点も重視する。
教科書	『カジュアルにフランス語2』沼田五十六(他)著 朝日出版社 ISBN4-255-35177-5 C1085 ¥2200

履修コード	271501
科目名	フランス語II B
担当者名	すがや さとる 菅谷 暁

講義のねらい フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に對する感覚を磨くことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験によります。

教科書 ボームルー著『セレクション・時事フランス語1997-2002』（朝日出版社）1,890円

履修コード	271601
科目名	フランス語II B
担当者名	はたなか ちあき 畑中 千晶

講義のねらい 繰り返しCDを聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/詩の暗唱 (2)～(8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10)～(12) 4-1/4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17)～(21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23)～(27) 8-1～9-2 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

履修上の留意点 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはありません。参加することに意義がある、というものです)。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%

教科書 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社)1,800円+税

履修コード	271611
科目名	フランス語II B
担当者名	こだま なりお 小玉 齊夫

講義のねらい 既に初級文法をある程度マスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するよう希望します。

講義の内容・授業スケジュール 個々の場面に応じた実的なフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されます。教科書の1と2を合わせて10課を、それぞれ、年30時間の授業で、おおよそ以下のように進めていきます。(1・3)発音と綴り、基礎的なフランス語表現、(4・6)1-第1課 (7・9)1-第2課、(10・12)1-第3課、(13・15)1-第4課、(16・18)2-第1課、(19・21)2-第2課、(22・24)2-第3課、(25・27)2-第4課、(28・30)2-第5課

履修上の留意点 初級文法の教科書はつねに授業に持ってくること。「分からないこと」は、授業時間中に理解できるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

成績評価の方法 ふだんの授業への参加の度合い、前期および学年末の試験で判定します。

教科書 高橋 他著 『エクスペリエンス1』(第三書房、1500円) ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

参考書等 および 同『エクスペリエンス2』(第三書房、1500円) ISBN978-4-8086-2166-7 C1085

『和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

履修コード	274101・276501
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	曹 泰和・三田村 圭子

講義のねらい 発音（ピンイン＝中国語の表音ローマ字発音法）と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
③文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法 前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書 本間 史・孟 広学著『中国語ポイント55』 白水社 2300円

参考書等 授業開始時に説明する。

その他 必ずIA（曹 泰和）とIB（三田村 圭子）をセットで履修すること。

外国語

履修コード	274201・276601
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	宮本 厚子・陳 洲挙

講義のねらい 中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点 授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法 前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書 林正人著『楽しい初級中国語』2200円（陸美出版）

履修コード	274211・276611
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	岩崎 皇

講義のねらい 中国語という言語を体験してもらうことが目標です。とりわけ発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その後、ユニット4(全15課)までは授業2回で一課を、ユニット5～8(全16課)は、ほぼ授業1回で1課進む予定です。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 上記の出席を前提とした上で、年間4回以上行う試験で判断します。

教科書 遠藤光暁「北京物語」（朝日出版社）2,500円（本体）

履修コード	277201・277301・277401・277501・277511・277601・277701・277801・277901
科目名	中国語IIA
担当者名	岩崎 皇・秋本 翼・江林 英基・児島 弘一郎・橋本 幸枝・佐藤 普美子・弘兼 加奈子・李 雲

講義のねらい 一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

履修コード	278001
科目名	中国語II B
担当者名	橋本 幸枝

講義のねらい いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようにすること。正確な発音がしっかり定着すると。

講義の内容・授業スケジュール まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスをもっと設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の目安で進めていく。

履修上の留意点 4分の3以上出席するように。課題をしっかりとやってくること。

成績評価の方法 出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。

教科書 穂浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』(都文堂) 2,415円

履修コード	278101
科目名	中国語II B
担当者名	梅田 雅子

講義のねらい 一年時に学習した文法内容を整理・復習しながら、聞き取り能力と会話能力の向上を重点的に行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 新出単語の確認
(日本語が書いてありません。予習してきましょう)
- 文法ポイントの確認
- 本文の確認と発音練習
- 文法ポイントを本文を踏まえて応用会話練習
(Q&Aなどペアワーク)

履修上の留意点

- 3/4以上の出席が必要。
- 予習復習必須。
- 辞書(日中・中日)持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 会話中に何か問題が起きても、とにかく何か言う。

成績評価の方法 前期・後期試験70パーセント
平常点(出席・小テストなど)30パーセント

教科書 『たのしい中国語』金星堂 ISBN978-4-7647-0673-6

参考書等 日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

その他 この授業では、会話能力の向上を目的とします。

履修コード	278111
科目名	中国語II B
担当者名	弘兼 加奈子

講義の内容・授業スケジュール テキストは聞き取り中心の実践的な内容となっている。後半は作文にも力を入れていきたい。

第1回 一年の復習、発音確認 他

第2回～14回 本文、練習問題等
(うち1回は中間テスト)

第15回 期末テストの予定

第16回～29回 本文、練習問題等
(うち1回は中間テスト)

第30回 学年末テストの予定

なお、5月連休明けに授業進行予定表を配布予定。

成績評価の方法 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書 相原茂 玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』(朝日出版社) 2300円

履修コード	278301
科目名	中国語II B
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

講義の内容・授業スケジュール 会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正・単語の解説・文法事項の整理・聴き取り・ペアによる対話の実践などを行ないます。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社、2200円、CD付）。

参考書等 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	278401
科目名	中国語II B
担当者名	秋元 翼

講義のねらい IAIBで学んだ知識を音声面でより実践的に応用できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール 前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで学びます。2回で1課の割合で進みます。3課に1回テストをする予定です。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要します。

成績評価の方法 平常授業での学習態度・理解度及びテストの成績で評価します。

教科書 塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円+税

履修コード	278501
科目名	中国語II B
担当者名	佐藤 普美子

講義のねらい 1年次に学んだ基礎的文法事項を復習しながら新しい表現を学び、反復練習を通してより充実したコミュニケーションができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 北京に留学した際、遭遇しそうな場面を設定した全12課のテキストを用い、各課平均2回（授業）のペースで進めていきます。前後期合わせて4回の口頭表現の小テストを行います。

履修上の留意点 授業に出席して、耳と口のトレーニングを受けることが不可欠ですので、出席を重視します。やむを得ない場合以外の欠席は認めません。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、口頭小テスト及び学期末試験で総合的に評価します。

教科書 劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』2007年（白水社）2200円

履修コード	280501
科目名	スペイン語IA
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。

成績評価の方法 主として前期・後期各1回の試験による。

教科書 立岩礼子他『アベントゥーラ』同学社
辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280511
科目名	スペイン語IA
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。文法に関しては直接法現在の学習を中心に基本を固めます。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1) オリエンテーション スペイン語に親しもう (1)
 - (2) ホテルに泊まる (発音、アクセント、あいさつ、ser 動詞など) (2-4)
 - (3) 入学手続き (estar 動詞の現在形、名詞、冠詞・形容詞、数字0-10など) (4-7)
 - (4) 自己紹介 (規則動詞 (ar,er,ir 動詞)、現在形の働き) (8-10)
 - (5) 学校での会話 (tener, ir,venir, 基数詞 (11-100)、時刻、接続詞、前置詞 (11-100) (11-14)
 - (6) 友人との会話(母音変化動詞、いろいろな不規則動詞、目的語の人称代名詞、gustar 動詞など) (15-18)
 - (7) サッカーのテレビ観戦 (所有詞、指示詞、比較、最上級など) (19-21)
 - (8) 過去のことを語る (点過去) (22-25)
 - (9) 過去のことを語る、買い物 (線過去、文の連結など) (26-29)
 - (10) まとめ (30)

履修上の留意点 スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

成績評価の方法 毎回の出席、授業参加(態度、発言等)や各期末の定期試験(年2回)を総合的に評価します。
教科書 福嶋(ふくしま)『Español Dinámico 動く!スペイン語』朝日出版社、2600円
参考書等 講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	281701
科目名	スペイン語IB
担当者名	上野 勝広

講義のねらい スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

前期(1) 導入、アルファベット (2～5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など (6～10) 動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など (11～15) 疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
 後期(16～20) 語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など (21～25) 比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など (26～30) 100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンを励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。
成績評価の方法 年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。
教科書 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円
参考書等 初回の授業で紹介いたします。

履修コード	281711
科目名	スペイン語IB
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい	世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1~3)スペイン語圏について、文字と発音 (4・5)動詞SER (6・7)動詞ESTAR (8・9) 動詞HABER (10・11)指示詞、疑問詞 (12~14)規則動詞 (15)前期試験 (16・17)不規則動詞① (18・19)不規則動詞② (20・21)不規則動詞③ (22・23) 所有詞 (24・25)目的語代名詞 (26・27) GUSTAR (28・29) 再帰動詞 (30) 後期試験
履修上の留意点	初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果などで評価します。
教科書 参考書等	山道住子・他 『スペイン語をお願いします!』(同学社) 西和辞典を一冊。

履修コード	282101
科目名	スペイン語IIA
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい	一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
講義の内容・授業スケジュール	(1~3)一年次の復習 (4~9)線過去、点過去 (10~12)完了形、関係詞 (13・14)前期の復習 (15)前期試験 (16~19)未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20~22)過去未来形 (23・24)接続法現在 (25・26)命令 (27~29)接続法過去 (30)後期試験
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。
教科書	東京大学教養学部スペイン語部会 『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

履修コード	282111
科目名	スペイン語IIA
担当者名	上野 勝広

講義のねらい	スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課~7課まで、後期は8課~14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半の対話文を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。
履修上の留意点	前期(1)オリエンテーション (2~5)動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など (6~10)重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など (11~15)再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など 後期(16~20)線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など (21~25)接続法の用法、使役および受動構文、など(26~30)直説法未来完了の用法、条件文、など 休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。
教科書	西川 喬/ Ceferino Puebla 『バモス』(同学社) 2,600円

履修コード	282301
科目名	スペイン語IIA
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期14回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。
後期14回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社)他に長文読解用のプリント教材を使用します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282401
科目名	スペイン語IIA
担当者名	ましも ゆういち 真下 祐一

講義のねらい 一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール (1~3)一年次の復習(4~9)線過去、点過去(10~12)完了形、関係詞(13・14)前期の復習(15)前期試験(16~19)未来形、分詞、比較、再帰動詞(20~22)過去未来形(23・24)接続法現在(25・26)命令(27~29)接続法過去(30)後期試験

履修上の留意点 予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書 東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

履修コード	282411
科目名	スペイン語IIA
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広

講義のねらい スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課~7課まで、後期は8課~14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。
またテキスト後半の対話を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。

履修上の留意点 前期(1)オリエンテーション(2~5)動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など(6~10)重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など(11~15)再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など
後期(16~20)線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など(21~25)接続法の用法、使役および受動構文、など(26~30)直説法未来完了の用法、条件文、など

成績評価の方法 年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。

教科書 西川 喬 / Ceferino Puebla 『パモス』(同学社) 2,600円

履修コード	282501
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい	スペイン語Iで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期14回 1つの記事を2回～3回の授業で読み進めます。点過去・線過去の形と用法を学習することが文法の中心となります。 後期14回 記事を読み進める速度は徐々に速くなります。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点	必ず予習することを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書 参考書等	国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)

履修コード	282601
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい	スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期14回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。 後期14回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書 参考書等	大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社) 長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282611
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	ましも ゆういち 真下 祐一

講義のねらい	初級文法の習得を終え、さらにスペイン語に親しんでもらう。語学の勉強を通して、スペイン語圏文化の特異性・多様性、日本との違いについても理解する。
講義の内容・授業スケジュール	(1・2)スペインに着いて (3・4)日本で (5・6)スペインでの体験 (7・8)体育の日 (9・10)スペインの地方 (11・12)何年か前は (13・14)マドリッドで (15)前期試験 (16・17)鎌倉へ (18・19)サラマンカで (20・21)春の到来 (22・23)火祭り (24・25)日本の教育 (26・27)歴史の授業 (28・29)日本の結婚式 (30)後期試験
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。
成績評価の方法	出席と授業参加を40%、二回の試験の結果を60%で評価します。
教科書	エデルミラ・アマット他 『文化の違いを超えて』 白水社

履修コード	283601
科目名	ロシア語IA
担当者名	<small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4-7月は、イントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
『露和辞典』

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法

教科書
参考書等

履修コード	284001
科目名	ロシア語IB
担当者名	<small>きむら ひであき</small> 木村 英明

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
『露和辞典』

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法

教科書
参考書等

履修コード	284201
科目名	ロシア語IIA
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

- 講義の内容・授業スケジュール
- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 - 中等文法のエッセンスを勉強をします。
 - 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。
教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
その他 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284301
科目名	ロシア語IIA
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 4月-7月
 - アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - 9月-12月
 - かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 - 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。
教科書 『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。
参考書等 露和辞典
その他 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284401
科目名	ロシア語IIB
担当者名	木村 英明

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

- 講義の内容・授業スケジュール
- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 - ・中等文法のエッセンスを勉強をします。
 - ・4月-7月 基礎文法の復習。9月-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。
教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。
その他 プリント配布。

履修コード	284501
科目名	ロシア語II B
担当者名	佐野 ^{さの} 朝子 ^{あさこ}

外国語

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、読解力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価する。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他の他 プリント配布。

履修コード	291501
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>ひわたり しゅんこう</small> 樋渡 俊光

講義のねらい

これからの学生は社会人になった時に、外国人と英語を通して意志疎通をはかるための十分な英語運用能力をもっておくことが不可欠である。この講座を通して、徹底的に英語の四技能の向上をはかりたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材を中心に授業が進められるが、3回に1回は、Japan Times, Business English, 等学生の興味ある話題の英文抜粋教材を利用する。(E:副教材)

第1期 五文型の習得・音声指導

Lesson 1-2

第2期 Lesson 3-5,E

第3期 Lesson 6-8,E

第4期 Lesson 9-10,E

第5期 Lesson 11-13,E

第6期 Lesson 14-16,E

履修上の留意点

毎回予習を必要とし、予習が行われているかの確認調査有り。辞書必携。

成績評価の方法

前後期2回の試験、夏休みレポートの提出により評価する。又欠席5回以上は認めない。

教科書

- 1) Richard Best
- 2) *The World at a Glance*
- 3) 南雲堂
- 4) ¥1,500
- 5) ISBN4-523-17525-X C0082

履修コード	291601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>まつどう ひろこ</small> 松堂 啓子

講義のねらい

基本的な文法を確認しながら、語彙・表現力を固め、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス 2 手紙、ファックス 3 電子メール、電話 4 面会の申し入れ、ホテルの予約 5 オフィスの移転通知、支店の開設案内 6 レセプションへの招待 7 アンケートの回答依頼、資料の送付依頼 8 慶弔、会議の通知 9 議事録 10 物品の購入、社内研修の案内 11 社内研修の報告 12 日程の中間報告 13 前期試験 14 引き合い (1) 15 引き合い (2) 16 注文 17 代金の回収 18 クレームと調整 19 履歴書 20 応募の手紙 21 推薦状 22 面接 23 面接の結果の通知、退職願 24 後期試験

履修上の留意点

単位取得には三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法

試験の結果(7割)、課題等(3割)。

教科書

豊田暁、*Essentials of Global Business English*、南雲堂、¥2100、ISBN978-4-523-17605-3

履修コード	291701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>いわい ひろみ</small> 岩井 洋美

講義のねらい

会話表現をもとに、文法、発音を確認していきます。また語彙を増やし、表現の幅を広げ基本的なことを言えるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1課ずつ進めながら文法事項、発音のポイント、テーマに沿った単語や表現を学びます。また授業内でスピーキングや復習テストを随時行う予定です。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、3回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点25%、前・後期試験50%、スピーキングテスト復習テスト25%で評価。追再試験は実施しません。

教科書

大谷麻美、村田和代、*CORNERSTONE*、マクミランランゲージハウス、1890円

履修コード	291801
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	種渡 俊光

講義のねらい 英語を通して学生が将来国際人となるように、英語の四技能の向上をはかることを目的とするものである。

講義の内容・授業スケジュール 教材を通して、日米の大学生のことにに関して、その違いを学ぶことになるが、時々、Japan Times からの抜粋記事、基礎的 Business English を交えながら行こなされる授業である。

第1期 英語の五文型の完全なる習得
発話に関する音声指導

Lesson 1-2

第2期 Lesson 3-5 副教材

第3期 Lesson 6-8 副教材

第4期 Lesson 9-10 副・レポート課題

第5期 Lesson 11-12 副教材

第6期 Lesson 13-15 副教材

(副教材は自主教材)

履修上の留意点 毎回予習を必要とし、予習が確実に行われてるかの確認調査有り。辞書必携
成績評価の方法 前後期2回の試験結果、夏休みレポート提出の内容により評価する。又欠席5回以上は認めない。

教科書

- 1) Clayton Naff
- 2) *A Short course in Reading*
(5分間リーディング)
- 3) 南雲堂
- 4) ¥900-
- 5) 044540 B-161

履修コード	291901
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩原 康夫

講義のねらい ライティングによる日常的なコミュニケーション能力を高め、少しでも纏まった意思伝達ができるようになることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール クラスは一定の基本的な動詞の構文と用法を学習し、まずセンテンス・レベルでの表現力を向上させる練習を行う。前期は、“be” “go” “come” “take” “put” “make” などを中心に学び、後期は“have” “get” “give” “stay” “keep” “lose” “find” “do” の順で練習する。

履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した個別指導を行う。

成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価する。

教科書

Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2000円 ISBN4-255-15280-2

履修コード	292001
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	埴 美智子

講義のねらい 英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点 辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法 日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Appreciating European Culture 一生まれ変わるヨーロッパ』

(成美堂) 1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

履修コード	292301・292601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>おおみち</small> 大淵 <small>としはる</small> 利春

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

英作文の演習を通して、英語表現力の向上を目指す。
授業のはじめに15分程度リスニング練習を行い、その後テキストに取り組む。テキストは2時間で一課のスピードで進める。具体的には、Unit 1 Unusual Weather(2,3), Unit 2 Terrorism (4,5), Unit 3 Vacation Abroad (6,7), Unit 4 Fame and Fortune (8,9), Unit 5 Hosting the Olympics (10,11), Unit 6 Convenient Gadgets and Sustainable Lifestyles (12,13), Unit 7 The Perfect Export (16,17), Unit 8 Still Addicted to Junk Food (18,19), Unit 9 A Graying Society (20,21), Unit 10 Waiting for “Mr. Right” (22,23), Unit 11 Manners Make Us Brighter (24,25), Unit 12 Seeing What Isn’t There (26,27), Unit 13 Cybercrime (28,29), Review (30)

履修上の留意点
成績評価の方法

予習をしてくること。辞書をもってくること。
前、後期2回の試験の結果をベースとしながら、平常点（出席状況、授業態度など）も考慮に入れて、総合的に評価する。

教科書

Writing Updates 金星堂 1800円 ISBN 978-4-7647-3859-1

履修コード	292701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>おかもと</small> 岡本 <small>まこと</small> 誠

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

Writing and Speaking を主眼とするが、読解力も平行して見直していきたい。
下記に示したテキストを用意すること。テキストは日米両国の懸け橋になった以下のような人物をとりあげている。これらの人物の業績を読み、まず知識を深めてほしい。内容を確認したところで、設問に答えることになる。設問はリスニングの形式もある。また、作文、つまり英語での表現力をも試すようになっている。

1. Douglas MacArthur
2. Edwin O. Reischauer
3. William Smith Clark
4. Matthew Calbraith Perry
5. Elvis Presley
6. Yukichi Fukuzawa
7. Donald Keene
8. Hayao Miyazaki
9. Momofuku Ando
10. Umeko Tsuda
11. Steve Jobs
12. Haruki Murakami
13. Soichiro Honda
14. Clarence Saunders
15. The McDonald Brothers and Ray Kroc
16. Shigeru Yoshida
17. John Manjiro
18. Hideo Nomo
19. Kyu Sakamoto
20. William Adams (Miura Anjin)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

予習してくることは必須。その前提で進める。語学力の養成はこれにつぎる。
前期・後期の試験。発表あるいはプレゼンテーションの力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。
Across the Pacific Ocean 『日米の懸け橋になった人々』、成美堂出版 ¥1,800

履修コード	297002
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	熊沢 和明

講義のねらい 英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
Why Is That? 金星堂

履修コード	293201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	狩野 晃一

講義のねらい 基礎的な英語の力を取り戻す。英語を読むことに慣れてゆく。

講義の内容・授業スケジュール はじめは必要と思われる単語・フレーズの習得に努める。同時に簡単な文章からレベルを上げてゆき、簡単な物語や論評などを通読する。

履修上の留意点 必ず辞書を携帯すること。予習はもちろんであるが、復習に力を入れてほしい。とにかく出席をすることが必要。

成績評価の方法 全授業の3分の2以上が成績評価の対象となる。年2回の試験と授業態度で判断する。試験は60点以上が合格基準。

教科書 教場にて指示する。

履修コード	293401
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	行廣 泰三

講義のねらい 英語がさまざまな場面で求められ、その必要性が増していることは言うまでもありません。そこで、この授業では、英語を苦手としている学生に短い英文を通して読解力を伸ばすことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション
1. Food (How is our food produced and transported today?)(GM Crops)
2. Population (A crowded world)(Debates about population)
3. Poverty (what is poverty?)(poverty in the past)
4. Health and Disease (Impacts of world health patterns 1)(Impacts of world health patterns 2)
5. Pollution (Water pollution)(Land pollution)
6. Animals under Threat (Animals under threat 1)(Animals under threat 2)

履修上の留意点 復習と予習をする習慣をつけて下さい。

成績評価の方法 出席点30% 小テスト40% 期末30%

教科書 竹内・池田・佐々木共纂『Talk with Our Planet:Intensive Reading 地球の今』2008年
(株)松柏社 2000円+税

履修コード	293601
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2～3)Unit1、(4～5)Unit2、(6～7)Unit3、(8～9)Unit4、(10～11)Unit5、(12～13)Unit6、(14～15)Unit7、(16～17)Unit8、(18～19)Unit9、(20～21)Unit10、(22～23)Unit11、(24～25)Unit12、(26～27)Unit13、(28～29)Unit14、(30)Unit15

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。

成績評価の方法 定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書 『A Complete College English Program 一大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編(BOOK3)一』、(金星堂) ¥1900+税

履修コード	293901
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>おちふい かずあき</small> 落合 和昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『大学』(UNIT 1)
- 第三回 『日常』(UNIT 1)
- 第四回 『大学』(UNIT 2)
- 第五回 『日常』(UNIT 2)
- 第六回 『大学』(UNIT 3)
- 第七回 『日常』(UNIT 3)
- 第八回 『大学』(UNIT 4)
- 第九回 『日常』(UNIT 4)
- 第十回 『大学』(UNIT 5)
- 第十一回 『日常』(UNIT 5)
- 第十二回 『大学』(UNIT 6)
- 第十三回 『日常』(UNIT 6)
- 第十四回 『大学』(UNIT 7)
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『日常』(UNIT 7)
- 第十七回 『大学』(UNIT 8)
- 第十八回 『日常』(UNIT 8)
- 第十九回 『大学』(UNIT 9)
- 第二十回 『日常』(UNIT 9)
- 第二十一回 『大学』(UNIT 10)
- 第二十二回 『日常』(UNIT 10)
- 第二十三回 『大学』(UNIT 11)
- 第二十四回 『日常』(UNIT 11)
- 第二十五回 『大学』(UNIT 12)
- 第二十六回 『日常』(UNIT 12)
- 第二十七回 『大学』(UNIT 13)
- 第二十八回 『日常』(UNIT 14)
- 第二十九回 『大学』(UNIT 14)
- 第三十回 後期試験

※『大学英語デイクテーションのエッセンス』（上記では、『大学』）

『日常必須語集のリスニング練習』（上記では、『日常』）

なお、ヒヤリング及び発音練習は毎日行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『大学英語デイクテーションのエッセンス』 朝日出版社 900円
ISBN4-255-15282-9 C1082
- 2) 『日常必須語集のリスニング練習』 金星堂 950円
ISBN4-7647-3653-5 C1082
- 3) プリント

履修コード	294001
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	塚本 利男

講義のねらい 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な語彙1500語レベルの記事を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点 1部として健康に関して1章精神(2~4)、2章身体(5~7)、3章治療法(8~10)、新しい解決法(11~14)、2部として環境に関して5章自然現象(16~19)、6章自然の恵み(20~24)、7章新しい科学技術(25~29)を読む。前期・後期のテストを実施する(15と30)。

成績評価の方法 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

教科書 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。

『かけがえのない健康と環境』
Shawn M. Clankie・小林敏彦(株)成美堂
1,900円+税 ISBN978-4-7919-4624-2

履修コード	294101
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	山岸 二郎

講義のねらい 英文の構造を理解し、精読に心掛ける。

講義の内容・授業スケジュール 英文法を整理しつつ、その独特の発想法に慣れる。テキストの練習問題をやり、応用問題は選択して行なう。また巻末の Reading Passages を適時取り入れて、One Lesson を2回の授業ですゝめる。

履修上の留意点 予習を必ずやる。出席を重視する。3分の2以上の出席必要。

成績評価の方法 平常の学習、レポート、小テスト、テスト等総合して評価する。

教科書 Discover English Grammar 『日英対照：楽しく覚える英文法—ショート・リーディングと英作文—』(朝日出版)

履修コード	294201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	太田 由紀子

講義のねらい 聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋(英文)も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書 随時、プリントを配布する。

参考書等 安井稔『英文法総覧』(開拓社)、江川泰一郎『英文法解説』(金子書房)
Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
チャールズ・チャップリン『チャップリン自伝』中野好夫訳(新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版)

履修コード	294211
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	吉沢 栄治郎

講義のねらい 小説をよんでゆきます。原文を板書したものをノートし、作品をじっくりよみながら、心理描写の展開を味わってほしいとおもいます。原文の翻訳も同時に板書しますので参考にして下さい。

講義の内容・授業スケジュール 第一週から第二十七週にかけて作品の第1頁から筆写(原文)とその和訳板書を行ないます。

履修上の留意点 辞典を必ず携帯することが望ましい。

成績評価の方法 ペーパーテスト、課題提出物、出席状況をみて、評価します。

教科書 未定

履修コード	294601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	安齊 薫 <small>あんざい かおる</small>

講義のねらい Writing を中心に、総合的な英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール
 第1回 Introduction
 2.3 Takeshi Kitano
 4.5 Tadahiro Iguchi
 6.7 Tadao Ando
 8.9 kaguya
 10.11 Two Museums
 12.13 Agriculture
 14.15 まとめ
 16.17 Lactic Acid
 18.19 Millet
 20.21 Yacon
 22.23 Black Vinegar
 24.25 MOS
 26.27 Kitakami
 28.29.30 まとめ

履修上の留意点 予習をしてくること。
 成績評価の方法 出席状況（2／3以上の出席が原則）、前後期試験、レポートで評価する。
 教科書 *Sustainable Life and Economics*・南雲堂 ￥1995

履修コード	294801
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義のねらい 英IAで身につけた英語の力を土台にして、発音、英語の表現力をさらに高める。
 講義の内容・授業スケジュール 毎回、プリントを配布する。それをテキストとして練習を行なう。ただしこのプリントは断片的なものではなく、一年間であるまとまった流れが理解できるようになっているので、ぜひその全体像を把握してほしい。

履修上の留意点 英語の辞書は毎回もってくる。
 教室での思考、表現を非常に重視するので、欠席・遅刻のないように。
 成績評価の方法 授業で表現された思考、発表、出欠席・遅刻、レポートによって総合的に評価する。
 教科書 プリント。
 参考書等 授業の中で随時紹介する。

履修コード	295001
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	三幣 友行 <small>みつねともゆき</small>

講義のねらい 英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。

履修上の留意点 予習を前提として授業をすすめる。
 欠席数が授業全体の3分の1をこえたら単位は認めない。
 成績評価の方法 前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。
 教科書 未定
 その他 詳しいことは初回の授業で説明する。

履修コード	295101
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	芝田 興太郎 <small>しばた こうたろう</small>
講義のねらい	様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら 基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく
講義の内容・授業スケジュール	a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。 b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。
履修上の留意点	予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。
成績評価の方法	エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。
教科書	<i>Simply Grammar</i> 南雲一範著 南雲堂 1890円

履修コード	295301
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	前田 脩 <small>まえだ おさむ</small>
講義のねらい	英語表現を学び、言語の基本的違いを知り、英語表現により日本語とは別の思考方法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 授業の進め方を説明します。 英文による自己紹介をします。 (2~7) 2頁~17頁の読解、文法、英作文 (8) テーマによる英文表現 (9~12) 18頁~29頁 (13) テスト (14) テーマによる英文表現 (15~20) 30頁~49頁 (21) テーマによる英文表現 (22~27) 50頁~65頁 (28, 29) テーマによる英文表現 (30) テスト 随時小テストを行います。
履修上の留意点	語学なので予習は必須事項です。 日常より英字新聞等に接し、授業に積極的に参加してください。
成績評価の方法	小テスト10% 前期テスト20% 日常評価30% 後期テスト40%の配分で評価します。日常点には出席状況も入ります。
教科書	<i>English for You</i> (英語総合教本) 朝日出版 1,300円 ISBN4-255-15284-5 C1082

履修コード	295401
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	外池 一子 <small>とけいけい かずこ</small>
講義のねらい	アメリカ文化を幅広く紹介するテキストを使って、アメリカ文化に対する理解を深めます。再履修コースですから、テキストは比較的やさしいものを使って、英語で読んだり書いたりすることに抵抗をなくし、最終的には英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基礎的な英語の力(読む・書く)があることを確認します。(e-learning 教材を使用する場合があります。) 後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。
履修上の留意点	コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。(e-learning 教材使用の場合、教材費4,000円)
その他の	日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

履修コード	295501
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	古富 猛 <small>こみ たけし</small>
講義のねらい	アメリカ社会の原点を考え、世界に影響力を有するアメリカ人性を推察する手がかりをつかむ。
講義の内容・授業スケジュール	語学は常に基礎的理解が必要なのだが、このところ学生間の格差は広がるばかりである。まず(1)~(4)で高校の文法事項(今後の理解に不可欠のもの)を復習する。その後日本人の苦手な会話力への足がかりとして、ストーリー性のあるものを読み、応用できるセンテンスを選び、パターンプラクティスをするのがベストと考えている。そのため(5)~(30)は各時間ごとに3人程の学生に予習発表をしてもらいトレーニングのひとつとする。
履修上の留意点	語学は繰り返しなので、中・高校で習った事項の復習に努める事。
成績評価の方法	前・後期筆記試験を実施し、予習発表におけるトレーニングの程度によって、平常点をつけます。よってペーパーテストのみが評価の基準ではないので、毎時間質問に答える準備をしておく事。
教科書	前期はプリント使用。 後期『日本人と欧米人』マクミラン・ランゲージハウス社

履修コード	295601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	飯沼 好永

講義のねらい 英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けること目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1つの単元を2週単位で進んでいきます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法 出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 開講時に指示します

履修コード	295801
科目名	英語IIB〔再クラス〕
担当者名	高見 陽子

講義のねらい 英文を読む速度を上げ、より多くの情報を短時間に得る力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。速読のスキルについて(1~3)、テキスト中心(4~11)、リスニング・TOEIC等の副教材の導入(12~15)、テキスト+副教材(16~30)。

履修上の留意点 必ず辞書を持参すること。授業では、速読のあと内容を確認するための精読も行うので、各自復習して理解を深めてください。同時に、文法事項の確認にも力を入れてください。

成績評価の方法 前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を考慮して総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。

教科書 「未定」

履修コード	295901
科目名	英語IIB〔再クラス〕
担当者名	大淵 利春

講義のねらい 英語のリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに15分程度のリスニング練習を行い、その後テキストに取り組む。テキストは2時間で1 Unit のペースで読み進んでいく。

具体的には、Chapter 1 Freeters and NEETs (2,3),
Chapter 2 Low Birth Rate (4,5),
Chapter 3 Working Poor (6,7),
Chapter 4 Net Cafe Refugee (8,9),
Chapter 5 Loser Dog (10,11)
Chapter 6 False Accusation (12,13)
Review, test (14,15)
Chapter 7 Hikikomori (16,17)
Chapter 8 Cults (18,19)
Chapter 9 Baby Boomers Retire (20,21)
Chapter 10 Immigration (22,23)
Chapter 11 Telecommuting (24,25)
Chapter 12 Buying Organs (26,27)
Chapter 13 Surrogate Mothers (28,29)
Review, test (30)

履修上の留意点 予習をしてくること。辞書をもってくること。

成績評価の方法 前、後期2回の試験の結果をベースとしながら、平常点(出席状況、授業態度など)も考慮に入れて、総合的に評価する。

教科書 *Keywords for Japan Today*
センゲージラーニング(1700円)
ISBN 978-4-86312-043-3

履修コード	296201
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>あんざい かおる</small> 安齋 薫

外国語

講義のねらい	Listening 能力の向上とともに、さらに多くの量を読めるようにする
講義の内容・ 授業スケジュール	第1回 Introduction 2. 3 My Heart Will Go On 4. 5 Open Arms 6. 7 Don't Look Back In Anger 8. 9 A Whole New World 10. 11 Livin' La Vida Loca 12. 13 Kiss of Life 14. 15 まとめ 16. 17 I Don't Want to Miss A Thing 18. 19 Every Time I Close My Eyes 20. 21 Life 22. 23 The Stranger 24. 25 All I Want For Christmas Is You 26. 27 Hey Now 28. 29. 30 まとめ
履修上の留意点	予習をしてくること。
成績評価の方法	出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートで評価する。
教科書	<i>English with Hit Songs</i> 成美堂 ¥1700 ISBN4-7919-4581-6

履修コード	296301
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	おちかい かづみき 落合 和昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を、ヒアリングを通して、学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『20』(UNIT 1,2)
- 第三回 『TOEIC』(UNIT 1)
- 第四回 『20』(UNIT 3,4)
- 第五回 『TOEIC』(UNIT 2)
- 第六回 『20』(UNIT 5,6)
- 第七回 『TOEIC』(UNIT 3)
- 第八回 『20』(UNIT 7,8)
- 第九回 『TOEIC』(UNIT 4)
- 第十回 『20』(UNIT 9,10)
- 第十一回 『TOEIC』(UNIT 5)
- 第十二回 『20』(UNIT 11,12)
- 第十三回 『TOEIC』(UNIT 6)
- 第十四回 『20』(UNIT 13,14)
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『TOEIC』(UNIT 7)
- 第十七回 『20』(UNIT 15,16)
- 第十八回 『TOEIC』(UNIT 8)
- 第十九回 『20』(UNIT 17,18)
- 第二十回 『TOEIC』(UNIT 9)
- 第二十一回 『20』(UNIT 19,20)
- 第二十二回 『TOEIC』(UNIT 10)
- 第二十三回 『TOEIC』(UNIT 11)
- 第二十四回 『TOEIC』(UNIT 12)
- 第二十五回 『TOEIC』(UNIT 13)
- 第二十六回 『TOEIC』(UNIT 14)
- 第二十七回 『TOEIC』(UNIT 15)
- 第二十八回 『TOEIC』(UNIT 16)
- 第二十九回 『TOEIC』(UNIT 17)

第三十回 後期試験
※『20リスニング・キーポイント』（上記では『20』）

『TOEIC ボキャブラリー プラクティス ーターゲットは600点ー』（上記では、『TOEIC』）

なお、ヒアリング及び発音練習は毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『20リスニング・キーポイント』 弓プレス 1000円
ISBN4-8034-1149-2 C1082
- 2) 『TOEIC ボキャブラリー プラクティス ーターゲットは600点ー』 1600円
ISBN4-269-66017-1 C3582
- 3) プリント

履修コード	296501
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	矢島 直子 <small>やじま なおこ</small>

講義のねらい 大学中級程度の英文を読み、構文、内容が理解できるようにすること。
講義の内容・授業スケジュール (1回目) ガイダンス (2-4) 1章 (5-7) 2章 (8-10) 3章 (11, 12) 5章 (13, 14) 6章 (15) 前期末試験 (16) 試験解説 (17-19) 7章 (20-22) 8章 (23-25) 9章 (26, 27) 10章 (28, 29) 12章 (30) 後期末試験
履修上の留意点 毎回どンドン当ててやってもらいますから、必ず意味が分かるまで予習すること。1回目の授業から出席して下さい。
成績評価の方法 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。
教科書 竹下裕子、他、「世界の多様な英語 2」、(松柏社)、¥1,900+税、ISBN 4-88198-600-7

履修コード	296601
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	相馬 美明 <small>さうま よしあき</small>

講義の内容・授業スケジュール IBの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC・TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めていく。
前期
 ・TOEFL QUESTIONS EX.1~10
 ・映画 1~10場面
 ・音楽など他
後期
 ・TOEFL QUESTIONS EX.13~21
 ・映画 1~10場面
 ・個人発表(プレゼンテーション)他
成績評価の方法 出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート：また授業態度などを総合的に評価する。
教科書 開講時に指示する。

履修コード	296701
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一 <small>ほんま としかず</small>

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書 *Checknote For Business Trends* (金星堂) 1,100円
 ISBN4-7647-3717-5

履修コード	296901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	手島 敬子

講義のねらい 「英文読解力向上」をテーマに、短時間に効率よく、また的確に英語で書かれた文章を読み取る力を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期 第1回ガイダンス（授業説明）
第2回～第14回1～5の中から3、4章を取り上げて読んでいきます。
第15回前期試験
後期 第16回～第29回6～12の中から3、4章を取り上げて読んでいきます。
第30回後期試験

履修上の留意点 原則として3分の2以上の授業出席が必要となります。必要に応じて課題が課されるので必ず提出して下さい。授業には毎回辞書を持参して下さい。

成績評価の方法 前期・後期試験、課題を8割程度、授業への参加度、出席状況を2割程度で評価します。

教科書 Basil Lechatt *People Are Funny* マクミランランゲージハウス 1800円 978-4-89585-406-1

外国語

履修コード	297101
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義のねらい 伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・授業スケジュール 文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。

履修上の留意点 予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2004年刊 2300円＋税
ISBN8102-0839-7

履修コード	297201
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	志真 斗美恵

講義のねらい さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。

履修上の留意点 欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席してください。

成績評価の方法 前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。

教科書 1) 中村浩平・塚田真幸
2) ハロー！ ドイツ語を話してみようか[新訂版]
3) 三修社
4) 2400円＋税
5) ISBN978-4-12250-3C1084

履修コード	297401
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	岡本 時子

講義のねらい 平易なドイツ語を理解するのに必要な初歩的なドイツ文法事項を概観しながら、英語や日本語と比較しドイツ語のことばの仕組を考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期はまずドイツ語の簡単な歴史と文法の特徴・全体像を把握した後、名詞・代名詞の理解を中心とした文法項目の理解に努め、次に簡単な文を作る練習をします。後期は動詞に関連する諸項目をしっかりと理解することを主眼点にしなが、単文だけでなく複文の構造が理解できるようになることも目指します。

履修上の留意点 前にやったことの上に知識を積み重ねていくことになりますから、途中休まず続けて出席することが大切です。

成績評価の方法 成績は年間を通しての出席と前期・後期2回の試験の結果を総合して評価しますが、授業中の意欲・態度も併せて考慮します。

教科書 未定

履修コード	298602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語はどのようにして意味を伝えるのか、文法を手掛かりにその組み立て方を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 発音、動詞の変化、格変化など基本的な文法事項を練習問題を中心に学んでゆきます。

履修上の留意点 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、七月と一月の試験の成績および、授業中、質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書 未定

履修コード	297501
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。日独交流に関わる知られた、あるいは知られざれエピソードに興味を持ってもらえればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

履修上の留意点 語学の勉強は大変日常的事柄と密着していますが、未知の外国語である以上、自己の日常べったりでは、理解に至りません。辞書の引き方からして、ただ持っていればことばがわかると思っている人が多いようですが、引き方を知らなければ目的の単語に到達しませんし、また到達しても、考えなければ、意味のわかることばにはなりません。大変な作業です。「暗記物」ではありませんので、心してください。辞書必携。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。

教科書 杉谷恭一他著「日独交流400年」(白水社)2,200円

履修コード	297601
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	堀内 美江

講義のねらい ドイツ語の基礎を養いながら、さらにドイツという国そのものを知ってもらうことがこの授業の目標です。適宜ビデオや資料などを用いながら、新しい知識を得て、新しいことを学ぶ醍醐味を味わってもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 発音や挨拶、基本語いの学習からゆっくりとはじめましょう。次に文法の復習をし、それを踏まえて簡単な会話や短い文章を読んでいます。皆さんの様子をみながら、授業を進めていきます。

履修上の留意点 とにかく授業に来ましょう。また、授業中は答えが間違っているもいっこうにかまいません。積極的な姿勢が何より大切です。

成績評価の方法 出席と前後期のテストおよび平常点の総合評価となります。また、少しですが小さな課題を出してもらいます。

教科書 小野寿美子他著『ドイツ語 プファァーヴォ! プラスアルファ』(朝日出版社)2400円

参考書等 辞書や参考書などは初回の授業時にご案内します。

履修コード	297801
科目名	ドイツ語I B〔再クラス〕
担当者名	<small>もとばし うきよう</small> 本橋 右京

講義のねらい 初級文法の配列に則って、簡単な会話表現を学びます。その中で、ドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本的な語彙や基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 在間進 『話すぞドイツ語! V2 新版』(朝日出版社) 2008年刊 2800円+税
ISBN978-4-255-25317-6

履修コード	297901
科目名	ドイツ語I B〔再クラス〕
担当者名	<small>みなみ</small> 南 はるつ

講義のねらい 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 高橋泰雄・城間宏明著「おしゃれなドイツ語」朝日出版社
参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	298001・298002
科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>もり こうせい</small> 森 公成

講義のねらい 文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール 一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます)、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書 小塩節著 『ドイツ こころの旅』(朝日出版社) 2,200円

履修コード	298101・298102
科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>もとばし うきよう</small> 本橋 右京

講義のねらい ドイツの首都ベルリンをテーマとする読章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 P.Buchholz・他『ベルリンは今』(郁文堂) 2008年刊 2500円+税、ISBN978-4-261-01228-6

外国語

履修コード	298201・298202
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	岡本 時子

講義のねらい ドイツ語Iでやったことを復習しながらドイツ語力を伸ばし、併せてドイツ語圏の文化・歴史についても学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期はドイツ語の各文法項目の復習をしながら、ドイツ語圏の歴史・文化・地理等に関する資料を読んでいきます。後期は簡単な物語を読みながら、特にクリスマスを中心としたドイツの慣習や行事等について学ぶ予定です。一年間を通して語彙力の拡充にも力を入れます。

履修上の留意点 ことばを学ぶことは、単語や文法事項を暗記するだけではないことを忘れずに授業に臨んで下さい。辞書を持参することも忘れないで下さい。

成績評価の方法 成績は前期・後期2回の試験の結果と年間の出席や授業中の意欲等を総合して評価します。出席は最重要視します。

教科書 未定

履修コード	298801
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	芦原 春

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書 中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

履修コード	298901
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	小玉 齊夫

講義のねらい フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 30回の授業として、教科書の指定にしたがいながら、大略、以下のような進度によって、進めていく。細部の変更はあり得る。(1・3)発音と綴り、(4・6)冠詞と名詞、(7・9)形容詞、主語人称代名詞、基礎的な動詞とその表現 (avoir, être)、(10・13) -er 動詞、-ir 動詞の基礎とその表現、(14-16)疑問代名詞、命令法、(17-19)動詞 (aller, venir, faire 等) とその表現、(20-23)動詞 (connaître, voir 等) とその表現、(24-26)複合過去の形態とその表現、(27-30)半過去形、未来、代名動詞。関係代名詞等の形態とその表現

履修上の留意点 特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法 上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。

教科書 甲斐基文『メビウス』（第三書房、2200円）、ISBN978-4-8086-2160-5

履修コード	299001
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール かつて習ったフランス語の初歩をもう一度基礎から学習しなおすクラス。かぎられた授業時間内で毎時間先へ先へと進んでゆきます。

履修上の留意点 再履修クラスですから出席状況が重視されます。

成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、毎時間行なう練習問題の結果も評価の対象にします。

教科書 石上亜紀子他『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法』2007年刊（朝日出版社）2100円＋税

履修コード	300202
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	谷川 <small>たにかわ</small> かおる

講義のねらい フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。
 講義の内容・授業スケジュール (1-2) 発音とあいさつ (3-8) フランス語で自己紹介する (9-30) 基礎的な会話。
 履修上の留意点 毎回、暗唱テストを行う。
 成績評価の方法 前期・後期の期末試験の点数を基本にし、小テストの点数を加算し、60点以上を合格点とする。
 教科書 伊藤晃、谷口千賀子『Ça va? サヴァ?』早美出版社、2400円
 参考書等 授業中に指示する。
 その他 出席重視。

履修コード	299101
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	東 <small>あづま たつゆけ</small> 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/ Alphabet (2) ~ (3) 発音の基礎 (4) ~ (15) 基本的表現 (挨拶/自己紹介/趣味を語る/尋ねる/住んでいる所を言うなど) (16) ~ (29) 発展的表現 (時刻を言う/紹介する/天候を言う/過去のことを語る/未来のことを語るなど) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)
 履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
 成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。
 教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税, ISBN978-4-560-06083-4
 参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	299201
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	今関 <small>いませき</small> アン

講義のねらい 一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。
 講義の内容・授業スケジュール CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。
 履修上の留意点 2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。
 成績評価の方法 2/3以上の出席 (25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社) の実力テスト (25%) + 前・後期定期試験 (50%)
 教科書 内村増美子著『フランス語でサバイバル!』(白水社) 2,000円
 参考書等 仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社) (7月中に大学内紀伊國屋書店で購入) 清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

履修コード	299301
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	伊藤 <small>いとう</small> なお

講義のねらい フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。
 講義の内容・授業スケジュール 1) ~3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4) ~15) 文法の基礎 (名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など) と会話練習 (自分と家族の紹介、何をやる? など) および読解 16) ~29) 文法の発展 (補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など) と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)
 履修上の留意点 積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。
 成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。
 教科書 フランソワ・ルーセル、丸川誠司著 『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

履修コード	299501
科目名	フランス語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	谷川 かおる
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。 (1) フランス語の歴史(2-3) 発音(4-8) あいさつ、自己紹介(9-30) 旅行に便利な表現など。
履修上の留意点	毎回暗記小テストを行う。
成績評価の方法	前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算し、60点以上を合格点とする。
教科書	田辺保子他著、『サリュ』駿河台出版社、2500円
参考書等 その他	参考書は授業中に指示する 出席重視。

履修コード	299601・299602
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	畑中 千晶
講義のねらい	やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の 問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしてい きます。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1) ガイダンス/L1 (2)～(6) L2-4 (7) 復習 (8)～(13) L5-7 (14) 復 習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)～(21) L9-11 (22) 復習 (23)～(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験
履修上の留意点	①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わり宿題を出します(平常点 としてカウント)。
成績評価の方法	前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%
教科書	リアンヌ・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコンテ―読解からコミュニケーションへー(CD 付)』2004年刊(駿河台出版社)2,500円+税

履修コード	299701・299702
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	沼倉 広子
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	文法、読解、文化、コミュニケーションの4つの要素を採り入れフランス語と文化に触れる (1) 名詞・冠詞(2) 基本動詞・形容詞(3) 規則動詞(4) 不規則動詞・非人称動詞(5) 人称代名詞・比較級・最上級(6) 代名動詞・疑問形容詞(7) 複合過去(8) 半過去・関係代名 詞(9) 単純未来・中性代名詞(10) 条件法・接続法 各章にフランス、パリ、学生生活、ブルタ ーニュ、プロヴァンス、アルザスなどについての文章を読む
履修上の留意点	毎回練習問題、あるいは読解などを提出させる
成績評価の方法	前後期定期試験を行うが、平常点も重視する
教科書	野村二郎『フランス、言葉と文化の旅』(第三書房)2,500円 ISBN4-8086-2099-5 C1085

履修コード	299801・299802
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	桑田 禮彰
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	フランス語中級 まず発音の基本をしっかり復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の短編小 説をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説を心がけます。 (1) 受講上の諸注意(2) 発音の基本の復習(3)～(15) 初級文法復習を中心としたテキスト 読解(16)～(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解(30) 復習と今後のフランス語学習に ついて
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大 切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	ピエール・グリパリ著『ランゲンドルフの城』(朝日出版社)951円+税 ISBN4-255-35024-8
参考書等	そのつど授業で指示します。

履修コード	300601・300602
科目名	中国語I A〔再クラス〕 中国語I B〔再クラス〕
担当者名	あきもと たすく 秋元 翼

講義のねらい 中国語に対する苦手意識を取り除き、途中挫折せず初級をマスターするようにします。
 講義の内容・授業スケジュール 前期は発音4回のあと7課まで進みます。後期は8課から15課まで3回で2課の割合で進みます。4課に1回テストをする予定です。
 履修上の留意点 4分の3以上の出席を要します。
 成績評価の方法 平常授業での学習態度・理解度及びテストの成績で評価します。
 教科書 榎本英雄『おもしろスキット初級中国語』（同学社）2500円+税

履修コード	301201・301202
科目名	中国語I A〔再クラス〕 中国語I B〔再クラス〕
担当者名	あまの せつ 天野 節

講義の内容・授業スケジュール ピンインに基づく発音の基本（1～4）主な品詞と使い方（5～14）動作と時間（15～16）完了と変化（17～18）助動詞（19～20）その他の動態（21～22）補語（23～26）疑問詞（27～28）
 履修上の留意点 遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。
 成績評価の方法 授業内テスト+出席+課題及び授業態度の総合評価
 教科書 荒川清秀『簡明中文システム15』2007年刊（同学社）2200円

履修コード	301301・301302
科目名	中国語I A〔再クラス〕 中国語I B〔再クラス〕
担当者名	おがわ たかし 小川 隆

講義の内容・授業スケジュール 発音と文法をゼロからていねいに勉強してゆく。
 成績評価の方法 年間4～5回のテスト、出席点、その他の平常点を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が全授業回数の4分の1を超えた人などは、その時点で受講をやめてもらう。卒業年次生も特別扱いではないので要注意！必ず初回から出席すること。
 教科書 楊凱米・張麗群『新・中国語への船出』（朝日出版社）2200円+税 ISBN 978-4-255-45155-8

履修コード	301401・301402
科目名	中国語I A〔再クラス〕 中国語I B〔再クラス〕
担当者名	ふせ なおこ 布施 直子

講義のねらい 入門初級段階をていねいにゆっくり学習。
 講義の内容・授業スケジュール 授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。
 履修上の留意点 欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。
 成績評価の方法 出席状況、テスト、授業への積極性を評価。
 教科書 鄧秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』郁文堂。価格2500円+税。ISBN978-4-261-01821-9

履修コード	301501・301502
科目名	中国語I A〔再クラス〕 中国語I B〔再クラス〕
担当者名	ひろかね かなこ 弘兼 加奈子

講義の内容・授業スケジュール 当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。
 (1～2) 発音、声調確認 他
 (3～14) 本文、練習問題等
 (15) 期末テスト
 (16～29) 本文、練習問題等
 (30) 学年末テスト
 なお、5月連休明けに授業進行予定表を配布予定。
 成績評価の方法 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。出席状況も考慮する。
 教科書 武信彰・李鴻谷『中国語カレッジ』（郁文堂）2500円

履修コード	302302・302303
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	らん めい 蘭 明

講義の内容・授業スケジュール
 前期は最初の一月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
 成績評価の方法
 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
 教科書
 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社) 2835円

履修コード	301601
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	うめだ まさこ 梅田 雅子

講義のねらい
 一年次の学習を基礎に、簡単な文章を読む練習をする。それを通じて、更なる語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。
 講義の内容・授業スケジュール
 1:本文の発音と、意味の確認。
 2:本文中の文法項目の確認。
 3:練習問題の答え合わせ。
 4:短文朗読
 ★文法項目は本文にあわせて、適宜復習する。
 ★2回で1課進む予定
 履修上の留意点
 ■3/4以上の出席が必要
 ■予習復習必須
 ■辞書持参
 成績評価の方法
 平常点(出席・授業態度・小テスト)30%、前期試験・後期試験:70%
 教科書等
 石慧敏・金子真也『上海びより』好文出版、2000円(税別)
 参考書等
 中日辞典を教室に持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。
 その他
 講読の授業ですが、一年次の学習を踏まえて、聞き取りや発音の練習もあります。CDを活用してください。

履修コード	301801
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	みやもと あつこ 宮本 厚子

講義のねらい
 一年生で学んだ基礎を踏まえ、中国語の文を読む力を養成する。
 講義の内容・授業スケジュール
 教科書に沿って、辞書などを用い、文を読みこなす練習を行う。
 履修上の留意点
 毎回、辞書を引き、意味を考えた上で、授業に出ること。
 また、辞書を毎回携帯すること。
 成績評価の方法
 テスト四回と平常点で総合的に評価する。
 授業は四分之三以上出席すること。
 教科書
 石慧敏・金子真也『上海びより』好文出版、2000円(税別)

履修コード	301901
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕
担当者名	おおくぼ あきお 大久保 明男

講義のねらい
 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
 講義の内容・授業スケジュール
 基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関するを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
 履修上の留意点
 積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
 成績評価の方法
 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
 教科書
 石慧敏・金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円

履修コード	302001
科目名	中国語II B〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』 朝日出版社 2300円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜 4 時限

履修コード	302101
科目名	中国語II B〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』 朝日出版社 2300円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜 5 時限

履修コード	302201
科目名	中国語II B〔再クラス〕
担当者名	蘭 明

講義のねらい 基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点 授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法 出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語 2』(朝日出版社) 2835円

履修コード	302601・302602
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	大岩 功

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期14回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。
後期14回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習しておくことを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社

参考書等 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』(三修社)

履修コード	302701・302702
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	^{さいとう ちかみ} 齋藤 明美

講義のねらい 直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます

講義の内容・授業スケジュール

(1) オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1)

(2) 1課: こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser 動詞)、2課: 私の母です(estar 動詞の用法)、3課: このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-8)

(3) 4課: 君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(9-11)

(4) 5課: 私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞、6課: 一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(12-15)

(5) 7課: 何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課: ああ残念!(直説法現在3)(16-20)

(6) 9課: 病院で(目的格人称代名詞、gustar 型動詞)、10課: 映画スターへのインタビュー(再帰動詞、時間の表現)、11課: バックツァーを探しています(不定語、否定語、疑問詞)(21-26)

(7) 12課: トルティージャを食べたことある?(過去分詞、現在完了、現在分詞、現在進行形)(27-30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 出席状況、授業参加、各期末の定期試験によります。

教科書 内田/尾尻/稲森 『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同学社 2500円

参考書等 講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。

その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	302801・302802
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	^{かみやま こういち} 龜山 晃一

講義のねらい 基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

講義の内容・授業スケジュール

I. Alfabeto, Letras y pronunciación (1~3H)

II. Saludos/En la cafetería
名詞の性と数、冠詞、存在文 hay (4~6H)
前期中間テスト(7H)

III. En la parada de autobús
主語人称代名詞、スペイン語の動詞、直接・間接目的語(8~10)

IV. En la universidad
直説法現在形一規則・不規則活用動詞 ser, estar, hay (11~13)

V. ¿De dónde eres?
形容詞の性と数そして用法、lo +形容詞、指示形容詞(14~15)
前期期末テスト(16)

VI. En el bar
語根母音変化動詞、不定詞の用法、日付・曜日の表現(17~18)

VII. Planes para las vacaciones de verano (19~20)
従属節の作り方、指示代名詞、数詞(0~199)
後期中間テスト(21)

VIII. En el aeropuerto 時間の表現、その他の不規則動詞、前置詞格人称代名詞(22~24)

IX. Fiesta de "bienvenida"
gustar 型動詞、自動詞と他動詞(25~26)

X. En Teotihuacan
間接、直接目的格人称代名詞、疑問詞(27~29)
後期期末テスト(30)

履修上の留意点 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書 開講時、指示します。

履修コード	303001・303002
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	荻野 恵 <small>おぎの めぐみ</small>

講義のねらい スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって、文法の説明と練習を進める。
前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。
後期：不規則動詞、再帰動詞など。

成績評価の方法 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』(大学書林)

履修コード	303402・303403
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 麻里乃 <small>さとう まりの</small>

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法 試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

教科書 未定(プリント配布の場合もあり)

履修コード	303101・303102
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	齋藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>

講義のねらい 直説法現在など基礎文法を復習しながら、過去形や過去完了および日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 1課 スペイン語に親しむ、2課 スペイン語の音とつづりに慣れる(1-2)
(2) 3課 動詞の人称変化を理解する、4課 名詞と冠詞の性数一致を理解する(3-5)
(3) 5課 疑問詞を使って質問する、6課 前置詞を使って文章を作る、7課 総合練習(5-9)
(4) 8課 ser 動詞と形容詞の性数一致を理解する、9課 ser 動詞を使って表現を広げる、10課 状態・感情・所在・存在の表現を学ぶ、11課 総合練習2(10-16)
(5) 12課 頻度が高い不規則動詞を覚える、13課 gustar 動詞の仕組みを理解する(16-21)
(6) 14課 再帰動詞に親しむ、15課、総合練習(22-24)
(7) 16課 経験を伝える、17課 過去の出来事を説明する(25-30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 毎回の出席、授業参加と各期末の定期試験(年二回)を総合的に判断します。

教科書 立岩、ゴンザレス・ムニョス 『Aventura アベントゥーラ』同書社、2500円

参考書等その他 授業時に推薦する辞書の中から自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	303201・303202
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力とを深化させることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期14回 不規則動詞と目的語代名詞の形と用法を復習した後、点過去時制の規則活用、不規則活用を学習。
後期14回 点過去時制の復習の後、線過去時制、完了時制、未来時制、過去未来時制等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社

参考書 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)

履修コード	303301・303302
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一

講義のねらい 基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

講義の内容・授業スケジュール

- I. Alfabeto Letras y Pronunciación (1~3H)
- II. Saludos/En la cafetería
名詞の性と数、冠詞、存在文 hay (4~6H)
前期中間テスト(7H)
- III. En la parada de autobús
主語人称代名詞、スペイン語の動詞、直接・間接目的語(8~10)
- IV. En la universidad
直説法現在形一規則・不規則活用動詞 ser, estar, hay (11~13)
- V. ¿De dónde eres?
形容詞の性と数そして用法、lo+ 形容詞、指示形容詞(14~15)
前期末テスト(16)
- VI. En el bar
語根母音変化動詞、不定詞の用法、日付・曜日の表現(17~18)
- VII. Planes para las vacaciones de verano (19~20)
従属節の作り方、指示代名詞、数詞(0~199)
後期中間テスト(21)
- VIII. En el aeropuerto
時間の表現、その他の不規則動詞、前置詞格人称代名詞(22~24)
- IX. Fiesta de "bienvenida"
gustar 型動詞、自動詞と他動詞(25~26)
- X. En Teotihuacán
間接・直接目的格人称代名詞、疑問詞(27~29)
後期末テスト(30)

履修上の留意点 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書 開講時、指示します。

履修コード	303501・303502
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

4-7月はイントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

試験は行わず、平常点で評価します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
『露和辞典』

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	303601・303602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	さの あさこ 佐野 朝子

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。

会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

4-7月は、イントネーション、発音に力を入れる。

9-12月は、やさしい短文のききとり、初級文法を学ぶ

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

平常点を重視します。

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

履修コード	303701・303702
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	きむら ひであき 木村 英明

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
『露和辞典』

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	303801・303802
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>あんどうく</small> 安徳 ニーナ
講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。 4-7月 発音、イントネーション。 9-12月 読み書きを学ぶ。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	303901・303902
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.
講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月 発音、会話を学ぶ。 9-12月 会話力を一層高める。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
その他の他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304001・304002
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>おのすか ふみかづ</small> 大須賀 史和
講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月 基礎文法の復習。 9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
その他の他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304101・304102
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>あんどうく</small> 安徳 ニーナ
講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。 4-7月 基礎文法の復習。 9-12月 会話と読解に重点をおく。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

講義の内容・授業スケジュール 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

1	pp.1-2	プリント(1)配布	16	pp.1-2	プリント(2)配布
2	pp.3-4	(試訳提出)	17	pp.3-4	(試訳提出)
3	pp.5-6		18	pp.5-6	
4	pp.7-8		19	pp.7-8	
5	pp.9-10		20	pp.9-10	
6	pp.11-12	(試訳提出)	21	pp.11-12	(試訳提出)
7	pp.13-14		22	pp.13-14	
8	pp.15-16		23	pp.15-16	
9	pp.17-18		24	pp.17-18	
10	pp.19-20		25	pp.19-20	
11	pp.21-22	(試訳提出)	26	pp.21-22	(試訳提出)
12	pp.23-24		27	pp.23-24	
13	pp.25-26		28	pp.25-26	
14	pp.27-28		29	pp.27-28	
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。
成績評価の方法 ①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書 教員が作成したものを用います。

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 辞書を駆使して、現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2004年エディンバラ国際演劇祭で初演された戯曲 *The Wonderful World of Dissocia* を読みます。芝居は見えていません。

講義の内容・授業スケジュール 本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取る。現代のチャキチャキの言葉で書かれているため、見た目は易しくても、内容を理解するのは難しいです。(1回目)ガイダンス(2-10)2ページずつ(11-14)3ページずつ(15)前期試験(16)試験解説(17-20)2ページずつ(21-29)3ページずつ(残りは翻訳します)

履修上の留意点 ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習してくること。辞書の文例まで読まないと、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席して下さい。

成績評価の方法 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。

教科書 Anthony Neilson, *The Wonderful World of Dissocia / Realism*, Methuendrama, £ 9.99, ISBN978-0-7136-8715-6 (初回の授業の時に説明します)。

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい 英語の総合的な読解力向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール やさしい英文で書かれたイギリスの歴史の、正史には無い赤裸々な真実にスポットをあてます。内容把握、速読といった読解力のアップが目標です。

履修上の留意点 教材にDVDが付いていて、副読本、補助教材になっているので、コンピューターがあると便利です。

成績評価の方法 前・後期末試験のほか、レポート、出席を重視します。

教科書 *Horrible Histories: England*, 南雲堂, 2, 000円、ISBN978-4-523-17578-0

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	^{たかの ひでお} 高野 秀夫

講義のねらい 今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。平易な英文の作成にも努める。

講義の内容・授業スケジュール 教科書（毎回1章の2/3ぐらい進む予定）では、時事英語（Current English）の特徴“最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている”を読み込んで生きた英語の理解に努める。また毎回時事英語のプリントで読解力と英語表現能力の増強を図る。

履修上の留意点 毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。
英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。

成績評価の方法 前、後期末テスト、平常点（出席点、レポート等）

教科書
・ *An Introduction to Media English*（北星堂）
・ プリント

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	^{はやし あきと} 林 明人

講義の内容・授業スケジュール web 上の CNN, Herald Tribune, ASAHI などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。
遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

1	プリント	1	16	プリント	7
2	プリント	1	17	プリント	8
3	プリント	2	18	プリント	8
4	プリント	2	19	小テスト	
5	プリント	3	20	プリント	9
6	プリント	3	21	プリント	9
7	プリント	4	22	プリント	10
8	プリント	4	23	プリント	10
9	小テスト		24	プリント	11
10	プリント	5	25	プリント	11
11	プリント	5	26	プリント	12
12	プリント	6	27	プリント	12
13	プリント	6	28	小テスト	
14	プリント	7	29	社説を読む	
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法 ①試験（40％）②小テスト（30％）③出席（30％）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書
教員が作成したものを用います。

参考書等 *Sanseido's Dictionary of News English*（三省堂）

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics!—基本に帰る—ことをこのクラスの標語とする。困難な現代的課題—地球温暖化—をやさしい英語で読んでみたい。副読本として *A Clean Sea: The Rachel Carson Story* (Cascade Pass) を並行して読んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール (1) Orientation (2~7) p.1~p.8 (8)《遊び時間》英語固有名詞について〈プリント配布〉(9~14) p.9~p.15 (15) 中間試験 (16~21) p.16~p.23 (22~23)《遊び時間》英語慣用句について〈プリント配布〉(24~29) p.24~p.44 (30) 最終試験

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可とする。授業には英語辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。

成績評価の方法 中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。

教科書 1. Robin C. Friend and Judith Love Cohen.-*A Clean Sky: The Global Warming Story*. (Cascade Pass). \$7.00 (Amazon. com jp で購入できる。約850円)

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	<small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭

外国語

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級から上級（英検二級、準一級、一級）程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングで聞いたニュースの意味を、文字を通して、確認する。第四段階は、その英文を、ヒヤリングで聞いたように、できるだけ忠実に再生する。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『新版』(UNIT 1)
- 第三回 『新版』(UNIT 2-4)
- 第四回 『新版』(UNIT 5-10)
- 第五回 『新版』(UNIT 11-13)
- 第六回 『新版』(UNIT 14-16)
- 第七回 『新版』(UNIT 17,18)
- 第八回 『新版』(UNIT 19,20)
- 第九回 『英語ニュース』(UNIT 1)
- 第十回 『英語ニュース』(UNIT 2)
- 第十一回 『英語ニュース』(UNIT 3)
- 第十二回 『英語ニュース』(UNIT 4)
- 第十三回 『英語ニュース』(UNIT 5)
- 第十四回 『英語ニュース』(UNIT 6)
- 第十五回 後期試験
『英語ニュース』(UNIT 7-9)
- 第十六回 『英語ニュース』(UNIT 10)
- 第十七回 『英語ニュース』(UNIT 11)
- 第十八回 『英語ニュース』(UNIT 12)
- 第十九回 『英語ニュース』(UNIT 13)
- 第二十回 『英語ニュース』(UNIT 14)
- 第二十一回 『英語ニュース』(UNIT 15)
- 第二十二回 『CNN』(UNIT 1)
- 第二十三回 『CNN』(UNIT 2)
- 第二十四回 『CNN』(UNIT 3)
- 第二十五回 『CNN』(UNIT 4)
- 第二十六回 『CNN』(UNIT 5)
- 第二十七回 『CNN』(UNIT 6)
- 第二十八回 『CNN』(UNIT 7)
- 第二十九回 『CNN』(UNIT 8)
- 第三十回 後期試験：
『CNN』(UNIT 9-12)

※『「新版」カプセル・ニュース英語を聞く』(上記では、『新版』)
『英語ニュースで読む現代社会 2008』(上記では、『英語ニュース』)
『CNN:ビデオで見る世界のニュース』(上記では、『CNN』)

なお、ヒヤリングは毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『「新版」カプセル・ニュース英語を聞く』 三修社 1,300円
ISBN 4-384-33368-4-C1082
- 2) 『英語ニュースで読む現代社会 2008』 金星堂 1,800円
ISBN978-4-7647-3868-3 C1082
- 3) 『CNN:ビデオで見る世界のニュース』 朝日出版社
ISBN978-4-255-15450-3 C1082
- 4) プリント

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	矢島 直子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。
イギリスの大衆紙、高級紙の記事を集めた教科書を読んで、意味を取ってもらいます。
(1回目) ガイダンス (2) 1課 (3-14) 2-9課 (15) 前期末試験 (16) 試験解説 (17-29)
10-16課 (30) 後期末試験

履修上の留意点

毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いて意味が分るまで予習してること。必ず1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法
教科書

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。
越 朋彦『イギリスの新聞を読む』 研究社、1,900円+税、ISBN978-4-327-42171-7

外国語

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭

外国語

講義のねらい

このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級（二級、準一級、一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『5分間』(UNIT 1～4)、『口語』1-1、UK、BT
- 第三回 『5分間』(UNIT 5～8)、『口語』1-1 WP、SP
- 第四回 『5分間』(UNIT 9～12) 『口語』1-2 UE、BT
- 第五回 『5分間』(UNIT 13～16)、『口語』1-2 WP、SP
- 第六回 『5分間』(UNIT 17～20)、『口語』1-3 UE、BT
- 第七回 『5分間』(UNIT 21～24)、『口語』1-3 WP、SP
- 第八回 『5分間』(UNIT 25～28)、『口語』1-4 UE、BT
- 第九回 『5分間』(UNIT 29～32)、『口語』1-4 WP、SP
- 第十回 『5分間』(UNIT 33～36)、『口語』1-5 UE、BT
- 第十一回 『5分間』(UNIT 37～40)、『口語』1-5 WP、SP
- 第十二回 『口語』1-6 UE、BT 映画台本の読み方
- 第十三回 『口語』1-6 WP、SP 映画台本の読み方
- 第十四回 『口語』1-7 UE、BT 映画台本の読み方
- 第十五回 前期試験：『5分間』(UNIT 37～40)
- 第十六回 『口語』1-7 WP、SP 映画台本の読み方
- 第十七回 『口語』2-8 UE、BT、WP、SP
- 第十八回 『口語』1-9 UE、BT、WP、SP
- 第十九回 『口語』1-10 UE、BT、WP、SP、
- 第二十回 『口語』2-1 UE、BT、WP、SP
- 第二十一回 『口語』2-2 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 1)
- 第二十二回 『口語』2-3 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 2)
- 第二十三回 『口語』2-4 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 3)
- 第二十四回 『口語』2-5 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 4)
- 第二十五回 『口語』2-6 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 5)
- 第二十六回 『口語』2-7 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 6)
- 第二十七回 『口語』2-8 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 7)
- 第二十八回 『口語』2-9 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 8)
- 第二十九回 『口語』2-10 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 9)
- 第三十回 後期試験：『恋人』(UNIT 10、11、12)

※ 『5分間口語英語表現』(上記では、『5分間』)

『コミュニケーションのための口語英作文』(上記では、『口語』)

Useful Expression →UE、Basic Training →BT、Writing Practice →WP、Speaking practice →SP

『恋人たちの予感』(上記では、『恋人』)

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他(課題、小テスト、授業中の発表等)は60%とする。出席率は前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

- 教科書
- 1) 『恋人たちの予感』 松柏社 1850円
ISBN4-88198-411-X C3083
 - 2) 『5分間口語英語表現』 南雲堂 700円
ISBN4-523-17216-1
 - 3) 『コミュニケーションのための口語英作文』 成美堂 1600円
ISBN4-7919-5026-7 C1082
 - 4) プリント

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 直樹 <small>おおば なおき</small>

- 講義のねらい
- このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
- 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
- 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
- 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
- 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。
- 履修上の留意点
- 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。
- 成績評価の方法
- 試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。
- その他
- 受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	にしむら けいこ 西村 祐子

外国語

講義のねらい 前期は米国シアトル市のワシントン大学とテレビ会議でつなぎ、ネイティブアメリカンのNPO代表を中心に、世界のマイノリティ・被差別文化について英語文献を読み、話し合う。後期はインターネットなどを利用して各地のマイノリティ文化、被差別文化についての英語情報を得、それを英語でまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 小テスト、授業についての説明
2. 北米のマイノリティ：ネイティブアメリカンについて
3. ワシントン大学とのテレビ会議（1）
4. ワシントン大学とのテレビ会議（2）
5. 日本のマイノリティ：被差別部落の文化
6. 日本のマイノリティ：アイヌの文化
7. 日本のマイノリティ：沖縄の文化
8. ワシントン大学とのテレビ会議（3）
9. ワシントン大学とのテレビ会議（4）
10. 日本のマイノリティ：在日社会
11. 日本のマイノリティ：日系社会
12. 前期内容の英語でのまとめ（1）
13. 前期内容の英語でのまとめ、レポート作成（2）

後期

1. ネイティブアメリカンの思想研究
2. アジアのマイノリティ研究（1）
3. アジアのマイノリティ研究（2）
4. アジアのマイノリティ研究（3）
5. まとめと英語レポート作成（インターネットによる調査）
6. ヨーロッパのマイノリティ研究（1）
7. ヨーロッパのマイノリティ研究（2）
8. まとめと英語レポート作成
9. ワシントン大学とのテレビ会議（5）
10. ワシントン大学とのテレビ会議（6）
11. ワシントン大学とのテレビ会議（7）
12. まとめと英語レポート作成
13. 英語による研究プレゼンテーション（各自）

履修上の留意点

受講者は知識を英語で習得しそれをテレビ会議で発信するためのプレゼンテーション能力が必要となる。会議に参加できるだけの英語力がもたせられる。英語で内容を理解するための知識をインターネットなどを利用して渉猟するので読む力が必要。英語レポート作成もあるので書く力も磨かれる。

成績評価の方法

平常点（出席点、発表、レポート、会議での発表力など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

授業で指定。

その他

本クラスは英語上級者用のクラスなので、少人数クラスとする。基礎的な英語力を査定するために第一回目にスクリーニングを行う(小テスト)。

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 直樹 <small>おおば なおき</small>

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。
 後期からは、パワーポイントを使って、テーマを決めてプレゼンテーションをしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	264201・264301
科目名	英会話
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1, WARREN WILSON, ROGER BARNARD
 ISBN-10 9620056655 10 digit

履修コード	264401
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

外国語

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please do not take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

履修上の留意点

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.

There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance: 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is very important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

履修コード	264501
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他の

The first class is very important, so please do not be absent!

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

履修コード	264601・264701
科目名	英会話I
担当者名	ソルタ, P. N. F.

外国語

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice communicating in natural spoken English about topics of interest to them. This enables students to build up their speaking and listening skills, and to improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using natural spoken English.

講義の内容・
授業スケジュール

The instructor will provide the students with the classroom materials. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

The structures / functions to be covered are: Introductions / Classroom Language, Likes and Dislikes / Adjectives, Locations / Telephone Language, There is ... There are ... / Quantities, Have ... , Want ... , Would like ... / Shopping, Uncountable nouns / At a Restaurant, Present Continuous for arrangements, Fashion/Clothing, Present Simple / Occupations, Adverbs of frequency/Routines, Transportation / Work & School, The Present Tenses / Frequency,

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60 %), and a mark based on a student's attitude in class and class performance throughout the year (40 %). The end-of-year exam will contain listening and written exercises. In making a final evaluation, bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10 %) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

No textbook will be used in this course.

履修コード	264801・264901
科目名	英会話I
担当者名	レーン, C. M.

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can.

成績評価の方法

If a student is too shy then they might find this class difficult.

- (ア) Attendance 20 %
- (イ) Participation during class 50 %
- (ウ) Individual presentation 10 %
- (エ) Group presentation 20%

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

- A good dictionary
- A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265001
科目名	英会話I
担当者名	ピアス, D. M.

外国語

講義のねらい

(26500) ENGLISH CONVERSATION I

COURSE CONTENT AND PURPOSE: Each class session will concentrate on diversified practice of speaking and listening. Improved English fluency should raise scores in standard English tests and lead to better employment.

講義の内容・授業スケジュール

METHOD OF INSTRUCTION: During most of the class period you will be talking to each other in groups. If it embarrasses you to speak English loudly, you should not take this class. The textbook will be used intensively, guiding you through every detail of English conversation. Practice in aural comprehension, grammar, reading and composition will advance through simultaneous self-testing. Each class meeting will comprise a contrastive sociological analysis of a typical social interaction.

CLASS SCHEDULE: FIRST SEMESTER

- 1 Self-introductions
- 2 Addressing People
- 3 Social Hierarchy
- 4 Professional Titles
- 5 Self assertion and Conformity
- 6 Identity in Group
- 7 Motives of Gift Giving
- 8 Social Cohesion
- 9 Informal Communication
- 10 The Sense of Modesty
- 11 Styles of News Presentation
- 12 Coverage of Scandal
- 13 Personal Freedom
- 14 Group Harmony
- 15 The Consumer Society
- 16 Corporate Philanthropy

SECOND SEMESTER

- 1 Social Classes
- 2 The Idea of Success
- 3 Candor
- 4 Favoritism
- 5 Authority
- 6 Arrogance and Compassion
- 7 The Employment System
- 8 Company Loyalty
- 9 Political Prestige
- 10 Business Wealth
- 11 Family Loyalty
- 12 Democracy in Family Attitudes
- 13 Courtship
- 14 The Marriage Partner
- 15 Teenage Employment
- 16 Adolescent Development

成績評価の方法

TESTS AND GRADING: Exams are didactic, not disciplinary. Tests will be frequent, brief, and unannounced. There are no make-up tests. All of the test questions will be taken from the textbook, as practiced in class. Anything covered in class may appear in a quiz. Attendance: The student may miss three classes in the semester, but if absences are excessive the final evaluation will be one letter-grade less. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not form exemptions from the allowed number of absences. Grading: Instead of final exams, final grades will be calculated from ordinary class performance.

教科書

TEXTBOOK: Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting a diagnostic test will determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. EXAMINATIONS: There will be frequent unannounced, small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

履修コード	265101
科目名	英会話I
担当者名	ピアス, D. M.

講義のねらい

(26510)ENGLISH CONVERSATION I

COURSE CONTENT AND PURPOSE: Each class session will concentrate on diversified practice of speaking and listening. Concentration will be upon communication rather than simple expressions; rather than to learn English, emphasis is on learning to use what you already know. Improved English fluency should raise scores in standard international English tests and lead to better employment.

講義の内容・
授業スケジュール

METHOD OF INSTRUCTION: During most of the class period you will be talking to each other in groups. If it embarrasses you to speak English loudly, you should not take this class. The textbook will be used intensively, guiding you through every detail of English conversation. Practice in aural comprehension, grammar, reading and composition will advance through simultaneous self-testing. Each class meeting will comprise a contrastive sociological analysis of a typical social interaction.

CLASS SCHEDULE: FIRST SEMESTER

- 1 Self-introductions
- 2 Addressing People
- 3 Social Hierarchy
- 4 Professional Titles
- 5 Self assertion and Conformity
- 6 Identity in a Group
- 7 Motives of Gift Giving
- 8 Social Cohesion
- 9 Informal Communication
- 10 The Sense of Modesty
- 11 Styles of News Presentation
- 12 Coverage of Scandal
- 13 Personal Freedom
- 14 Group Harmony
- 15 The Consumer Society
- 16 Corporate Philanthropy

SECOND SEMESTER

- 1 Social Classes
- 2 The Idea of Success
- 3 Candor
- 4 Favoritism
- 5 Authority
- 6 Arrogance and Compassion
- 7 The Employment System
- 8 Company Loyalty
- 9 Political Prestige
- 10 Business Wealth
- 11 Family Loyalty
- 12 Democracy in Family Attitudes
- 13 Courtship
- 14 The Marriage Partner
- 15 Teenage Employment
- 16 Adolescent Development

成績評価の方法

TESTS AND GRADING: Exams are didactic, not disciplinary. Tests will be frequent, brief, and unannounced. There are no make-up tests. All of the test questions will be taken from the textbook, as practiced in class. Anything covered in class may appear in a quiz. Attendance: The student may miss three classes in the semester, but if absences are excessive the final evaluation will be one letter-grade less. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not from exemptions from the allowed number of absences. Grading: Instead of final exams, final grades will be calculated from ordinary class performance.

教科書

TEXTBOOK: Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting a diagnostic test will determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. EXAMINATIONS: There will be frequent unannounced, small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that have been practiced in class, and are printed in the textbook.

履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン, R. V.

外国語

講義のねらい This course enables students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容・授業スケジュール [1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams on selected textbook activities.

履修上の留意点 Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 of classes will result in a failing grade.

成績評価の方法 Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書
author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4*
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

履修コード	265301
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	セイジ, K

外国語

講義のねらい

This is an elective course which aims to improve your English conversation skills. So, rather than use one textbook, study materials will draw from a variety of resources, which will include textbooks, DVDs, internet articles and etcetera. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to take on responsibility for leveling up their English spoken skills. This course is for the students who are really interested in advancing their all round English conversation skills.

講義の内容・授業スケジュール

Due to the conversation focus of this class, you must be prepared to come to every class ready to speak English. Although the teacher will provide stimulus and models, students are expected to spend some of their own time following up on in class topics. This will help you be prepared to participate in class activities. Plus your individual contribution will be a high part of your grade.

履修上の留意点

Although this course may be difficult at the start, you will improve your speaking if you participate regularly and actively in class.

成績評価の方法

1. PERFORMANCE ASESMENT:

You will be assessed on multiple individual, pair and small group performances. These will include formats such as: interviews, role plays, small dramas, individual presentations, conducting small group discussions and etcetera.

2. ATTENDANCE:

Attendance, participation and attitude essential!

教科書
参考書等

Given in class

Bring notepaper and some kind of English electronic dictionary to class.

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287601
科目名	英会話II
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容・授業スケジュール [1]Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams on selected textbook activities.

履修上の留意点 Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 of the scheduled classes will result in a failing grade.

成績評価の方法 Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書 author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4*
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287701
科目名	英会話III
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい English Conversation III
Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.

講義の内容・授業スケジュール First Semester:
Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you.
Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important!
Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.

履修上の留意点 ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.
* It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.
The first class is very important, so please do not be absent!
Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法 Attendance : 50%
Grading: Class participation evaluation and attendance

教科書 There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他 I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I.
If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class!
John Wells

履修コード	287801
科目名	英会話III
担当者名	ピアス, D. M.

講義のねらい

(28780)ENGLISH CONVERSATION III

PURPOSE: Dedicated to raising English proficiency for the examinations in the *shushoku katsudo* process. This is the highest level of English conversation practice offered by the university; intense practice will be in more difficult levels of English.

講義の内容・
授業スケジュール

PROGRAM: Practice dialogues will introduce topics concerning commerce, economics, and politics; you will practice in dialogue or group. There will be oral exchange of opinions about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, such as you are already capable of conducting. 2) Exchange of opinion on a semi-abstract level, through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation.

履修上の留意点

REGULATIONS: Three absences per semester permitted. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence. Tests are didactic, not disciplinary; they are not announced beforehand.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others; you will be speaking English all the time.* Final grade depends 70% on your class performance; examinations have minor effect on the final grade.

外国語

履修コード	265401・265701
科目名	英語 LLI
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義のねらい 基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常のスピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
1. 小テスト（1）実施（受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う）
 2. 聞き取り、書き取り訓練（1）
 3. 聞き取り、書き取り訓練（2）
 4. 聞き取り、書き取り訓練（3）
 5. 聞き取り、書き取り訓練（4）
 6. 小テスト（2）
 7. 英語での自己紹介（1）
 8. 英語での自己紹介（2）
 9. 英語での自己紹介（3）
 10. 聞き取り、書き取り訓練（5）
 11. 聞き取り、書き取り訓練（6）
 12. 聞き取り、書き取り訓練（7）
 13. 小テスト（3）

後期

1. 小テスト（4）
2. 聞き取り、書き取り訓練（8）
3. 聞き取り、書き取り訓練（9）
4. 聞き取り、書き取り訓練（10）
5. 聞き取り、書き取り訓練（11）
6. 小テスト（5）
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語（1）
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語（2）
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語（3）
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語（4）
11. 小テスト（6）
12. 復習とまとめ（1）
13. 復習とまとめ（2）

履修上の留意点
成績評価の方法

全員コンピュータIDを取得しておくこと。（総合情報センターで取得可能）。出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書
参考書等

配布資料。小テストはTOEIC形式のものを使う（3000円程度）。授業中に提示する。

履修コード	265501・265601
科目名	英語 LLI
担当者名	はなわ みちこ 端 美智子

講義のねらい PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使えるようになる。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

成績評価の方法

‘Discover Great Britain and Ireland’、(金星堂) ¥2,200

教科書

その都度黒板に板書し、案内する。

参考書等

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

その他

履修コード	265801・265901
科目名	英語 L L I
担当者名	外池 一子 <small>とのかいけ かずこ</small>

講義のねらい	リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノローグやダイアログなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。</p> <p>(a) 個音(母音、子音)の識別 (b) 連結 (c) リダクション(機能語の弱形・縮約形) (d) 脱落・同化 (e) リズム、イントネーション</p> <p>2. 後期は実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。</p> <p>(a) ニュース (b) ドキュメンタリー (c) 映画、ドラマ (d) インターネット</p>
履修上の留意点	授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。 また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書その他	開講時に指示します。 毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

履修コード	266001
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 捷子 <small>かい かつこ</small>

講義のねらい	外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。
講義の内容・授業スケジュール	テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Trainingへ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。
履修上の留意点	発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。
教科書参考書等	Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2,000円 American Accent Training 2nd ed. Barrons. \$39.95

履修コード	266101
科目名	英語 L L I
担当者名	久保 ^{くぼ} ひさ子

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
 講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。
 履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
 成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点
 教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい This is an elective course which will be conducted in the LL classroom. So, we will not use a textbook; instead, use the resources of the LL classroom. The teacher and students will both be expected to contribute to this class. This course is for the students who are really interested in English and advancing their English skills considerably.
 講義の内容・授業スケジュール Due to the access of abundant resources, expect this class to be more intensive in terms of how much English and the variety of formats that you will be exposed to. Plus your individual contribution will be a high part of your grade.
 履修上の留意点 Although this course will be heavy, it is going to be interesting and will advance your English skills.
 成績評価の方法 1. INTERACTIVE PRESENTATIONS:
 Multiple individual and pair INTERACTIVE presentations
 2. SMALL GROUP or CLASS DISCUSSIONS:
 Opportunity to conduct small group or class discussions
 3. ATTENDANCE:
 Attendance, participation and attitude essential!
 教科書 LL classroom resources
 参考書等 LL classroom resources

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	高橋 ^{たかはし} 明子 ^{あきこ}

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聞き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるような練習を重ねていきます。
 講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。
 履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なため、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。
 成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。
 教科書 『CNN：ビデオをで見る世界のニュース（9）』（朝日出版社）2,000円＋税
 ISBN978-4-255-15450-3

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい ABC放送のアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”をビデオで学び、英語の運用能力をさらに高めることがこの授業の目的です。ストーリー性の高いニュースを、臨場感を楽しみながら、正確に聞き取り、読み、内容についても話せるように訓練します。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握し、さらに語句の解説を英語で行いながら内容を読み進み、同時に内容についても話せるように訓練します。単元の復習の後、小テストを行い、終了とします。テキスト全15章のうち、前期7章、後期8章を終了できる予定です。

履修上の留意点 遅刻に気をつけて下さい。授業の冒頭の部分が欠けると、その後の理解に支障が出ます。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、前期試験30%、後期試験30%とします。

教科書 ABC World News 10 山根繁 /Kathleen Yamane 著 金星堂 2,000円

履修コード	289301
科目名	英語 L L III
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい TVニュース英語のインテンシブ・コースです。ABC放送とケーブル・テレビのニュースを同時に並行して学び、学習量を倍にすることで英語力をさらに高め、定着させることがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握し、さらに語句の解説を英語で行いながら内容を読み進み、同時に内容についても話せるように訓練します。語句の解説はハンドアウトで配布し、簡単な復習も含めて、1回の授業で1単元を終了します。

履修上の留意点 インテンシブ・コースですから、遅刻・欠席があると単位取得に支障が出ます。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、前期試験30%、後期試験30%とします。

教科書 ABC World News 10 山根繁 /Kathleen Yamane 著 金星堂 2,000円
English for the Global Age with CNN 9 Kansai University ELT Research Group 著 朝日出版社 2,000円

履修コード	289401
科目名	英語 L L III
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい 2006年から新しく始められた TOEFL iBT テストのリスニングおよびスピーキング・セクション対策のための問題集を使い、たとえば大学での英語の講義を正しく理解したり、講義への質問や意見を適切な英語で述べる練習を行います。北米への留学のためにTOEFL受験を目指す学生だけでなく、たとえば英語による面接試験を受ける準備をしたい学生など、ハイレベルな英語の聞き取りと応答の力を身につけたい学生の受講を広く歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2~14) リスニング・セクション対策演習 (15) 前期末試験、後期：(15~28) スピーキング・セクション対策演習 (29) 総復習 (30) 後期末試験

成績評価の方法 平常点と出席状況、および定期試験の結果などから総合的に評価する。

教科書 前期：喜田慶文、『TOEFLテストリスニング問題350』改訂新版(旺文社、2006年) ¥2,600+税 ISBN978-4-01-093498-2
後期：追って指示する。

履修コード	289501
科目名	英語 L L III
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール テキストを再生、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。授業後半は、ABCorBBCニュースのビデオ orDVD、あるいは、TOEFLの試験問題を使用します。

履修上の留意点 実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と授業実習の合計点

教科書 World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

履修コード	285201
科目名	名文で味わうドイツ語
担当者名	<small>のじま としあき</small> 野島 利彰

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

ドイツの自然をテーマにいくつかの文章を読み、そこからドイツ人の自然観を探ります。文章ばかりでなく、より具体的イメージを得られるようCDブックや画像を参照します。授業終了15分前から、次回の文章の予習をしやすいよう、文法事項や単語について解説します。予習が大切です。授業に対する貢献度、例えばどれだけ予習し、どれだけ訳を発表したかが評価の重要な基準です。プリントを配布します。外国語の文章を読めるようになるには、それ以前に日本語で文章をたくさん読んでいることが決め手です。さまざまな分野について新書版で読んでおいて下さい。

履修コード	286001・286002
科目名	現代を読むドイツ語 時事ドイツ語
担当者名	<small>のじま としあき</small> 野島 利彰

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

新聞を通し、ドイツで現在何が問題になっているかを知ります。環境、麻薬、多数の外国人居住者などの問題を取り上げます。予習をしやすいよう、文法事項や単語について前もって解説します。予習をしておいてください。授業に対する貢献度、例えばどれだけ予習し、どれだけ訳を発表したかが評価の重要な基準です。プリントを配布します。日本の新聞や雑誌を読んでいることがドイツ語の内容理解を楽にします。普段から新聞や雑誌に目を通す癖をつけてください。

履修コード	286901・286902
科目名	ドイツ語スキルアップ 上級ドイツ語
担当者名	<small>まつおか すずひ</small> 松岡 晋

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

文法知識を完全なものにするために、また正しいドイツ語表現を学ぶために、ドイツ語の作文練習を行います。一年間、誠実に練習問題に取り組めば、きっとドイツ語に自信を持つことが出来るようになると思います。

(1) 授業方針の説明と受講者の文法知識のチェック (2~3) 第1課(規則動詞と sein, haben) (4~5) 第2課(冠詞・複数・人称代名詞・不規則動詞) (6~7) 第3課(冠詞類・前置詞・前置詞を伴う動詞・形容詞) (8~9) 第4課(助動詞・再帰動詞) (10~11) 第5課(分離動詞・命令形・非人称動詞) (12~13) 第6課(過去形・完了形・ zu 不定詞) (14~17) 第7課(付加語的形容詞・形容詞の名詞化・比較・分詞・従属節) (18~19) 第8課(受動態・指示代名詞) (20~22) 第9課(関係代名詞・関係副詞) (23~25) 第10課(接続法) (26~30) 配布プリントでの補助練習

語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

受講者数が少ないと予測されますので、筆記試験は行いません。出席と練習問題への取り組みの度合いによって、平常点評価を行います。

小林俊明『はじめての独作文 ―Version 2―』、同学社、1500円 ISBN 978-4-8102-0690-6
初回の授業の際に、受講者の文法理解度を確認するためのチェック・テストを行うつもりです。

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションI
担当者名	小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) LektionI 今日は私の名前は (5～8) LektionII 家族と友だち (9～12) LektionIII 食物と飲食 (13～16) LektionIV 私の家 (17～20) LektionV 私の一日 (21～24) LektionVI くつろぎの時 (25～29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書その他 Kursbuch + Arbeitsbuer "Schritte international I" (Huber)
 ビデオ、カセットを使用する。

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションII
担当者名	小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。
 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) LektionI お互いに知り合う (4～6) LektionII 電話での会話 (7～9) LektionIII コーヒーショップで (10～12) LektionIV ヨーロッパ旅行 (16～19) LektionV 買い物 (16～19) LektionVI 自由時間 (20～23) LektionVII 家族と親戚 (24～28) LektionVIII 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書その他 Neue Ausgabe Teilland 1 "Eurolingua Dutsch 1" (Cornelsen)
 ビデオを使用する。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語IA(選)
担当者名	まつおか すけち 松岡 晋

講義のねらい ドイツ語の勉強のスタートとして初級文法を一年間で学ぶことが、この授業の目的です。ドイツ語の基礎としてどうしても知っておかなければならない事項のみが記載されたコンパクトな教科書を用いますので、まずそこに記された事柄を徹底的に覚えてください。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 独和辞典の紹介、文字と発音の基礎の説明 (4～5) 第1課[人称代名詞と動詞の現在人称変化] (6～8) 第2～3課[名詞の性と格] (9～10) 第4課[定冠詞類・不定冠詞類] (11～12) 第5課[語幹の変わる動詞] (13～14) 第6課[前置詞の格支配] (15～17) 第7課[分離動詞・非分離動詞・再帰動詞] (18～20) 第8課[話法の助動詞・未来時制] (21～22) 第9課[動詞の三基本形、過去時制] (23～24) 第10課[完了時制] (25～26) 第11課[形容詞について] (27～28) 第12課[関係文] (29～30) 付録1～2[受動態、接続法]

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

その他 実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

履修コード	290201
科目名	ドイツ語I B (選)
担当者名	井村 行子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。
前期と後期の筆記試験の成績によります。
『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語II (選)
担当者名	井村 行子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。
第5課から第8課まで教科書後半をやる予定です。
前期と後期の筆記試験の成績によります。
『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	285301
科目名	名文で味わうフランス語
担当者名	東 辰之介

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

素朴で平明な文体をもつ魅力的な短編小説を教材として、現代フランス文学に親しむことを目的とします。
あらかじめ割り当てられた箇所を音読の上、日本語に訳していただきます。その後、担当者が解説します。授業スケジュールは受講者のレベルを考慮して調整しますが、以下のペースを目標とします。(1) 作品冒頭の解説/受講者への割り当て(以後適宜)(2)~(15) 作品前半の読解(p. 2-22)(16)~(30) 作品後半の読解(p. 23-43)
授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
学期末試験の結果と平常点によって評価します。平常点を重視します。
J.M.G.Le Clézio 著 中地義和編注『ダヴィッド』(朝日出版社)
1,068円+税 ISBN4-255-35073-6

履修コード	286101・286102
科目名	現代を読むフランス語 時事フランス語
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。できれば最後に、実際のフランスの新聞記事を読んで見ましょう。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
(1) 受講上の諸注意 (2)(3) 新フランスペット事情 (4)(5) 路面電車の復権 (6)(7) 名前とグローバリゼーション (8)(9) 60回目を迎えたカンヌ映画祭 (10)~(24) 夢の職業、他 (25)~(29) Le Monde 記事 (30) 復習と今後のフランス語学習について
最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
クリスチャン・ボームル、荒木善太著『ヴァリエテ・フランセーズ2008』(朝日出版社)
1,995円 ISBN978-4-255-35192-6
そのつど授業で指示します。

履修コード	287001・287002
科目名	フランス語スキルアップ 上級フランス語
担当者名	小玉 齊夫 <small>こたま なりお</small>

講義のねらい	フランス文化の実際について述べている教科書にしたがい、文法事項を再確認しながら、聞きとり、作文、ならびに会話について、可能なかぎり総合的なフランス語能力を身につけていきたいと思えます。「仏検」3級以上のちからを持つようになることが目標です。来年3月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせず、積極的に、この授業をとるようにして下さい。「短期セミナー」に参加した人たちも歓迎です。放っておくと「実力」はすぐ落ちてしまいますヨ。
講義の内容・授業スケジュール	1年間30授業時間として、以下のように進めていく予定です。(1・3)疑問表現、数字、いくつかの動詞の直説法現在、(4・6)情報を得るときの表現 近接未来と近接過去、(7・9)意見、感想の表現、中性代名詞、(10・12)提案、未来、比較級等、(13・15)庭作業について、半過去、関係代名詞、(16・18)賛成、反対等の議論、複合過去、大過去、(19・21)文化財尊重について、(22・24)条件法の例文、(25・27)性格、人柄、(28・30)直接話法と間接話法
履修上の留意点	出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようなように思えますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。
成績評価の方法 教科書 参考書等	随時提出する宿題や学年末の試験で評価します。 阿南・モラン 共著 『パシヨネマン2』(第三書房、2400円) ISBN978-4-8086-2185-8 『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションI
担当者名	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>

講義のねらい	教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。
講義の内容・授業スケジュール	あくまで全くの初心者からフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。 (1) Alphabet /興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2) ~ (4) Leçon 1 (5) ~ (7) L2 (8) ~ (10) L3 (11) ~ (13) L4 (14) ~ (16) L5 (17) ~ (19) L6 (20) ~ (22) L7 (23) ~ (25) L8 (26) ~ (28) L9 (29) ~ (30) L10
履修上の留意点	授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
成績評価の方法 教科書	成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。 高橋・ジュンタ共著 『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションII
担当者名	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>

講義のねらい	フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。 (1) 受講上の諸注意 / à l' Aéroport の1回目 (2) ~ (4) à l' Aéroport (5) ~ (7) à l' hôtel (8) ~ (10) Paris, la nuit (11) ~ (13) Au café (14) ~ (16) Le train (17) ~ (19) Le téléphone (20) ~ (22) invitations (23) ~ (25) les courses (26) ~ (28) Au Restaurant (29) ~ (30) まとめと復習
履修上の留意点	授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
成績評価の方法 教科書	試験はいたしません。通常評価で採点します。 教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	289701
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	出口 雅敏

講義のねらい フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (4) 発音の基礎 (5) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 主語人称代名詞 / 冠詞 / 疑問文・否定文・命令文 / 形容詞 / 縮約 / 動詞の現在時制など) (16) ~ (29) 文法の発展 (目的語人称代名詞 / 中性代名詞 / 比較 / 代名動詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点 (出席状況・小テストなど) によって評価します。

教科書 金子・猪口・松浦・白石・佐久間『プチボワソン』2008年刊 (白水社) 2, 300円+税

履修コード	289711
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (3) 発音の基礎 (4) ~ (15) 文法の基礎 (主語人称代名詞 / 動詞の直説法現在 / 形容詞の性・数 / 名詞 / 冠詞など) (16) ~ (29) 文法の発展 (疑問代名詞 / 縮約 / 補語人称代名詞 / 比較 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税, ISBN978-4-560-06083-4

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	290301
科目名	フランス語IB (選)
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール 既得の英語力を応用してフランス語の初歩を学びながら外国語で書かれた文章の構造を分析して読解力を高めてゆく。その作業は日本語の文章作法を見直すことにも通じてゆくと思われる。

履修上の留意点 履修した以上、できるだけ最後まで学習する意欲をもちつけて欲しい。

成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、各課ごとに行なう練習問題の結果も平常試験として評価の対象にします。

教科書 鈴木隆芳・中野茂『フランス語文法の単位』2007年刊 (駿河台出版社) 2,625円 (税込)

履修コード	290901
科目名	フランス語II (選)
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点 (1) 受講上の諸注意 (2) (3) 新フランスペット事情 (4) (5) 路面電車の復権 (6) (7) 名前とグローバリゼーション (8) (9) 60回目を迎えたカンヌ映画祭 (10) ~ (29) 夢の職業、他 (30) 復習と今後のフランス語学習について

成績評価の方法 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

教科書 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

参考書等 クリスチャン・ポームルー、荒木善太著『ヴァリエテ・フランセーズ2008』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35192-6

そのつど授業で指示します。

履修コード	285401
科目名	名文で味わう中国語
担当者名	佐藤 普美子

講義のねらい 中国は「文」の国です。「話し言葉」にはない「書き言葉」独特の魅力を中国語で書かれた文章（主に「散文」）を通して、その表現の妙を味わってみましょう。

講義の内容・授業スケジュール 文学的文章の中でも「散文」（＝エッセイ）を時代順に――①1920年代草創期の散文小品②1930年代の小品文③1940年代の時事的散文――読み進めていきます。後期は同時代の散文や評論、合わせて名詩名文といわれる優れた表現を持つ作品の朗読も練習します。

履修上の留意点 文章語ではあっても、こまめに辞書を引き音読できるように準備しておきましょう。予習は不可欠です。

成績評価の方法 出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。4分の1以上欠席した場合は成績評価の対象になりません。

教科書等 開講時、教材プリントを配布します。
毎時間辞書は必ず携帯して下さい。

履修コード	286201・286202
科目名	現代を読む中国語 時事中国語
担当者名	塩旗 伸一郎

講義のねらい 新聞記事の見出し&リードの速読と、教科書精読の二種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 「速読」篇はその場で大意を掴む練習、「精読」篇は、「字」から「詞」（＝単語）を連想し、文を構造的にとらえる訓練を積む。

履修上の留意点 精読教材は予習が不可欠。
参考記事や授業に関する情報は下記URLに掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/siop/jiji.html>

成績評価の方法 平常点

教科書等 三瀧正道・陳祖蓀『セレクト10：時事中国語2008』（朝日出版社）1600円＋税
その他、参考記事を随時ネット上で採取し、上記URLに掲示。
辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『中日辞典』（小学館）、『講談社中日辞典』を、電子辞書はキヤノン wordtank G90 を推奨する。

その他 PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

履修コード	287101・287102
科目名	中国語スキルアップ 上級中国語
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行いません。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール 中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。前期は全12課のテキストを毎回1～1.5課ずつ進め、前期の終わりから後期には、教員が用意した教材により、検定試験の具体的な対策を行いません。

履修上の留意点 4分の3以上の出席、失敗を懼れない果敢さを求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書等 楊達・南勇『リスニング中国I』（朝日出版社、2200円、CD付）。
辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。
検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションI
担当者名	陳 洲拳

講義のねらい 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話の初歩的な表現を口でスムーズに応答できるように習得する。

講義の内容・授業スケジュール 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話を行う。

履修上の留意点 学んだ課の本文の録音をよく聞き、まねをして読み、正確に言えるように練習すること。

成績評価の方法 後期のテストの成績によって評価する。

教科書等 陳洲拳他著『中国語耳留学』（隆美出版）2600円（CD2枚付き）

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションII
担当者名	<small>おがわ たかし</small> 小川 隆

講義の内容・授業スケジュール 「II」とあるが、レベルは「I」と同じ。大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。かつて中国語IA・IBを履修した、でも内容が身につけているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

成績評価の方法 成績は平常点評価。

教科書 楊凱栄『もったのぼせる中国語』(金星堂) 1900円+税 ISBN 978-4-7647-0671-2

履修コード	289801
科目名	中国語IA (選)
担当者名	<small>よしだ たていちろう</small> 吉田 建一郎

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける

講義の内容・授業スケジュール (1~6) 四声とピンイン (7~14) 代名詞、「是」と「不是」、名前・月日・曜日の言い方、疑問詞疑問文など (15~19) 形容詞述語文、比較文、「在」と「有」、「了」など (20~28) 助動詞、補語、存現文、使役文、受身文など

履修上の留意点 積極的に練習に参加し、自主的に努力する意志のある方のみ歓迎。

成績評価の方法 平常点(出席状況、積極性)と定期試験をもとに総合的に評価。

教科書 内田慶市等『中国語への道一近きより遠きへー』金星堂、2380円(税別)、978-4-7647-0659-0

履修コード	289811
科目名	中国語IA (選)
担当者名	<small>いづみ ひろし</small> 岩崎 皇

講義のねらい 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール テキスト(全12課)に沿って日常会話を練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その後はほぼ授業2回で1課進む予定です。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。

教科書 劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,200円(本体)

履修コード	290401
科目名	中国語IB (選)
担当者名	<small>らん めい</small> 蘭 明

講義のねらい 発音と聴力の基本訓練を中心とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は最初の一カ月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

履修上の留意点 暗誦と実演などがあり、積極性が求められる。

成績評価の方法 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社) 2,835円

履修コード	291001
科目名	中国語II(選)
担当者名	三田村 圭子

講義のねらい 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
②教科書の進捗にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書等 董燕・遠藤光暁著『話す中国語北京篇2』(朝日出版社)2500円

参考書等 授業開始時に説明する。

履修コード	285501
科目名	名文で味わうスペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけ講読を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。直説法過去形や接続法現在などの中級文法習得も視野に入れます。本年度はスペイン語圏を代表する名曲の歌詞を題材にしヒヤリング力と発音の向上も図ります。

講義の内容・授業スケジュール (1)スペイン語ポップスの名曲に親しむ(1-7)
(2)カリブのリズム(サルサ・メレンゲなど)を感じる(8-14)
(3)メキシコ、アンデス音楽を楽しむ(15-23)
(4)スペインの民謡(フラメンコ、クリスマスの歌など)を味わう(24-30)

履修上の留意点 初級文法修了者を対象とします。

成績評価の方法 毎回の授業参加と年二回の演習課題によります。

教科書 GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社1200円
テキストは毎回配布します。

参考書等 推薦辞書:『西和中辞典』(小学館) 『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

その他の他 講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	286301・286302
科目名	現代を読むスペイン語 時事スペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを呼んでいきます。またスペイン語を使った情報収集能力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール (1)スペイン語圏の衣食住(1-6)
(2)スペイン語圏の社会(若者像、職業、大学、冠婚葬祭など)(7-13)
(3)文化・余暇(旅行、音楽、映画、スポーツなど)(14-19)
(4)今年の重大ニュース(20-26)
(5)スペイン語の日本に関するニュース(27-30)

履修上の留意点 初級文法修了者対象。
興味関心があるテーマを一つでも見つけ、辞書をたよりに貪欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。

成績評価の方法 毎回の授業参加や演習課題(夏休み1回)そして後定期試験によります。

教科書 GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社 1200円
テキストは毎回配布します。

参考書等 推薦辞書:『西和中辞典』(小学館)
『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

その他の他 講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	287201・287202
科目名	スペイン語スキルアップ 上級スペイン語
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>

講義のねらい	このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。
講義の内容・授業スケジュール	作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。 前期（1）オリエンテーション（2～5）自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など（6～10）連結動詞の構文、など（11～15）関係節、など 後期（16～20）副詞節、など（21～25）受動構文、など（26～30）比較構文、など
履修上の留意点	「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。
成績評価の方法	前期末・学年末試験の結果（60％）と平常点（40％）を総合して評価します。
教科書	小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションI
担当者名	モラーレス、ムニョス、S.

講義のねらい	スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を覚えさせ、基礎文法の習得を促す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。
講義の内容・授業スケジュール	（1）世界の中のスペイン語・発音とアルファベット（2）自己紹介をする・動詞SERとESTAR（3）自己紹介における形容詞の使い方・所有形容詞（4）場所と位置関係の表現（5）直説法現在規則活用動詞（6～7）曜日と月・数詞（8～9）再帰動詞（10）直説法現在不規則活用動詞（11）HABERとESTAR（12）動詞GUSTAR（13）食事について（14）天候の表現（15）前期試験（16）命令法（規則活用）（17）依頼の表現（18）現在進行形（19）約束をするときの表現（20）点過去規則活用（21）買い物をする（22）目的語代名詞（23～24）身体各部の名称・病院で・動詞DO（25～26）点過去不規則活用（27）線過去（28～29）現在および過去の習慣について（30）後期試験
履修上の留意点	積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	出席（20％）、短い作文、発話（30％）、2回の口頭試験（50％）。
教科書	Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1,A1. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションII
担当者名	モラーレス、ムニョス、S.

講義のねらい	スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	（1～3）自分について話す（4から6）評伝を読む（7から9）習慣と行事（10～12）未来の事柄（13～14）過去と現在（15）前期試験（16～18）比較（19～21）広告文・求人・買い物（22～24）助言をする（25～27）自由時間・世界のお祭り（28～29）未来の計画（30）後期試験
履修上の留意点	以前に学んだ文法の復習をしっかりとっておくこと。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	出席（20％）、短い作文、発話（30％）、2回の口頭試験（50％）。
教科書	Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2,A2. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289901
科目名	スペイン語IA (選)
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一

講義のねらい 初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- I. 発音、アクセント、音節 (1~3)
 - II. 名詞の性と数、冠詞、主格人称代名詞 (4~6)
—前期中間テスト (7)—
 - III. 規則動詞、疑問文、否定文 (8~10)
 - IV. 形容詞の性と数、動詞 ser と estar (11~13)
 - V. hay と estar、指示形容詞、指示代名詞、所有形容詞 (14~15)
—前期期末テスト (16)—
 - VI. 時刻の表現、基数 (0~29)、直接目的格人称代名詞 (17~18)
 - VII. 1人称単数が不規則活用する動詞、天候の表現、疑問詞 (19~20)
—後期中間テスト (21)—
 - VIII. 語根母音変化動詞、不定詞の用法、序数 (22~24)
 - IX. gustar 型動詞、基数 (30~100) (25~26)
 - X. 曜日、月、季節 不規則活用の動詞 (27~29)
—後期期末テスト (30)—

履修上の留意点 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書 開講時、指示します。

履修コード	290501
科目名	スペイン語IB (選)
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美

講義のねらい 基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏を安心して旅行できるコミュニケーション能力習得を目指します。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)
 - (2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、 3課：大学で(ser 動詞と estar 動詞(不規則動詞1)) (2-5)
 - (3) 2課：バス停にて(直説法現在,規則動詞) 4課：どこ出身? (形容詞の性質と用法) (6-9)
 - (4) 5-7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在,不規則動詞) (10-15)
 - (5) 8、9課：歓迎会にて、メキシコにて(gustar 型動詞,目的格を使った構文) (16-19)
 - (6) 10課：海にて、太陽の下で(再帰動詞) (20-21)
 - (7) 11、12課： エレーナをを思いながら、マラガの散歩 (現在分詞、進行形、過去分詞、完了形) (22-25)
 - (8) 13課：ロベルトへのメール(比較級、最上級、命令形) (26-30)

履修上の留意点 文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法 毎回の出席、授業参加や各期末の達成度チェック(年二回)によります。
教科書 菊田/丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円
参考書等 授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。
その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	291101
科目名	スペイン語II (選)
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい スペイン語Iで修得した事項の定着をはかり、また新出事項を習得することによりスペイン語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期(教科書前半)は主にスペイン語Iの復習として、直説法現在形を用いた聞き取りや作文の練習を行う。後期(教科書後半)は同様の練習を通して過去形、未来形などを習得する。

履修上の留意点 受講者自身の参加度が重要になるので、できるかぎり欠席をせず、課題には積極的に取り組むこと。

成績評価の方法 授業への取り組み姿勢、課題の出来具合、および前期末・後期末の試験(もしくはレポート)を総合して評価する。

教科書 大森洋子他『Punto y seguido』朝日出版社
辞書も持参のこと。

履修コード	285601
科目名	名文で味わうロシア語
担当者名	廣田 英靖

講義のねらい ロシアの各メディアのホームページをパソコン画面で見渡すと、エネルギー関係を含むその豊富な天然資源のもとで、ロシアの経済発展が極めて著しいと感じられます。さらに、ロシア語で検索すると、様々な情報がリアルタイムに入手でき、日本の国土の約45倍もの広大な領土で生活するロシア人の科学、文化、芸術等の分野での思考方法、独創性、奥深さが伝わってきます。

本授業では、近年のグローバル化、多極化したIT時代の状況をも踏まえ、PCルームにてインターネットなどの機能を活用し、膨大な情報の山に秘められている、簡潔で、温かみのある短文、詩、歌などの入手手順も分かりやすく説明し、五感を生かし、きらりと光る“ロシア語”を楽しく、内容豊かに学びます。気分転換もかね、『千と千尋の神隠し』などのアニメ作品で有名な宮崎駿監督など、日本を代表する多数の映画監督も、その若き日に、感銘や影響を受けたソ連時代のロシアアニメやビデオ映画を鑑賞します。

講義の内容・授業スケジュール インターネットを活用し、発音、基本文法を復習しつつ、平明なロシア語講読を行います。
4-7月 ○基礎文法の復習と
○中級文法の導入
○ロシア語版のソフトになれるようにする
9-12月 ○インターネットを駆使し様々なロシア関係の知識を集積し深める。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 教場にてプリント配布。

履修コード	286401・286402
科目名	現代を読むロシア語 時事ロシア語
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1991年のソ連邦崩壊から15年以上が過ぎたロシアは、2000年代に入ってから、豊かな天然資源を基盤に著しい経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点 4-7月 様々なスタイルのロシア語を読む。
9-12月 現代のプーチン体制を読み解く。
各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価する。

教科書 プリントを配布する。

参考書 辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	287301・287302
科目名	ロシア語スキルアップ 上級ロシア語
担当者名	クロチコフ、Y.

講義のねらい 会話練習。
 簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
 講読した内容について自由会話を行う。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

4-7月 初歩の会話を学ぶ。
 9-12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。
 出席を重視します。
 平常点で評価します。
 教場にて指示します。プリント配布。
 学生の要望も考慮してテキストを選びます。
 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションI
担当者名	<small>あんどく</small> 安德 ニーナ

講義のねらい ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
 教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書
 参考書等

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
 安德ニーナ他著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)、「21世紀のロシア語」(大学書林)
 必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションII
担当者名	<small>あんどく</small> 安德 ニーナ

講義のねらい 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
 資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書
 その他

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
 新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)学生のレベルにあわせて、その他の資料を用います。
 講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

外国語

履修コード	290001
科目名	ロシア語ⅠA (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディーク・ランゲージを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。
 4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法 テストは行わず、平常点で評価。
教科書 『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円、プリント配布。
 ビデオ、オーディオ等を使用します。
参考書等 『露和辞典』

履修コード	290601
科目名	ロシア語ⅠB (選)
担当者名	木村 英明

講義のねらい アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的に大変混迷しましたが、今世紀に入ってからは再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、4-7月では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。9-12月ではビデオ等の映像資料も利用する予定です。

履修上の留意点 外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会えるような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。
教科書 桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。
参考書等 学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。
 辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語Ⅱ (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音・会話を学ぶ。
 9-12月 会話力を一層高める。
成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
参考書等 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	290101
科目名	朝鮮語IA (選)
担当者名	宋 美玲

講義のねらい	朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを旨とする。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,800円+税
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

履修コード	290701
科目名	朝鮮語IB (選)
担当者名	宋 美玲

講義のねらい	朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを旨とする。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(読んで書こう1)』(白帝社)2,400円+税
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

履修コード	291211
科目名	朝鮮語II (選)
担当者名	宋 美玲

講義のねらい	基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、表現力を強化していく。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。
履修上の留意点	韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての方は朝鮮語Iのほうを受講すること。
成績評価の方法	受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。
教科書	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
参考書等	放送大学教材 生越直樹・根本理恵著『韓国語II('02)』(放送大学教育振興会)2,200円+税 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円 金美仙著『韓国語用言 活用と用言』(三修社)2,500円+税

4. 保健体育科目

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋

講義のねらい ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3 時限目：打撃練習（9 I）
- 4 時限目：打撃練習（PW・9I）
- 5 時限目：打撃練習（PW・9I）
- 6 時限目：打撃練習（9I・7I）
- 7 時限目：打撃練習（7I・1W）
- 8 時限目：打撃練習（7I・1W）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説）
- 12 時限目：パッティング ラウンド（マナー、エチケットの解説）
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	<small>えぐら じゅんいち</small> 江口 淳一

保健体育

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）
担当者名	佐藤 政之

講義のねらい	健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：ジョギングのオリエンテーション 2 時限目：ウォーキング（速歩） 3 時限目：ウォーキングと初歩のジョギング 4 時限目：〃 5 時限目：ジョギング（初歩のインターバルランニング） 6 時限目：ジョギング（5分間走の連続） 7 時限目：ジョギング（10分間走の繰返し） 8 時限目：ジョギング（12分間走） 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走と距離走） 10 時限目：〃 11 時限目：〃 12 時限目：〃 13 時限目：20分間走 14 時限目：野外走、クロスカントリー 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。
成績評価の方法 その他の	評価は出席点70点、実技点30点とする。平素の授業時の努力を加味して評価する。 雨天時は走のための補強トレーニング（屋内にてナワ跳びを含む）

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	山口 良博

講義のねらい	ソフトボールを行うための基礎技術やルールを学び、身体運動の楽しさを感じつつ健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深める。 また、基本的に毎時間ゲームを行うことにより、チームプレーを通して協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、生涯スポーツについても理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2 時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッチング、ゲーム 3 時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッチング、ゲーム 4 時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム 5 時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム 6 時限目：総合練習、ゲーム 7 時限目：総合練習、ゲーム 8 時限目：総合練習、ゲーム 9 時限目：総合練習、ゲーム 10 時限目：ゲーム（リーグ戦） 11 時限目：ゲーム（リーグ戦） 12 時限目：ゲーム（リーグ戦） 13 時限目：ゲーム（リーグ戦） 14 時限目：ゲーム（リーグ戦） 15 時限目：ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（スパイクは不可）の着用を厳守すること。用具は貸与する。
成績評価の方法 その他の	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。 雨天時等の場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5～7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2 kgup、女子は1 kg up
- 9～11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2 kgup、女子は1 kg up
- 13・14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。
出席点70%、実技点30%とする。実技点はトレーニング内容（毎時間記録する）。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他の

ストレッチ体操の各種、器具の知らないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	田中 佳孝 <small>たなか よしたか</small>

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス・ダブルスのゲームを行い卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だといわれるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドショート・ロングの打ち方、シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ、シングルスゲーム
- 9 時限目：ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム
- 10時限目
～：ダブルスゲーム
- 14時限目
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。上履きのない場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、授業態度を加味して評価する。特別な実技テストは行わない。

その他の

30分以上の遅刻は認めない。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平

講義のねらい	室内で行なわれるボールゲーム等を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バドミントンを行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。 1 時限目はオリエンテーションを行う。 2～5 時限目 バスケットボール 6～9 時限目 バレーボール 10～13時限目 バドミントン 14・15時限目 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。
成績評価の方法	出席を重視し、評点の80%とします。 出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	<small>みつなが ましひろ</small> 光永 吉輝

講義のねらい	トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。 近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。
講義の内容・授業スケジュール	初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。 ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。 授業計画 1 時限目：オリエンテーション、体力測定 2 時限目：カイザーカムII最大筋力測定 3 時限目：" 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう 5 時限目：トレーニング 6 時限目：トレーニング 7 時限目：トレーニング 8 時限目：負荷を男子は 2kg up、女子は 1kg up 9 時限目：トレーニング 10 時限目：トレーニング 11 時限目：トレーニング 12 時限目：負荷を男子は 2kg up、女子は 1kg up 13 時限目：トレーニング 14 時限目：トレーニング 15 時限目：体力測定、まとめ
履修上の留意点	服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。
成績評価の方法	出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。
その他の	ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	<small>えぐち じゅんいち</small> 江口 淳一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他の

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	<small>たかはし しゅんすけ</small> 高橋 俊介

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	佐藤 政之

講義のねらい	ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。 生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：グリップ、アドレス、スイング 3時限目：打撃練習（7・9アイアン） 4時限目：＼（P・7・9アイアン） 5時限目：＼（アプローチ） 6時限目：＼（アプローチショット） 7時限目：＼（5アイアン） 8時限目：＼（W1・W3） 9時限目：＼（W1・W3） 10時限目：＼（パッティング）・ルールの解説 11時限目：＼（パッティング）・ラウンドにおけるマナー解説 12時限目：ラウンド（模擬コース） 13時限目：実技テスト（7・9アイアン） 14時限目：実技テスト（W1・W3） 15時限目：まとめ（スイング理論とルールの確認）
履修上の留意点	1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。
成績評価の方法	授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。
その他	雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	秋田 浩一

講義のねらい	サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明 2時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー） 3時限目：インサイドキック、練習ゲーム 4時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1 5時限目：インステップキック、リーグ戦2 6時限目：インフロントキック、リーグ戦3 7時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4 8時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5 9～12時限目：基礎技術の応用練習 リーグ戦6～9 13時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦 14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。
その他	雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦（注）運動服装は雨天でも持参すること。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	^{まきの しげる} 牧野 茂

講義のねらい バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明（バスケットボール）

2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け

3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）

4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）

5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）

6時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）

7時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）

8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）

9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）（バドミントン）

10時限目：ラケットイング、ストロークの基本技術、ドライブ

11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム

12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム

13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム

14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム

15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	^{たておか よしあき} 館岡 儀秋

講義のねらい ソフトボールのルール及び技術を習得し、ゲームの基本的能力を身につける。ゲーム中心の授業になるが、協力して勝利を目指すチームプレーの楽しさを体験してほしい。

チームの編成は、4試合毎に再編成する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション

2時限目：基本練習（キャッチボール・打撃練習・ルール）

3時限目：ゲーム

4時限目：ゲーム

5時限目：ゲーム

6時限目：守備練習・打撃練習

7時限目：ゲーム

8時限目：ゲーム

9時限目：ゲーム

10時限目：守備練習・打撃練習（実技小テスト）

11時限目：ゲーム

12時限目：ゲーム

13時限目：ゲーム

14時限目：守備練習・打撃練習（実技小テスト）

15時限目：ゲーム

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。

成績評価の方法 授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他 雨天及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズは必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。
雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	佐藤 政之

講義のねらい	ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
講義の内容・授業スケジュール	生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。 1時限目：オリエンテーション 2時限目：グリップ、アドレス、スイング 3時限目：打撃練習（7・9アイアン） 4時限目：＼（P・7・9アイアン） 5時限目：＼（アプローチ） 6時限目：＼（アプローチショット） 7時限目：＼（5アイアン） 8時限目：＼（W1・W3） 9時限目：＼（W1・W3） 10時限目：＼（パッティング）・ルールの解説 11時限目：＼（パッティング）・ラウンドにおけるマナー解説 12時限目：ラウンド（模擬コース） 13時限目：実技テスト（7・9アイアン） 14時限目：実技テスト（W1・W3） 15時限目：まとめ（スイング理論とルールの確認）
履修上の留意点	1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。
成績評価の方法	授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。
その他	雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	山口 良博

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：ダブルスゲーム 15時限目：ダブルスゲーム
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。ラケットは貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	あきた せい 秋田 浩一

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目： ”
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5～7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9～11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13・14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。
出席点70%、実技点30%とする。実技点はトレーニング内容（毎時間記録する）。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他の

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	牧野 茂 <small>まさの しげる</small>

講義のねらい バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）（バドミントン）
- 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

**履修上の留意点
成績評価の方法**

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は素素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	館岡 儀秋 <small>たておか よしあき</small>

講義のねらい ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3時限目：打撃練習（9I）
- 4時限目：打撃練習（PW・9I）
- 5時限目：打撃練習（9W・9I）
- 6時限目：打撃練習（9I・7I）
- 7時限目：打撃練習（7I・1W）
- 8時限目：打撃練習（7I・1W）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説）
- 12時限目：パッティングラウンド（マナー、エチケットの解説）
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他の

雨天及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	光永 吉輝

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目："
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1／3～2／3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。
出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他の

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 俊介 <small>たかはし しゅんすけ</small>

講義のねらい 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
 - 2時限目：自然体での上段直突、中断直突、上段揚受、中段外受
 - 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
 - 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
 - 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
 - 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
 - 7時限目：総合的に反復して練習
 - 8時限目：総合的に反復して練習
 - 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
 - 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
 - 11時限目：総合的に反復して練習
 - 12時限目：総合的に反復して練習
 - 13時限目：総合的に反復して練習
 - 14時限目：総合的に反復して練習
 - 15時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。
成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	田中 佳孝 <small>たなか よしたか</small>

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス・ダブルスのゲームを行い卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だといわれるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
 - 2時限目：ラケットティング、フォアハンドの基本形
 - 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
 - 4時限目：フォアハンドショート・ロングの打ち方、シングルスゲーム
 - 5時限目：バックハンドショート・ロングの打ち方、バックハンドゲーム
 - 6時限目：カットの打ち方、カット&カット、シングルスゲーム
 - 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
 - 8時限目：スマッシュ、シングルスゲーム
 - 9時限目：ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム
 - 10時限目
～ : ダブルスゲーム
 - 14時限目
 - 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。上履きのない場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、授業態度を加味して評価する。特別な実技テストは行わない。

その他 30分以上の遅刻は認めない。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平

講義のねらい	ソフトボールを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を習得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：キャッチボール、トスバッティング、ゲーム 3時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム 4時限目～：総合練習、リーグ戦
履修上の留意点	遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、シューズで受講してください。
成績評価の方法	出席を重視し、評点の80%とします。 出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	195901・196001・196101・196201
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	<small>みゆき はるみ</small> 三幣 晴三

講義のねらい 室内で行なう球技(バドミントン、ミニサッカー、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

【前期】

- 1時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、ダブルス)
- 4時限目：〃(ダブルス)
- 5時限目：〃(〃)
- 6時限目：〃(〃)
- 7時限目：〃(〃)
- 8時限目：〃(〃)
- 9時限目：〃(シングルの基本)
- 10時限目：〃(シングルスゲーム)
- 11時限目：〃(ルール解説、シングルスゲーム)
- 12時限目：〃(シングルス)
- 13時限目：ミニサッカー
- 14時限目：ミニサッカー
- 15時限目：〃(まとめと評価)

【後期】

- 1時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2時限目：バドミントンゲーム
- 3時限目：〃(リーグ戦)
- 4時限目：〃(〃)
- 5時限目：〃(〃)
- 6時限目：〃(トーナメント)
- 7時限目：〃(〃)
- 8時限目：〃(〃)
- 9時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目：〃(ゲーム)
- 13時限目：ミニサッカー
- 14時限目：〃(ゲーム)
- 15時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他の

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

履修コード	196301
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	村松 誠

講義のねらい 多様な実技種目の中から、体力・技術レベルにあった種目を選び実施することによって、運動の楽しみを感じ取ったり、好ましい運動習慣を身に着けることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1時限目 オリエンテーション

- 2時限目 ゲーム
- 3時限目 ゲーム
- 4時限目 球技・ゲーム
- 5時限目 球技・ゲーム
- 6時限目 球技・ゲーム
- 7時限目 球技・ゲーム
- 8時限目 球技・ゲーム
- 9時限目 球技・ゲーム
- 10時限目 球技・ゲーム
- 11時限目 球技・ゲーム
- 12時限目 球技・ゲーム
- 13時限目 球技・ゲーム
- 14時限目 球技・ゲーム
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点 一般的な体育用の服装を用意すること。体育館用シューズを用意すること。
多様な種目の中から、希望により実施をするが、受講条件によっては実施できないものあることを承知すること。

成績評価の方法その他 出席点を最重視する。これに、受講態度・協力実行などを加味して評価する。
曜日・時限によって定員がちがうので注意『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール） 健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）
担当者名	高橋 俊介

保健体育

講義のねらい 補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目
 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
 午後：同上

第2日目
 午前：ゲーム
 午後：〃

第3日目
 午前：〃
 午後：審判法・ゲーム

第4日目
 午前：〃
 午後：〃

第5日目
 午前：〃
 午後：〃

履修上の留意点 一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法その他 出席を重視し、総合的に評価する。

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）
 （後期）1月5日（月）～1月9日（金）
 7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
 該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（トレーニング&太極拳） 健康・スポーツ実習（集中授業）（トレーニング&太極拳）
担当者名	<small>みつなが よしてる</small> 光永 吉輝

講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組（24式）あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2～4式となっているが、ここでは、第一組から第四組（11式）までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組（3式）
- 2日目
午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組（3式）
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組（2式）
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組（3式）、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合（1～11式）、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他の

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～17日（木）、（後期）1月5日（月）～9日（金）
7月13日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）
担当者名	<small>やまくち よしひろ</small> 山口 良博

講義のねらい 室内で行われるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール バスケットボール、バレーボール、フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は、主にゲームを通じて技術の習得、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点 スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。

成績評価の方法 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他 再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）

（後期）1月5日（月）～1月9日（金）

7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球） 健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11～14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他 30分以上の遅刻は認めない。
再クラス 集中授業コース実施について
（1）実施期間：（前期）7月13日（日）～17日（木）、（後期）1月5日（月）～9日（金）7月13日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
（3）実施場所：玉川校舎
（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開設科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠

講義のねらい バスケットボール、バレーボール、バトミントン教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ：オリエンテーション、授業内容の説明
- （バスケットボール）
- ：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- ：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- ：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- ：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- ：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- ：ゲーム（2次リーグ）
- （バレーボール）
- ：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- ：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- ：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- ：ゲーム（トーナメント）
- （バトミントン）
- ：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- ：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- ：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- ：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法
その他の

出席を70%で評価する。残りは30%は、受講態度、ゲーム成果、貢献度を加味して評価する。
再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- （3）実施場所：玉川校舎
- （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳） 健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳）
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスをとり、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
その他

- 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
出席率70%、総合評価30%で行う。
- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川校舎
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン） 健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本（回内・回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ）
コート半面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）
サービス、コート半面のシングルス・ゲーム
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）
サービス、シングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット）
シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）
サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ）
総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点 ラケットは貸与する。
服装は、一般的な運動服装とする。
体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。

その他 再クラス 集中授業コース実施について

（1）実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

（3）実施場所：玉川校舎 体育館およびグラウンド

（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。

（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球） 健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平

講義のねらい	1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。 技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム 2日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
履修上の留意点 成績評価の方法	スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。 出席を重視し、評点の80%とします。 出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。
その他	再クラス 集中授業コース実施について (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木） （後期）1月5日（月）～1月9日（金） 7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 (3) 実施場所：玉川校舎 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。 該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196501・196502・196503・196504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196601・196602・196603・196604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

- 講義のねらい** 半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
 - 3 時限目～4 時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
 - 5 時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
 - 6 時限目～8 時限目：総合練習、ゲーム
 - 9 時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 - 10 時限目～12 時限目：総合練習、ゲーム
 - 13 時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 - 14 時限目～15 時限目：総合練習、ゲーム
- 履修上の留意点**
1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196701・196702・196703・196704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

- 講義のねらい** 半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
 - 3 時限目～4 時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
 - 5 時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
 - 6 時限目～8 時限目：総合練習、ゲーム
 - 9 時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 - 10 時限目～12 時限目：総合練習、ゲーム
 - 13 時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 - 14 時限目～15 時限目：総合練習、ゲーム
- 履修上の留意点**
1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196801・196802・196803・196804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196901・196902・196903・196904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197001・197002・197003・197004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197101・197102・197103・197104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい	ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	講義の内容・授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム 10時限目～14時限目：ゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	(1) 定員：35名 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。 (3) 教場：体育館
成績評価の方法	評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197201・197202・197203・197204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
講義の内容・授業スケジュール
1時限目：オリエンテーション
2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
10時限目～14時限目：ゲーム
15時限目：まとめ

履修上の留意点
(1) 定員：35名
(2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
(3) 教場：体育館

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197301・197302・197303・197304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール
1時限目：オリエンテーション
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
10時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
11時限目：総合
12時限目：総合
13時限目：総合
14時限目：総合
15時限目：テスト

履修上の留意点
1) 定員：45名
2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
3) 教場：体育館

成績評価の方法 出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197401・197402・197403・197404		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳）
担当者名	おおいし たけし 大石 武士		

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet ・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197501・197502・197503・197504		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197601・197602・197603・197604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（フットサル）
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197701・197702・197703・197704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（フットサル）
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
- 7 時限目：ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受けるためには2/3の出席日数が必要。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197801・197802・197803・197804		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）
担当者名	田中 佳孝		

- 講義のねらい** 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
 - 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
 - 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
 - 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
 - 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
 - 6時限目：ゲーム
 - 7時限目：ゲーム
 - 8時限目～14時限目：ゲーム
 - 15時限目：まとめと評価
- 履修上の留意点** 実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受ける為には2/3の出席日数が必要。
- その他** 定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197901・197902・197903・197904		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ダブルダッチ）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ダブルダッチ）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹		

- 講義のねらい** ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
 - 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
 - 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
 - 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 - 6時限目：5回跳び・10回跳び
 - 7時限目：ターナーの回転・スピード
 - 8時限目：ビデオ学習
 - 9時限目：連続跳び
 - 10時限目：応用
 - 11時限目：応用
 - 13時限目：応用
 - 14時限目：応用
 - 15時限目：応用
- 履修上の留意点** 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。
- 成績評価の方法** 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	198001・198002・198003・198004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
 - 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
 - 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
 - 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 - 6時限目：5回跳び・10回跳び
 - 7時限目：ターナーの回転・スピード
 - 8時限目：ビデオ学習
 - 9時限目：連続跳び
 - 10時限目：応用
 - 11時限目：応用
 - 13時限目：応用
 - 14時限目：応用
 - 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	198101・198102・198103・198104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（卓球）
担当者名	村松 誠

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
 - 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
 - 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
 - 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
 - 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
 - 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
 - 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
 - 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
 - 9時限目：シングルスゲーム
 - 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
 - 11時限目：ダブルスゲーム
 - 12時限目：ダブルスゲーム
 - 13時限目：ダブルスゲーム
 - 14時限目：ダブルスゲーム
 - 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198201・198202・198203・198204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(卓球)
担当者名	^{むらまつ まこと} 村松 誠

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：ダブルスゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198301・198302・198303・198304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	^{すえつぐ みさ} 末次 美樹

講義のねらい	室内で行う球技(バスケットボール・ドッジボール)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1時間目：オリエンテーション 2時間目：<バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術 3時間目：ハーフコート3対3、ゲーム 4時間目：ゲーム(リーグ戦) 5時間目：ゲーム(リーグ戦) 6時間目：ゲーム(リーグ戦) 7時間目：ゲーム(リーグ戦) 8時間目<ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術 9時間目：ボールコントロール、ゲーム 10時間目：ゲーム(リーグ戦) 11時間目：ゲーム(リーグ戦) 12時間目：ゲーム(リーグ戦) 13時間目：ゲーム(リーグ戦) 14時間目：ゲーム(リーグ戦) 15時間目：まとめと評価
履修上の留意点	実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198401・198402・198403・198404
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）
担当者名	末次 美樹

講義のねらい	室内で行う球技（バスケットボール・ドッジボール）を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時間目：オリエンテーション 2時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術 3時間目：ハーフコート3対3、ゲーム 4時間目：ゲーム（リーグ戦） 5時間目：ゲーム（リーグ戦） 6時間目：ゲーム（リーグ戦） 7時間目：ゲーム（リーグ戦） 8時間目＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術 9時間目：ボールコントロール、ゲーム 10時間目：ゲーム（リーグ戦） 11時間目：ゲーム（リーグ戦） 12時間目：ゲーム（リーグ戦） 13時間目：ゲーム（リーグ戦） 14時間目：ゲーム（リーグ戦） 15時間目：まとめと評価
履修上の留意点	実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198701・198702・198703・198704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（バスケットボール）
担当者名	牧野 茂

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦） 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦） 7時限目：マンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦） 8時限目：マンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦） 9時限目：マンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦） 10時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦） 11時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦） 12時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦） 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	（1）定員は50名とする。 （2）駅沢キャンパス第1体育館で実施する。 （3）服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(バスケットボール)
担当者名	牧野 茂 <small>まきの しげる</small>

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駅沢キャンパス第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	牧野 茂 <small>まきの しげる</small>

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駅沢キャンパス本校第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199001・199002・199003・199004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	牧野 ^{よきの} 茂 ^{しげる}

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
13時限目：総合練習、ゲーム
14時限目：総合練習、ゲーム
15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

(1) 定員は50名とする。
(2) 駅次キャンパス本校第1体育館で実施する。
(3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（ゴルフ）
担当者名	<small>みづなが まさてる</small> 光永 吉輝 他

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月5日(土) 12:20~12:40 2研-209教場

2回目 4月12日(土) 12:20~12:40 2研-209教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月14日(月) 13:00~16:10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月8日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎

実技: 13:00~17:30 打撃練習

※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。

2日目 9月9日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他

3日目 9月10日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II

4日目 9月11日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月12日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習I（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成20年9月8日(玉川校舎)・9月9日~12日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロウドインターナショナルホテル成田

286-0121 千葉県成田駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース: ダイナミックゴルフ成田

289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集解散:

(1) 集合 9月8日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月9日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月12日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成20年5月19日(月)~5月31日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法
その他

出席状況、ゴルフの技術的向上、受講態度を総合的に判断して評価する。

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。

なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード）
担当者名	下谷内 ^{しもやち かつし} 勝利 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月5日（土）12：20～12：40 2研一209教場

2回目 4月12日（土）12：20～12：40 2研一209教場

※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業 1月9日（金）13：00～16：00 2研一209教場「スノースポーツの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 1月29日（木）

午後、現地ホテルロビー集合

午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」

2日目 1月30日（金）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」

3日目 1月31日（土）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」

4日目 2月1日（日）

午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」

5日目 2月2日（月）

午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

1) 実習日程：平成20年1月29日（木）～2月2日（月）の4泊5日（現地集合解散）

2) 場 所：実習 安比高原スキー場

宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話（0195）73-5019

3) 定 員：スキー 20名

スノーボード 30名（但し、初心者に限る）

4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。

証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書を保健体育部（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

納入期間：平成20年5月19日（月）～5月31日（土）

5) 用 具：用具は現地レンタル可能（有料）。

6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階保健体育部資料室）に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

履修コード	199501・199502
科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）
担当者名	<small>えぐち じゆんいち</small> 江口 淳一

保健体育

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）

3日目午後： “ ” （戦術と応用）

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

(1) 履修者の技術レベルは問わない。

(2) 服装は一般的な運動服装とする。

(3) テニスシューズを必ず用意すること。

(4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

その他の

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

(1) 実施期間：7月13日（日）～17日（木）

7月13日更衣の上、午前10時にテニスコート集合

(2) 実施時間：午前10：00～12：00

午後13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

(4) 定員：40名とする。

(5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』

は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限（前期）

履修コード	199701・199702
科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい	<p>ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。</p> <p>本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。</p> <p>生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習） 講義：スイングの基本</p> <p>2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習） 講義：マナーとエチケット</p> <p>3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習） 講義：ゴルフルール</p> <p>4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習） 講義：ゴルフコースとラウンドについて</p> <p>5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）</p>
履修上の留意点	<p>(1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）</p> <p>(2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。</p>
成績評価の方法 その他	<p>出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。</p> <p>(1) 実施期間：1月5日（月）～9日（金） 1月7日午前10時に玉川校舎集合</p> <p>(2) 実施時間：10：00～12：00 13：00～15：30</p> <p>(3) 実施場所：玉川校舎グラウンド</p> <p>(4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。</p> <p>(5) 定員：40名</p> <p>(6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。</p>

履修コード	200201
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	鈴木 淳平

講義のねらい	<p>健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション</p> <p>2時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。</p> <p>3時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について</p> <p>4時限目：スポーツと体力の関係について</p> <p>5時限目：運動能力発達の原理</p> <p>6時限目：運動能力の領域</p> <p>7時限目：運動能力の構造</p> <p>8時限目：運動能力とスポーツ技能の分析</p> <p>9時限目：総合力の定義と要素</p> <p>10時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について</p> <p>11時限目：トレーニング理論全般</p> <p>12時限目：〃</p> <p>13時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際</p> <p>14時限目：〃</p> <p>15時限目：まとめ</p>
成績評価の方法	<p>出席を重視し、評点の80%とします。遅刻や欠席の減点法で計算します。レポート提出は必須とし、評点の20%とします。</p>

履修コード	200401
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝

講義のねらい	煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養（睡眠）と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養（睡眠）と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。
履修上の留意点	授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。 30分以上の遅刻は認めない。
成績評価の方法	2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。
教科書 参考書等	指定なし。 『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻（大修館） 『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』 『食事療法』／『新健康になるシリーズ』（女子栄養大学）用は厳禁。違反者は不合格とする。

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい	生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：講義内容の説明 2時限目：体育の概念 3時限目：身体運動と体育運動 4時限目：健康の概念、身体運動の効果 5時限目：人体構造の概略、エイズ問題 6時限目：救急処置の目的、一次救命処置 7時限目：一次救命処置 8時限目：一次救命処置実習 9時限目：出血多量、ショック 10時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷 11時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害 12時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷 13時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚 14時限目：体力について 15時限目：テスト
履修上の留意点	日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。
成績評価の方法	出席・実習および学期末試験で評価する。
参考書等	1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き』（小学館）700円
その他	救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	三幣 晴三 <small>みねさ はるみ</small>

講義のねらい 健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

毎時限配布するプリントを重視して進める。
出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。
特に指定するものはない。

- 『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
- 『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

履修コード	201601
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	村松 誠 <small>むらまつ まこと</small>

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

**成績評価の方法
教科書**

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	201801
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	<small>まさの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい 現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説
- 2時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3時限目：健康とは何か（2） 身体的健康、精神的健康
- 4時限目：健康とは何か（3） 社会的健康
- 5時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6時限目：健康の成立条件
- 7時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9時限目：WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養
- 11時限目：日常生活と健康（2） 休養・睡眠
- 12時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法 数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等 「健康科学ー知っておきたい予防医学ー」（丸善）
「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）
他は、講義のなかで紹介する。

履修コード	202001
科目名	余暇学
担当者名	<small>あきた こういち</small> 秋田 浩一

講義のねらい 世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3時限目：オランダサッカーの現状
- 4時限目： " の考え方
- 5時限目：イタリアサッカーの現状
- 6時限目： " の将来
- 7時限目：ドイツサッカーの現状
- 8時限目： " の将来
- 9時限目：イングランドサッカーについて
- 10時限目：フランスサッカーについて
- 11時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13時限目：オランダサッカーの実習
- 14時限目：イタリア "
- 15時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点 講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法 出席点30%、平素の学習態度と授業内の小レポート、小テストの評価30%、課題のレポート提出が40%で成績評価する。

参考書等 不要。

履修コード	202201
科目名	余暇学
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい

人間にとっての余暇の意義を特にスポーツと健康の両面から説明かす。特にスポーツについては世界と日本の現状を説明しながらそのときどきの話題に触れて考える。健康については、実技を交えて説明し、どうしたら健康な生き方ができるかを考える。教科書はないが授業で配布するプリントを中心にして授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1時限：オリエンテーション<授業の進め方>
- 第2時限：スポーツの歴史と現在
- 第3時限：人間とスポーツ<ホモ・ルーデンス>
- 第4時限：＼
- 第5時限：ワールドスポーツの現状<ワールドカップ・オリンピック>
- 第6時限：＼
- 第7時限：日本のスポーツの現状
- 第8時限：＼
- 第9時限：My Exercise のすすめ
- 第10時限：My Exercise の実践<実技>
- 第11時限：体操競技の歴史と現状
- 第12時限：＼
- 第13時限：駒澤大学スポーツの歴史と現状
- 第14時限：人生と健康
- 第15時限：総合テスト

履修上の留意点

毎時限出席は取るが、それだけでは単位認定はできない。ときどき実施する小テストと最後に行う総合テストの成績も重要である。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席は毎時限とるが、出席と小テスト・総合テストを総合的に評価して単位認定を行う。
特になし
特になし

Ⅱ. 専門教育科目

経 濟 学 科

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス A

商 学 科

現 代 応 用 経 済 学 科

履修コード	089201
科目名	経済学概説
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい この科目は、経済学の楽しさと奥深さを紹介することがねらいです。新しく経済学部に入学者が、これから経済学を学習し研究するためのイントロダクションとなる話を、年間をとおしておこないます。ここで私がなにより大切にしたいと考えていることは、まだ入学して間もない諸君が大いに抱えているはずの勉学への期待を裏切らないで、むしろ膨らませるようなもっていくことです。そのために、この講義では、受講者となる諸君の期待や要望に応じて、きわめて柔軟にプログラムを組んでいくつもりです。以下に掲げた講義の内容も、大まかな目標としてのプログラムにすぎません。

講義の内容・授業スケジュール <導入の話題> ◇最近の経済をめぐる話題から（内容未定）
<世界各地の経済を題材として：経済史と経済政策論へのイントロダクション> ◇ヨーロッパ経済の歴史と現在、◇アメリカ経済の特質、◇日本経済のおいたちと現状、◇アジア経済の発展と展望、◇旧ソ連と東欧の実験は何だったのか、◇地球と経済
<経済学派や経済学者を題材として：経済学史と理論経済学へのイントロダクション> ◇古典学派の人びと、◇歴史学派とその後継者たち、◇マルクス学派、◇近代経済学の起源と諸潮流、◇ケインズと20世紀の経済、◇現下の経済と新古典学派

履修上の留意点 <むすびの話題> ◇新しい経済学派の諸見解と21世紀の経済
前期の課題は、経済史、経済事情、経済政策のイントロダクションです。
世界各地の今日の経済事情を概観しつつ、そのような経済事情を生んできた歴史的背景を考え、あわせてそれぞれの地域での経済政策の実態をごく簡単な紹介をします。「現代経済事情――各国めぐりの旅」という気分で、最新の情報をもとに、受講者のみなさんを経済の世界に案内します。しめくりは、環境問題のような、今日さけておれない諸問題にまで話をすすめます。

後期の課題は、経済学史と経済理論のイントロダクションです。
過去の著名な経済学者や経済学派のおかれた環境やその人（たち）自身が格闘した難題などの紹介をとおして、今日われわれが学ぶ経済学の生いたちをたどってみます。あわせて、それぞれの学者や学派の理論のアウトラインや特色をも概観します。著名な経済学者たちが、どのような人生をすごしながら、それぞれ歴史にのこる理論をつくっていったのか、この講義の聞きどころとなるでしょう。最終回では、今日の最新鋭の経済学の潮流や苦難にも言及します。

成績評価の方法 経済学の面白さが理解できた受講者が単位をとることができるような評価をします。したがって、安直に単位だけをねらおうとする学生には、容赦のない対応をとることになります。この講義の性格上、一発の年度末試験で成績をつけることは、諸君の強い希望がないかぎり実施しません。平常点重視のためまえから、随時、学んだことやその感想を書いもらい、その累積点を年間の評価とするつもりです。

教科書 最新のニュースや膨大な情報、そして歴史的事実こそ、この講義のテキストです。したがって、この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。たくさん出版されている書物や雑誌、テレビ番組のなかに勉学に役立つものが見つかれば、その都度紹介します。

履修コード	089301
科目名	経済学概説
担当者名	<small>まつい りゅうへい</small> 松井 柳平

講義のねらい 経済学部経済学科に入学した学生に、経済学という学問の基本的な考え方について理解してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール 基礎的概念の把握、消費者の行動、企業の行動、市場制度と資源配分、部分均衡分析、不完全競争、不確実性と不完全情報、所得分配、その他

履修上の留意点 欠席すると授業についていけなくなるので、毎回出席すること。
講義プリントを、YeStudy を通じて配布する場合があるので、事前にプリントアウトして授業に臨むこと。

成績評価の方法 出席状況と試験（小テストも含む）の成績で評価する。
遅刻は3回で1回の欠席と扱う。早退も3回で1回の欠席と扱う。

教科書 木暮太一『ミクロ経済学の楽論』遊タイム出版、
参考書等 木暮太一『落ちこぼれでもわかるミクロ経済学の本』マトマ商事

履修コード	089401
科目名	経済学概説
担当者名	福原 好喜

講義のねらい 経済現象とそれを分析した経済学に興味を持ってもらうことを目指す。経済は「経国済民」（国ヲ経メ民ヲ済フ）である。経済を学ぶ心を学生に身につけてもらうことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 日本経済の諸問題をゼミナール型式で討論したテキストを使い、教師が論点整理してゆく。大教室での授業が予想されるが、私語、居眠り厳禁。

成績評価の方法 出席点及び試験の成績で行なう。出席不良者は失格にすることがある。

教科書 福原著『総理に忠告す一日本経済危機水域に入れり一』、『総理お間違えではありませんか？銀八教授内閣への直言』、『今経済学が解かなければならない問題』（『Worm Heart』所収）、『熱血教授心の教育』等。

参考書等 参考文献はその都度指示。必要資料は授業時配布する。

その他 欠席すると授業のつながりが分からなくなる。要注意。受講態度不良の学生はレッドカード。

履修コード	089511・089512
科目名	経済学基礎 経済学概説
担当者名	森田 成也

講義のねらい はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か 4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義

<後半>

17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

履修上の留意点 板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

成績評価の方法 夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート…夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験…1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書 森田成也『資本と剰余価値の理論（仮題）』2008年刊（作品社）、2600円（予価）

参考書等 松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊（青木書店）、2625円

履修コード	089701・089702
科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論IA・資本の原理
担当者名	有井 行夫

講義のねらい 経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいますが、資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論Aは、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論Bは、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる経済理論Aの発展コースです。また、ミクロ経済学、マクロ経済学は、おなじく現代経済システムの構造を原的に考察しますが、経済理論A、Bとはアプローチの方法がちがいます。

【前期】(第1週-第4週) 第1章=経済学の対象と方法。(第5週-第13週) 第2章=商品と貨幣。
【後期】(第13週-第22週) 第3章=資本と剰余価値。(第23週-第26週) 第4章=資本の蓄積。(第27週) 第5章=結論。

講義の内容・授業スケジュール

**履修上の留意点
成績評価の方法**

骨格的内容の理解に時間を集中します。
授業中にアンダーラインを指示した箇所から出題した実力試験で7割、秋のレポートで3割の評価をします。

教科書

大谷禎之介『図解社会経済学』(桜井書店) 3,000円

履修コード	089801・089802
科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論IA・資本の原理
担当者名	大石 雄爾

講義のねらい 私たちが生活している資本主義社会は、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産・分配・消費のあり方を規定している社会です。現代社会はますます複雑なものとなっているため、まず資本主義経済の一般的な仕組みや法則についてきちんと理解することが必要となります。この「経済理論A」では、科学的方法に基づいて打ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義していきます。

この講義では、経済理論と現実の経済問題との関連についてもできる限り触れてみたいと考えています。受講生の皆さんも、新聞・テレビ・ラジオなどの報道に注意を向け、世界や日本国内で生じている政治・経済問題について考えるよう心がけていただきたい。

この講義は次のようなテーマに沿って進められます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 経済学を始めるにあたって
- 2～3 経済学とはどういう学問か
- 4～5 商品の2要因と商品生産社会
- 6～8 貨幣の本質と諸機能
- 9～10 資本の一般的定式
- 11～12 資本の生産過程
- 13～14 賃金とは何か
- 15～16 資本の蓄積過程
- 17～18 資本の循環と回転
- 19～20 社会的総資本の再生産と流通
- 21～22 利潤と利潤率
- 23～24 平均利潤率と生産価格
- 25 資本主義経済の長期的傾向

履修上の留意点

経済理論A(資本の原理)は体系的なまとまりを持っているため、講義の全体を通して聞くことにより、初めてよく理解できるという性質の科目です。授業には、年間をとおして毎回出席することを勧めます。

成績評価の方法

授業時間中に小レポートを書き、提出することを求めることがあります。成績は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案して評価します。

**教科書
参考書等**

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』(青木書店) 2,000円

大石雄爾著『商品の価値と価格』(創風社) 3,600円

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』(大月書店) 3,400円

履修コード	090101・090102
科目名	ミクロ経済学 経済理論II・ミクロ経済学
担当者名	はたなか たかし 畠中 貴

講義のねらい

ミクロ経済学は様々な経済分析の基礎となる理論の一つである。この講義では、ミクロ経済学の基礎的な内容を一通り説明する。数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学（関数、微分）の説明も併せて行う。

この講義の目標とするところは、次の二点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 筋道立ててものを考える力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

前期は需要曲線、供給曲線、完全競争市場、集合、関数について説明する。
後期は需要曲線の背後にある家計の行動、供給曲線の背後にある企業の行動、市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース（市場の失敗）、微分について説明する。

履修上の留意点

経済学の説明も数学の説明もすべて一から行うので、この講義を受講するにあたって前提とする知識は何もない。高校時代にあまり数学の勉強をしてこなかった人も積極的に受講して欲しい。ただし、講義の内容は抽象的で頭に入りにくい上、一旦理解できたと思った内容も日が経つと忘れてしまうのが通常であるから、一年を通して根気よく予習・復習を継続する必要がある。テキストは熟読しなくてはならない。前に説明したことの上に新しい内容を組み立てていくから、前にやったことがよく理解できていないと今やっていることが分からないということが起こるので、注意して欲しい。分からない部分があったら、分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

第一回目の授業で指示する。

専門教育

履修コード	090201・090202
科目名	ミクロ経済学 経済理論II・ミクロ経済学
担当者名	松井 柳平

講義のねらい

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>
 ガイダンス 講義の概要等説明
 あるパン屋の話
 ナッシュ均衡
 バックワード・インダクション
 サブゲーム完全均衡
 <後期>
 交渉ゲーム
 オークション
 消費者理論
 金融とリスク管理
 契約と誘因

履修上の留意点

数の大小比較、四則演算（足し算、引き算、かけ算、わり算）、分数の計算、簡単な方程式の変形について、完全に身につけていることが、受講生には求められる。こうした算数、初等的な数学について自信のない場合は、算数や中学時代の数学の教科書を事前によく復習してきてもらう必要がある。

成績評価の方法

講義プリントを、YeStudy から事前にプリントアウトして予習してきた上で、講義に臨むこと。
 公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。
 成績は基本的に、100点満点の後期試験に基づく。さらに、追加点として、授業中に発表して内容がよかった人には、1回につきプラス10点を与える。
 また、夏期休暇中のレポート課題も1点～10点で評価する。
 以上より、素点としては100点を超える学生も出るであろうが、そのような学生の、成績の最大値は、最終的な成績評価の段階で、100点とする。
 成績評価は、絶対評価であり、したがって、好成績の学生がいるからといって、それによって他の学生の評価が相対的に悪くなるということはない。

**教科書等
参考書等**

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』（日本評論社）ISBN4-535-55202-9
 岩田 規久男『経済学を学ぶ』（筑摩書房）（ちくま新書）ISBN4-480-05602-5
 武藤 滋夫『ゲーム理論入門（日経文庫：経済学入門シリーズ）』（日本経済新聞社） ISBN：4532108292
 渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）ISBN：4816337458
 船木『演習ゲーム理論』（新世社）ISBN4-88384-072-7
 神戸『入門ゲーム理論と情報の経済学』（日本評論社）ISBN4-535-55414-5

その他

基本的に講義形式で行うが、問題演習等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

履修コード	090301・090302
科目名	マクロ経済学 経済理論II・マクロ経済学
担当者名	^{あらかき} 荒木 ^{よしのぶ} 勝啓

講義のねらい 乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP曲線による国際経済と国内経済の
関係の理解、という4つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・授業スケジュール 授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
- 4-5. 国民所得の決定
- 6-7. 政府・輸出入の導入
8. 乗数理論
9. ビルト=イン=スタビライザー
10. 貨幣とは何か
- 11-12. 信用通貨の成立
13. 信用創造理論
- 14-15. 貨幣数量説と古典派学説
16. 流動性選好説
17. LM曲線
18. 投資関数
19. IS曲線
- 20-21. IS=LM曲線による均衡実質国民所得の決定
22. マンデル=フレミングの定理
23. フィリップス曲線と期待理論
- 24-30. IS=LM=BP曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
ノートを取ることが肝要。
主として計算問題から成る定期試験100%により評価する。
特に指示しない。
適宜紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	090401・090402
科目名	マクロ経済学 経済理論II・マクロ経済学
担当者名	浅野 克巳 <small>あきの かつふ</small>

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の働き
22. インフレーションとデフレーション
23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと。

成績評価の方法

定期試験と授業中行う（5～7回実施予定）小テスト（約15分）、レポート（1～2回）、および学年末テストの成績を総合評価する。

教科書参考書等

テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。

公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の主な要点、トピックスをKOMSYに掲載するから、必要に応じて参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスアワーを設けていますのでご利用ください。

履修コード	090501
科目名	経済学史
担当者名	福原 好喜

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓誥学とならないために、極力現代の経済問題も取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 近代社会の生誕と近代化の諸類型
2. François Quesnay : フランス絶対王政末期の経済学
3. Adam Smith : イギリス産業革命の夜明け前
4. Karl Marx : 資本主義の一般理論
5. John Maynard Keynes : 世界恐慌脱出の途
6. 軍国主義批判の経済学—石橋湛山
7. 平成恐慌と銀八経済学：内閣の財政政策、日銀の金融政策批判

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないほしい。大人数の授業となるので、私語、居眠りは厳禁。違反者は退場願う。(イエローカード二枚でレッドカード)

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。数回レポートを課す。

参 考 書 等

福原著『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』、『熱血教授心の教育』

そ の 他

経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。一部で横道の話の方が面白いという風評がある。学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。ケイタイPHS禁止。覚える授業でなく、感じる授業、考えさせる授業を心掛ける。

履修コード	090601
科目名	経済史
担当者名	やすもと みのる 安元 稔

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学的なものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。現在、『経済史』では何が問題になっているのか。まず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパにおける中世以降の経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を発展させてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年までのヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げたおよそ1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみて行きます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、アジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明します。

講義の内容・授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か：(1)『経済史』の対象と課題、(2-4)資源配分の方法、第2編 外国経済史を学ぶ意味：(5-7)ヨーロッパとアジア、(8)環境・政治支配の型と経済発展、第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展：(9-12)中世の経済と社会、(13-17)近世の幕開け、(18-21)工業化のモデル、(22-24)最初の工業国家、(25-28)工業化の伝播と拡大、(29-30)国際経済の生成と発展

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多く出てきますので、億劫がらずに調べ、理解することが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料(講義中に配布します)をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに、参考書E. L. ジョーンズ『経済成長の世界史』を読み、レポート(4,000字以上＝40点配点)を提出してもらい、後期試験(60点配点)と総合して成績を評価します。

教科書等その他の

特に指定しません。
E・L・ジョーンズ『経済成長の世界史』(名古屋大学出版会)
授業の方法は、講義方式です。但し、Power Point・OHP・ビデオ・資料を使って説明します。

履修コード	090701
科目名	経済政策
担当者名	飯田 泰之

講義のねらい 現代経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要な基本ツールの学習後、個々の経済問題について、

(1) 理論的な枠組みを解説し
(2) 基本理論を用いて政策的課題を論じ
(3) 現実の事例・データで確認する
というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール 以下のテーマを各3講毎に講義する。

1. 経済学と経済政策の基礎理論(1) ミクロ編
2. 競争市場の効率性と政府介入
3. 公益事業と競争政策
4. 外部性と公共財
5. 情報の経済学
6. 経済学と経済政策の基礎理論(2) マクロ編
7. 短期安定化政策
8. 中期安定化政策
9. 現代日本経済の政策的課題

履修上の留意点 出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。なお、本講義は基礎的な内容が中心となるため上級学年ほどより厳しい基準で単位認定を行う点に留意すること。

成績評価の方法 夏・冬2回のレポート提出と後期試験による。
教科書 岩田規久男・飯田泰之『ゼミナール経済政策入門』(日本経済新聞社)2006年
参考書等 必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	090801
科目名	財政学
担当者名	野村 容康

講義のねらい 本講義では、財政赤字、税制改革、年金改革、公共事業といったわが国の財政問題を考えていく際の手掛かりとなるように財政学の基礎的事項について概説する。財政の基礎的な制度とその機能について理解を深め、現実の財政問題について自分なりに考える力を身につけることを目標とする。

前期は、どちらかと言えば政府の支出活動面に重点を置きながら、財政の機能とわが国財政の現状、公共支出に関する理論、政府債務の問題、公的年金問題等について解説する。後期は、政府収入の中で最も重要な租税に関する議論(租税理論、制度、税制改革論等)に焦点を絞って授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期
1. 財政とは何か、2. 財政学とその変遷、3. 資源配分の調整機能、4. 財政と所得再分配、5. 財政政策の理論①、6. 財政政策の理論②、7. 公共財の理論①、8. 公共財の理論②、9. わが国財政の現状、10. 公債の制度と理論、11. 公的高齢年金①、12. 公的高齢年金②、13. まとめ

後期
1. 租税の意義と根拠、2. 租税の基礎的概念、3. 課税の公平性、4. 課税の中立性、5. 租税の転嫁と帰着、6. 包括的所得税論、7. 支出税と最適課税、8. 二元的所得税の考え方、9. 個人所得課税、10. 法人所得課税、11. 間接消費課税、12. 資産課税、13. まとめ

履修上の留意点 受講生には、新聞などを通じてできるだけ財政制度改革、税制改正の動向についてフォローし、わが国の財政に関する問題意識を高めることを期待している。また、受講に際しては、微分とミクロ経済学に関する基礎的知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法 原則として定期試験の成績で評価する。出席は考慮しない。
教科書 里中恆志・八巻節夫編著(2006)『新財政学』文眞堂

履修コード	090901
科目名	金融論
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>

講義のねらい 通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融、証券市場を含む、金融の全体像の理解を目指す。
テキストはイラストを多用した、ビジュアル系なので、わかりやすい。

講義の内容・授業スケジュール 年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。
1 金融とは、2 通貨とは、3 小切手・手形とは、4 ペイオフ解禁とは、5 銀行貸出とは、6 金利とは、7 金融市場とは、8 証券市場とは、9 国債とは、10 金融機関とは、11 公的金融とは、12 財政投融资とは、13 郵便貯金とは、14 簡易保険とは、15 公的年金とは、16 政府系金融機関の再編とは

履修上の留意点 OHPにより、授業を進める。原則として板書はしない（チョークによる環境問題もあるため）。

成績評価の方法 定期試験（80点）とレポート（20点）により評価する。出席は評価点には関係しない。追試験は実施する。

教科書 代田 純著、『図説 やさしい金融財政』（丸善）、定価1800円＋税、ISBN-621-07708-2を使用する。

参考書等 レポートの際に、
代田純著『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済）2002年
代田純編、『日本の国債・地方債と公的金融』（税務経理）2007年のいずれか（本人の選択による）を使用する。

その他 出席はとらないが、私語は厳禁する。

履修コード	091001
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美 <small>みつおか ひろみ</small>

講義のねらい 社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済システムとの関連で可能とされているのかを研究する学問であるといつてよい。

講義の内容・授業スケジュール このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。
年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題（5回）、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論（5回）、(3)戦後日本の労使関係史（6回）、(4)福祉国家の歴史と理論（3回）、(5)日本型福祉の現実（3回）、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、（3回）を予定している。

履修上の留意点 受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法 年1回のレポートと期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。

参考書等 講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	O91101
科目名	日本経済論
担当者名	こばやし まさと 小林 正人

講義のねらい	日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになった日本の経済システムの課題について述べる。 日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」——とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高——をのりこえてきた。しかし長年の平成不況とグローバリゼーションの中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。
講義の内容・授業スケジュール	1. 戦後日本経済の展開過程 (1~3) 戦後史の概要、(4~5) 景気の現状と雇用情勢、(6) 戦後改革、(7~10) 日本の高度経済成長の国内原因と海外要因、(11) 産業政策と経済成長、(12) 石油ショックの展開、(13~15) 円高、バブル経済、平成不況 2. 日本の経済発展とイノベーション (16~17) イノベーションと産業構造、(18~19) 産業分類と製造業の現状、(20~22) 自動車産業の発展と生産システム、(23~25) 半導体産業の発展と国際的特質、(26~27) 鉄鋼、電機、工作機械等の産業の発展過程、(28) 製品の安全性とPL法 3. 日本の経済発展と日本型経済システムの展望 (29~30)
履修上の留意点	講義資料をひんばんに配付する。一度しか配付しないので確実に収集し、授業に持参して保管し、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。
成績評価の方法	定期試験の成績と、講義の節目に出題する数回の小論文またはレポートの達成度とを総合して評価する。
教科書	なし
参考書等	適時紹介する。なお、経済学概念や経済用語を調べるための辞典ないし事典の一つは常備してもらいたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などが出版している)。
その他	講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です(有意義な回答のため)。

履修コード	O91201
科目名	国際経済論
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明

講義のねらい	世界経済は、今日、世界社会・日本社会のあり方の<土台>をなしているものです。世界の姿・日本の姿を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の<基本構造>の解明をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	[前期] (1・2) 講義のテーマ・趣旨の説明、(3・4) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制、(5・6) 産業革命と自由貿易植民地体制、(7) 小括、(8・9) 帝国主義植民地体制、(10・11) 第1次世界大戦と世界経済、(12・13) 戦間期の世界経済、(14) 小括、(15) 予備日 [後期] (1・2) 第2次世界大戦と世界経済、(3・4) 「アメリカ中心体制」、(5) 貿易：GATT/WTO、(6) 国際通貨制度：IMF、(7・8) 「援助」、(9・10) 多国籍企業、(11) 小括、(12・13) <南北問題>、(14) 新国際経済秩序、(15) 小括
成績評価の方法	ミニ・レポート(2回予定、各20点)と学年末レポート(60点)で評価します。世界経済の”枝葉”ではなく、”幹”の理解度を重視します。(追試験は行いません)
教科書	とくにありません。

履修コード	091311・091312
科目名	流通論基礎 商学総論
担当者名	あひは あさ 姉齒 暁

講義のねらい これから大学で勉強をしていくにあたり、必要な基礎知識を身につけてもらう大切な最初の1年間をご一緒にします。

まずは、皆さんが大学で「真理の探究」を行っていくために一番大切な「知的好奇心」を持ってもらいたいと思います。

そこで、「流通」の「今日的課題」を取り上げ、それらの課題を解き明かす作業を行います。その過程で、マーケティング用語や流通論の理解に必要な基礎的な知識を提示していきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 郊外型大規模店舗の林立と商店街の衰退—流通の社会的役割を考える
2. コンビニがスーパーに勝った日—労働環境と生活時間の変化と流通への影響
3. e-commerce の理想と現実—情報社会と流通の問題を考える
4. 買われる消費者—マーケティング戦略と「創られるライフスタイル」
生産—流通—消費の関連性を見る
5. 新しい流通—地域ブランド、フェア・トレード、ユニバーサル・デザイン、地産地消

履修上の留意点

「遅刻」「途中入室」「私語」他、他の履修者の迷惑になる行為は許されません。自分が講義を受ける権利を享受するためには他の学生の「講義を受ける権利」を侵害しないようにすることを義務とします。

「私語」は許されませんが、講義の中で分からないことがあった場合は、直ちに質問をしてください。また、講義開始直後に必ず質問時間を設けます。受け身ではなく、一緒に授業を盛り立てていくために、質問時間を積極的に活用してください。

成績評価の方法

原則として試験による評価となります。そのほか、必要と考えた場合には、レポート、ビデオ教材等の利用に伴う感想文の提出を課し、その結果も評価に組み入れます。また、講義の中で指名し答えを求めた際の出欠、回答の有無についても評価に組み入れます。

教科書

教科書は使いません。講義は配布するレジュメや資料によって進められます。参考書等については、講義の中で随時紹介します。

履修コード	091411・091412
科目名	経営学基礎 経営学総論
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治

講義のねらい この講義では、大学に入学して初めて経営学を学ぶ学生を対象に、できるだけやさしくその体系と内容を解説することを目的としています。

20世紀の科学として生成・発展した経営学は、21世紀を迎えて、ますます進展するグローバル化と情報技術革新のなかで、大きく変容しています。この講義では、できるだけこのような新しい経営現象を素材として、経営学の考え方や分析の仕方を理解できるようにします。もちろん、これまでの経営学の理論や企業経営の歴史的発展を学ばなければ、新しい経営現象を深く理解することはできません。わかりやすく講義しますが、学生諸君も積極的に取り組む姿勢を大切にしてください。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 企業とは何か—株式会社から市民事業まで—(1～5)
- II. 経営とは何か?

- ①経営学100年の歴史の概観(6～10)、②経営戦略(11～15)、③生産管理(16～18) ④人的資源管理(19～21)、⑤情報化・国際化と企業経営(22～24)、⑥企業倫理、CSR(25～30)

以上のようなテーマについて、その基本的な論点(エッセンス)を取り上げ、2年生以降にそれぞれの専門科目を学ぶ意義を伝え、関心を鼓舞できるように講義します。

履修上の留意点

新聞を読み、テレビのニュース・報道特集などをみて、企業の経営・管理問題に関心を持って授業に参加して欲しい。現代の企業経営を巡る話題に関連づけて講義を進めます。

成績評価の方法

学年末試験(50点)、夏季レポート(25点)、授業スケジュールにある項目ごとの小レポート(25点)で成績評価します。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

参考書等

鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

履修コード	091511・091512
科目名	会計学基礎 会計学総論
担当者名	石川 純治

講義のねらい 会計の基礎である複式簿記と財務諸表（貸借対照表、損益計算、キャッシュ・フロー計算書）について講義する。

講義の内容 特にキャッシュ・フローを中心にとすると、貸借対照表、損益計算もいっそう理解できる。テキストの設例問題を解きながら学習を進める。

授業スケジュール 設例問題を順に解いていくので、毎回の理解が大切になる。

履修上の留意点 定期試験および小テスト。

成績評価の方法 定期試験および小テスト。

教科書 石川純治『キャッシュ・フロー簿記会計論（3訂版）』森山書店。

参考書等 石川純治『現代会計を読み解く』日本評論社、¥1700（2008年4月予定）

履修コード	091601
科目名	会計学総論
担当者名	寺坪 修

講義のねらい 経済学専攻の学生にとっても、会計学の知識は不可欠といえます。本講義では国民経済単位（マクロ）および個別経済単位（ミクロ）の活動を計数でとらえる会計のうち、営利企業を対象とする会社会計を取り上げます。会計学関連教科の「総論」として位置づけますので、より深い学習には「簿記論」や「財務会計論」などを（別途）履修してください。

講義の内容 [1]会計の体系（2～4）：意義・位置づけ、構造[2]複式簿記（5～9）：基本原理、設例・演習[3]財務諸表総論（10～14）：日本の会計制度、企業会計原則[4]会計ビックバン（15～19）背景、キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表等の設例・演習[5]財務諸表の分析（20～24）：収益性分析、安全性分析、損益分岐点分析[6]会計による経営の管理（25～27）：原価計算、利益計画[7]監査（28～30）：監査の意義、公認会計士。なお、開講曜日等により授業回数が30回に満たない場合には、[6]および[7]が割愛されることがあります。

授業スケジュール

履修上の留意点 会計は積み重ねの学習によって理解が深まりますので、極力、休まずに受講してください。限られた授業時間ですので、復習・予習を心がけてください。良好な授業環境を維持するため、私語は厳禁とします。状況により、退席を求めます。

成績評価の方法 学年末試験（60%）、出席率（25%）、宿題・レポート等提出（15%）の総合評価。ただし、S・Aの評価はGPA制度の評価ガイドラインによる調整を行うことがあります。

教科書 寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』2004年刊（創成社）3、990円

参考書等 寺坪・井手・小山『簿記教本』2008年（創成社）価格未定

履修コード	097211
科目名	社会経済学 a
担当者名	阿部 弘

講義のねらい

この科目は「現在応用経済学科」の基本科目の一つである。
 経済学がその形成期より現在に至るまで問題にしてきた「富」を論理的に考察する。この場合、到達点は、「私的」・「個別的・私人的」な次元での富から協同・社会の富の解明に至ることがこの講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

私たちの日常社会における「豊かさ」とは何か、これがこの講義の主たる内容になるのである。この「豊かさ」ということは、私たちの社会の「富」に結実している。したがって、講義では、この「豊かさ」的な人間の個々人の生活のさまを考察し、基本にあるのは何かをえぐり出す。その場合に、そのような「富」の現実の複雑に入り組んだ構造を明らかにして行って、現在の世界で、いわばグローバル現象となっている「格差社会」、人間の存在そのものが格差的になっているさまが、どのようにして形成されるのか、この「格差」をすすめている反人間的なもの・システムは何か、「資本主義」という生産・社会秩序が、人間をコスト原理で規定して「非人間化」していくさまを明らかにして、その社会の基底に存在する貧困化はなぜ起こるのかを根本原理から問題にしていく。講義回数は15回なので、次のような形ですすめる：

1. 「富」とは何か (01-05回)
2. 資本家的な生産様式の基本 (06-10回)
3. 取得の体系とその社会化の問題点 (11-15回)

履修上の留意点

この科目は初年次「選択必修」である。皆さん全員にこの科目を履修していただくために「レポート」を3回おこなうので、出席が重要になる。

成績評価の方法

3回の「レポート」で評価する。したがって「定期試験」は行わない。なお何度か出席の確認を簡単なペーパーで行う。これも評価の基準に入れる。

教科書
その他

マルクス『資本論』国民文庫、大月書店、①～③

〔連絡体制〕

講師の住所等を次に記載しておく：

☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204

阿部弘

☎（自宅）：03-3976-7984（FAX兼用）

TEL（職場）：03-3418-9360（研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

履修コード	097221
科目名	社会経済学 b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい この科目は「社会経済学 a」の発展してきたものである。講義「a」では、私たちの社会の「富」とは何かをその原理から明らかにしてきた。

この講義では、「富」の形成・存在が個人毎のレベルから社会全体の公共的な形で形成・存在し得るためには、「富」観念をどのような形で形成していったらいいのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール 資本主義社会の「富」は貨幣や資本的な形で形成され運動していく。この「資本」という非人間的な、コスト原理で決定される価値＝「富」は人間を格差分断してしまうので、もはや「個人」のレベルでの生活を保障する富の形成は不可能になってしまう。人間、といってもその大半は、常に資本・企業のための労働者およびその「予備軍」として編成されていて、時間や機械（コンピュータ）に隷属し、その挙げ句の果てには「過労死」というものが待ち受けている状態にある。そして、退職して公認の失業体制に入っても、資本家的な国家の本質・仕組みのために老人医療や看護、そして年金システムなどの瓦解によって強制的に死に追いやられるというのが現状である。このようななかであって、そのようなシステムに反映している「公共的なもの」とは何かを追及していくことが重要になってくる。そして私的・個別的な次元では統御不可能な「共通な利益」の観点の形成がどのようにすれば可能なかを考察していく。

講義回数は15回なので、次のような形ですすめる：

1. 社会的価値体系（01-05回）
2. 「企業社会」と価値体系の分裂（06-10回）
3. 地球的規模での価値体系の形成（11-15回）

履修上の留意点 この科目は初年次「選択必修」である。皆さん全員にこの科目を履修していただくために「レポート」を3回行うので、出席が重要になる。

成績評価の方法 3回の「レポート」で評価する。したがって「定期試験」は行わない。なお何度か出席の確認を簡単なペーパーで行う。これも評価の基準に入れる。

教科書 次の2文献を用いる：

- 1) マルクス『資本論』国民文庫、大月書店、①～③
- 2) 森岡孝二（編）『格差社会の構造』、桜井書店

その他 [連絡体制]

講師の住所等を次に記載しておく：

〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204

阿部弘

☎（自宅）：03-3976-7984（FAX兼用）

TEL（職場）：03-3418-9360（研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

履修コード	097231
科目名	企業経済学 a
担当者名	飯田 泰之 <small>いいた やすゆき</small>

講義のねらい 企業活動のミクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがミクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体に積極的に言及することで、今後の学習の基礎（ベース）を提供したいと考えている。

なお、企業経済学 a で主に取り扱うのは市場に対する企業の活動である。様々な市場環境に対して、企業はどのように活動するかを主なターゲットとする。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 企業とはなにか？
 2. 経済学と経営学
 3. 経済学思考について
 4. 競争市場での企業活動
 5. 価格支配力と企業活動
 6. ライバル企業との競争と協調
 7. 利潤最大化の3つの方向性

履修上の留意点 企業経済学 b との同時履修を強く推奨する。なお、本講義は初めて経済学を学ぶ1年生を主な対象として想定している。したがって2年生以上の履修はお薦め出来ない（2年生以上の履修者については単位の認定を大幅に厳しくする予定である）。

成績評価の方法 中間レポートと学期末試験によって評価する

教科書 なし

参考書 必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	097241
科目名	企業経済学 b
担当者名	<small>いいた やすはき</small> 飯田 泰之

講義のねらい	<p>企業活動のミクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがミクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体にも積極的に言及することで、今後の学習の基礎（ベース）を提供したいと考えている。</p> <p>なお、企業経済学 b では企業戦略の立案、企業内部でのマネジメント・ガバナンスの問題を主に取り扱う。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. レッドオーシャンとブルーオーシャン 2. コスト優位戦略 3. 差別化優位戦略 4. インセンティブ・コントロール 5. 委託と受託 6. コーポレート・ファイナンス 7. 企業経済学から考える
履修上の留意点	<p>企業経済学 a を履修していることを前提に講義を進める。なお、本講義は初めて経済学を学ぶ1年生を主な対象として想定している。したがって2年生以上の履修はお薦め出来ない（2年生以上の履修者については単位の認定を大幅に厳しくする予定である）。</p>
成績評価の方法	中間レポートと学期末試験によって評価する
教科書	なし
参考書等	必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	099991
科目名	企業経営学 a
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義のねらい	<p>現代社会における企業の役割、株式会社の基本的特徴、株式会社における所有・支配・経営、専門経営者の性格、企業統治（コーポレート・ガバナンス）のあり方、持株会社と企業集団といった企業論基礎を概説すると同時に、企業におけるマネジメントの機能と役割、経営組織の基本的構造（事業部制、カンパニー制、ライン・スタッフ制など）、その日本の特徴など企業経営の基礎を概観する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代企業の基本的な役割と構造（1～3） 2. 現代の株式会社をめぐる諸問題：現代における株主と経営者の実像、コーポレート・ガバナンス、企業集団（持株会社）などについて（4～8） 3. マネジメント（経営管理）の基本的性格について（9～10） 4. 経営組織の基本的構造について（11～12） 5. 日本企業の普遍性と特殊性について（13～15）
履修上の留意点	<p>新聞、テレビ、インターネットなどを通して、現代の企業、経営、労働をめぐる動きに注目し、現代企業経営のさまざまな問題に関心をもって授業に参加してください。</p>
成績評価の方法	レポート数回（授業スケジュールの項目ごと）と定期試験で総合的に評価します。
教科書	百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。
参考書等	授業の中で随時紹介します。

履修コード	099981
科目名	企業経営学 b
担当者名	百田 義治 <small>ひゃくた よしはる</small>

講義のねらい 経営学の生成から現代に至る主要な理論を概観し、経営学のエッセンス（基本的な方法と課題）を明らかにする。また、情報技術革新、グローバルゼーションなど経営環境の激変にともなう現代の企業経営の変化の方向と課題を明確化し、さらに企業倫理や企業社会責任など新たに台頭する企業と社会の関係について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営学の流れ：経営学の巨人たちはどのような問題にどのようにアプローチしたのか？（1～5）
2. 現代のビジネス・モデル：グローバルゼーションやIT革命などの経営環境の変化は企業経営のあり方をどのように変えているのか？（6～10）
3. 「社会と企業」の関係：社会から信頼される企業とは何か、企業が果たすべき社会的責任とは何か？（11～15）

履修上の留意点 新聞、テレビ、インターネットなどを通して、現代の企業、経営、労働などめぐる動向に目を向け、現代の企業経営に関心を持って授業に参加してください。

成績評価の方法 レポート数回（授業スケジュールの項目ごと）と定期試験で総合的に評価します。
教科書 百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。
参考書等 鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。
 稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

履修コード	097251
科目名	地域経済論 a
担当者名	長山 宗広 <small>ながやま むねひろ</small>

講義のねらい グローバリゼーションの進展下、現代経済における「地域」という存在を再評価し、その活性化を図るための理論面の理解と実践的な課題解決について考えていく。地域経済および産業集積の構造的把握とともに、企業間関係・企業家ネットワーク・スピノフ連鎖・産学官連携などの実態把握を目指す。特に、地域経済の活性化を図る上での地域イノベーションシステム、新産業集積の形成と既存産業集積の再生を一体的に進めるメカニズムを明らかにしていく。本講義では、その上で前提となる地域経済論の基礎的な諸理論・概念を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 今、地域の現場に何が起きているのか（ガイダンス）
- (2) 地域、地域経済とは
- (3) 古典的な立地論
- (4) 日本の地場産業・産地研究
- (5) フレキシビリティ論と新経済地理学
- (6) 産業クラスター論
- (7) 日本と海外の地域クラスター政策
- (8) 地域産業システム論（シリコンバレーの事例）
- (9) 学習地域・ミリュー・地域イノベーションシステム論
- (10) 新産業集積の新理論（浜松地域のIT・光電子集積の事例）
- (11) 都市と中心地の理論、小売商業の実態
- (12) まちづくりと地域活性化

履修上の留意点 地域経済論 a、b を一括履修することががのぞましい。

成績評価の方法 期末試験による評価：50%

講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%

教科書 教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。

参考書等 岡田・川瀬・鈴木・富樫『地域経済学』有斐閣アルマ、1997年

中村剛治郎『地域政治経済学』有斐閣、2004年

中村剛治郎編『基本ケースで学ぶ地域経済学』有斐閣、2007年

松原宏『経済地理学』東京大学出版会、2006年

M.ポーター『競争戦略論II』ダイヤモンド社、1999年

浜松信金・信金中金総研編『産業クラスターと地域活性化』同友館、2004年

その他 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	097261
科目名	地域経済論 b
担当者名	ながやま むわひろ 長山 宗広

講義のねらい	本講義の基本的な狙いは、地域経済論 a と同じであるので、そちらを参照のこと。 本講義では、地域経済論 a で学んだ理論を踏まえて、日本および欧米の地域経済事例へと接近し、現代経済における地域的視点をより一層養っていく。具体的には、各種統計データを用いた地域経済分析、地域産業集積の実態把握、地域活性化プランの策定、といった実践的手法・方法論についてケーススタディ等を通じて学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 地域経済論 a (前期) の試験サマリー、後期のガイダンス (2) 地域経済の統計分析 (3) 地域産業の統計分析 (4) ~ (5) 地域の工業 (6) ~ (7) 地域の商業 (8) ~ (9) 地域の観光 (10) 地域の一次産業 (主に農業) (11) 地域の新たな産業 (12) 地域産業の活性化プラン
履修上の留意点	地域経済論 a、b を一括履修することがのぞましい。
成績評価の方法	期末試験による評価：50% 講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%
教科書	教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。
参考書等	地域経済論 a と同じ
その他	本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	097271
科目名	ゲーム理論 a
担当者名	わたなべ やすのり 渡邊 泰典

講義のねらい	複数の人々が意思決定を行う状況を分析するための道具であるゲーム理論について、さまざまな例を交えながら基礎を解説する。
講義の内容・授業スケジュール	戦略形ゲームとその応用 (1-6)、展開形ゲームとその応用 (7-12)、高度なトピックス (13-15)
履修上の留意点	ゲーム理論 b とあわせて履修することが望ましい。
成績評価の方法	中間レポート及び期末試験の合計で評価。出席状況は問わない。
教科書	なし。講義内容を記したノートを配布する。
参考書等	未定。

履修コード	097281
科目名	ゲーム理論 b
担当者名	わたなべ やすのり 渡邊 泰典

講義のねらい	不確実性が存在する中で複数の人々が意思決定を行う状況を、ゲーム理論を用いてどのように分析するかをさまざまな例を交えながら解説する。
講義の内容・授業スケジュール	リスクと期待効用 (1-4)、不完備情報ゲームとその応用 (5-12)、高度なトピックス (13-15)
履修上の留意点	ゲーム理論 a とあわせて履修することが望ましい。
成績評価の方法	中間レポート及び期末試験の合計で評価。出席状況は問わない。
教科書	なし。講義内容を記したノートを配布する。
参考書等	未定。

履修コード	100631
科目名	産業組織論 a
担当者名	かち けんたろう 館 健太郎

講義のねらい 本講義では、現実の経済で最もよく見られる独占、寡占などの不完全競争市場を中心として、個別の産業における企業の戦略や市場の結果を分析するために必要となる概念やモデルについて説明する。また、企業や産業の調査を行う際に使われる指標についても簡単にふれたい。近年多くの関心が寄せられるようになってきている情報通信産業などの特徴についても紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済と経済学
2. 市場の需要とその変化
3. 価格と所得の弾力性
4. 企業の技術
5. 企業の費用
6. 競争的企業の供給決定
7. 長期市場均衡
8. 競争の経済的意義
9. 独占市場
10. 価格差別
11. 寡占市場
12. 独占的競争市場
13. これまでの内容の復習

※講義の進度などにより内容を変更することがあります。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

マイクロ経済学の学習を並行して行うことが望ましい。
基本的に期末試験で行う。ただし、課題を出すことがある。
とくに指定しない。
とくに指定しない。
レジュメ資料を配布し、黒板で解説する。

履修コード	100641
科目名	産業組織論 b
担当者名	かち けんたろう 館 健太郎

講義のねらい 本講義では、現実の経済で最もよく見られる独占、寡占などの不完全競争市場を中心として、個別の産業における企業の戦略や市場の結果を分析するために必要となる概念やモデルについて説明する。また、企業や産業の調査を行う際に使われる指標についても簡単にふれたい。近年多くの関心が寄せられるようになってきている情報通信産業などの特徴についても紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 前期のまとめと今後の課題
2. クールノー競争とベルトラン競争
3. シュタッケルベルグ競争
4. クールノー競争の解釈
5. 参入阻止ゲーム
6. 企業の水平的連携
7. 垂直的取引関係
8. オークション
9. 産業と企業の調査
10. 企業と生産要素
11. 企業活動と環境問題
12. 企業の研究開発投資
13. ネットワーク産業
14. 企業の国際的活動

※講義の進度により内容を変更することがある。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

マイクロ経済学の学習を並行して行うことが望ましい。
基本的に期末試験で行う。ただし、課題を出すことがある。
とくに指定しない。
とくに指定しない。
レジュメ資料を配布し、黒板で解説する。

履修コード	101211・101221・101231・101241・101251・101261
科目名	基礎ゼミ
担当者名	小西 ^{こにし} 宏美 ^{ひろみ} ・勝田 ^{かつた} 佳裕 ^{よしひろ} ・佐藤 ^{さとう} 和子 ^{かずこ}

講義のねらい

基礎ゼミは、勉学意欲に燃えて入学してきた新入生の皆さんに、入学後の学習の道案内をするとともに、学習のための基礎知識とスキル（学習技術）を身につけてもらおうという目的で設けられた科目です。

新聞を広げてみると、私たちの暮らす社会は実に様々な問題があることがわかります。社会科学、とくに経済学や商学・会計学・経営学を学ぶということは、新聞に載っているさまざまな問題がなぜ生まれてくるのか、その問題をどのように解決すれば良いのかということについて、事実を正確に認識した上で、考えることです。そのためには、まず基礎知識を身に付けていただきたいのです。その過程で、どのような問題であろうと興味・関心が湧いてくればしめたものです。

興味・関心が芽生えた問題をさらに追求しようとするとき、基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった学習技術が大いに役立ちます。たとえば、講義で聴いたことをノートにとるだけでもそれなりのコツが必要です。ノートはとったけれども、後で見直してみたらサッパリ、というのでは役に立ちません。基礎ゼミでは、具体的な問題を皆さんに紹介して興味・関心を喚起しながら、同時にそれを題材にして学習のための知識と技術を演習形式で身に付けていただきます。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、大別して（１）基礎知識の習得（５回程度）、（２）学習技術の習得（４回程度）、（３）基礎知識・学習技術の活用としてのレポート作成とプレゼンテーション（４回程度）の３つを柱とします。

基礎ゼミは、商学科の新入生を対象としていますので、ここでの基礎知識とは、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルの知識を指しています。

学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これらを具体的問題を題材にしながらかつて練習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションしていただきます。

履修上の留意点

基礎ゼミが１年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないことを望みます。また、学習スキルを身に付けたり、プレゼンテーションを行うためにはPCの活用が不可欠です。「情報入門I」、「情報入門II」は必ず履修して下さい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席、レポート、プレゼンテーションで評価します。

第1講時に担当者がそれぞれ指示します。

担当者が適宜紹介します。

基礎ゼミで基礎知識と学習技術を習得し、社会・経済問題への興味・関心を養い、４年間の勉学に大いに役立てられることを期待します。

１年次生のみ対象の科目です。２年次以降は履修できません。

履修コード	101271・101281・101291・101311
科目名	基礎ゼミ
担当者名	松田 健・松本 典子・山下 裕介

講義のねらい 基礎ゼミは1年生を対象とし、今後の4年間で社会・経済問題への興味・関心を養いながら、大学生として自らのキャリアをどのように積んでいくのかを考え、同時に勉学の基礎となる知識と学習技術、これは基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった技術を指しますが、こうした技術を具体的な問題を題材にしなが、学習のための知識と技術とを演習形式で身に付けてもらうことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール 本講義は大別してⅠ～Ⅲのモジュールから構成されており、それぞれ(Ⅰ)基礎知識の習得(1～5)、(Ⅱ)学習技術の習得(6～10)、(Ⅲ)基礎知識・学習技術を活用したレポート作成とプレゼンテーション(11～15)の3つを柱としています。

ここでの基礎知識は、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルの所謂暗記物の知識だけでなく、大学生として今後の4年間で積み上げていく自らのキャリアをどのように捉え、またこれを発展させていくのかを考える上で必要となるような知識や技法も含まれます。また、学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これら具体的問題を題材にしなが、実習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションをしてもらいます。

履修上の留意点 基礎ゼミが1年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないようにして下さい。またPCの活用が不可欠になりますから、「情報入門Ⅰ」、「情報入門Ⅱ」は必ず履修して下さい。さらに、企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるためにも、新聞、雑誌の経済・経営欄に目を向け、自らアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法 授業への出席を最低要件とし、レポート(50%)、プレゼンテーション(20%)ならびに講義への参加姿勢その他(30%)で評価します。

教科書 『MY CARRER NOTE』BENESSE, 2006年。
参考書 適宜指示します。

履修コード	O95411
科目名	情報入門I
担当者名	羽田 ^{ほだ みか} 美香

講義のねらい

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらには Word による文書の作成技法および表計算ソフト（Excel）の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- (2～4) パソコンの仕組み、Windows の基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネットワーク、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
- (5～12) Word の基本操作、文書の作成・印刷、表の作成、文書レイアウト、図の作成、図の挿入
- (13～15) 表計算 Excel の基本操作、データ集計、関数の利用、表の書式（罫線・列幅の変更など）・印刷

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修はできないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

初回講義時のテストと各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

**教科書
参考書
その他**

『情報活用の基礎』（情報入門Ⅱ（後期）でも使用します。開講時に指定します。）
必要に応じて紹介します。
1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

専門教育

履修コード	095421
科目名	情報入門I
担当者名	羽田 美香

講義のねらい コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらには Word による文書の作成技法および表計算ソフト（Excel）の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
(2～4) パソコンの仕組み、Windows の基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネットワーク、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
(5～12) Word の基本操作、文書の作成・印刷、表の作成、文書レイアウト、図の作成、図の挿入

(13～15) 表計算 Excel の基本操作、データ集計、関数の利用、表の書式（罫線・列幅の変更など）・印刷

履修上の留意点 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。

2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。

3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。

5) 2年次以降の履修はできないので注意すること。

6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。

7) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法 初回講義時のテストと各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書等その他 『情報活用の基礎』（情報入門Ⅱ（後期）でも使用します。開講時に指定します。）
必要に応じて紹介します。

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	095451
科目名	情報入門I
担当者名	山邊 茂之 <small>やまべ しげゆき</small>

講義のねらい コンピュータを活用した情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学んでいく上で欠かせないスキルとなっている。また、コンピュータの知識・スキルは、社会においても必須である。

本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない段階から習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れること、インターネット（電子メール含む）を利用できるようになること、さらには Microsoft Office Word による文書作成技法および表計算ソフト（Microsoft Office Excel）の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教場の使い方、受講上の注意、パソコン起動・終了方法。
2. パソコンの仕組み・用語の説明、Windows(XP)の基本的な使い方（マウス操作、フォルダ作成、コピー貼り付けなど）、Windows のトラブル回避方法。
3. 日本語入力 (IME) の説明、タイピング。
4. インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方。
5. Microsoft Office Word(2003) の基本操作、文書の作成、フォントの変更、文字の大きさ・色の変更。
6. Microsoft Office Word(2003) の使い方 検索・置換、拡張書式、あいさつ文の挿入、印刷、セキュリティ（パスワード保存）。
7. Microsoft Office Word(2003) の使い方 表の作成、文書レイアウト。
8. Microsoft Office Word(2003) の使い方 図の作成、図の挿入。
9. 表計算 Microsoft Office Excel(2003) の基本操作。
10. 表計算 データ集計、関数の利用、表の書式（罫線・列幅の変更など）、印刷。

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないで注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

初回講義時のテストと、各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は、別途加点する。

**教科書
参考書等
その他**

『情報活用の基礎』（情報入門Ⅱ（後期）でも使用します。開講時に指定します）
必要に応じて紹介します。
1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	095431
科目名	情報入門II
担当者名	羽田 美香

講義のねらい	本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト (Excel) によるデータ処理法、Power Point によるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1～5) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携 (6) プレゼンテーションとは何か？ (7～12) プレゼンテーション Power Point の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能 (13～15) プレゼンテーション 個人発表
履修上の留意点	1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。 2) 「情報入門I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。 7) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っています。必ず後期の情報入門IIも忘れずに履修届に記入して登録すること。
成績評価の方法	各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。
教科書 参考書 その他	『情報活用の基礎』(開講時に指定します。) 必要に応じて紹介します。 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

専門教育

履修コード	095441
科目名	情報入門II
担当者名	羽田 美香

講義のねらい	本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト (Excel) によるデータ処理法、Power Point によるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1～5) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携 (6) プレゼンテーションとは何か？ (7～12) プレゼンテーション Power Point の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能 (13～15) プレゼンテーション 個人発表
履修上の留意点	1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。 2) 「情報入門I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。 7) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っています。必ず後期の情報入門IIも忘れずに履修届に記入して登録すること。
成績評価の方法	各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。
教科書 参考書 その他	『情報活用の基礎』(開講時に指定します。) 必要に応じて紹介します。 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	O95461
科目名	情報入門II
担当者名	山邊 茂之

講義のねらい 本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト（Microsoft Office Excel）によるデータ処理法、Microsoft Office PowerPoint によるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. Microsoft Office Word(2003) と Microsoft Office Excel(2003) の要点の復習。
2. 表計算 グラフの作成。
3. 表計算 Microsoft Office Word(2003) との連携。
4. プレゼンテーションとは何か？
5. プレゼンテーション Microsoft Office Power Point(2003) の基本操作、スライドの作成、スライドショー。
6. プレゼンテーション 文字修飾、図の挿入、アニメーション機能。
7. プレゼンテーション 個人発表。

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門IIの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書 『情報活用の基礎』（開講時に指定します）

参考書等 必要に応じて紹介します。

その他 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	O92101
科目名	簿記論
担当者名	福島 隆

講義のねらい 本講義では、複式簿記について学習します。簿記とは、企業活動を貨幣額で記録し、測定し、その結果を報告するための技術です。今日では企業活動を行ったり、実際のビジネスを理解したりする際には、簿記の知識が必要不可欠です。また簿記は、会計諸学（会計学、財務会計論、経営分析論、管理会計論、原価計算論等）の基礎であるため、これらの学習をするには簿記の知識が必要になります。本講義では、簿記の初心者を対象として、日商簿記3級のレベルを目安に、なるべく具体的に分かりやすく講義したいと考えています。その際、簿記の技術だけを講義するのではなく、理論や実際の企業活動との係り合いについても説明する予定です。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。なお、授業内で中間試験を2回行います。

- (1) ガイダンス（簿記の意義）
- (2・3) 簿記の基礎概念
- (4) 仕訳と転記
- (5) 決算と財務諸表 [1]
- (6・7) 現金預金
- (8・9) 商品売買
- (10) 売掛金と買掛金
- (11・12) その他の債権と債務
- (13・14) 手形
- (15) 有価証券
- (16) 固定資産
- (17・18) 収益と費用
- (19) 資本金と引出金・税金
- (20) 伝票
- (21・22) 決算と財務諸表 [2]
- (23・24) 財務諸表の読み方

履修上の留意点 簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。また、受講生は毎回必ず電卓を持参して下さい。なお、10分以上の遅刻は欠席扱いとします。授業中の私語で注意された学生は、大幅減点されます。

成績評価の方法 評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

- (1) 平常点重視型・出席10点、課題20点、中間試験40点（20点×2回）、定期試験30点。
- (2) 試験重視型・中間試験60点（30点×2回）、定期試験40点。

教科書 福島隆「簿記論」、創成社、2,200円。＊駒澤大学で簿記論を教えるために作成したテキストなので、大学以外の書店では販売していません。

その他 授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

履修コード	092201
科目名	簿記論
担当者名	わたなべ さとし 渡邊 智

講義のねらい	企業は貸借対照表・損益計算書をはじめとする財務諸表を社会に向けて開示しています。これらを作成あるいは解釈するためには、簿記に関する知識が必要となります。この講義は、基本的な複式簿記原理の理解、さらには初歩的な記帳技術の習得を目標とするものです。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 簿記の基礎概念 (3) 簿記の取引 (4) 勘定記入 (5) 仕訳 (6) 仕訳帳への記入 (7) 総勘定元帳への転記 (8) 試算表 (9) 6桁精算表 (10~13) 決算 (14~15) 前期のまとめ (16) 現金・小口現金 (17) 当座預金 (18) 商品 (19) 仕入帳・売上帳・商品有高帳 (20) 売掛金・買掛金 (21) 手形 (22) その他の債権債務 (23) 貸倒れと貸倒引当金 (24) 有価証券 (25) 固定資産 (26) 資本金・引出金、税金 (27) 決算整理 (28) 8桁精算表・10桁精算表と決算 (29) 伝票 (30) 後期のまとめ
履修上の留意点	簿記の学習は積み重ねが大切ですから、講義には毎回必ず出席して下さい。万一欠席した場合には、必ず質問をするなどして欠席した回の学習事項を十分に理解しておくようにして下さい。予習・復習は毎回必ず行なって下さい。電卓を持参して下さい。
成績評価の方法	出席状況、試験の結果および平常点(問題集の仕上がり具合)から総合的に判断して成績を評価します。
教科書	加古宜士・渡部裕亙・片山覚編著『新検定 簿記ワークブック 3級 商業簿記』中央経済社 定価700円+税 ISBN978-4-502-03230-1 伊藤秀俊編著『入門 商業簿記テキスト』中央経済社(近日刊行予定、定価は2,400円程度の予定。なお、書名は仮のもので変更される可能性もあります。)
参考書等	『日商簿記検定テキスト商業簿記3級』実教出版 『日商簿記検定テキスト問題集 商業簿記3級』実教出版 その他必要に応じて講義中に紹介します。

専門教育

履修コード	092301
科目名	簿記論
担当者名	きたぐち りえ 北口 りえ

講義のねらい	本講義は、初めて簿記を学習する学生を対象としています。簿記は、経営分析や税金の計算等に不可欠の知識であり、就職活動にはもちろんのこと、就職後も役に立つ技術です。まず基本的な簿記原理を知ることからはじめ、決算までの一連の流れを学習します。簿記は単なる暗記科目として認識されがちですが、本講義では、暗記の枠を超え、簿記技術を楽しく、そしてより深く習得できるよう、簿記原理の奥深さや面白さに重点を置いて講義します。
講義の内容・授業スケジュール	第1回：ガイダンス、第2・3回：簿記の計算理論・基本概念、第4・5回：取引と勘定記入、仕訳と帳簿記入、第6・7回：試算表と精算表、第8~10回：決算、第11~22回：諸取引の記帳、第23回~25回：決算整理、第26~28回：精算表の作成、第29・30回：帳簿締め切りと財務諸表の作成
履修上の留意点	電卓を持参してください(授業前半では必要ありませんので、講義内で指示します)。
成績評価の方法	成績評価は、出席点、中間試験、期末試験の総合評価により行います。ただし、受講者数次第で出席点を小テストに変更する場合があります。追試験有。
教科書	未定、初回の講義で指示します。

履修コード	092411
科目名	企業論基礎
担当者名	劉 永鵬 <small>りゅう えいこう</small>

講義のねらい

本講義は、企業の法律形態、企業の支配・統治構造ならびに企業成長に対する理論的究明を中心内容とする。なかには、株式会社の特質、支配形態および統治構造を重点的に講義し、その国際比較も行う。これを通して、現代社会における企業とくに巨大な株式会社の全体構図ならびに最新動向をより広い角度からアプローチする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、企業論の研究対象、主な企業形態とそれぞれの特徴について講義する。

- I 企業論の研究対象
- II 企業の種類と企業形態
- III 企業形態の発展過程
- IV 単独出資者の企業：個人企業
- V 会社企業：①合名会社 ②合資会社 ③合同会社

後期には、株式会社の特徴と会社機関、企業支配、企業統治、企業成長と社会などを講義する。

- VI 株式会社の特質
- VII 株式会社の資金調達
- VIII 株式会社の支配
- IX 株式会社のガバナンス
- X 企業成長と社会

履修上の留意点

予習はもちろんのこと、各章ごとに「演習問題」を出すので、それを中心に復習することも望まれる。

成績評価の方法

前期と後期に分けて2回の筆記テストを行い、その成績に、普段の講義への出席状況を加味して評価する。

教科書

- ・百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。
- ・作新学院大学経営学研究グループ（代表：中村瑞穂）著『経営学—企業と経営の理論』白桃書房、2003年。
- その他、授業の初回目に指示する。

専門教育

履修コード	092421
科目名	ファイナンス基礎
担当者名	須藤 時仁 <small>すどう ときひと</small>

講義のねらい

この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われていますが、80年代からは株式市場を通じて、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。

前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1-5) 金融制度と金融機関 (6-10) 金融システムの形成とその変遷
(11-15) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達)
- (後期) (16-20) 債券市場を用いた資金調達
(21-25) 株式市場を用いた資金調達
(26-30) まとめと今後の展望

履修上の留意点

できる限り新聞や雑誌に目を通して、現実の経済・金融の動きを理解するように努めてください。基本的に学年末の定期試験で行います。(夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを考えていますが、その場合には提出者についてレポートの成績を加味します)

教科書

未定。第1回目の講義のときに基本書を示します。また、必要な参考文献は講義中に適宜指示します。

参考書等

未定。第1回目の講義のときに基本書を示します。また、必要な参考文献は講義中に適宜指示します。

履修コード	099291
科目名	キャリア・デザイン
担当者名	<small>たけした えいさ</small> 竹下 容駈

講義のねらい

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してもつ一連の職業および職務」ですが、広義には（職業・労働の世界での生き方に限定されず）「人生の諸過程（ライフプロセス）、生き方（ライフスタイル）」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること（人生設計）です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要となります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」＝それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義—1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応（学業と就職準備活動の両立）、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか（生涯学習社会と「キャリア・デザイン」）、3. ライフサイクルと職業生活（職業と就職の意味）、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割（学業と課外活動の意義）、5. 大学生活をどのように過ごすか（進路選択＝職探しは自分探しである）。ゲスト講師による「キャリア・デザイン（人生設計論）」—前期3～4回、後期5～6回。なお、前期、後期の初めに「授業実施計画」（スケジュール表）を配布します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席を重視します。

後期の期末に記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書は使用しません。

講義のつど紹介します。

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。適宜、講義内容に関連するレジュメ、プリント、資料を配付します。

履修コード	090001・090002
科目名	経済理論B・経済システムの原理 経済理論IB・経済システムの原理
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい	現代の私たちの経済社会の運動は「資本」の運動原理に基づいている。この講義の前半部分は<I A>としてその原理の根本を明らかにしてきたが、この後半部分では、現実の資本の運動がどのようなことに基づいているのかを明らかにして、現代社会が直面している諸問題に取り組んでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義は前期15回・後期15回の年間30回の予定で行う。 A：利潤の生産（前期01-07回） 1 剰余価値と利潤 2 利潤の生産と生産価格体系の形成 3 社会的虚偽の価値体系の形成 B：利潤体系の運動（前期08-15回） 1 利潤体系とその構成要素 2 利潤の分配と再分配 3 資本の商品化 C：恐慌と独占（後期15回） 1 過剰生産恐慌とその必然性（01-05回） 2 失業とその産業予備軍機構化（06-10回） 3 労働組合と独占体（11-15回）
成績評価の方法	この科目は経済理論の応用部分を含むので、積み重ねが肝要である。したがって出席は重視される。 成績の評価は出席とレポートによる。 レポートは年間4回の予定である。
参考書等	「教科書」は用いないが、次の文献を重要参考書として掲げておく： * マルクス：『資本論』、大月書店、国民文庫 1～9分冊 * レーニン：『帝国主義論』、大月書店、国民文庫 * 奥村 弘：『法人資本主義』、朝日文庫
その他	[連絡体制] 講師の住所等を次に記載しておく： 〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 阿部弘 ☎（自宅）：03-3976-7984（FAX兼用） TEL（職場）：03-3418-9360（研究室） 03-3418-9343（経済学部事務室）

履修コード	092501
科目名	経済数学
担当者名	いけだ ひろし 池田 宏

講義のねらい	経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的な方法の修得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期：線形代数 1. ガイダンス (2.3) ベクトルと行列の定義と計算 (4.5.6) 1次変換と固有値、固有ベクトル (7.8) 行列式の定義と計算 (9.10) 連立1次方程式(掃き出し方) (11.12) 線形計画法 (13) 試験 後期：微分積分 (1.2.3) 微分の基礎 (4.5) 接線、増減、極値 (6.7.8.9) 基本関数の微分 (10) 高次導関数 (11.12) 多変数関数と偏微分 13. 試験
履修上の留意点	高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。
成績評価の方法	前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)
教科書	教科書は指定しない。必要な時には適宜、教材プリントを配布する。
参考書等	田代嘉宏著 『数学概論 線形代数/微分積分』 裳華房 本体2400円 ISBN4-7853-1078-2 C3041

履修コード	O92611
科目名	応用ミクロ経済学
担当者名	荒木 勝啓

講義のねらい 今年度は、金融経済学、金融工学などに必要な最低不可欠な理論的フレームワークを基礎の基礎から教える。本来この分野の標準的な数値は非常に高く、学ばなければならない知識も膨大であるが、この講義では各種参考書などを読んだだけでは分かりにくいテーマに絞って講義する。将来銀行、金融、証券、貿易（為替）などの方面に進みたいと考えている学生はこの授業の内容が金融スペシャリストのほんの入り口にすぎないということをよく認識した上で、示される手法を完全にマスターして欲しい。ただし証券アナリストを受験しようと思っている学生はこの授業は必須である。

講義の内容・授業スケジュール 1-8. 基礎となる数学の復習—解析と線形代数。基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていなかった人でもよく理解できると思う。

内容: 微分・全微分・偏微分係数・ベクトル・行列・行列式・逆行列・一次方程式・固有値・回転の行列・2次形式と2次曲線・不定積分・テイラー展開・マクローリン展開・eと対数微分
 9-12. 条件付き最適化問題（ラグランジュ未定係数法とキューン・タッカー定理）
 13-14. 多重線形回帰法と主成分分析
 15-16. 企業の市場価値とMM命題
 17-20. CAPM理論
 21-25. 利子理論
 (1) 債券価格とさまざまな利子率
 (2) デュレーションとコンベキシティ
 (3) イミュニゼーション
 26-30. ブラック・ショールズ公式と派生商品の価格付け、Greeks とヘッジ。

履修上の留意点 ノートをとることを欠かさないと。金融工学の手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとすると膨大な量になる。

成績評価の方法 定期試験100%、ただしノート持込可。ノートのコピー不可。授業に出ているならばほぼ確実に解けるような簡単な問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。

教科書参考書等 特になし。
 高森寛 『現代ファイナンスの基礎理論』
 池田昌幸 『金融経済学の基礎』（朝倉書店）2000年
 Cuthbertson, K. and Nitzsche, D., Financial Engineering-Derivatives and Risk Management, John Wiley and Sons, Ltd., 2001.

履修コード	O92711
科目名	応用マクロ経済学
担当者名	吉野 紀

講義のねらい 為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。失業率4.0%といえは実数にして250万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力とが求められる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 「国民経済計算の話」…………… 5 回
 《参考》経済企画庁「平成16年日本経済の循環図」（配布資料）
 2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4 回
 《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
 3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8 回
 《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
 4. 「金融政策、財政政策」…………… 4 回
 《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
 5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5 回

成績評価の方法 基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。
教科書 R.J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）
その他 本講は旧「国民所得論」からの名称変更である。

履修コード	092801
科目名	計量経済学
担当者名	<small>たなか まさみつ</small> 田中 正光

講義のねらい	<p>経済学で学んだ消費関数や投資関数などが現実の経済にどの程度適用できるか検証を行うには、関連データを収集し、これら諸関数の構造方程式を推計し、それらの推計パラメータをさまざまな角度から評価する作業が必要になる。</p> <p>こうした経済の構造の解明を目指すためのツールとして、また簡単な経済予測を行うためのツールとして計量経済学がある。本講義では、計量経済学の概略を簡単な理論と数値例から学び、計量経済学の有用性の理解を深めることを目指す。</p>
講義の内容・授業スケジュール	(1～6) 計量経済学に最低限必要な基礎的統計学 (7～10) 統計学の応用 (11～16) 最小二乗法と回帰モデル (17～18) 重回帰モデル (19～20) 回帰モデルの仮説検定 (21) ダミー変数の利用 (22～28) 系列相関、多重共線性、分散不均一 (28～30) 連立方程式モデル
履修上の留意点	授業の中で簡単な計算をする場面がしばしばあるので、電卓(関数電卓が望ましい)を持参すること。
成績評価の方法	前期末と後期末に実施する中間試験の結果、通常授業における演習問題の結果、出席状況等を総合的に判断して成績を評価する。
教科書 参考書等	<p>指定なし。</p> <p>伴金美・中村二郎・跡田直澄『エコノメトリックス(新版)』2006年(有斐閣)</p> <p>唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学』2003年(東洋経済新報社)</p> <p>白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』2000年(日本評論社)</p> <p>蓑谷千風彦『計量経済学』1998年(東洋経済新報社)</p>
その他	授業では、原則的にプリントを配布する。これに従って授業を進める予定である。しかしながら、講義を進める過程で、履修者の興味・理解度に応じて講義内容の軌道修正を行う場合があるのでご理解願いたい。

履修コード	092901
科目名	統計原論
担当者名	吉野 紀 <small>よしの のり</small>

専門教育

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サミュエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになる。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものである。偶然が支配していると思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしたくなかったときの、神の仮名であろう」（アナトール・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感じてもらえればと期待する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 記述統計——標本データの整理——
度数分布表、統計値（平均値、中央値、最頻値）、散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）
2. 確率変数と確率分布
2項分布、ポアソン分布、正規分布
3. 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング、中心極限定理、t 分布
4. 統計的推定
推定とは何か、平均値の区間推定
5. 仮説検定
検定とは何か、平均値の検定
6. 回帰分析I
単純回帰モデル、最小2乗法、回帰と相関
7. 回帰分析II
回帰における統計的推測、多変量回帰（重回帰）

履修上の留意点

授業は1-201教場を使って、あらかじめサーバーに保存してあるデータを各自のパソコンで開き、加工する方法で進行させる。したがって、机上のパソコンにアクセスするためのパスワード、KOMAnet のユーザIDを得ておくことが望ましい（総合情報センターで割当てられる）。
数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法
教科書

期末試験による。ただし、夏季休暇中の宿題を考慮する。
P.G.ホーエル、「初等統計学」（原著第4版）、培風館、1,838円

履修コード	093001
科目名	景気循環論
担当者名	野村 信廣 <small>のむら のぶひろ</small>

講義のねらい

景気（循環）への関心は極めて高い。それは（1）景気循環が多くの人の生活に影響する（2）景気循環の姿がその都度変化する（3）景気循環が経済・政治の諸問題に影響する—などのためである。講義では（1）景気循環を把握する方法（2）景気循環を引き起こす原因とメカニズム（3）景気循環を応用して景気の過去や現状把握、将来予測—などを学ぶ。学生達が景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール

景気循環と景気指標
景気循環を引き起こす要因とメカニズム
景気循環の歴史
景気循環の理論

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

09300景気循環論は30900景気循環論に比較して、理論的なもののウエートを高くして行う。
日々の経済動向に興味を持つこと
レポート（前期）、定期試験（筆記・後期）、出席状況を加味して評価
景気循環学会・金森久雄「ゼミナール・景気循環入門」（東洋経済新報社）
適宜参考資料を配布
講義中心だが、質問や討議を歓迎

履修コード	093101
科目名	現代資本主義論
担当者名	一井 昭 <small>いちい あきら</small>

講義のねらい	現代資本主義論は、中心的課題として経済のグローバル化と国家の経済政策を解き明かす必要がある。そのために、基礎的な理論（独占資本主義論と国家独占資本主義論）を理解した上で、現実の経済動向を見通す現代資本主義の総合的・体系的な理解へと進みたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 第I篇 現代資本主義論の課題と方法（理論的課題、歴史的対象など）、(5～16) 第II篇 独占資本主義論（資本の集積・集中と独占、信用制度の発展、独占の諸形態、独占価格と独占利潤、金融資本、資本輸出、国民経済と世界経済など）、(17～24) 第III篇 国家独占資本主義論（概念、機構、地域的統合体、類型化、歴史的意義と限界など）、(25～30) 第IV篇 現代資本主義の緊急課題（国際的な通貨・金融システム、地球温暖化、富と貧困など）
履修上の留意点	毎回出席のこと。かなり詳細な講義資料を配布する予定なので、予習、復習にも心がけてほしい。
成績評価の方法	学期末試験と授業内に提出を求める課題（レポート）を基本に評価します。
教科書	未定（ただし、授業期間内にテキストを刊行する予定）。
参考書等その他	最初の授業に紹介します。 できれば、経済理論の履修者が望ましい。

専門教育

履修コード	093211・093212
科目名	市民と経済学 a 社会思想史 a
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい	テーマ：市民と経済学－「経世済民」思想 「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。 さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なことの一つは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。 この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それ自体をコスト原則で規定していき、「格差社会」なるものを作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。
講義の内容・授業スケジュール	この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこでこの講義で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。 講義は15回であるから、次のようなかたちになる。 第1章：古代中国での「経世済民」思想（1～5回） 第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」（6～12回） 第3章：「経世済民論」と現代（13～15回）
履修上の留意点	この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる： 1 出席の確認（授業中に適宜実施される） 2 3回のレポートの作成
成績評価の方法	「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等は行わないので注意して欲しい。
教科書	教科書は次のものを批判的に用いる： 阿部弘『労働と所有』（八千代出版）
参考書等その他	適宜授業中に指定する。 [連絡体制] 講師の住所等を次に記載しておく： 〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 阿部弘 ☎（自宅）：03-3976-7984（FAX兼用） TEL（職場）：03-3418-9360（研究室） 03-3418-9343（経済学部事務室）

履修コード	093221・093222
科目名	市民と経済学b 社会思想史b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい 「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。

講義の内容

「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程。

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は15回であるので、次のスケジュールになる。

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開（1～5回）

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程（5～12回）

第3章：現代の経済的諸問題（13～15回）

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

1 出席の確認（授業中に適宜実施される）

2 3回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用いる：

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他の

〔連絡体制〕

講師の住所等を次に記載しておく：

〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204

阿部弘

☎（自宅）：03-3976-7984（FAX兼用）

TEL（職場）：03-3418-9360（研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

履修コード	093301
科目名	日本経済史
担当者名	渡邊 恵一 <small>わたなべ けいいち</small>

講義のねらい 経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望
毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がつかなくなることを意味するので、くれぐれも注意されたい。

履修上の留意点

成績評価の方法

基本的には期末試験の成績で評価するが、「リアクション・ペーパー」の記載内容などについても、平常点として加味したい。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史一太閤検地から戦後復興まで一』（税務経理協会、2002年）。あらかじめ指示したページ範囲に目を通していただくことを前提に授業を行う。その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他の

日本史の知識不問（挫折者歓迎!）。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

履修コード	093401
科目名	西洋経済史
担当者名	友松 憲彦 <small>ともまつ けんひこ</small>

講義のねらい

この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心になるのは18世紀末から19世紀にかけての工業化（産業革命）です。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を中心とする「北アメリカ」、そして日本や近年成長めざましい「アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。また、工業化により現われた社会経済問題に対してどのような改革が進められたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化は他の地域にいかなる影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋経済の歴史を学ぶことによって、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義のねらい

(1) 資本主義市場経済

2. 前近代の経済 - 封建制 -

(2) (3) 農村と農業, (4) (5) 都市と商工業

3. 資本主義の成長

(6) (7) 「封建制の危機」と資本主義の誕生, (8) (9) 農村工業の成長, (10) 農業革命,

(11) 海外市場の発達, (12) 国内市場の発達

4. 資本主義の確立 - イギリス産業革命 (工業化)

(13) 産業革命の原因, (14) (15) 産業革命の過程, (16) (17) 産業革命の結果,

(18) (19) 経済・社会問題の改革

5. 世界資本主義の形成

(20) イギリス経済と世界経済, (21) (22) (23) 後発国の産業革命, (24) (25) 脱工業化

6. 資本主義の変質

(26) 「大不況」と資本主義の構造変化, (27) 国際経済, (28) (29) 帝国主義と植民地

7. まとめ

(30) 現代への展望

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味します。

とくに指定しませんが毎回資料を配布します。

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』ミネルヴァ書房, 1992年

岡田泰男編著『西洋経済史』八千代出版, 1996年

楠井他著『エレメンタル西洋経済史』英創社, 2006年

飯田隆『図説西洋経済史』日本経済評論社, 2005年

成績評価の方法 教科書 参考書等

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	溝手 芳計 <small>（みぞて よしかげ）</small>

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していく必要があります。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農業の特質と現代農業（4回程度）
4. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策（6回程度）
6. グローバリゼーション下における世界の農業（8回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本としますが、授業中に行う小テストを20点の範囲で加点して採点します。追試有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
 中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書等

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
 大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
 F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章、大月書店、2940円、ISBN978-4-272-15035-9
 橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

履修コード	093601
科目名	工業政策
担当者名	おくやま まさゆき 奥山 雅之

講義のねらい

日本の工業（「ものづくり」産業）は、その技術力を背景に高い国際競争力を有しており、日本の産業全体を支える重要な存在です。

この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、ものづくり産業の特徴を確認しながら、産業の「過去」「現在」そして「将来」を考察します。また、ものづくり産業に対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性についても検討を加えていきます。

前期では、ものづくり産業の現状をさまざまな角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、産学連携、知的財産、環境問題、CSR（企業の社会的責任）など、ものづくり産業をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期（1～3）わが国の工業の役割と特徴
（4～6）戦後における工業の発展と工業政策
（7～10）工場立地の変化と工業集積の効果
（11～15）生産のグローバル化と国際競争
後期（16～19）工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）
（20・21）「ソフトなものづくり」産業（映画産業、アニメーション産業ほか）
（22～24）イノベーションと産学連携
（25）知的財産の創造・保護・活用
（26・27）工業の環境調和とCSR（企業の社会的責任）
（28・29）ものづくり産業を支える人材の確保・育成
（30）まとめ

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することを望みます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書
参考書等

特に指定しません。配布する資料によって講義を実施します。
加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

専門教育

履修コード	093701
科目名	経済地理
担当者名	やのぶ ひろやす 矢延 洋泰

講義のねらい

経済的諸活動の空間構造を地理学的に捉えてみたい。なかでも世界で最も経済発展が著しい東アジア地域を中心に考察します。

講義の内容・
授業スケジュール

- （1）地理学の中における経済地理学とは （2）経済を中心にみた世界史の潮流 （3）経済社会の変化を探る （4）東南アジアの基礎知識 （5）アジア・ダイナミズムの源泉を探る—OECD レポートの衝撃とその分析、アジアNIES誕生の意味、成長の基層文化 （6）戦後日本の経済発展と周辺アジアとの関係 （7）東南アジアにみる地域協力機構の色—ASEANの成立過程、シンガポールの経済開発と成長の限界、成長の三角地帯構想の背景、（8）冷戦崩壊後の世界と日本—冷戦とバブル崩壊後の日本の対応、幻のEAEC構想とAFTA実現の意味、太平洋を跨ぐAPECの思惑、日米中が描くASEANを核にした地域協力、（9）「ハブ」と「スポーク」の考え方 （10）大航空時代の周辺アジアと日本の動向

履修上の留意点

学ぶことに意欲を持ち、アジアに興味と関心のある学生を期待します。文献紹介は適宜するつもりですが、それらは必ず読むようにしてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験（80％）と、授業内に提出を求める課題、アトランダムに取る出席（20％）で評価します。

教科書

教科書は使いませんが、適宜プリントを配布します。配布は基本的に2週としますので、忘れずに取得するようにしてください。

参考書等
その他の

矢延洋泰『インサイト東南アジア』勁草書房 3255円 ISBN4-326-65182-2
質問は授業の後に受け付けます。

履修コード	093811
科目名	中小企業論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい 商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

講義ガイダンス (1)
 I 中小企業の基礎理論
 I-1 中小企業の法的規定(2)
 I-2 中小企業の経営類型(3)
 I-3 中小企業の企業形態(4)
 I-4 日本型下請構造の特質(5~6)
 II 日本型下請システムの形成過程、
 II-1 日本経済復活期の生産分業構造(7~8)
 II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化(9~10)
 II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立(11~12)
 II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変(13~14)
 講義のまとめ(15)

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているので、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験(80点)とレポート(20点)を基準として行ないます。追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参考書等

『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	093821
科目名	中小企業政策論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義ガイダンス (1)
 1 復興期の中小企業政策 (2~4)
 2 高度成長と中小企業近代化政策 (5~8)
 3 中小企業政策の大転換 (9~11)
 4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12~13)
 5 中小企業と不公正取引問題 (14)
 講義のまとめ (15)

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているので、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験(80点)とレポート(20点)を基準として行ないます。追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参考書等

『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	099111
科目名	公共経済学 a
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学の手法を用いて考えます。『公共経済学 a』は、現実の基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール
 ガイダンス(第1回)
 政府の役割(第1～2回)
 日本の政府(第3回)
 生産者理論(第4～7回)
 寡占・独占(第8～10回)
 競争均衡の効率性・公平性(第11回～)

履修上の留意点 公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法 レポート・試験で評価します。
教科書 特に指定しません。

履修コード	099121
科目名	公共経済学 b
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学の手法を用いて考えます。『公共経済学 a』は、現実の基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール
 『公共経済学 a』試験解説(第1回)
 寡占・独占(第1回・『公共経済学 a』で終わらなかった場合のみ)
 消費者理論(第2～4回)
 外部性(第5～7回)
 公共財(第7～9回)
 環境問題(第9～10回)
 情報の非対称性(第11～12回)
 医療・年金(第13回～)

また、時間に余裕があれば、失業、所得再分配政策、課税の理論、政治過程・政府の失敗、分権化・民営化、地方財政、政策の動学的整合性の中から、多数決で1～2つ選んでとりあげます。

履修上の留意点 公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法 レポート・試験で評価します。
教科書 特に指定しません。

履修コード	100611
科目名	現代産業論 a
担当者名	きたじま まもる 北嶋 守

講義のねらい 本講義は、日々変化する日本の産業の動向について、特に戦後からバブル経済崩壊までの高度経済成長期とその後のインターネットの登場、経済のグローバル化、環境問題及び人口減少社会の到来等々に伴う日本の産業の変化に焦点を当て、具体的な事例を紹介することによって、学生諸君の現代産業を見る眼を豊かにすることを目的に開講するものである。

講義の内容・授業スケジュール 第1回目は、講義全体の進め方を説明した上で、日本の産業の分類及び歴史的概観について講義する。第2回目から第3回目は、戦後日本の産業の黎明期について講義する。第4回から第5回は、戦後日本の産業の革新期・成長期について講義する。第6回から第7回は、バブル経済崩壊に至る経緯及びバブル経済崩壊後の日本の産業構造の変化について講義する。第8回から第9回は、IT(情報技術)、インターネットの普及が日本の産業に与えた影響を中心に講義する。第10回から第11回は、アジア地域を中心とした日本企業のグローバル展開に伴う日本の産業の変化について講義する。第12回から第13回から地球環境問題が日本の産業に与える影響について講義する。第14回から第15回は、日本が直面している人口減少及び2007年問題と日本の産業の今後の方向性について講義する。

履修上の留意点 定期的にレポート課題を用意するので、常に産業情報、特に新聞情報について目を通しておくこと。欠席は大きなマイナスになるのでその点も十分留意すること。

成績評価の方法 レポート課題の提出状況、期末試験(執筆試験)及び出席状況に基づいて評価する。

教科書 開講時に指定する。また、必要に応じてプリント類を配布する。

参考書等 新庄浩二『産業組織論』(有斐閣ブックス)、経済産業省等編『ものづくり白書』、中小企業庁編『中小企業白書』、(財)日本情報処理開発協会編『情報化白書』、(財)機械振興協会経済研究所編『日本の機械産業2007』他。

その他 意欲的な学生の出席を期待する。

履修コード	100621
科目名	現代産業論 b
担当者名	きたじま まもる 北嶋 守

講義のねらい 本講義は、日々変化する日本の産業の動向について、リーディング産業及び地域産業等に焦点を当てながら、個々の産業セクター別に具体的な事例を紹介することによって、学生諸君の現代産業を見る眼を豊かにすることを目的に開講するものである。

講義の内容・授業スケジュール 第1回目は、講義全体の進め方を説明した上で、日本の産業を牽引する産業(リーディング産業)の概要及びこれまでのリーディング産業の変遷過程について講義する。第2回目から第3回目は、日本の自動車産業の動向とその競争力について講義する。第4回から第5回は、電気電子産業(特に半導体・液晶等)の動向について講義する。第6回から第7回は、素材産業の動向について講義する。第8回から第9回は、医療福祉機器及び環境機器産業の動向について講義する。第10回から第11回は、サービス及びコンテンツ産業の動向について講義する。第12回から第13回は、地域産業(観光及び地場産業)の動向について講義する。第14回から第15回は、今後成長が期待される新産業分野とそれに関連する産業政策及び世界規模で見た場合の日本の産業の競争力向上における課題について講義する。

履修上の留意点 定期的にレポート課題を用意するので、常に産業情報、特に新聞情報について目を通しておくこと。欠席は大きなマイナスになるのでその点も十分留意すること。

成績評価の方法 レポート課題の提出状況、期末試験(執筆試験)及び出席状況に基づいて評価する。

教科書 開講時に指定する。また、必要に応じてプリント類を配布する。

参考書等 新庄浩二『産業組織論』(有斐閣ブックス)、経済産業省等編『ものづくり白書』、中小企業庁編『中小企業白書』、(財)日本情報処理開発協会編『情報化白書』、(財)デジタルコンテンツ協会編『デジタルコンテンツ白書』、(財)機械振興協会経済研究所編『日本の機械産業2007』他。

その他 意欲的な学生の出席を期待する。

履修コード	O94101
科目名	地方財政論
担当者名	<small>しのほら あきら</small> 篠原 章

講義のねらい 地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール 年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論とは何か
2. 財政の機能と地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄
4. 地方財政と都市計画・地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：「東京」

履修上の留意点 初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法 学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。

参考書等その他 片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定。

履修コード	O94201
科目名	国際金融論
担当者名	<small>たなか りょういち</small> 田中 綾一

講義のねらい 国境を越えた金融取引が引き起こす様々な問題を取り扱うのが国際金融論である。前期では国際収支や国際決済、外国為替相場などの基本的な事項を取り扱い、後期では国際通貨体制の変遷や昨今の諸問題などの発展的な事項を取り扱う。新聞記事を読みこなせる程度の国際金融に関する知識を獲得してもらうことが講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) 国際収支統計の基礎
 - ・構成項目の内容
 - ・国際収支の赤字と黒字
 - ・国民所得と国際収支
- (2) 国際決済と国際通貨
 - ・国際決済の方法
 - ・為替調整取引と為替媒介通貨
- (3) 外国為替市場と為替相場
 - ・外国為替市場の構造
 - ・外国為替相場の見方

後期

- (4) 国際通貨体制の歴史
 - ・国際通貨体制とは
 - ・IMF体制の成立
 - ・IMF体制の変容
- (5) 国際金融の諸問題
 - ・ドル体制の現状と課題
 - ・欧州通貨統合の歴史と現状

*なお、授業の進度は受講者の反応をみて調整することがある。

履修上の留意点 出席はとらないが、深い理解のためには毎回の出席が不可欠である。

成績評価の方法 学年末試験（60%）と夏休みのレポート（40%）の合計。なお、授業中の私語は減点対象とするので注意すること。

教科書等その他 奥田宏司・横田綾子・神沢正典編『現代国際金融－構図と解明－』（法律文化社）2006年。講義中に適宜指示する。

国際金融に関係のある（と自分が思う）TVニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと。

履修コード	094301
科目名	人口論
担当者名	もりおか じん 森岡 仁

講義のねらい 本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかにわれわれにとって身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 経済人口学とは何か、A. スミスの人口論、T. R. マルサスの人口波動理論、K. マルクスの相対的過剰人口論、J. S. ミルの人口論、E. キャナンの適度人口論、J. M. ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9～13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者 H. ライベンシュタイン、G. S. ベッカーの出生力の経済学、R. イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14～16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17～25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26～29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点 近年大きな関心事になっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法 学年末の定期試験。追試験も実施する。

教科書 大淵寛・森岡仁『経済人口学』（新評論）1981年2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』（原書房）2006年2800円。4-562-09112-6

参考書等 大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送協会）1997年

その他 河野稔『人口学への招待』（中央公論新社）2007年

授業方法：講義

履修コード	O94401
科目名	教育経済論
担当者名	<small>やしき ただみつ</small> 谷敷 正光

講義のねらい

この講義は経済発展に人材養成が果たした意義とその役割について明らかにする。
日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この経済発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。一時、欧米各国は経済面で国際競争力の低下が顕著と成り、国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から、一連の教育改革が行われた。

本講は、こうした欧米先進国の経済再生計画と教育改革の動向を明らかにする。

さらに、外国からは高く評価された日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、「特需」を契機に復興した経済復興期から高度経済成長期を中心に、それぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材養成を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス：経済・産業の発展とリテラシー、(2) 日本の産業化とリテラシー：教育水準と識字率、非識字者と児童労働、(3) 日本の近代化と教育：徳川時代の遺産－工業化の準備機能、(4) 開発途上国と非識字運動、(5) 明治維新と富国強兵・殖産興業、(6) 学制時代における経済と教育：産業革命育成期（明治10年以前）、(7) 学制時代における経済と教育：「学制」公布と行政管理学校、(8) 教育令時代における経済と教育：産業革命準備期（明治10年代）、(9) 教育令時代における経済と教育：「教育令」公布と職工学校・機業地学校、(10) 学校令時代における経済と教育：第1次産業革命と紡績業の発展、(11) 学校令時代における経済と教育：「学校令」公布と実業補習学校・徒弟学校、(12) 実業学校令時代における経済と教育：第2次産業革命と鉄鋼業の発展、(13) 実業学校令時代における経済と教育：第2次産業革命と生産財生産部門の確立、(14) 実業学校令時代における経済と教育1：「実業学校令」公布と委託教育・工場内学校、(15) 実業学校令時代における経済と教育2：「実業学校令」公布と委託教育・工場内学校、(16) 復興期の経済発展と教育：「産業教育振興法」、(17) 高度成長第I期の経済発展と教育：在来・新鋭重化学工業、(18) 高度成長第II期の経済発展と教育：「国民所得倍増計画」、(19) 高度成長第III期の経済発展と教育：いざなぎ景気、(20) 高度成長第IV期の経済と教育、(21) 低成長期の経済と教育：2つのオイルショック、(22) バブル経済・長期不況期の経済と教育、(23) サッチャー政権の経済と教育1、(24) サッチャー政権の経済と教育2：「教育改革法」、(25) プレア政権の経済と教育1：「福祉のニューディールとオプティミズム」、(26) プレア政権の経済と教育2：「学校の水準・枠組み法」とピーコンスクール、(27) レーガン政権の経済と教育：「危機に立つ国家」、(28) ブッシュ政権の経済と教育：「全米教育サミット」と国家教育目標、(29) クリントン政権の経済と教育：「アメリカ教育法」、(30) むすび 課題の整理

履修上の留意点

- ① 年間7～8回程度小テストを実施し、平常点とする。20%
- ② 毎時間、講義の参考資料として、VTR・DVDを使用する。
- ③ 毎時間、講義用に板書プリントと資料プリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。

成績評価の方法

授業中の小テスト（20%）と期末試験の成績（80%）によって評価する。
追試験は実施する。

**教科書
参考書等**

教科書の代わりとして講義の際に①板書プリントと②資料プリントを配布する。
参考文献は講義の中で適宜紹介するので、講義の参考にして下さい。
OECD編『世界の児童労働』明石書店。
H・R・ウオッチ著『インドの債務児童労働』明石書店。
中岡哲郎著『日本近代技術の形成 伝統と近代のダイナミクス』朝日新聞社。
佐々木譲著『幕臣たちと技術立国』集英社。
大野健一著『途上国日本の歩み』有斐閣。
以下は講義の中で単元ごとに紹介します。

履修コード	093831
科目名	福祉経済論
担当者名	おくむら やすのり 奥村 保規

講義のねらい 現在の日本は、「格差社会」とよばれ、様々な格差が問題とされています。特に、若者の所得格差の拡大が顕著であり、学生諸君にとっても身近な問題と言えるでしょう。また、少子高齢化を背景とした、年金の問題なども、大きな問題と考えられています。本講義は、経済学を通してこれらの問題を明らかにし、解決する手段を議論することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 経済学と福祉経済学の目的 (2、3)
- (2) 日本と世界の不平等と貧困の現状 (4～6)
- (3) 市場の役割とその限界 (7～9)
- (4) 少子高齢化と年金・世代間格差の問題 (10～13)
- (5) その他の格差—若年世代の格差、教育格差—の問題 (14、15)

履修上の留意点 本講義では、特にミクロ経済学の考え方を参考にしながら、上述の内容を考えます。ただし、ミクロ経済学の理解を前提に講義するわけではありません。

成績評価の方法 講義内で数回の提出課題を求め、その課題を基に評価します。

教科書 指定しない

参考書等 講義内で逐次知らせる。

専門教育

履修コード	093841
科目名	医療経済論
担当者名	おくむら やすのり 奥村 保規

講義のねらい 近年、日本では医療制度の改革が叫ばれています。その意見の背景には、少子高齢化、財政赤字の拡大、経済格差の拡大に対する懸念、などがあります。本講義は、経済学を通じ、日本経済の現状と今後を踏まえながら、医療制度のあるべき姿を議論することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 経済学と医療経済学の目的 (2)
- (2) 日本経済と医療制度の概要 (3～5)
- (3) 厚生経済学の基本定理と市場の失敗 (6～9)
- (4) 情報とリスクの問題およびその解決策 (10～15)

履修上の留意点 本講義では、特にミクロ経済学やゲームの理論などの分析手法を用います。ただし、これらの理解を前提に講義するわけではありません。また、前期開講の福祉経済論の内容とは関連がありますが、あわせて履修する必要はありません。

成績評価の方法 講義内で数回の提出課題を求め、その課題を基に評価します。

教科書 指定しない。

参考書等 講義内で逐次知らせる。

履修コード	093901
科目名	環境経済論
担当者名	山口 由二

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべての人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しきゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な実例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。

また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

・K.W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)

環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。

・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』(岩波書店)

若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。

・宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい

筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

履修コード	094601
科目名	アジア経済論
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔前期〕
1. 東アジア経済の全体像（1～2回）
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
 2. 東アジア経済と経済理論（3～5回）
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
 3. 東アジアの経済発展（6～10回）
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
 4. アジア NIEs の経済発展（11～15回）
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済（16～19回）
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
6. アジア社会主義国の経済（20～22回）
 - (1) 中国の改革・開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機（23～25回）
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力（26～28回）
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本（29～30回）
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏季休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。なお、定期試験とレポートの成績比重は、前者80%、後者20%とする。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。

参考書等

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）
参考文献については、講義中に随時紹介する。

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 修二 <small>こすぎ しゅうじ</small>

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

第1—3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。
 第4週—10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきたことである。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週—15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年—）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週—25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26—30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』

ジェットロ、2002年 周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書
 参考書等

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	<small>よどおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向。◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点 この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

成績評価の方法 アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

教科書 随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、

瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社、2005年)

グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店、1994年)

瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店、2003年)

をおすすめします。

履修コード	095001
科目名	EU統合論
担当者名	<small>くどう めい</small> 工藤 芽衣

講義のねらい 欧州連合(European Union)は、欧州統合という国民国家を超えた超国家的組織の下で、欧州の平和と繁栄の実現を目指す、第二次大戦後の歴史的・政治経済的試みの、一つの成果です。しかしながら現実を見ると、EUは域外地域の動きと無関係に展開しているのではなく、またEU内部では各国の利害が錯綜しているというのが現状です。本講義ではEUの生成と発展を、各加盟国の政治経済社会における諸政策、EU域外の動きとの関連から考察し、欧州統合の理念と現実について考えたいと思います。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- I. 欧州統合の軌跡
 1. 欧州の戦後復興と統合
 2. EEC、ECからEUへ
 - II. 欧州統合と国民国家
 1. 主要国の欧州統合への姿勢
 2. EUの諸政策
 - III. EU域外との関係
 1. 旧植民地諸国
 2. アメリカ
 3. 日本

成績評価の方法 出席、授業中に行う小テストで評価します。

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	工藤 芽衣

講義のねらい 本講義は、欧州通貨統合の経緯を、国際通貨体制およびドルの動き、加盟国とりわけ独仏の政策との関連で考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- I. プレトンウッズ固定相場制とその崩壊
- II. スネークの発足と挫折
- III. 欧州通貨制度（EMS）の展開
- IV. ユーロをめぐる諸問題

成績評価の方法 出席、授業中に行う小テストで評価します。

履修コード	095301
科目名	情報・経済ネットワーク論
担当者名	中津 光昭

講義のねらい この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ICTによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレードなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- (2)～(6) インターネットのサービスを使ってみる（株取引シミュレーション、グループウェア、経営情報システムの実例（SAP R/3））。
- (7)～(15) 情報システム概論 ーコンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- (16)～(21) 情報経済システム論 ー情報とは、カジノテーブルと収穫逓増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- (21)～(26) 電子商取引概論 ー電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- (27)～(29) インターネットビジネス概況 ーマイクロソフトにみる情報とビジネス戦略、Web2.0 やロングテール、google のビジネスモデル、インターネットビジネスを覆う危機
- (30) まとめ

履修上の留意点 ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず、コンピュータ基礎、基礎情報処理I・IIや情報入門I・IIを履修することをお勧めします。

成績評価の方法 講義時の課題、夏季休業時に課すレポートと学年末に行うテストによります。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書等その他

初回の講義で指示

初回の講義で指示

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義で履修許可票を配布するので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません。
- ・KOMAnet に登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet 未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難です）。
- ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

履修コード	095401
科目名	プログラミング論
担当者名	濱本 <small>(はまもと)</small> 和彦 <small>(かずひこ)</small>

専
門
教
育

講義のねらい	現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアロンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。
講義の内容・授業スケジュール	本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。 (1~3)ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法(構造化やオブジェクト指向) (4~5)実習のためのコンピュータ操作方法の習得 (6~8)言語学習としてのプログラム学習とCプログラムの構成 (9~10)画面への文字列の表示 (11~13)各種データとデータ構造 (14~17)変数の計算と数値の入出力 (18)中間テスト (19~22)条件付き分岐構造 (23~26)繰り返し構造 (27~29)関数 (30)総復習とまとめ
履修上の留意点	できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール(大学のメールアドレスを利用)による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。
成績評価の方法	講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。出席状況も考慮する。
教科書	特に指定しない。授業で利用するパワーポイント、プログラムリストは web 上で公開する。必要に応じてプリントを配布する。
参考書等	新訂新C言語入門 {スーパービギナー編, ビギナー編, シニア編}, 林晴比古著, ソフトバンクパブリッシング
その他	講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行い、実習中心に行う。出席、レポート提出は e-mail を用いる。よって、受講学生は、コンピュータの基本的な操作を習得している必要がある。

履修コード	095901
科目名	基礎情報処理I
担当者名	<small>あいうら ののり</small> 相浦 宣徳

講義のねらい コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット(電子メールやWWW)を利用できるようになること、さらには Microsoft Word による文書の作成技法および表計算ソフト (Microsoft Excel) の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1)教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
(2-4)パソコンの仕組み、Microsoft Windows の基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
(5-12) Word の基本操作、文書の作成・印刷、表の作成、文書レイアウト、図の作成、図の挿入
(13-15)表計算 Excel の基本操作、データ集計、関数の利用、表の書式(罫線・列幅の変更など)・印刷

履修上の留意点 1)この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2)コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3)実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4)評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
5)後期の基礎情報処理IIの履修登録ミスが目立っている。後期の基礎情報処理IIも忘れずに履修登録すること。
6)一回目の講義に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修登録すること。定員を超過した際には、経済学科に所属する学生を優先するものとする。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に実施する課題に基づき総合的に評価する。なお、高度な課題を提出した者には別途加点する。必要に応じて最終講義時間に総合テストを実施し、評価に加える。

教科書参考書等 講義時に指定する。
必要に応じて紹介する。

履修コード	096001
科目名	基礎情報処理II
担当者名	<small>あいうら ののり</small> 相浦 宣徳

講義のねらい 本講義は「基礎情報処理I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト (Microsoft Excel) によるデータ処理法、Microsoft PowerPoint によるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1-5) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携
(6)プレゼンテーションとは何か?
(7-12)プレゼンテーション PowerPoint の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
(13-15)プレゼンテーション技法

履修上の留意点 1)この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2)「基礎情報処理I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3)実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4)評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
5)4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っている。必ず後期の基礎情報処理IIも忘れずに履修届に記入して登録すること。
6)前期に開講される「基礎情報処理I」の一回目の講義に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修登録すること。
7)上記6)の受講許可書を持たない学生が、後期に開講される「基礎情報処理II」の一回目の講義に出席しても受講許可証は発行されない。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に実施する課題に基づき総合的に評価する。なお、高度な課題を提出した者には別途加点する。必要に応じて、各自作成したプレゼンテーション資料を用いた個人発表、最終講義時間での総合テストを実施し、評価に加える。

教科書参考書等 開講時に指定する。
必要に応じて紹介する。

履修コード	096101
科目名	応用情報処理I
担当者名	井川 俊実 <small>いがわ としむ</small>

講義のねらい 表計算ソフト（Excel）を使用したデータの分析やグラフ化は経済学を学ぶものにとっても必要不可欠なものになっています。この講義では、Excel の基本操作を習得しているものが経済分析などへの応用に活かせるように更に高度な技法を習得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ Excel の基本操作（セル参照、合計関数など）
- ・ ピボットテーブル
- ・ VLOOKUP関数
- ・ テンプレートとクエリ
- ・ ExcelVBA の基礎
- ・ 相関と単回帰分析
- ・ パレート図の作成とABC分析
- ・ ゴールシークとソルバー、線形計画法への適用
- ・ 重回帰分析（3変数間の相関）

履修上の留意点

Excel の応用面に重点を置くので、「基礎情報処理」講座を履修するなど、Excel の基本操作は知っていることを前提にしています。

成績評価の方法

講義の中で課す課題及び出席状況により評価します。

教科書

配布資料（講義時に随時配布します）。

参考書等

『仕事に役立つ Excel ビジネスデータ分析』（ソフトバンクパブリッシング）2,480円

その他

『実践ワークショップ Excel 徹底活用統計データ分析』（秀和システム）2,500円

本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

履修コード	096201
科目名	応用情報処理II
担当者名	井川 俊実 <small>いがわ としむ</small>

講義のねらい

プレゼンテーション技術は、企業の営業活動や社内会議などでのプレゼンテーションで非常に重要なものになっていますが、大学においても研究成果の発表などで今後ますます重要になってきます。本講義では、プレゼンテーションツールの代表とも言える PowerPoint を使用して、効果的な発表資料の作成とその資料に基づく発表を繰り返して行なうことで実際に活用できるレベルのプレゼンテーション技術を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ 図解のポイント
- ・ PowerPoint の基本操作（クリップアート・写真の取込み、表・棒グラフ、円グラフ・ Excel 表・組織図）
- ・ アニメーションの設定
- ・ 良い図解悪い図解
- ・ プレゼンテーション技法
- ・ プレゼン資料作成とプレゼンの実施
- ・ 企画書の作成

履修上の留意点

PowerPoint の活用面に重点を置くので、「基礎情報処理」講座を履修するなど、PowerPoint の基本操作は知っていることを前提にしています。

成績評価の方法

PowerPoint で作成した資料の発表に多くの時間を割くので、欠席や遅刻をしないこと。作成した PowerPoint 資料とその発表及び出席状況により評価します。

教科書

配布資料（講義時に随時配布します）。

参考書等

『ひと目でわかる Microsoft PowerPoint プレゼン術』（日経BPソフトプレス）1,980円

その他

『PowerPoint プレゼンに勝つスライド作成の技』（技術評論社）2,380円

本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

履修コード	098201
科目名	憲法
担当者名	内田 真利子

講義のねらい	市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の実在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。
履修上の留意点	授業に毎週出席できることが履修の最低条件。形式的な出席ではなく、主体的な参加意欲・努力を求める。
成績評価の方法	通常授業時間中に年2回テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。
教科書 参考書等 その他	授業で指示する。 六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。 追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

履修コード	098301
科目名	民法一部
担当者名	竹中 智香

講義のねらい	民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。
講義の内容・授業スケジュール	〔前期〕 (1) 導入、(2) 民法における個人、(3) 権利能力、(4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度、(5) 所有権の概念、(6) 所有権の効力、(7) 契約とその効力、(8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1]、(9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2]、(10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1]、(11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2]、(12) 予備日 〔後期〕 (1) 法人 [1]、(2) 法人 [2]、(3) 代理制度、(4) 無権代理、(5) 表見代理、(6) 法律行為、(7) 消滅時効、(8) 取得時効、(9) 抵当権、(10) 先取特権、留置権、質権、(11) 譲渡担保、(12) 予備日
履修上の留意点	民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、講義の前の予習は必ず必要となります。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。
成績評価の方法	学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。
教科書 参考書等	山野目章夫『民法 総則・物権 [第4版]』(有斐閣) 1,800円 六法（コンパクトタイプのもの） 『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

履修コード	098401
科目名	民法二部
担当者名	織田 晃子

講義のねらい 民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 売買の交渉から契約の成立、その履行
 - ① 契約の成立
 - ② 契約の履行過程
 - ③ 契約の履行終了
 - ④ 登記の移転
 - ⑤ 債権譲渡
- 2 契約不履行の場合の法的処理
 - ① 債務不履行
 - ② 契約の解除
 - ③ 他人の物の売買
 - ④ 瑕疵担保責任
 - ⑤ 債権者代位権
 - ⑥ 詐害行為取消権
- 3 その他

第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

六法は必ず持参すること
 期末試験の成績による。
 『民法2債権法』（勁草書房）・『コンパクト六法』（岩波）

履修コード	098501
科目名	商法一部
担当者名	荒木 正孝

講義のねらい この講義では、会社法（株式会社、持分会社＜合名会社、合資会社、合同会社＞）の重要かつ基礎的な事項について説明するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。ただし、教場には、最新の六法を持参する必要がある。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

成績は、12月の最終授業に行われるペーパーテストの点数で評価します。
 教科書は、授業の初めに指示します。
 江頭・岩原・神作・藤田編 会社法判例百選（別冊ジュリストNO.180）（有斐閣）

履修コード	098601
科目名	商法二部
担当者名	なかほま よしあき 中濱 義章

講義のねらい 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 5 代理人・代表者による手形行為
- 6 無権代理と偽造
- 7 手形関係と手形の実質関係
- 8 手形の振出
- 9 白地手形
- 10 手形の裏書
- 11 為替手形の引受、手形保証
- 12 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 13 手形上の権利と手形抗弁
- 14 手形上の権利の消滅
- 15 支払・不渡・遡求
- 16 小切手特有の法制度
- 17 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点 六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。

成績評価の方法 民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書等 濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂）

開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第2版）』（有斐閣）

専門教育

履修コード	098701
科目名	経済法
担当者名	わかざやし ありさ 若林 亜理紗

講義のねらい 経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール 以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法 期末試験により評価を行う。

教科書等 丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）
別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他の 授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂

講義のねらい 今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

講義の内容・授業スケジュール この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。
詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特色
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 賃金、賞与、退職金
- (10) 労働時間、時間外・休日労働
- (11) 休憩、休日、休暇
- (12) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (13) 労働災害など

履修上の留意点 出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No。そして無断で席を立つことも No。いわゆる授業のマナーは守ってください。

成績評価の方法 憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価が付きません。レポートや確認テストや中間試験そして出席も考慮して評価をします。

教科書 追試験は実施します。
道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）、金子征史ほか著『入門労働法』（有斐閣双書）を挙げておきます。「参考書等」で述べる本のうちから最低1冊は、必ず購入して自宅学習に使ってください。なお、近いうちに教科書(共著)が出版される予定です(準備中)。

参考書等 概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。
六法は最新のもの(法律改正や制定があるので特に注意)。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他 各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	098901
科目名	行政法
担当者名	こばやし ひろひと 小林 弘人

講義のねらい 行政法の基礎的な知識を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回～3回：行政法の意義および基本原理
- 4回～6回：行政上の法律関係、行政手続
- 7回～9回：行政主体に関する法
- 10回～12回：行政立法
- 13回～17回：行政行為
- 18回：行政計画
- 19回：行政指導
- 20回：行政上の契約
- 21回・22回：行政強制
- 23回・24回：行政罰
- 25回～30回：行政救済に関する法

履修上の留意点 とくになし

成績評価の方法 出席状況と二回予定しているレポート提出および期末テストを勘案して評価する。

教科書 桜井昭平編著『現代行政法』八千代出版 定価2900円＋税、ISBN4-8429-0861-0

参考書等 講義時適宜指示する。

履修コード	099001
科目名	国際法
担当者名	橋本 靖明

講義のねらい 私達は今、国際社会の中で生きています。国際社会の動きとその行動を規律する法体系である国際法を無視しては、国際社会のさまざまな関係を良好に保つことができないのです。本講義では、皆さんとともに国際社会の現状と展望を概観しつつ、その社会を規律する国際法について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 大きく、以下の三パートに分けて進めます。

履修上の留意点 ①国際法の全体像を概観する。
②領域（陸、海、空、宇宙等）に関する国際法を考える。
③領域を越えるさまざまな今日の問題（人権、環境、テロ等）に関する国際法を考える。

成績評価の方法 事前の準備は基本的に不要ですが、その分、授業への出席が求められます。

教科書 受講生の出席状況と筆記試験の回答内容から総合的に成績評価を行います。

参考書等 編者：大沼保昭
署名：『国際条約集2008年版』
出版社名：有斐閣
価格：未定（2007年版は2940円）
ISBN：（平成20年3月に発行予定）

その他 特に指定しません。
講義は、必要に応じて資料等を参照しながら行います。

履修コード	099811・099812・099813・099814
科目名	経済外国書講読I a〔英語〕 外国書講読I a〔英語〕 経済外国書講読II a〔英語〕 外国書講読II a〔英語〕
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール 第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます（多数決）。

成績評価の方法 第2回以降：1人あたり半ページ程度を音読して訳してもらいます。

教科書 出席・予習・発表（訳）の平常点により評価します。
ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

履修コード	099821・099822・099823・099824
科目名	経済外国書講読I b〔英語〕 外国書講読I b〔英語〕 経済外国書講読II b〔英語〕 外国書講読II b〔英語〕
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール 第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます（多数決）。

成績評価の方法 第2回以降：1人あたり半ページ程度を音読して訳してもらいます。

教科書 出席・予習・発表（訳）の平常点により評価します。
ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

履修コード	099831・099832・099833・099834			
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔英語〕	外国書講読Ⅰa〔英語〕	経済外国書講読Ⅱa〔英語〕	外国書講読Ⅱa〔英語〕
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広			

講義のねらい 地域経済および中小企業に関する英語文献を講読し、英文専門書の読解力を身につける。
講義の内容・ 輪読形式で行う。
授業スケジュール
履修上の留意点 受講生は、授業範囲の予習が欠かせない。
各自、指定された箇所をまとめておく必要がある。
成績評価の方法 出席・予習状況など平常点で評価する。
期末試験は実施しない。
教科書 Piore, M.J. & Sabel, C.F., *The Second Industrial Divide - Possibilities for Prosperity*, Basic Books, 1984.
参考書等 この他は、適宜、指示する。
適宜、指示する。

履修コード	099841・099842・099843・099844			
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕	外国書講読Ⅰb〔英語〕	経済外国書講読Ⅱb〔英語〕	外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広			

講義のねらい 地域経済および中小企業に関する英語文献を講読し、英文専門書の読解力を身につける。
講義の内容・ 輪読形式で行う。
授業スケジュール
履修上の留意点 受講生は、授業範囲の予習が欠かせない。
各自、指定された箇所をまとめておく必要がある。
成績評価の方法 出席・予習状況など平常点で評価する。
期末試験は実施しない。
教科書 適宜、指示する。
参考書等 適宜、指示する。

履修コード	099931・099932・099933・099934			
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕	外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕	経済外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕	外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕
担当者名	ありい ゆきお 有井 行夫			

講義のねらい 社会経済学（マルクス経済学）のドイツ語をきたえることが目標です。
講義の内容・ カール・マルクスの『資本論』、第1部第1章商品論に挑戦します。ドイツ語とともに商品論の理論的内容に立ち入ります。毎週1ページ進むことを目標とし毎回受講者すべてに翻訳を課します。
授業スケジュール 受講者に全出席をもとめます。
履修上の留意点
成績評価の方法 平常点、とくに出席点で評価します。
教科書 テキストは有井がコピーを配布します。

履修コード	099941・099942・099943・099944			
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕	外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕	経済外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕	外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕
担当者名	ありい ゆきお 有井 行夫			

講義のねらい 社会経済学（マルクス経済学）のドイツ語をきたえることが目標です。
講義の内容・ カール・マルクスの『資本論』、第1部第1章商品論に挑戦します。ドイツ語とともに商品論の理論的内容に立ち入ります。毎週1ページ進むことを目標とし毎回受講者すべてに翻訳を課します。
授業スケジュール 受講者に全出席をもとめます。
履修上の留意点
成績評価の方法 平常点、とくに出席点で評価します。
教科書 テキストは有井がコピーを配布します。

履修コード	100011・100012・100013・100014
科目名	経済外国書講読I a〔フランス語〕 外国書講読I a〔フランス語〕 経済外国書講読II a〔フランス語〕 外国書講読II a〔フランス語〕
担当者名	清水 卓

講義のねらい フランス語や英語でEUの公文書を読み取る力をつけるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 参加者の関心に応じて専門資料を読解するため、EUのホームページから始めて主要政策分野の資料を一通り読み、結びに専門分野の論説記事を翻訳します。

履修上の留意点 時間を費やす以外に外国語、外国文化を理解する方途はありません。粘り強くがんばってください。

成績評価の方法 最後の翻訳文の出来具合で判定します。

教科書 なし

参考書等 EU公式文書

履修コード	100021・100022・100023・100024
科目名	経済外国書講読I b〔フランス語〕 外国書講読I b〔フランス語〕 経済外国書講読II b〔フランス語〕 外国書講読II b〔フランス語〕
担当者名	清水 卓

講義のねらい EUの経済分野に関するフランス語あるいは英語の公式文書やEUホームページ、その他を読み取る力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール EUのホームページなどから、参加者の実力に応じたテキストを選択して読み解きます。

履修上の留意点 外国語や外国文化を理解するには時間をかけることが必要で、予習に3, 4時間をあてましょう。

成績評価の方法 最後に提出してもらった翻訳文の出来具合で判定します。

教科書 なし

参考書等 EUホームページ

履修コード	100131・100132・100133・100134
科目名	経済外国書講読I a〔中国語〕 外国書講読I a〔中国語〕 経済外国書講読II a〔中国語〕 外国書講読II a〔中国語〕
担当者名	小杉 修二

講義のねらい 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。

講義の内容・授業スケジュール
第1－5週：第1章
第6－10週：第2章
第11－15週：第3章
第16－20週：第4章
第21－25週：第5章
第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

履修コード	100161・100162・100163・100164
科目名	経済外国書講読Ib〔中国語〕 外国書講読Ib〔中国語〕 経済外国書講読IIb〔中国語〕 外国書講読IIb〔中国語〕
担当者名	小杉 修二

講義のねらい 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。
ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。

講義の内容・授業スケジュール 第1－5週：第1章
第6－10週：第2章
第11－15週：第3章
第16－20週：第4章
第21－25週：第5章
第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

履修コード	100141・100142・100143・100144
科目名	経済外国書講読Ia〔ロシア語〕 外国書講読Ia〔ロシア語〕 経済外国書講読IIa〔ロシア語〕 外国書講読IIa〔ロシア語〕
担当者名	山縣 弘志

講義の内容・授業スケジュール 取り上げる主な内容は以下のとおり。
(1) 農工複合体
(2) 気候帯
(3) コルホーズ
(4) ソフホーズ

成績評価の方法 授業における発表によって評価する。

教科書 Сельское Хозяйство СССР, 1982.

履修コード	100171・100172・100173・100174
科目名	経済外国書講読Ib〔ロシア語〕 外国書講読Ib〔ロシア語〕 経済外国書講読IIb〔ロシア語〕 外国書講読IIb〔ロシア語〕
担当者名	山縣 弘志

講義の内容・授業スケジュール 主な内容は以下のとおり。
(1) 穀物生産
(2) 飼料作物
(3) 加工用作物

成績評価の方法 授業における発表によって評価する。

教科書 Сельское Хозяйство СССР, 1982.

履修コード	100151・100152・100153・100154
科目名	経済外国書講読Ia〔朝鮮語〕 外国書講読Ia〔朝鮮語〕 経済外国書講読IIa〔朝鮮語〕 外国書講読IIa〔朝鮮語〕
担当者名	鄭 章淵

講義の内容・授業スケジュール 韓国の経済発展に関する朝鮮語（韓国語）文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法 定期試験、出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。
教科書 初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

履修コード	100181・100182・100183・100184
科目名	経済外国書講読I b〔朝鮮語〕 外国書講読I b〔朝鮮語〕 経済外国書講読II b〔朝鮮語〕 外国書講読II b〔朝鮮語〕
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵

講義の内容・授業スケジュール 韓国の経済発展に関する朝鮮語（韓国語）文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法 定期試験、出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。

教科書 初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

履修コード	100601
科目名	現代経済事情I〔ロシアの現在〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい ロシアは日本に一番近い国です。現代のロシア経済事情を勉強します。

講義の内容・授業スケジュール 現代ロシア経済のファンダメンタルズとロシア政治システム。ロシア経済の特徴と経済動向。計画経済下のロシア（ソ連）から市場経済化したロシア。民営化の到達点と問題点。ロシアの金融政策のメカニズム。ロシアの金融制度。ロシアの財政状況。ロシア経済の市民生活。インフレ問題。失業と労働問題。地下経済の活力。ロシアの工業、農業、サービス業と商業。ロシア教育と経済。マイノリティーと民族問題。ロシアの国際貿易と国際経済関係。地方の経済。シベリア・極東の開発と日ロ経済関係。新時代の日ロ関係をめざして。

成績評価の方法 レポートを随時書いてもらい、出席を重視する。

教科書 教科書はありませんので授業中に

その他 ノートを取るのとは当然のことに。参考書は適宜指示する。

履修コード	100701
科目名	現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕
担当者名	ながせ りえい 長瀬 理英

講義のねらい 国際協力を論じる場合、「援助する側」に立ったものは多いが、「援助される側」に立つものは決して多くない。ここでは、「援助される側」の視点に留意しながら、望むべき国際協力を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、(2～4) 国際協力の基本的考え方—政府開発援助（ODA）と非政府組織（NGO/NPO）による草の根協力、(5～8) プロジェクトとは何か—その考え方と実際、(9～12) 国際協力を改善するための考え方と実際、(13～) 今後の国際協力の展望

成績評価の方法 レポートにより評価する。

教科書 毎回、プリントを配布する。参考書も適宜、指摘する。

履修コード	100801
科目名	現代経済事情III〔世界経済と中小企業〕
担当者名	高田 好章

講義のねらい 日本の経済の国際化は、東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきています。そのような視点から、世界経済と中小企業の問題を一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール 以下のテーマを軸に、時事問題に関連させながら講義いたします。
 ◇格差と貧困 ◇新しい働きすぎ ◇雇用の外部化と派遣・請負 ◇アメリカの労働市場改革 ◇ILOと日本の労働基準 ◇資産格差と生活格差 ◇税制提言と格差 ◇グローバル化と繊維産業 ◇パイオと多国籍企業

履修上の留意点 授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法 成績評価はレポートによります。レポートは受講中に適宜課題を出します。また自発的に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教科書等 森岡孝二編『格差社会の構造 グローバル資本主義の断層』桜井書店、2007年9月刊、2700円。
 以下を読んでおいてください：鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』昭和堂、1999年刊、3000円。その他の参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

その他 図や表などの具体的な資料を紹介し、時事問題のビデオも使って講義をすすめます。適宜アンケートをお願いし、それらを取り上げながら双方向の授業を念願しています。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文（以上メールでも可）は大いに歓迎します。講義に使用したレジュメ、図・表などの資料はホームページに掲載いたしますので、復習・レポート執筆等の参考にして下さい。E-mail: ystakada@komazawa-u.ac.jp ホームページ：http://home-page1.nifty.com/ytakada/

専門教育

履修コード	100901
科目名	現代経済事情IV〔今日の日本の医療現場〕
担当者名	佐藤 公美子

講義のねらい 病院に一度も行かず、生涯を終える人は少ないでしょう。さらに、高齢化が進む日本にとって、医療に関わるマンパワーが今後ますます必要になるでしょう。日本の医療は今、どうなっているのでしょうか。

わが国の医療は近年、高度化、専門化、複雑化及び医療事故の多発を背景に、医療サービスの質を確保する方策が検討されています。今日の現状を把握したうえで、多面的な視点から日本の医療について考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール ①日本の医療・看護の歴史的背景、②日本の医療・看護の現状分析、③医療・看護の日米比較、これら3つの主テーマを軸に、現場の実際の声を交えながら、講義を展開します。

履修上の留意点 話題提供、問題提起をしますので、その課題に対して質問や意見、感想を持ちながら講義に臨んでください。一方的な講義ではなく、皆さんからの声を反映させた参加型の講義にしたいと思えます。

成績評価の方法 ①出席40% ②感想文、レポート60%
 *定期試験は行いません。

教科書等 指定はしません。

その他 皆さんの希望により随時紹介します。
 講座開講中は e-mail を使い、皆さんの疑問や質問、要望などを受けようにします。

履修コード	099211
科目名	流通経済論
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男

講義のねらい

近年ますます大学においても、学問が軽視される風潮にあります。そして大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として実用主義・実学主義を売りものにする大学や、大学は社会的要請に応えねばならないとして、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実には困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって、容易に単位が取得できるということの意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

履修コード	091701
科目名	商業政策
担当者名	<small>ばんば ひろゆき</small> 番場 博之

講義のねらい 「クイズ番組の賞金はなぜ1,000万円までしかないのか?」。それは、そのように規定するルールがあるからである。このような流通や商業に関わるルール(公共政策)のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

講義の内容・授業スケジュール
 (1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方
 (2~5) 流通・商業の基礎知識
 (6~9) 流通・商業政策の枠組み
 (10~15) 競争政策
 (16~21) 振興政策と調整政策
 (22~27) まちづくり政策
 (28~30) 海外における商業に関わる政策

履修上の留意点 詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法 定期試験によって評価する。ただし、履修者数によってはレポート等を課すこともある。

教科書 加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 『現代流通入門』 有斐閣 2400円
ISBN978-4-641-18351-3

参考書等 番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房
岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店
日本流通学会編『現代流通事典』白桃書房
渡辺達朗『流通政策入門』中央経済社

その他 現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「テーマ講義」を何回かおこなう予定である。「テーマ講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

専門教育

履修コード	091801
科目名	マーケティング
担当者名	<small>そが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義のねらい マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容・授業スケジュール
 1~2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。
 3~9回 製品政策について学習させる。
 その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。
 10~15回 価格政策について学習させる。
 その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。
 16~22回 チャンネル政策について学習させる。
 流通機構とメーカーの販売チャンネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。
 23~28回 促進政策について学習させる。
 広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。
 29~30回 マーケティング・ミックスについて学習する。

履修上の留意点 マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法 夏休みの課題レポート(20%)年度末の課題レポート(20%)と平常点(講義中の小テスト評価:60%)によって評価する。

教科書 基本的に教科書は使用しない。

参考書等 参考書は適宜紹介する。

その他 授業方法-講義形式

履修コード	096501
科目名	商業史
担当者名	幸野 保典 <small>このり やすのり</small>

講義のねらい 広い意味での商業とは、商品（あるいはサービス）を円滑に生産者から消費者（あるいはサービス受益者）に社会移転させる行為を指す。生産者から消費者へ商品が移転する過程、すなわち、商品取引過程で介在する倉庫業・運輸業や金融業・保険業も広義の商業の中に含まれる。

本講義では、いわゆる狭義の商業とされる問屋・卸と小売業を中心として、これらの歴史的展開を幕末維新期から戦前期（1859年～1945年）までを四期にくぎり検討する。そして当該期に、社会経済構造の変容と係わらせながら問屋・卸と小売業が、商業機構の内部で役割をどのように変化したか、また新たな商業形態をいかに出現させたかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1期 外圧への権力・商人的対応。
1. 自由貿易の開始から産業革命へ。
 2. 外圧の下で拡大する国内市場。
 3. 問屋＝卸商主導の商業機構の再編。
- 第2期 産業革命と流通の新基軸。
4. 産業革命の進行と生活・社会に現出する諸変化。
 5. 商業関連政策・制度の整備。
 6. 交通・通信網の発達と商業の再編。
 7. 第一次大戦期の商業と消費。
- 第3期 戦間期の商業と消費—不況・恐慌から景気回復へ—。
8. 俸給生活者の増加と消費構造の変化。
 9. 関東大震災後の商業構造の変容。
 10. 小売業の新たな展開。
 11. 1930年代の中小小売商の窮乏化と政策対応。
- 第4期 戦時下の商業統制。
12. 日中戦争の卸・小売業。
 13. 「新体制」下の商業再編成。
 14. アジア太平洋戦争期の配給機構。

成績評価の方法教科書

前期にレポート、後期に筆記試験を行う。
石井寛治編『近代日本流通史』（東京堂出版）2005年 2800円＋税 ISBN 4-490-20550-3

参考書等

石原武政・矢作敏行編『日本の流通100年』有斐閣、2004年
石井寛治『日本流通史』（有斐閣）2003年。鈴木安明『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年。

その他の

授業の方法—講義形式で行う。

履修コード	096601
科目名	消費経済論
担当者名	あねは あき 姉齒 暁

講義のねらい

「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動が抱える問題が噴き出す場でもある。私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。米国産牛肉の輸入禁止をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金の無人店舗から消費者信用の性格が見えてくる。

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるこうした問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 今日の「生産」「流通」と消費経済
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 2. 経済の変化と消費生活
 3. 流通システムの変化と消費生活
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. 豊かさ論議をめぐって－「消費のサービス化」から豊かさを考える
 2. 家計と金融－家計内債務と消費者問題
 3. 「情報」・「情報化社会」と消費
 4. ITと消費生活への影響
- III. グローバリゼーションと消費生活
 1. 食料輸入大国日本の消費生活
 2. グローバリゼーション下における地域経済と消費生活
 3. 環境問題を生産・流通・消費の相互連関から考える

履修上の留意点

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。私語および中退の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

成績評価の方法

中間試験及び学年末試験によって評価する。講義の中で行われた受け答えも、随時、評価に組み入れる。

教科書
参考書等
その他

教科書は使用しない。
参考文献などについては講義の中でそのつど紹介する。
配布するレジメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

履修コード	091911・091912
科目名	企業管理論 a 経営管理論 a
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝

講義のねらい

現代の経済的・社会的環境が変化しているなかで、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が問題となっている。本講義では、現代の企業管理の構造的特質を解明していくことを目的とする。企業におけるマネジメントの基本的役割、企業管理の発展史を踏まえ、企業管理の現代的課題を考察していく。本講義は、現代企業における株式所有・会社支配・戦略的管理に関連づけてコーポレート・パワーの権能の行使および行使システムの現代的特質を明らかにし、現代の企業管理におけるトップ・マネジメントの構造と機能を理解することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス (1)
 - 2 経営管理論と企業・市場・社会 (2～3)
 - 3 市場・社会と企業：国際比較 (4～5)
 - 4 アメリカ企業と社会 (6～7)
 - 5 アジア企業と社会 (8～9)
 - 6 EU社会の変貌と企業 (10～11)
 - 7 市場移行と東欧企業 (12～13)
 - 8 多様化する市場・社会と企業管理の課題 (14～15)
- 授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。
前期末(2008年7月)の定期試験により評価します。
日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。
仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書
参考書等

履修コード	091921・091922
科目名	企業管理論 b 経営管理論 b
担当者名	岩波 文孝

講義のねらい 現代の企業管理の構造的特質、特にトップ・マネジメントの経営管理機能の現代的特質を理解することを目的として、現代企業の会社支配・戦略的管理の構造的把握のためにネットワーク・アプローチを試みている。本講義は、コーポレート・パワー行使に対する企業間関係のパースペクティブを導入し、現代企業の株式所有・会社支配・戦略的管理の考察にあたって、企業間関係のパースペクティブを採用し、コーポレート・パワーとしての現代企業のトップ・マネジメント機能の考察を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス (1)
- 2 現代の企業と社会：社会的責任 (2～3)
- 3 現代社会におけるCSR (4～5)
- 4 SCRの評価と市場 (6～7)
- 5 企業と社会：コーポレート・ガバナンスのパースペクティブ (8～9)
- 6 企業と社会：社会ネットワークのパースペクティブ (10～11)
- 7 企業と社会：グローバル化のパースペクティブ (12～13)
- 8 持続可能な発展と企業管理の課題 (14～15)

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

後期末(2009年1月)の定期試験により評価します。

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。

細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

履修コード	091901
科目名	経営管理論
担当者名	岩波 文孝

講義のねらい 現代の経済的・社会的環境が変化しているなかで、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が問題となっている。本講義では、現代の企業管理の構造的特質を解明していくことを目的とする。特にトップ・マネジメントの経営管理機能の現代的特質を理解し、現代企業の会社支配・戦略的管理の構造的把握のためにネットワーク・アプローチを試みている。組織間関係のパースペクティブを採用し、コーポレート・パワーとしての現代企業のトップ・マネジメント機能の考察を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス (1)
- 2 経営管理論と企業・市場・社会 (2～3)
- 3 市場・社会と企業：国際比較 (4～5)
- 4 アメリカ企業と社会 (6～7)
- 5 アジア企業と社会 (8～9)
- 6 EU社会の変貌と企業 (10～11)
- 7 市場移行と東欧企業 (12～13)
- 8 国際比較一多様化する市場・社会と企業：小括 (14～15)
- 9 現代の企業と社会：社会的責任 (16～17)
- 10 現代社会におけるCSR (18～19)
- 11 SCRの評価と市場 (20～21)
- 12 企業と社会：コーポレート・ガバナンスのパースペクティブ (22～23)
- 13 企業と社会：社会ネットワークのパースペクティブ (24～25)
- 14 企業と社会：グローバル化のパースペクティブ (26～27)
- 15 持続可能な発展と企業管理の課題 (28～30)

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

学年末(2009年1月)の定期試験により評価します。

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。

細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

履修コード	092011
科目名	人的資源管理論 a
担当者名	ほり りゆうじ 堀 龍二

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

a (前期)では、主に、わが国企業が求める人材像の変化および人的資源管理の基本理念の変化を、企業を取り巻く環境の変化と関わらせて考察します。概略としては、グローバリゼーションとIT革命、さらには新自由主義に基づく規制緩和といった環境の変化が、労働の質や労働市場の構造を変化させ、それに対応して企業の人的資源管理の基本理念が変化していることを具体的に検討し、それが労働者の働き方にどのような影響を与えているかという時代状況を把握することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 教科書の順序にそって進める予定ですが、変更することもあります。
(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3～5) 求められる人材像の変化、(6～8) 年功主義と能力主義、(9～10) 成果主義、(11～15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

履修上の留意点 原則として、a (前期)とb (後期)を合わせて同一年度に履修してください。
成績評価の方法 出席(10%)、小レポート(20%)、前期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施します。

教科書 伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等 講義中に適宜紹介する。

専門教育

履修コード	092021
科目名	人的資源管理論 b
担当者名	ほり りゆうじ 堀 龍二

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

b (後期)では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するか、やる気をどう引き出し、どう育てるのかといった問題を取り上げます。具体的には、人事評価や賃金システムのあり方、職務割当や仕事の与え方、キャリア形成のあり方などが、成果主義時代どのように変化してきているかという問題を考察します。いま、わが国企業は激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の有効活用の新たな方法を模索しています。

講義の内容・授業スケジュール テキストに沿って以下の構成で進める予定ですが、変更することもあります。
(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価(5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイヤビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

履修上の留意点 原則として、a (前期)とb (後期)を合わせて同一年度に履修してください。
成績評価の方法 出席(10%)、小レポート(20%)、後期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施します。

教科書 伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等 講義中に適宜紹介する。

履修コード	096911
科目名	ビジネスの歴史（日本）
担当者名	<small>うだ おさむ</small> 宇田 理

講義のねらい	一昔前、企業の強みを語る際、「大きいことが良い事だ」で片付いた。つまり、世の中は大企業の優位の時代に見えた。昨今、ベンチャー企業や国際展開している中小企業にスポットが当たる一方、昔ながらの産地や地域もしぶとく残存している。現代の企業を語る上で、単に企業の生成・発展の歴史に目を向け、それを大規模化の歴史として語る訳にはいかなくなっている。企業の強みとは何なのかをもう一度、歴史に材料を求めつつ、考え直して見る必要がある。本講義は、日本と欧米、2つの講義のセットでその問題に迫っていくことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	第一回の講義で詳細な講義計画のプリントを配布するが、だいたい以下のトピックに沿って講義を進めていく。各トピックは約二回の講義から成っている。 1. イントロー定説と違う問題に切り込もう 2. 大きいことは良い事なのか？－大企業制度論再考 3. どんな企業にもベンチャーの時代があるのか？－企業発展段階説再考 4. 企業の競争力は何で測るのか？－企業の競争力源泉再考 5. 旧くて新しい仮説－弱さの強さ再考 6. まとめ
成績評価の方法	期末試験（80%）、授業中の感想（20%）
教科書	第一回目の講義にて指示するので、先にお読みください。 鈴木・大東・武田『ビジネスの歴史』有斐閣 宮本・阿部・宇田川・沢井・橋川『日本経営史』有斐閣

専門教育

履修コード	096921
科目名	ビジネスの歴史（欧米）
担当者名	<small>うだ おさむ</small> 宇田 理

講義のねらい	一昔前、企業の強みを語る際、「大きいことが良い事だ」で片付いた。つまり、世の中は大企業の優位の時代に見えた。昨今、ベンチャー企業や国際展開している中小企業にスポットが当たる一方、昔ながらの産地や地域もしぶとく残存している。現代の企業を語る上で、単に企業の生成・発展の歴史に目を向け、それを大規模化の歴史として語る訳にはいかなくなっている。企業の強みとは何なのかをもう一度、歴史に材料を求めつつ、考え直して見る必要がある。本講義は、日本と欧米、2つの講義のセットでその問題に迫っていくことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	第一回の講義で詳細な講義計画のプリントを配布するが、だいたい以下のトピックに沿って講義を進めていく。各トピックは約二回の講義から成っている。 1. イントロー定説と違う問題に切り込もう 2. トップが無能でも企業は存続するか？－インテルの戦略転換（1） 3. 戦略は何のためにあるのか？－インテルの戦略転換（2） 4. 企業は国を意識して経営しなければならないのか？ 5. 大企業と中小企業（専門企業）は共存しているのか？ 6. まとめ
成績評価の方法	期末試験（80%）、授業中の感想（20%）
教科書	第一回目の講義にて指示するので、先にお読みください。 鈴木・大東・武田『ビジネスの歴史』有斐閣 バーゲルマン『インテルの戦略』ダイヤモンド社

履修コード	092001
科目名	労務管理論
担当者名	堀 龍二

講義のねらい 最近急激な変化をみせているわが国の労務管理(=人的資源管理)の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内幕を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進める。

<前期の講義概要>

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3~5) 求められる人材像の変化、(6~8) 年功主義と能力主義、(9~10) 成果主義、(11~15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

<後期の講義概要>

(1) 後期講義概要の紹介、(2~4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価(5~7) 賃金システムの变化、(8~9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11~12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイアビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

**履修上の留意点
成績評価の方法**

平成15年度以前に入学した商学科学生を対象としています。

出席(10%)、小レポート(20%)、年度末の定期試験(70%)を総合して評価します。定期試験受験時の注意事項:本講義の受講対象である平成15年度以前入学生は、通年4単位科目として登録履修するので、定期試験は年度末(後期)の1回のみとなります。前期の定期試験はありません。年度末定期試験に対応する追試験は実施します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。

参考書等

なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。
講義中に適宜紹介する。

履修コード	096711・096712
科目名	企業戦略論 a 経営戦略論 a
担当者名	田淵 泰男

講義のねらい 企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 a」は、「企業戦略論」を主たる内容とします。企業戦略は、企業全体の将来のあり方に関する戦略です。その内容は、企業の諸事業を全体としてどのようにバランスないし統合するか、新しくどのような事業に進出するか、将来にわたってどのような企業を形成していくか、等にかかわる戦略です。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

・経営戦略論への招待

戦略とは何か、経営戦略の概念、経営戦略論の発展過程、経営戦略の体系。

・企業のアイデンティティと事業活動領域を選択・決定する「ドメインの定義」
・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」

・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

授業の進捗内容にあわせて実施する試験(事前に予告)によって評価します。

教科書

使用しません。毎回、プロジェクター(パワーポイント)を利用します。図表を多用するときや、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

履修コード	096721・096722
科目名	企業戦略論 b 経営戦略論 b
担当者名	田淵 泰男 <small>たぶち やすお</small>

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになってきました。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 b」は、「競争戦略論」を主たる内容とします。競争戦略は、競合企業に対して持続的な競争優位を確立するための戦略であり、現在最も注目されている戦略論の研究テーマです。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・業界の競争構造分析フレームワーク（競争の程度から収益性の高い魅力的な業界を探し出す考え方と手法）である「5つの競争要因」分析。
- ・競争優位状態の分析と戦略的ポジションの選択にかかわる「競争の基本戦略」、および「戦略グループ」「価値連鎖」等。
- ・競争優位の源泉に関する2つの考え方として、「ポジショニング・アプローチ」と「資源ベース・アプローチ」。
- ・競争地位の類型化とそれに対応して要求される「競争対抗戦略」。
- ・製品ライフサイクル別の競争戦略、先発企業の競争優位性、後発企業の競争逆転の戦略、業界標準規格をめぐる競争戦略、など。

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。

教科書

開講時に説明します。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

履修コード	095831
科目名	グローバル・ビジネス論 a
担当者名	日高 克平 <small>ひだか かつへい</small>

講義のねらい

1980年代末から本格化した地球規模での経済活動（グローバリゼーション）によって、現代企業のビジネスは劇的に変化しています。グローバリゼーションの現代的特徴は、ICT（情報通信技術）の飛躍的発展をともなっていることにあるため、現代企業のビジネス・モデルを分析する際にも、企業経営のグローバル化とICT化を関連付けることが肝要です。本講義では、そのような視座に立って、グローバル・ビジネスを展開する企業の具体的な事例を取り上げつつ、企業経営の新たな手法や技法を探るとともに、その革新的特性や問題点を解明することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

グローバル・ビジネスの概念と歴史（第1～3回）、今日のグローバリゼーションと企業経営（第4～5回）、グローバル・ビジネス論ーグローバル戦略とローカル戦略ー（第6～7回）、グローバル・マーケティング戦略（第8～9回）、生産活動のグローバル化ー海外生産拠点の配置と調整ー（第10～12回）、革新的ビジネス・モデルの事例研究（第13～15回）

履修上の留意点

グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。

成績評価の方法

学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。

教科書

講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

履修コード	095841
科目名	グローバル・ビジネス論 b
担当者名	日高 克平 <small>ひだか かつへい</small>

講義のねらい 国境を越えて事業を拡大する企業行動は、市民生活にもさまざまな影響を及ぼしています。後期の課題を一言で表現すれば、グローバル・ビジネスと市民社会との共生関係をどのように築くべきか、という問題を検討すること、と言えましょう。グローバル・ビジネスは、優れた商品やサービスの提供という部分ではわれわれの生活に欠かせないものではありませんが、他方で、環境問題、雇用や労働条件をめぐる問題、人権問題等を引き起こす場合もあります。したがって、個々のビジネス・モデルを検討する場合、グローバル・ビジネスの恩恵の部分だけでなく、負の部分も認識した上で総合的に評価をくだすことが重要です。また21世紀のビジネス・モデルがどうあるべきか、どのようなビジネスを育成していくべきか、という問題について、「共生」というキーワードを用いて考察します。

講義の内容・授業スケジュール グローバル・ビジネスの現代的特徴および戦略的課題（第1～3回）、グローバル・リストラクチャリングーグローバル M&A とアライアンス戦略ー（第4～6回）、グローバル・ビジネスと国家・地域・都市（第7～9回）、グローバル・ビジネスと CSRー環境・人権・労働問題ー（第10～12回）、共生型ビジネス・モデルとその事例研究（第13～15回）

履修上の留意点 グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。

成績評価の方法 学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。

教科書 講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

履修コード	099181
科目名	企業統治論 a
担当者名	水村 典弘 <small>みずむら のりひろ</small>

講義のねらい 統治（ガバナンス）は、ラテン語で（船の舵取り）を意味する。講義では、株式会社の基本的なフレームワークと会社機関の役割を理解したうえで、企業統治の内容について比較制度分析を試みる。

講義の内容・授業スケジュール ①授業のガイダンス（※必ず出席すること）、②資本主義経済と株式会社制度、③株式会社の機関、④公開企業と株主権、⑤要点の整理、⑥企業統治と比較制度分析、⑦米国における企業統治（a）民主主義と統治、⑧米国における企業統治（b）機関投資家の圧力、⑨米国における企業統治（c）企業統治の現在、⑩欧州における企業統治（a）共同決定法と統治、⑪欧州における企業統治（b）企業統治の現在、⑫日本における企業統治（a）会社法と株主総会、⑬日本における企業統治（b）企業統治の現在、⑭経済のグローバリゼーションと企業統治、⑮講義の総括

履修上の留意点 ①ガイダンスには必ず出席すること

②講義で指定した資料等を個人で入手して必ず目を通して内容を確認すること

成績評価の方法 受講生の成績は、以下の評価方法を組み合わせて評価する。筆記試験（70%）及び授業時間内に実施する小テスト（30%）。なお追試験は実施しない。

教科書 未定

参考書等 未定

履修コード	099191
科目名	企業統治論 b
担当者名	みずいら のりひろ 水村 典弘

講義のねらい

企業統治問題を考える際には、会社機関の設計だけではなく、経営管理者の価値判断が重要になる。講義では、ビジネスと倫理の関係を非帰結主義の立場から読み解いたうえで、社会公共の利益について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

①授業のガイダンス（※必ず出席すること）、②資本主義と企業の社会的責任、③企業の社会的責任と企業責任、④倫理的な価値観（a）：ビジネスと倫理、⑤－（b）：経営管理と倫理、⑥－（c）：法人と倫理、⑦－（d）：組織と倫理、⑧経営のプロフェッショナリズム（a）：要件、⑨－（b）：営利企業とプロフェッション、⑩－（c）：プロフェッションの価値基準、⑪－（d）：総括、⑫現代企業とステークホルダー（a）：概論、⑬－（b）：経営管理者と価値創造、⑭－（c）：MFSモデルとCVSモデル、⑮－（d）：総括

履修上の留意点

①ガイダンスには必ず出席すること
②講義で指定した資料等を個人で入手して必ず目を通して内容を確認すること

成績評価の方法

受講生の成績は、以下の評価方法を組み合わせて評価する。筆記試験（70%）及び授業時間内に実施する小テスト（30%）。なお追試験は実施しない。

教科書
参考書等

未定
未定

専門教育

履修コード	099331
科目名	現代企業論 a
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい

本講義では、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得します。企業の基本的構造、主として制度上の観点からの基本的課題事項の整理を通じて、現代企業の特質とその役割を理解することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 現代企業論（1）（持続可能な社会と企業：現代企業論の基礎）
- 第3回 現代企業論（2）（企業と市場）
- 第4回 現代企業論（3）（取引コスト論）
- 第5回 現代企業論（4）（所有権理論）
- 第6回 企業形態（1）（企業形態の分類とその意図）
- 第7回 企業形態（2）（個人企業・合名・合資・株式会社・LLC/LLP）
- 第8回 企業形態（3）（会社制度の歴史的発展とその意義）
- 第9回 株式会社の特質（1）（株式会社制度と所有者支配論）
- 第10回 株式会社の特質（2）（株式会社制度と専門経営者）
- 第11回 現代株式会社の特質と機関化現象（1）（株主の機関化・法人化を巡る問題）
- 第12回 現代株式会社の特質と機関化現象（2）（機関的大株主と企業支配様式）
- 第13回 企業集中形態（1）（企業合同形態と金融集団形態）
- 第14回 企業集中形態（2）（連結経営と企業グループ）
- 第15回 前期のまとめ

履修上の留意点

企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、新聞、雑誌に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、学期末に筆記試験を行います（正当な理由がある場合は追試を認めます）。この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書
参考書等

開講時に指示します。
自分で使いやすいと思われる経営学辞典あるいは経営学用語集

履修コード	099341
科目名	現代企業論b
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい 本講義では、「現代企業論 a」の履修を踏まえ、「企業とは何か」という視点から、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任など、現代の企業経営にとって極めて重要なTOPICSを中心に学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 企業の目的と経営者の役割（1）（経営理念と企業の目的）
- 第2回 企業の目的と経営者の役割（2）（企業価値と株主の富の最大化）
- 第3回 企業統治（1）（企業統治とは何か：利害関係者と会社権力の正当性）
- 第4回 企業統治（2）（株主と企業（経営者）：エージェンシー理論）
- 第5回 企業統治（3）（株式所有構造と企業間関係）
- 第6回 企業統治（4）（アングロ・サクソン型企業統治）
- 第7回 企業統治（5）（ライン型企業統治）
- 第8回 企業統治（6）（日本型企業統治）
- 第9回 株式会社の資金調達（1）（株式会社のリスクとリターン）
- 第10回 株式会社の資金調達（2）（リスク負担の構造：リスクと企業制度）
- 第11回 地球環境問題と現代企業（1）（持続可能な発展と株式会社の責務）
- 第12回 地球環境問題と現代企業（2）（循環型社会の構築と現代企業：NPO）
- 第13回 企業倫理（1）（企業倫理とはなにか）
- 第14回 企業倫理（2）（企業倫理の制度化と企業統治）
- 第15回 まとめ：今後求められる企業像

履修上の留意点

企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、学期末に筆記試験を行います。この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

**教科書
参考書等**

開講時に指示します。
経営学辞典あるいは経営学用語集

履修コード	096901
科目名	経営学史
担当者名	こさか たかひで 小阪 隆秀

講義のねらい アメリカ経営管理論の歴史的な展開を中心にして、経営学の発展史を跡付けていくことが、この講義の目的である。経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論に支えられて成長することができた。そして、企業の成長と発展にともない、それまでの理論は古いものとなっていき、やがて新しい管理の理論を必要とするようになる。その新しい理論が、さらに企業の成長と発展を可能にしていくことになる。本講義では、このようにして経営学の発展史が形成されてくることを、明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：①初期のマネジメント思想
②科学的管理の理論とその発展
③人間関係論とモチベーション
- 後期：④組織とリーダーシップ
⑤企業と戦略
⑥企業と社会

履修上の留意点

これまでに習った経営学や経営管理の理論を復習するとともに、これから習うさまざまな管理の理論をしっかりと身につけることが重要である。それによって、経営学の体系が理解できるようになる。

成績評価の方法

学年末試験80%、夏休みのレポート20%、この他に授業中に行う4回から6回程度の小テストによって点数の上乗せ措置を設けている。

**教科書
参考書等**

教科書は特に指定しない。
D.S.ピュー、D.J.ヒクソン著、北野利信訳『現代組織学説の偉人たち』（有斐閣）、J.シェレドレイク著、齋藤毅憲、他訳『経営管理論の時代』（文真堂）

履修コード	097071
科目名	非営利組織論 a
担当者名	まつもと のぶこ 松本 典子

講義のねらい

非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が包含されます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

本講義では、非営利組織の現実を踏まえて、営利／非営利組織の共通性／差異性の明確化、国際比較などから、非営利組織とは何か、とくに非営利事業体を含めてその発展の課題や社会的な存在意義に関する理解が深められる授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

- ・狭義／広義の非営利組織（1～3）
- ・非営利組織に関する法、税制度および経済規模（4～5）
- ・非営利組織の活動分野、医療・福祉、まちづくり、環境等（6～9）
- ・非営利事業体、社会的企業（10～12）
- ・非営利組織の国際比較（13～14）
- ・非営利組織論 a のまとめ（15）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修を望みます。
成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。
特に指定しません。

- ・雨宮孝子・小谷直道・和田敏明編著『ボランティア・NPO』中央法規、2002年。
- ・雨森孝悦『テキストブックNPO』東洋経済新報社、2007年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。

その他の

講義形式で行います。適宜、レジュメおよび資料を配布し、参考文献や関連HPを紹介し、また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

履修コード	O97081
科目名	非営利組織論 b
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子

講義のねらい

非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が含まれます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

本講義では、非営利組織論aで学習した内容に基づき、「営利／非営利」、「社会的企業」、「社会的起業家」、「コミュニティ・ビジネス」、「ソーシャル・キャピタル」等をキーワードに、非営利組織の経営学を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・非営利組織の存在理由（1～3）
- ・ソーシャルエコノミー、ボランタリー経済（4）
- ・社会的起業家とは何か（5～6）
- ・非営利組織のガバナンス、マネジメントの基本的特徴、リーダーシップ、経営戦略、資金調達など（7～11）
- ・非営利組織のネットワーク、行政・企業とのコラボレーション（12～14）
- ・非営利組織論bのまとめ（15）

履修上の留意点

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修をのぞみます。

成績評価の方法
教科書
参考書等

講義内容は、非営利組織論aを履修していることを前提とします。
成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。特に指定しません。

その他の

- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
 - ・坂本文武『NPOの経営—資金調達から運営まで—』日本経済新聞社、2004年。
 - ・谷本寛治・田尾雅夫編著『NPOと事業』ミネルヴァ書房、2002年。
 - ・塚本一郎・雨宮孝子・古川俊一編著『NPOと新しい社会デザイン』同文館出版、2004年。
- 講義形式で行います。適宜、レジュメおよび資料を配布し、参考文献や関連HPを紹介いたします。また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

履修コード	O95311
科目名	契約理論
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二

講義のねらい

生産や消費といった経済活動を相互に結び付けている取引関係には、大きく分けると、交換と契約の2つがある。交換（市場取引）は通常、匿名の相手との一時点で終わる関係であるのに対し、契約関係は事前の調査・交渉や契約内容の実行に時間がかかり、多くの場合、長期にわたって続く関係である。経済主体は相互に様々な契約関係を結ぶことで、企業をはじめ様々な組織・システムを構築している。

本講義では、ミクロ経済学、なかでも「情報の経済学」、「法と経済学」などの手法を用いて、契約関係から見た経済主体の相互の関連と経済システムについて論じる。

受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、その中における経済主体の相互関連を考えることで経済社会全体についての視点を身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション：契約と契約理論（1）
2. エージェンシー関係と情報の経済学（2～4）
3. 雇用契約とインセンティブ（5～7）
4. 金融契約とコーポレート・ガバナンス（8～10）
5. 契約法の経済分析（11～13）
6. 契約の不完備性、契約違反と再交渉（14～15）

履修上の留意点

講義ではミクロ経済学と情報の経済学の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、「情報の経済学」、「制度の経済学」のいずれかをすでに履修した学生を対象とする。

成績評価の方法
教科書
参考書等

成績評価は、期末試験による。
テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	095701
科目名	経営情報システム論I
担当者名	さいとう たかし 齋藤 隆

講義のねらい	第4の経営資源として「情報」が挙げられますが、それはなぜでしょうか。今日の企業は高度情報化社会の真っ直中にあり、業種や規模のいかんを問わず、パソコンをはじめとする情報システムを何らかの形で利用しています。場合によっては、情報システムなしでは企業活動が成り立たない企業もあります。本講義では、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。また、その過程を通じて、学生諸君にとっても、高度情報化社会における自身の職業観について考えてみる契機となるようにしたいと考えています。
講義の内容・授業スケジュール	(1-3) 企業経営活動の枠組みと情報システムの優位性 (4-6) ビジネス活動を遂行するための情報システム (7-9) 意思決定を支援するための情報システム (10-12) 企業コラボレーションのための情報システム (13-15) 戦略的優位性を創出するための情報システム、等
履修上の留意点	パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理I・II」、「情報経済ネットワーク論(平成14年度以前)」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。
成績評価の方法	発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。
教科書 参考書 その他	特に指定せず、レジメを使用します。 その都度、提示します。 本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。

履修コード	095801
科目名	経営情報システム論II
担当者名	さいとう たかし 齋藤 隆

講義のねらい	前期開講の「経営情報システム論I」に引き続いて、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。なお、「ERPの事例紹介」では、本学に導入予定のERPパッケージ(SAP社製「R/3」)を利用してコンピュータ実習を行うことを予定しています。
講義の内容・授業スケジュール	(1-3)「ERP(Enterprise Resource Planning)(4-6)ERPの事例紹介(7-9)SDLC(System Development Life Cycle)(10-11)BPR(Business Process Reengineering)(12-13)EUC(End User Computing)(14)システム監査(15)情報化人材、等
履修上の留意点	「経営情報システム論I」を履修していること。また、パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理I・II」、「情報経済ネットワーク論(平成14年度以前)」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。
成績評価の方法	発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。
教科書 参考書 その他	特に指定せず、レジメを使用します。 その都度、提示します。 本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。

履修コード	092401
科目名	財務会計論
担当者名	寺坪 修

講義のねらい	財務会計は、企業活動の実態を投資者などの利害関係者へ報告するための「みせる会計」です。そのための開示手段の中心となるのが財務諸表ですが、その作成方法に関しては統一的な制度として、会社法や金融商品取引法などの法令および会計基準が制定されています。会計基準は、現在、グローバル化の進展に伴ないグローバル・スタンダード（世界標準）との調和が進められています。本講義では、日本における財務諸表制度の変遷と動向を踏まえて、会計上の主要なテーマについて具体的にみていきます。
講義の内容・授業スケジュール	おおむね次の構成で進めていきます。 (1) オリエンテーション、(2～5) 財務会計の意義・会計の構造、(6～9) 財務諸表の仕組み・企業会計制度、(10～13) 企業会計原則、(14～26) 会計ビックバン・リース会計・退職給付会計・税効果会計・キャッシュフロー会計・連結財務諸表、(27～28) 会計の国際化、(29～30) 財務諸表の活用
履修上の留意点	会計は積み重ねの学習によって理解が深まりますので、休まずに受講してください。私語は厳禁とします。
成績評価の方法	学年末試験（60％）、出席率（25％）、宿題・レポート提出（15％）の総合評価。ただし、S・Aの評価はGPA評価ガイドラインによる調整を行うことがあります。
教科書 参考書等	寺坪修『社会会計論〈改訂版〉』2004年刊（創成社）3，990円 寺坪修『英文会計論[基本編]第2版』2007年刊（五紘舎）1，575円

履修コード	097001
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい	会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 会計監査の意義と概要 (2～5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6～10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11～15) ディスクロージャー制度（金融商品取引法・会社法）、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16～20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21～25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26～30) 監査証拠、継続企業の前提、監査意見、監査報告書
履修上の留意点	本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学基礎または会计学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。
成績評価の方法	原則としてレポートおよび期末試験により評価する。
教科書 参考書等	指定しない。必要に応じて資料を配付する。 山浦久司『監査論テキスト（第2版）』（中央経済社） 友杉芳正『新版スタンダード監査論（第2版）』（中央経済社） 千代田邦夫『現代会計監査論』（税務経理協会） 日本公認会計士協会編『監査小六法（平成19年版）』（中央経済社） 日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック（平成20年版）』（中央経済社）

履修コード	097301
科目名	会計情報論
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゆんじ</small>

- 講義のねらい** 時事で読み解く「会計ビッグバン」をテーマにする。会計学においては会計原則や個々の会計基準を学習することももちろん重要だが、それだけが会計学ではない。その基礎にあるものや、その背景からより深く理解することがいっそう重要である。とりわけ今日のように会計制度が大きく変容しようとしているときはそうである。本講義では、社会のなかの「生きた会計」、とりわけ90年代から今日に続く会計制度の大改革（会計ビッグバン）を政治経済学的に学習する。社会科学としての会計学の視点を養うことが目標となる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 会計ビッグバンを政治経済学的な視点から取り上げ、社会科学としての会計学習を行う。教科書にそって講義するが、最新の会計トピックスはホームページ掲載の「時事会計教室」から取り上げる。
- 履修上の留意点** 会計の政治経済学的な学習をねらいにしているので、商学科のみならず経済学科の学生も意識した講義をする。細かな会計基準の知識は必要ないが、一応の会計学の基礎知識ないし関心をもっていただくが望ましい。
- 成績評価の方法** 定期試験ないしはレポート。
- 教科書** 石川純治『変わる社会、変わる会計』（日本評論社）1,900円
- 参考書等** 別途指示する。

履修コード	098161
科目名	企業倫理
担当者名	桑山 三恵子 <small>くわやま みえこ</small>

- 講義のねらい** 企業不祥事はなぜ、起きるのか。企業倫理の重要性を認識し、企業経営の質の向上をどう高めるかについて学習する。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1～4) イントロダクション、企業倫理と経営倫理、経営倫理学を生み出した背景、米国における経営倫理の展開 (5～7) 日本の企業構造と経営倫理、コーポレートガバナンス、コンプライアンス (8～10) 経営倫理の組織内制度化 倫理綱領、組織体制、教育コミュニケーション、内部通報制度 監査 (11～12) 組織の倫理と個人の倫理、倫理的意思決定とケースメソッド法 (15) まとめ
- 履修上の留意点** 企業経営と倫理に関するテーマをとりあげた新聞、雑誌、テレビの特集番組等の情報に積極的にアクセスすることを心がけてください。
- 成績評価の方法** 学期末に筆記試験を行います。さらに、授業内に求める課題の遂行結果と出席状況をあわせて総合的に評価します。
- 教科書** 小林俊治 百田義治 編 『社会から信頼される企業-企業倫理の確立に向けて』2004年刊（中央経済社）2400円 ISBN 4-502-37550-0
- 参考書等** 日本経営倫理学会監修 水谷雅一編著『経営倫理』2003年刊（同文館出版）2400円 ISBN 4-495-37131-2

履修コード	098171
科目名	企業社会責任論
担当者名	桑山 三恵子 <small>くわやま みえこ</small>

- 講義のねらい** 「企業の社会責任」とは何か、近年、関心が高まっているのは何故か、その背景と意味を学習し、企業と社会が共に持続的に発展する企業像を考察します。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1～2) イントロダクション、企業とは何か (3～5) 日本、米国、欧州の企業構造、コーポレートガバナンス、ステークホルダーマネジメント理論 (6～7) 企業の社会責任とは何か、歴史的背景と定義 (8～10) グローバリゼーションと企業の社会責任、企業の社会責任の標準化、サプライチェーンマネジメント (11) 企業の社会責任報告書、コミュニケーション (12～13) 企業の評価軸、社会的責任投資 (14) 企業とNPO、社会的企業家 (15) まとめ：新たな企業像
- 履修上の留意点** 企業と社会の相互関係という視点から、新聞、雑誌、テレビの特集番組、企業の社会責任報告書、インターネット上の情報に積極的にアクセスすることを心がけてください。
- 成績評価の方法** 授業への出席を最低要件とし、学期末試験を行います。また、授業内に求める課題の遂行結果をあわせて総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。
- 教科書** 谷本寛治『CSR- 企業と社会を考える』2006年刊（NTT出版）1600円 ISBN 4-7571-2179-2
- 参考書等** 田中宏司 CSR入門講座 第1巻『CSRの基礎知識』2005年刊（日本規格協会）1300円 ISBN 4-542-70150-6

履修コード	097111
科目名	管理会計論 a
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二

講義のねらい 本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1)ガイダンス、(2~4)管理会計論をとらえる視点、(5~8)管理会計上の基礎概念、(9~12)設備投資の意思決定、(13~15)製品関連の意思決定

履修上の留意点 会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。
また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法 前期末の試験により評価する。

教科書 毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	097121
科目名	管理会計論 b
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二

講義のねらい 本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることとする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール (1)ガイダンス、(2~3) リスク・マネジメントと法律規定：リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4~5)ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6~7)企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8)リスク・マネジメントと状況報告書、(9)リスク・マネジメントと引当金、(10~11)リスク・マネジメントとバランスシート・スコアカード、(12~13)リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14~15)リスク・マネジメントとチャンスの記載：リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

履修上の留意点 会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法 中間レポート(30%)および後期末の試験(70%)により評価する。

教科書 石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	097201
科目名	原価計算論
担当者名	すざき かつひろ 鈴木 勝浩

講義のねらい 原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にほかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性が失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1)原価計算の歴史 (2)原価概念① (3)原価概念② (4)原価計算の目的 (5)費目別計算 (6)個別原価計算 (7)製造間接費の配賦① (8)製造間接費の配賦② (9)部門別計算 (10)単純総合原価計算① (11)単純総合原価計算② (12)工程別総合原価計算 (13)組別総合原価計算 (14)等級別総合原価計算 (15)連産品等 (16)標準原価計算① (17)標準原価計算② (18)標準原価計算③ (19)標準原価計算④ (20)原価の固定変分 (21)損益分岐点分析① (22)損益分岐点分析② (23)直接原価計算① (24)直接原価計算② (25)意思決定のための原価計算① (26)意思決定のための原価計算② (27)意思決定のための原価計算 (28)FA・CIM化の進展と原価計算① (29)FA・CIM化の進展と原価計算② (30)ABCとABM

履修上の留意点 計算演習を行うので電卓を持参のこと。

成績評価の方法 定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

教科書 清水孝/長谷川恵一/奥村雅史著『入門原価計算(第2版)』(中央経済社)

参考書等 参考文献については必要に応じて紹介する。

履修コード	097401
科目名	税務会計論
担当者名	北口 りえ

講義のねらい 本講義は、税務計算技術の習得のみを目的とするのではなく、社会生活を営む上で切っても切り離せない租税にまず興味・関心を持ち、租税、特に法人税に関する理解を深めることを目的として行います。講義では、租税を身近に感じることができるよう、具体的事例を取り上げたり、計算問題を解いたり、新聞記事等を配布したりする予定です。租税と日常の生活の関わり合いを意識しながら実社会において役立つように租税への理解を深めてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。本講義では、租税の意義や租税特有の論理などについて学んだ上で、法人税法における基礎理論や課税所得計算構造についての講義を行います。本講義をきっかけに、なぜ租税が必要なのか、公平な課税はどのようにしたら実現できるのかということについて考えてもらえればと思います。

【授業スケジュール】

第1回：ガイダンス、第2～4回：税務会計の制度的基礎、第5～7回：法人税の基礎、第8～10回：課税所得計算の基礎、第11～15回：益金の会計、第16～21回：損金の会計、第22・23回：課税所得・税額の計算、第24・25回：申告・納付等、不服申立・訴訟、第26～30回：企業組織再編税制、連結納税制度

履修上の留意点 電卓を持参してください（授業前半では必要ありませんので、講義内で指示します）。

成績評価の方法 成績評価は、出席点、中間試験、期末試験の総合評価により行います。ただし、受講者数次第で出席点を小テストに変更する場合があります。追試験有。

教科書 柳裕治他『税務会計論』創世社、2008年5月出版予定

履修コード	097501
科目名	経営分析
担当者名	渡邊 智

講義のねらい 企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えています。しかし、財務諸表の見方を知らなければ、そのような情報を正確に把握することはできません。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それらを正確に分析し、当該企業がどの様な状態にあるのか判断するものです。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール (1)ガイダンス (2～5)財務諸表分析とは何か (6～14)貸借対照表とその分析 (15)前期のまとめ (16～22)貸借対照表と損益計算書の分析 (23～25)株主資本等変動計算書とその分析 (26～29)キャッシュフロー計算書とその分析 (30)後期のまとめ

履修上の留意点 簿記と会計の知識が必要となりますので、簿記と会計に関連する科目を履修し、単位を取得しておいて下さい。また、電卓を使用しても構いませんが、ある程度の計算力は必要になります。ただ講義に出席していれば良いのではなく、日頃から企業の動向に関心を持ち、財務諸表や資料を自ら積極的に収集して分析を行うなど、積極的な姿勢で課題に取り組むことが求められます。

成績評価の方法 出席状況、小テストの成績、前期末レポートおよび後期末レポートの内容から総合的に判断して成績を評価します。

出席の確認と理解度の判定を目的として小テストを随時実施しますので、毎回の講義に積極的な姿勢で参加する必要があります。ただし、受講者数が多いなどの理由で小テストの実施が難しい場合は、レポートその他の課題を課すこともあります。

また、前期末のレポートと後期末のレポートは定期試験に代わるものですから、どちらも必ず提出して下さい。

教科書 あずきビジネススクール編『財務諸表分析入門』三訂版 会社法対応 エクスメディア 定価1,600円+税 ISBN4-87283-656-1

参考書等 あずきビジネススクール編『財務諸表と経営分析』三訂版 会社法対応 エクスメディア 定価1,600円+税 ISBN4-87283-657-X

野中郁江・井上照幸編著『日本のリーディングカンパニーを分析する NO.4 流通/テレコム』唯学書房 定価2,800円+税 ISBN978-4-902225-35-8

講義の進行状況に応じてプリントを配布します。

その他の ただ説明をするだけではなく、受講者とのディスカッションも随時行ない、お互いに理解を深めながら講義を進めてゆきたいと思います。

履修コード	095501
科目名	コンピュータ会計I
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい 今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、そのシステムへのデータ入力の実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール (1) コンピュータ会計概論 (2) 会計情報とデータベース (3) 会計情報とシステム設計 (4) 表計算ソフトによる実習(基礎準備) (5) 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) (6) 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) (7) 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) (8) 表計算ソフトによる実習(決算処理) (9) 表計算ソフトによる実習(財務諸表の作成) (10) 表計算ソフトによる実習(取引の入力①) (11) 表計算ソフトによる実習(取引の入力②) (12) 表計算ソフトによる実習(財務分析) (13) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成①) (14) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成②) (15) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成③)

履修上の留意点 パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理I・II」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。

成績評価の方法 出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書 志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

参考書等 講義中に適時指示する。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義時には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡してください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

履修コード	095601
科目名	コンピュータ会計II
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい 今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容・授業スケジュール (1) コンピュータ会計概論 (2) 表計算ソフトによる実習(製造原価報告書・損益計算書) (3) 表計算ソフトによる実習(貸借対照表・キャッシュフロー計算書) (4) 表計算ソフトによる実習(財務指標) (5) 表計算ソフトによる実習(売上データ) (6) 表計算ソフトによる実習(原価分解法) (7) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析①) (8) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析②) (9) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法①) (10) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法②) (11) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス①) (12) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス②) (13) 表計算ソフトによる実習(予算シミュレーション) (14) 表計算ソフトによる実習(予算コントロール) (15) 表計算ソフトによる実習(投資プロジェクトの評価法)

履修上の留意点 パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理I・II」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済みか、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法 出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書 志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	古沢 紘造

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易（4～5回）
2. 水産物と貿易（1～2回）
3. 林産物と貿易（1～2回）
4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
5. エネルギーと貿易（1～2回）
6. 工業製品と貿易（4～5回）

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
2. 開発・援助と貿易（1～2回）
3. 軍事と貿易（1～2回）
4. 環境と貿易（1～2回）
5. WTOと貿易（2～3回）
6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
7. 持続可能な発展と貿易（1～2回）

成績評価の方法

本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

履修コード	097801
科目名	銀行システム論
担当者名	さいとう たかし 齊藤 正

専門教育

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続き、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1～2講) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。

(3～10講) では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。

(3～5講) 銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。

(6～10) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。

(11～15講) では、現代の銀行が直面する諸問題と銀行論の関連づけを行なう。

(11～13) グローバル競争の実態をみながら、それが銀行のあり方にどのような問題（理論的・法的）を提起しているのかを考える。

(14～15) グローバル競争の激化の一方、金融リスクも高まり、「サブプライムローン問題」に見られるように、銀行システムが動揺する状況も出てきている。また、中小企業の借入難や多重債務問題といった「金融的排除」の克服も依然重要な課題である。経済発展に果たすべき銀行の役割という視点から望ましい銀行システムについて考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

1) 後期科目の「現代銀行事情」

2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村證券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書
参考書等

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年

日本銀行『新版 わが国の金融制度』

吉田暁『決済システムと銀行・中央銀行』日本経済評論社、2001年

履修コード	097901
科目名	現代銀行事情
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続き、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

(1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。(1～2講)

(2) 時期区分は、おおまかに高度成長期(1974年まで)、低成長・自由化期(1985年まで)、バブル経済期(1990年まで)、グローバル期(1990年代以降)とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。(3～9講)

(3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指したビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。(10～14講)

(4) 激しく変容している欧米諸国の金融制度との比較を試みる。(15講)

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

1) 前期科目の「銀行システム論」

2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村證券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。

参考書等

なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融』 大月書店、2001年

川波・上川編著『現代金融論』(有斐閣ブックス) 2004年

履修コード	098011
科目名	グローバル・ファイナンス
担当者名	小西 宏美

講義のねらい 今日における経済のグローバル化は多国籍企業の活動に因るところが大きい。たとえば多国籍企業による海外生産活動と企業内国際貿易、海外企業の買収、OEM契約を通じた生産委託などである。本講義では、こうした多国籍企業の生産、投資活動を金融の側面から支えてきたグローバル・ファイナンスの役割について学習する。また逆にグローバル・ファイナンスの拡大が多国籍企業に対してもたらす問題点を検討しながら、将来的に望ましい企業金融のあり方や金融システムの枠組みについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 多国籍企業の国際的生産体制とグローバル・ファイナンス（1～10）ユーロ市場、シンジケート・ローン、クロスボーダーM&A
- 2 多国籍企業のリスク管理（11～14）先物、先渡し、オプション、スワップ
- 3 多国籍銀行、多国籍金融機関（15～22）金融持ち株会社、金融市場統合と金融機関の国際的再編
- 4 多国籍金融機関の国際業務（23～27）国際銀行業務、国際証券業務、各国の通貨主権

履修上の留意点 新聞やテレビ、インターネットなどで見聞きした情報を、授業時に得た知識と結びつけながら考える習慣をつけるようにしてください。

成績評価の方法 中間試験、学期末試験、出席、コメントカードへの記入の4点で評価します。

教科書

参考書

上川孝夫、藤田誠一、向寿一（2007）『現代国際金融論（第3版）』有斐閣ブックス。

川島静夫（1990）『ユーロ・ボンド市場 -コーポレート・ファイナンスへの誘い-』金融財政事情研究会。

専
門
教
育

履修コード	099311
科目名	ビジネス・インターンシップ a
担当者名	吉田 敬一・石川 祐二・大石 雄爾

講義のねらい 「ビジネス・インターンシップ a」は、皆さんが企業や団体での現場研修を受けるために必要な社会的常識や作法・知識を身につけるための科目です。

また現場研修に関わる「ビジネス・インターンシップ b」を受講するためには、この科目の単位の修得が条件になりますので、真剣に受講することが求められます。

講義の内容・授業スケジュール 「ビジネス・インターンシップ a」では、教室での授業を通じて、企業に入っでの現場研修で最低限必要な社会人としての素養や基礎知識を修得するために必要な準備トレーニングを行います。経営者・団体役員・専門家を招聘し、次のような点を目標にして授業を進めます。

- ・ 講義ガイダンス（1）
- ・ インターンシップの目標とプログラムについての理解（2～3）
- ・ 仕事のルールとビジネスマナーの修得（4～8）
- ・ 自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定（9～10）
- ・ インターンシップ先についての研究（11～12）
- ・ インターンシップ先の確定と研修計画の相談（13～15）

履修上の留意点 （1）この科目は a（前期）と b（後期）に分かれています。登録時は必ず ab 2つセットで登録してください。a のみ、あるいは b のみの登録および履修は認めません。

（2）単位認定は、a、b それぞれに2単位を認めますが、a（前期）の2単位を修得できなかった場合は、b（後期）の履修と単位は認められません。

（3）＜経済学科フレックスAの学生に対する注意事項＞

ビジネス・インターンシップ a（前期）を登録・履修できる経済学科フレックスAの学生は、履修する演習IIの担当者がビジネス・インターンシップ b を併設している場合だけです。履修する演習IIに併設されていない場合は、a・b 両方とも登録・履修できません。登録前に履修する演習IIの担当教員に必ず相談してください。

＜商学科の学生に対する注意事項＞

ビジネス・インターンシップ a（前期）を登録・履修できる商学科の学生は、演習IIに所属している3年生だけです。受講希望者は、最初の講義時間に必ず出席してください。

成績評価の方法 出席点と授業中の課題とレポートおよび受講態度で総合的に評価します。授業に対する取り組み方自体も、インターンシップに対する心構えの一環となりますので、安易な考えで受講しないようにしてください。

教科書

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

社会に出るとメモの取り方も重要なポイントになりますので、5W1Hの観点からメモを取る方法を身につけるように努力してください。

履修コード	099321
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	吉田 敬一・石川 祐二

- 講義のねらい** 「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんが企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体など多様な体験のできる場を予定しています。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行います。
(2) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。また「インターンシップ報告書」の刊行も予定しています。
- 履修上の留意点** 次の点を必ず確認して履修してください。
1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ b は多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。
2. ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。
3. 研修の際の経費（交通費や被服費等）は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。
4. ビジネス・インターンシップ b を受講できる学生は、演習IIに所属している3年生に限定されます。
- 成績評価の方法** 基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価や受講態度・出席点なども参考にして判断します。

履修コード	113171
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	阿部 弘

- 講義のねらい** この演習では、企業社会の現実・内容などについて、演習を通じて体現していくことが要求される。
- 講義の内容・授業スケジュール** 演習は次の3つの過程を経る。
(1)：前期中に希望する職種の決定と実習先の選定。関連する授業等の履修。
(2)：夏季〈8月〉に実習をする。
(3)：後期に、実習のまとめと報告書の作成。
- 成績評価の方法** 定期試験などはしない。評価は「スケジュール」の総合的評価とする。
- その他の** この演習講義は、阿部弘ゼミナール（演習II）生にのみ履修が許可される。なお、参考文献などはその都度指定する。

履修コード	113011
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	石川 純治

- 講義のねらい** インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。
- 講義の内容・授業スケジュール** ゼミにて説明します。
- 履修上の留意点** このインターンシップは私の演習IIに所属する経済学科の学生しか取れません。演習の中で希望者と相談したいと思います。
- 成績評価の方法** 事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。
- 教科書の** 講義の際に必要な資料を配布します。
- その他の** 3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113021
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二

講義のねらい	インターンシップは、学生が企業等で実習する体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	7月：インターンシップ先の決定 8月～9月上旬：インターンシップ研修 9月～10月：研修についてのレポート作成
履修上の留意点	インターンシップは、演習IIに所属する学生のうち、経済学科の学生に履修が限定されます。また、企業等にお世話になるため、自らの責任を自覚して下さい。
成績評価の方法	研修内容とレポートを中心に評価します。
教科書	適宜指示します。
その他	3年次生のみ履修可能です。

履修コード	113031
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	いわたか ふみたか 岩波 文孝

講義のねらい	ビジネス・インターンシップは、企業や団体の現場実習を通じて就業体験をすることにより、自分の適性を発見し、就業することや社会について認識を深め、人生設計など自らの将来像を描くための授業です。
講義の内容・授業スケジュール	研修に関する自己評価 (1～5)、研修に関するレポート作成 (6～10)、レポートに基づく発表 (11～13)、各受講生における今後の課題に関するレポートの作成 (14～15)
履修上の留意点	現場実習を行なうので、受講生の自覚と責任がきびしく要求されます。この科目は、演習II (岩波ゼミ) を受講する経済学科の学生のみが履修できます。受け入れ先や研修の調整作業が必要となるとともに、受け入れ先の都合で、時期・期間が変更になることもあります。 次の点を必ず確認して履修してください。 1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ b は多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。 2. 研修の際の経費 (交通費や被服費等) は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。
成績評価の方法	インターンシップ事前準備、インターンシップ受け入れ先からの報告、および事後研修レポートにより評価します。
その他	演習II (岩波ゼミ) を履修する3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113151
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	おおいし ふうじ 大石 雄爾

講義のねらい	インターンシップのねらいは、学生が企業等の実習を通して就業体験をし、働くことの意味を考えることにあります。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミにて説明します。
履修上の留意点	このインターンシップは、私の演習IIに所属する経済学科の学生のみ履修できます。希望する学生は、前期科目「ビジネス・インターンシップ a」を取ることが必要です。
成績評価の方法	インターンシップ研修および事後のレポートで評価します。

履修コード	113051
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正

講義のねらい	社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。
講義の内容・授業スケジュール	4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。 4月に履修登録。 7月に事前研修。 後期授業期間中に就業体験（2週間程度） 終了後事後研修（レポート作成）など
履修上の留意点	受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。
成績評価の方法	受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。
その他の	3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113061
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義のねらい	インターンシップという科目が設けられたのは比較的最近のことです。その背景には、大学卒業生の3割が新規就職して3年以内に転職するという現象に現れているように、自己の適性にあった安定的な就職先を見つけることが困難となってきたことがあります。企業や団体その他公的機関等も、テレビなどの一般向PR情報では、その実際の姿を知ることはできません。学生時代に企業や団体の現場を直接経験することで、自分を活かせる産業や企業など、就職先の選択を確かなものとすることができます。そして現場に立つことによって、今まで気が付かなかった自分の本当の姿を発見することもできるでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	前期は講義形式での授業、夏休みに企業研修体験、後期に報告書をさまざまな資料を参考にして報告文書を作成します。
履修上の留意点	このインターンシップは私の演習II参加者のみ受講可能です。
成績評価の方法	事前の準備の質と量、事後のレポートで評価します。
教科書	適宜指示します。

履修コード	113071
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	しろた じゅん 代田 純

講義の内容・授業スケジュール	相手先の都合により変更となる可能性があるものの、岡三証券本社において夏休み中に3～4日間のインターンシップを予定している。
成績評価の方法	成績評価については、インターンの出席と相手先からの評価、事後のレポートで決定する。
その他の	希望者多数の場合は、選抜となる。

履修コード	113081
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 企業、商店、NGO、芸術団体、自治体など実際に経済活動や社会活動をおこなっている現場に向いて作業や労働を経験してもらうことが目標です。相応の責任感が要求されますが、大学のキャンパス内では学べない多くのことを体験学習することができます。本学の構内は決して広くはありませんが、学外の広い世界をいわば広義の学園と見立てて大学生活にふくらみをもたせてみることをお勧めします。

講義の内容・授業スケジュール この科目のスケジュールは、大きく三つの時期に分けられます。前期は、学内の教室でおこなわれる授業をとおして、インターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。

夏休みには、現場での実際の研修をおこないます。

後期は、現場での研修について、レポートの作成と発表会をおこないます。

履修上の留意点 現場の作業や労働の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。研修先を自分で探してくる学生は歓迎します。インターンシップに必要な交通費や衣服などの諸経費は自己負担になります。また、あくまで研修というたてまえから、報酬は支給されないことを了解しておいてください。

成績評価の方法教科書 学内での授業、研修先からの評価、レポートや発表などを総合的に評価します。とくにありません。ただし、随時、必要と思われるプリント等の配布はいたします。

専門教育

履修コード	113111
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>とくなが としあき</small> 徳永 俊明

講義の内容・授業スケジュール インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普通の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきつと一つの貴重な生きた知識になるはずで。

履修上の留意点 (1) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。

(2) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法教科書 受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。

また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

その他 3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113161
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>なかずみ みつあき</small> 中済 光昭

- 講義のねらい** IT企業の現場に向いて、どのような仕事をするのかを経験してもらうことがこの講義の狙いです。
- 講義の内容・授業スケジュール** ビジネス・インターンシップ a やゼミにおいてインターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。夏休み等長期休暇を中心に1～2週間程度または通年で、現場での実際の研修をおこないます。終了時にインターンシップについて、レポートの作成と発表会をおこないます。
- 履修上の留意点** ・会社の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。無断遅刻・欠席があった場合、インターンシップを打ち切ります。
・インターンシップでは、報酬などが支給されませんので、あらかじめ了解ください。
- 成績評価の方法** ゼミでのビジネスマナー等に関する評価、研修先の評価、レポートや発表などを総合的に評価します。
- 教科書等その他** とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。
とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。
* 次の条件を満たさない場合受講できません。確認してから履修してください。
・中済ゼミの演習IIを受講している3年生のみが登録できます。
・ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。
・演習II担当教員(中済)・就業体験受け入れ先・学生の3者間でインターンシップに関する基本的な合意が得られた後派遣します。

履修コード	113091
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>ひやくた よしほる</small> 百田 義治

- 講義のねらい** 本科目は学生が企業や各種団体において現場研修を受け、その就業体験を通じて企業経営や団体活動の実際・動向を理解し、大学における専門科目の学習意欲を高めることを目指しています。
- 講義の内容・授業スケジュール** 本科目では、講義にあたるものは、インターンシップ先における実際の研修です。研修期間は、原則として、夏休み期間です。通常は、約2週間～1ヶ月の研修が実施されます。
- 履修上の留意点** 本科目は、百田ゼミの演習IIの受講生のみが登録できます。また、「ビジネス・インターンシップ a」の単位を修得していない学生は「ビジネス・インターンシップ b」を受けることはできません。
- 成績評価の方法** 研修後のレポートおよび研修先の評価によって成績評価します。

履修コード	113121
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>みつおか ほくみ</small> 光岡 博美

- 講義のねらい** ビジネス・インターンシップは、演習IIの履修者(3年生)のみを対象とする。具体的な取り組みについては、最初の授業で、希望者と打ち合わせを行う。インターンシップを希望する学生は、(イ)どのような業種、企業を希望するか (ロ) 学生自身がインターンシップの志望先を確保しているか否かについて話し合うことにする。志望先のない学生は私の側で、相手先の企業 etc を探す努力をしてみたい。
- 成績評価の方法** インターンシップ研修前の課題レポートと研修後のレポートで評価します。

履修コード	113131
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	谷敷 正光

- 講義のねらい** インターンシップとは、学生が在学中に、企業、学校、その他公共施設、各種団体などで研修生として就業（職場）体験を積むための制度です。
 インターンシップによって、実社会＝職場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野について大学の講義では学べない具体的な知識を得、自己の適性を的確に判断しながら、進路の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。
 大学での普段の学習方式とは異なり、仕事の大変さや厳しさ、責任の重さややりがい（生きがい）など就業（職場）体験で得たものは、きっと貴重な生きた知識になるとともに自己啓発にも大いに役立つと思います。
- 講義の内容・授業スケジュール** 4月 履修登録、「インターンシップa」の履修
 9月 「インターンシップb」の履修開始
- 履修上の留意点**
- ①就業体験受け入れ先・学生・演習（II）担当教員が実施について了承。
 - ②事前研修の後、インターンシップの実践。
 - ③インターンシップの終了後、「レポート」の作成。
 - ④『インターンシップ報告書』の作成と報告会。
- 成績評価の方法** (1) インターンシップは目的意識を持って参加してください。
 (2) インターンシップでは、双方の信頼関係の構築が大前提になります。
 (3) スケジュールは、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。時期や期間はいろいろです。
 (4) インターンシップの受け入れ先は、ゼミナールで依頼している事業所、自分で探した事業所、その他公募で受容れている事業所などです。
- 教 科 書** インターンシップ終了後の「レポート」と『報告書』などで総合的に評価します。
 その都度、必要な資料を配布します。
- 参 考 書 等** 受け入れ先に関する資料なども配布します。
 檜谷芳彦著『大学3年生になったらすぐ読む本』大和書房 619円。
 『高感度をアップさせる「モノの言いよう」』PHP新書 514円。
 武田哲男著『「顧客満足」の常識』PHPビジネス新書 800円。
 高井伸夫著『3分以内に話はまとめなさい』かんき出版 1300円。
 梅沢正著『職業とキャリア』学文社 2415円。
 古関博美著『インターンシップ』学文社 2100円。
 高良和武著『インターンシップとキャリア』学文社 2520円。
 野田・浜田著『会社のしくみが分かる本』日系ビジネス新書 667円。
 川合雅子著『キャリア発掘わたしの適性・適職発見』学文社 1575円。
- そ の 他** 谷敷ゼミ3年次生のみ履修が可能な科目です。「インターンシップa」の履修を済ませることが必要です。

履修コード	113141
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	吉田 敬一

- 講義のねらい** 「ビジネス・インターンシップb」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとした科目です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 実際の研修は原則として夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行ないます。
- 成績評価の方法** 基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価や受講態度・出席点なども参考に判断します。
- そ の 他** *次の点を必ず確認して履修してください。
 ①吉田ゼミの演習IIを受講している3年生のみが登録できます。
 ②ビジネス・インターンシップaの単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップbを受けることはできません。

履修コード	095321
科目名	情報の経済学
担当者名	たぢ けんたろう 館 健太郎

講義のねらい 入門レベルでのミクロ経済学では、人々が選択を行うために必要な情報はすべて容易に入手できると想定していた。しかし、現実には、人々は先の見えない不確実な状況におかれていたり、人に保有する情報が異なっていることがしばしば見られる。もし人々がこのような状況にあるときには、結果はどのように変化するだろうか？また、情報が不足する問題に対してどのような対処が考えられるだろうか？本講義では、不確実性と情報にまつわる経済問題を紹介していきたい。

講義の内容・授業スケジュール 全体として5部構成で説明していく。

- (1) 市場と情報
 1. 市場の情報効率性
 2. 不確実性と情報
- (2) 不確実性下の意思決定
 3. リスクと期待値
 4. 期待効用
 5. リスクプレミアム
 6. 保険の役割
- (3) 情報の非対称性：逆選択
 7. レモンの市場
 8. シグナリング
 9. スクリーニング
- (4) 情報の非対称性：モラルハザード
 10. モラルハザード
 11. 業績給と相対業績評価
- (5) ホールドアップ問題
 12. コースの定理と不完備契約
 13. ホールドアップ問題
 14. 予備日

履修上の留意点 ミクロ経済学の学習を並行して行うことが望ましい。
成績評価の方法 基本的に期末試験で行う。ただし、課題を出すことがある。
教科書 とくに指定しない。
参考書等 とくに指定しない。
その他 レジュメ資料を配布し、黒板で解説する。

履修コード	098181
科目名	法と経済学
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二

講義のねらい 法制度は日常生活や企業活動などの様々な側面で経済に大きな影響を与えており、経済現象を考える上で、法制度の役割を理解することは不可欠である。そのような法制度の役割を経済システム全体の中で見るために、「法と経済学」ではミクロ経済学の手法を用いてインセンティブの視点から様々な法制度の役割について論じる。

受講する学生には、この授業を通じて経済における法制度の役割、それに関する政策の意義を考え、経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション (1)
2. 法律学と経済学の基礎 (2～3)
3. 犯罪と刑罰の「法と経済学」(4～6)
4. 事故と損害賠償の「法と経済学」(7～9)
5. 所有と契約の「法と経済学」(10～12)
6. 競争政策の「法と経済学」(13～15)

履修上の留意点 講義ではミクロ経済学の知識を前提とするため、ミクロ経済学を履修した学生を対象とする。
成績評価の方法 成績評価は、期末試験による。
教科書 テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。
参考書等 テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	098191
科目名	制度の経済学
担当者名	村松 幹二

講義のねらい 企業組織と企業を取りまく制度は相互に関連しながら経済システムを作り上げており、景気の動向や産業構造、雇用形態などを通じて消費者・労働者としての我々の生活に大きな影響をもたらす。また1990年代以降、企業の雇用形態や資本市場との関係などは大きく変化しており、そのなかで企業の不祥事が頻発するなど、企業組織のあり方やコーポレート・ガバナンスのあり方が問われている。

本講義では、ミクロ経済学、なかでも「比較制度分析」と情報の経済学などの手法を用いて企業組織に関する諸制度の相互の関連と経済システムについて論じる。

受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、経済における制度の役割、それに関する政策の意義を考えることで経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 企業システムと法・制度（1～2）
2. 日本の企業システム（3～4）
3. 雇用システムとインセンティブ（5～7）
4. 企業の競争戦略と競争政策（8～10）
5. 企業間取引（11～12）
6. 会社法とコーポレート・ガバナンス（13～15）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

講義ではミクロ経済学の知識を前提とするため、ミクロ経済学を履修した学生を対象とする。

成績評価は、期末試験による。

テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

専
門
教
育

履修コード	096811
科目名	ファイナンス論 a
担当者名	坂本 恒夫

講義のねらい サプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

<財務管理論とは何か> 1. 財務管理論概説 2. 機関投資家支配の時代 3. コーポレート・ガバナンス 4. キャッシュフロー管理 5. EVAと資本コスト管理
<財務計画と財務管理> 6. 経営計画 7. 財務計画 8. 設備資本管理 9. 運転資本管理 10. 利益管理

<株式資本とは何か> 11. 増資の方法 12. 株式の多様化 13. 株式所有 14. 配当政策 15. 自己金融

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

出席を重視します。

定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。

坂本恒夫編『テキスト財務管理論（第3版）』中央経済社、¥3,400、ISBN4-502-25160-7

ジェフリー・ジョーンズ著『イギリス多国籍銀行史』日本経済評論社、¥5,500、ISBN978-4-8188-1705-0

参考書等

坂本恒夫・文堂弘之編『図解 M&Aのすべて』税務経理協会、¥2,400、ISBN4-419-04800-X

履修コード	096821
科目名	ファイナンス論 b
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

- 講義のねらい** サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
- 講義の内容・授業スケジュール** <株式会社> 1. 株式会社と企業形態 2. 株式会社とLLP、NPO 3. 株式会社とベンチャービジネス 4. 株式会社と中小企業 5. 株式会社とM&A
<債務資本とは何か> 6. 企業間信用 7. CPとMTN 8. 借入金 9. 金利 10. 社債
<現代の財務管理> 11. 企業と銀行 12. 証券化 13. デリバティブ 14. ディスクロージャー 15. 明日の財務管理
- 履修上の留意点** 出席を重視します。
- 成績評価の方法** 定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
- 教科書** 坂本恒夫編『テキスト財務管理論（第3版）』中央経済社、¥3,400、ISBN4-502-25160-7
ジェフリー・ジョーンズ著『イギリス多国籍銀行史』日本経済評論社、¥5,500、ISBN978-4-8188-1705-0
- 参考書等** 坂本恒夫・文堂弘之編『図解 M&Aのすべて』税務経理協会、¥2,400、ISBN4-419-04800-X

履修コード	096812
科目名	財務管理 a
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

- 講義のねらい** サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
- 講義の内容・授業スケジュール** <財務管理論とは何か> 1. 財務管理論概説 2. 機関投資家支配の時代 3. コーポレート・ガバナンス 4. キャッシュフロー管理 5. EVAと資本コスト管理
<財務計画と財務管理> 6. 経営計画 7. 財務計画 8. 設備資本管理 9. 運転資本管理 10. 利益管理
<株式資本とは何か> 11. 増資の方法 12. 株式の多様化 13. 株式所有 14. 配当政策 15. 自己金融
- 履修上の留意点** 出席を重視します。
- 成績評価の方法** 定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
- 教科書** 坂本恒夫編『テキスト財務管理論（第3版）』中央経済社、¥3,400、ISBN4-502-25160-7
ジェフリー・ジョーンズ著『イギリス多国籍銀行史』日本経済評論社、¥5,500、ISBN978-4-8188-1705-0
- 参考書等** 坂本恒夫・文堂弘之編『図解 M&Aのすべて』税務経理協会、¥2,400、ISBN4-419-04800-X

履修コード	096822
科目名	財務管理 b
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

- 講義のねらい** サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
- 講義の内容・授業スケジュール** <株式会社> 1. 株式会社と企業形態 2. 株式会社とLLP、NPO 3. 株式会社とベンチャービジネス 4. 株式会社と中小企業 5. 株式会社とM&A
<債務資本とは何か> 6. 企業間信用 7. CPとMTN 8. 借入金 9. 金利 10. 社債
<現代の財務管理> 11. 企業と銀行 12. 証券化 13. デリバティブ 14. ディスクロージャー 15. 明日の財務管理
- 履修上の留意点** 出席を重視します。
- 成績評価の方法** 定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
- 教科書** 坂本恒夫編『テキスト財務管理論（第3版）』中央経済社、¥3,400、ISBN4-502-25160-7
ジェフリー・ジョーンズ著『イギリス多国籍銀行史』日本経済評論社、¥5,500、ISBN978-4-8188-1705-0
- 参考書等** 坂本恒夫・文堂弘之編『図解 M&Aのすべて』税務経理協会、¥2,400、ISBN4-419-04800-X

履修コード	095811
科目名	ネットワーク組織論 a
担当者名	梅木 眞

講義のねらい 20世紀は「(巨大)組織の時代」であった。しかし、21世紀を迎えた今、そうした潮流は大きく変わりつつある。これまで支配的であった巨大組織に代わり、「組織のネットワーク」が重要な存在となってきた。本講義では組織のネットワークの形成・発展のメカニズムと、そのマネジメントについて学んでいくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに
2. 市場と組織
3. ピラミッド型組織
4. 分権型組織
5. 組織間ネットワーク
6. 組織間ネットワークのマネジメント (1) -資源依存の観点
7. 組織間ネットワークのマネジメント (2) -組織学習の観点
8. 組織間ネットワークのマネジメント (3) -外部経済の観点
9. 戦略的提携とアウトソーシング (1)
10. 戦略的提携とアウトソーシング (2)
11. M&A (1)
12. M&A (2)
13. グループ経営
14. バーチャル組織とインターネット
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価(100%)を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5~10点を試験成績に上乘せする。

教科書
参考書等

(使用しない)
山倉健嗣『新しい戦略マネジメント-戦略・組織・組織間関係』同文館出版、2940円
ISBN: 978-4-495-37701-4

履修コード	095821
科目名	ネットワーク組織論 b
担当者名	梅木 眞

講義のねらい 現代は巨大企業中心の社会から中小企業・地域企業・コミュニティビジネス・NPOなど多様な組織から成る社会へと移行しつつある。また、インターネットの普及は従来型のビジネスモデルを大きく変えてしまった。本講義ではそれらの組織が織り成すネットワークと、その社会に対する影響について学んでいくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに
2. 均質化社会から多様性社会への移行
3. 中堅・中小企業の台頭とネットワーク
4. クラスター (1) 概論
5. クラスター (2) 事例分析①
6. クラスター (3) 事例分析②
7. 産学官のネットワーク (1) 概論
8. 産学官のネットワーク (2) 事例分析①
9. 産学官のネットワーク (3) 事例分析②
10. コミュニティビジネス (1) 概論
11. コミュニティビジネス (2) 事例分析
12. NPO (1) 概論
13. NPO (2) 事例分析
14. ネットワーク組織におけるメディアと情報
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価(100%)を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5~10点を試験成績に上乘せする。

教科書
参考書等

使用しない。
中小企業総合研究機構『産業集積の新たな胎動』同友館、2730円、ISBN: 4-496-03702-5
五十嵐敬喜・天野礼子『市民事業』中公新書 ラクレ、ISBN: 4-12-150085-7

履修コード	097011
科目名	ボランティア経済 a
担当者名	<small>すずき たかし</small> 鈴木 岳

講義のねらい	日本を中心に、ボランティアをめぐる経済活動について、その成り立ちと近況、さらにその周辺の活動と、各種の課題についてお話しする予定です。ボランティア経済について、その有用性と限界について冷静に考えてみましょう。
講義の内容・授業スケジュール	(1～2) はじめに、経済の基礎素養をチェックする (3～7) ボランティアの定義、その歴史的経緯、近年のボランティア活動とその契機、その形態と活動領域、新自由主義とボランティアリズム (8～11) 協同組合、NPO、地域通貨、国家・自治体との関係、企業との関係 (12～14) 評価と表彰、問題と批判、限界について (15) これから
履修上の留意点	ボランティアに関わろうと考える人は、人間愛・博愛精神に裏打ちされた善意を強く有する一方、ともすれば観念的で、現実の経済システムの基本問題を見落としがちです。あふれる情報を自分の頭で考え整理すること、このことを常日頃から意識して下さい。
成績評価の方法	学期末試験を中心とします。が、授業内に提出を求めるコメント票も出席状況とともに考慮します。
教科書	特に使いません。参考文献、資料については、授業内に適宜紹介します。

履修コード	097021
科目名	ボランティア経済 b
担当者名	<small>すずき たかし</small> 鈴木 岳

講義のねらい	世界に目を向けて、ボランティアをめぐる経済活動について、いくつかの諸国を抽出し、それぞれの成り立ちと近況、さらにその周辺の経済活動と、各種の課題についてお話しする予定です。ボランティアという表現も、経済活動や国家のあり方に応じて、さまざまな様相を持つことが理解されるでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	(1～2) はじめに、世界経済をめぐる基礎素養をチェックする (3～11) 諸国の政治経済事情を踏まえた各国ボランティア事情ーアメリカ、イギリス、スウェーデン、フランス、イタリア、スペインほかーキーワードとして、社会的経済論、ノーブレス・オブリージュ、良心的兵役拒否、地域通貨、NPO、NGO、地域通貨、国家・自治体との関係、企業との関係など (12～14) ボランティア活動を受容する側の第三世界諸国とその評価、問題 (15) まとめ
履修上の留意点	ボランティア経済論 a に同じです。
成績評価の方法	学期末試験を中心とします。が、授業内に提出を求めるコメント票も出席状況とともに考慮します。
教科書	特に使いません。参考文献、資料については、授業内に適宜紹介します。

履修コード	097031
科目名	ベンチャー論
担当者名	<small>ながやま ちかひろ</small> 長山 宗広

講義のねらい 日本は、大量生産体制・キャッチアップ型経済から、知識集約化・フロントランナー型経済へとパラダイムの転換を果たした。こうした時代環境の中、ミクロレベルでは、プロダクト・イノベーション創出の担い手として、ベンチャービジネスに期待が高まっている。本講義では、ベンチャービジネスに関する正確な理解を深めるとともに、ベンチャービジネスの担い手である起業家を養成していく。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ケーススタディなどを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) ベンチャービジネスとは（ガイダンス）
- (2) ベンチャービジネスのブームとベンチャー企業「観」
- (3) 中小企業、中堅企業、ベンチャー企業
- (4) ベンチャー企業の成長ステージ別マネジメント
- (5) ベンチャー企業とイノベーション
- (6) イノベーションの発見
- (7) ケーススタディ：SWOT分析の活用
- (8) ベンチャー企業のマーケティング戦略
- (9) 大学発ベンチャー、産学連携の実態
- (10) スピンオフ・ベンチャーの実態
- (11) ベンチャー金融（ベンチャーキャピタル、エンジェル、株式公開）
- (12) ベンチャー支援施策とインキュベーション

**履修上の留意点
成績評価の方法**

起業論、ベンチャー論を一括履修することががのぞましい。
期末試験による評価：50%

**教科書
参考書等**

講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%
教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。
植田・桑原・本多・義永『中小企業・ベンチャー企業論』有斐閣コンパクト,2006年
金井・角田編『ベンチャー企業経営論』有斐閣,2002年
松田修一『ベンチャー企業』日本経済新聞社,1998年
ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社,1997年
本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

その他

履修コード	097041
科目名	起業論
担当者名	<small>ながやま ひろひろ</small> 長山 宗広

講義のねらい 1990年代以降、日本では廃業率が開業率を上回り、経済のダイナミズムが失われてきている。特に、地方圏においては、企業誘致による外来型開発に限界が見える中、地域における新規開業企業の増大・創業支援が重要な課題となっている。本講義では、こうした課題解決に向けて主体的に挑戦できる人材（起業家）を養成する。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ビジネスプラン（事業計画書）作成の演習などを交えた実践的学習をすすめていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1) 前期（ベンチャー論）のサマリー、起業論のガイダンス
 - (2) 起業、起業家とは
 - (3) 近年の起業活動の実態
 - (4) 近年の起業家の実態
 - (5) 起業活動の出発点（事業機会の発見）
 - (6) ビジネス・アイデアの創出
 - (7) 起業とイノベーション
 - (8) ビジネスプランと起業家
 - (9) 起業活動と経営戦略（ビジネスモデル、ドメイン）
 - (10) 創業期のマーケティング活動
 - (11) アクションプラン
 - (12) 計数計画、資金調達
 - (13) 組織・人材戦略
 - (14) ビジネスプランの作成

履修上の留意点 起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。
成績評価の方法 期末試験による評価：50%
 講義中のレポート（ビジネスプラン）および出席状況など平常点：50%

教科書 教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。

参考書等 高橋徳行『起業学の基礎』勁草書房,2005年

高橋徳行『起業学入門』通商産業調査会,2000年

ジュフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社,1997年

その他 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	097051
科目名	コミュニティ・ビジネス論
担当者名	<small>やまぐち こうへい</small> 山口 浩平

講義のねらい 従来の社会システムが有効に解決し得ない多様で個別的な地域の課題に対して、ビジネスの手法を用いてそれを解決し、得られた利益を構成員に分配するだけでなく、コミュニティへの還元へと使用する組織が近年注目を集めています。この講義ではこのコミュニティ・ビジネス（CB）の概念を整理し、その存在を理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 1.CB登場の背景：地域社会の歴史と現状、事例紹介（1～6）、2.CBをめぐる概念整理と経営課題：NPO、株式会社等との比較と各国比較（7～10）、3.CBを支える仕組みと展望：支援組織、金融システム（11～15）、

履修上の留意点 非営利組織についての一定の知識を要します。各種メディアを通じて日常的に情報を得ておいてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題を中心に、講義への参加も考慮します。

教科書 特に指定しません。毎回資料を配布します。

参考書等 細内信孝（1999）『コミュニティ・ビジネス』中央大学出版部

斎藤慎（2004）『社会起業家』岩波新書

福原宏幸（2007）『社会的排除/包摂と社会政策』法律文化社

履修コード	097061
科目名	協同組合論
担当者名	山口 浩平

講義のねらい この講義では生協、農協など、構成員の共通の目的を達成する上で人と人との結びつきによって組織されている協同組合の存在を理解し、その各国における現状と課題、またその現代的な姿を探ることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール 1.協同組合が存在する背景と法制度、社会・経済システムの中での位置づけ：株式会社・NPO等との比較（1～5）、2.日本における各種協同組合の現状：農協・生協・協同組織金融等（6～10）、諸外国の協同組合と非営利・協同セクターの中での存在意義、新しい協同組合（11～15）

履修上の留意点 身近にある協同組合（店舗やサービス）に実際に触れてみる機会を持って下さい。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題を中心に、講義への参加も考慮します。

教科書 特に指定しません。毎回資料を配布します。

参考書等 栗本昭編著（2006）『21世紀の新協同組合原則』コープ出版社
河野直哉（2006）『協同組合入門』創森社
川口清史・富沢賢治編（1999）『福祉社会と非営利・協同セクター』日本経済評論社

履修コード	097161
科目名	ビジネス事例研究
担当者名	百田 義治

講義のねらい この講義では、新たなビジネス・モデルを構築している企業、CSR経営を実践する先進的企業、あるいはベンチャー・ビジネス経営者、社会起業家、NPO代表、ファンド・マネジャーなど、さらにはスポーツ分野の指導者やジャーナリズムやマス・メディアで活躍する駒大関係者などを講師に招いて、ビジネスの実践、仕事の内容と社会的意義、指導者に求められるもの、大学時代に学んでおくべきこと、などについて幅広く語ってまいります。このようなゲストスピーカーの話から、学生諸君は社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験、勉学上の刺激と知識を学び取ることができるでしょう。実践的・体験的な講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール ほぼ2回に1回のペースで講師を迎えて講義を受けます。金融、流通、商社、メーカー、外食、建設などさまざまなビジネスや、自立した職業人を予定しています。詳細は授業開始までに講師の日程が決定次第、担当者（百田）のホームページでお知らせします。

履修上の留意点 講師の企業や職業について、予備的講義は行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加してください。

成績評価の方法 各講師の話についてレポートを提出してもらいます。今学期は7人を予定しています。7回のレポート（1200～1600字）の評価と学期末の授業全体に関するレポート（4000字程度）で評価します。

教科書 なし

参考書等 必要があれば授業で紹介します。

その他の他 この科目は、「トップ・マネジメント講座」（後期、2単位）とともに、履修制限（150名）をします。最初の授業で履修制限の説明をします。授業における私語および携帯電話の使用は禁止します。また講師講演中の遅刻入場や途中退席はできません。

履修コード	097171
科目名	トップ・マネジメント講座
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義のねらい 本講義は、日本取締役協会の寄附講座として開講されます。日本取締役協会の詳細は <http://www.jacd.jp/> を参照してください。現代日本を代表する企業のトップ（経営者）の人達に、その貴重な経験を踏まえて、企業経営の実践、経営の真髄、コーポレート・ガバナンス、また職業観や人生観などを講演していただき、学生諸君とのディスカッションにも応じていただきます。経済学・経営学などの学習に大きな刺激となるだけでなく、経営者が学生に期待するものを知ることがキャリア・デザインにも大いに参考になることでしょうか。企業と経営について、日本を代表する企業の経営者から体験的・経験的な生きた知識を学ぶことが本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール はば2回に1回のペースで講師を派遣していただき講演していただきます。今年は6人の講師を予定しています。講師の方々の授業の前夜の授業日には、予習（企業やテーマの紹介など）と復習（講演の理解を深めるためのフォローアップ）を行います。講師の詳細は4月登録までに決定し、担当者（百田）のホームページなどでお知らせします。

履修上の留意点 予備的講義を予習として行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加し、ディスカッションにも積極的に参加してください。

成績評価の方法 各講師の話についてレポートを提出してもらいます。今学期は6回のレポート（1200～1600字）の評価と学期末の授業全体に関するレポート（4000字程度）で評価します。

教科書 なし

参考書等 必要に応じて授業で紹介します。

その他 この科目は、「ビジネス事例研究」（前期、2単位）とともに、履修制限（150名）をします。4月の「ビジネス事例研究」の最初の授業で履修制限の説明をします。授業における私語および携帯電話の使用は禁止します。また講師講演中の遅刻入場や途中退席はできません。

履修コード	101201
科目名	現代産業事情Ⅲ
担当者名	<small>さるやま よしひろ</small> 猿山 義広

講義のねらい 野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール 以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。

第1回 ガイダンス
 第2回 経済情報の捉え方
 第3回 証券投資のリスク・リターン
 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
 第5回 企業とCSR
 第6回 債券市場の役割と投資の基礎知識
 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識(1)
 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識(2)
 第9回 投資信託の役割とその仕組み
 第10回 日本の株式市場の歴史
 第11回 経済成長と金融資本市場
 第12回 資本市場における投資家心理
 第13回 資産運用とライフ・プランニング
 第14回 レポートの講評
 第15回 まとめ

履修上の留意点 定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法 出席点とレポート点で評価する。

教科書 毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

参考書等 野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。
氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

その他 企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	101901
科目名	演習I
担当者名	浅野 克巳 <small>あきの かつみ</small>

講義のねらい	ゼミの目標は3つ ・はじめに経済学を基礎理論からしっかり勉強しよう ・新聞の事例などを参考に理論を現実の経済に応用してみよう ・練習問題を通して経済学をしっかりマスターしよう
講義の内容・ 授業スケジュール	1. マクロ経済学を基礎から学ぶ 2. ミクロ経済学を基礎から学ぶ 3. 経済学の理論を通して新聞や経済白書を読み経済学的に考える練習をする 4. インターネットで経済学を学ぼう 5. エクセルで需要曲線や供給曲線を描いてみよう 6. 国家試験などの過去問を実際に解いてみよう
履修上の留意点	演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。
成績評価の方法 教科書 参考書等	なにより授業にまじめに出席することが前提だ。 経済学の入門書を授業の際に指示する。 必要に応じて参考書その他の資料については授業の中で指示する。

専門教育

履修コード	103901
科目名	演習I
担当者名	姉齒 暁 <small>あはは あき</small>

講義のねらい	紙面を賑わせるさまざまな社会・経済問題は、わたしたちの生活に多大な影響を与えるものでありながら、難解な言葉で語られることが多いので、実際には、それがどのように生活と関わっているのかが見えにくいものでもあります。 そこで、演習Iでは、生活実感を通して社会・経済の問題を考えていくことを体験してもらおうと同時に、「真理の探究」のために必要不可欠な「問題意識」を持てるような課題に取り組む作業を行いたいと考えています。 皆で一緒に考えていくこと、意見を交わしていくことで、複雑な問題でも理解しやすくなるという実感は、ゼミならではの最も大切な体験になることでしょう。 具体的には、「グローバル経済下の日本の消費生活」という大きなテーマの下、簡潔かつ安価な新書やブックレットを題材に、報告ならびに討論を行うつもりです。
講義の内容・ 授業スケジュール	ゼミの活動に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。タイムリーな問題を扱った新書やブックレットといった安価で簡潔にまとめられた題材を利用して、レジュメの作り方から報告・討論の手法を身につけます。 ゼミ生と相談の上、時期を決めて合宿を行います。現時点では、農村での合宿を通して、「グローバル化の影響」と「食生活」、「コミュニティ」などを考えたいと思っていますが、特にこのゼミは、今年度がデビューとなりますので、皆さんと相談の上で、どのような合宿にするのかを決めたいと思います。
履修上の留意点	遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。 また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。 ただ、その場に座っているだけでは、ゼミへの参加とはみなしえません。必ず毎回発言することが求められます。
成績評価の方法 教科書 参考書等	報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。 最初の時間に何冊かを提示し、相談の上、決定します。 随時、紹介します。

履修コード	102001
科目名	演習I
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい テーマ：日本経済論-1
 講義の内容・授業スケジュール 日本経済の歴史的展開
 また年間2回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。
 ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載します。
 履修上の留意点 「演習」ですから出席することは基本です。
 合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。
 4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。
 成績評価の方法 総合的に評価します。「定期試験」はありません。

履修コード	103501
科目名	演習I
担当者名	荒木 勝啓 <small>あらか よしひる</small>

講義のねらい 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。
 講義の内容・授業スケジュール モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップパブリケーション）の方法を習得させる。すなわち（1）編集方法（Page Maker, Quark Express）（2）グラフィックス（Illustrator）（3）レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、DTP検定2種試験にチャレンジする。
 成績評価の方法 検定試験への挑戦50％と出席点50％。ただし検定試験に不合格だからといってゼミが不合格ということにはならないので、ご安心。
 教科書 指定なし。ただし必要な場合指示する。
 その他 Macintosh 教場を使う。

履修コード	102401
科目名	演習I
担当者名	有井 行夫 <small>ありい ゆきお</small>

講義のねらい 現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバルゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。――これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。
 講義の内容・授業スケジュール 前期 有井のプリント、新聞の読み方、佐和隆光『市場主義の終焉』
 夏合宿 競争主義対平等主義
 後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、ドーア『誰のための会社にするか』
 履修上の留意点 最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。
 成績評価の方法 ゼミへの積極的参加50％、各種レポートの評価50％
 教科書 佐和隆光『市場主義の終焉』（岩波新書）。ロナルド・ドーア『誰のための会社にするか』（岩波新書）。

履修コード	104401
科目名	演習I
担当者名	<small>しいだ やすひさ</small> 飯田 泰之

講義のねらい 演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期
 ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
 ・Word、Excelの基本操作に関する講義
 ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表
 夏期合宿
 ・ディベート大会

後期
 ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
 ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読
 ・卒論報告会

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学のa、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。
 教科書は開講時に協議する。
 テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。
 経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

履修コード	104601
科目名	演習I
担当者名	<small>いしかわ じゅんじ</small> 石川 純治

講義のねらい 企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。
 また社会経済における「生きた会計」を学習するために「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切でそれとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です、したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。
 経済・法律の基本テキストなど、その都度指示します。
 『常識「日本の論点」』（文藝春秋）など、必要に応じて指示します。
 国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見る事ができますので参考にしてください。

履修コード	101801
科目名	演習I
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二

講義のねらい	企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのであろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。 特に、演習Iでは、そのような分析視点を確立するために、基本的なスキルと知識を身につけることが目標となる。
講義の内容・授業スケジュール	演習Iでは、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に扱う。基本的には、プリントを中心にディスカッションを行いたい。
履修上の留意点	積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。
成績評価の方法	特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。
教科書等	特になし。
参考書等	必要に応じて紹介する。
その他	合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

専門教育

履修コード	102101
科目名	演習I
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝

講義のねらい	企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、企業不祥事の続出、経営不振、機関投資家・投資ファンドの不祥事など経営システムの改革が企業経営に求められています。演習では、現代企業におけるトップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業経営の仕組みや企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関を理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関係、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。
講義の内容・授業スケジュール	経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。 1. ゼミナールの概要とガイダンス（1） 2. 株式会社の仕組み（2～5） 3. 株式所有と会社支配（6～7） 4. トップ・マネジメントの組織と機能（8～12） 5. 企業の社会的責任（CSR）の現状（13～18） 6. 企業とステークホルダー（19～25） 7. 企業と社会のあり方（26～30）
履修上の留意点	ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。専門の学習に向けて自らの課題を発見することや積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してほしい。
成績評価の方法	ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。
教科書等	開講時に指定します。
参考書等	開講時に指定します。
その他	演習III履修時には「卒業研究」（4単位）を併設します。

履修コード	102201
科目名	演習I
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義のねらい 現在、日本の経済構造は大きく変化しつつあります。この変化は、1970年代の国際通貨制度の崩壊、石油危機などとともに始まり、バブル経済とその崩壊を経て今日に至っています。この演習では、資本主義の経済理論を学びながら、現代資本主義の諸問題について考えます。とくに、バブル経済がなぜ起り崩壊したか、その原因を考えながら今日の日本経済の特質について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 今年度は、増田寿男他編『現代経済と経済学』をテキストとして、日本経済の特質について、理論と歴史の両面から迫ります。また、環境問題、高齢化社会のあり方、日本の開発援助など、今日の重要問題について学習します。

履修上の留意点 欠席・遅刻をしないこと。演習Iの履修者は、原則として演習II・IIIを履修し、4年次に「卒業論文」を作成することになります。

成績評価の方法 平常点により評価します。

教科書 増田寿男他編『現代経済と経済学』（有斐閣ブックス）2,300円＋税

参考書等 大西広他『政治経済学』（大月書店）

その他 ①「卒業研究」を併設します。
②演習IIでは、選択科目「ビジネス・インターンシップ」を履修することができます。
③コース制との関連：コースの履修は自由です。

履修コード	101601
科目名	演習I
担当者名	おおむき かつお 大吹 勝男

講義の内容・授業スケジュール 今年度のゼミは、『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感がある。そこで、真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということである。

それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法 平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

その他 <応募するにあたっての注意点>
個別説明会はしませんが、諸君が聞きたいことを、予想して答えておきます。
1. 夏合宿はあります。
2. ゼミは休めません。当たり前のことですが、今日の学生はこのようなことを質問するのです。
<卒業研究の有無>
義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

履修コード	104301
科目名	演習I
担当者名	北口 ^{きたぐち} りえ

講義のねらい

税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習では、法人税を中心として租税の基本的な考え方や課税所得計算構造について学び、租税、特に法人税に関する理解を深めることを目的として行います。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、まず、税体系を概観し、租税の意義や租税特有の論理について学びます。その上で、法人税の特質、課税所得の計算構造などについて学び、税務会計についての理解を深めていきます。法人税法における課税所得は、公平な課税を実現させるために、企業利益に「別段の定め」による調整を加えて算出されます。したがって、企業利益と課税所得を比較しながら、益金の額・損金の額についての学習を進めます。

基本的には、テキストの1つのテーマに対して2、3人のグループにより報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

履修上の留意点

ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事（合宿、税務署見学、ゼミナール連合会での研究発表会等）にも積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点（出席率、報告内容、授業やゼミの運営への参加度など）とレポートの総合評価により行います。

**教科書
参考書等**

理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

使用テキスト等はゼミ生との話し合いの上で決定します。

金子宏『租税法』（中央経済社）

履修コード	104001
科目名	演習I
担当者名	小杉 修二

講義のねらい

大学の授業には演習と講義があります。講義はいわば先生が中心にしゃべり、結論を出していきま。これに対して、ゼミ（演習）は学生が自分たちで問題を確かめ、事実と論理を確認し、結論へとたどり着くようにします。その意味では、皆さんが中心になって進めていきます。

変化の激しい近頃の社会では学んだことが古くなるスピードも速くなりつつあります。覚えたことは古くなったら使えなくなるものもあるでしょう。でも、大丈夫です。新しい状況について、また勉強すればよいのです。でも勉強をしたことがない人は勉強ができません。大学では特定の事柄について勉強しますが、同時にそれを通じて勉強の仕方を勉強しましょう。その勉強の仕方の中で、自分で調べたり、議論したり、人の意見を聞いたりしながら、知識を深め、根拠を確かめ、結論を出すといったトレーニングをし、また、相手に理解してもらおう発表に熟達するトレーニングをするのがゼミです。

講義の内容・授業スケジュール

このゼミでは地球環境問題の中の「地球温暖化問題」を考えます。

近年の猛暑が騒がれていますが、これも年間平均にすると、平年に対して1度程度の昇温を過ぎません。国連の機関であるIPCCによれば、今世紀末には地球全体が1.8-4.0度の気温上昇を見られるだろうとされています。文明（農業）が生まれたのが1万年前とされていますが、この1万年というのは、地球の平均気温は15度近辺で安定していました。時々起きる変動の幅もプラスマイナス1度程度でした。つまり、今予想されている気候の変動は「文明の未体験ゾーン」なのです。

温暖化の害悪はさまざまありますが、海面上昇や雨の降り方の変化、農地の乾燥化、熱帯の病気・害虫の北上などが言われています。映画にも取り上げられた「温暖化が地球の寒冷化をもたらす」という逆転現象も決して「冗談」ではない現実性をもったものです。

原因の主たるものは石炭・石油・天然ガスの燃焼に伴う炭酸ガスが太陽からの熱を閉じ込めて宇宙空間に逃げにくくするからです。しかも厄介なことに、暑くなるとますます暑くなるというメカニズムが地球にはあります。例えばシベリヤの永久凍土層にはメタンが閉じ込められていますが、暑くなればこれらが溶け出てきます。メタンガスは炭酸ガスの20倍の温暖化効果があります。こうした加速要因は23ほど見つかっていますが、そのほとんどがプラスの加速要因です。「サプライズ」とも言われる急激で過激な気候変動の可能性も排除はできません。

温暖化問題は近代文明・経済活動を支える化石燃料が主たる原因となって起こるため、その対策は経済活動にも大きな影響をもたらす、経済活動のあり方や文明のあり方にも変更を迫ることになる可能性もあります。その対策をする時に必ず「利害」が絡みます。この利害関係を合理的に制御するのが経済学の課題です。

こういった問題を勉強するのがこのゼミです。通常の授業とならんで年2回の「ゼミ合宿」では集中的に1冊の本を勉強します。また、ゼミ生同士の親睦を図るため、いくつかのイベントも用意しています。

- 第1-5週：テキスト第1章第1-3節
- 第6-10週：テキスト第1章第4-5節
- 第11-15週：テキスト第2章第1-6節
- 第16-20週：テキスト第2章第7-9節、第3章第1-3節
- 第25-30週：テキスト第3章第4-12節

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書
その他

出席の悪い人は単位を認定できません。
出席状況とゼミへの参加の積極性・発言を総合して判定する。
『よくわかる地球温暖化問題』（中央法規社）
小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会）
〈卒業研究の有無〉
あり。4年次に履修（別に4単位が与えられる）。

履修コード	101411
科目名	演習I
担当者名	小西 宏美

講義のねらい

「多国籍企業とグローバル化」をテーマとしています。多国籍企業の活動がいかにグローバル化を進めてきたのか、グローバル化の進展が我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点

テキストを読み進めながら、国際経済や国際金融の基礎的知識を習得します。

成績評価の方法
教科書

演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

出席、報告、討論の3点で評価します。
最初の授業時に指定します。

履修コード	104901
科目名	演習I
担当者名	こばやし まさと 小林 正人

講義のねらい

テーマは「IT経済の歴史と現状」。

講義の内容・
授業スケジュール

ブロードバンドが普及し、携帯電話の機能がめざましく拡張しており、IT（情報技術）に関連したビジネスや電子商取引が新しい成長をみせています。ITによるイノベーションは確実に進展しています。しかしサイバー犯罪やセキュリティ問題なども重大になっています。これらの最新動向や諸問題について検討し、これをつづじて日本経済の今後の発展について考察したいと思います。

前期は、(1～5)インターネットによる情報検索や、各ゼミ生のホームページの開設に取り組み、インターネットのしくみを学びます。(6～10)ワープロによるレポート作成の技法も修得します。(11～15)さらに新聞報道の収集によりIT経済の最新動向をつかみます。

後期は、(16～30)「IT経済の歴史と現状」について文献をもとに研究します。ゼミ生がグループ研究や研究成果のプレゼンテーションに取り組み、自発的な調査や発表の方法を学びます。

下記のサイトの「ゼミのひろば」にこれまでのゼミ活動の概要を載せています。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

駒澤大学の学内情報ネットワーク (KOMAnet) を使うためのユーザーIDとパスワードをいつでも使えるようにしておく。またゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に従う。

成績評価の方法

ふだんの発表、レポート、出席状況を総合して評価。

教科書

授業中に決める。

参考書等

適時紹介する。

その他

演習IIIに「卒業研究」(卒業論文のみ)を併設。

専門教育

履修コード	103301
科目名	演習I
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正

講義のねらい

「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それにもなっている銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

IT（情報通信技術）の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞誌上で目にすることが多くなりました。いまや金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない一大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブや M&A（合併）の仲介へと大きく変貌を遂げています。

演習Iでは、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を眺めながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済において、どのような意味で重要であるのかを考えます。

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

履修上の留意点

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

成績評価の方法

全国銀行協会金融調査部編『図説 わが国の銀行』財経詳報社

教科書

日本銀行『わが国の金融制度』

参考書等

日本経済新聞社『経済新語辞典』（毎年、新版が発行されています）

その他

「卒業研究」を併設します。

履修コード	102601
科目名	演習I
担当者名	<small>しみず たかし</small> 清水 卓

講義のねらい このゼミは、現在のヨーロッパ経済や社会の研究を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは多数の国や地域からなる大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、中東欧諸国の加盟、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会、教育制度、各国国民の日常生活など興味の対象はつきません。3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自分の考えを表現できるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場になりたいと思います。

履修上の留意点 中・東欧諸国の加盟による構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

成績評価の方法 演習Iでは、ディベートとEUに関する基礎知識修得を課題とします。見学（裁判所、TBS、製鉄所、東京の街散歩）などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやります。

教科書 「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。このように書くこと遊びの方を期待するかもしれませんが、けじめをつけて、何事につけ前向き真剣に取り組もうとする姿勢がほしいですね。

参考書等 それと、数年前から基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TOFLE、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

その他 平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。演習ではペーパーテストはやりません。

教科書 参加者の意向を聞き取った上で決定します。

参考書等 授業で紹介します。

その他 「卒業研究」併設。

履修コード	101701
科目名	演習I
担当者名	<small>しろた じゆん</small> 代田 純

講義のねらい 金融や証券市場に関する基礎を習得すること。

講義の内容・授業スケジュール 2年生の前半は、金融に関する基本を理解することを目指す。後半には、証券市場の現状理解へと進む。また毎年、2年生の後半には、日経ストックリーグへ参加している。

履修上の留意点 欠席しないこと。

成績評価の方法 出席点は80点、発表点は20点。レポートやテストはない。

教科書 代田 純、『図説 やさしい金融財政』、丸善、定価1800円+税、ISBN4-621-07708-2

代田 純、『日本の株式市場と外国人投資家』、東洋経済、定価2800円+税 ISBN 4-492-71155-4

履修コード	101501
科目名	演習I
担当者名	<small>すずき のぶえ</small> 鈴木 伸枝

講義のねらい 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール 2年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるミクロ経済学もしくはゲーム理論のテキストの輪読を中心とします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。

履修上の留意点 コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

成績評価の方法 ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

教科書 出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

その他 受講者と相談して決定します。

履修コード	102801
科目名	演習I
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した社会、経済、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうこと。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの大学（なかでも名門シカゴ大学）の演習の方式を採用して、「基礎はしっかり、研究は自由に」のスローガンのもと、活気あるゼミ活動をしています。何を研究・学習の対象とするかは、受講生の希望によりかなり幅広くみとめているのが当ゼミの特徴。

最初の2ヶ月は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。その後は、グローバル時代の世界経済の特質と諸問題、および日本経済の特質とその歴史的背景など、自主的研究としてどんなテーマをとりあげるばあいでも最小限知っておくべきことについて、共同で学習し、討論します。しばしば英語の文献も使用します。

その他、上級生によるパソコン教室、英語圏から当ゼミにきた留学生による英会話教室、上級生と少人数グループで一緒に学習・研究をするサブゼミの活動、他大学の学生と交流できる日本学生経済ゼミナールへの参加、アメリカの学生とのインターネットによる交流とテレビ会議システムをつかった遠隔討論会、工場見学・企業訪問など多彩なイベントが用意されています。

成績評価の方法 ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書等その他 随時、有益な文献を紹介します。
随時、有益な文献を紹介します。
当ゼミは、2003年には『世界週報』で全国に、1994年にはCNNテレビで世界120カ国に紹介されました。
当ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/setooka>

履修コード	103601
科目名	演習I
担当者名	<small>そが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義のねらい 2年生のゼミでは、マーケティングの基礎理論を理解しながら学習姿勢と発表力を見つけることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール 1～2回 学習方法、調査方法、発表方法などを指導。
3～7回 製品政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
8～12回 価格政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
13～15回 製品、価格政策に関するディベートをする。
夏合宿 マーケティングに関する時事問題を取り上げ、ディベートをする。
16～20回 チャネル政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
21～25回 販売促進政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
26～29回 ディベート大会に向けての学習指導。
ゼミ合同ディベート大会
30回 ディベート大会反省会

履修上の留意点 ・出席を重視するが、特に夏合宿、12月のディベート大会は必ず出席をしてもらいたい。
平常点（・日常の出席と学習態度60％、・合宿の出席と学習態度20％、・ディベート大会の出席と学習態度20％）で評価する。

成績評価の方法 特に指定しない。
必要に応じて紹介する。

教科書等

履修コード	101421
科目名	演習I
担当者名	館 健太郎

講義のねらい

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとても広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上に立って、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使って、ゲーム理論そのものの学習を中心にすすめます。その後、ゲーム理論の学習と並行して、グループや個人で実際の産業や行政について調べ、そこからゲームを作って分析するなど、より実践的な研究へと展開していきます。

履修上の留意点

- ・自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視します。
- ・年に1～2回（休みの期間）、インゼミ（ゼミ合宿や他大学のゼミとの合同合宿）を行いたいと思っています。このときには交通費・宿泊費などの実費がかかります。自由参加としますが、参加や準備に積極的な人を希望します。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席状況と発表などゼミへの貢献度
渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）
梶井厚志(2002)『戦略的思考の技術』中央公論社（中公新書、1658）
卒業研究として仕上げることをめざします。

履修コード	104801
科目名	演習I
担当者名	鄭 章淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税
夏季休暇中にゼミ合宿をします。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習（ゼミ）の特別企画として課外活動も行うつもりです。

成績評価の方法
その他

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。
4年次に「卒業研究」を併設します。

履修コード	103101
科目名	演習I
担当者名	徳永 ^{とくなが} 俊明 ^{としあき}

講義のねらい 発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とその中での人びとの生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたたかいについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさと貧困”を考えます。

講義の内容・授業スケジュール 上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点 何よりも<考える>努力を求めます。

成績評価の方法 <考える>努力したかどうかをもって評価します。

参考書等 考え、討論するための資料を使ってすすめます。

その他 演習Ⅲに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	104701
科目名	演習I
担当者名	友松 ^{ともまつ} 憲彦 ^{よしひこ}

講義のねらい 経済史の基礎を学びます。現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに興味を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことによって現在の経済の理解を深め、その問題点を明らかにすることが、今後の社会や経済はどうあるべきかを考えることにつながります。経済学の基礎知識を習得しながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール 2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。

2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。

3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読し報告と討論を行います。

4年次は、自分でテーマを決めて卒業研究をまとめます。

また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやリポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

(1) 年度末のリポート、(2) 平常点(レジュメ、報告、討論の状態)(3) 出席状態、を総合して評価します。

履修上の留意点 最初の授業で指示します。

成績評価の方法 演習を通じて紹介します。

参考書等 卒業研究を併設します。

その他

履修コード	102501
科目名	演習I
担当者名	<small>なかずみ みつあき</small> 中津 光昭

- 講義のねらい** インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 履修者のパソコンスキルによっては、ICTリテラシー、レジュメ作成、レポート作成、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。
- 履修上の留意点** ・合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。
・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。自宅にインターネットに接続しているパソコンがあることが必須です。
- 成績評価の方法** 出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。
- 教科書参考書その他** 別途指示
別途指示
・積極性のある学生の参加を希望します。
・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。
・演習IIIでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

履修コード	101431
科目名	演習I
担当者名	<small>ながやま のぶひろ</small> 長山 宗広

- 講義のねらい** 演習Iでは、講義「地域経済論 a、b」の予習・復習をかねて、地域経済・地域産業に関する基礎的な理論と分析手法を学ぶ。また、レポート・論文作成にとって必要なスキルを高めてもらう。地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期では、地域経済論の基礎的な文献や統計データ等を使って、輪読や担当を決めての要旨報告を中心に討論を行なう。具体的には、地域の人口・世帯、就業・労働、事業所・企業、産業（農業・工業・商業・サービス業）、各種インフラ、財政等、に関する地域経済の統計データについて、その分析方法を学ぶ。
ゼミ合宿では、仮想（実在しないが地方都市の典型例）のA地域の活性化プランをグループ単位で取りまとめてもらう。既に用意してあるA地域の統計データや、A地域の主要企業やキーマンのヒアリング情報等を分析し、A地域の課題抽出とその解決に向けた活性化策を提示してもらう。
後期では、ゼミ生各人（またはグループ）が愛着のある実在の地域を選定し、そこをケーススタディにして地域活性化プランを取りまとめてもらい、発表まで行う。
- 履修上の留意点** 「地域経済論 a・b」の講義、「ベンチャー論・起業論」の講義を履修することがのぞましい。
ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。
- 成績評価の方法** 出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。
- 教科書参考書その他** 開講時にゼミ生と相談して決定する。
都度、紹介する。
とりあえずは、講義の「地域経済論 a・b」「ベンチャー論・起業論」を参照のこと。
演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。
本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	101481
科目名	演習I
担当者名	番場 博之

講義のねらい

社会には、普段の生活で我々が気づかない様々な不思議があります。その不思議をマーケティング的発想で発見するセンスを磨くことが番場ゼミ（演習I）の目的です。そのために下記のような様々な経験や活動をしてもらいセンスを磨くトレーニングをしていきます。一見すると大学らしくない遊びのような活動がたくさんありますが、それらもマーケティングや商学、そして経営学を学ぶうえで非常に有効なトレーニングなのです。なお、教科「商業」教員を目指す方には、学習指導要領の分析や商業教育政策についても対応します。

講義の内容・授業スケジュール

- (1～5) ビジネス教育としてのグループエンカウンター
- (6～10) ディベート
- (11～15) フィールドワーク
- (16～30) ビジネスモデルづくり

履修上の留意点

このゼミはビジネスセンスを磨くためのゼミです。センスと分野・学力・暗記力は必ずしも連動するものではありませんので学科や成績は問いません。ただし、様々な活動を自主的かつ積極的に経験してみたい人のみ履修してください。単なる机上での教科書の勉強だけが好きな人や、ただ出席していればなんとかなるだろうと思っている人にはこのゼミは向いていません。

成績評価の方法
教科書
その他

日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。レポートや試験は行わない。使用しない。
ゼミの運営モデルは3年間でつくられています。演習I前半は、上記のような「見る」「聞く」「話す」「調べる」といった問題発見型学習が中心です。後半ではビジネスモデル策定の準備をします。演習II前半では具体的なビジネスモデルの策定をし、報告書を作成します。番場が担当する演習II、演習IIIの詳細な内容を知りたい方は、問い合わせてください。その他、自主管理によるゼミ運営費・就職指導・合宿など具体的なゼミ活動については必要に応じて問い合わせてください。

専門教育

履修コード	103701
科目名	演習I
担当者名	百田 義治

講義のねらい

現代の日本企業の経営管理に関わる主要なテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。同時に、「社会から信頼される企業」に求められるものは何か、という視点から企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のようなテーマに取り組みます。
- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？（1～6）
 - (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？企業の社会的責任とは何か？（7～12）
 - (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？日本の経営の何を残し、何を改革すべきか？（13～18）
 - (4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？（19～24）
 - (5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ネットワーク経営とは何か？（25～30）

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。
百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2006年
鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。
稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。
「卒業研究」（4単位）を併設します。

履修コード	104101
科目名	演習I
担当者名	福原 好喜

講義の内容・
授業スケジュール

〔社会科学方法論研究〕 このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスを行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。テニスは初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛錬に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

「卒業研究」併設。

成績は出席点とレポートでつける。

履修上の留意点

成績評価の方法

履修コード	103801
科目名	演習I
担当者名	古沢 紘造

講義のねらい

2年演習〔アフリカの社会と文化I〕

アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取っていても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

(1) 次のテーマについて研究発表を行う。

A 多様な人間社会(ライフスタイル)

1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民

B 多様な人間関係

1 通過儀礼(大人と子ども) 2 親族(身内とよそ者) 3 経済活動(贈与と交換) 4 宗教と権力(まつりとまつりごと)

(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。

(3) 演習をアクティブなものとするため、楽しい企画(アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会)にチャレンジする。

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

「卒業研究」を併設する。

講義の内容・
授業スケジュール

成績評価の方法
その他

履修コード	105101
科目名	演習I
担当者名	堀 龍二 (ほり りゅうじ)

講義のねらい	雇用、賃金、労働時間、能力開発、人事制度、労使関係といった人的資源管理論に関する基本的知識を獲得するとともに、現代的な問題意識をもってもらうことをねらいとしています。現代日本企業の人的資源管理はいま大きく変化を遂げつつあるところです。従来の人的資源管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化しているのか。このような問題を考えるのに有用な知識を修得してもらいます。
講義の内容・授業スケジュール	適当なテキストを選んで、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。適切な時期に、グループを作り、グループごとに小さなテーマを決めて、メンバー同士の協力のもとに下調べを行って、ゼミで報告する方法も予定しています。
履修上の留意点	人的資源管理に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他のメンバーの報告、それに基づく議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、率直に質問する姿勢を大切にしたい。つまり、とにかく積極的な参加・協力姿勢を重んじます。
成績評価の方法	毎週のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。
教科書	初回ゼミで相談して決めます。
参考書等	ゼミのなかで適宜指示します。
その他	<卒業研究の有無> 演習II・IIIまで引き続き履修した場合には、演習III履修時に卒業研究を併設します。

履修コード	104201
科目名	演習I
担当者名	松井 柳平 (まつい りゅうへい)

講義のねらい	統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。
講義の内容・授業スケジュール	ガイダンス ゼミの概要等説明 パソコンの使用方法 Excel の使用方法 データの要約と視覚化 基本統計量 確率分布 推定と検定 相関分析 回帰分析 集計表と適合度検定 数学モデル、確率モデルを視覚的に理解できることに重点を置く。
履修上の留意点	このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。
成績評価の方法	成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。 基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。
教科書	開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。
参考書等	鳥居『はじめての統計学』（日本経済新聞社）ISBN4-532-13074-3 縄田『Excel による統計入門』（朝倉書店）ISBN4-254-12142-3 得津『はじめての統計』（有斐閣）ISBN4-641-08667-2
その他	パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

履修コード	101441
科目名	演習I
担当者名	松田 健 <small>まつだ たけし</small>

講義のねらい	今日の企業は単に経済的な機関として位置づけられるのみならず、私たちの生活に大きな影響力を及ぼす社会的存在に成長しました。企業とは一体どのような存在なのでしょう。私たちはどの程度企業について知っているのでしょうか？
講義の内容・授業スケジュール	本演習はこうした基底的問題意識を踏まえつつ、現代における企業の基本的活動について体系的に理解することを目的としています。 利潤の追求を基本的原理としながら、製品・サービスの生産・流通・販売という経済活動を担う、企業の行動を主たる対象として、私たちの生活に密接不可分な存在になってきている企業を、再度「企業とは何か」という視点から見つめ直します。一年を通じて、企業の意義、役割およびその特質について理論的に考察を進めます。
履修上の留意点	専門演習とは、一つの学問領域に絞りながらこの領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。
成績評価の方法	授業への出席は最低要件です。したがって各自の授業中の発表を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	適宜指示します。 経営学辞典あるいは経営学用語集。 卒業研究有り

履修コード	101451
科目名	演習II
担当者名	松本 典子 <small>まつもと のりこ</small>

講義のねらい	非営利組織（NPO）とは何か、について学びます。 ①企業と非営利組織を比較することによって、両者の特徴を学びます。 ②非営利組織の実際の活動、行政や企業との協働を経営学の視点から考えます。 ③ゼミ生同士の交流を深め、卒業研究や就職に向けて様々な能力を培います。
講義の内容・授業スケジュール	講義では、非営利組織に関する基本文献を読み、基礎知識や理論を学習します。また、第一線で活躍している人に話を聞いたり現場を見学することで、文献では学べないことを積極的に学びます。同時に、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力やHP作成能力、ヒアリング調査やゼミ生同士の交流によるコミュニケーション能力を獲得することを目指します。
履修上の留意点	1年間の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。 ①積極的な姿勢で授業にのぞんでください。 ②物事を積極的に調べてください。 ③NPO・企業・行政訪問、サブゼミ、合宿等を積極的に企画し、参加しましょう。
成績評価の方法	出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	ゼミ生と相談の上、決定します。 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。 非営利組織の用語に関する基本文献として以下を薦めます。 ①雨森孝悦『テキストブックNPO』東洋経済新報社、2007年。 ②川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。 ③山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。 4年次（演習III）に卒業研究を併設します。 非営利組織論a・bを履修することがのぞましいです。

履修コード	101301
科目名	演習I
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい 食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは2年次生だけで学習しますが、このほか上級生と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点 ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

成績評価の方法 ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書 1冊目：レスター・ブラウン『フード・セキュリティ だれが世界を養うのか』、ワールドウォッチジャパン。
2冊目以降は、ゼミ生と相談の上、決定しますが、2年次は食料問題を中心にします。

参考書等 食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。当面、次のものを薦めます。
金子勝『金子勝の食から立て直す旅』、岩波書店、2007年、1575円、ISBN978-4-00-023437-5
フェリシティ・ローレンス『危ない食卓』、河出書房新社、2005年、1980円、ISBN4-309-20441-4
ジョン・ハンフリース『狂食の時代』、講談社、2002年、1995円、ISBN4-06-211156-x

その他 演習IIIで「卒業研究」を併設します。

履修コード	103001
科目名	演習I
担当者名	光岡 博美

講義のねらい 日本の福祉・社会保障、またそれを支える日本経済や労働問題について入門的な学習を行う。

講義の内容・授業スケジュール テキストにしたがって各自の分担を決め、レポーターの報告に従って討議を行う。また、夏と春は2泊3日の合宿を行う予定。但し、合宿への参加は強制しない。

履修上の留意点 自分からテキストに関連する、また興味あるテーマを決めて勉強して欲しいが、毎回の論読の個所は事前に精読しておくこと。

成績評価の方法 出席状況やレポートの内容などで総合的に判断する。

教科書 参加者の意見や希望も考慮して決める。テキストは岩波新書程度のものを使用する。

参考書等 テキストに従って、または必要に応じて紹介する。

履修コード	101461
科目名	演習I
担当者名	村松 幹二

講義のねらい 現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために2年次には、ビジネス・エコノミクスの基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。

経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心をもち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール 前期には、ビジネス・エコノミクスのテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに合宿討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期には企業組織論や「法と経済学」のテキストの輪読とワーキング・グループによる研究発表を行う。

3年次前期には、企業組織論や「法と経済学」のテキストを輪読し、各自の研究テーマを決定する。3年次後期には、各自の研究発表をもとに討論を行う。4年次は卒論指導を行う。

履修上の留意点 ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。

成績評価の方法 ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的に評価を行う。

教科書 開講時にゼミ生と相談の上、決定する。

その他 演習III履修時には、「卒業研究」（卒業論文）を併設する。

履修コード	102701
科目名	演習I
担当者名	<small>もりおか じん</small> 森岡 仁

講義のねらい 1974年の少子化の開始以来30年が経過し、日本の人口は2005年から減少に転じました。少子高齢化人口減少と経済社会との関係を研究するのがこの演習の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 現在わが国にみられる少子高齢化人口減少は低い出生率と低い死亡率の組み合わせの結果です。経済が近代化する以前の出生率と死亡率はともに高く、人口は増加し、年齢構造は若く維持されてきました。その後経済社会が近代化するにつれて現在のような低出生・低死亡に変化しましたが、本演習では、これら人口要因の変化と密接な関係にある経済的・社会的諸要因との間の相互依存の関係を研究します。

履修上の留意点 休まず遅れず必ず出席し、自分の意見を積極的に述べる姿勢が必要です。

成績評価の方法 出席率と平常点

教科書 未定

参考書等 特になし

その他 卒業研究有

履修コード	101401
科目名	演習I
担当者名	<small>もりた よしひろ</small> 森田 佳宏

講義のねらい 会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計とに分けられる。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

講義の内容・授業スケジュール 本演習では、財務会計および監査の基礎理論を学ぶことを目的とする。
テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習を取り入れることもある。演習Iの終了時にはレポートの提出を課すので必ず提出すること。

履修上の留意点 演習であるから、すでにどれだけ知識を持っているかということよりも、みんなと一緒に会計を勉強したいという気持ちを重視したい。したがって、特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。

成績評価の方法 出席を重視するが、そのほかに報告内容（レジュメを含む）、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書 新井清光著、加古宣士補訂『現代会計学（第8版）』（中央経済社）2,600円（なお、改訂版が出る可能性があるため、初回の演習時まで購入しないこと。）

参考書等 演習時に適宜紹介する。

その他 演習IIIに「卒業研究」を併設する。

履修コード	102301
科目名	演習I
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい テーマ〔日本の工業化と産業・経済発展史〕
日本の経済、産業、企業の驚異的な成長はいかにして可能だったかを考察します。2年生の演習は、戦前の日本経済や産業の発展過程と経済システムの形成を中心に学びます。3年生の演習では、戦後の経済や産業の発展過程を中心に学びます。

講義の内容・授業スケジュール 〔前期〕 ①近代産業の形成期に外貨を獲得に最も貢献した製糸業(繭を原料に絹糸をつくる工業)の理解の手がかりとして和田英『富岡日記』、山本茂実『ああ野麦峠—ある製糸工女哀史』、②綿織物の工程を手織りから機械織機に変え、織物業を飛躍的に発展させた「豊田佐吉」の国産「力織機」の発明、豊田織機製作所から分離し、国産初の乗用車「トヨベツトクラウン」をつくった「豊田喜一郎」の理解の手がかりとして邦光史郎『トヨタ王国』、③両替商から証券業・銀行業の基礎を築いた「野村徳七」の理解の手がかりとして邦光史郎『野村證券王国』などの経済小説を読み進めます。

また、参考資料として、「ああ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、「乗用車ゼロからの出発」「ビジュアル近代産業の形成」「日本の企業家群像 豊田喜一郎」などのDVDやVTRを教材として使用します。

前期はこれらの教材を使用して、班別の課題研究発表やプレゼンテーションを行います。

〔後期〕 前期に学んだ日本の製糸業、紡績業、織物業や日本の自動車産業について論じた「学術論文」(学会雑誌)を読んだり、基礎的文献を教材に日本経済の形成期、産業資本の確立期を中心に、日本経済の発展過程や経済システムの形成を班別の課題研究発表やプレゼンテーションを通じて学びます。

履修上の留意点 4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法 授業の出席を基本に総合評価します。

教科書 演習の時間に適宜紹介します。

参考書等 演習の時間に適宜紹介します。

4年ゼミ(演習III)では、「卒業研究」(4単位)を併設しており、併せて履修することができます。

3年ゼミ(演習II)では、「インターンシップb」(2単位)を併設しており、併せて履修することができます。インターンシップは「インターンシップa」(2単位)の履修が必要です。

2年ゼミ(演習I)は、できれば「教育経済論」の講義(4単位)も履修して下さい。

履修コード	104501
科目名	演習I
担当者名	安元 稔

講義のねらい 初めて経済史を勉強する諸君に、「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの方・経済史の面白さを知ってもらうことがこの演習の主なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール テキストを選び、それぞれ分担して要約・疑問点・興味を持った点を報告してもらいます。学術用語・概念を調べ報告してもらうこともあります。

履修上の留意点 なじみのない学術用語・概念が多く出て来ますので、その都度億劫がらずに図書館で調べることが必要です。

成績評価の方法 日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書 岡田泰男編著『西洋経済史』(基本経済学シリーズ5)(八千代出版) ISBN4-8429-0974-9

参考書等 適宜指示します。

履修コード	102901
科目名	演習I
担当者名	山縣 弘志

講義のねらい 比較経済論研究の入門
 専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の観点を常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

成績評価の方法 出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書 岡沢憲美『スウェーデンの挑戦』
 西川潤『世界経済入門』
 石弘之『地球環境報告』
 暉峻淑子『豊かさとは何か』
 以上岩波新書

その他 「卒業研究」有。

履修コード	103401
科目名	演習I
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点 受講でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書等 橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波新書）
 演習を進める中で適宜に紹介します。

その他 演習IIIでは「卒業研究」を併設します。

履修コード	105201
科目名	演習I
担当者名	渡邊 恵一

講義のねらい 本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Iでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を読み、基本的な事実関係や先行研究について理解することから始める。文献輪読と並行して、ゼミの共同研究にも着手する。テーマは受講生の話し合いで決め、学生主体で調査、発表、論文化する力を養っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール (1)前期ガイダンス、(2)～(14)文献輪読およびゼミ研究の基礎的作業、(15)ゼミ研究中間報告、(16)後期ガイダンス、(17)～(29)文献輪読およびゼミ研究の応用的作業、(30)ゼミ研究最終報告

履修上の留意点 授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法 平常点。

教科書等 開講時に受講生と相談のうえ指定する。

その他 授業の中で、その都度紹介する。
 演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。

履修コード	106001
科目名	演習II
担当者名	浅野 <small>あさの</small> 克巳 <small>かつみ</small>

講義のねらい	基礎的な経済学をしっかり勉強した上で現代経済社会の抱えるさまざまな問題に実際に応用し経済学の理解を確実なものとしよう
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム 4. 日本企業とコーポレートガバナンス
履修上の留意点	演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションにも挑戦
成績評価の方法	出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。
教科書	内閣府『経済財政白書』その他
参考書等	その他の資料については授業の中で指示する。

履修コード	108101
科目名	演習II
担当者名	姉齒 <small>あねは</small> 暁 <small>あき</small>

講義のねらい	演習Iに引き続き、「グローバル経済と生活」を大まかなテーマに据え、「生活」を取り巻くさまざまな問題について学ぶと同時に、卒業研究への取り組みを開始します。
講義の内容・授業スケジュール	<p>原書講読も含めて、より高度な文献を読みこなし、資料を解析し、他大学とのゼミ交流を深めながら報告ならびに討論のスキルを磨き、後期からは卒論作成に取り組むこととなります。</p> <p>全員でひとつの問題に取り組んで報告・討論を行うか、班分けをしながら、班毎の報告を主体にゼミを進行するかなど具体的なゼミの進行については、人数が確定した上で指示したいと思います。</p> <p>遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。</p> <p>また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。</p> <p>アルバイトやサークル活動などでゼミを欠席することはできません。履修予定表に載っている時間配分では終わらないのがゼミ活動です。忙しいことを承知の上で、やる気のある方の参加を希望します。</p>
履修上の留意点	
成績評価の方法	報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。
教科書	時間の初めに指示します。
参考書等	時間の初めに指示します。

履修コード	106101
科目名	演習II
担当者名	阿部 <small>あべ</small> 弘 <small>ひろし</small>

講義のねらい	テーマ：日本経済論-2
講義の内容・授業スケジュール	<p>日本経済の構造分析</p> <p>年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。</p> <p>「卒業研究」（4年次）を併設します。</p> <p>ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載します。</p>
履修上の留意点	<p>「演習」ですから出席することは基本です。</p> <p>4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。</p> <p>合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。</p>
成績評価の方法	総合的に評価します。「定期試験」はありません。
その他	「卒業研究」を「演習Ⅲ」に併設します。

履修コード	107801
科目名	演習II
担当者名	<small>あらさ よしのり</small> 荒木 勝啓

講義のねらい 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール 演習IIからはエクセル上でVBAプログラミングを行う。同時に EXtend によりC言語の基礎を習得する。

成績評価の方法 出席点100%。

教科書 指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他の Macintosh 教場 (4-305) を使う。

履修コード	106401
科目名	演習II
担当者名	<small>ありい ゆきお</small> 有井 行夫

講義のねらい 現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企業社会に構造変革を迫っている今日のグローバル化も、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。—これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール 前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
夏合宿 競争主義対平等主義
後期 有井のプリント、新聞の読み方 (ファイルの作成)、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点 最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法 ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%。

教科書 川人博『過労死社会と日本』(岩波新書)、野村正実『雇用不安』(岩波新書)

履修コード	108301
科目名	演習II
担当者名	<small>いいた やすゆき</small> 飯田 泰之

講義のねらい 演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する(つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」)際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでの学習内容をふまえ、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく。

履修上の留意点 「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学a、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法 出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書 教科書は開講時に協議する。

参考書等 テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他の 経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

履修コード	109211
科目名	演習II
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 純治

講義のねらい	<p>企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。</p> <p>また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では米国会計基準・国際会計基準も取り上げます。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、新聞・雑誌・小論文を素材にした学習も行います。</p>
履修上の留意点	<p>特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。</p>
成績評価の方法	<p>出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。</p>
教科書等	<p>財務会計の標準的テキスト（その都度指示します）。</p>
参考書等	<p>その都度、指示します。</p>
その他	<p>国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見るることができますので参考にしてください。</p>

履修コード	105901
科目名	演習II
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 祐二

講義のねらい	<p>企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。</p> <p>また、テキストの枠に縛られることなく、様々な書籍・データを用いてレジュメを作成し、発表するスキルを養うことも目標である。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>演習IIでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることにする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけだし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。</p>
履修上の留意点	<p>積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。</p>
成績評価の方法	<p>特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。</p>
教科書等	<p>特になし。</p>
参考書等	<p>必要に応じて紹介する。</p>
その他	<p>合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。</p>

履修コード	105801
科目名	演習II
担当者名	いづなみ ふみたか 岩波 文孝

講義のねらい 21世紀を迎えて以降も経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール 現代企業におけるコーポレート・パワーに関する文献の輪読形式により報告者・グループによる報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

1. ゼミナールの概要とガイダンス (1)
2. 企業と社会をめぐる論点 (2~7)
3. 企業と市場 (8~12)
4. 企業と社会 (13~17)
5. 企業の社会的責任 (CSR) の現状 (18~23)
6. 企業の社会的責任 (CSR) の課題 (24~30)

履修上の留意点 ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法 ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。
教科書 開講時に指定します。
参考書等 開講時に指定します。
その他 演習III履修時には「卒業研究」(4単位)を併設します。

専門教育

履修コード	106201
科目名	演習II
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義のねらい 2年次の演習Iでは現実の経済問題について幅広く学びました。演習IIではそれをふまえて、市場経済の進歩的な側面とそれが抱える問題点について検討し、資本主義経済の本質について理解を深めていきます。

また、グローバル化の過程で生じている国際的な経済問題を見る目を養えるような、そんな学習にも取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール いまや世界中が市場経済に組み込まれています。これは、資本主義的商品経済の仕組みが、地球的な規模で成立したことを意味しています。そのため、現代社会の動きを真に理解するには、市場経済の仕組みおよび運動法則を理解することがますます重要になってきます。

この演習IIでは、マルクスが『資本論』で明らかにした資本主義の経済法則を学び、前年に学んだ日本経済・地球環境問題への理解を深め、現代資本主義の本質に迫ります。

履修上の留意点 少人数形式の演習では、欠席をしないこと・遅刻をしないことが各人に求められます。参加者には、その点を自覚したうえで、様々な活動に積極的に取り組むことを期待しています。

成績評価の方法 平常点により評価します。
教科書 大石雄爾『商品の価値と価格』(創風社) 3,600円
参考書等 マルクス『資本論』(新日本新書)
 西川潤『世界経済入門(第3版)』(岩波新書)
その他 ①4年次の演習IIIに「卒業研究」を併設します。
 ②選択科目「ビジネス・インターンシップ」を履修することができます。
 ③コース制との関連：コースの履修は自由です。

履修コード	106501
科目名	演習II
担当者名	おおぶき かつみ 大吹 勝男

講義の内容・授業スケジュール 昨年は、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、等々を学習しましたが、今年度は『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。
近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感があります。そこで、当ゼミでは真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということです。
それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法その他 平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。
<卒業研究の有無>
義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

履修コード	106701
科目名	演習II
担当者名	きたぐち りえ 北口 りえ

講義のねらい 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習では、法人税を中心として租税の基本的な考え方や課税所得計算構造について学び、租税、特に法人税に関する理解を深めることを目的として行います。

講義の内容・授業スケジュール 演習では、まず、税体系を概観し、租税の意義や租税特有の論理について学びます。その上で、法人税の特質、課税所得の計算構造などについて学び、税務会計についての理解を深めていきます。法人税法における課税所得は、公平な課税を実現させるために、企業利益に「別段の定め」による調整を加えて算出されます。したがって、企業利益と課税所得を比較しながら、益金の額・損金の額についての学習を進めます。
基本的には、テキストの1つのテーマに対して2、3人のグループにより報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

履修上の留意点 ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事（合宿、税務署見学、ゼミナル連合会での研究発表会等）にも積極的に参加してください。

成績評価の方法 平常点（出席率、報告内容、授業やゼミの運営への参加度など）とレポートの総合評価により行います。
理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

教科書参考書等 使用テキスト等はゼミ生との話し合いの上で決定します。
金子宏『租税法』（中央経済社）

履修コード	108201
科目名	演習II
担当者名	小杉 修二

講義のねらい 演習 I に同じですので、そちらを見てください。

講義の内容・授業スケジュール 基本的には演習 I に同じです。演習 I では温暖化のメカニズム、その害悪について学びますが、演習 II ではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか〈①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減〉について考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。ここから利害の合理的制御の学としての経済学の知見・方法が役に立つこととなります。3年時以降は温暖化対策の技術的側面と並んでその社会的側面を学習することとなります。

授業のやり方としては学生と相談しながら、「デイバイト」形式で問題を表と裏から考えます。デイバイトは為にする議論、という印象もありますが、ある問題に徹底的に賛成あるいは反対の立場に立ってみた時、それが簡単に崩れるようなら、それは役に立たない議論ということになります。こうした議論を通じて、確実な根拠ある結論を探しましょう。やってみると意外に楽しいもののようなのです。

第1-5週：温暖化対策として省エネルギーの可能性
 第6-10週：代替エネルギーの可能性
 第11-15週：炭酸ガスの吸収源の可能性
 第16-20週：巨大技術の可能性
 第21-25週：身近な方法の可能性
 第26-30週：炭酸ガス削減の国際的取り決めの方法

履修上の留意点 演習 I と同じ。

成績評価の方法 出席状況とゼミへの参加の積極性、発言を総合して判定。

教科書等 演習 I の継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

その他 演習 I と同じ。
 〈卒業研究〉あり。通常のゼミの4単位とは別に卒業研究の4単位が当てられる。

履修コード	108501
科目名	演習II
担当者名	小西 宏美

講義のねらい 「多国籍企業とグローバリゼーション」をテーマとしています。多国籍企業の活動がいかにかグローバル化を進めてきたのか、グローバル化の進展が我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めながら自分の研究テーマについて考えます。

履修上の留意点 演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法 出席、報告、討論の3点で評価します。

教科書 最初の授業時に指定します。

履修コード	108901
科目名	演習II
担当者名	こばやし まさと 小林 正人

講義のねらい 戦後の日本経済の変化や動きを深く知るためには、その中での産業の発展や企業活動の内容について詳しく調べる必要があります。しかも現在、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られており、その詳細な分析が欠かせません。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において大きな役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。

講義の内容・授業スケジュール <http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>
前期には、IT経済や日本経済にかかわる文献を各ゼミ生が自主的に選んで研究し、その内容についてゼミで紹介発表します。(1~3)発表の仕方について、(4~8)一回目の発表、(9~13)二回目の発表、(14~15)発表の反省と完成。

後期では、個々の産業ないし業界について、グループに分かれて調査研究を行います。(16~17)発表の準備作業、(18~22)一巡目の発表、(23~27)二巡目の発表、(28~30)発表の総括と今後の研究課題。

履修上の留意点 以上の調査をふまえて、次年度の演習IIIで卒業論文を完成させます。
ゼミ生の自発的な調査、発表、発言が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に従うこと。

成績評価の方法 ふだんの発表、レポート、出席状況を総合して評価。

教科書 授業中に決める。

参考書等 適時紹介する。

その他 「卒業研究」(卒業論文のみ)を演習IIIに併設

履修コード	107601
科目名	演習II
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正

講義のねらい 「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。
講義の内容・授業スケジュール 金融ビッグバン、小泉構造改革を経て戦後日本の金融制度改革は総仕上げの局面にあります。金融コングロマリットを志向する大手金融機関と地域密着を掲げる地域・中小企業金融機関の経営手法の相違もいっそう明らかになってきました。

演習IIでは、具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融システムのあり方を「持続的発展」という視点から考えます。

履修上の留意点 日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書 大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』(大月書店)

その他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	106601
科目名	演習II
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義のねらい 現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU諸国の第二次大戦後の経済発展とEU統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求しているEUの動向と、我が国の「改革」路線との比較検討をします。

また3年次後半からは就職活動が日程に上ってきますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間の間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

講義の内容・授業スケジュール 専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。

履修上の留意点 演習Iを参照のこと。

成績評価の方法 演習Iを参照のこと。

教科書 演習Iを参照のこと。

その他 演習Iを参照のこと。

履修コード	105701
科目名	演習II
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>

講義のねらい 代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。証券アナリスト、証券外務員の受験指導も実施します。

講義の内容・授業スケジュール 4～7月においては、日本の株式市場について、テキストを使用し、学習する。夏合宿を経て、9～12月には証券外務員資格の学習指導も行う。3回生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。

履修上の留意点 金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。

成績評価の方法 まず出席が基本です(80点)。さらにゼミでの発表、質問など発言(20点)によって日常点で評価します。

教科書 代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済) 定価2800円+税
ISBN4-492-71155-4

参考書等 適宜紹介します。

その他 夏にインターンシップを予定する。希望者はインターン関係の科目を履修すること。

履修コード	105501
科目名	演習II
担当者名	鈴木 伸枝 <small>すずき のぶえ</small>

講義のねらい 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どういふ問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール 三年生のゼミでは、公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。

履修上の留意点 コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

成績評価の方法 ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

教科書 出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。
受講者と相談して決定します。

履修コード	107001
科目名	演習II
担当者名	<small>せとあみ ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学の演習方式を大胆に採用しながらも、独自の方式で演習をすすめています。思考に強くなるための方法（弁証法の学習）、デジタル時代の学習と研究の方法（インターネット活用法の学習）、学ぶ者の社会的責任の体得などがそれです。

とくに最近数年間は、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中で起こっている経済事象を読み解く実力がやしなわれるからです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語れるようなゼミ生が確実にそだっています。

あわせて、後輩のゼミ生の世話をすること、日本学生経済ゼミナールの東京大会・全国大会への参加、インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩な企画を実行しています。

履修上の留意点
成績評価の方法

4年次生で卒業論文を作成します。
ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。
アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

その他

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。当ゼミのOB・OGも、しばしば3年生や4年生のゼミに顔をだし、社会や会社の現場の話をしてくれます。

このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

履修コード	107901
科目名	演習II
担当者名	<small>せが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義のねらい

マーケティングの問題点を把握し、それを解決する方法を身に付けさせることをねらいにしている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1～5回 問題発見の方法と論文の書き方についての指導
- 6～15回 ゼミ生各自の研究テーマ発表とそれに対する指導
- 夏合宿 ゼミ生各自の研究に関する弁別構成の指導
- 16～25回 論文執筆に対する指導
- 26～28回 ディベート大会に関する指導
- ディベート大会 12月の第2日曜に開催
- 29～30回 論文集の校正に関する指導

履修上の留意点

・平常の出席はもちろんであるが、論文の執筆と夏合宿及びディベート大会への参加は必ず必要です。

成績評価の方法

平常点（・出席状況20％、・夏合宿20％、・ディベート大会出席30％・論文30％）

教科書

指定しない

参考書等

必要に応じて紹介する。

履修コード	105311
科目名	演習II
担当者名	たち けんたろう 館 健太郎

講義のねらい

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようにすることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとて広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上に立って、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使って、ゲーム理論そのものの学習を中心にすすめます。その後、ゲーム理論の学習と並行して、グループや個人で実際の産業や行政について調べ、そこからゲームを作って分析するなど、より実践的な研究へと展開していきます。

履修上の留意点

- ・自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視します。
- ・年に1～2回（休みの期間）、ゼミ合宿やインゼミ（他大学のゼミとの合同合宿）を行いたいと思っています。このときには交通費・宿泊費などの実費がかかります。自由参加としますが、参加や準備などに積極的な人を希望します。
- ・現在の演習Iとスムーズに合流するために、ゼミ履修が決定した後定期的にプレゼミ（ゼミの内容の基礎知識を身につけるための勉強会）を開催したいと思っています。これになるべく参加することを希望します。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席状況と発表などゼミへの貢献度
渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）
梶井厚志(2002)『戦略的思考の技術』中央公論社（中公新書、1658）
卒業研究として仕上げることをめざします。

履修コード	108801
科目名	演習II
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iで身につけた基礎知識を土台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、次の文献を輪読してもらいます。

北原淳・西澤信善〔編著〕『アジア経済論』現代世界経済叢書4、ミネルヴァ書房、2004年、3,200円＋税

夏季休暇中にゼミ合宿をします。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習（ゼミ）の特別企画として課外活動を行うつもりです。

成績評価の方法
その他

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。
4年次に「卒業研究」を併設します。

履修コード	107401
科目名	演習II
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明

講義のねらい 発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とその中での人々の生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたたかいについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさ”と“貧困”を考えます。

講義の内容・授業スケジュール 上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点 何よりも<考える>努力を求めます。

成績評価の方法 <考える>努力したかどうかをもって評価します。

参考書等 考え、討論するための資料を使ってすすめます。

その他 演習IIIに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	108701
科目名	演習II
担当者名	ともまつ よしひこ 友松 憲彦

講義のねらい 西洋社会経済史の研究を課題にしています。ヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 基礎文献の講読をおこなうと同時に、各自が設定したテーマについて研究をすすめ、卒業研究のための基礎づくりをします。

履修上の留意点 「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法 年度末のレポートと平常点（出席、レジュメ、報告、討論の状態）で評価します。

教科書 最初の授業で指示します。

参考書等 演習を通じて紹介します。

その他 卒業研究を併設します。

履修コード	105601
科目名	演習II
担当者名	なかずみ みつあき 中濱 光昭

講義のねらい 演習Iの内容を前提に、具体的なテーマを設定して研究します。

講義の内容・授業スケジュール インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

履修上の留意点 履修者のパソコンスキルによっては、ICTリテラシー、レジュメ作成、レポート作成、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。

成績評価の方法 ・演習IIでは、就職のための準備など、様々な活動が要求されます。もちろん、合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。

・メールの読み書きやワープロを打つということがゼミ活動上必須です。自宅にインターネットに接続しているパソコンがあることが必須です。

教科書 出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

参考書等 別途指示

その他 別途指示

・積極性のある学生の参加を希望します。

・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。

・演習IIIでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

履修コード	109201
科目名	演習II
担当者名	<small>ながやま むねひろ</small> 長山 宗広

講義のねらい	<p>演習IIでは、地域経済・地域産業の理論を踏まえて、地域の実態を把握する実践的手法を学んでいく。</p> <p>地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>世田谷区や夕張市など実在の地域を選定し、当該地域の実態把握と活性化プランを取りまとめていく。まずは、ゼミ生全員で、選定地域における既存資料や統計データを入手・分析する。その後は、グループ単位で、選定地域において興味のある研究テーマ（例：地場産業・中小企業の再生、新産業・ベンチャービジネスの創出、商店街・中心市街地の活性化、観光振興による交流人口アップなど）を設定し、各種調査を実施・取りまとめていく。それぞれの研究テーマにおける調査結果をもとに、当該地域の関係者（中小企業経営者や政策担当者など）と議論を行ない、最終的に当該地域の活性化プランとして取りまとめていく。この活性化プランは、当該地域の関係者に対して発表会が行なえる水準を目指す。</p> <p>夏休み等を利用して、合宿やフィールドワークも行なう予定。</p>
履修上の留意点	<p>「地域経済論 a・b」の講義、「ベンチャー論」「起業論」の講義を既に履修済みであることが求められる。</p> <p>ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。</p>
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。</p> <p>開講時にゼミ生と相談して決定する。</p>
その他	<p>都度、紹介する。</p> <p>とりあえずは、講義の「地域経済論 a・b」「ベンチャー論・起業論」を参照のこと。</p> <p>演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。</p> <p>本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。</p>

履修コード	105361
科目名	演習II
担当者名	<small>ばんば ひろゆき</small> 番場 博之

講義のねらい	<p>社会には、普段の生活で我々が気づかない様々な不思議があります。その不思議をマーケティング的発想で発見するセンスを磨くことが番場ゼミ（演習II）の第1の目的です。問題発見型の学習です。もう1つの目的は、専門分野の研究を通しての問題の発見からその解決へと向かう問題解決能力の育成です。専門分野の研究は、流通経済論・流通政策など商学分野を中心にを行います。なお、教科「商業」教員を目指す方には、商業教育および中等教育制度の分野についても対応します。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>(1～15) ビジネスモデルづくり (16～22) テキストを利用した学習（グループ単位） (23～30) テキストを利用した学習（個人単位）</p>
履修上の留意点	<p>様々な活動を自主的かつ積極的に経験してみたい人のみ履修してください。単なる机上での教科書の勉強だけが好きな人や、ただ出席していればなんとかなるだろうと思っている人にはこのゼミは向いていません。</p>
成績評価の方法 教科書 その他	<p>日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。レポートや試験は行わない。</p> <p>必要に応じて相談して決める。</p> <p>このゼミの運営モデルは2年間でつくられています。演習III前半ではグループ学習、後半では卒論作成のための個人学習が中心となります。番場が担当する演習IIIの詳細な内容を知りたい方は、問い合わせてください。その他、自主管理によるゼミ運営費・就職指導・合宿など具体的なゼミ活動については必要に応じて問い合わせてください。</p>

履修コード	108001
科目名	演習II
担当者名	<small>ひやくた ましはる</small> 百田 義治

講義のねらい 現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書 未定

参考文献等 鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。
稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

その他 「卒業研究」（4単位）を併設します。

履修コード	106801
科目名	演習II
担当者名	<small>ふくはら よしのぶ</small> 福原 好喜

講義の内容・授業スケジュール 〔ウェーバーとマルクス研究〕
このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若干名募集。

履修上の留意点 「卒業研究」併設。

成績評価の方法 成績は出席点とレポートでつける。

履修コード	107301
科目名	演習II
担当者名	<small>ふるさつ こうぞう</small> 古沢 紘造

講義のねらい 3年演習〔アフリカの社会と文化II〕
アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 卒業作品について数回の間接発表を行う
(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
(3) アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。

成績評価の方法 作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。

その他 「卒業研究」を併設する。

履修コード	109101
科目名	演習II
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゅうじ</small>

講義のねらい わが国企業の人事・労務管理（人的資源管理）はいま大きく変化しつつあります。雇用、賃金、労働時間、昇進・昇格などの人事制度、能力開発、福利厚生、企業内労使関係といった労務管理のほとんどの領域で、かつて日本の労務管理（あるいは日本の経営）と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。グローバル化、メガコンペティション、情報技術革新、それらに伴う企業・職場組織の再編などがその背景にあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別化などです。こうした変化をどのように把握し、どのように評価するか、自らの働き方（社会への貢献の仕方）として何を望むのか、メンバー同士の語り合いのなかで模索することがねらいです。その際に、諸外国の制度や慣行も比較対照として学習していきたい。

講義の内容・授業スケジュール ゼミ生にワーキンググループを作ってもら。現代人事労務管理の変容を、①雇用、②賃金、③労働時間、④能力開発、⑤福利厚生（企業年金を含む）、⑥労使関係などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて下調べや報告をし、全員で議論するという形式で進める予定です。ワーキンググループ方式以外の方法をゼミ生が希望する場合は、進め方を相談して決めます。

履修上の留意点 1つのテーマのもとにグループメンバーがお互いに協力して調べものをするを楽しい学習と思っしてほしい。また、全員が自由に発言できる雰囲気を大切にしたい。

成績評価の方法 日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言と参加を中心に評価します。

教科書 共通テキストを用いるかどうかはゼミ生と相談して決めます。

参考書等 ゼミのなかで適宜指示します。

その他 <卒業研究の有無>

引き続き演習IIIを履修する場合には、履修時に卒業研究を併設します。

専
門
教
育

履修コード	109221
科目名	演習II
担当者名	松井 柳平 <small>まつい りゅうへい</small>

講義のねらい 統計学の知識が経済の分野で必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール 経済データの統計処理（推定と検定） クロスセクション・データの並べ替え・検索・集計・抽出 連立方程式モデルの解法 最適化問題の解法 IS-LMモデルと政策シミュレーション 時系列データの取り扱い 単回帰分析 重回帰分析 計量経済モデルの推定・テスト・予測シミュレーション・グラフィック処理 定型処理の自動化とその応用 モンテカルロ法によるコンピュータ・シミュレーション ほか

履修上の留意点 このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法 成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書 開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等 授業のなかで必要に応じて、指示する。

その他 パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

履修コード	105321
科目名	演習II
担当者名	<small>まつだ たけし</small> 松田 健

講義のねらい	現代は極めて変化のスピードが早い時代です。こうした傾向は企業経営の世界にも当てはまりません。企業は経営環境の著しい変化の中で日々の業務に携わりながらも、自らが拠って立つ基盤を模索しています。すなわち企業自身も自らと社会との関係をどのように構築していけばよいのかという課題に直面しているといえるでしょう。こうした理解に立ち、本演習では企業経営の現代的課題について取り上げながら、企業活動の体系的理解を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業論文作成の準備に取りかけられるように、企業の意義、役割ならびにその特質に関わる体系的な理解を目指します。
履修上の留意点	専門演習とは、一つの学問領域に絞りながらこの領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。
成績評価の方法	授業への出席は最低要件です。したがって各自の授業中の発表を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	適宜指示します。 経営学辞典あるいは経営学用語集。 卒業研究有り

専門教育

履修コード	105331
科目名	演習II
担当者名	<small>まつもと のりこ</small> 松本 典子

講義のねらい	演習Iと同じです。 演習Iで学んだことを基礎に、更に発展した調査および研究を行い、非営利組織（NPO）や社会問題について考え、討論を行います。また、最後まで考え抜く力を養います。
講義の内容・授業スケジュール	演習Iと同様に、文献の輪読・討論を行い、非営利組織・行政・企業へのヒアリング調査を実施します。年度末には、卒業研究の基礎となる報告書をまとめます。 1年の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。
履修上の留意点	①積極的な姿勢で授業にのぞんでください。無断欠席・無断遅刻厳禁！ ②物事を積極的に調べてください。 ③NPO・企業・行政訪問、合宿等を積極的に企画し、参加しましょう。
成績評価の方法	出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に判断します。
教科書 参考書等 その他	ゼミ生と相談の上、決定します。 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。 4年次（演習III）に卒業研究を併設します。 非営利組織論a・bを履修することがのぞましいです。

履修コード	105301
科目名	演習II
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい 食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習IIでは、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは3年次生だけで学習しますが、このほか演習I（2年次生）等と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点 ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

成績評価の方法 ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書 ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等 食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。当面、次のものを薦めます。
金子勝『金子勝の食から立て直す旅』、岩波書店、2007年、1575円、ISBN978-4-00-023437-5
フェリシティ・ローレンス『危ない食卓』、河出書房新社、2005年、1980円、ISBN4-309-20441-4
ジョン・ハンフリース『狂食の時代』、講談社、2002年、1995円、ISBN4-06-211156-x
レスター・ブラウン『フード・セキュリティ』、ワールドウォッチジャパン、2005年、2625円、ISBN4-948754-22-6

その他 演習IIIで「卒業研究」を併設します。

専門教育

履修コード	107201
科目名	演習II
担当者名	光岡 博美

講義のねらい 日本の福祉・社会保障、その制度や現状、日本経済との関連について、やや専門的な学習をする。この演習IIでの勉強をもとに、演習IIIではゼミ論文の作成に取り組んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、各自の分担を決め、レポートの報告に従って討議を行う。また、後半は各自の研究を発表してもらう。

履修上の留意点 夏と春は2泊3日の合宿を行う。但し、合宿への参加は強制しない。
前期はテキストを論読していくが、後期は各自の研究を発表してもらうので、前期のうちから準備しておくこと。

成績評価の方法 出席状況、レポート報告、研究発表等、総合的に判断する。

教科書 参加者の意見や希望も考慮して決める。

参考書等 テキストに従って、また必要に応じて紹介する。

履修コード	105341
科目名	演習II
担当者名	<small>むらまつ かんじ</small> 村松 幹二

講義のねらい 現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために3年次には、企業組織論と「法と経済学」の基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心を持ち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。

前期には、企業組織論や「法と経済学」のいずれかのテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期にはワーキング・グループによる研究発表を行うとともに個人の研究テーマを決定し、個人研究のための指導を行う。4年次は卒論指導を行う。

履修上の留意点

ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。

**成績評価の方法
教科書
その他の**

ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的評価を行う。
開講時にゼミ生と相談の上、決定する。
演習III履修時には、「卒業研究」(卒業論文)を併設する。

専門教育

履修コード	106901
科目名	演習II
担当者名	<small>もりおか じん</small> 森岡 仁

講義のねらい 人口が増加する状況で発展してきた日本の経済が、人口減少によってどのような影響を受けるのかを知ることは重要です。人口減少が日本経済に与える影響を研究するのがこの演習の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

人口減少が経済に与える影響を考える場合、そこには幾つかの経済的諸要因が存在します。例えば、労働力、生産性、技術進歩、消費、貯蓄、投資などです。人口増加がこれら経済的諸要因との間に維持していた良循環が、人口減少状態においてどのように変化するのが問われています。

履修上の留意点

休まず遅れず必ず出席すること。

成績評価の方法

出席率と平常点。

教科書

未定。

参考書等

特に指定せず。

その他の

卒業研究有。

履修コード	105401
科目名	演習II
担当者名	<small>もりた よしひろ</small> 森田 佳宏

講義のねらい 財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきている。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。

講義の内容・授業スケジュール

まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。なお、夏合宿では日商簿記検定試験2級程度の学習を行う。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告(レジュメを含む)・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

最初の演習時に指示する。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他の

演習IIIに「卒業研究」を併設する。

履修コード	106301
科目名	演習II
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい テーマ「戦後日本経済の発展と日本型経済システム」
 3年演習は、戦後の日本経済の発展過程を学びます。戦後の日本経済は、1950年代半ばから驚異的な経済成長を遂げ、国民総生産で資本主義第2位にまで成長し、「経済大国」「貿易大国」と称されたが、「バブル経済」崩壊後は「パックスジャポニカ」も露と消えた。戦後60年間に形成された「日本経済システム」の形成と「制度的疲労」による破綻の要因を基本文献や「学術論文」(学会雑誌)を教材に解明します。また、4年演習は経済の発展過程を経済・人材・学校の側面から明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール [前期] 戦後の日本経済を中心に、1950年代前半経済復興期、1955年以降の高度成長第1期、第II期、第III期、第IV期から経済構造転換期、安定成長期、バブル経済期に至る各段階の発展要因とその構造的特質を捉え、「日本経済システム」はどのように構築されたかを解明します。
 [後期] 「制度的疲労」によって戦後の日本経済を支えてきた日本経済システムは破綻した。日本経済システム破綻の要因を基本文献や「学術論文」(学会雑誌)等を教材に考察します。

履修上の留意点 後期は就職を控えて「就職セミナー」に参加する機会が多くなるが、差し支えない日は必ず授業に出席して下さい。

成績評価の方法 出席を基本にレポートや発表などで総合評価します。

教科書 演習の時間に適宜紹介します。

参考書等その他 学術論文を多く使用しますが、学術論文はプリントして配布します。
 演習の時間に適宜紹介します。
 4年ゼミ(演習III)では、「卒業研究」(4単位)を併設していますので、併せて履修が可能です。
 3年ゼミ(演習II)では、「インターンシップb」(2単位)を併設していますので、併せて履修が可能です。
 インターンシップは「インターンシップa」(2単位)の履修が必要です。希望する人は併せて履修することができます。
 2年次で「教育経済論」の講義(4単位)を履修していない人は3年次での履修をのぞみます。

履修コード	108401
科目名	演習II
担当者名	安元 稔

講義のねらい われわれが現在生活している工業化社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習IIでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・授業スケジュール テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点 学部の講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法 日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書 第1回目の演習の際、指示します。

参考書等 適宜指示します。

履修コード	107101
科目名	演習II
担当者名	山縣 弘志

講義のねらい 比較経済論の専門的学習・研究

講義の内容・授業スケジュール 現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学の重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。

成績評価の方法 出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書 相談の上決める。

その他 「卒業研究」有。

履修コード	107701
科目名	演習II
担当者名	よだ けいいち 吉田 敬一

講義のねらい この演習は日本経済の構造転換問題をグローバルゼーションとの関わりで共同研究し、併せて企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。

講義の内容・授業スケジュール 講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点 受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書 参考書等 共同研究のテキストは、最初のゼミの時間に指定します。適宜、指示します。

専門教育

履修コード	107501
科目名	演習II
担当者名	よしの おさむ 吉野 紀

講義のねらい 経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的（normative）な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で育まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想（身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分）に依存する。

成績評価の方法 日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。日常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。

教科書 その他 開講時に指示する。「卒業研究」併設。

履修コード	109001
科目名	演習II
担当者名	わたなべ さとし 渡邊 智

講義のねらい 社会の中で日々経済活動を行う企業の活動を読み解くことは、我々が必ず何らかのかたちで関与しなければならない経済社会全体を理解する上で極めて重要なことと言えます。当演習は、企業の財務的活動における資料である財務諸表をはじめとする各種資料を収集し、それらを分析することによって、企業の実態を把握できる能力を修得することを最終的な目標としています。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2)～(5) 簿記・財務会計の基礎 (6)～(10) 経営分析の基礎 (11)～(15) 前期末のまとめと報告 (16)～(20) 研究成果の報告 (21)～(26) 研究の補足・修正 (27)～(30) 後期末のまとめと報告

履修上の留意点 演習の履修者は、日々積極的な姿勢で研究に取り組むとともに、その成果を演習において定期的に報告することが要求されます。演習は通常の講義と異なり、履修者全員の積極的な参加や協力が求められますので、自主性や積極性が重要な要素となってきます。何事も各自が責任を持って取り組む必要があることについても十分留意して下さい。

成績評価の方法 出席の状況、報告の内容、レポートの内容および平常点（積極性、貢献の度合など）に基づき総合的に評価を行ないます。

教科書 参考書等 野中郁江・井上照幸編著『日本のリーディングカンパニーを分析するNo.4流通／テレコム』唯学書房 ￥2,800+税 ISBN978-4-902225-35-8
演習の中で指示します。

履修コード	108601
科目名	演習II
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一

講義のねらい 本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行なう。演習IIで輪読する文献は、もう少し読みごたえのある専門書へとステップアップしたい。

講義の内容・授業スケジュール 文献輪読と並行してゼミとしての共同研究にも着手する。テーマは、受講生の話し合いで決め、学生主体で調査、発表、論文化する力を養っていきたい。

履修上の留意点 (1) 前期ガイダンス、(2)～(14) 文献輪読およびゼミ研究の基礎的作業、(15) ゼミ研究中間報告、(16) 後期ガイダンス、(17)～(29) 文献輪読およびゼミ研究の応用的作業、(30) ゼミ研究最終報告書

成績評価の方法 平常点。

教科書 開講時に受講生と相談のうえ指定する。

参考書等 授業の中で、その都度紹介する。

その他 演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。

履修コード	109901
科目名	演習III
担当者名	あさの かづみ 浅野 克巳

講義のねらい 演習IIの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール 1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム 4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「取壊過増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点 演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法 出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書 長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年

参考書等 ボール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年

その他 小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年
内閣府『経済財政白書』その他の資料については授業の中で指示する。
卒業研究 有

履修コード	109411
科目名	演習III
担当者名	あわは あき 姉齒 暁

講義のねらい 演習IIIに引き続き、グローバリゼーションの下での国民生活の問題を扱います。食料問題、農業問題、地域経済に大きな影響をもたらすグローバル経済システムの実態を読み解く理論的枠組みを合わせて学んでいくので、経済理論の基礎も同時に身につきます。

成績評価の方法 報告・討論への参加、提出物を含め、平常点で評価します。

履修コード	113201
科目名	演習III
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい テーマ：日本経済論

講義の内容・授業スケジュール 「卒業研究」の指導を行います。

成績評価の方法 総合的に評価します。「定期試験」はありません。
「卒業研究」の論文発表ができない場合は、単位にはなりません。

履修コード	111701
科目名	演習III
担当者名	荒木 勝啓

講義のねらい 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール 4年生は経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。昨年度は回帰分析モデル、移動平均モデルを使い株式の売買シミュレーションを行なった。今年度は重回帰プログラミングの成果をもとにさまざまな社会現象の重回帰分析とその統計的検定を行う。

成績評価の方法その他 オリジナルモデルの作成と検定（ゼミ論）80%、出席点20%。
プログラミングやコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得て欲しい。

履修コード	109291
科目名	演習III
担当者名	有井 行夫

講義のねらい 現代日本社会は、経済問題にとどまらず、実に様々な社会問題をかかえています。少子高齢化、過労死、地域社会の荒廃、犯罪の増加、子供たちの学力の低下から、地球温暖化対策や地震災害対策にいたるまで容易に列挙することができますね。これら様々な社会問題の根底には実は企業中心社会という特殊な社会編成原理がすわっています。逆に様々な社会問題は企業中心社会の諸相であり、諸断面なのです。関心のある社会問題を自由に選んでその根底に潜む企業中心社会をえぐりだしてみましょう。演習Iと演習IIとの発展研究がこれです。演習IIIでは、以上の観点から卒業研究をまとめます。

講義の内容・授業スケジュール 前期＝各自卒業研究のテーマを決定。夏休み中＝資料と文献の読み込み。9月中間報告合宿。後期＝執筆。

成績評価の方法 卒業研究で評価します。

履修コード	109801
科目名	演習III
担当者名	飯田 泰之

講義のねらい 演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール 演習I・IIでの学習内容を継続的に発展させ、卒業研究の形で4年間の学習成果をまとめることを最終目標とする。

履修上の留意点 「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学a、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法 出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書 教科書は開講時に協議する。

参考書等 テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。
「卒業研究」を併設する。演習IIIは卒業論文の指導が中心のため、履修登録時の登録を忘れないこと。

履修コード	111601
科目名	演習III
担当者名	石川 純治

講義のねらい 上級会計学の学習、および卒業論文の指導を行います。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文については、夏休み中に論文のテーマおよびおおよそ章別構成を仕上げる。後期になってそれを発表しながら完成させていくという作業をします。

成績評価の方法 ゼミ報告・レポートなどの平常点、及び卒業論文の内容評価。

教科書 その都度指示します。

参考書等 その都度指示します。

履修コード	109701
科目名	演習III
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義のねらい	<p>企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。</p> <p>具体的には、「卒業研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>演習IIIでは、ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。</p>
履修上の留意点	<p>積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、「卒業研究」を開設する。</p>
成績評価の方法	<p>特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。なお、「卒業研究」を作成することが、演習の評価にも結びつので注意すること。</p>
教科書 参考書等 その他	<p>特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。 必要に応じて紹介する。 合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。</p>

専門教育

履修コード	110001
科目名	演習III
担当者名	岩波 文孝 <small>いわなみ ふみたか</small>

講義のねらい	<p>経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、卒業研究またはゼミ論文の執筆を通じて、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>各ゼミ生の「ゼミ論文」あるいは「卒業研究」報告を中心に討論し、「ゼミ論文」・「卒業研究」の作成に取り組みます。</p> <p>合宿では、各ゼミ生のゼミ論文・卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。</p>
履修上の留意点	<p>ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してほしい。</p>
成績評価の方法	<p>ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加、論文の執筆など平常点による総合評価を行います。</p>
教科書 参考書等 その他	<p>開講時に指定します。 必要に応じて指定します。 「卒業研究」を併設します。</p>

履修コード	110101
科目名	演習III
担当者名	おおいし 雄爾

- 講義のねらい** 2年次・3年次の活動成果を「卒業論文」としてまとめること、そのための準備と執筆が主な活動となります。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、各自が就職活動に専念し、自分の性格や能力に適した、やりがいのある仕事や就職先を見つけるための活動をします。
後期には、卒業論文作成のために詳細なレジュメを作成し、執筆にとりかかります。提出された論文は、ゼミ活動の思い出として残るよう、『経済学ゼミ論集』（大石ゼミナール発行）にまとめられます。
- 履修上の留意点** 原則として平常点で評価しますが、「卒業論文」が提出されない場合は演習IIIの単位を取り消すことがあります。
- 成績評価の方法** 平常点で評価します。
- 教科書等** 新聞記事等、授業に使用する教材は支給します。
- その他** 特に指定しない。
①「卒業研究」を併設します。
②コース制との関連：コースの履修は自由です。

履修コード	110401
科目名	演習III
担当者名	おおぶき かつお 勝男

- 講義の内容・授業スケジュール** 現代日本企業の物流に係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習II」のテーマの、より高度な内容とする。
- 成績評価の方法** ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

履修コード	109421
科目名	演習III
担当者名	きたぐち りえ

- 講義のねらい** 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習では、法人税を中心として租税の基本的な考え方や課税所得計算構造について学び、租税、特に法人税に関する理解を深めることを目的として行います。
- 講義の内容・授業スケジュール** 各自が選んだ研究テーマについての発表を中心に進め、ゼミ内でのディスカッションや論文指導により、その研究について深く掘り下げてもらいます。
- 履修上の留意点** ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事（合宿、税務署見学、ゼミナール連合会での研究発表会等）にも積極的に参加してください。
卒業研究も開講する予定です。
- 成績評価の方法** 平常点（出席率、報告内容、授業やゼミの運営への参加度など）とレポートの総合評価により行います。
- 参考書等** 理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。
金子宏『租税法』（中央経済社）

履修コード	112001
科目名	演習Ⅲ
担当者名	小杉 修二

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅰと同じですので、そちらを見てください。
基本的には演習Ⅰ、Ⅱに同じです。演習Ⅰでは温暖化のメカニズム、その害悪について学び、演習Ⅱではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか〈①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減〉について考えます。

Ⅲはその総仕上げとして、2050年の世界の人口、経済規模を予測し、そこからどれほどの温室効果ガスが出てくるかを考えます。そして、海と森林が吸収してくれる分を差し引けば、放置しておいたときに大気中の炭酸ガス濃度を増やす分です。これらを「自然エネルギー」でどれだけ代替できるのか、また、省エネルギーの可能性はどれだけあるのかを考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。ここから利害の合理的制御の学としての経済学の知見・方法が役に立つこととなります。3年時以降は温暖化対策の技術的側面と並んでその社会的側面を学習することになります。

授業のやり方としては学生と相談しながら、グループ形式で問題を考えます。

第1-5週：2050年の世界の人口と経済規模

第6-10週：代替エネルギーの可能性

第11-15週：温暖化対策として省エネルギーの可能性

第16-20週：炭酸ガスの吸収源の可能性

第21-25週：巨大技術の可能性とライフスタイル変更の可能性

第26-30週：炭酸ガス削減の国際的取り決めの方法

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
その他

演習Ⅰと同じ。

出席状況とゼミへの参加の積極性、発言を総合して判定。

演習Ⅰの継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

演習Ⅰと同じ。

〈卒業研究〉あり。通常のゼミの4単位とは別に卒業研究の4単位が当てられる。

履修コード	109431
科目名	演習Ⅲ
担当者名	小西 宏美

講義のねらい

「多国籍企業とグローバリゼーション」をテーマとしています。多国籍企業の活動がいかにグローバル化を進めてきたのか、グローバル化の進展が我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

前期はテキストを読み進めながら卒業研究のテーマを考えます。

後期は各自の研究テーマにそって卒業研究を作成します。

出席、報告、討論の3点で評価します。

最初の授業時に指定します。

履修コード	112901
科目名	演習III
担当者名	小林 正人

講義のねらい テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
このゼミでは「卒業研究」（卒業論文のみ）の作成を指導します。これにより各ゼミ生は、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。
3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が自発的に研究したい産業ないし業種について、または特定の産業問題や生活経済の問題についてテーマを決め、その特徴、歴史と現状、問題点や課題などを卒業論文にまとめます。

講義の内容・授業スケジュール 「卒業論文の提出までに必要な事前審査」として、(1~2)各ゼミ生による「卒論プラン」の発表、(3~4)参考文献一覧の提出、(5~10)文献研究発表、(11~15)卒論の予定目次と題名の発表、(16~20)卒論の本論の中間発表、(21~25)結論の発表と審査、(26~30)最終稿の総合審査という各段階があります。

履修上の留意点 指導教員による上記の事前審査を通った論文は、教務部に提出できます。さらに卒業論文集（仮称『現代産業学生論集』）として編集し、印刷、製本します。したがって、卒論の最終稿はワープロにより一定の書式に従って提出します。

成績評価の方法 詳細について、下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」のサイトの中の「卒論作成プラン08」に従うこと。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>
ゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に従うこと。

参考書等 上記の「卒業論文の提出までに必要な事前審査」を通ってきたかどうかを評価します。
各ゼミ生が選んだ文献以外に、ゼミ全体に必要な参考文献があれば、授業中にゼミ生と相談して決めます。

その他 「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設。

履修コード	111501
科目名	演習III
担当者名	齊藤 正

講義のねらい 演習I・IIの集大成としてゼミナール論文（「卒業研究」）の作成をめざします。テーマは自由ですが第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール 前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいことが予想されますが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。
後期はゼミ論の完成に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点 4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法 年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

その他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	110501
科目名	演習III
担当者名	清水 卓

講義のねらい 自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。
年間を通して、現在のEUに関する研究書の講読します。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iを参照のこと。

履修上の留意点 演習Iを参照のこと。

成績評価の方法 演習Iを参照のこと。

参考書等 演習Iを参照のこと。

その他 演習Iを参照のこと。

履修コード	109501
科目名	演習III
担当者名	代田 純

講義のねらい 金融についての研究
 講義の内容・授業スケジュール 就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。
 成績評価の方法 卒業論文の提出、内容で評価する。
 教科書 特に決めない。
 参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	110601
科目名	演習III
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 公共経済学のゼミで学んだ知識を生かし、自らの興味をもった事柄について論文を書いてもらいます。
 成績評価の方法 出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。
 教科書 受講者と相談して決定します。
 その他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	110901
科目名	演習III
担当者名	瀬戸岡 紘

講義のねらい 「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。現代経済過程の成功例、失敗例どちらも最も豊富にもっているアメリカの経験を参照するところから、意外な結論をひきだせるなら卒論は成功といえます。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法 ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。
 教科書 卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が教科書になりますが、それは個々人で異なります。
 参考書等 卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。
 その他 このゼミは、卒業生のほか、外部の人も参加・協力してくれることのできるゼミです。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記ホームページにアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/setooka/>

履修コード	111801
科目名	演習III
担当者名	曾我 信孝

講義のねらい 卒業研究の指導と実社会に向けてのマーケティングの問題点の検討をねらいとする。
 講義の内容・授業スケジュール 1～15回 ゼミ生の就職希望企業のマーケティング分析。
 16～25回 卒業研究の指導およびマーケティングの社会問題の検討。
 26～29回 合同ディベート大会の準備、合同ディベート大会（12月の第2日曜に開催予定）
 30回 合同ディベート大会の反省会

履修上の留意点 就職活動のため出席が困難な場合があるでしょうが、極力出席することを義務付けます。なお、併設している卒業研究受講者は、最低1回の発表を義務付けます。

成績評価の方法 平常点（出席状況40%、授業への取り組み態度20%、ディベート大会参加40%）
 教科書 特に指定しない
 参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	109441
科目名	演習Ⅲ
担当者名	舘 健太郎

講義のねらい

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとて広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上で、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法

現実の経済現象をゲーム理論を応用して説明する論文を作成するために、発表とコメント、文章作成と添削と繰り返しながら完成を目指していきます。

卒業研究の提出の有無とその内容を評価します。

履修コード	112801
科目名	演習Ⅲ
担当者名	鄭 章淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs (新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール)、ASEAN3 (タイ、マレーシア、インドネシア)、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
その他

演習Ⅰ・Ⅱでの学習を基礎に「卒業研究」の作成をします。ゼミ生各自のテーマに従いグループおよび個別指導を行います。

出席率、卒業研究の内容を参考に評価します。

「卒業研究」を併設します。

履修コード	111301
科目名	演習Ⅲ
担当者名	徳永 俊明

講義のねらい

発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とその中での人々の生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している「貧困」と彼らのたたかいについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの「豊かさ」と「貧困」を考えます。

上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等
その他

何よりも＜考える＞努力を求めます。

＜考える＞努力したかどうかをもって評価します。

考え、討論するための資料を使ってすすめます。

演習Ⅲに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	112601
科目名	演習III
担当者名	友松 憲彦

講義のねらい 演習II（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究をまとめます。
 講義の内容・授業スケジュール 文献講読と卒業研究の中間報告を並行しておこないます。
 履修上の留意点 「経済史」、「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。
 成績評価の方法 平常点（報告や討論の状態）と出席で評価します。
 教科書 最初の授業で指示します。
 その他 卒業研究を併設します。

履修コード	112501
科目名	演習III
担当者名	中津 光昭

講義のねらい 卒業論文作成を中心にゼミを進めます。各自の研究内容における問題点を明確にし、それについて全員で討論・アドバイスをすることで、お互いの卒業論文の内容を高めていくことを目的とします。
 講義の内容・授業スケジュール ・研究計画書作成
 ・論題の提出
 ・研究テーマに関する調査・分析
 ・レジュメ作成、レポートニング、発表
 履修上の留意点 を行い、最終的に卒業論文を完成させます。
 ・ゼミへの積極的な参加を期待しています。
 ・追加募集は致しません。
 ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。
 成績評価の方法 出席、発表とレポートの内容、積極的な討議への参加など、平常点による総合評価を行います。
 教科書 別途指示
 参考書等 別途指示
 その他 ゼミではパソコンを使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

履修コード	109451
科目名	演習III
担当者名	長山 宗広

講義のねらい テーマ：「地域の活性化」
 演習IおよびIIでの学びを活かし、4年間の経済学部での学習と研究の集大成として、「卒業研究」の作成に取り組む。
 講義の内容・授業スケジュール 各ゼミ生の「卒業研究」報告を中心に討論する。
 卒業論文の提出にあたっては、「研究企画書の作成」「中間報告会での予備審査」「最終原稿の審査」といったプロセスを経る必要がある。
 履修上の留意点 演習I、IIと同じ。
 成績評価の方法 演習I、IIと同じ。
 この他、上記の卒業論文提出までのプロセスに関して評価する。
 教科書 演習I、IIと同じ。
 参考書等 演習I、IIと同じ。
 その他 「卒業研究」を併設する。
 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	111901
科目名	演習III
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義のねらい 本演習は演習I・IIの継続として位置づけています。現代企業の経営管理に関わるテーマを中心に、演習IIの夏休み後に決定した卒業論文の作成に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール 演習I・IIの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書 未定

参考書等 未定

その他 「卒業研究」(4単位)を併設します。

履修コード	112201
科目名	演習III
担当者名	<small>ふくはら こうき</small> 福原 好喜

講義の内容・授業スケジュール 経済理論、経済学史、日本経済及び世界経済について、各自のテーマに合わせた卒業指導を行う。

履修上の留意点 原則として4年生からの募集は行わない。

成績評価の方法 成績は出席点とレポートでつける。

参考書等 福原好喜『総理に忠告す——日本経済危機水域に入れり——』、『総理お間違えではありませんか?—銀八教授内閣への直論—』、『Warm Heart』、『我も生命 汝も生命』、『熱血教授 心の教育』

履修コード	111101
科目名	演習III
担当者名	<small>ふるさわ こうぞう</small> 古沢 紘造

講義のねらい 4年演習〔アフリカの社会と文化III〕卒業作品を完成する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 卒業作品について2回の中間発表会と、公開発表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。

(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。

(3) アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。

成績評価の方法 作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他 「卒業研究」を併設する。

履修コード	113001
科目名	演習III
担当者名	<small>ほり りゅうじ</small> 堀 龍二

講義のねらい 演習IとIIの履修を前提にし、その集大成として各自が興味あるテーマに関して論文ないし本格的レポートを作成することを目指す。テーマは広く労働に関連する問題が望ましい。

講義の内容・授業スケジュール 各自のテーマに沿って、調べたことや纏めたことを、逐次報告してもらい、全員で討論・アドバイスを形式で進める。あわせて、問題意識の深め方、情報収集の仕方・整理、論理的な記述の方法、レポートや論文の作法なども身に付けていくことにする。

履修上の留意点 興味をもった問題の検討をまとめるという作業は考えることそのものである。そうした作業は必ずや役に立つ。

成績評価の方法 ゼミでの積極的な姿勢、レポート・論文への取り組みと成果で評価します。

教科書 ゼミ生と話し合って決定します。

参考書等 適宜指示します。

その他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	113101
科目名	演習III
担当者名	松井 柳平

講義のねらい 卒論を完成させる。
 講義の内容・授業スケジュール 卒論指導。
 履修上の留意点 受講生は、3年次からの継続に限る。
 成績評価の方法 成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
 教科書等 必要な場合、輪読をおこなう。テキストは、ゼミ生と面談の上、決定する。
 参考書等 授業のなかで必要に応じて、指示する。
 その他 「卒業研究」を開設する。

履修コード	109461
科目名	演習III
担当者名	松田 健

講義のねらい 本演習では、「現代における企業と社会との関係をどのように捉えればよいのか」という命題に基づきながら、企業経営の現代的課題や企業活動の体系的理解を通じて企業を広く理解する視点をも身につけることを目標としています。
 とりわけ1990年代以降、企業の経済活動が急速にグローバル化したことを受け、それ以前の社会・政治・文化・国際関係といった多様な領域と企業との関係性は大きく変容しつつあります。企業が持つ経済的性格のみならずその社会的性格にも焦点を当て、企業を社会経済システムの中に位置づけながら、企業と社会の相互関係性から生じている現代的諸問題を考察し、それを卒業研究につなげていきたいと考えています。
 講義の内容・授業スケジュール 本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業研究論文の作成を試みます。
 履修上の留意点 卒業研究に向け、自らが設定した研究課題を体系的な論文にまとめ上げていく作業には、強い自律心が求められます。したがって演習参加者は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。卒業研究が提出されない場合は単位認定が取り消される場合があります。
 成績評価の方法 授業への出席は最低要件です。したがって卒業研究にかかわる各自の報告を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。
 教科書等 開講時に指示します。
 参考書等 経営学辞典あるいは経営学用語集。
 その他 卒業研究を併設します。

履修コード	109471
科目名	演習III
担当者名	松本 典子

講義のねらい 演習IIで研究したことを基礎に、卒業研究をまとめます。
 また、非営利組織の経営学についての理解を深めます。
 講義の内容・授業スケジュール 各自の研究テーマにあわせて、文献講読、調査・分析を行い、卒業研究に取り組みます。講義内での発表、サブゼミにおいて中間報告を行うことで、卒業研究の質を高めます。
 履修上の留意点 積極的に物事を調べ、積極的な姿勢で授業にのぞんでください。
 成績評価の方法 出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に判断します。
 教科書等 ゼミ生と相談の上、決定します。
 参考書等 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。
 その他 卒業研究を併設します。

履修コード	109301
科目名	演習III
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思います。演習IIIでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点

演習IIIでは、卒業研究に向けて、個別指導と集団討論を中心に進めます。

成績評価の方法

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。卒業研究に向けた取り組み姿勢と、研究論文を基本として評価しますが、出席状況や社会人としての良識ある行動を求めます。

教科書
参考書等
その他

未定。
必要に応じて紹介します。
「卒業研究」を併設します。

履修コード	111401
科目名	演習III
担当者名	光岡 博美

講義の内容・授業スケジュール

演習I、IIの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習IIIの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。ゼミ論文の完成の直前の時期には合宿（2泊3日程度）を行い、また、ゼミ論文の発表会の場とします。ゼミでの勉強の総仕上げとしての意味をもつ合宿です。全員参加を原則とします。

成績評価の方法

ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。なお、演習IIIには課題研究を併設します。

履修コード	109481
科目名	演習III
担当者名	村松 幹二

講義のねらい

本演習ではこれまでの演習や共同研究において習得した知識にもとづき、各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業研究では、自身の意見を論理的に構成し、それに関する十分な実証的根拠を示し、相手に伝わる発表を行うことが必要とされる。そのために必要な論理的思考能力、資料収集・整理能力、プレゼンテーション能力を養い、自らの問題意識を卒業研究の形でまとめることを目的とする。

履修上の留意点

卒業研究の作成は、テーマの選定、論理の組み立て、資料収集・整理、本文の執筆、内容の報告の順に進める。

成績評価の方法

ゼミ形式での発表と個別指導の形で演習を行なう。
特別な事情がない限り、毎回出席すること。原則として4年生の新規募集は行わない。

参考書等

卒業研究の内容を中心に、ゼミへの出席状況、卒業研究作成プロセス、研究のプレゼンテーションなどから総合的に評価する。

卒業研究の課題に応じて個別に紹介する。

履修コード	110801
科目名	演習III
担当者名	森岡 仁

講義のねらい

「卒業研究」の論文作成。
(新規募集はしない)

講義の内容・授業スケジュール

各自が決定した論文のテーマに沿って議論を重ね、最終的には論文の完成を目指す。

成績評価の方法

出席状況。

教科書

特に使用せず。

参考書等

論文テーマに沿って適宜指示する。

その他

「卒業研究」を併設。

履修コード	109401
科目名	演習III
担当者名	もりた よしひろ 森田 佳宏

講義のねらい 本演習は「卒業研究」(卒業論文)の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは、演習Iおよび演習IIにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

成績評価の方法

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容(レジュメを含む)、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。卒業論文未提出者には単位を認定しない。

教科書

原則として使用しない。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

履修コード	110201
科目名	演習III
担当者名	やしき たかみつ 谷敷 正光

講義のねらい テーマ「経済発展と人材・学校」

4年ゼミは、戦前の日本の近代化・工業化、戦後の経済成長とそれを支えた人材や技術開発、教育制度などについて、各自の問題意識に応じて自由に論題を設定して研究します。12月にはゼミ論文を完成し、論文集に発表します。

講義の内容・授業スケジュール

〔4年ゼミ〕は、就職活動で会社訪問する機会が多くなるので、プレゼンテーション、ディスカッションが難しくなります。したがって基礎文献、参考資料を使って、日本経済の発展と技術、人材、教育を検証します。

また、〔卒業研究〕は、2年生からゼミで学んできた集大成として各自の問題意識として自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。12月には完成し、13日頃に教務部に提出します。

①詳細は4年ゼミ当初に説明します。

②研究の基礎資料は提供できるものは提供します。足りない所はインターネットを利用したり、駒澤大学図書館、他大学図書館、国会図書館、政府関係機関などから資料収集をします。

③図書館での資料の収集の仕方は、授業中に指導します。

④「卒業研究」の作成の仕方、論述の技法等については「卒業研究手引き」「ゼミ論文の書き方」を配布し、詳細に指導します。

履修上の留意点

就職活動で多忙になる時期ですが、差し支えない日は必ず授業に出席して下さい。

成績評価の方法

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況、完成した「ゼミ卒業論文」「卒業研究」で評価します。

教科書

演習の時間に適宜紹介します。

参考書等

各自の問題意識や論題によって、その都度、適宜紹介します。

その他

4年ゼミでは「卒業研究」を併設しています。

希望する人は併せて履修することができます。

「卒業研究」の進め方は4年ゼミの中で適宜説明します。

履修コード	112301
科目名	演習III
担当者名	やすもと みのぶ 安元 稔

講義のねらい 演習I・IIで勉強して来た経済史の知識に基づいて、より専門的なテーマを選び、ゼミナール論文にまとめることが、演習IIIの目的です。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ論の中間発表と指導を中心に、演習を進めます。

履修上の留意点

ゼミ論を書くために指摘された文献・史料をよく読み、ゼミ論の内容を豊富にして下さい。

成績評価の方法

ゼミ論の出来と出席状況を勘案して成績を評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

特に指定しません。

履修コード	111001
科目名	演習III
担当者名	山縣 弘志 <small>やまがた ひろし</small>

講義のねらい 比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。
 講義の内容・授業スケジュール 3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。
 成績評価の方法 出席、発表、討論参加を総合評価する。
 その他 「卒業研究」有。

履修コード	109601
科目名	演習III
担当者名	吉田 敬一 <small>よしだ けいいち</small>

講義のねらい この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行ないます。
 講義の内容・授業スケジュール 演習IIIでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行ないます。
 履修上の留意点 第一回目の演習の時間に今年度の予定を伝えますので、必ず出席してください。
 成績評価の方法 演習IIIは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習IIをすでに履修していることが前提となります。
 教 科 書 出席状況、平常点（卒業研究作成指導への対応姿勢など）、卒業研究の内容を中心にして総合的に評価します。
 参 考 書 等 使用しません。
 そ の 他 卒業研究の課題に応じて個別に紹介します。
 演習IIIでは原則として「卒業研究」を作成することが求められます。

履修コード	111201
科目名	演習III
担当者名	吉野 紀 <small>よしの のり</small>

講義の内容・授業スケジュール 基本的な方向は演習IIの延長線上にある。変わりゆくものは真実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習IIに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。
 成績評価の方法 日常の授業姿勢を評価の基準とする。
 教 科 書 開講時に指示する。

履修コード	112401
科目名	演習III
担当者名	渡邊 恵一 <small>わたなべ けいいち</small>

講義のねらい 近現代日本の経済史・経営史に関連したテーマにもとづく卒業研究（卒論）を、教員の指導を受けつつ執筆する。受講生は、執筆に必要となる資料や統計データをできるかぎり渉猟し、実証密度の高い分析作業に挑んでもらう。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 前期ガイダンス、(2)～(14) 目次案の作成、論文執筆や図表作成の技法、先行研究のサーベイ、参照資料・統計データの収集などに関する指導、(15) 卒業研究中間報告会、(16) 後期ガイダンス、(16)～(29) 卒業研究の草稿作成と個別添削指導、(30) 卒業研究最終報告会
 履修上の留意点 受講生の新規募集は行わない（演習IIの継続者のみ）。
 成績評価の方法 卒業研究（卒論）の完成度で評価する。
 参 考 書 等 個別指導の中で、適宜紹介していく。

履修コード	112701
科目名	演習Ⅲ
担当者名	渡邊 智
講義のねらい	当演習は、これまでの間、各履修者が演習や講義の中で修得してきた財務会計や経営分析の知識や能力を十分に活用し、企業の実態を把握することができるように更なる努力を重ねるとともに、研究の成果を卒業論文としてまとめることを最終的な目標としています。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2)～(5) 研究テーマの選定と報告 (6)～(10) 経過報告 (11)～(15) 前期末のまとめと報告 (16)～(20) 研究成果の報告 (21)～(26) 研究の補足・修正 (27)～(30) 後期末のまとめと報告、卒業論文の完成
履修上の留意点	演習の履修者は、日々積極的な姿勢で研究に取り組むとともに、その成果を演習において定期的に報告することが要求されます。演習は通常の講義と異なり、履修者全員の積極的な参加や協力が求められますので、自主性や積極性が重要な要素となります。何事も各自が責任を持って取り組む必要があることについても十分留意して下さい。
成績評価の方法	出席の状況、報告の内容、レポートの内容および平常点(積極性、貢献の度合など)に基づき総合的に評価を行ないます。
教科書	演習の中で指示します。
参考書等	演習の中で指示します。

履修コード	100211
科目名	会計プロフェッショナルクラスⅠ(税理士)・会計プロフェッショナルクラスⅡ(税理士)・会計プロフェッショナルクラスⅢ(税理士)・会計プロフェッショナルクラスⅠ(会計士)・会計プロフェッショナルクラスⅡ(会計士)・会計プロフェッショナルクラスⅢ(会計士)
担当者名	寺坪 修・石川 純治・石川 祐二・北口 りえ・森田 佳宏

講義のねらい	将来、職業会計人特に税理士となることを目指している学生を対象として、資格試験の合格目標達成を側面から支援するとともに、学生生活が試験対策・受験勉強のみに偏ることのないよう指導していきます。具体的には、会計関連教科で触れることが少なく、かつ、職業会計人となった場合において役立つと思われる事柄を、幅広く取り上げます。
講義の内容・授業スケジュール	以下に掲げる「経営・会計税務・監査」に関連するテーマについて、講義とクラス討議を、演習(ゼミ)形式で進めます。後半では関連する時事問題も取り上げます。 (1) イントロダクション、(2～5) インベスター・リレーションズ(IR)、アニュアル・レポート、(6～13) 環境報告書(環境会計・環境監査)、企業倫理・コンプライアンス、リスク・マネジメント(内部統制を含む)、職業倫理(公認会計士・税理士)、(14～17) 公会計・監査(国/地方自治体/非営利法人)、中小企業の会計基準、(18～25) 企業利益と課税所得、企業分析と診断、管理会計技法(BSC/EVA/etc.)、経営問題解決方法論(コンサルティング手法)、(26～30) 時事問題
履修上の留意点	職業会計人には「創造性・自主性・先見力・調査力」等が求められます。クラスへの積極的な参加をとおして、それらの能力の開発・養成を心がけてください。
成績評価の方法	出席率・討議参加度を勘案して、総合的に評価します。課題レポートの提出・テーマについての発表を求めるともありません。
教科書	特に指定しません。必要な資料は配布します。
参考書等	(1.=テーマ2～5、2.=テーマ18～23、3.=テーマ24～25) 1. 寺坪修『英文会計論【基本編】<第2版>』2007年刊(五経社) 2. 寺坪修『会社会計論<改訂版>』2004年刊(創成社) 3. 寺坪修『未来企画型経営の実践』1993年刊(中央経済社)
その他	1、「会計プロフェッショナルクラスⅠ(会計士)」には「会計研究A」の(1)から(5)が併設されます。 併設される「会計研究A」については、(1)が財務会計論、(2)が管理会計論、(3)が監査論、(4)が租税法、(5)が企業法となります。いずれも専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスⅠ(会計士)」の前期と後期にそれぞれ「会計研究A」のレポート課題の説明および解説を行います。 なお、「会計研究A」の評価は、前期および後期に「会計研究A」の(1)から(5)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。 2、「会計プロフェッショナルクラスⅠ(税理士)」には「会計研究B」の(1)および(2)が併設されます。 併設される「会計研究B」については、(1)が簿記論、(2)が財務諸表論となります。いずれも専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスⅠ(税理士)」の前期と後期にそれぞれ「会計研究B」のレポート課題の説明および解説を行います。 なお、「会計研究B」の評価は、前期および後期に「会計研究B」の(1)および(2)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

履修コード	016701
科目名	西洋思想史
担当者名	河谷 淳

講義のねらい

本年度のこの授業では「物語と哲学」という視点から西洋思想史を概観する。「物語」を意味するギリシア語「ミュートス」は、「神話」や「悲劇」として、ギリシア哲学においては哲学を補充するものとみなされる場面がある一方で、「語る」ということが「騙る(騙す)」という側面をも持つことから、「物語」は時として哲学の敵ともみなされてきた。こうしたギリシア哲学以来の「物語る」とことと「哲学する」とこととの間の緊張関係をいくつかの場面を選んで見ていくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1、2)序論、(3～7)「物語」としての神話(物語としてのギリシア神話、キリスト教における神話的物語)、(8～16)「物語の哲学」の二つの方向性(ギリシア哲学入門、プラトンの「詩人追放論」、アリストテレスの悲劇論)、(17～22)「物語」としての科学(「科学の哲学」入門、物語としての科学的説明)、(23～)「物語」と人間(物語制作者としての人間、物語としての過去・現在・未来)

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験(40点満点×2)ならびに出席状況との総合点によって評価する。

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1～2)民俗学とは(3～5)民俗学の流れと現在(6～7)家族生活と住まい(8～10)食をめぐる民俗(11～12)村と町の成立(13～15)若者と一人前(16～18)婚姻と出産・子育ての民俗(19～21)女性・子ども・老人の民俗(22～24)葬送儀礼と先祖祭祀(25～27)里と海・山のなりわい(28～29)祭りと年中行事(30)民俗宗教の諸相

履修上の留意点
成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書

谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ』2006年刊(八千代出版)2, 100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	杉山 泰彦

講義のねらい

昨今、世界経済は益々目まぐるしく動いており、各国の情報を生の言語で遅滞なく吸収、理解する事はこれより社会に巣立つ学生諸君にとって極めて肝要である。各国より伝送されて日本で発行されて居る月間経済誌等が楽に解読できるようにこの一年で習熟させたい。

講義の内容・授業スケジュール

世界の一流新聞、経済誌等を交えつつ生きた経済、政治の動きを直接英文で読み取り授業で議論し、且つ、並行的に時事英語の教科書のポイントを学んでゆく予定。

履修上の留意点

英字新聞、英字雑誌に慣れるべく、日経新聞などに同じ記事が出た場合などは日本語—英語を並行的に読み比べ事業中に議論検討し合う。

成績評価の方法

前期/後期1回づつの試験で評価決定する。

教科書

授業の中で指示します。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義のねらい 文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール
 1. オリエンテーション
 2. 文化地理学の概要
 3～4. 宗教地理学の概要
 5～11. 宗教分布
 12～14. 信仰圏
 15～16. 宗教集落・宗教都市
 17～20. 巡礼・社寺参詣
 21～23. 墓地・火葬場
 24. 村落の宗教組織

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書 使用しない。
 参考書等 授業中に指示する。

他
修
学
部
目

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	山内 昌和 <small>やまうち まさかず</small>

講義のねらい 人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 おおむね以下のような項目を扱う。
 [人口分析の基礎:3] 人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
 [少子化問題と出生の分析:5] 出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
 [人口高齢化と死亡の分析:5] 死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因
 [世帯の分析:2] 人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握
 [人口分布・移動の概念とデータ:2] 人口分布・移動の概念、人口移動データとその特徴、人口分布と人口移動
 [日本国内の人口移動:2] 戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
 [日本の地域の人口変化と:6] 人口の都心回帰、人口からみた郊外の変化、Uターン移動とその要因、過疎地域の現況
 [将来人口の推計:3] 将来人口推計の理論、コーホート法による人口推計の実際
 [世界の人口:2] 人口転換、世界人口の将来

履修上の留意点 あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法 授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。
 教科書 とくに指定しない。
 参考書等 授業時間内に適宜指摘する。

履修コード	O41001
科目名	現代地理学特論
担当者名	<small>ひらい ゆきひろ</small> 平井 幸弘

講義のねらい

人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行され、2007年11月には「第三次生物多様性国家戦略」が策定されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として日本国内の水辺（河川、海岸、湖沼）を対象として、(1)日本のラムサール条約登録湿地をめぐる課題と意義（2回～6回）、(2)日本の湖沼（霞ヶ浦、宍道湖・中海など）における自然再生への取り組み（7回～10回）、(3)日本の海岸（オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など）における近年の環境問題（11回～15回）。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1)タイのチャオプラーヤ川、ソクラー湖、アンダマン海での環境問題（16回～20回）、(2)ベトナムの江河デルタ、メコンデルタ、フエのラグーン地域での海面上昇問題（21回～25回）、(3)韓国の始華湖、セマングム干拓地、ほか（26回～30回）。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

とくに指定しない。

高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

他
履修
学
科
目
部

履修コード	O46911
科目名	西洋文化史
担当者名	<small>にしうら まみこ</small> 西浦 麻美子

講義のねらい

前期は、古代から20世紀までの西洋服飾の歴史を、図像資料を中心に概説する。後期は、18世紀後半のフランスにおける服飾流行をとりあげ、とくに「アングロマニー（イギリス崇拜）」との関わりから解説する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：(1～2)古代ギリシャ、ローマの服飾(3～4)中世ヨーロッパの服飾(5～6)ルネサンス期の服飾(7～8)17世紀の服飾(9～10)18世紀の服飾(11～12)19世紀の服飾(13～14)20世紀の服飾(15)まとめ

後期：(1～2)ファッション・プレートの歴史(3～4)アングロマニーの起源(5～7)イギリスモード(8～10)シャルトル公のアングロマニー(11～12)懐古趣味の舞踏会(13～14)アメリカ独立戦争とフランスモード(15)まとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

学期末試験(60%)と出席状況(40%)により評価する。

特に指定しない。

授業内で随時紹介していく。

履修コード	048401
科目名	日本史特講VII〔近代〕
担当者名	<small>くまもと ふみお</small> 熊本 史雄

講義のねらい

本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満州事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期GHQとの折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満州事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満州事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と戦後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

前・後期2回の試験の成績（70%）、および出席状況と授業態度（30%）で評価する。

とくに指定しない。

適宜紹介する。

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修コード	052911
科目名	考古学特講III
担当者名	設楽 博巳

講義のねらい

顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。あわせて、縄文・弥生・古墳時代の概略も把握できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、弥生・古墳時代・律令期の線刻人面絵画や埴輪、人面墨書土器を取り上げ、その特徴や意味を探る。後期は、縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品に対して、その特徴や性格について考える。また、縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等

講義中の私語は慎むようにしてください。
年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。
その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘

講義のねらい

ヨーロッパ中世における哲学的概念と諸問題を学ぶことによって、古代以来の哲学の発展を見るときにも近代思想の誕生の背景を探る。

講義の内容・授業スケジュール

前期
①中世哲学の前提。ユダヤ教・キリスト教・古代哲学、②教父哲学、③アウグスティヌス、④ボエティウス、⑤ディオニュシオス・偽アレオパギタ、⑥初期スコラ哲学、エリウゲナ、⑦カントパリーのアンセルムス、⑧ペトルス・アベラルドゥス、⑨シャトル学派、⑩神秘主義
後期
①盛期スコラ哲学。アリストテレス哲学の受容、②パリのユニベルシタス、③オクスフォード学派、④アルベルトゥス・マグヌス、⑤フランシスコ会学派。ボナヴェントゥラ、スコトゥス、⑥トマス・アキナス、⑦人文学部とアヴェロエス学派、⑧マイスター・エックハルト、⑨後期スコラ学派。ウィリアム・オッカム、ニコラウス・クザーヌス、⑩中世哲学の意義と近代

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

講義に集中し、疑問点は質問し理解に努めること。
平常の授業態度および小論文による。
ヒルシュベルガー「西洋哲学史Ⅱ中世」、理想社、3310-124002-8905

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	059701
科目名	産業・職業社会学
担当者名	やまだ のぶき 山田 信行

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。
講義は2部から構成される。
第1部(前期)では、産業(・職業)社会学の主要分野について、主として日本の事例について紹介しながら概説する。
第2部(後記)では、「グローバル化」をポイントにして労使関係の比較歴史社会的な分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり(それぞれの項目について、1~3回程度の講義回数を予定している)。

- 第1部 現代日本の産業・労働・職業
1. 産業(・職業)社会学の対象・方法・課題
 2. 労使関係とはどんな関係なのかー労使関係論としての産業社会学
 3. 賃金・雇用・労働者
 4. 労働者の統制と参加
 5. 労働組合と労働運動
 6. 技術革新と技能の変化
 7. 国家と労使関係
 8. 変容する産業・労働・職業の世界
- 第2部 労使関係の比較歴史社会的分析
1. グローバル化と労使関係
 2. 労使関係と社会変動ーインダストリアルイズムと多元的資本主義発展
 3. アメリカ合州国と不自由労働
 4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
 5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
 6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

必修科目ではないので、自覚的な学生の参加を希望する。
主として、中間レポート(前期)および学年末試験(後期)による。

山田信行『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房。

本書を逐一なぞるかたちで講義を進めるわけではないものの、とりわけ第2部については本書に依拠した講義内容となるため、授業に際して携帯することが望ましい。

参考書等

適宜指示する。

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	ほり ちづこ 堀 千鶴子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

- | | | | |
|----|---------------|----|--------------|
| 1 | 社会福祉の歴史と人物史 1 | 13 | 人物史 4 |
| 2 | ” 2 | 14 | ” 4 |
| 3 | 慈善・救済の時代 | 15 | ” 4 |
| 4 | 人物史 1 | 16 | 社会事業・社会福祉の時代 |
| 5 | ” 1 | 17 | 人物史 5 |
| 6 | ” 1 | 18 | ” 5 |
| 7 | ” 2 | 19 | ” 5 |
| 8 | ” 2 | 20 | ” 6 |
| 9 | ” 2 | 21 | ” 6 |
| 10 | ” 3 | 22 | ” 6 |
| 11 | ” 3 | 23 | 社会事業に生きた女性 |
| 12 | ” 3 | 24 | 地域の歴史 |

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

出席を重視する。テキスト必ず持参。

出席(40%)、レポート(60%)

室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	こぼりのりお 小堀 訓男

講義のねらい	国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。
講義の内容・授業スケジュール	前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。 後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。 授業スケジュールは、(1～5)政治学の基礎的知識の整理、(6～8)国家、権力、民族、階級、(9～11)近代国家の特質、(12～15)国際社会の特質、(16～17)国際政治と国内政治、(18～22)国際政治の本質、(23～26)国家の行動基準、(27～30)冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。 授業中に読むべき本を紹介しますので本を読むこと、TV・新聞・雑誌の報導に日頃から留意すること。
履修上の留意点	
成績評価の方法	1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。
教科書 参考書等	使用しません 必要に応じて講義のなかで紹介いたします。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	どい、ましのり 土井 美德

講義のねらい	近・現代ヨーロッパの政治史・国際関係史を概説する。今日の欧州統合という展開をふまえながら、ヨーロッパが近代において提示したもの、さらに20世紀末以降に、ヨーロッパが提起しているものとは何かを考察する。
講義の内容・授業スケジュール	I 近代ヨーロッパの成立と展開 ①西欧国家体系の誕生と展開 ②絶対主義国家の台頭と覇権闘争 ③国民国家の誕生 ④18世紀のヨーロッパの国際社会 ⑤19世紀ヨーロッパ協調とナショナリズム ⑥自由主義社会の変容 ⑦両大戦間期のヨーロッパ II 現代ヨーロッパの形成と変容 ①戦後ヨーロッパの形成 ②冷戦体制とヨーロッパ分断 ③ヨーロッパ統合の理想と現実 ④米欧関係の新展開 ⑤世界経済の多極化とヨーロッパ統合 ⑥米ソのデタントとヨーロッパのデタント ⑦米ソ「新冷戦」とレーガンの対ソ政策 ⑧ソ連・東欧ブロック崩壊の始まり ⑨冷戦の終焉とヨーロッパ新秩序の胎動 ⑩統一ドイツと欧州統合 ⑪ポスト冷戦期のヨーロッパの安全保障 ⑫EU条約とヨーロッパ統合の新展開 ⑬ヨーロッパ統合の東方拡大
成績評価の方法	・定期試験の結果を中心に、出席状況を加味して総合的に判断する。

履修コード	127501
科目名	地方自治法
担当者名	<small>とみい ゆきお</small> 富井 幸雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	<small>みたけ なおや</small> 三竹 直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。
「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

**講義の内容・
授業スケジュール**

この文章は2007年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2007年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2008年度も2007年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。下記に2007年度のスケジュールを掲載してありますので、参考にしてください。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

前期

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 民主化を考える：ビルマ1
- 第3回 民主化を考える：ビルマ2
- 第4回 民主化を考える：ウクライナ1
- 第5回 民主化を考える：ウクライナ2と民主化支援
- 第6回 民主化を考える：サウジアラビア
- 第7回 民族対立を考える：ルワンダ
- 第8回 民族対立を考える：クルディスタン
- 第9回 移民政策を考える：アメリカとヨーロッパ
- 第10回 移民政策を考える：日本(1)
- 第11回 移民政策を考える：日本(2)
- 第12回 移民政策を考える：日本(3)
- 第13回 前期のまとめ

後期

- 第14回 先住民族政策を考える(1)：ハワイ
- 第15回 先住民族政策を考える(2)：アイヌ民族
- 第16回 先住民族政策を考える(3)：オーストラリアのアボリジニー
- 第17回 先住民族政策を考える(4)：グループ作業討論と全体討論
- 第18回 日本の難民政策を考える
- 第19・20回 『創造の方法学』
- 第21回 「比較政治学の方法論」：事例選択のバイアス
- 第22回 質的比較分析：プール代数の練習
- 第23回 質的比較分析：西欧の民族言語運動
- 第24回 プール代数による仮説の検証の練習
- 第25回 プール代数による仮説の検証の練習(続き)
- 第26回 質的比較分析の実際

履修上の留意点

YeStudy の利用を前提とします。
ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。教室には必ず課題を読んでおくことが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。
また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞(特に国際面)をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いはありません。(病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。)

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。指定する可能性はありますが、現時点で未定です。
その都度紹介します。
この文章は2007年12月時点に書いています。変更もあり得ます。

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おおつみ かづら 大塚 桂

講義のねらい 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。

講義の内容・授業スケジュール
 I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験
 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

成績評価の方法 授業内における中間試験（50％）と期末試験（50％）により評価します。

教科書 大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3200円
大塚桂『政治文化論入門（仮題）』（勁草書房）未定 ※2008年夏に刊行予定
上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

参考書等その他 私の研究室は、第二研究館八階（2835）です。電話は、3418-9377（直）です。

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	かたぎり のぶお 片桐 伸夫

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。
皆さんが将来を託そうとする会社は、
 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
 といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業－製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点 この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法 成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。
 評価基準 前期レポート40％、前期小テスト10％、
後期レポート40％、後期小テスト10％、
 ☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書 開講時、指示します。

参考書等 随時、紹介します。

履修コード	141201
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッパ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

（2008年度『アメリカ経営学』授業計画）

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー：マハト） (8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー） (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確認するために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論注する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983：1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997年
- 7 宮城徹「企業統治の研究の統合の一試論」『駒大経営研究』第31巻 第1・2号、2000
- 8 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書－組織の経済理論の応用－』（税務経理協会）2005年（A.Picot u.a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998）
- 9 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）2007年（A.Picot u.a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	いしなざか くにあき 石名坂 邦昭

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。
①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

履修上の留意点 ノートをしっかりととること

成績評価の方法 定期試験の成績と平常点

教科書 特になし

参考書等 リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房

その他 授業にまじめに出席すること

履修科目

履修コード	164701
科目名	医療経済学
担当者名	おくむら やすのり 奥村 保規

講義のねらい 近年、日本では医療制度の改革が叫ばれています。その背景には、少子高齢化、財政赤字の拡大、経済格差の拡大に対する懸念などがあります。本講義は、経済学を通じ、日本経済の現状と今後を踏まえながら、医療制度のあるべき姿を議論することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール (1) 経済学とはどのような学問か？ (2～3)
(2) 医療経済学の目的 (4)
(3) 日本の医療制度とその問題点 (5)
(4) 少子高齢化の現状とその要因 (6～7)
(5) 財政赤字の問題 (8)
(6) 格差の問題 (9～10)
(7) 医療制度のあり方 (11～15)

成績評価の方法 講義内で数回の提出課題を求め、それに基づいて評価します。

教科書 指定しません。

参考書等 講義の中で知らせます。

履修コード	427501
科目名	メディア・コミュニケーション概論
担当者名	<small>にしおか ようこ</small> 西岡 洋子

講義のねらい 本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
コミュニケーション・モデル
2. パーソナル・コミュニケーション
人と人とのコミュニケーション
電話コミュニケーション
3. グループ・コミュニケーション
集団・組織のコミュニケーション（企業の例を中心にして）
地域コミュニティのコミュニケーション
集団行動のコミュニケーション（噂とクチコミ）
4. マス・コミュニケーション
マス・メディアの変貌
マス・コミュニケーション研究
マーケティング・コミュニケーション（広告、PR）
5. グローバル・コミュニケーション
6. まとめ

履修上の留意点

社会における様々なコミュニケーション行為とメディア、その使い分けについて意識を持つように心がけて欲しい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

テスト、レポート、平常点などで総合的に評価する。
講義中に指示する。
講義中に指示する。

他学部
履修科目

履修コード	432001
科目名	情報メディア産業論I
担当者名	<small>ふけ ひでのり</small> 福家 秀紀

講義のねらい インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ

履修上の留意点

情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。また、レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習してから受講してください。

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。特に指定しません。

- ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
- ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
- ・梅田望夫、『ウェブ進化論 本当の進化はこれから始まる』、筑摩書房、740円、4-480-06285-8
- ・その他講義の中で適宜紹介します。

その他

レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

履修コード	432201
科目名	ネットワークコミュニケーション論
担当者名	^{すがや} ^{みのる} 菅谷 実

講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営

企業経営とは

企業活動にとっての情報基盤の重要性

クローズネットワークとオープンネットワーク

2. 企業組織とネットワーク

企業組織

組織コミュニケーション

3. ネットワーク産業の特質

ネットワーク産業の構造

ネットワーク産業の変容

第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度

物流と情報流を支える流通ネットワーク

郵便サービス

郵便局

民営化

情報ネットワークとしての郵便ネットワーク

5. 交通ネットワーク

貨物輸送

国内旅客輸送

国際輸送

6. 放送ネットワーク

放送ネットワーク種別

放送規制

テレビ放送ネットワークの発展

7. 通信ネットワーク

通信事業者の種別

通信ネットワークの構造

制度の変容

8. インターネット

発展の歴史

ブロードバンドネットワーク

ネットワーク機能

第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合

10. ネットワークの高度化と経営環境の変化

講義には毎回出席してください

平常点と期末テスト

特に指定しません

公益事業学会編『日本の公益事業』白桃書房。

その他 初回講義時に紹介します。

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	432401
科目名	比較メディア制度論
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子

講義のねらい	放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1) 本講義のアプローチ (2) 世界の放送の歴史 (3) 日本の放送制度 放送制度の概要と意義 通信と放送の融合に対応した制度改革 (4) 米国の放送制度 (5) EU主要国の放送制度 (6) 韓国の放送制度 (7) まとめ
履修上の留意点	メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。
成績評価の方法	テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。
教科書	講義中に指示する。
参考書等	講義中に指示する。

履修コード	432501
科目名	都市とメディア
担当者名	こう えん 高 媛

講義のねらい	都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、映画、CM、ドラマ、流行歌などに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていく。
講義の内容・ 授業スケジュール	東京タワー、ディズニーランド、チャイナタウン、ファッションビルなどの事例を手がかりに、都市とメディアの関係を国家、権力、ジェンダーのさまざまな角度から読み解いていく。
履修上の留意点	講義中に取り上げたトピックについて、討論やグループ発表を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。
成績評価の方法	出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらおうコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。出席重視（7割以上の出席率がC評価のための前提条件とする）
教科書	特に指定しない
参考書等	・吉見俊哉『都市のドラマトウルギー——東京・盛り場の社会史』（弘文堂、1987年）、2,300円、ISBN：4335550294 ・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』（有斐閣、2000年）、2,300円、ISBN：4641121036
その他の	講義形式

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	432601
科目名	グローバルアート政策論
担当者名	川崎 賢一

講義のねらい 現代文化システムの特色・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール 文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

〈スケジュール〉

1. イントロダクション
2. 文化政策とは何か？その期限と展開の概略
3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー
4. 文化階層と文化政策
5. 文化政策の3タイプ：アメリカ型
6. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その1))
7. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その2))
8. 文化政策の3タイプ：中間型 (イギリス)
9. 文化政策の3タイプ:(中間型(フランスとイタリア))
- 10.文化政策の3タイプ:中間型(他のヨーロッパ諸国)
- 11.文化政策の3タイプ：中間型(日本)
- 12.文化政策と国際文化交流
- 13.文化政策と文化産業のシナジー
- 14.文化政策の限界と可能性
- 15.まとめ

履修上の留意点 授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。
成績評価の方法 学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。
教科書 授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
 佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

履修コード	432701
科目名	グローバル創造都市論
担当者名	<small>かわさき けんいち</small> 川崎 賢一

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市（Creative Cities）ないし創造産業（Creative Industries）である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例（ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など）を例にとりて、紹介・説明する。

講義の内容
授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

〈授業スケジュール〉

1. イントロダクション：予備的考察とキー概念
2. 何のためのグローバル創造都市か？なぜ、グローバル創造都市が生まれたのか？：グローバリゼーションとグローバルシティ、創造都市
3. 誰がグローバル創造都市を造るのか？：文化階層と文化資本
4. ロンドン
5. ニューヨーク
6. 東京
7. シンガポールと東南アジアの主要都市
8. 中国都市圏
9. 東京と京都
10. 日本のグローバル創造都市：金沢・横浜・大阪
11. ローカルとネイティブ
12. トランスナショナルの重要性：EUとASEAN
13. 新しいコスモポリタニズムと中間層
14. グローバル創造都市の限界と可能性
15. グローバル創造都市論：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

授業の中で指示する。

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年

佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年

J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

履修コード	434301
科目名	情報保護と社会
担当者名	なぐむら けんじ 苗村 憲司

講義のねらい

社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- ②知的財産権の保護に関する政策と技術（1. 知的財産戦略）
- ③知的財産権の保護に関する政策と技術（2. 著作権制度）
- ④知的財産権の保護に関する政策と技術（3. 著作権保護技術）
- ⑤知的財産権の保護に関する政策と技術（4. 産業財産権の保護と課題）
- ⑥知的財産権の保護に関する政策と技術（5. 営業秘密の保護と課題）
- ⑦情報セキュリティに関する政策と技術（1. 個人情報保護政策）
- ⑧情報セキュリティに関する政策と技術（2. 情報セキュリティ政策）
- ⑨情報セキュリティに関する政策と技術（3. 情報セキュリティ・マネジメント）
- ⑩情報セキュリティに関する政策と技術（4. 暗号技術）
- ⑪情報セキュリティに関する政策と技術（5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用）
- ⑫グローバル環境における情報保護の課題（1. 国際機関の果たす役割）
- ⑬グローバル環境における情報保護の課題（2. 有害情報からの児童の保護）
- ⑭グローバル環境における情報保護の課題（3. 情報保護の新たな展望）
- ⑮まとめ

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績（合計30点）
 2. 期末試験の成績（70点）
- ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。

教科書
参考書等

http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/ 上に電子教材を提供する。
電子教材の中で参考書を紹介する。

履修コード	435001
科目名	映像コンテンツ論
担当者名	てづか よしはる 手塚 義治

講義のねらい

資本による文化の疎外を批判する進歩的言説— Culture Industry（文化産業、アドルノ／ホーケイマー、2007）—が、いかに経済の情報化／グローバル化にともない、市場メカニズムそのものを“創造的”とみなし文化の資本化を奨励する“Creative Industry（創造産業）”的言説へと変節していったかを、日本の映画産業史を例にとり説明します。現在の文化産業の状況を批判的に検証する教養を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

アドルノ／ホーケイマーの文化産業論、ウォルター・ベンヤミンの複製芸術論等、メディア&カルチュラル・スタディーズにおける基本文献を紹介し、戦後から前世紀末までの日本映画産業史を情報化／グローバル化の文脈から分析します。

履修上の留意点
成績評価の方法

現代思想に興味があり、社会科学の基礎を履修していることが望ましい。

教科書

授業中の発言、レポート、口頭試問によって総合的に評価する。

参考書等

教科書としての指定はしないが、この講義は Du Gay, Paul (ed.) (1997) Production of Culture/Culture of Production, London: Sage Publications. を下敷きにして。
アドルノ／ホルクハイマー著、啓蒙の弁証法—哲学的断想（2007）、岩波文庫 青 692-1
グレアム・ターナー著、金智子他訳、カルチュラル・スタディーズ入門—理論と英国での発展（1999）、作品社
ポール ドゥ・ゲイ他著、暮沢剛巳翻訳、実践カルチュラル・スタディーズ—ソニー・ウォークマンの戦略（2000）、大修館書店

履修コード	437101
科目名	メディアと知識論
担当者名	<small>さいとう のぶお</small> 齋藤 信男

講義のねらい

メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの実現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 以下の具体的な項目を学んでいく。
- 第一回～第四回 知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
 - 第五回～第九回 セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語RDF (Resource Description Framework)、オントロジーとその記述言語OWL、RDFに対する検索言語SPARCLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。
 - 第十回～第十二回 セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
 - 第十三回～第十五回 メタデータと自然言語処理の関係、知識管理の諸問題、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。
- 実際のシステムをなるべく体験できるように演習を行う。
いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。
特に指定しない。
講義の内容に応じて、その都度紹介する。
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
その他の

他
学
部
履
修
科
目

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230511
科目名	日本語入門Ⅰa
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門Ⅰaは、初めて日本語を学習する人から、日本語学習歴が150時間未満までの学習者を対象とし、日本語の基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	自己紹介（第1週）、学校生活について（第2週）、日常生活について（第3、4週）、友人を誘う（第5週）、自分の国と日本について（第6週）、過去の経験について話す（第7週）、買い物（第8週）、パーティー（第9、10週）、将来について話す（第11週）、旅行（第12週）、比較（第13週）、病院（第14週）、期末試験（第15週） *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門Ⅰaは、非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、もしくはほとんどない学生を対象としているため、日本語の学習経験を持っている学生、および漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門Ⅱaと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅰaと日本語入門Ⅱaは同時に受講するのが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級① メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定) 「はじめよう日本語初級① ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	230521
科目名	日本語入門Ⅰb
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門Ⅰbは、日本語入門Ⅰaの続きとして講義を行う。日本語学習歴が150時間程度の学習者を対象とし、日本語の基本的な文法、語彙、および漢字の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	目上の人と話す（第1、2週）、面接を受ける（第3週）、食事について（第4週）、休日（第5週）、自分の国と日本の習慣（第6週）、引越し（第7、8週）、約束をする（第9週）、日本での生活（第10週）、困った出来事（第11、12週）、教育（第13、14週）、期末試験（第15週） *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門Ⅰbは、日本語入門ⅠaとⅡaを受講した学生を前提とするが、日本語入門Ⅰa、Ⅱaを受講しなかった学生でも、日本語のレベルが適当であれば（日本語学習歴150時間程度）、受講を認める。なお、非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門Ⅱbと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅰbと日本語入門Ⅱbは同時に受講することが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級② メインテキスト」スリーエーネットワーク（予定） 「はじめよう日本語初級② ドリルと文法」スリーエーネットワーク（予定） 「BASIC KANJI BOOK Vol.1」凡人社（予定）
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	230531
科目名	日本語入門Ⅱ a
担当者名	歌代 礼子

- 講義のねらい** 日本語入門Ⅱ aは、初めて日本語を学習する人から、日本語学習歴が150時間未満までの学習者を対象とし、日本語入門Ⅱ aで学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能の修得を目指す。特に「話す、聞く」に重点を置くが、会話では学生が日常生活の中で遭遇する場面を想定し、そこで日本語での会話が可能なことを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** 自己紹介(第1週)、学校生活について(第2週)、日常生活について(第3、4週)、友人を誘う(第5週)、自分の国と日本について(第6週)、過去の経験について話す(第7週)、買い物(第8週)、パーティー(第9、10週)、将来について話す(第11週)、旅行(第12週)、比較(第13週)、病院(第14週)、期末試験(第15週)
*これは、現時点の予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
- 履修上の留意点** 日本語入門Ⅱ aは、非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、もしくはほとんどない学生を対象としているため、日本語の学習経験を持っている学生、および漢字圏の学生は受講できない。
また、日本語入門Ⅱ aと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅱ aと日本語入門Ⅱ aは同時に受講するのが望ましい。
- 成績評価の方法** 学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。
- 教科書** 「はじめよう日本語初級① メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定)
「はじめよう日本語初級① ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)
- 参考書等** 各自辞書を持参してください。

履修コード	230541
科目名	日本語入門Ⅱ b
担当者名	歌代 礼子

- 講義のねらい** 日本語入門Ⅱ bは、日本語入門Ⅱ aの続きとして講義を行う。日本語学習歴が150時間程度の学習者を対象とし、日本語の基本的な「話す、聞く、書く、読む」の4技能の習得を目指す。日本語入門Ⅱ bでは「読む、書く」にも力を入れて講義を進める。
- 講義の内容・授業スケジュール** 目上の人と話す(第1、2週)、面接を受ける(第3週)、食事について(第4週)、休日(第5週)、自分の国と日本の習慣(第6週)、引越し(第7、8週)、約束をする(第9週)、日本での生活(第10週)、困った出来事(第11、12週)、教育(第13、14週)、期末試験(第15週)
*これは、現時点の予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
- 履修上の留意点** 日本語入門Ⅱ bは、日本語入門Ⅱ aを受講した学生を前提とするが、日本語入門Ⅱ a、Ⅱ aを受講しなかった学生でも、日本語のレベルが適当であれば(日本語学習歴150時間程度)、受講を認める。なお、非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
また、日本語入門Ⅱ bと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅱ bと日本語入門Ⅱ bは同時に受講することが望ましい。
- 成績評価の方法** 学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。
- 教科書** 「はじめよう日本語初級② メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定)
「はじめよう日本語初級② ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)
「BASIC KANJI BOOK Vol.1」凡人社(予定)
- 参考書等** 各自辞書を持参してください。

履修コード	230611
科目名	日本語Ⅰ a
担当者名	佐野 典子

- 講義のねらい** 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
- 履修上の留意点** 教材は、担当者が用意する。
- 成績評価の方法** 成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230621
科目名	日本語I b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230631
科目名	日本語I a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。
 講義の内容・授業スケジュール 衣③・食①・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。
 成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。
 教科書 プリントを配布する。
 辞書を持っていくこと。

履修コード	230641
科目名	日本語I b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。
 講義の内容・授業スケジュール 日本語I a に続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。
 成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。
 教科書 プリントを配布する。
 辞書を持っていくこと。

履修コード	230711
科目名	日本語II a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230811
科目名	日本語II b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

「日本語
 日本事情」

履修コード	230721
科目名	日本語II a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・授業スケジュール 紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・読み方等の練習をする。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230821
科目名	日本語II b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・授業スケジュール 意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230911
科目名	日本語III a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい言葉の使い方を知る。
次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。

講義の内容・授業スケジュール ビデオでドラマ・映画などを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるようにする。聞き取った内容を文章にまとめる。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231011
科目名	日本語III b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などを文章にまとめながら、レポートの書き方の練習をする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230921
科目名	日本語III a
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

履修コード	231021
科目名	日本語III b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

「日本語
日本事情」

履修コード	231111
科目名	日本語IV a
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、特に「話す、書く」に重点を置く。グループワークを基本に講義を進め、専門の研究にも役立つアカデミックな日本語運用能力の養成を目指す。 話し言葉・書き言葉の両方を学び、理論的に分かりやすい説明ができるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	・講義内容 身近な話題から専門的な事柄まで、受講生の興味関心も考慮しながらトピックを設定し、そのトピックに関する意見を文章でまとめ、発表する。意見をまとめる際には、学生同士の活発な意見交換を望む。 ・授業スケジュール（予定） オリエンテーション（第1週）、少子化問題（第2、3週）、教育問題（第4、5週）、若者の感性（第6、7週）、仕事への意識（第8、9週）、日本にいる外国人（第10、11週）、電子メールとトラブル（第12、13週）、経済（第14週）、期末試験（第15週）
履修上の留意点	日本語入門IV aは、日本語能力試験2級程度の日本語能力を持っている学生を対象としているため、ある程度の日本語力を持った学生が受講することが望ましい。 なお、日本語能力試験対策は行わない。
成績評価の方法	学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。
教科書 参考書等	随時プリントを配布。 各自辞書を持参してください。

履修コード	231211
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	歌代 礼子
講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、レポートや論文に必要な論理的な文章の書き方を学ぶことを目指す。「である体」というあらたまった文体を用いて、事柄の説明・論述を論理的な手法で行えるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション、レポートに使われる文体（第1週）、文の基本（第2週）、句読点の打ち方、各種記号の使い方（第3週）、引用の仕方（第4週）、段落（第5週）、仕組みの説明（第6週）、歴史的な経過の説明（第7週）、分類（第8週）、定義（第9週）、要約（第10週）、因果関係（第12週）、論述（第13週）、レポートの作成（第14週）、期末試験（第15週）
履修上の留意点	日本語入門Ⅳaは、日本語能力試験2級程度の日本語能力を持っている学生を対象としているため、ある程度の日本語力を持った学生が受講することが望ましい。 なお、日本語能力試験対策は行わない。
成績評価の方法	学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。
教科書	「留学生のための論理的な文章の書き方」スリーエーネットワーク（予定）
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	231121
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	湯村 礼子
講義のねらい	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 （1～5）文章の基本－文・段落・構成－（6～10）レポートの方法－主題・材料・アウトライン等－（11～15）レポートの形式－表紙・序論・本論・結論・参考文献－ 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
履修上の留意点	提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50% 期末テスト 50%
成績評価の方法	
教科書	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231221
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	湯村 礼子
講義のねらい	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。（1～7）レポートを書く （8～15）意見文の書き方、実践
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文（3～4回） 50% 提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など） 50%
教科書	教科書は授業時に指定する。

「日本語
事情」

履修コード	231311
科目名	日本語V a
担当者名	いしかわ まもる 石川 守

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などを深くやっていきます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人にお勧めします。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Vは、日本語VIと連携しています。日本語の基礎文法が復習ができるように構成されています。
履修上の留意点	この日本語V→日本語VIの順に進みます。取り扱う内容は、日本語の基礎的な部分です。したがって、中上級的な表現や語彙をたくさん勉強したい人は他の授業を取ることをお勧めします。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。
教科書等その他	特になし。授業中にプリントを配ります。 辞書を持ってきてください。 受講態度を重視しています。

履修コード	231411
科目名	日本語V b
担当者名	いしかわ まもる 石川 守

講義のねらい	日本語 Va に続けて、日本語のしっかりとした基礎を深く追究していきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 Va の続きをやっていきます。
履修上の留意点	日本語 Va と同じです。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。
教科書等その他	特になし。授業中にプリントなどを配ります。 辞書を持ってきて下さい。 受講態度を重視しています。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231321
科目名	日本語V a
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	レポートを書くための基礎を学ぶ。 各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
成績評価の方法	それらを文章にまとめる。 平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。
教科書	プリント配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231421
科目名	日本語V b
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。
成績評価の方法	平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。
教科書	プリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231511
科目名	日本語VI a
担当者名	いしかわ まちる 石川 守

講義のねらい 日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。

講義の内容・授業スケジュール 日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語V→日本語VIの順番で構成されています。

履修上の留意点 日本語VIは、日本語Vと日本語VIで構成されています。したがって、両方を続けて取ることをお勧めします。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他の他 授業態度を重視しています。

履修コード	231611
科目名	日本語VI b
担当者名	いしかわ まちる 石川 守

講義のねらい 日本語の VIa の続きを行い、日本語文法の基礎をもう一度深く追究します。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 VIa の残りの部分を行っていきます。

履修上の留意点 この授業は、日本語 VIa の次の部分をやっていきます。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他の他 受講態度を重視しています。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231521
科目名	日本語VI a
担当者名	なたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。

その他の他 辞書を持ってくること。

履修コード	231621
科目名	日本語VI b
担当者名	なたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。

その他の他 辞書を持ってくること。

履修コード	231701
科目名	日本事情I〔地理〕
担当者名	須山 聡 <small>すやま さとし</small>

講義のねらい 日本諸地域の特徴を理解することを目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 自然・文化・歴史・都市・農村などのトピックにしたがって講義を進める。
 成績評価の方法 出席状況とレポートで評価する。
 参考書等 日本の地図を用意することをおすすめする。

履修コード	231801
科目名	日本事情II〔自然〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海が多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせられ、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。

講義の内容・授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）

成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。
 教科書 講義内容を文章化した「web版テキスト（日本語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。

参考書等 講義とweb版テキストの中で適宜紹介する。
 その他 講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web版テキスト（English version）」を用意する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	231901
科目名	日本事情III〔歴史〕
担当者名	井上 桂子 <small>いのうえ けいこ</small>

講義のねらい 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
 2. 中国商人の「唐風説書」の役割
 3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
 4. 日米和親条約と中国
 5. 明治維新と中国の反応
 6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
 7. 清末の改革維新と日本との関係
 8. 孫中山と日本
 9. 民間交流と日中関係
 10. 戦争中中国大陸で反戦活動
 11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法 出席回数と課題レポートで評価します。
 教科書 必要に応じてプリントを配布します。
 参考書等 授業のなかで適宜紹介します。
 その他 希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232001
科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい 明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期を、当時の思想家達はどのように受け止めたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけて活躍した代表的思想家について学びます。彼らは、自分が生きた時代の中で何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・授業スケジュール オリエンテーション（1）、儒教思想（2～3）、福沢諭吉（4～5）、明六社（6～7）、自由民権（8～9）、中江兆民（10～11）、徳富蘇峰（12～13）、社会主義（14～15）。

履修上の留意点 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書 特に指定しません。

参考書等 授業時に適宜、紹介します。

その他 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232101
科目名	日本事情Ⅴ〔社会〕
担当者名	李 妍炎

講義のねらい この講義は、日本人の価値観や意識、国民性を中心に取り上げていく。

講義の内容・授業スケジュール 前半は、「数字や映像で見る日本と日本人」と題して、各種統計データやテレビの特集番組などを題材に、現代日本人の生き方や意識について探っていく。後半は、日本人の国民性について書かれた文献を題材に、日本人の国民性に関するさまざまな議論について学び、考えていく。具体的には、以下のスケジュールを予定している。ガイダンス(1)、日本人の平均値(2-5)、日本人の価値観の変化(6-7)、日本人が関心を持つ社会問題(8-11)、日本人の国民性(12-15)。

履修上の留意点 私語をしない。携帯電話を出さない。

成績評価の方法 期末レポートで評価するが、出席に対する要求を満たさなければならない。

教科書 特に指定しないが、毎回必要な資料をコピーして渡す。

参考書等 鳥羽賢, 2005, 『日本人の平均値』生活情報センター。

(株)電通総研, 2005, 『日本人の価値観変化』。

大越明彦, 2005, 『日本および日本人』鳥陰社。

その他 講義は日本語で行うが、個別の質問は中国語と英語でも受け付ける。

履修コード	232201
科目名	日本事情VI〔政治・法律〕
担当者名	三竹 直哉 <small>みたけ なおや</small>

講義のねらい 日本政治について知り、みんなで意見交換します。
 講義の内容・ 下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。
 授業スケジュール

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

履修上の留意点 日本政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぶ気がない学生は履修すべきではありません。

授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

成績評価の方法 平常点と期末テストによります。2007年度までは期末テストを行っていませんでしたが、2008年度は行いますので注意すること。

教科書 指定する予定はありません。
 その他 I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

履修コード	232301
科目名	日本事情VII〔文学〕
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>

講義のねらい 本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・ 日本古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、中世の文学とその美意識（3）
- 10、近世の文学とその美意識（1）
- 11、近世の文学とその美意識（2）
- 12、近世の文学とその美意識（3）
- 13、日本文学の特質（1）
- 14、日本文学の特質（2）
- 15、日本文学の特質（3）

履修上の留意点 第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法 レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書 必要に応じて適宜プリントを配布する。
 参考書等 授業内で紹介する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	232401
科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい 「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、特定の「日本文化」に注目し、明らかにするという方法を取りません。かわりに、食文化など我々の身近にあるものを例としてとりあげます。そして、その変容の過程を学びながら、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのか、を明らかにしていこうと思います。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・授業スケジュール オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2~4)、中世日本の文化(5~8)、近代日本の文化(9~14)、まとめ(15)。

履修上の留意点 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書 特に指定しません。

参考書等 授業時に適宜、紹介します。

その他 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232501
科目名	日本事情IX〔経済〕
担当者名	渡邊 恵一

講義のねらい 外国人留学生を対象に、日本の経済・社会への理解をいっそう深めてもらうことが到達目標である。本講義では日本における資本主義経済システムの定着期である明治期に始まり、二つの世界大戦、戦後の高度経済成長、そして「経済大国」と称されるようになるまでの日本経済の歴史をダイジェスト版でたどることで、この課題に接近していきたい。授業ではVTR、DVDなどの映像資料を積極的に活用し、受講生の理解を助けるつもりでいる。

講義の内容・授業スケジュール (1) 課題と方法、(2) 日本経済の長期的概観、(3)~(5) 明治期の日本経済、(6)~(9) 大正期の日本経済、(10)~(14) 昭和期以降の日本経済、(15) 総括と展望

成績評価の方法 出席状況(遅刻は出席と見なさない)、「リアクション・ペーパー」提出を通じた授業への理解度、積極的姿勢を平常点として重要視する。期末試験・レポートの実施については、受講者数などをみてから、後日決定したい。

教科書 使用しない。

参考書等 老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2002年)、三和良一『概説日本経済史 近現代(第2版)』(東京大学出版会、2002年)

その他 授業は日本語で行うが、留学生向けの授業であることを考慮し、無理のないペースでの進行情を心がけたい。

履修コード	232601
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	高井 ^{なかい} 徹雄 ^{てつお}

講義のねらい 本講義は留学生の方々を対象とした講義です。第一の趣旨は、皆さんの日本語コミュニケーション能力を本学で学ぶに十分なレベルに高めていただくことにあります。そのために、教員と受講生間のコミュニケーションを密に相互に協力しながら、今日の日本事情に関する理解を深めていきます。この国を正しく理解するには、ここに至る歴史を知ることや政治・経済など専門家の意見を聞く必要があります。しかし、それ以前にまず「日本人の心」に触れていただきたいと思います。この国で生まれ・学び・働き・暮らしてきた、ごく普通の日本人の人々と本音のコミュニケーションがとれるようになっていただくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 留学生の方々が、本学における学修を円滑に進めていただくためには、一定の日本語能力のうえに、日本社会と日本人に関するよりベーシックな理解が不可欠です。そこで、講義の前半から中盤部分では、Q&A方式によって皆さんと十分なコミュニケーションをとりながら、皆さんの興味に沿った個別テーマ選んで解説して行くことにします。およそのスケジュールは以下のようになります。

第1週：イントロダクション…本講義の趣旨説明

第2週：教員・受講者自己紹介。日本に関する興味についてアンケート調査

第3～10週：Q&A方式による日本事情個別テーマの解説

第11～12週：今日の日本的経営システムについて

第13～14週：情報ネットワーク社会の日本的事情

第15週：日本語コミュニケーション能力確認テスト

履修上の留意点 留学生の皆さんが、今日まで受け継がれてきた日本の文化とその背景にある日本人の心、現代日本の社会・政治・経済など本当のところを知りたいとお望みであれば何なりと質問してください。是非、興味をもって能動的に授業に参加されることを期待いたします。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。その上で、最終授業時に日本語コミュニケーション能力に関する筆記試験を実施して成績評価を行います。

教科書 特にありません。

参考書等 個別テーマによって、必要なものがあれば適宜紹介します。

「日本語
日本事情」

V 随 意 科 目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法
その他

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

経済学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

履修コード	341601
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	いけだ みちひろ 池田 道浩

講義のねらい	人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはなく、自分自身を超越した神を求めることもない。宗教は日常から離れたどこか遠い場所にあるのではなく、我々の日々の生活に密接に関わるものなのである。
講義の内容・授業スケジュール	本講義は、仏教とその他の諸宗教の歴史と思想を概説しつつ、現代社会における宗教のあり方を提示するものである。民俗学的な視点や人類学の知識も使用し、今日の社会や文化における宗教的意識の理解を目的とする。 (1～2) 死後の世界：死んだらどうなるのか (3～4) 旧約聖書の世界 (5～7) キリスト教 (8～11) 現代のユダヤ教とキリスト教 (12～13) 死と葬送の宗教民俗 (14) シャーマニズム：脱魂と憑依 (15) お盆とは何か／五山送り火の密教的意味／靖国 (16) 古代エジプトの宗教 (17) イスラム教 (18～19) 中国の宗教 (20～22) インド仏教 (23) チベット仏教 (24～25) 日本の宗教 (26～28) 中国と日本の仏教 (29～30) 現代社会の宗教風景
履修上の留意点	なお、随時、宗教に関する社会的文化的事例を取り上げ、問題点を提示していく。 特定の教科書を使用しないため、欠席が重なると授業の流れが理解できないことになるので注意されたい。なお、欠席の多い者には評価を与えない。
成績評価の方法	出席と簡単な課題の提出、定期試験によって評価を行う。
教科書	特に使用しない。適宜プリントを配布する。
参考書等	講義中に随時紹介する。

履修コード	341801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	まつもと しろう 松本 史朗

講義のねらい	本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。
講義の内容・授業スケジュール	講義は、内容は、次の通り。(1～2) 仏教以前のインド思想、(3～10) 釈尊と原始仏教、(11～20) 大乘經典の思想、(21～28) チベット・中国・日本の仏教
成績評価の方法	年度末の試験によって、成績を評価する。
教科書	松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円

履修コード	341901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	四津谷 孝道

講義のねらい 受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：仏教が誕生するまで
- 第3回：開祖・仏陀の生涯
- 第4回：仏教の歴史概観
- 第5回：仏教とナショナリズム（1）
- 第6回：仏教とナショナリズム（2）
- 第7回：仏教と神道 / 神仏習合（1）
- 第8回：仏教と神道 / 神仏習合（2）
- 第9回：奈良仏教 / 国家仏教（1）
- 第10回：奈良仏教 / 国家仏教（2）
- 第11回：平安仏教 / 密教
- 第12回：平安仏教 / 最澄
- 第13回：平安仏教 / 空海
- 第14回：平安・鎌倉仏教 / 末法思想とは
- 第15回：鎌倉仏教 / 法然
- 第16回：鎌倉仏教 / 親鸞（1）
- 第17回：鎌倉仏教 / 親鸞（2）
- 第18回：鎌倉仏教 / 禅とは
- 第19回：鎌倉仏教 / 道元（1）
- 第20回：鎌倉仏教 / 道元（2）
- 第21回：鎌倉仏教 / 日蓮（1）
- 第22回：鎌倉仏教 / 日蓮（2）
- 第23回：仏教と科学
- 第24回：仏教と経済
- 第25回：仏教と自然（1）
- 第26回：仏教と自然（2）
- 第27回：仏教と自然（3）
- 第28回：仏教と生命問題
- 第29回：仏教と暴力
- 第30回：仏教と人間

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等
その他の

特になし。
出席点と年度末の試験に基づいて評価する。
授業において配布する。
授業において適宜に言及する。
特になし。

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	田中 <small>のなか</small> かのこ <small>かの子</small>

講義のねらい 人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などというと、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール 講義担当者の生活体験をともなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

履修上の留意点 板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法 出席状況、創意工夫や日本語の表現力を評価する課題レポート、学年末試験（追試なし）。

教科書 拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2007年、改版（第3刷発行）

参考書等 「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	池田 <small>いけだ</small> だいすけ <small>だいすけ</small>

講義のねらい 土佐日記、蜻蛉日記といった平安時代に輩出した日記文学作品を扱います。それらの作品を通して作者たちの心情を感じ取ることを目的とすると同時に、作品の時代背景などを確認しながらそれぞれの日記の世界観、作者たちの置かれていた立場などについても学んでもらいたい。また、作品に見られる風土や儀礼・年中行事などに興味をもってもらいたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) ガイダンス
 - 2) 平安時代の日記
 - 3) 蜻蛉日記
 - 4) 和泉式部日記
 - 5) 紫式部日記
 - 6) 更級日記
 - 7) 成尋阿闍梨母集
 - 8) 讃岐典侍日記

履修上の留意点 現代語訳のものでよいので、事前に作品を読んでおくと、より理解が深まります。学期末には試験（抜見可）を行いますので、ノートはきちんと取り、配布プリントも整理しておいて下さい。出席重視なので、可能な限り休まないで下さい。

成績評価の方法 出席状況（60%）と試験（40%）などにより評価します。

教科書 毎時間、プリントを配布します。

参考書等 宮崎荘平『王朝女流日記文学案内』（朝文社）

石原昭平、津本信博、西沢正史編『女流日記文学講座』第1巻～第4巻（勉誠社）

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当名	中西 亮太

講義のねらい この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じていきます。日ごろ短歌を読み慣れていない人にとって、短歌の内容を読み解くのは、なかなか難しいことです。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこで先ず、受講生が短歌の読み解き方の基本を身に付けられるよう、訓練します。次いで、短歌の響きとリズムの味わい方について話を進めます。そして、その上で、受講生が近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めることを目指します。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」（斎藤史『魚歌』）

講義の内容・授業スケジュール 原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいきます。取り上げる歌人は、与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉、會津八一、前川佐美雄、土屋文明、斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などです。前期が明治期と大正前半の歌人たち、後期が大正後半と昭和期の歌人たちです。なお、講義をより効果的なものにするために、前後期に一度ずつ、実習として歌会をします。また、ときに現代の専門歌人を教室に招くことも予定しています。

履修上の留意点 当然のことですが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法 学年末に試験を実施します。

教科書 なし。授業中、必要に応じて参考プリントを配布します。

参考書等 (a) 高野公彦編『現代の短歌』講談社学術文庫、1、450円、ISBN4-06-158974-1。明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録しています。

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当名	伊藤 達氏

講義のねらい 本講義では、芭蕉の紀行文『奥の細道』を読む。『奥の細道』を読むことによって、芭蕉の表現の様相、その俳諧観に迫り、この作品への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 1) 本講義のガイダンス
2～3) 近世期までの俳諧と近代以降の俳句との違いについて
4～5) 芭蕉以前の俳諧の様相
6～7) 『奥の細道』出立以前の芭蕉の動向
8) 『奥の細道』を読む。(『奥の細道』には最古の注釈書である『おくのほそ道鈔』、それに続く『奥の細道菅菰抄』以来、現在に至るまで多くの注釈があるが、それらを適宜参照しながら読み進めていく。なお蕉風俳論や同時代の歌論・詩論・思想についても言及する。)

履修上の留意点 指定したテキストを購入し、授業の前には該当箇所を読んでおくこと。欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問点があれば積極的に授業中、時間後に質問して下さい。

成績評価の方法 年度末の定期試験を主とする。出席状況・聴講態度も加味する。

教科書 萩原恭男校注『芭蕉おくのほそみち一付曾良旅日記 奥細道菅菰抄』(岩波文庫)、735円 (ISBN4-00-302062-6)

参考書等 授業中に適宜紹介する。プリントで配布する場合もある。

履修コード	342801
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当名	林 彰

講義のねらい 幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備される。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にとどめてみたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗しないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病気などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 最初に、現在の日本に残存する過去の歴史の問題を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、敗戦までたどる。次に時間に余裕があれば、個人の人物を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。

成績評価の方法 前期はレポート提出。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には単位はなし。定期試験は、追試験も実施する。

教科書 大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史(上)』、大月書店、2002年。1800円+税 ISBN4-272-52068-7C0021

履修コード	342901
科目名	歴史学〔中国史概観〕
担当者名	小林 惣八 <small>こばやし そうはち</small>

講義のねらい 中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法 前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書その他 特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。
出席を重視する。

履修コード	343001
科目名	歴史学〔アジア史概観〕
担当者名	山口 洋 <small>やまぐち ひろし</small>

講義のねらい アジア史の事例を通して、歴史学的なものの方を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。
●第1回：ガイダンス
●【歴史学の基礎】第2回：アジアの風土、第3回：紀年法、第4回-第5回：歴史記録とは何か、第6回-第7回：紙と印刷の歴史
●【中国史の基礎】第8回：伝説の古代、第9回-第11回：皇帝の登場、第12回-第13回：官僚制と科挙
●【交通の歴史】第14回：中国人の世界観、第15回-第17回：中国と西域、第18回-第19回：駅伝制、第20回-第22回：遣隋使遣唐使、第23回-第24回：鄭和の遠征

履修上の留意点 出席不良者の単位修得は認めない
成績評価の方法 数回のレポートと平常点（出席など）、筆記試験の結果を総合して判定する
教科書 史料をプリントで配布する
参考書等 寺田隆信著『中国の歴史』（中公新書）
他は、授業内で適宜紹介する

履修コード	343101
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

講義のねらい 西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心で紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。
ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないのので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。
本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい？人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール 下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。
最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからベーコンまでを検討することになると思われる。

履修上の留意点 教科書を必ず入手しておくこと。
成績評価の方法 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書等 授業中に適宜プリントを配布する予定。
講義中に適宜指示する。

履修コード	343201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい 現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「文科系と理科系」について検討する。現代のわれわれにとって、文科系と理科系との区分、およびそれと関連した「科学的思考」とそうでないものとの区別は、すっかり日常的になったが、しかしこれは近代以降の文化的産物なのである。この発想の特性と問題点を探ることが、本年度の課題である。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(3)プラトンと数学の問題 (4)～(6)アリストテレスと「実践知」 (7)～(9)ヨーロッパ中世におけるアリストテレス受容 (10)(11)F. ベーコンと「新しい知」 (12)～(14)デカルトの問題(1) (15)夏期中間試験 (16)～(18)パスカル・ヴィーコ・ヘルダー (19)～(23)カントにおける「知」の問題 (24)ドイツ・ロマン派における「知」 (25)～(27)ニーチェの思想 (28)～(30)歴史学をめぐって

履修上の留意点 本学で開講される「哲学」には内容の異なるいくつかの講義がある。履修に当たっては、講義内容をよく確認すること。

成績評価の方法 夏期中間試験と冬期定期試験の成績の平均点を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりカバーする。

教科書 久保他編『原典による哲学の歴史』(公論社)

履修コード	343301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	鈴木 聡

講義のねらい 本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール (1) プロローグ・(2・3) 現実と幻・(4) 確率の解釈・(5・6) 記憶と知覚・(7・8) 真実の多面性・(9・10) 日常的描写と科学的描写・(11・12) 論理の本質・(13・14) 音と科学的描写と日常的描写・(15・16) 知覚と思考・(17・18) 他我問題・(19・20) 同一性・(21・22) 言語と行為・(23・24) 本物と像・(25・26) 感覚についての諸説・(27・28) 時間論・(29・30) 「心の中」はないということ。

履修上の留意点 欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。

成績評価の方法 成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

教科書 開講時に指定する。

履修コード	343401
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい 現代論理学の内容を、「ことばの正しき」のうちで「推論の正しき」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しき」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで(時間の許すかぎり)こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」

成績評価の方法 年2回の試験(夏期中間試験+年度末定期試験)を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題(年間通して計3回)を出す。これらによって総合的に評価する。

教科書 野矢茂樹著『論理学』(東京大学出版会)

履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	麻生 享志 <small>あきお たかし</small>

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（１）論理とは何かを考え、（２）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（３）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。

講義の内容・授業スケジュール

(1-7) 概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性 (8-13) 逆接・クイズ・数理・パズル・記号・真理函数 (14-22) 原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆 (23-30) 後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60％）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。追試験は本年度は行わない予定。

参考書等その他

多数。講義内にて詳細に説明します。
講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要なですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

履修コード	343601
科目名	倫理学〔現代と倫理〕
担当者名	古田 知章 <small>ふるた ともあき</small>

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えるとき、個々の領域、場面で「正しき」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に立って、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義を行う。また、Iを前期、II、IIIを後期に扱う）。

- I. 倫理的原理についての検討
 1. 倫理学における問題の所在 ー倫理的であることー
 2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
 3. 中世における宗教的倫理観
 4. ルネサンスと宗教改革 ー個としての人間ー
- II. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 - 近・現代における倫理思想 ー主体性と自由の問題ー
- III. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳と人生の質
 2. 人間と環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書参考書等

『原典による哲学の歴史』（公論社）
講義の際にその都度紹介する。

履修コード	343701
科目名	倫理学〔人生と倫理〕
担当者名	<small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り上げ、その倫理学を紹介する。彼が「倫理学の意義と方法」を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出そうと考えている。日本の倫理学の可能性を考えてみたい。

履修上の留意点 (1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

成績評価の方法 ノートをしっかり取る。

教科書等その他の他 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。
和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫)(岩波全書版でも可)
和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫)
湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫)
坂部憲『和辻哲郎――異文化共生の形』(岩波現代文庫)
荻部直『光の領国 和辻哲郎』(創文社)

履修コード	344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	阿部 真大

講義のねらい 人の「心」を研究する学問を「心理学」と言う。しかし、人はひとりで生きているわけではない。人の隣には別の人がある。人と人が合わさってできるものを「社会」と呼ぶ。その「社会」を研究する学問を「社会学」と言う。生活するなかで何か問題にぶちあたったとき、その原因を「心」に求める（「自分が悪いんだ」）のもいいけれど、たまには「社会」に求めてみる（「社会が悪いんだ」）のもいいかもしれない。それで気が楽になったり問題解決の道筋が見えたりすることがあるかもしれない。この講義のねらいは「社会学」を通じてみなさんの「生きる力」を養うことです。

講義の内容・授業スケジュール (1) イントロダクション 社会学とは何か？ (2-6)「バイク便ライダー」を手がかりに興味と仕事について考える (7-11)「ユニットケア」を手がかりに高齢者福祉について考える (12-16)「合コン」を手がかりに恋愛と結婚について考える (16-19) 自分の身の回りの問題について考える (20) まとめ 再び社会学とは何か？

履修上の留意点 日頃から社会のなかにおける自分の位置を把握するよう心がけてください。新聞や雑誌、インターネットなどを見る習慣をつけておいてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題を基本に評価します。出席状況も考慮します。
教科書 阿部真大『搾取される若者たち バイク便ライダーは見た！』2006年刊（集英社）672円
 阿部真大『働きすぎる若者たち 「自分探し」の果てに』2007年刊（NHK 出版）735円
 北村文・阿部真大『合コンの社会学』2007年刊（光文社）735円

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	橋爪 敏

講義のねらい この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。前期1)～8)社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。後期は16)～20)フランスにおける現代社会学への歩み21)～25)ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。

成績評価の方法 成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書 安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）
参考書等 高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
 R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
 その他授業中に適宜指示したい。

教養教育

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	川上 新二

講義のねらい 世界のさまざまな民族や社会を理解するために文化人類学が提出してきた基礎的な事項について紹介します。

講義の内容・授業スケジュール 次のような内容について紹介する予定です。
 (前期)文化人類学が提出してきた「文化」への接近方法を紹介します。(1)文化人類学とは、(2)文化とは、(3～4)進化主義、(5～6)伝播論、文化圏説、(7)歴史主義、(8～9)機能主義、(10～11)文化とパーソナリティ、(12～13)構造主義、(14～15)象徴主義
 (後期)個別のテーマに焦点をあてて、文化人類学による「文化」の見方を紹介します。(1～3)婚姻、(4～6)家族、親族、(7～8)祖先とのつながり、(9)呪術、(10～11)妖術、(12)邪術、(13～14)憑依、(15)脱魂

成績評価の方法 学期末試験、年3回(前期1回、夏休み、後期1回)のレポート課題、出席状況で評価します。
教科書 使用しません。
参考書等 講義のなかで適宜紹介します。

履修コード	344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解することの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、2. 文化人類学の歩み(1)、3. 文化人類学の歩み(2)、4. 文化とコミュニケーション、5. 環境と人間(1) 狩猟採集民、6. 環境と人間(2) 牧畜民、7. 環境と人間(3) 農耕民、8. ジェンダー、9. セクシュアリティ、10. 婚姻の形態、11. 家族の多様性、12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、2. アニミズム、3. シャーマニズム、4. シンクレティズム、5. 儀礼の構造、6. コスモロジー、7. 神話、8. 政治組織、9. 民族とエスニシティ、10. 民族紛争と戦争、11. 開発と文化、12. 移動の民族誌

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

ビデオを見た感想を問うことがあります。

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円

山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円

佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)2,200円

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

履修コード	344601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	鶏徳 啓登

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール(規範)が必要である。「社会あるところ法あり。」(法諺)といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。

(1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用

2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。

(1) 民法上の権利-権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容(財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利)、権利の発生・消滅。

(2) 憲法上の権利-自由権(経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権)、平等権、社会権(生存権、教育権、勤労権、労働者の権利)、参政権(選挙権、被選挙権)、受益権(請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権)。

(3) 国家・地方公共団体の権利-国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

教科書

参考書等

出席状況と試験。

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版)3,500円

『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種類)、その他参考書等については教場にて説明。

履修コード	344701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世 <small>はしがわ ひでよ</small>

講義のねらい 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑫法の解釈、⑬～⑮日本の裁判制度、⑯憲法とは何か、⑰近代憲法の構成原理、⑱日本の憲法史、⑲～㉑日本国憲法の基本原理、(21～26)基本的人権の保障、(27)国会、(28)内閣、(29)司法権、(30)一年間のまとめ

履修上の留意点 日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に教科書を必ず読んでおくこと。

成績評価の方法 学期末の試験の成績と講義への出席の割合で評価します。

教科書 長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	344801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	真下 英二 <small>ました えいじ</small>

講義のねらい そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール 春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。
秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点 この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。
また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法 成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書等 特に指定しない。
加藤秀治郎他『政治学の基礎』(一藝社)2002年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』(芦書房)1999年
他は追って指示する。

履修コード	344901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山村 恒雄 <small>やまむら つねお</small>

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点
成績評価の方法

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書
参考書等

特定の教科書は使用しない。
授業中、随時指定。

履修コード	345001
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	沼田 郷 <small>ぬまた さとし</small>

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODAとは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業

履修上の留意点

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

成績評価の方法

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

教科書

学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます(年間で1、2回)。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。

その他の

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

履修コード	345101
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	枝松 正行

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。すなわち、社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手として、つねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように、人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、不連続な飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。その意味で、社会科学論は、政治学や経済学、法律学、社会学、宗教学、倫理学など個別社会科学全体を貫く普遍的で総合的な発展法則の解明を課題とするメタ社会科学であるといつてよい。

講義の内容・授業スケジュール

グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期にあるが、歴史科学であると同時に未来科学でもある社会科学論こそは、現代社会の変化・生成・発展法則の解明とリスクの回避に究極的な使命を担っている。それゆえ、現代人の歴史的課題とその根本的な解決としての未来社会論を必然的に内包する普遍的な発展法則の理解こそが講義の最終目標となる。

講義では、(1～3) アリストテレスの形而上学、(4～6) ヘーゲル論理学、(7～11) マルクス経済学、(12～16) ヴェーバー社会学、(17～19) ドラッカー経営学などの方法に学びつつ、社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブで持続可能なアソシエーション社会への移行を展望する。

履修上の留意点

このような社会科学的視座の習得を基礎として、さらに、(20～24) これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

成績評価の方法

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材を取り入れておくこと。

教科書

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

参考書等

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書、渡辺憲正『イデオロギー論の再構築』青木書店、など。

毎回、授業の冒頭で前回授業のカードによる学生諸君の質問・意見・要望に応え、授業に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

履修コード	345201
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の基本的な考え方を理解し、諸手法を修得することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

前期
1 統計学の概要 2-4 度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7 確率 8 演習Ⅰ 9-10 確率変数と確率分布 11 平均・分散と期待値 12 標準化 13 正規分布表 14 演習Ⅱ 15 まとめ・補足

履修上の留意点

後期
16 母集団と標本 17 統計量と標本分布 18-19 点推定と区間推定 20-21 仮説検定 22-24 その他の推定・検定 25 演習Ⅲ 26 散布図と相関係数 27-28 回帰分析 29 期末試験 30 まとめ・補足

成績評価の方法

統計学は積み重ねの学習が要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

①演習Ⅰ～Ⅲ：45%(各15%) + 期末試験55%

②期末試験：100%

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN 4-489-00407-9

前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN 4-534-03036-3

永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN 4-8171-0266-7

東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN 4-13-042065-8

その他の

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。

履修コード	345301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	<small>イナギ じゆんいち</small> 鈴木 順一

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

履修上の留意点

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ること、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

その他の

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

教養教育

履修コード	345401
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一 <small>すずき じゆんいち</small>

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺伝子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ること、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他の

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

教養教育

履修コード	345501
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>

講義のねらい 地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化(4-6回)、3章：系統と分類(7,8回)、4章：行動と進化(9,10回)、5章：動物の人口論(11,12回)、6章：共生と競争(13,14回)、7章：人類の進化(15-17回)、8章：進化論(18,19回)、9章：生態系(20,21回)、10章：物質の循環(22-24回)、11章：植生遷移(25,26回)、12章：生物多様性(27,28回)、13章：人為と生物(29,30回)

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を文章化した「web版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

参考書等その他の

上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。
講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	345601
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	中村 敏枝

講義のねらい	地球上の生物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然の掟に逆らい、自らの歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 生物の生活 (1-5) 地球の歴史と生命の起源 (6-13) 生態系のしくみ (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染 (22-23) 水銀汚染と水俣病 (24-25) 人工放射性物質汚染
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	赤塚他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円 授業時間内に随時紹介します。 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	345701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	澤口 隆

講義のねらい	DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス(CG)を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。 その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。 Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。 1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作
履修上の留意点	コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。
成績評価の方法	授業中に作成した課題と出席状況で評価する。
教科書 参考書等 その他	使用しない。適宜資料を配付する。 同上 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	345801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	<small>たにもと きちひろ</small> 谷本 玲大

講義のねらい	課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。 前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス／履修許可／起動～ログオン～終了／画像処理 2 情報倫理概説／検索エンジンとWWW体験 3 電子メールのマナーと実習／添付ファイル 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習 5～8 Word 9～12 Excel 13～15 予備 ※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。 ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。
履修上の留意点	初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。 教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。 各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。
成績評価の方法	初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。
教科書	小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034
その他	本学の建学の理念は行学一如である。曹洞禅に於いて、行とは只管打坐にある。 学もそれと一つの如く、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧め

履修コード	345901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	<small>さわぐち たかし</small> 澤口 隆

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	346001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	谷本 玲大

講義のねらい	課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。 1 ガイダンス／履修許可／起動～ログオン～終了／画像処理 2 情報倫理概説／検索エンジンとWWW体験 3 電子メールのマナーと実習／添付ファイル 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習 5～8 Word 9～12 Excel 13～15 予備 ※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。 ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。
履修上の留意点	初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。 教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。 各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。
成績評価の方法	初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。
教科書	小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034
その他	本学の建学の理念は行学一如である。曹洞禅に於いて、行とは只管打坐にある。 学もそれと一つの如く、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧めらる。

履修コード	346101
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義のねらい	最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。
講義の内容・授業スケジュール	本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。 前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題(地球温暖化など)について触れます。
成績評価の方法	主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいつづビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます(各5点程度)。
教科書 参考書等 その他	特に定めない。適宜プリントを配布。 『ニューステージ地学図表 新訂』(浜島書店) プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	346201
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義のねらい 最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール 前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法 主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書 特に定めない。適宜プリントを配布。
参考書等 『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）
その他 プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	346301
科目名	自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1~10) 宇宙と地球環境：（自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成） (11~15) 地球環境の変動：（宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動） (16~25) 地球環境問題：（オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題） (26~30) 宇宙と地球の未来：（文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査）

成績評価の方法 学年末に行う筆記試験の結果により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、試験の点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』（東京教学社）2,300円＋税
参考書等 講義の中で適宜紹介する。
その他 「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。

教養教育

履修コード	346401
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	山縣 毅

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール 〔地球表層の環境〕
 1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)、2. 気候の決定要因 (3~7回)、3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
 〔人間活動による環境変化〕
 1. 公害問題の変遷 (9回)、2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)、3. 大気汚染 (17回)、4. 酸性雨 (18回)、5. 光化学スモッグ (19回)、6. オゾン層の破壊 (20回)、7. 海洋汚染 (21, 22回)、8. 廃棄物問題 (23, 24回)、9. 資源とエネルギー (25~27回)

〔自然災害〕：
 1. 気候変動 (28回)、2. 地震とその災害 (29回)、3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

参考書等 講義中に紹介します。
その他 講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	346501
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	おぎわ まこと 小沢 誠

講義のねらい コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に着けることを目標とする。
 講義の内容・ 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を2～3回かけて授業を行う。
 授業スケジュール

- 第1章 集合と論理
 - §1 集合
 - §2 論理
- 第2章 関係と写像
 - §1 関係
 - §2 写像
- 第3章 代数系
 - §1 代数系
 - §2 半群と群
 - §3 環と体
- 第4章 順序集合と束
 - §1 順序
 - §2 束とブール代数
- 第5章 グラフ
 - §1 グラフ
 - §2 平面グラフ
 - §3 有限オートマトン

履修上の留意点 毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法 前期と後期の期末試験の結果で評価する。
 教科書 石村園子著『やさしく学べる離散数学』共立出版
 2,100円(税込) ISBN978-4-320-01846-4

参考書等 適宜紹介する。
 その他 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外国語科目

履修コード	354601・354602
科目名	英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>かのう こういち</small> 狩野 晃一

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

最低限の英語を読み・書きが出来るようにする。
前後期を通して、基礎的な文法知識を応用しての文章理解に努める。また簡単なメールなどが書ける程度の作文力をつけたい。

理由は様々あると思うが、諸君がなぜこのクラスを履修しなければならぬのかということを今一度考えていただきたい。授業には辞書を必ず持参すること。分からない箇所はその都度、必ず質問をすること。分からないことは恥ずかしいことではないのだから。最後まであきらめない姿勢が大切。

成績評価の方法

全授業の3分の2以上の出席と各学期末に行う予定の試験で6割以上をとることが成績評価の最低条件。その他、提出物などにより評価を行う。追試・再試はなし。

教科書

プリントを配布する。

履修コード	354701・354702
科目名	英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>こんどう まはり</small> 近藤 真彰

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習

【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

第1回目の授業で指示します。

履修コード	354901・354902
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	町田 成男

講義のねらい 英文の読解を中心にして、表現能力も養成することが目的。そのために文法、語法、ニュアンスの違いなどを授業で説明する。また、カセットテープやビデオ教材も随時、使用する。

講義の内容・授業スケジュール 演習と講義

- 1 テキストと授業のガイダンスを中心に
- 2 Conclusions/Reasons
- 3 Analysis
- 4 Theory / Proof
- 5 Controversy
- 6 Comparison / Contrast
- 7 Classification
- 8 Instruction
- 9 Chronological order
- 10 Cause & Effect
- 11 Process
- 12 Explanation
- 13 Definition
- 14 Statistics
- 15 試験日
- 16 Going to a University
- 17 Rain
- 18 Making Plans
- 19 What Are You Doing
- 20 Using a Credit Card
- 21 Museums
- 22 The News
- 23 In the Park
- 24 Walking
- 25 At a Hairdresser's
- 26 Restaurants
- 27 Hotels
- 28 Telephones
- 29 Haddon Hall
- 30 試験日

成績評価の方法 出席+発表+期末試験の総合評価とする。
教科書 後日発表

履修コード	355201・355202
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい IA、IBを基礎として総合的な英語力の向上を目的とします。リーディングに関しては、英語を第二言語とする読者向けの英字新聞を教材として、比較的平易な英文を、大意の把握に努めつつ、より速く読む訓練を行っていきます。ライティングに関しては、記事の内容に関して英語で意見を書いたり、文中で用いられている構文や熟語等を応用し、英作文の練習などを行う予定です。

(1)オリエンテーション (2~ 15) Unit1 ~11 (15~ 30) Unit12 ~22

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

毎時間必ず辞書を持ってくること。

出席、発表50%、授業中のレポートおよび小テスト50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

大月実『News for You2008/2009 Edition ーやさしいメディア英語』 成美堂 ¥1800 (税別) I
SBN978-4-7919-4631-0

履修コード	355301・355302
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics! ー基本に帰るーことをこのクラスの標語としたい。短い文章をよみながら、英語学習の Basics であるところの「5文型」を徹底してゆく。

講義の内容・授業スケジュール (1) Orientation (2~7) Chapter1~3 (8)《遊び時間》英語固有名詞について〈プリント配布〉(9~14) Chapter4~6 (15) 中間試験 (16~21) Chapter7~9 (22~23)《遊び時間》英語慣用語について〈プリント配布〉(24~29) Chapter10~12 (30) 最終試験

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可とする。授業には英和辞書をかならず携帯のこと。電子辞書も可。

成績評価の方法 中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。

教科書 『叡智のかがやきー読んでおきたい12編』(朝日出版社) ¥1,700

履修コード	355401・355402
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	笹倉 貞夫

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1~5) AMAZING ANIMALS、(6~10) YOUR AMAZING BODY、(11~14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16~20) AMAZING FIRSTS、(21~25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26~29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書 M.Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

履修コード	355501・355502
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

履修コード	351401
科目名	ドイツ語IA
担当者名	清水 修

講義のねらい ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。
また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということ considering、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。
そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点 必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。
したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法 普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書 早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等 ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

履修コード	351601
科目名	ドイツ語IB
担当者名	篠原 敏昭

講義のねらい 簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考えなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点 欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書 『モデル1 問題発見のドイツ語（改訂版）』（三修社）2,600円

参考書等 辞書・参考書は授業の中で指示します。

その他 ビデオを活用した授業をおこなう予定です。

履修コード	351801
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	清水 修

講義のねらい ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。テキストには日本のマンガのドイツ語訳やグリム童話、料理のレシピなどを使用する予定です。

履修上の留意点 ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。
受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法 主に平常点で評価します。

教科書 プリントを用意します。

参考書等 授業中に指示します。

外国語

履修コード	351901
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	<small>しのほら としあき</small> 篠原 敏昭

講義のねらい 1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、聞き取り、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用い、ビデオ教材を使って授業をおこないますが、ドイツ人の行動様式や考え方も学んでいきたいと思います。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点 課題を必ずこなしてくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書 『CD付き モデル2』（三修社）2,700円

参考書等 授業の中で指示します。

その他 ビデオを活用する授業をおこなう予定です。

履修コード	355601・355602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕 ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>みなみ</small> 南 はるつ

講義のねらい 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	355701・355702
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>もとほし うさよう</small> 本橋 右京

講義のねらい 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 山本淳『新々・じゃあ、またあした!』（同学社）2006年刊 2500円＋税
ISBN8102-0723-4

履修コード	352001
科目名	フランス語IA
担当者名	<small>たかはし あけみ</small> 高橋 明美

講義のねらい 初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

講義の内容・授業スケジュール 前期：（1）発音と読み方のルール（2）名詞の性・数（3）基本動詞（4）形容詞（5）否定文・疑問文（6）近接未来・近接過去（7）疑問詞
後期：（1）比較級・最上級（2）さまざまな不規則動詞（3）命令法（4）非人称構文（5）複合過去（6）目的語人称代名詞（7）関係代名詞（8）代名動詞

成績評価の方法 期末に行う試験のほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書 小野ゆり子ほか著『マ・グラメール』 白水社 2300円

履修コード	352201
科目名	フランス語IB
担当名	<small>きのした ゆうすけ</small> 木下 雄介

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	フランス語の基本文法を習得する。 おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。 第1回 一般的な説明、辞書の紹介、発音。 第2回以降 2回で1課のペースで授業を進める。
履修上の留意点	初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、予習・復習を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。
成績評価の方法 教科書	期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。 『サン・ファッソン』(クリスチャン・ボームルー、高橋信良、朝日出版、2635円、ISBN978-4-255-35180-3)
参考書等	仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。 ・『ジュネス仏和辞典』(大修館) ・『新スタンダード仏和辞典』(大修館) ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社) ・『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社) ・『クラウン仏和辞典』(三省堂)

履修コード	352401
科目名	フランス語IIA
担当名	<small>たかはし あゆみ</small> 高橋 明美

講義のねらい	初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
講義の内容・ 授業スケジュール	出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。 前期：1年次の文法の復習、代名動詞、不規則動詞の活用、中性代名詞、半過去、受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法 後期：接続法、文章読解
成績評価の方法 教科書	出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。 清岡智比古著『ル・フランセ・クレール』白水社 2300円

履修コード	352501
科目名	フランス語IIB
担当名	<small>きのした ゆうすけ</small> 木下 雄介

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。 平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。 第1回 テキストの紹介・一般的な説明。 第2回以降 説明をまじえながら、テキストを読み進める。
履修上の留意点	予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。
成績評価の方法	平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。
教科書	最初の授業のときにプリントを配布します。

履修コード	355801・355802
科目名	フランス語IA〔再クラス〕 フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	長谷川 光明

講義のねらい	ビデオ教材を用いて初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意／アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞／冠詞・形容詞／第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文／指示代名詞／疑問代名詞・中性代名詞／部分冠詞・数量の表現／命令形・非人称構文／比較級／代名動詞／複合過去／未来形 * 毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのため、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教科書	藤田裕二他『新・東京一ぱり、初飛行』(駿河台出版社) 2,310円

履修コード	355901・355902
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	長谷川 光明

講義のねらい	ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意／つづり字の読み方の復習 (2-30) 文法(複合過去・代名動詞／半過去・大過去／関係代名詞・命令形・補語人称代名詞／現在分詞・ジェロンディフ・疑問代名詞／受動態／強調構文・中性代名詞／条件法／接続法／間接話法・時制の一致 * 毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのため、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期、後期試験及び平常点。
教科書	藤田裕二『彼女は食いしん坊! 2』(朝日出版社) 2,625円

履修コード	352601・352801
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	塩旗 伸一郎・王 聡

講義のねらい	1. 中国語の音声的魅力を味わい、簡単な口語を運用できるようになること。 2. 中国語の特徴や、表現の背景にある文化、ものの考え方や世界観を知ること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がる。
講義の内容・授業スケジュール	「中国語IA」と「中国語IB」は連続しており、同一教科書で週2回学ぶ。IAで中国語のルールを理解し、IBで運用の練習を行なう。 発音(1~8)、1課~6課(9~26)、前期末試験(27)、7課~10課(28~39)、後期中間試験(40)、11課~13課(41~49)、補充プリント(50~53) 後期末試験(54)
履修上の留意点	IAとIBは必ずセットで履修すること。 音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ読んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。 携帯メールは禁止。
成績評価の方法	定期試験(20×3) + 小テスト(20) + 平常点(20) - 欠席点。 「平常点」≠「出席点」。坐っているだけで評価されることはない。 欠席は年間3回を超えると10点ずつ減点。
教科書	尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』(白水社) 2200円 + 税

履修コード	353001
科目名	中国語IIA
担当者名	秋元 翼

講義のねらい 一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むこととなります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

履修コード	353111
科目名	中国語IIB
担当者名	王 聡

講義のねらい 1年次に習得した内容を復習しながら、中国語の実用会話・基本文法を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

第1回 ガイダンス・復習

第2回～第13回 会話：中国人の姓・中国人の呼び方・中国人の金銭感覚・中国人同士の付き合い方・中国の地名・中華料理・中国人の時間感覚・中国人のお土産習慣・春節のいろいろ

文法：形容詞述語文・修飾語いろいろ・連動文・動詞の重ね形・助動詞「想」・所在文・方位詞・時刻と時間量・前置詞・副詞

第14回～第15回 復習と前期テスト

後期

第1回 復習・練習問題

第2回～第13回 会話：中国の一人っ子政策・中国の台所事情・中国の住宅事情・中国の交通事情・中国人の休暇の過ごし方・中国人昼寝の習慣・中国人の褒め方・中国の列車事情

文法：アスペクト助詞「了」・助動詞「会」「能」・語気助詞「了」・助動詞「可以」・結果補語・アスペクトの将然相と経験相・動作の進行・動量補語・様態補語・程度補語・方向補語・アスペクト助詞「着」

第14回～第15回 復習と後期テスト

辞書を用意し、予習・復習をちゃんとする

前期テスト40%、後期テスト40%、平常点(出欠席状況・授業態度など)20%。

三瀬正道・楊光俊『たのしく話そう中国語』(CD付)(朝日出版社)2205円

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

外国語

履修コード	356001・356002
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書 本間史・孟広学著『中国語ポイント42』(白水社)

履修コード	356101・356102
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和 <small>そう たいわ</small>

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
 講義の内容・ 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通
 授業スケジュール じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
 履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2100円＋税
 参考書等 開講時に説明する。
 その他 中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

履修コード	356201・356202
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>

講義のねらい 一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習
 講義の内容・ を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致して
 授業スケジュール います。ぜひ実際に使ってほしいと思います。
 履修上の留意点 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回
 で4課ずつ進むこととなります。
 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた
 場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、
 7点以内の者を成績評価の対象とします。
 成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。
 教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

履修コード	353401
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いきお</small>

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
 講義の内容・ 前期14回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。後期14回で目的語代名詞、不規則
 授業スケジュール 活用の動詞、再帰動詞等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
 （上記スケジュールは場合により変動することがある）
 履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常
 点の減点対象となります。
 成績評価の方法 前期末、後期末の試験（計2回）の得点＝70％、小テスト（5～6回程度）の得点＝20％、出席
 率、授業参加への積極性等の平常点＝10％の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
 教科書 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社
 参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
 『やさしいスペイン語文法』大岩功著、三修社

履修コード	353601
科目名	スペイン語IB
担当者名	<small>なかやま なおじ</small> 中山 直次

講義のねらい 初めて学ぶ受講生が対象なので、まずはスペイン語の世界に親しみ、楽しみながらスペイン語の総合力を身につけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 一通り発音・アクセント・イントネーションなどの練習（1～5）をしたあと、平易なスペイン語で書かれた童話を読みます（6～）。単に通読するのではなく、表現文の音読・暗唱、文法理解の確認作業、語句の置き換えなどによる応用演習を行います。

履修上の留意点 初習の語学は、途中が抜けると続けにくくなります。なるべく欠席しないようにしてください。また、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。

成績評価の方法 平常授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。

教科書 中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版）

参考書等 辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）

その他 特に上記の本でなくても構いませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書を一冊併用することをお勧めします。
常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

履修コード	353701
科目名	スペイン語IIA
担当者名	<small>おおいわい いさお</small> 大岩 功

講義のねらい スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。（上記スケジュールは場合により変動することがある）

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験（計2回）の得点＝70%、小テスト（5～6回程度）の得点＝20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点＝10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『やさしいスペイン語文法』大岩功著（三修社） 他に長文読解用のプリント教材を使用します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

履修コード	353801
科目名	スペイン語IIB
担当者名	<small>なかやま なかし</small> 中山 直次

講義のねらい スペイン語文法の体系を、できる限り能率よく修得することをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、場面別にまとめられた口語表現を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習を行ったりします。文法（特に動詞）学習の項目の配分としては、前期に直説法現在・両過去を、後期に同未来・接続法・命令法を扱う予定です。

履修上の留意点 外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。

成績評価の方法 平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。（いわゆる学期末定期試験は行いません）。

教科書 中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房）

参考書等 辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。

その他 常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

履修コード	356401・356402
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>くりはやし ゆき絵</small> 栗林 ゆき絵

講義のねらい 基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は文字と発音(1)、主語・名詞句(2)、現在形(3-15)、後期は過去形(1-12)、現在完了(13)、復習と会話表現(14-15)を中心に学習する予定。毎回時間の初めに小テスト(活用・単語・作文)を実施。

履修上の留意点 少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2～4問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法 平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書参考書等 初回の授業の授業で指示(プリント教材配布予定)。初回は必ず出席のこと。
『ポケットプログレッシブ西和・和西語辞典』(小学館)
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	356501・356502
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>くりはやし ゆき絵</small> 栗林 ゆき絵

講義のねらい 現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。活用・文法事項・重要表現の確認のあと、新聞記事など生のスペイン語教材を毎回1記事ずつ読んでいく(前後期1-15)。新聞記事は最初は見出しのみの読解、その後5文程度の記事、最後にはA4ページ程度の記事を読む予定。最終授業時は和訳提出の課題を実施する。

履修上の留意点 最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。試験は行わないので、日々の授業で地道に力をつけてほしい。辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。

成績評価の方法 平常点90%、課題提出(前後期末各1回)10%。

教科書参考書等 プリント配布予定(初回授業で指示します)。
〈辞書〉『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館)
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	353901
科目名	ロシア語IA
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
4) 基礎的な初等文法を学びます。
5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

講義の内容・授業スケジュール はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

成績評価の方法 4-9月はイントネーションや発音に力点を置き、10-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

教科書参考書等 試験は行わず、平常点で評価します。
杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
『露和辞典』

履修コード	354001
科目名	ロシア語IB
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

4-7月はイントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
試験は行わず、平常点で評価します。
杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
『露和辞典』

履修コード	354101
科目名	ロシア語IIA
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義のねらい

ロシア語IAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文(関係代名詞、形動詞、副動詞など)をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法
教科書
参考書等

4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。
出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。
教場にてプリントを配布。
『露和辞書』

履修コード	354201
科目名	ロシア語IIB
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義のねらい

ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート(小話)や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法
教科書
参考書等

4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。
出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。
教場にてプリントを配布。
『露和辞書』

履修コード	356601・356602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
 4-7月はイントネーションや発音に重点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
 試験は行わず、平常点で評価します。
 『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税
 『露和辞書』

講義の内容・授業スケジュール
 成績評価の方法
 教科書
 参考書等

履修コード	356701・356702
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
 ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習
- 9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。

成績評価の方法
 教科書
 参考書等
 その他

出席と平常点を重視します。
 既習の教科書と文法表。
 『露和辞書』
 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	351201
科目名	英会話I
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法 According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書 *Fifty-Fifty Student Book 1*, Warren Wilson Roger Barnard, ISBN-10 9620056655 10 digit

履修コード	351301
科目名	英語 L L I
担当者名	<small>かわさき こうたろう</small> 川崎 浩太郎

講義のねらい 英語の母音、子音の発音、アクセント、イントネーション等を学習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。
具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション (2~ 15) Unit1 ~10 (15~ 30) Unit11 ~20

履修上の留意点 恥ずかしがらずに大きな声で発音するよう努めて下さい。

成績評価の方法 出席点、発表点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』(マクミランランゲージハウス) ¥2000 (税別) ISBN4-89585-304-7

履修コード	354301
科目名	英会話II
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, and they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法 According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書 INSIDE ENGLISH HIGH BEGINNER MACMILLAN ISBN-4-84585489-2

履修コード	354401
科目名	英語 L L II
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>

講義の内容・授業スケジュール リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

1	ユニット1	(問題 1, 2)	16	ユニット5	(問題 5, 6)
2	ユニット1	(問題 3, 4)	17	ユニット6	(問題 1, 2)
3	ユニット1	(問題 5, 6)	18	ユニット6	(問題 3, 4)
4	ユニット2	(問題 1, 2)	19	ユニット6	(問題 5, 6)
5	ユニット2	(問題 3, 4)	20	ユニット7	(問題 1, 2)
6	ユニット2	(問題 5, 6)	21	ユニット7	(問題 3, 4)
7	ユニット3	(問題 1, 2)	22	ユニット7	(問題 5, 6)
8	ユニット3	(問題 3, 4)	23	ユニット8	(問題 1, 2)
9	ユニット3	(問題 5, 6)	24	ユニット8	(問題 3, 4)
10	ユニット4	(問題 1, 2)	25	ユニット8	(問題 5, 6)
11	ユニット4	(問題 3, 4)	26	ユニット9	(問題 5, 6)
12	ユニット4	(問題 5, 6)	27	ユニット9	(問題 1, 2)
13	ユニット5	(問題 1, 2)	28	ユニット9	(問題 3, 4)
14	ユニット5	(問題 3, 4)	29	ユニット10	(問題 1, 2)
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。
成績評価の方法 試験(40%)②発表(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書 4月に教場で指示します。

4. 保健体育科目

履修コード	341201
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	村松 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：健康観の変遷
 - 3 時限目：現代の健康観
 - 4 時限目：健康の成立要因
 - 5 時限目：健康の成立条件
 - 6 時限目：病気の原因
 - 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
 - 8 時限目：現代の感染症
 - 9 時限目：喫煙と健康
 - 10 時限目：飲酒と健康
 - 11 時限目：ストレスと健康
 - 12 時限目：食べ物と健康
 - 13 時限目：運動と健康
 - 14 時限目：環境と健康
 - 15 時限目：まとめ（テスト）

成績評価の方法 数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
教科書 特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	341301
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい 健康の概念はあまりにも固定観念や独善的な考え方に支配されている。この講義ではそうした考え方にメスを入れてどうしたら本当の健康を手に入れることができるかを検証する。また日常生活で行うことができる「マイエクササイズ」を実技をしながら説明する。スポーツは現在話題になっているスポーツについて説明し、スポーツの持つ意義をどうしたら自身自身の人生に生かすことができるかを考える。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1限：講義のオリエンテーション<講義の進め方の説明>
 - 2限：健康概念の変遷
 - 3限：健康と固定観念 1
 - 4限：＃ 2
 - 5限：健康と生き方 1
 - 6限：＃ 2
 - 7限：日常生活での留意点 1
 - 8限：＃ 2
 - 9限：小テスト<健康>
 - 10限：スポーツ概念の変遷
 - 11限：オリンピック 1
 - 12限：＃ 2
 - 13限：ワールドカップ
 - 14限：小テスト<スポーツ>
 - 15限：総合テスト

履修上の留意点 出席は毎時限とする。教科書などはないが、配布するプリントを中心に授業を進める。
成績評価の方法 出席点と小テスト・総合テストを総合的に評価する。特に総合テストは必ず受けなければならない。

教科書 指定なし
参考書等 指定なし

履修コード	340201
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕
担当者名	<small>あきた こういち</small> 秋田 浩一

講義のねらい	<p>1.補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。</p> <p>2.バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。</p> <p>また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。</p> <p>(1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。</p> <p>(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション</p> <p>2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー</p> <p>3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット</p> <p>4時限目：反面での簡易ゲーム</p> <p>5時限目：＃</p> <p>6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ</p> <p>7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ</p> <p>8時限目：総合練習・ゲーム（シングルス）</p> <p>9時限目：＃</p> <p>10時限目：＃</p> <p>11時限目：総合練習・ゲーム（ダブルス）</p> <p>15時限目：＃</p>
履修上の留意点	<p>1.定員は約30名とする。</p> <p>2.実技は本校第1体育館で行なう。</p> <p>3.服装は身軽に動作できるものがよい。</p> <p>4.シューズは体育館専用のものを用意する。</p> <p>5.その他のものは用意しなくてもよい。</p>
成績評価の方法	出席率70%、総合評価30%で行なう。

履修コード	340201
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい	<p>ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>1時限目：オリエンテーション</p> <p>2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム</p> <p>3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム</p> <p>4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム</p> <p>10時限目～14時限目：ゲーム</p> <p>15時限目：まとめ</p>
履修上の留意点	<p>服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。</p>
成績評価の方法	<p>評価は出席点70%、総合評価30%で行う。</p>

履修コード	340301
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義のねらい	<p>1.補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。</p> <p>2.バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。</p> <p>また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。</p> <p>(1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。</p> <p>(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション</p> <p>2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー</p> <p>3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット</p> <p>4時限目：反面での簡易ゲーム</p> <p>5時限目：＼</p> <p>6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ</p> <p>7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ</p> <p>8時限目：総合練習・ゲーム（シングルス）</p> <p>9時限目：＼</p> <p>10時限目：＼</p> <p>11時限目：総合練習・ゲーム（ダブルス）</p> <p>15時限目：＼</p>
履修上の留意点	<p>1.定員は約30名とする。</p> <p>2.実技は本校第1体育館で行なう。</p> <p>3.服装は身軽に動作できるものがよい。</p> <p>4.シューズは体育館専用のものを用意する。</p> <p>5.その他のものは用意しなくてもよい。</p>
成績評価の方法	出席率70%、総合評価30%で行なう。

履修コード	340301
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕
担当者名	大石 武士 <small>おおいし たけし</small>

講義のねらい	<p>ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>1時限目：オリエンテーション</p> <p>2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム</p> <p>3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム</p> <p>4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム</p> <p>10時限目～14時限目：ゲーム</p> <p>15時限目：まとめ</p>
履修上の留意点	<p>服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。</p>
成績評価の方法	<p>評価は出席点70%、総合評価30%で行う。</p>

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）〔再クラス〕
担当者名	<small>むらまつ まこと</small> 村松 誠

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9 時限目：シングルスゲーム 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11 時限目：ダブルスゲーム 12 時限目：ダブルスゲーム 13 時限目：ダブルスゲーム 14 時限目：ダブルスゲーム 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。
その他	他時限・他種目を含め、施設・用具の都合、授業効率のため、受講人数を30名程度に制限する。受講希望が多数の場合は、抽選にて受講者を決定する。したがって、1時限目に出席しないものは、受講できない可能性があるので注意すること。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。＜BR＞本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明 正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装＜BR＞ シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）

成績評価の方法
教科書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。
出席を主体とし、それに技術 ルール マナーなどの理解度を加える。

Ⅱ. 専 門 教 育 科 目
経 済 学 科 フ レ ッ ク ス B

履修コード	306611
科目名	経済学概説
担当者名	森田 成也

講義のねらい

はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か―商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か、4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義

<後半>

17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

履修上の留意点
成績評価の方法

板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください。

(1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書
参考書等

森田成也『資本と剰余価値の理論(仮題)』2008年刊(作品社)、2600円(予価)

松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊(青木書店)、2625円

履修コード	306701
科目名	経済理論IA・資本の原理
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は経済学部で設置している「経済理論」のIAであり、主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」として、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容と現在の問題とを比較しながら「経済学」はどうあるべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は前期15回、後期15回の合計30回である。

- I 「富」とは何か（前期15回）
- 1 「富」とは何か（1～3回）
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する。
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」（4～9回）
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値（10～15回）
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本（II/IIIで後期15回）
- 1 資本の生産（1～3回）
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 日本の運動法則（4～9回）
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産（10～14回）
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会—まとめ（15回）

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：5月／第2回目：6月末～7月初旬／第3回目：10月／第4回目：12月
- 2 その他

定期試験は行はない。

教科書

池上惇『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリ）
マルクス『資本論』①～⑤（大月書店 国民文庫）

その他の

[連絡体制]
講師の住所等を次に記載しておく：
〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204
阿部弘
☎（自宅）：03-3967-7984（FAX兼用）
TEL（職場）：03-3418-9360（研究室）
03-3418-9343（経済学部事務室）

履修コード	307001
科目名	経済理論II・マクロ経済学
担当者名	浅野 克巳

講義のねらい 現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」とは小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール 年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の働き
22. インフレーションとデフレーション
23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点 現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これはさまざまなメディアをおとしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくこと。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つおすすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと。

成績評価の方法 定期試験と授業中行う（5～7回実施予定）小テスト（約15分）、レポート（1～2回）、および学年末テストの成績を総合評価する。

教科書参考書等 テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他 毎回の授業の主な要点、トピックをKOMSYに掲載するから、必要に応じ参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスアワーを設けていますのでご利用ください。

履修コード	308301
科目名	経済学史
担当者名	<small>みくほろ よしのぶ</small> 福原 好喜

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓誥学とならないために、極力現代の経済問題も取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 近代社会の生誕と近代化の諸類型
- 2 Francois Quesnay : フランス絶対王政末期の経済学
- 3 Adam Smith : イギリス産業革命の夜明け前
- 4 Karl Marx : 資本主義の一般理論
- 5 John Maynard Keynes : 世界恐慌脱出の途
- 6 軍国主義批判の経済学—石橋湛山
- 7 平成恐慌と銀八経済学：内閣の財政々策 日銀金融政策批判

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語、居眠りは厳禁。違反者は退場願う。(イエローカード二枚でレッドカード)

成績評価の方法

出席もせずに単位がほしいなどという不届きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。数回レポートを課す。

参 考 書 等

福原著『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』

そ の 他

経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。一部で横道の話の方が面白いという風評がある。学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。ケイタイPHS禁止。覚える授業でなく、感じる授業、考えさせる授業を心掛ける。

履修コード	311411
科目名	応用マイクロ経済学
担当者名	荒木 勝啓

講義のねらい

■講義のねらい

今年度は、金融経済学、金融工学などに必要な最低不可欠な理論的フレームワークを基礎の基礎から教える。本来この分野の標準的な数居は非常に高く、学ばなければならない知識も膨大であるが、この講義では各種参考書などを読んだだけでは分かりにくいテーマに絞って講義する。将来銀行、金融、証券、貿易（為替）などの方面に進みたいと考えている学生はこの授業の内容が金融スペシャリストのほんの入り口にすぎないということをよく認識した上で、示される手法を完全にマスターして欲しい。ただし証券アナリストを受験しようと思っている学生はこの授業は必須である。

講義の内容・授業スケジュール

■講義の内容・授業スケジュール

1-8. 基礎となる数学の復習——解析と線形代数。基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていなかった人でもよく理解できると思う。

内容: 微分・全微分・偏微分係数・ベクトル・行列・行列式・逆行列・一次方程式・固有値・回転の行列・2次形式と2次曲線・不定積分・テイラー展開・マクローリン展開・eと対数微分

9-12. 条件付き最適化問題（ラグランジュ未定係数法とキューン・タッカー定理）

13-14. 多重線形回帰法と主成分分析

15-16. 企業の市場価値とMM命題

17-20. CAPM理論

21-25. 利子理論

(1) 債券価格とさまざまな利子率

(2) デュレーションとコンベキシティ

(3) イミュニゼーション

26-30. ブラック・ショールズ公式と派生商品の価格付け、Greeks とヘッジ。

ノートをとることを欠かさないと。金融工学の手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとすると膨大な量になる。

定期試験100%、ただしノート持込可。ノートのコピー不可。授業に出ていればほぼ確実に解けるような簡単な問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。

履修上の留意点

成績評価の方法

参考書等

高森寛 『現代ファイナンスの基礎理論』

池田昌幸 『金融経済学の基礎』（朝倉書店）2000年

Cuthbertson, K. and Nitzsche, D., *Financial Engineering-Derivatives and Risk Management*, John Wiley and Sons, Ltd., 2001.

履修コード	309511
科目名	応用マクロ経済学
担当者名	吉野 紀

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減値したり、高騰するのか。失業者は何故に上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。失業率4.0%といえば実数にして250万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…5回

《参考》経済企画庁「平成16年日本経済の循環図」（配布資料）

2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…4回

《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章

3. 「貨幣・利子および同時均衡」…8回

《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章

4. 「金融政策、財政政策」…4回

《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章

5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…5回

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

R.J.ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

本講は旧「国民所得論」からの名称変更である。

成績評価の方法
教科書
その他

履修コード	312501
科目名	現代資本主義論
担当者名	いちい あきら 一井 昭

講義のねらい 現代資本主義は、中心的課題として経済のグローバル化と国家の経済政策を解き明かす必要がある。そのために、基礎的な理論（独占資本主義論と国家独占資本主義論）を理解した上で、現実の経済動向を見通す現代資本主義の総合的・体系的な理解へと進みたい。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) 第Ⅰ篇 現代資本主義論の課題と方法（理論的課題、歴史的対象など）、(5～16) 第Ⅱ篇 独占資本主義論（資本の集積・集中と独占、信用制度の発展、独占の諸形態、独占価格と独占利潤、金融資本、資本輸出、国民経済と世界経済など）、(17～24) 第Ⅲ篇 国家独占資本主義論（概念、機構、地域的統合体、類型化、歴史的意義と限界など）、(25～30) 第Ⅳ篇 現代資本主義の緊急課題（国際的な通貨・金融システム、地球温暖化、富と貧困など）

履修上の留意点 毎回出席のこと。かなり詳細な講義資料を配付する予定なので、予習、復習にも心がけてほしい。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題（レポート）を基本に評価します。

教科書 未定（ただし、授業期間内にテキストを刊行する予定）。

参考書等 最初の授業時に紹介します。

その他 できれば、経済理論の履修者が望ましい。

履修コード	307301
科目名	経済史
担当者名	やすもと みねる 安元 稔

講義のねらい この講義の目的は、社会科学的なものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。現在、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパにおける中世以降の経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を発展させてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年までのヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げたおよそ1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみて行きます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、アジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明します。

講義の内容・授業スケジュール 第1編 『経済史』とは何か：(1)『経済史』の対象と課題、(2-4) 資源配分の方法、第2編 外国経済史を学ぶ意味：(5-7) ヨーロッパとアジア、(8) 環境・政治支配の型と経済発展、第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展：(9-12) 中世の経済と社会、(13-17) 近世の幕開け、(18-21) 工業化のモデル、(22-24) 最初の工業国家、(25-28) 工業化の伝播と拡大、(29-30) 国際経済の生成と発展

履修上の留意点 この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なもの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多く出てきますので、億劫がらずに調べ、理解することが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法 前期試験を行わない代わりに、夏休みに、参考書E. L. ジョーンズ『経済成長の世界史』を読み、レポート(4,000字以上=40点配点)を提出してもらい、後期試験(60点配点)と総合して成績を評価します。

教科書 特に指定しません。

参考書等 E・L・ジョーンズ『経済成長の世界史』（名古屋大学出版会）

その他 授業の方法は、講義方式です。但し、Power Point・OHP・ビデオ・資料を使って説明します。

履修コード	308201
科目名	日本経済史
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一

講義のねらい 経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望

履修上の留意点 毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がつかなくなることを意味するので、くれぐれも注意されたい。

成績評価の方法 基本的には期末試験の成績で評価するが、「リアクション・ペーパー」の記載内容などについても、平常点として加味したい。

教科書 老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2002年)。あらかじめ指示したページ範囲に目を通していることを前提に授業を行う。その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等その他 上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。日本史の知識不問(挫折者歓迎!)。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

履修コード	309201
科目名	工業政策
担当者名	おくやま まさゆき 奥山 雅之

講義のねらい 日本の工業(「ものづくり」産業)は、その技術力を背景に高い国際競争力を有しており、日本の産業全体を支える重要な存在です。

この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、ものづくり産業の特徴を確認しながら、産業の「過去」「現在」そして「将来」を考察します。また、ものづくり産業に対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性についても検討を加えていきます。

前期では、ものづくり産業の現状をさまざま角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、産学連携、知的財産、環境問題、CSR(企業の社会的責任)など、ものづくり産業をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール 前期(1～3) わが国の工業の役割と特徴
(4～6) 戦後における工業の発展と工業政策
(7～10) 工場立地の変化と工業集積の効果
(11～15) 生産のグローバル化と国際競争

後期(16～19) 工業の業種別課題(自動車産業、繊維産業ほか)
(20・21) 「ソフトなものづくり」産業(映画産業、アニメーション産業ほか)
(22～24) イノベーションと産学連携
(25) 知的財産の創造・保護・活用
(26・27) 工業の環境調和とCSR(企業の社会的責任)
(28・29) ものづくり産業を支える人材の確保・育成
(30) まとめ

履修上の留意点 1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することを望みます。

成績評価の方法 成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書 特に指定しません。配布する資料によって講義を実施します。

参考書等 加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』(新評論)

履修コード	308501
科目名	財政学
担当者名	野村 容康 <small>ノムラ ヒロユキ</small>

講義のねらい

本講義では、財政赤字、税制改革、年金改革、公共事業といったわが国の財政問題を考えていく際の手掛かりとなるように財政学の基礎的事項について概説する。財政の基礎的な制度とその機能について理解を深め、現実の財政問題について自分なりに考える力を身につけることを目標とする。

前期は、どちらかと言えば政府の支出活動面に重点を置きながら、財政の機能とわが国財政の現状、公共支出に関する理論、政府債務の問題、公的年金問題等について解説する。後期は、政府収入の中で最も重要な租税に関する議論（租税理論、制度、税制改革論等）に焦点を絞って授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

1. 財政とは何か
2. 財政学とその変遷
3. 資源配分の調整機能
4. 財政と所得再分配
5. 財政政策の理論①
6. 財政政策の理論②
7. 公共財の理論①
8. 公共財の理論②
9. わが国財政の現状
10. 公債の制度と理論
11. 公的高齢年金①
12. 公的高齢年金②
13. まとめ

後期

1. 租税の意義と根拠
2. 租税の基礎的概念
3. 課税の公平性
4. 課税の中立性
5. 租税の転嫁と帰着
6. 包括的所得税論
7. 支出税と最適課税
8. 二元的所得税の考え方
9. 個人所得課税
10. 法人所得課税
11. 間接消費課税
12. 資産課税
13. まとめ

履修上の留意点

受講生には、新聞などを通じてできるだけ財政制度改革、税制改正の動向についてフォローし、わが国の財政に関する問題意識を高めることを期待している。また、受講に際しては、微分とミクロ経済学に関する基礎的知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法
教科書

原則として定期試験の成績で評価する。出席は考慮しない。

里中恆志・八巻節夫編著（2006）『新財政学』文真堂

履修コード	312701
科目名	地方財政論
担当者名	篠原 章

講義のねらい	地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。
講義の内容・授業スケジュール	年間を通じて以下の項目を講義する予定である。 [基礎編] (主として前期) 1. 地方財政論とは何か 2. 財政の機能と地方公共支出の役割 3. 地方公共支出の現状 4. 地方公共支出と公共財供給 5. 租税体系と地方税 6. 地方税制度の歴史と現状 7. 負担と受益 8. 地方債の基礎知識 [応用編] (主として後期) 1. 分権と集権 2. 地方財政調整の実態 3. ケーススタディ：沖縄 4. 地方財政と都市計画・地域開発 5. 地方財政制度の国際比較 6. ケーススタディ：「東京」
履修上の留意点	初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。
成績評価の方法	学期末の筆記試験と授業時の課題(レポート)等によって総合評価する。
教科書等	今年度とはくに指定しない。 片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』(税務経理協会刊) 2,800円(本体価格) その他の参考書・参考文献・資料等は随時指示する。
その他	参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定。

履修コード	311001
科目名	国際金融論
担当者名	田中 綾一

講義のねらい	国境を越えた金融取引が引き起こす様々な問題を取り扱うのが国際金融論である。前期では国際収支や国際決済、外国為替相場などの基本的な事項を取り扱い、後期では国際通貨体制の変遷や昨今の諸問題などの発展的な事項を取り扱う。新聞記事を読みこなせる程度の国際金融に関する知識を獲得してもらうことが講義の目標である。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) 国際収支統計の基礎 ・構成項目の内容 ・国際収支の赤字と黒字 ・国民所得と国際収支 (2) 国際決済と国際通貨 ・国際決済の方法 ・為替調整取引と為替媒介通貨 (3) 外国為替市場と為替相場 ・外国為替市場の構造 ・外国為替相場の見方 後期 (4) 国際通貨体制の歴史 ・国際通貨体制とは ・IMF体制の成立 ・IMF体制の変容 (5) 国際金融の諸問題 ・ドル体制の現状と課題 ・欧州通貨統合の歴史と現状 *なお、授業の進度は受講者の反応をみて調整することがある。
履修上の留意点	出席はとらないが、深い理解のためには毎回の出席が不可欠である。
成績評価の方法	学年末試験(60%)と夏休みのレポート(40%)の合計。なお、授業中の私語は減点対象とするので注意すること。
教科書等	奥田宏司・横田綾子・神沢正典編『現代国際金融－構図と解明－』(法律文化社)2006年。
その他	講義中に適宜指示する。 国際金融に関係のある(と自分が思う)TVニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと。

履修コード	310901
科目名	教育経済論
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい

この講義は経済発展に人材養成が果たした意義とその役割について明らかにする。
日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この経済発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。一時、欧米各国は経済面で国際競争力の低下が顕著と成り、国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から、一連の教育改革が行われた。

本年度は、こうした欧米先進国の経済再生計画と教育改革の動向を明らかにする。

さらに、外国からは高く評価された日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は「特需」を契機に復興した経済復興期から高度経済成長期を中心に、それぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材養成を明らかにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

(1) ガイダンス：経済・産業の発展とリテラシー、(2) 日本の産業化とリテラシー：教育水準と識字率、非識字者と児童労働、(3) 日本の近代化と教育：徳川時代の遺産—工業化の準備機能、(4) 開発途上国と非識字運動、(5) 明治維新と富国強兵・殖産興業、(6) 学制時代における経済と教育：産業革命育成期(明治10年以前)、(7) 学制時代における経済と教育：「学制」公布と行政管理学校、(8) 教育令時代における経済と教育：産業革命準備期(明治10年代)、(9) 教育令時代における経済と教育：「教育令」公布と職工学校・機業地学校、(10) 学校令時代における経済と教育：第1次産業革命と紡績業の発展、(11) 学校令時代における経済と教育：「学校令」公布と実業補習学校・徒弟学校、(12) 実業学校令時代における経済と教育：第2次産業革命と鉄鋼業の発展、(13) 実業学校令時代における経済と教育：第2次産業革命と生産財生産部門の確立、(14) 実業学校令時代における経済と教育1：「実業学校令」公布と委託教育・工場内学校、(15) 実業学校令時代における経済と教育2：「実業学校令」公布と委託教育・工場内学校、(16) 復興期の経済発展と教育：「産業教育振興法」、(17) 高度成長第I期の経済発展と教育：在来・新鋭重化学工業、(18) 高度成長第II期の経済発展と教育：「国民所得倍増計画」、(19) 高度成長第III期の経済発展と教育：いざなぎ景気、(20) 高度成長第IV期の経済発展と教育、(21) 低成長期の経済と教育：2つのオイルショック、(22) バブル経済・長期不況期の経済と教育、(23) サッチャー政権の経済と教育1、(24) サッチャー政権の経済と教育2：「教育改革法」、(25) プレア政権の経済と教育1：「福祉のニューディールとオプティミズム」、(26) プレア政権の経済と教育2：「学校の水準・枠組み法」とビーコンスクール、(27) レーガン政権の経済と教育：「危機に立つ国家」、(28) ブッシュ政権の経済と教育：「全米教育サミット」と国家教育目標、(29) クリントン政権の経済と教育：「アメリカ教育法」、(30) むすび 課題の整理

履修上の留意点

- ① 年間6～7回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 毎時間、講義の参考資料として、VTR・DVDを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。

成績評価の方法

授業中の小テスト(20%)と期末試験(80%)の成績によって評価する。追試験は実施する。

教科書

教科書の代わりとして講義の際に①板書プリントと②資料プリントを配布する。

参考書等

- 参考文献は講義の中で適宜紹介するので、講義の参考にして下さい。
- OECD編『世界の児童労働』明石書店。
H・R・ウオッチ著『インドの債務児童労働』明石書店。
中岡哲郎著『日本近代技術の形成 伝統と近代のダイナミクス』朝日新聞社。
佐々木讓著『幕臣たちと技術立国』集英社。
大野健一著『途上国日本の歩み』有斐閣。
以下は講義の中で単元ごとに紹介します。

履修コード	310001
科目名	アジア経済論
担当者名	鄭章淵 <small>ちよん ちやえん</small>

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像（1～2回）
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論（3～5回）
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展（6～10回）
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジアNIEsの経済発展（11～15回）
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済（16～19回）
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
6. アジア社会主義諸国の経済（20～22回）
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機（23～25回）
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力（26～28回）
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本（29～30回）
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏季休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。なお、定期試験とレポートの成績比重は、前者80%、後者20%とする。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。

参考書等

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）
参考文献については、講義中に随時紹介する。

履修コード	309901
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 修二

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大國志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

第1-3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。

第4-10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中どの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねることも偉大な能力であることはわが日本が示してきたことである。まねができるだけの基礎的能力のかなり部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11-15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年一）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16-25：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第16-30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差・階層格差等について考えていく。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ 周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年、2002年

履修コード	312001
科目名	プログラミング論
担当者名	濱本 和彦

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

(1~3)ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法(構造化やオブジェクト指向) (4~5)実習のためのコンピュータ操作方法の習得 (6~8)言語学習してのプログラム学習とCプログラムの構成 (9~10)画面への文字列の表示 (11~13)各種データとデータ構造 (14~17)変数の計算と数値の入出力 (18)中間テスト (19~22)条件付き分岐構造 (23~26)繰り返し構造 (27~29)関数 (30)総復習とまとめ

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール(大学のメールアドレスを利用)による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。出席状況も考慮する。

教科書

特に指定しない。授業で使用するパワーポイント、プログラムリストは web 上で公開する。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

新訂 新C言語入門 {スーパービギナー編, ビギナー編, シニア編}, 林晴比古著, ソフトバンクパブリッシング

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行い、実習中心に行う。出席、レポート提出は e-mail を用いる。よって、受講学生は、コンピュータの基本的な操作を習得している必要がある。

履修コード	312401
科目名	情報処理論
担当者名	岩瀬 弘和

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス(CG)は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術(投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
 - ・自由曲線の種類とその理論(ベジエ曲線、Bスプライン曲線など)
 - ・自由曲面の種類とその理論(ベジエ曲面、Bスプライン曲面など)
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Script などの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。

教科書

配布資料。

参考書等

田中成典、小林孝史(編)『VRMLの達人』(森北出版)
黒瀬能幸『3次元図形処理工学』(共立出版)

履修コード	307501
科目名	商学総論
担当者名	おおき かつお 大吹 勝男

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミヤ評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるわけではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業内容は下記の項目のようになります。
- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
 - (2) 生産過程論（労働過程論）
 - (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
 - (4) 商業資本の本質・機能論
 - (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
 - (6) 商業利潤論
 - (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

履修コード	307611
科目名	企業経営学 a
担当者名	なとり けいし 名取 修一

講義のねらい

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール

企業経営学（a）では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。ここでは、単に企業そのものの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的連関の構図の把握を目指す。

まず、資本と労働の構造的・機能的な関係からの二重性、また国内・国際市場との複層性を理解する。その上で、国際社会化、情報社会化の展開とともに、たとえば労働生産性の追求と超高齢社会、人々の生活と機械的合理主義、国内ならびに国際的格差の構造化、自然環境や生活圏の保全と物質的豊かさの追求問題等を考察し、広い視野から企業の実像を探る。

履修上の留意点

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。

成績評価の方法

受講態度（出席状況）・レポート・定期試験により評価する。

教科書

百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）

参考書等

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）

その他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

専門教育

履修コード	307621
科目名	企業経営学 b
担当者名	名取 修一

講義のねらい 企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール 企業経営学 (a) で理解した企業活動の構造的な理解の上から、経営学の体系的な理解を目指す。経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的理解と統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるように努めたい。

企業による生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければならない。今日、企業経営活動は構造改革が展開され、またそれに伴ってさまざまな制度改革が勧められている。「日本の経営」の優位性が変異し、従来とは大きく様変わりしてきている。後期の授業は、学生自身が積極的に問題視角を形成していくよう、講義の進行に努めたい。

履修上の留意点 受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。

成績評価の方法 受講態度 (出席状況) ・レポート・定期試験により評価する。

教科書 百田義治編著『経営学 基礎』(中央経済社)

参考書等 鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』(税務経理協会)、名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』(同友館)

その他 講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

履修コード	307901
科目名	簿記論
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい 簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変りもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール (1) 簿記の歴史 (2) 簿記の意義 (3) 簿記の基本原則① (4) 簿記の基本原則② (5) 簿記の基本原則③ (6) 現金預金 (7) 商品売買① (8) 商品売買② (9) 債権債務① (10) 債権債務② (11) 手形① (12) 手形② (13) 有価証券 (14) 固定資産① (15) 固定資産② (16) 資本金と引出金 (17) 収益と費用① (18) 収益と費用 (19) 税金 (20) 補助簿① (21) 補助簿② (22) 伝票会計① (23) 伝票会計② (24) 決算手続① (25) 決算手続② (26) 決算手続③ (27) 決算手続④ (28) 財務諸表① (29) 財務諸表② (30) コンピュータと簿記

履修上の留意点 簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法 定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

教科書 加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』(中央経済社)

参考書等 加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』(中央経済社)

その他 講義の際には、電卓を持参すること。

履修コード	314201
科目名	貿易実務
担当者名	あらはた はるお 荒畑 治雄

講義のねらい 本講義では、貿易取引に必要な業務内容を実務に即して解説する。近年、電子商取引の環境整備が進み、新たなグローバルSCMの形成が創出しているので、この点も考慮する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1、国際マーケティング
 - (1) 相手市場の選定
 - (2) 商品の持つ市場性
 - (3) 取引相手の信用調査
- 2、取引関係の形成
 - (1) 見本、価格表、カタログ等の送付
 - (2) 一般的取引条件の協定
 - (a) 品質条件、数量条件、価格条件、受渡条件、決済条件など基本5条件の協定
- 3、輸出入貿易管理と規制
- 4、売買契約成立に伴う実務
 - (1) 売買条件の取り決め
 - (2) 荷為替信用状の実務
- 5、先物為替の予約
- 6、国際運送
 - (1) 海上運送、航空運送、各種運送書類、
 - (2) 海上保険契約
- 7、輸出通関と船積み、航空機への貨物搭載
- 8、輸入貨物の荷揚げと輸入通貨
- 9、貿易取引における代金決済、
- 10、電子商取引と信用
- 11、電子商取引における国際物流の変化と対応
- 12、グローバルSCMの形成と電子的手続き

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

テキストをよく読んで、授業に出席する事、
授業への参加度、定期試験（追試験）等による。
荒畑治雄、『現代国際商取引論』、慶應義塾大学、3,000円、ISBN 4-7664-1247-8
授業時に指示する。

履修コード	314301
科目名	通関実務
担当者名	荒畑 治雄 <small>あらいはた ちはるお</small>

講義のねらい	貨物を輸出/輸入する者は、税関に申告して、その許可を得る必要がある。本講義では、一連の輸出入通関業務について解説する。さらに、通関士を目指す学生に対して考查を行う。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 定義 <ol style="list-style-type: none"> 輸入・外国貨物 輸出・内国貨物 輸入通関 <ol style="list-style-type: none"> 輸入申告 輸入申告の審査、貨物の検査、 輸入許可 輸出通関 <ol style="list-style-type: none"> 輸出申告、 輸出申告の審査（貨物の検査） 輸出許可 簡易申告制度 保税地域、保税運送 課税物件の確定時期・納税義務者 <ol style="list-style-type: none"> 原則 例外 税額の確定の方式 関税の納付と徴収 <ol style="list-style-type: none"> 関税の納付、 納期限、 担保 延滞税 特殊関税 <ol style="list-style-type: none"> 便益関税 報復関税 相殺関税 不当販売関税 緊急関税・対抗関税 輸入禁制品 電子情報処理組織による税関手続きの特例等に関する法律（NACCS特例法） 輸出申告書の書き方、輸入申告書の書き方
履修上の留意点	日頃から日本経済新聞、業界雑誌、税関出版物、インターネットなどにより工業製品、農林水産物の輸出入に関する情報を入手しておくこと。
成績評価の方法	出席状況、期末試験の結果等により評価、
教科書	荒畑治雄『現代国際商取引論』慶應義塾大学、3000円、ISBN 4-7664-1247-8
参考書等	（輸出入通関手続き、NACCS等は本書を利用） 授業に使用する参考書は講義日に指示する。

履修コード	313401
科目名	憲法
担当者名	内田 真利子 <small>うちだ まりこ</small>

講義のねらい	市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らざる領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。
履修上の留意点	授業に毎週出席できることが履修の最低条件。形式的な出欠ではなく、主体的な参加意欲・努力を求める。
成績評価の方法	通常授業時間中に年2回テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。
教科書	授業で指示する。
参考書等	六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。
その他	追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

履修コード	307801
科目名	民法一部
担当者名	織田 晃子

講義のねらい このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
 - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間 (6) 時効

履修上の留意点 六法は必ず持参すること。

成績評価の方法 期末試験の成績による。

教科書 勁草書房 民法第二版①総則、物権 2,200円+税

その他 コンパクト六法(岩波)
プリント配布

履修コード	325002
科目名	民法二部
担当者名	中田 英幸

講義のねらい 本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則(およびその特別法)を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 序論(1)
 - (①債権総論とは何か②債権とは何か)
- (2) 債権の「目的」(2-3)
 - (①債権の「目的」の意味②債権の種類)
- (3) 債権の効力(4-13)
 - (①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者混滞)
- (4) 債権債務の移転(14-18)
 - (①債権譲渡②債務引受)
- (5) 債権の消滅(19-24)
 - (①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同)
- (6) 多数当事者の債権関係(25-30)
 - (①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務)

履修上の留意点 最新の六法は必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

成績評価の方法 期末試験により評価する。

教科書等 野村豊弘ほか著『民法III-債権総論(第3版)』(有斐閣、2005年)
星野英一ほか編『民法判例百選II債権(第5版新法対応版)』(有斐閣、2005年)
他の文献は講義中に指示する。

履修コード	308801
科目名	商法一部
担当者名	いのうえ けんいち 井上 健一

講義のねらい

企業活動の内部的な規整である会社組織に関する法規整（いわゆる形式的な意味での会社法）について講義する。単なる制度の紹介にとどまらず、なぜそのような制度が存在するのかという「制度の存在理由」を、近時の敵対的買収と対抗策の問題などに代表されるような現実の会社実務との関係で理解することを心がける。前期は主としてコーポレートガバナンスに関する規整、後期は企業金融および組織再編に関する規整を中心に講義する。商法総則についても適宜会社法との関連部分について触れていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1 会社法総論：商法の体系および会社法の存在意義 2 会社の機関と法：コーポレートガバナンスに関する法規整（株主総会、取締役会・代表取締役、監査役等）

履修上の留意点

後期 3 会社の資金調達と法規整（設立時の資金調達、設立後の資金調達：新株発行、社債等）
4 会社の組織再編（M&A等） 5 企業会計

成績評価の方法

少なくとも民法（総則債権各論）を履修済か、履修中であることが望ましい。日経などの新聞・雑誌の経済記事についてもアンテナを張っておくこと。

教科書
参考書等

原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で質疑応答形式によるケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

その他

平出・山本・田澤編「会社法概論」（青林書院）3780円 4-417-01404-3

江頭憲治郎「株式会社法」（有斐閣）、神田秀樹「会社法」（弘文堂）。その他、適宜授業内で紹介する。

授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

履修コード	324902
科目名	商法二部
担当者名	なかほま よしあき 中濱 義章

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。

成績評価の方法

民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

教科書
参考書等

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

濱田惟道『手形法小切手法』（文真堂）

開講時に指示します。

『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）

山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第2版）』（有斐閣）

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	荒井 登志夫

講義のねらい 規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール 1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不正な取引方法 15～17 景品表示法・下請法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点 講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。
成績評価の方法 成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

「経済法」(第5版・岸井大太郎・向田直範)ほか・有斐閣アルマ
「独占禁止法(第2版)」(金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂)

参考書等

根岸哲・杉浦市郎『経済法』(法律文化社)
根岸哲・舟田正之『経済法概説』(有斐閣)
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』(法律文化社)
「経済法」(鈴木満・深雪・尚学社)

その他

レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

履修コード	325101
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい 今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業では、下記事項について、行います。
- (1) 労働法の基礎的考え方
 - (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
 - (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
 - (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
 - (5) 雇用における男女平等
 - (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
 - (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
 - (8) 人事異動－配転、出向、転籍
 - (9) 賃金、賞与、退職金
 - (10) 労働時間、時間外・休日労働
 - (11) 休憩、休日、休暇
 - (12) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇
 - (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No、そして無断で席を立つことは No。いわゆる授業のマナーは守ってください。

成績評価の方法

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価はつきません。ミニテスト、前期試験、レポートや出席を含めて、総合的に評価します。追試験は実施します。

教科書

参考までに挙げますと、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』(有斐閣)や金子征史ほか著『入門労働法』(有斐閣双書)です。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

なお、今、教科書(共著)を作成しています(準備中)。第1回目の授業で、プリントで紹介します。六法は、最新のもの(法律改正や制定があるので特に)。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、これも1回目の授業で話します。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

履修コード	323602
科目名	行政法
担当者名	塩入 ^{しおひり} みほも

講義のねらい	存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組と理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なき事があります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(2)行政法とは何か：行政法の成立、行政の定義、行政法の領域 (3)～(5)行政法の基本構造：現代日本行政法の特徴、法治行政の原理 (4)～(8)行政法の法源：成文法源、不文法源 (9)～(11)行政作用の様々な分類論 (12)行政立法 (13)行政計画 (14)行政指導 (15)行政契約 (16)～(20)行政行為論：特徴、成立と消滅、効力、行為類型論 (21)～(22)行政裁量論 (23)～(24)行政行為の瑕疵 (25)～(26)職権取消しと撤回 (27)～(29)行政上の強制制度 (30)まとめ
履修上の留意点	行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。
成績評価の方法	試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。
教科書	特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。
参考書等	最初の講義の際に紹介します。

履修コード	323401
科目名	国際法
担当者名	王 志安

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。
国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

履修上の留意点

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

成績評価の方法

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意識をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。
成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書
参考書等

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）
大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

履修コード	325301
科目名	社会保障法
担当者名	脇野 幸太郎

講義のねらい

現在、社会保障に対する国民的な関心が高まっています。それは、社会保障の諸制度が私たち国民の日常生活と深い関わりを有しているためであると思われます。ただし、その関心は、年金問題に典型的にみられるように、わが国の社会保障制度への不安や不信を伴ったものであることもまた事実です。

講義の内容・
授業スケジュール

しかし、ただ不安に思っているだけでは問題は解決しません。社会保障とはどのようなものであり、なぜそれが必要なかを理解することがまず重要です。本講義では、このような観点から、社会保障法を構成する個別制度の検討およびそれに基づく社会保障法の基礎理論の考察を通じて、社会保障の法的な理解を深めることを目的とします。

履修上の留意点

第0章：オリエンテーション、第1章：社会保障法序論、第2章：医療保障制度（健康保険、国民健康保険等）、第3章：年金制度（国民年金、厚生年金等）、第4章：労働保険（労災保険制度、雇用保険制度）、第5章：介護保険制度、第6章：社会福祉の諸制度（児童福祉、障害者福祉等）、第7章：公的扶助（生活保護）制度、第8章：社会保障法総論（最後に改めて社会保障とは何かを考える）

成績評価の方法

本講義では、現行の社会保障法の諸制度の内容および社会保障法の基礎理論の理解に重点を置くこととし、社会保障の法政策論については、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱うこととします。従って、本講義の受講者は「社会政策」の講義もあわせて受講されることを強くお勧めします。

教科書

筆記試験の結果（80％）と出席（20％）により評価します。また、出席に代えて時折実施する小テストの結果も考慮します。

参考書等

開講時に指定します。その他毎回レジュメを配布します。六法は『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず用意すること。

その他

講義中に随時紹介します。
授業の進め方等については、初回の講義で説明しますので、受講希望者は初回の講義には必ず出席してください。

履修コード	326501
科目名	保険・海商法
担当者名	いのうえ ほんいち 井上 健一

講義のねらい 商法のうち、保険取引および海商を含めた国際取引に関する法規整を概観する。この分野は、商法典の条文、もしくは判例の理解のみならず、約款や条約、あるいは商慣習なども含めた実務慣行に注意を払う必要がある。いわば実務との関係で「生きている法」を扱うという意味で、意欲を持って取り組めば非常に面白い内容である。前期は保険法を、特に保険契約法を中心に扱い、後期は海商法およびそれに関連した国際取引に関する契約に対する法規整を扱う。保険会社や商社などの実務に興味がある者は是非参加してほしい。

講義の内容・授業スケジュール
 I 保険法
 1. 保険法総論・保険契約法総論 2. 損害保険契約 3. 生命保険契約 4. 傷害保険
 II 海商法・国際取引法
 1. 海商法・国際取引法総論 2. 海上企業者 3. 海上運送契約・国際取引契約 4. 海上危険・海上保険 5. 国際取引における紛争解決

履修上の留意点 民法（総則・債権各論）および商法総則・商行為法を履修済か、履修中であることが望ましい。

成績評価の方法 原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で対話式のケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書 山下・竹濱・洲崎・山本「保険法」（第2版）（有斐閣）1900円 4-641-12233-4
参考書等 レジュメで随時紹介する
その他 授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

履修コード	325501
科目名	商法総則・商行為法
担当者名	かわぐち ちさみ 川口 幸美

講義のねらい 民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①-⑥は商法総則、⑦-⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。
 ①商法総則（商法の意義） ②商法の適用（商行為概念・商人概念）
 ③営業譲渡（商号の保護） ④商号
 ⑤商業使用人（支配人・その他） ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力）
 ⑦商事売買取引（国際売買取引契約）⑧運送契約
 ⑨仲立人・取次人・商事代理 ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ）

履修上の留意点 教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権法）を同時履修するか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法 試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。すなわち、就職活動・部活動および病欠等についても、特にこれらの者を優遇することはないので、ご理解いただきたい。

教科書 開講時に指定する。
参考書等 鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
 江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
 鴻常夫、竹内昭夫、江頭憲治郎／編
 別冊ジュリスト 「商法総則・商行為法判例百選（第4版）」
その他 （当然のことだが）授業中の私語・携帯の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

履修コード	314001
科目名	税法I
担当者名	おくむら まさろう 奥村 正郎

講義のねらい 租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法I（前期）では個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年度、シャープ勧告以来の大きな改正があり、今後この新しい制度がどのように推移していくのか関心が寄せられている。

1. 財政の役割と租税
2. 税法の基本原則
3. 租税の種類と分類
4. 相続税の意義
5. 相続税の納税義務者
6. 相続税額の計算（1）
7. 相続税額の計算（2）
8. 贈与税の課税原因と納税義務者、課税財産
9. 生前贈与と相続時精算課税制度
10. 相続税・贈与税の財産評価（1）
11. 相続税・贈与税の財産評価（2）
12. その他の税（法人税概説1）
13. その他の税（法人税概説2）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。
出席状況、期末試験により評価する。
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）
授業を進める中で適宜紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

履修コード	314101
科目名	税法II
担当者名	おくむら まさろう 奥村 正郎

講義のねらい 租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法IIでは定率減税の廃止、税率など抜本的見直しが予定されている個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

1. 所得の概念
2. 納税義務者
3. 課税所得の範囲等
4. 各種所得の種類
5. 各種所得金額の計算（1）
6. 各種所得金額の計算（2）
7. 各種所得金額の計算（3）
8. 各種所得金額の計算（4）
9. 所得控除及び税額の計算（1）
10. 所得控除及び税額の計算（2）
11. 申告・納付、源泉徴収、その他
12. その他の税法（消費税法概説1）
13. その他の税法（消費税法概説2）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。
出席状況、期末試験により評価する。
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）
授業を進める中で適時紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用する場合があるので毎回持参のこと。

専門教育

履修コード	314401
科目名	現代経済事情I〔ロシアの現在〕
担当者名	<small>くろちこふ・ゆーりー</small> クロチコフ, Y.

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

ロシアは日本に一番近い国です。現代のロシア経済事情を勉強します。
現代ロシア経済のファンダメンタルズとロシア政治システム。ロシア経済の特徴と経済動向。
計画経済下のロシア（ソ連）から市場経済化したロシア。
民営化の到達点と問題点。
ロシアの金融政策のメカニズム。ロシアの金融制度。
ロシアの財政状況。
ロシア経済と市民生活。インフレ問題。
失業と労働問題。
地下経済の活力。
ロシアの工業、農業、サービス業と商業。
ロシア教育と経済。
マイノリティーと民族問題。
ロシアの国際貿易と国際経済関係。
地方の経済。
シベリア・極東の開発と日ロ経済関係。
新時代の日ロ関係をめざして。

成績評価の方法
教科書
その他

レポートを随時書いてもらい、出席を重視する。
教科書はありませんので授業中に指示する。
ノートを取るのは当然のことに。参考書は適宜指示する。

履修コード	314501
科目名	現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕
担当者名	<small>ながせ りえい</small> 長瀬 理英

講義のねらい

国際協力を論じる場合、「援助する側」に立ったものは多いが、「援助される側」に立つものは決して多くない。ここでは、「援助される側」の視点に留意しながら、望むべき国際協力を考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) オリエンテーション、(2～4) 国際協力の基本的考え方—政府開発援助 (ODA) と非政府組織 (NGO/NPO) による草の根協力、(5～8) プロジェクトとは何か—その考え方と実際、(9～12) 国際協力を改善するための考え方と実際、(13～) 今後の国際協力の展望

成績評価の方法
教科書

レポートにより評価する。
毎回、プリントを配布する。参考書も適宜、指摘する。

履修コード	314601
科目名	現代経済事情III〔世界経済と中小企業〕
担当者名	高田 ^{たかだ} 好章 ^{よしあき}

講義のねらい 日本の経済の国際化は、東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきています。そのような視点から、世界経済と中小企業の問題を一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール 以下のテーマを軸に、時事的問題に関連させながら講義いたします。
 ◇格差と貧困 ◇新しい働きすぎ ◇雇用の外部化と派遣・請負 ◇アメリカの労働市場改革 ◇ILOと日本の労働基準 ◇資産格差と生活格差 ◇税制提言と格差 ◇グローバル化と繊維産業 ◇パイオと多国籍企業

履修上の留意点 授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法 成績評価はレポートによります。レポートは受講中に適宜課題を出します。また自発的に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教科書参考書等 森岡孝二編『格差社会の構造 グローバル資本主義の断層』桜井書店、2007年9月刊、2700円。
 以下も読んでおいてください：鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』昭和堂、1999年刊、3000円。その他の参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

その他 図や表などの具体的な資料を紹介し、時事問題のビデオも使って講義をすすめます。適宜アンケートをお願いし、それらを取り上げながら双方向の授業を念願しています。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文（以上メールでも可）は大いに歓迎します。講義に使用したレジュメ、図・表などの資料はホームページに掲載いたしますので、復習・レポート執筆等の参考にして下さい。E-mail: ystakada@komazawa-u.ac.jp ホームページ : <http://home-pagel.nifty.com/ytakada/>

履修コード	314701
科目名	現代経済事情IV〔今日の日本の医療現場〕
担当者名	佐藤 ^{さとう} 公美子 ^{くみこ}

講義のねらい 病院に一度も行かず、生涯を終える人は少ないでしょう。さらに、高齢化が進む日本にとって、医療に関わるマンパワーが今後ますます必要になるでしょう。日本の医療は今、どうなっているのでしょうか…。

わが国の医療は近年、高度化、専門化、複雑化及び医療事故の多発を背景に、医療サービスの質を確保する方策が検討されています。今日の現状を把握したうえで、多面的な視点から日本の医療について考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール ①日本の医療・看護の歴史的背景、②日本の医療・看護の現状分析、③医療・看護の日米比較、これら3つの主テーマを軸に、現場の実際の声を交えながら、講義を展開します。

履修上の留意点 話題提供、問題提起をしますので、その課題に対して質問や意見、感想を持ちながら講義に臨んでください。一方的な講義ではなく、皆さんからの声を反映させた参加型の講義にしたいと思えます。

成績評価の方法 ①出席40% ②感想文、レポート60%
 *定期試験は行いません。

教科書参考書等 指定はしません。

その他 皆さんの希望により随時紹介します。
 講座開講中は e-mail を使い、皆さんの疑問や質問、要望などを受けるようにします。

履修コード	313701
科目名	会計資格特別演習
担当者名	<small>すずき かつひろ</small> 鈴木 勝浩

講義のねらい 本講義は、特に税理士試験の法人税法について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。また本講義履修後は、税務会計（法人税法）を受験できるレベルに到達するのぞひ挑戦してほしい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 法人税のあらまし (2) 総則 (3) 課税所得 (4) 損益の期間帰属 (5) 棚卸資産 (6) 減価償却① (7) 減価償却② (8) 減価償却③ (9) 繰延資産 (10) 給与等① (11) 給与等② (12) 交際費等① (13) 交際費等② (14) 寄附金① (15) 寄附金② (16) 租税公課 (17) 貸倒損失と貸倒引当金① (18) 貸倒損失と貸倒引当金② (19) 圧縮記帳 (20) 受取配当等の益金不算入① (21) 受取配当等の益金不算入② (22) 有価証券 (23) その他の損益 (24) 同族会社と留保金課税① (25) 同族会社と留保金課税② (26) 所得税の控除 (27) 申告と納税 (28) 連結納税 (29) 総合演習① (30) 総合演習②

履修上の留意点 本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法 出席率と講義中の演習で評価する。
教科書 社団法人全国経理教育協会編『演習法人税法』（清文社）
参考書等 渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成20年受験用〕』（中央経済社）
『法人税法 個別問題集〔平成20年度版〕』（TAC出版）
『法人税法 理論マスター〔平成20年度版〕』（TAC出版）

その他 法人税法はボリュームの多い科目であり、難しいといわれています。しかし法理念と体系さえ把握できれば必ず理解できます。また実務上必ず必要となりますから、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決してください。

履修コード	313801
科目名	情報資格特別演習I
担当者名	<small>ながい いさむ</small> 永井 勇

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」受験を希望する学生への対策講座です。同時に、情報処理技術(IT)の基礎的な知識・学力の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、現在の社会で必要不可欠なITの基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登壇門的資格です。情報関連企業に限らず、金融期間、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期では午前問題基礎対策講座として、主に午前問題のコンピュータサイエンス基礎とハードウェア/ソフトウェア基礎に力を入れて学習します。

後期では午後問題対策講座として、特にアルゴリズムの基礎の習得に力を入れ、その後に午後問題を中心に演習を行います。

ただし平成19年度秋期本試験の受験者を想定し、前期においても適時に午後の問題や下記スケジュール範囲外の問題演習を前倒して実施します。

前後期ともに講義に加え、その時点における最新の午前午後問題を中心に演習を実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】午前問題基礎対策講座の目安

- 第1回 ガイダンス〔講義/演習〕
- 第2回 コンピュータ概論〔講義/演習〕
- 第3回 アルゴリズムの表現法〔講義/演習〕
- 第4～5回 コンピュータの基礎理論 その1〔講義/演習〕
- 第6～8回 コンピュータの基礎理論 その2〔講義/演習〕
- 第9～11回 ハードウェアの基礎〔講義/演習〕
- 第12～13回 ソフトウェアの基礎〔講義/演習〕

【後期】午後問題対策講座の目安

- 第1回 午後問題解説〔講義/演習〕
- 第2～3回 基礎的なアルゴリズム〔講義/演習〕
- 第4～6回 代表的なアルゴリズム〔講義/演習〕
- 第7回 データ構造〔講義/演習〕
- 第8～10回 プログラム設計と内部設計〔講義/演習〕
- 第11～12回 総合演習〔演習〕

(上記スケジュールは状況により変更することがあります)

履修上の留意点

「基本情報技術者試験」は、午後の問題においてCOBOL、C言語、CASL、JAVA等の言語のうち少なくとも1ヶを習得していることが前提です。そのため高等学校等で何らかの言語を経験している学生以外は、「プログラミング論」の単位を修得していることが望ましい。また時間上の制約から、講義内容の一部(データベース、ネットワーク、システム開発)を情報資格特別演習II(初級システムアドミニストレータ試験対応)で補うため、同講座を同時履修している事が望ましい。

今後の受験勉強に備え、平成19年度秋期の本試験を受験することが望ましい。特に後期後半はこの秋期本試験を受験したことを前提に講義を進める。

成績評価の方法

定期試験では、基本情報技術者試験の過去の問題から抜粋した模試を実施し、評価します。また講義への出席率も評価の対象となります。

教科書
参考書等

『コンピュータシステムの基礎』(関アイテック) 4,200円(税込)

・基本情報技術者試験の過去の問題を適時に配布

・JTECのホームページを適時に参照

その他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

情報資格特別演習IIは来期以降に履修することもできますが、内容的に本講座と補っているため((3)参照)、同時履修することをお勧めします。

履修コード	313901
科目名	情報資格特別演習II
担当者名	井川 俊実

講義のねらい

パソコンの普及により、誰でもがコンピュータを仕事や趣味に利用する時代になっています。「初級システムアドミニストレータ試験」は、コンピュータ（パソコン）を道具として利用し、事務作業の効率化を推進する人のためにできた国家試験であり、この試験に合格することは就職にも有利になります。

講義の内容・授業スケジュール

本講座は「初級システムアドミニストレータ試験」の合格を目指す人は勿論ですが、「基本情報技術者試験」受験でも必要になる「ネットワーク」、「データベース」、「システム開発」の分野も取り上げますので、その合格を目指す人も履修することが望めます。

講義は説明を行い、演習で講義内容の理解を確実にする形で進めていきます。演習は過去の情報処理技術者試験の午前問題、午後問題を取り上げ、本試験に対応できるようにします。表計算とデータベース（SQL）については、パソコン上で Excel と Access を使った実習も行います。

また、講義内容の理解度を確認するための小テストを4回実施します。

- ・コンピュータの基礎知識
- ・パソコンのハードウェアとソフトウェア
コンピュータの仕組み、OSの機能など
- ・表計算ソフト
表計算ソフトの基本構造、セルの複写とセルアドレスの調整、関数
- ・関係データベースソフト
関係データベースの構造と特徴、データの正規化、SQL
- ・ネットワーク
コンピュータネットワーク、LANとクライアントサーバシステム、インターネット
- ・セキュリティ
ハードウェア/ソフトウェアによるセキュリティ、暗号と認証
- ・考え方を整理するための方法・知識
DFD、E-R図、デシジョンテーブル

履修上の留意点

本講座は主に「初級システムアドミニストレータ試験」を受験する人向けの講座であるので、ハードウェアやソフトウェアについてはコンピュータの利用者側の視点で講義を行います。コンピュータの基礎理論をじっくり学習するには、情報資格特別演習Iの同時履修が望めます。

成績評価の方法

主に初級システムアドミニストレータ試験の過去問題を使用したテスト及び講義への出席率によって評価します。

教科書
参考書等

- 「平成20年度【春期】【秋期】初級シスアド合格教本」（技術評論社）1,659円（税込）
- 『初級シスアドパーフェクトラーニング過去問題集』（技術評論社）
- 『コンピュータシステムの基礎』（アイテック）

その他

テキストを補足する資料を随時配布します。
初級システムアドミニストレータ試験の合格を目指す人は勿論ですが、パソコンを利用する上でもっと知識を深めたいと望んでいる人にもお勧めできる講座です。
なお、本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。

履修コード	313601
科目名	教員試験特別演習
担当者名	やしき たかみつ 谷教 正光

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としています。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたってさまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念・教師像の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業の実践、先輩教師との交流、小・中学校学習支援ボランティア・ティ칭ングアシスタントの実践から「学級通信」の作り方まで、ユニークな教育プログラムを通して、教師としての資質・力量の形成につとめたい。

模擬授業実践、学校での学習支援ボランティア・ティ칭ングアシスタントなど実践経験を要するものはサブゼミでも行います。教職を目指す人ならば学部、学科を問いませんので、ともに勉強し、教員志望の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教員採用試験の実施状況
2. 教員試験の心構えと学習計画
3. 教師として必要な資質と能力について
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 人権・同和教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み方について
13. 専門教養の取り組み方について
14. 集団討論の実際（今日的教育課題を中心に実践演習と討論）
15. 個人面接の実際（実践演習）
16. 集団面接の実際（実践演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業実践
19. 総合問題演習
20. 先輩教師(小学校、中学校、高等学校、教育委員会の先生)との交流や対話
21. 小学校・中学校でのティーチング・アシスタントの実践

履修上の留意点

- 1 講義、問題演習、各種討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。
- 2 教育現場への認識・理解を深め、教師としての資質・力量の形成を目指して、参加者全員が小学校、中学校でティ칭ング・アシスタント（「先生の助手」）を実践し、教師としての実際的能力の修得を行います。
- 3 小学校、中学校、養護学校でのボランティアも実施します。ボランティア活動は教員の資質の養成に役立ちます。

成績評価の方法

出席を基本に、授業中実施する小テスト、各種討論、小論文作成などで総合的に評価します。追試験は実施しない。

教科書 参考書等

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。各種討論会や教育論作文の作成、課題学習などの際には図書館で参考にして下さい。

- (1) 教育科学研究会『現代教育のキーワード』大月書店
- (2) 内外教育研究会『最新教育キーワード137』時事通信社
- (3) 内外教育研究会『試験に出る重要教育答中』時事通信社
- (4) 今泉博編『教師力 若い教師のステップアップ』旬報社
- (5) 今泉博編『授業力 若い教師のステップアップ』旬報社
- (6) 今泉博編『学級指導力 若い教師のステップアップ』旬報社
- (7) 今泉博編『生活指導力 若い教師のステップアップ』旬報社
- (8) 朝日新聞社編『教師力』朝日新聞社
- (9) 和田純一著『教育って何ですか』大阪教育図書
- (10) 堀尾輝久著『教育入門』岩波新書
- (11) 矢川徳満著『教育とは何か』新日本新書
- (12) 大田堯著『教育とは何か』岩波新書
- (13) 田中共子編『よくわかる学びの技法』ミネルウ ア書房
- (14) 小松夏樹著『ゆとり教育崩壊』中公新書
- (15) 小谷川元一著『いじめ・学級崩壊』大修館書店

- (16)志水宏吉著『学力を育てる』岩波新書
- (17)上野晋著『学力があぶない』岩波新書
- (18)市川伸一著『学力低下論争』ちくま新書
- (19)中井浩一著『論争 学力崩壊2003』中公新書
- (20)尾木直樹著『学級崩壊をどうみるか』NHKブックス
- (21)三坂彰彦著『子どものいじめ対策QA』明石書店新書
- (22)佐藤藤三郎著『山びこ学校ものがたり』清流出版
- (23)小学校、中学校、高等学校の学習指導要領

そ の 他 小学校・中学校でティーチング・アシスタントを行なう他に、養護学校でのボランティア活動を行います。また、希望者には「自然体験学習指導者講習」、「救護員講習」などの修得も行います。

履修コード	309301
科目名	商業政策
担当者名	番場 <small>ほんば ひろゆき</small> 博之

講義のねらい 「クイズ番組の賞金はなぜ1,000万円までしかないのか?」。それは、そのように規定するルールがあるからである。このような流通や商業に関わるルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方
- (2～5) 流通・商業の基礎知識
- (6～9) 流通・商業政策の枠組み
- (10～15) 競争政策
- (16～21) 振興政策と調整政策
- (22～27) まちづくり政策
- (28～30) 海外における商業に関わる政策

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。
定期試験によって評価する。ただし、履修者数によってはレポート等を課すこともある。
①加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 ②『現代流通入門』 ③有斐閣 ④2400円 ⑤978-4-641-18351-3

参考書等

番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房
岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店
日本流通学会編『現代流通事典』白桃書房
渡辺達朗『流通政策入門』中央経済社

そ の 他

現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「テーマ講義」を何回かおこなう予定である。「テーマ講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

履修コード	309702
科目名	交通政策
担当者名	金 兌奎

講義のねらい	我々の日常生活において欠かせない交通サービス及び交通産業の概念・特徴・現状あるいは分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。
講義の内容・授業スケジュール	①交通論の概略：交通論を学ぶ目的、交通論の対象 ②交通サービスの需要と供給の特性（2回） ③交通サービスへの規制（2回） ④運賃理論（2回） ⑤運賃政策（3回） ⑥社会資本整備の効果（2回） ⑦前期のまとめ ⑧公共投資の社会経済的評価(3回) ⑨道路整備事業(2回) ⑩道路政策及び道路公団の民営化 ⑪鉄道政策及び鉄道輸送事業の特徴（2回） ⑫国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状 ⑬空港整備制度（2回） ⑭航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入 ⑮後期のまとめ
履修上の留意点	交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。
成績評価の方法 参考書等	平常点（出席、小テストなど）と試験の成績による総合評価 藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』東京大学出版会、1992年 山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』有斐閣アルマ、2002年 杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』成文堂、2003年
その他	授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

履修コード	309701
科目名	交通論
担当者名	金 兌奎

講義のねらい	我々の日常生活において欠かせない交通サービス及び交通産業の概念・特徴・現状あるいは分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。
講義の内容・授業スケジュール	①交通論の概略：交通論を学ぶ目的、交通論の対象 ②交通サービスの需要と供給の特性（2回） ③交通サービスへの規制（2回） ④運賃理論（2回） ⑤運賃政策（3回） ⑥社会資本整備の効果（2回） ⑦前期のまとめ ⑧公共投資の社会経済的評価(3回) ⑨道路整備事業(2回) ⑩道路政策及び道路公団の民営化 ⑪鉄道政策及び鉄道輸送事業の特徴（2回） ⑫国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状 ⑬空港整備制度（2回） ⑭航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入 ⑮後期のまとめ
履修上の留意点	交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。
成績評価の方法 参考書等	平常点（出席、小テストなど）と試験の成績による総合評価 藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』東京大学出版会、1992年 山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』有斐閣アルマ、2002年 杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』成文堂、2003年
その他	授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

履修コード	330011
科目名	経営戦略論 a
担当者名	田淵 泰男

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 a」は、「企業戦略論」を主たる内容とします。企業戦略は、企業全体の将来のあり方に関する戦略です。その内容は、企業の諸事業を全体としてどのようにバランスないし統合するか、新しくどのような事業に進出するか、将来にわたってどのような企業を形成していくか、等にかかわる戦略です。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
戦略とは何か、経営戦略の概念、経営戦略論の発展過程、経営戦略の体系。
- ・企業のアイデンティティと事業活動領域を選択・決定する「ドメインの定義」
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法
教科書

授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。
使用しません。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

履修コード	330021
科目名	経営戦略論 b
担当者名	田淵 泰男

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 b」は、「競争戦略論」を主たる内容とします。競争戦略は、競合企業に対して持続的な競争優位を確立するための戦略であり、現在最も注目されている戦略論の研究テーマです。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・業界の競争構造分析フレームワーク（競争の程度から収益性の高い魅力的な業界を探し出す考え方と手法）である「5つの競争要因」分析。
- ・競争優位状態の分析と戦略的ポジションの選択にかかわる「競争の基本戦略」、および「戦略グループ」「価値連鎖」等。
- ・競争優位の源泉に関する2つの考え方として、「ポジショニング・アプローチ」と「資源ベース・アプローチ」。
- ・競争地位の類型化とそれに対応して要求される「競争対抗戦略」。
- ・製品ライフサイクル別の競争戦略、先発企業の競争優位性、後発企業の競争逆転の戦略、業界標準規格をめぐる競争戦略、など。

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法
教科書

授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。
開講時に説明します。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

履修コード	314351
科目名	企業統治論 a
担当者名	水村 典弘 <small>みずむら のりひろ</small>

講義のねらい 統治（ガバナンス）は、ラテン語で（船の舵取り）を意味する。講義では、株式会社の基本的なフレームワークと会社機関の役割を理解したうえで、企業統治の内容について比較制度分析を試みる。

講義の内容・授業スケジュール

- ①授業のガイダンス（※必ず出席すること）
- ②資本主義経済と株式会社制度
- ③株式会社の機関
- ④公開企業と株主権
- ⑤要点の整理
- ⑥企業統治と比較制度分析
- ⑦米国における企業統治（a）民主主義と統治
- ⑧米国における企業統治（b）機関投資家の圧力
- ⑨米国における企業統治（c）企業統治の現在
- ⑩欧州における企業統治（a）共同決定法と統治
- ⑪欧州における企業統治（b）企業統治の現在
- ⑫日本における企業統治（a）会社法と株主総会
- ⑬日本における企業統治（b）企業統治の現在
- ⑭経済のグローバル化と企業統治
- ⑮講義の総括

履修上の留意点

①ガイダンスには必ず出席すること
②講義で指定した資料等を個人で入手して必ず目を通して内容を確認すること

成績評価の方法

受講生の成績は、以下の評価方法を組み合わせて評価する。筆記試験（70%）及び授業時間内に実施する小テスト（30%）。なお追試験は実施しない。

教科書
参考書等

未定
未定

履修コード	314361
科目名	企業統治論 b
担当者名	水村 典弘 <small>みずむら のりひろ</small>

講義のねらい 企業統治問題を考える際には、会社機関の設計だけではなく、経営管理者の価値判断が重要になる。講義では、ビジネスと倫理の関係を非帰結主義の立場から読み解いたうえで、社会公共の利益について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①授業のガイダンス（※必ず出席すること）
- ②資本主義と企業の社会的責任
- ③企業の社会的責任と企業責任
- ④倫理的な価値観（a）：ビジネスと倫理
- ⑤-（b）：経営管理と倫理
- ⑥-（c）：法人と倫理
- ⑦-（d）：組織と倫理
- ⑧経営のプロフェッショナルリズム（a）：要件
- ⑨-（b）：営利企業とプロフェッション
- ⑩-（c）：プロフェッションの価値基準
- ⑪-（d）：総括
- ⑫現代企業とステークホルダー（a）：概論
- ⑬-（b）：経営管理者と価値創造
- ⑭-（c）：MFSモデルとCVSモデル
- ⑮-（d）：総括

履修上の留意点

①ガイダンスには必ず出席すること
②講義で指定した資料等を個人で入手して必ず目を通して内容を確認すること

成績評価の方法

受講生の成績は、以下の評価方法を組み合わせて評価する。筆記試験（70%）及び授業時間内に実施する小テスト（30%）。なお追試験は実施しない。

教科書
参考書等

未定
未定

履修コード	314391
科目名	現代企業論 a
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい 本講義では、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得します。企業の基本的構造、主として制度上の観点からの基本的課題事項の整理を通じて、現代企業の特質とその役割を理解することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 現代企業論（1）（持続可能な社会と企業：現代企業論の基礎）
- 第3回 現代企業論（2）（企業と市場）
- 第4回 現代企業論（3）（取引コスト論）
- 第5回 現代企業論（4）（所有権理論）
- 第6回 企業形態（1）（企業形態の分類とその意図）
- 第7回 企業形態（2）（個人企業・合名・合資・株式会社・LLC/LLP）
- 第8回 企業形態（3）（会社制度の歴史的発展とその意義）
- 第9回 株式会社の特質（1）（株式会社制度と所有者支配論）
- 第10回 株式会社の特質（2）（株式会社制度と専門経営者）
- 第11回 現代株式会社の特質と機関化現象（1）（株主の機関化・法人化を巡る問題）
- 第12回 現代株式会社の特質と機関化現象（2）（機関的大株主と企業支配様式）
- 第13回 企業集中形態（1）（企業合同形態と金融集団形態）
- 第14回 企業集中形態（2）（連結経営と企業グループ）
- 第15回 前期のまとめ

履修上の留意点

企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、新聞、雑誌に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、学期末に筆記試験を行います（正当な理由がある場合は追試を認めます）。この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

**教科書
参考書等**

開講時に指示します。
自分で使いやすいと思われる経営学辞典あるいは経営学用語集

履修コード	314411
科目名	現代企業論 b
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい 本講義では、「現代企業論 a」の履修を踏まえ、「企業とは何か」という視点から、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任など、現代の企業経営にとって極めて重要なTOPICSを中心に学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 企業の目的と経営者の役割（1）（経営理念と企業の目的）
- 第2回 企業の目的と経営者の役割（2）（企業価値と株主の富の最大化）
- 第3回 企業統治（1）（企業統治とは何か：利害関係者と会社権力の正当性）
- 第4回 企業統治（2）（株主と企業（経営者）：エージェンシー理論）
- 第5回 企業統治（3）（株式所有構造と企業間関係）
- 第6回 企業統治（4）（アングロ・サクソン型企業統治）
- 第7回 企業統治（5）（ライン型企業統治）
- 第8回 企業統治（6）（日本型企業統治）
- 第9回 株式会社の資金調達（1）（株式会社のリスクとリターン）
- 第10回 株式会社の資金調達（2）（リスク負担の構造：リスクと企業制度）
- 第11回 地球環境問題と現代企業（1）（持続可能な発展と株式会社の責務）
- 第12回 地球環境問題と現代企業（2）（循環型社会の構築と現代企業：NPO）
- 第13回 企業倫理（1）（企業倫理とはなにか）
- 第14回 企業倫理（2）（企業倫理の制度化と企業統治）
- 第15回 まとめ：今後求められる企業像

履修上の留意点

企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、学期末に筆記試験を行います。この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

**教科書
参考書等**

開講時に指示します。
経営学辞典あるいは経営学用語集

履修コード	314371
科目名	非営利組織論 a
担当者名	松本 典子

講義のねらい

非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が含まれます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

本講義では、非営利組織の現実を踏まえて、営利／非営利組織の共通性／差異性の明確化、国際比較などから、非営利組織とは何か、とくに非営利事業体を含めてその発展の課題や社会的な存在意義に関する理解が深められる授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ 狭義／広義の非営利組織（1～3）
- ・ 非営利組織に関する法、税制度および経済規模（4～5）
- ・ 非営利組織の活動分野、医療・福祉、まちづくり、環境等（6～9）
- ・ 非営利事業体、社会的企業（10～12）
- ・ 非営利組織の国際比較（13～14）
- ・ 非営利組織論 a のまとめ（15）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修をのぞみます。
成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。
特に指定しません。

- ・ 川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・ 山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。

その他

講義形式で行います。適宜、レジュメおよび資料を配布し、参考文献や関連HPを紹介し、また、画像、映像等を交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

履修コード	314381
科目名	非営利組織論 b
担当者名	松本 典子

講義のねらい

非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が含まれます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

本講義では、非営利組織論aで学習した内容に基づき、「営利／非営利」、「社会的企業」、「社会的起業家」、「コミュニティ・ビジネス」、「ソーシャル・キャピタル」等をキーワードに、非営利組織の経営学を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ 非営利組織の存在理由（1～3）
- ・ ソーシャルエコノミー、ボランティア経済（4）
- ・ 社会的起業家とは何か（5～6）
- ・ 非営利組織のガバナンス、マネジメントの基本的特徴、リーダーシップ、経営戦略、資金調達など（7～11）
- ・ 非営利組織のネットワーク、行政・企業とのコラボレーション（12～14）
- ・ 非営利組織論 b のまとめ（15）

履修上の留意点

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修をのぞみます。

成績評価の方法
教科書
参考書等

講義内容は、非営利組織論 a を履修していることを前提とします。
成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。
特に指定しません。

- ・ 川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・ 坂本文武『NPOの経営—資金調達から運営まで—』日本経済新聞社、2004年。

その他

講義形式で行います。適宜、レジュメおよび資料を配布し、参考文献や関連HPを紹介し、また、画像、映像等を交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

履修コード	310501
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 会計監査の意義と概要 (2~5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6~10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11~15) ディスクローチャー制度 (金融商品取引法・会社法)、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16~20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21~25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26~30) 監査証拠、継続企業的前提、監査意見、監査報告書

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。
指定しない。必要に応じて資料を配付する。
山浦久司『監査論テキスト(第2版)』(中央経済社)
友杉芳正『新版スタンダード監査論(第2版)』(中央経済社)
千代田邦夫『現代会計監査論』(税務経理協会)
日本公認会計士協会編『監査小六法(平成19年版)』(中央経済社)
日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック(平成20年版)』(中央経済社)

履修コード	332301
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

履修上の留意点

講義内容の概要は次のとおりである。
(1~2) 税務会計の制度的基礎、(3~5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6~8) 事業年度、同族会社、(9~12) 課税所得計算の基礎、(13~16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17~21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22~24) 税額の計算、申告、納付等、(25~28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29~30) 国際課税、不服申立・訴訟等

成績評価の方法
教科書
参考書等

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。
原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。
開講時に指示する。
開講時に指示する。

履修コード	092311
科目名	上級簿記
担当者名	福島 隆

講義のねらい

本講義は、簿記論での学習内容を基礎にして、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。2007年度は、学生の要望が多かったので、商業簿記終了後は工業簿記を行いました。

**講義の内容
授業スケジュール**

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。授業中に2回中間試験を行います。

- (1) ガイダンス (2) 現金預金 (3) 有価証券 (4・5) 手形
- (6) 引当金 (7・8) 商品売買 (9・10) 特殊商品売買取引
- (11) 固定資産 (12) 税金 (13・14) 株式会社会計 (15・16)
- 本支店会計 (17・18) 帳簿組織 (19～) その他の論点

履修上の留意点

11月の日商簿記2級の試験までに、2級の商業簿記の範囲を終わらせませす。

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。10分以上の遅刻は欠席扱いとします。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

- (1) 平常点重視型・出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。
- (2) 試験重視型・中間試験60点(30点×2回)、定期試験40点。

教科書

1回目の授業で指定します。毎年、上級簿記を教えるための自作テキストを使用しています。値段は3000円前後です。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

履修コード	310701
科目名	証券市場論
担当者名	ひろた まさと 広田 真人

講義のねらい ファイナンス理論の裏づけなくして証券制度の理解はありえない。そこで講義の大部分はファイナンスの基礎理論の学習のために費やされる。最後に「金融ビッグバン」の説明の際、「改革」の前提としての既存制度についても言及する。従って、本講義のキーワードは、「資本コスト」発見の場としての証券市場の役割となる

- 講義の内容・授業スケジュール**
- ①「出席表一同様な事業内容を持つ日米両企業の株価等を毎週提出一」の説明一週目
 - ②株式市場の存在理由一資本コスト発見機能を中心に一2～4週目
 - ③資産価値の評価一NPV・IRR、債券と株式の評価一5～8週目
 - ④株式投資におけるリスク α と β 一9～12週目
 - ⑤資本コストの計測とEVA一13～16週目
 - ⑥デリバティブの初歩一オプションを中心に一17～20週目
 - ⑦株価指数とインデックス運用一21～24週目
 - ⑧金融ビッグバンの評価からみた日本の証券市場の特色一25～28週目

履修上の留意点 最初の授業で「出席表」の説明を行うので必ず出席すること

成績評価の方法 期末レポート（中間は未定）、ただし、問題数は計算問題を含めて10近く、全て回答すること一、追試は無し

教科書 特になく、授業中にプリント配布

参考書等 井出・高橋『経営財務入門』 ¥3600 ISBN4-532-13312-2・『証券分析入門』（日本経済新聞社）2003～2006年 ¥3000 ISBN4-532-13297-5

履修コード	313201
科目名	保険論
担当者名	みやち ともか 宮地 朋果

講義のねらい 現代の複雑な社会において、企業と家庭は多様なリスクに直面している。本講義では、主として、企業におけるリスク処理の体系的な考え方であるリスクマネジメントについて検討する。また、リスクに対する有効な手段である保険の仕組みと機能を説明する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 以下の内容を各2～3回ずつ講義する。
- ・リスクの概念
 - ・リスクの分類
 - ・リスクマネジメントの生成と目的
 - ・リスクマネジメントのプロセス
 - ・リスクコントロール
 - ・リスクファイナンス
 - ・リスクと保険（保険の概念）
 - ・保険の生成
 - ・保険の仕組み
 - ・保険成立の条件
 - ・保険の機能
 - ・保険者の組織
 - ・保険の分類
 - ・保険の現状と将来

履修上の留意点 受講者の理解度を測るために、授業内レポートや小テストを行う予定です。試験は講義で話した内容を中心に出题するので、授業にはできる限り出席するよう心がけてください。

成績評価の方法 定期試験、小テスト、授業態度による総合評価。

参考書等 堀田一吉『保険理論と保険政策』（東洋経済新報社）
堀田一吉・岡村国和・石田成則 編著 『保険進化と保険事業』（慶應義塾大学出版会）
堀田一吉 編著 『民間医療保険の戦略と課題』（勁草書房）

その他 講義内容に関する質問を、授業終了後に受け付けます。

履修コード	097141
科目名	ビジネス英会話 a
担当者名	井上 愛子

講義のねらい 本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義
 1 回目 イントロダクション
 2 - 4 回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
 5 - 6 回目 プレゼンテーション
 7 - 10 回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
 11 - 12 回目 プレゼンテーション
 13 - 15 回目 総合演習

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。
履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

成績評価の方法

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。
 1) ディビッド・ワグナー 2) ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 「ミーティング」マネジメント編 3) 朝日出版社 4) 1400円 5) ISBN4-255-99045-X

参考書等

適宜授業中に案内します。
英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

履修コード	097151
科目名	ビジネス英会話 b
担当者名	井上 愛子

講義のねらい 本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義
 1 回目 イントロダクション
 2 - 4 回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
 5 - 6 回目 プレゼンテーション
 7 - 10 回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
 11 - 12 回目 プレゼンテーション
 13 - 15 回目 総合演習

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。
履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

成績評価の方法

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。
 1) ディビッド・ワグナー 2) ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 「ミーティング」マネジメント編 3) 朝日出版社 4) 1400円 5) ISBN-255-99044-1

参考書等

適宜授業中に案内します。
英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

履修コード	313911
科目名	グローバル・ファイナンス
担当者名	小西 宏美

講義のねらい	今日における経済のグローバル化は多国籍企業の活動に因るところが大きい。たとえば多国籍企業による海外生産活動と企業内国際貿易、海外企業の買収、OEM契約を通じた生産委託などである。本講義では、こうした多国籍企業の生産、投資活動を金融の側面から支えてきたグローバル・ファイナンスの役割について学習する。また逆にグローバル・ファイナンスの拡大が多国籍企業に対してもたらす問題点を検討しながら、将来的に望ましい企業金融のあり方や金融システムの枠組みを考える。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 多国籍企業の国際的生産体制とグローバル・ファイナンス（1～10）ユーロ市場、シンジケート・ローン、クロスボーダーM&A 2 多国籍企業のリスク管理（11～14）先物、先渡し、オプション、スワップ 3 多国籍銀行、多国籍金融機関（15～22）金融持ち株会社、金融市場統合と金融機関の国際的再編 4 多国籍金融機関の国際業務（23～27）国際銀行業務、国際証券業務、各国の通貨主権
履修上の留意点	新聞やテレビ、インターネットなどで見聞きした情報を、授業時に得た知識と結びつけながら考える習慣をつけるようにしてください。
成績評価の方法	中間試験、学期末試験、出席、コメントカードへの記入の4点で評価します。
教科書	指定しません。
参考書等	上川孝夫、藤田誠一、向寿一編（2007）『現代国際金融論（第3版）』有斐閣ブックス 川島静夫（1990）『ユーロ・ボンド市場－コーポレート・ファイナンスへの誘い－』金融財政事情研究会

履修コード	316901・316902
科目名	演習II 演習III
担当者名	浅野 克巳

講義のねらい	基礎的な経済学をしっかり勉強した上で現代経済社会の抱えるさまざまな問題に実際に応用し経済学の理解を確実なものとしよう
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム 4. 日本企業とコーポレートガバナンス
履修上の留意点	演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションにも挑戦
成績評価の方法	出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。
教科書	内閣府『経済財政白書』その他
参考書等	その他の資料については授業の中で指示する。

履修コード	317201・317202
科目名	演習II 演習III
担当者名	あまほ あき 姉齒 暁

講義のねらい 演習Iでは、生活実感を通して社会・経済の問題を考えていくことを体験してもらおうと同時に、「真理の探究」のために必要不可欠な「問題意識」を持てるような課題に取り組む作業を行いたいと考えています。

具体的には、「グローバル経済下の日本の消費生活」という大きなテーマの下、簡潔かつ安価な新書やブックレットを題材に、レジュメを作成し報告した上で全員で討論を行います。

演習IIは、Iに引き続き、文献の購読と報告、討論を行います。課題研究のための文章作成能力や自分がたてた仮定を実証するための資料収集、解析、プレゼンテーションの能力を磨くために、エッセイを書いてもらい、報告・意見交換を行うことになります。

演習IIIは、課題研究を行うことになります。論文作成を行いながら、「熱い心」と「冷徹な分析力」を養ってもらいたいと思います。いずれも、課題研究のために必要不可欠な「問題意識を持つこと」そして、それを研究・論文作成を通じて形にしていくことを目的にしていますが、そのプロセスで味わう充実感を楽しんでもらいたいと思っています。

ゼミの活動と最終目標である課題研究論文作成に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。文献を読み、資料を集め、レジュメ作成を行い、報告・討論を繰り返すことで文献や問題への理解が深まると同時に、ゼミ生同士の相互理解も深まっていくことでしょう。

履修上の留意点 遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。

また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。

成績評価の方法 報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。

教科書 最初の時間に提示します。

参考書等 最初の時間に提示します。

その他 課題研究論文の提出を義務とします。

履修コード	319001・319002
科目名	演習II 演習III
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい テーマ：日本経済論

講義の内容・授業スケジュール 日本経済の歴史的展開
通常のゼミの他に年間2回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。
ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載する。

履修上の留意点 「演習」ですから出席することは基本です。
年間2回の合宿への参加は不可欠です。
4年次に「課題研究」を履修することが前提です。

成績評価の方法 総合的に評価します。「定期試験」はありません。

教科書 池上惇『文化経済学のすすめ』丸善ライブラリー

履修コード	318601・318602
科目名	演習II 演習III
担当者名	いしかわ じゅんじ 石川 純治

講義のねらい 企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です。したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点 特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、あるいは世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法 出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書 『日本の論点』（文藝春秋）、および会計の基本テキスト。

参考書等 その都度指示します。私のホームページ（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>）も参考にしてください（大学のホームページの経済学部教員紹介にあります。写真やプロフィールなどがでています）。

履修コード	320301・320302
科目名	演習II 演習III
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二

講義のねらい	企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。具体的には、「課題研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。
講義の内容・授業スケジュール	演習IIIでは、ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「課題研究」を作成する。
履修上の留意点	積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、「課題研究」を開講する。
成績評価の方法	特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。なお、「課題研究」を作成することが、演習の評価にも結びつくので注意すること。
教科書 参考書等	特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。必要に応じて紹介する。

履修コード	320911・320912
科目名	演習II 演習III
担当者名	いわなみ ひなたか 岩波 文孝

講義のねらい	企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振などを解決するために経営システムの改革が企業に求められています。演習では、企業間ネットワークとトップ・マネジメント機能の理解を中核として、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関わり、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。
講義の内容・授業スケジュール	経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が直面する諸問題について、討議していきます。 1. ゼミナールの概要とガイダンス（1） 2. 株式会社の仕組み（2～5） 3. 株式所有と会社支配（6～7） 4. トップ・マネジメントの組織と機能（8～12） 5. 企業の社会的責任（CSR）の現状（13～18） 6. 企業とステークホルダー（19～25） 7. 企業と社会のあり方（26～30）
履修上の留意点	ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してほしい。
成績評価の方法	ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。
教科書 参考書等 その他	開講時に指定します。 開講時に指定します。 演習IIまたは演習IIIに課題研究を併設しています。 専修課程を認定します。

履修コード	320201・320202
科目名	演習II 演習III
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義のねらい 2年次・3年次の活動成果を「卒業論文」としてまとめること、そのための準備と執筆が主な活動となります。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、各自が就職活動に専念し、自分の性格や能力に適した、やりがいのある仕事や就職先を見つけるための活動をします。
後期には、課題研究論文作成のために詳細なレジюмеを作成し、執筆にとりかかります。提出された論文は、ゼミ活動の思い出として残るよう、『経済学研究論集』（大石ゼミナール発行）にまとめられます。

履修上の留意点 参加者は、欠席や遅刻をしないよう心がける必要があります。

成績評価の方法 平常点で評価します。

教科書その他 特になし。新聞記事のコピーを準備します。

①「課題研究」を併設します。
②「専修課程」を開設します。この「専修課程」の履修は自由です
<経済学と経済政策> 以下の科目の中から選択履修
経済理論A, 経済理論B, ミクロ経済学, マクロ経済学, 経済学史, 経済政策, 社会政策, 財政学, 金融論, 日本経済論, 中小企業論, 農業政策, 現代資本主義論, 人口論

履修コード	320601・320602
科目名	演習II 演習III
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男

講義のねらい 昨年の継続として、『マーケティングにおける広告とブランド』の学習を深めます。それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。

成績評価の方法 平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

その他の他 <課題研究の有無>
義務ではありませんが、三年次あるいは四年次には併せて開講します。

履修コード	317001・317002
科目名	演習II 演習III
担当者名	小杉 修二

講義のねらい

大学の授業には演習と講義があります。講義はいわば先生が中心にしゃべり、結論を出していきます。これに対して、ゼミ(演習)は学生が自分たちで問題を確かめ、事実と論理を確認し、結論へとたどり着くようにします。その意味では、皆さんが中心になって進めていきます。

変化の激しい近頃の社会では学んだことが古くなるスピードも速くなりつつあります。覚えたことは古くなったら使えなくなるものもあるでしょう。でも、大丈夫です。新しい状況について、また勉強すればよいのです。でも勉強をしたことがない人は勉強ができません。大学では特定の事柄について勉強しますが、同時にそれを通じて勉強の仕方を勉強しましょう。その勉強の仕方の中で、自分で調べたり、討論したり、人の意見を聞いたりしながら、知識を深め、根拠を確かめ、結論を出すといったトレーニングをし、また、相手に理解してもらおう発表に熟達するトレーニングをするのがゼミです。

講義の内容・授業スケジュール

このゼミでは地球環境問題の中の「地球温暖化問題」を考えます。

近年の猛暑が騒がれていますが、これも年間平均にすると、平年に対して1度程度の昇温に過ぎません。国連の機関であるIPCCによれば、今世紀末には地球全体が1.8-4.0度の気温上昇を見られるとされています。文明(農業)が生まれたのが1万年前とされていますが、この1万年というのは、地球の平均気温は15度近辺で安定していました。時々起きる変動の幅もプラスマイナス1度程度でした。つまり、今予想されている気候の変動は「文明の未体験ゾーン」なのです。

温暖化の害悪はさまざまありますが、海面上昇や雨の降り方の変化、農地の乾燥化、熱帯の病気・害虫の北上などが言われています。映画にも取り上げられた「温暖化が地球の寒冷化をもたらす」という逆転現象も決して「冗談」ではない現実性をもったものです。

原因の主たるものは石炭・石油・天然ガスの燃焼に伴う炭酸ガスが太陽からの熱を閉じ込めて宇宙空間に逃げにくくするからです。しかも厄介なことに、暑くなるとますます暑くなるというメカニズムが地球にはあります。例えばシベリヤの永久凍土層にはメタンが閉じ込められていますが、暑くなればこれらが溶け出していきます。メタンガスは炭酸ガスの20倍の温暖化効果があります。こうした加速要因は23ほど見つかっていますが、そのほとんどがプラスの加速要因です。「サプライズ」とも言われる急激で過激な気候変動の可能性も排除はできません。

温暖化問題は近代文明・経済活動を支える化石燃料が主たる原因となって起こるため、その対策は経済活動にも大きな影響をもたらす、経済活動のあり方や文明のあり方にも変更を迫ることになる可能性もあります。その対策をする時に必ず「利害」が絡みます。この利害関係を合理的に制御するのが経済学の課題です。

こういった問題を勉強するのがこのゼミです。

<スケジュール>

- 第1-5週: 第1章第1-5節
- 第6-10週: 第2章第1-5節
- 第11-15週: 第2章第6-9節
- 第16-20週: 第3章第1-5節
- 第21-25週: 第3章第6-10節
- 第26-30週: 第3章第11-12節、特別編

<課題研究>

あり。ゼミとは別に4単位を認定。

出席の悪い人は単位を認定できません。

ゼミへの出席と発言、レポートを総合して判定。

『よくわかる地球温暖化問題』(中央法規社)

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』(東大出版会)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	317601・317602
科目名	演習II 演習III
担当者名	小西 宏美

講義のねらい

「多国籍企業とグローバリゼーション」をテーマとしています。多国籍企業の活動がいかにグローバル化を進めてきたのか、グローバル化の進展が我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点

前期はテキストを読み進めながら卒業研究のテーマを考えます。

後期は各自の研究テーマにそって卒業研究を作成します。

演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

出席、報告、討論の3点で評価します。

最初の授業時に指定します。

成績評価の方法
教科書

履修コード	320801・320802
科目名	演習II 演習III
担当者名	小林 ^{こばやし} 正人 ^{まさひと}

講義のねらい テーマは「日本の経済社会の歴史と現状」であり、戦後の日本経済の発展の歴史と、その中で発生した諸問題について検討する。あわせて文献の読解力、発表力などの学生の思考力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール ゼミ生による文献に関するレジュメの提出と発表、論点の提示と討論など、ゼミ生中心で進める。この二年間のゼミでは、下記の文献を使って日本経済の歴史、現状、問題点について議論を重ねた。また年度末には自由なテーマでレポートを作成した。

1. 橋本俊詔『家計からみる日本経済』岩波新書、2004年
 2. 暉峻淑子『豊かさの条件』岩波新書、2003年
 3. 川北隆雄『経済論戦－いま何が問われているのか－』岩波書店、2005年
 4. 中村政則『戦後史』岩波書店、2005年
- 今年度は下記の文献に取り組む。
5. 神野直彦『人間回復の経済学』岩波書店、2002年
 6. 田中陽『セブン－イレブン 覇者の奥義』日本経済新聞社、2006年
 7. 国友隆一『セブン－イレブン 高収益・高集客の法則』ぱる出版、2005年

履修上の留意点 ゼミ生による堅実な出席、分担部分のレジュメの提出と発表、積極的な発言などを求める。

成績評価の方法 出席状況と、ふだんの発表やレポートを総合して評価。

教科書 授業中に決める。

参考書等 適時紹介する。

履修コード	318201・318202
科目名	演習II 演習III
担当者名	齊藤 ^{さいとう} 正 ^{ただし}

講義のねらい 「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事等のトピックスと教科書を並行利用して考えます。

講義の内容・授業スケジュール 世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代がありますが、それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。

そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況を経て市場最長の景気回復を続けているといわれていますが、国民の多くはそうした実感を持たず、むしろ将来への不安が高まっていますし、職場では勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本の経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。

授業では、毎回「トピックに関する意見交換」（30分）を行なった後、教科書を年間3冊程度読み進めます。

履修上の留意点 ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、議論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。

成績評価の方法 年間を通じた、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

参考書等 日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

履修コード	318801・318802
科目名	演習II 演習III
担当者名	^{しみず たかし} 清水 卓

講義のねらい このゼミは、ヨーロッパ経済を中心テーマとしたゼミです。3年生は就職活動の準備を始めるころですが、年間を通じて、課題研究作成に向けた指導を行っていきます。

講義の内容・授業スケジュール 各自、現代のEU諸国の経済や社会に関するテーマを自由に選び課題研究作成することが課題です。

履修上の留意点 就職活動に成功するためにも、自分を磨き上げるためにも、ゼミ参加・出席が大切です。

成績評価の方法 平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

参考書等 (1) 田中友義・久保広正『ヨーロッパ経済論』(ミネルヴァ書房)2004年刊 3,200円
(2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治『現代ヨーロッパ経済論』(有斐閣)2001年刊 2,500円

その他 「課題研究」併設。
EU統合論・現代西欧経済論 専修課程。
EU統合論・現代西欧経済論 清水演習I・II・III、理論経済学IA・IB、国際経済論、日本経済論、経済史、西洋経済史

履修コード	319801・319802
科目名	演習II 演習III
担当者名	^{しろうた じゆん} 代田 純

講義のねらい 4～7月期においては、金融の入門書を取り上げる。
9～12月期においては、証券市場論について学習する。

講義の内容・授業スケジュール すでに決まった受講生と相談する。希望者が多ければ、証券アナリストの基礎講座テキストを使用することも選択肢となる。

履修上の留意点 欠席しないこと。

成績評価の方法 出席点(80点)と発表(20点)によって評価する。

教科書 ゼミ開講後に相談して決定する。

その他 インターンシップを8月に予定するので、希望者はインターンシップ関係の科目を履修すること。

履修コード	317101・317102
科目名	演習II 演習III
担当者名	^{すずき のぶえ} 鈴木 伸枝

講義のねらい 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール 公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。

履修上の留意点 コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

成績評価の方法 ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

教科書 出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

その他 受講者と相談して決定します。
「課題研究」を併設します。

履修コード	318701・318702
科目名	演習II 演習III
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学の演習方式を大胆に採用しながらも、独自の方式で演習をすすめています。思考に強くなるための方法（弁証法の学習）、デジタル時代の学習と研究の方法（インターネット活用法の学習）、学ぶ者の社会的責任の体得などがそれぞれです。

とくに最近数年間は、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中でおこっている経済事象を読み解く実力がやしなわれるからです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語れるようなゼミ生が確実にそだっています。

履修上の留意点
成績評価の方法

あわせて、日本学生経済ゼミナールの東京大会・全国大会への参加、インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩な企画を実行しています。

4年次生は卒業論文を作成します。

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

その他

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。当ゼミのOB・OGも、しばしばゼミに顔をだし、社会や会社の現場の話をしてくれます。

このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

履修コード	318401・318402
科目名	演習II 演習III
担当者名	<small>そが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義のねらい

マーケティングの問題点を把握し、それを解決する方法を身に付けさせることをねらいにしている。

講義の内容・授業スケジュール

1～5回 問題発見の方法と論文の書き方についての指導

6～15回 ゼミ生各自の研究テーマ発表とそれに対する指導

夏合宿 ゼミ生各自の研究に関する弁別構成の指導

16～25回 論文執筆に対する指導

26～28回 ディベート大会に関する指導

ディベート大会 12月の第2日曜に開催

29～30回 論文の発表・討論会

履修上の留意点

・平常の出席はもちろんであるが、論文の執筆と夏合宿及びディベート大会への参加は必ず必要です。

成績評価の方法

平常点（・出席状況30%、・夏合宿20%・ディベート大会出席30%・論文20%）

教科書

指定しない

参考書等

必要に応じて紹介する。

履修コード	317901・317902
科目名	演習II 演習III
担当者名	館 健太郎

講義のねらい

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとても広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上に立って、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使って、ゲーム理論そのものの学習を中心にすすめます。その後、ゲーム理論の学習と並行して、グループや個人で実際の産業や行政について調べ、そこからゲームを作って分析するなど、より実践的な研究へと展開していきます。

履修上の留意点

- ・自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視します。
- ・年に1～2回（休みの期間）、ゼミ合宿や他大学のゼミとの合同合宿を行いたいと思っています。このときには交通費・宿泊費などの実費がかかります。自由参加としますが、参加や準備などに積極的な人を希望します。ゼミ履修が決定した後、定期的にプレゼミ（ゼミの内容の基礎知識を身につけるための勉強会）を開催したいと思っていますので、これになるべく参加することを希望します。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況と発表などゼミへの貢献度
渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）
梶井厚志(2002)『戦略的思考の技術』中央公論社（中公新書、1658）

履修コード	320501・320502
科目名	演習II 演習III
担当者名	鄭 章淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦後）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏季休暇中にゼミ合宿をおこないます。ここでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法
教科書

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。
北原淳・西澤信善〔編著〕『アジア経済論』現代世界経済叢書4，ミネルヴァ書房、2004年、3,200円＋税

その他

「課題研究」を併設します。
アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目
アジア経済論、演習II・III、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

履修コード	319101・319102
科目名	演習II 演習III
担当者名	友松 憲彦

講義のねらい 西洋社会経済史について学びます。現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに関心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことによって現在の経済の理解を深め、その問題点を明らかにすることが、今後の社会や経済はどうあるべきかを考えることにつながります。経済学の基礎知識を習得しながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール 2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。

3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読し報告と討論を行います。

4年次は、自分でテーマを決めて課題研究をまとめます。

また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやレポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。

成績評価の方法 (1) 年度末のレポート (2) 平常点 (レジュメ、報告、討論の状態)、(3) 出席で評価します。

教科書 最初の授業で指示します。

参考書等 演習のなかで紹介します。

その他 (1) 課題研究を併設します。

(2) 専修課程(社会経済史専修)の認定をします。

演習I、演習II、演習III、経済史、西洋経済史、日本経済史、商業史、社会思想史、経済学史

履修コード	319301・319302
科目名	演習II 演習III
担当者名	長山 宗広

講義のねらい テーマ：「地域の活性化」
フレBの演習IIでは、地域経済・地域産業の理論を踏まえて、地域の実態把握および活性化プラン策定に関する実践的手法を学んでいく。

地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期では、地域経済論の基礎的な文献や統計データ等を使って、輪読や担当を決めての要旨報告を中心に討論を行なう。具体的には、地域の人口・世帯、就業・労働、事業所・企業、産業(農業・工業・商業・サービス業)、各種インフラ、財政等、に関する地域経済の統計データについて、その分析方法を学ぶ。

後期では、ゼミ生各人(またはグループ)が愛着のある実在の地域を選定し、そこをケーススタディにして地域活性化プランを取りまとめてもらい、発表まで行う。

履修上の留意点 ゼミには主体的に参加してもらいたい。

最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。

成績評価の方法 出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。

教科書 開講時にゼミ生と相談して決定する。

参考書等 都度、紹介する。

その他 とりあえずは、講義の「地域経済論 a・b」「ベンチャー論・起業論」を参照のこと。

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	321201・321202
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ
担当者名	番場 博之
講義のねらい	問題発見・解決能力を育成するとともに、流通分野（流通論・流通政策・マーケティングなど）について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	履修者数によって変更の可能性があるが、一応以下のように予定している。 ①～⑦グループエンカウンターとディベート ⑧～⑯ビジネスモデルの企画 ⑰～⑳流通分野についての基礎学習 ㉑～㉒各自でテーマを設定し報告
履修上の留意点	詳細なシラバス等は相談のうえ決めていく。 その他の留意点については番場が担当する他の演習の説明で確認して下さい。
成績評価の方法	ゼミへの貢献度などを含めた総合的評価

履修コード	317501
科目名	演習Ⅱ
担当者名	百田 義治
講義のねらい	現代の日本企業の主要な問題である「社会から信頼される企業」に求められる課題、企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。
講義の内容・授業スケジュール	本科目は、演習Ⅰの継続です。毎回、決められたテーマについてゼミ生が報告し、討論するという形式で進めます。 (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？ (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が求められるのか？ 株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？ (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？ (4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？ (5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど
履修上の留意点	経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。
成績評価の方法	出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。
教科書等その他	鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。 稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年 「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学基礎、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、演習などです。

履修コード	320901
科目名	演習Ⅲ
担当者名	百田 義治
講義のねらい	現代日本企業が直面する経営管理に関するテーマ、特に「企業と社会」に関連する企業倫理やCSR（企業の社会的責任）に関するテーマを中心に、大きく変貌する日本企業の課題について学びます。
講義の内容・授業スケジュール	演習Ⅰ・Ⅱの継続です。課題研究（卒業論文）の作成にむけて、各人が発表し、討論を積み重ねて行きます。
履修上の留意点	課題研究（卒業論文）の作成・提出が履修の前提です。
成績評価の方法	出席、発表内容、クラス・リーダーシップなどを総合して平常点評価を行います。
参考書等その他	課題研究のテーマに沿って指示します。 「課題研究」（4単位）を併設します。

履修コード	317701・317702
科目名	演習II 演習III
担当者名	福原 好喜

講義の内容・
授業スケジュール

(社会科学方法論研究)

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスを行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。テニスは初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛錬に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しがるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点
成績評価の方法

「課題研究」併設。

成績は出席点とレポートでつける。

履修コード	321241・321242
科目名	演習II 演習III
担当者名	堀 龍二

講義のねらい

労務管理や人的資源管理に関する基本的知識の習得、現代的問題意識の喚起、それらに基づいてテーマを設定してアプローチすることなどをねらいとしている。現代の日本企業で働くとき、企業の働かせ方やねらいと自らの望む働き方をいかに調和させていくかを考えてもらいたい。雇用はどうあるべきか。賃金・処遇は何を基準にすべきか。仕事をする能力をどのように育成していくのか、企業が考える問題は、働く者の職業人生に大きく関係・影響する。労働のあり方を身近な問題として考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は適当なテキストや資料を利用して、輪読や要旨報告の形で知識の習得と問題意識の喚起を図る。次にゼミ生の数にもよるが、グループ研究を行う。グループごとに小テーマを決めて、下調べをしてその成果をゼミで報告し、全員で討論する。適宜、統計資料の利用方法の実践、諸外国との比較なども行う。

履修上の留意点

テキスト・資料・新聞記事などを読んで、分かりにくいと感じたところをそのままにしないで、ゼミで疑問をぶつけるような積極的姿勢の持ち主を歓迎する。

成績評価の方法

ゼミへの出席・参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価する。

教科書
参考書等
その他

初回に相談して決める。

適宜、紹介する。

課題研究を併設する。

専修過程「企業労働」を認定する。系統学習に必要な科目は、社会政策、労働法、経営管理論、企業統治論、人的資源管理論、演習などである。

履修コード	321211・321212
科目名	演習II 演習III
担当者名	まつい 柳平

講義のねらい	統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。
講義の内容・授業スケジュール	ガイダンス ゼミの概要等説明 パソコンの使用法 Excel の使用法 データの要約と視覚化 基本統計量 確率分布 推定と検定 相関分析 回帰分析 集計表と適合度検定 数学モデル、確率モデルを視覚的に理解することに重点を置く。
履修上の留意点 成績評価の方法	このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。 成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。 基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。
教科書 参考書等	開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。 鳥居『はじめての統計学』（日本経済新聞社）ISBN4-532-13074-3 縄田『Excel による統計入門』（朝倉書店）ISBN4-254-12142-3 得津『はじめての統計』（有斐閣）ISBN4-641-08667-2
その他	レポーターによる報告に基づいて進める。

履修コード	321261・321262
科目名	演習II 演習III
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい	本演習では、「現代における企業と社会との関係をどのように捉えればよいのか」という命題に基づきながら、企業経営の現代的課題や企業活動の体系的理解を通じて企業を広く理解する視点を身につけることを目標としています。
講義の内容・授業スケジュール	とりわけ1990年代以降、企業の経済活動が急速にグローバル化したことを受け、それ以前の社会・政治・文化・国際関係といった多様な領域と企業との関係性は大きく変容しつつあります。企業が持つ経済的性格のみならずその社会的性格にも焦点を当て、企業を社会経済システムの中に位置づけながら、企業と社会の相互関係性から生じている現代的諸問題を考察し、課題研究につなげていきたいと考えています。
履修上の留意点	本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業研究論文の作成を試みます。
成績評価の方法	自らが設定した研究課題を体系的な論文にまとめ上げていく作業には、強い自律心が求められます。したがって演習参加者は課題研究に向け、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。
教科書 参考書等 その他	授業への出席は最低要件です。したがって卒業研究にかかわる各自の報告を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。 開講時に指示します。 経営学辞典あるいは経営学用語集。 卒業研究を併設します。

履修コード	319901・319902
科目名	演習II 演習III
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子

講義のねらい

- 非営利組織（NPO）とは何か、について学びます。
- ①企業と非営利組織を比較することによって、両者の特徴を学びます。
 - ②非営利組織の実際の活動、行政や企業との協働を経営学の視点から考えます。
 - ③ゼミ生同士の交流を深め、就職に向けて様々な能力を培います。

講義の内容・授業スケジュール

非営利組織に関する基本文献を読み、基礎知識や理論を学習します。
同時に、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力、ゼミ生同士の交流によるコミュニケーション能力を獲得することを目指します。

履修上の留意点
成績評価の方法

1年間の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。
積極的に物事を調べ、積極的な姿勢で授業にのぞんでください。
出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に評価します。

教科書
参考書等

ゼミ生と相談の上、決定します。
参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。
非営利組織の用語に関する基本文献として以下を薦めます。

その他

- ①雨森孝悦『テキストブックNPO』東洋経済新報社、2007年。
 - ②川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
 - ③山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。
- 非営利組織論a・bを履修することがのぞましいです。

履修コード	320001・320002
科目名	演習II 演習III
担当者名	みぎて よしかず 溝手 芳計

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習相互修練の場です。世の中答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い教えあい意見交換していくことを大切にしてください。

成績評価の方法

ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ること求めます。
出席状況、レポートと発表の内容・態度、ゼミ運営や議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書
参考書等

ゼミ生と相談の上、決定します。

その他

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。
演習II、演習IIIに、「課題研究」を併設します。
専修課程<経済と暮らし>を開設します。（指定科目については、年度初めに確かめてください。）

履修コード	318901・318902
科目名	演習II 演習III
担当者名	やしき たかみつ 谷敷 正光

講義のねらい テーマ〔戦後日本経済の発展と日本型経済システム〕
3年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程を学びます。日本型経済システムの形成はいかにして可能だったか、その破綻の要因は何かなど基本文献や「学術論文」（学会雑誌）を教材に解明します。また、経済の発展過程を経済・人材・学校の側面からも明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール 〔前期〕日本の経済成長を復興期、高度成長I期、II期、III期、IV期、安定成長期、バブル経済期に、いかに日本型経済システムを構築したかを基本文献や「学術論文」を使って明らかにします。
〔後期〕戦後の日本を支えてきた日本型経済システムがなぜ破綻したのか、破綻の要因を基本文献や「学術論文」を使って明らかにします。

履修上の留意点 ゼミの合宿には積極的に参加して下さい。4年生まで続けられる人を望みます。

成績評価の方法 出席を基本に、常日頃の発表や論文などで総合評価します。

教科書 授業中に紹介します。

参考書等その他 「学術論文」は授業中に配布します。
参考文献などは必要に応じて適宜紹介します。
課題研究を併設しています。
〈専修課程認定の有無〉
有り……以下の科目の中から5科目履修すると「専修課程」修了を認定し、経済学部から「専修課程終了認定書」が授与されます。（「専修課程」は履修せず、演習だけの履修でもかまいません。）
教育経済論、景気循環論、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、日本経済論、日本経済史、西洋経済史、経済史、経済政策、工業政策、農業政策、社会政策、財政学、人口論、マーケティング、中小企業論。
3年ゼミでは、「インターンシップb」（2単位）を併設しています。希望する人は「インターンシップa」（2単位）も併せて履修してください。

履修コード	321251・321252
科目名	演習II 演習III
担当者名	やすもと みゆる 安元 稔

講義のねらい われわれが現在生活している工業化社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習IIでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・授業スケジュール テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点 学部の講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法 日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書 第1回目の演習の際、指示します。

参考書等 適宜指示します。

履修コード	319601・319602
科目名	演習II 演習III
担当者名	やまがた ひろし 山縣 弘志

講義のねらい 比較経済論

講義の内容・授業スケジュール テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われている。20世紀に顕在化してしままだ未解決の課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。

履修上の留意点 2年次生は入門的文献、3年次生は専門的文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授業を進める。

成績評価の方法 出席、発表、討論への参加を総合評価する。

教科書 相談の上決める。

参考書等 「課題研究」有。
〔比較経済論〕専修課程
系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論 国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

履修コード	320921・320922
科目名	演習II 演習III
担当者名	<small>わたなべ けいいち</small> 渡邊 恵一

講義のねらい 近現代日本の経済史・経営史に関連したテーマにもとづく課題研究（卒論）を、教員の指導を受けつつ執筆する。受講生は、執筆に必要な資料や統計データをできるかぎり渉猟し、実証密度の高い分析作業に挑んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール (1) 前期ガイダンス、(2)～(14) 目次案の作成、論文執筆や図表作成の技法、先行研究のサーベイ、参照資料・統計データの収集などに関する指導、(15) 課題研究中間報告会、(16) 後期ガイダンス、(16)～(29) 課題研究の草稿作成と個別添削指導、(30) 課題研究最終報告会

履修上の留意点 受講は課題研究の提出予定者に限る。

成績評価の方法 課題研究（卒論）の完成度で評価する。

参考書等 個別指導の中で、適宜紹介していく。

Ⅲ 他学部履修科目

履修コード	324001
科目名	日本法制史
担当者名	茂野 <small>しげの たかほる</small> 隆晴

講義のねらい

全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近な史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で、過去の知識(歴史)を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であろう。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古(氏族法時代)Ⅰ
3. 上古(氏族法時代)Ⅱ
4. 中古(律令法時代)Ⅰ
5. 中古(律令法時代)Ⅱ
6. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅰ
7. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅱ
8. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅰ
9. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅱ
10. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅲ
11. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅰ
12. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅱ
13. 近代(含む幕末)Ⅰ
14. 近代(含む幕末)Ⅱ
15. 婚姻関係(ことわざと川柳等による)

上記は1.と15.を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当てることを目安としています。

成績評価の方法
教科書

学期末試験と出席状況を総合して評価す。

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選－史資料へのいざない－』1998年(芦書房)2,300円

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	高橋 洋城

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景的世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円；講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）；法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

履修コード	325401
科目名	国際関係論
担当者名	三船 恵美

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 国際関係論という学問
 2. 国際関係論の4つの理論的視角
 3. 国際関係のアクター
 4. 国益とパワー
 5. 勢力均衡とバンドワゴン
 6. 同盟の力学
 7. 覇権による安定
 8. リベラリズムの考え方
 9. ネオ・リベラリズムの考え方
 10. ゲーム理論と国際関係
 11. 南北問題と構造的暴力
 12. コンストラクティヴィズム
 13. 平和学の誕生と展開
 14. 前期講義のクイズ (quiz =小テスト)
 15. クイズの解説
 16. 安全保障の概念と類型
 17. 人道的介入
 18. 大量破壊兵器の拡散
 19. 平和構築と国際機関・国際NGO
 20. 日本の領域と日韓関係
 21. 日本の領域と日中関係
 22. 「人間の安全保障」と人権
 23. 「人間の安全保障」と日本のODA外交
 24. グローバル化と地域統合
 25. 地球環境問題
 26. 後期講義のクイズ
 27. クイズの解説
 28. 総括

履修上の留意点 テストを欠席した場合にレポートは課しません。就活や部活で欠席した人を特別扱いません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法 試験 (100%)。
教科書 山田高敬・大矢根稔編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
参考書等 授業中に紹介します。

履修コード	326001
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄

講義のねらい 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法 前期試験 (40%) と学年末試験 (60%) で総合的に評価する。
教科書 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定 (内外出版)
参考書等 『地方自治判例百選 (第3版)』(別冊ジュリスト)。
その他 講義では頻りに法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学部履修科目

履修コード	326201
科目名	国際紛争解決法
担当者名	王 志安 <small>おう しあん</small>

講義のねらい 国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール 国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構(WTO)の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点 参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

成績評価の方法 <http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>
年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書 大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(下)(東信堂)2002年 2,000円
参考書等 市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。
その他 授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のもつめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small>

講義のねらい 破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点 民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法 簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書 徳田和幸『プレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

参考書等 山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円

伊藤真『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円

青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

履修コード	334001
科目名	国際会計論
担当者名	山田 <small>やまだ じゆんぺい</small> 純平

講義のねらい 生産や販売、資金調達などの企業活動は、国内のみならず、海外でも活発に行われる流れにあります。その結果、会計の分野においても急速な国際化が進みつつあり、近年は会計基準の統合化がひとつの大きなテーマとなっています。

そこで、この講義では、会計の国際的な側面を以下の点から説明します。

- (1) 会計基準の統合化が進んでいる現状と問題点
- (2) 具体的な会計基準の動向とその背景となる考え方（特に国際基準と日本基準が異なる分野を重点的に）
- (3) 多国籍企業の財務諸表分析

この講義を受講することで、さしあたり以下の点が理解できるようになることが望まれます。

- ①国際基準をそのまま受けることにもいくつか問題があること
- ②各国の考え方の相違から差異が残されてしまうこと
- ③国際基準で提案される考え方自体がこれまでの実務に根ざした考え方とは異なること
- ④現実の財務諸表における会計基準の適用と財務諸表の分析の仕方

**講義の内容・
授業スケジュール**

第1～3回：会計の基礎に関する復習
 第4～6回：会計基準の統合化に関する様々な議論
 第7～13回：金融商品、減損、退職給付・リース・税効果の会計
 第14～20回：企業結合・連結会計、新株予約権の会計、業績報告、概念フレームワーク
 第21～27回：アメリカ・日本・ヨーロッパの企業の分析
 第28～30回：総まとめ

履修上の留意点

簿記学や会計学の履修を前提とします。ただし、授業の内容を理解するのに必要な基礎的知識については、そのつど解説します。

**成績評価の方法
教科書等
参考書等
その他**

試験65%、小テスト25%、出席10%。
 冨塚嘉一編著『どうなってる!?国際会計』中央経済社。
 授業中に適宜指示します。
 私語がひどい学生は退席をしてもらう場合があります。

IV 随 意 科 目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法 現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。